

Service Pack for ProLiant コンポーネントリリースノート, v2017.04.0

[BIOS - システムROM](#)

[ドライバー - チップセット](#)

[ドライバー - Lights-Outマネジメント](#)

[ドライバー - ネットワーク](#)

[ドライバー - ストレージ](#)

[ドライバー - ストレージコントローラー](#)

[ドライバー - ストレージファイバーチャネルおよびファイバーチャネルオーバーイーサネット](#)

[ドライバー - ストレージテープ](#)

[ドライバー - システムマネジメント](#)

[ドライバー - USB](#)

[ドライバー - ビデオ](#)

[ファームウェア](#)

[ファームウェア - ブレードインフラストラクチャ](#)

[ファームウェア - Lights-Outマネジメント](#)

[ファームウェア - ネットワーク](#)

[ファームウェア - パワーマネジメント](#)

[ファームウェア - SASストレージディスク](#)

[ファームウェア - SATAストレージディスク](#)

[ファームウェア - ストレージコントローラー](#)

[ファームウェア - ストレージファイバーチャネル](#)

[ファームウェア - ストレージテープ](#)

[ファームウェア - スイッチ](#)

[ソフトウェア - Lights-Outマネジメント](#)

[ソフトウェア - ネットワーク](#)

[ソフトウェア - ストレージコントローラー](#)

[ソフトウェア - ストレージファイバーチャネル](#)

[ソフトウェア - ストレージファイバーチャネルHBA](#)

[ソフトウェア - システムマネジメント](#)

BIOS - システムROM

[先頭](#)

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Linux - HP ProLiant BL280c G6 (I22) サーバー
バージョン: 2015.08.16 (推奨)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-i22-2015.08.16-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HP ProLiant BL280c G6 システムROM - I22

リリースバージョン:

2015/08/16

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2015/08/16

以前のリビジョン:

2013/07/02

ファームウェアの関連性:

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Linux - HP ProLiant BL2x220c G6 (I26) サーバー
バージョン: 2015.08.16 (推奨)
ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-i26-2015.08.16-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant BL2x220c G6 システムROM - I26

リリースバージョン：

2015/08/16

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2015/08/16

以前のリビジョン：

2013/07/02

ファームウェアの関連性 :

なし

改善点/新しい機能 :

なし

修正された問題点 :

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点 :

なし

修正

重要な注意 :

なし

ファームウェアの関連性 :

なし

修正された問題点 :

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点 :

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Linux - HP ProLiant BL2x220c G7 (I29) サーバー

バージョン: 2015.08.16 (推奨)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-i29-2015.08.16-1.1.i386.rpm

重要な注意 !

重要な注意 :

なし

提供名 :

HP ProLiant BL2x220c G7 システムROM - I29

リリースバージョン :

2015年8月16日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン :

2015年8月16日

以前のリビジョン :

2013年7月2日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Linux - HP ProLiant BL460c G6/WS460c G6 (I24) サーバー

バージョン: 2015.08.16 (推奨)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-i24-2015.08.16-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant BL460c G6およびWS460c G6システムROM - I24

リリースバージョン：

2015/08/16

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2015/08/16

以前のリリース :

2015/01/22

ファームウェアの関連性 :

なし

改善点/新しい機能 :

なし

修正された問題点 :

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点 :

なし

修正**重要な注意 :**

なし

ファームウェアの関連性 :

なし

修正された問題点 :

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点 :

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Linux - HP ProLiant BL460c G7 (I27) サーバー
バージョン: 2015.08.16 (推奨)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-i27-2015.08.16-1.1.i386.rpm

重要な注意 !**重要な注意 :**

なし

提供名 :

HP ProLiant BL460c G7 システムROM - I27

リリースバージョン :

2015年8月16日

最新の推奨またはクリティカルリリース :

2015年8月16日

以前のリビジョン：

2013年7月2日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Linux - HP ProLiant BL465c G7 (A19) サーバー
バージョン: 2014.02.02 (C) (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-a19-2014.02.02-3.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

Ver. 2014.02.02 (C)はドキュメントのアップデートのみを含んでいて、機能的にVer. 2014.02.02と同等です。システムROMをバージョン2014.02.02にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンCにアップグレードする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant BL465c G7 システムROM - A19

リリース日付：

2014/02/02

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2012/12/08

以前のリビジョン：

2012/12/08

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

AMD Opteron 6100または6200プロセッサで実行する場合にシステムが応答しなくなる、または予想外のリセットとなる非常にまれな状態を解決しました。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

Ver. 2014.02.02 (C) はドキュメントのアップデートのみを含んでいて、機能的にVer. 2014.02.02と同等です。 システムROMをバージョン2014.02.02にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンCにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

AMD Opteron 6100または6200プロセッサで実行する場合にシステムが応答しなくなる、または予想外のリセットとなる非常にまれな状態を解決しました。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Linux - HP ProLiant BL490c G6 (I21) サーバー

バージョン: 2015.08.16 (推奨)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-i21-2015.08.16-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant BL490c G6 システムROM - I21

リリースバージョン：

2015/08/16

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2015/08/16

以前のリビジョン：

2013/07/02

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Linux - HP ProLiant BL490c G7 (I28) サーバー

バージョン: 2015.08.16 (推奨)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-i28-2015.08.16-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant BL490c G7 システムROM - I28

リリースバージョン :

2015年8月16日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン :

2015年8月16日

以前のリビジョン :

2013年7月2日

ファームウェアの依存関係 :

なし

改善点/新しい機能 :

なし

修正された問題点 :

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点 :

なし

修正

重要な注意 :

なし

ファームウェアの関連性 :

なし

修正された問題点 :

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点 :

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Linux - HP ProLiant BL680c G7/BL620c G7 (I25) サーバー
バージョン: 2015.08.16 (推奨)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-i25-2015.08.16-1.1.i386.rpm

重要な注意 !

重要な注意 :

なし

提供名 :

リリースバージョン :

2015年8月16日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン :

2015年8月16日

以前のリビジョン :

2013年7月1日

ファームウェアの依存関係 :

なし

改善点/新しい機能 :

なし

修正された問題点 :

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点 :

なし

修正

重要な注意 :

なし

ファームウェアの関連性 :

なし

修正された問題点 :

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点 :

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Linux - HP ProLiant BL685c G6 (A17) サーバー
バージョン: 2011.05.02 (**クリティカル**)
ファイル名: CP015214.scexe

重要な注意 !

重要な注意 :

フラッシュアップグレードプロセスを改善するにはシステムROMとフラッシュアップデートユーティリティの変更が必要で、このリビジョンのシステムROMにアップデートした後、システムROMリビジョンをHPサポートサイトにあるフラッシュコンポーネントにダウングレードできなくなります。新しいフラッシュコンポーネントを以下のリンクのアドバイザリC02838375に記載された古いシステムROMリビジョンで作成することでシステムROMをダウングレードできます。 http://h20000.www2.hp.com/bizsupport/TechSupport/Document.jsp?locale=en_US&objectID=c02838375

提供名 :

HP ProLiant BL685c G6システムROM - A17

リリース日付 :

2011/05/02

最新の推奨またはクリティカルリビジョン :

2011/05/02

以前のリビジョン :

2009/12/09

ファームウェアの関連性 :

なし

改善点/新しい機能 :

システムROMアップデートの信頼性を向上させて、フラッシュ部分の予期しない破壊の可能性を減少させるために、システムフラッシュアップデートプロセスを改善しました。注：フラッシュアップグレードプロセスを改善するにはシステムROMとフラッシュアップデートユーティリティの変更が必要で、このリビジョンのシステムROMにアップデートした後、システムROMリビジョンをHPサポートサイトにあるフラッシュコンポーネントにダウングレードできなくなります。新しいフラッシュコンポーネントを以下のリンクのアドバイザリC02838375に記載された古いシステムROMリビジョンで作成することでシステムROMをダウングレードできます。

http://h20000.www2.hp.com/bizsupport/TechSupport/Document.jsp?locale=en_US&objectID=c02838375

ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU) の表示用に最新のオプションのデバイスの製品名を追加しました。

修正された問題点 :

ローカルのDVDドライブを使用しているとシステムがiSCSIベースストレージソリューションにオペレーティングシステムをインストールできない問題を解決しました。

既知の問題点 :

なし

修正

重要な注意 :

フラッシュアップグレードプロセスを改善するにはシステムROMとフラッシュアップデートユーティリティの変更が必要で、このリビジョンのシステムROMにアップデートした後、システムROMリビジョンをHPサポートサイトにあるフラッシュコンポーネントにダウングレードできなくなります。新しいフラッシュコンポーネントを以下のリンクのアドバイザリC02838375に記載された古いシステムROMリビジョンで作成することでシステムROMをダウングレードできます。 http://h20000.www2.hp.com/bizsupport/TechSupport/Document.jsp?locale=en_US&objectID=c02838375

http://h20000.www2.hp.com/bizsupport/TechSupport/Document.jsp?locale=en_US&objectID=c02838375

ファームウェアの関連性 :

なし

修正された問題点 :

ローカルのDVDドライブを使用しているとシステムがiSCSIベースストレージソリューションにオペレーティングシステムをインストールできない問題を解決しました。

既知の問題点：

なし

拡張

システムROMアップデートの信頼性を向上させて、フラッシュ部分の予期しない破壊の可能性を減少させるために、システムフラッシュアップデートプロセスを改善しました。注：フラッシュアップグレードプロセスを改善するにはシステムROMとフラッシュアップデートユーティリティの変更が必要で、このリビジョンのシステムROMにアップデートした後、システムROMリビジョンをHPサポートサイトにあるフラッシュコンポーネントにダウングレードできなくなります。新しいフラッシュコンポーネントを以下のリンクのアドバイザリC02838375に記載された古いシステムROMリビジョンで作成することでシステムROMをダウングレードできます。

http://h20000.www2.hp.com/bizsupport/TechSupport/Document.jsp?locale=en_US&objectID=c02838375

ROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）の表示用に最新のオプションのデバイスの製品名を追加しました。

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Linux - HP ProLiant BL685c G7 (A20) サーバー

バージョン: 2016.03.07 (推奨)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-a20-2016.03.07-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant BL685c G7システムROM

リリースバージョン：

2016年3月7日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2016年3月7日

以前のリビジョン：

2014年9月3日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

システムROMのリビジョン09/03/2014に含まれているAMDマイクロコードのリビジョンでの問題により、プロセッサが仮想環境で予測不能のシステム動作に遭遇する可能性があるという、AMD Opteron 6300シリーズでの問題に対処しました。システムROMの09/03/2014リビジョンのみがこの問題の影響を受けます。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処したアップデートされたバージョンのAMDマイクロコードを含んでいます。この問題は、HP ProLiantサーバーに固有のものではなく、影響を受けたAMDマイクロコードを実装するプロセッサを使用

するすべてのシステムに影響を及ぼします。システムROMのこのリビジョンで対応した問題の潜在的な深刻度のため、影響のあるシステムのシステムROMをアップグレードすることを強く推奨します。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

システムROMのリビジョン09/03/2014に含まれているAMDマイクロコードのリビジョンでの問題により、プロセッサが仮想環境で予測不能のシステム動作に遭遇する可能性があるという、AMD Opteron 6300シリーズでの問題に対処しました。システムROMの09/03/2014リビジョンのみがこの問題の影響を受けます。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処したアップデートされたバージョンのAMDマイクロコードを含んでいます。この問題は、HP ProLiantサーバーに固有のものではなく、影響を受けたAMDマイクロコードを実装するプロセッサを使用するすべてのシステムに影響を及ぼします。システムROMのこのリビジョンで対応した問題の潜在的な深刻度のため、影響のあるシステムのシステムROMをアップグレードすることを強く推奨します。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Linux - HP ProLiant DL320 G6/ML330 G6 (W07) サーバー
バージョン: 2015.08.16 (推奨)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-w07-2015.08.16-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant ML330 G6およびDL320 G6システムROM - W07

リリースバージョン：

2015/08/16

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2015/08/16

以前のリビジョン：

2013/07/02

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

修正**重要な注意：**

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Linux - HP ProLiant DL360 G6 (P64) サーバー
バージョン: 2015.08.16 (推奨)
ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-p64-2015.08.16-1.1.i386.rpm

重要な注意！**重要な注意：**

なし

提供名：

HP ProLiant DL360 G6 システムROM - P64

リリースバージョン：

2015/08/16

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2015/08/16

以前のリビジョン：

2015/01/22

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Linux - HP ProLiant DL360 G7 (P68) サーバー

バージョン: 2015.08.16 (推奨)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-p68-2015.08.16-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant DL360 G7 システムROM - P68

リリースバージョン：

2015年8月16日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2015年8月16日

以前のリビジョン：

2013年7月2日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

修正**重要な注意：**

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Linux - HP ProLiant DL380 G6 (P62) サーバー
バージョン: 2015.08.16 (推奨)
ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-p62-2015.08.16-1.1.i386.rpm

重要な注意！**重要な注意：**

なし

提供名：

HP ProLiant DL380 G6 システムROM - P62

リリースバージョン：

2015/08/16

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2015/08/16

以前のリビジョン：

2015/01/22

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Linux - HP ProLiant DL380 G7 (P67) サーバー
バージョン: 2015.08.16 (推奨)
ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-p67-2015.08.16-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant DL380 G7 システムROM - P67

リリースバージョン：

2015年8月16日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2015年8月16日

以前のリビジョン：

2013年7月2日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

修正**重要な注意：**

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Linux - HP ProLiant DL385 G7 (A18) サーバー

バージョン: 2014.02.02 (B) (**オプション**)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-a18-2014.02.02-2.1.i386.rpm

重要な注意！**重要な注意：**

Ver. 2014.02.02 (B)はコンポーネントパッケージのアップデートを含んでいて、機能的にVer. 2014.02.02と同等です。システムROMをバージョン2014.02.02にアップグレードするために以前のリリースのコンポーネントが使われた場合は、リリースBにアップグレードする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant DL385 G7 システムROM - A18

リリースバージョン：

2014年2月2日

最新の推奨またはクリティカルリリースバージョン：

2012年12月8日

以前のリビジョン：

2012年12月8日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

AMD Opteron 6100または6200プロセッサで実行する場合にシステムが応答しなくなる、または予想外のリセットとなる非常にまれな状態を解決しました。

既知の問題点：

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用“HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意：

Ver. 2014.02.02 (B)はコンポーネントパッケージのアップデートを含んでいて、機能的にVer. 2014.02.02と同等です。システムROMをバージョン2014.02.02にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンBにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

AMD Opteron 6100または6200プロセッサで実行する場合にシステムが応答しなくなる、または予想外のリセットとなる非常にまれな状態を解決しました。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Linux - HP ProLiant DL580 G7 (P65) サーバー

バージョン: 2015.08.16 (推奨)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-p65-2015.08.16-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant DL580 G7 システムROM - P65

リリースバージョン：

2015年8月16日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2015年8月16日

以前のリビジョン：

2013年10月1日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Linux - HP ProLiant DL585 G7 (A16) サーバー

バージョン: 2016.03.07 (推奨)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-a16-2016.03.07-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant DL585 G7システムROM

リリースバージョン :

2016年3月7日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン :

2016年3月7日

以前のリビジョン :

2014年9月3日

ファームウェアの依存関係 :

なし

改善点/新しい機能 :

なし

修正された問題点 :

システムROMのリビジョン09/03/2014に含まれているAMDマイクロコードのリビジョンでの問題により、プロセッサが仮想環境で予測不能のシステム動作に遭遇する可能性があるという、AMD Opteron 6300シリーズでの問題に対処しました。システムROMの09/03/2014リビジョンのみがこの問題の影響を受けます。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処したアップデートされたバージョンのAMDマイクロコードを含んでいます。この問題は、HP ProLiantサーバーに固有のものではなく、影響を受けたAMDマイクロコードを実装するプロセッサを使用するすべてのシステムに影響を及ぼします。システムROMのこのリビジョンで対応した問題の潜在的な深刻度のため、影響のあるシステムのシステムROMをアップグレードすることを強く推奨します。

既知の問題点 :

なし

修正**重要な注意 :**

なし

ファームウェアの依存関係 :

なし

修正された問題点 :

システムROMのリビジョン09/03/2014に含まれているAMDマイクロコードのリビジョンでの問題により、プロセッサが仮想環境で予測不能のシステム動作に遭遇する可能性があるという、AMD Opteron 6300シリーズでの問題に対処しました。システムROMの09/03/2014リビジョンのみがこの問題の影響を受けます。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処したアップデートされたバージョンのAMDマイクロコードを含んでいます。この問題は、HP ProLiantサーバーに固有のものではなく、影響を受けたAMDマイクロコードを実装するプロセッサを使用するすべてのシステムに影響を及ぼします。システムROMのこのリビジョンで対応した問題の潜在的な深刻度のため、影響のあるシステムのシステムROMをアップグレードすることを強く推奨します。

既知の問題点 :

なし

重要な注意！

重要な注意：

フラッシュアップグレードプロセスを改善するにはシステムROMとフラッシュアップデートユーティリティの変更が必要で、このリビジョンのシステムROMにアップデートした後、システムROMリビジョンをHPサポートサイトにあるフラッシュコンポーネントにダウングレードできなくなります。新しいフラッシュコンポーネントを以下のリンクのアドバイザーC02838375に記載された古いシステムROMリビジョンで作成することでシステムROMをダウングレードできます。 http://h20000.www2.hp.com/bizsupport/TechSupport/Document.jsp?locale=en_US&objectID=c02838375

提供名：

HP ProLiant DL785 G5/G6システムROM - A15

リリース日付：

2011/05/02

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2011/05/02

以前のリビジョン：

2009/12/04

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

システムROMアップデートの信頼性を向上させて、フラッシュ部分の予期しない破壊の可能性を減少させるために、システムフラッシュアップデートプロセスを改善しました。注：フラッシュアップグレードプロセスを改善するにはシステムROMとフラッシュアップデートユーティリティの変更が必要で、このリビジョンのシステムROMにアップデートした後、システムROMリビジョンをHPサポートサイトにあるフラッシュコンポーネントにダウングレードできなくなります。新しいフラッシュコンポーネントを以下のリンクのアドバイザーC02838375に記載された古いシステムROMリビジョンで作成することでシステムROMをダウングレードできます。
http://h20000.www2.hp.com/bizsupport/TechSupport/Document.jsp?locale=en_US&objectID=c02838375

修正された問題点：

システムROMがシステムエンクロージャーまたは、シャーシ（タイプ3）SMBIOSレコードにROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）のサーバー資産タグテキストラインに入力されたテキストを展開しない問題を修正しました。

ROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）の"BIOSシリアルコンソールボーレート"メニューの"57600"および"115200"オプションが選択および使用できない問題を修正しました。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

フラッシュアップグレードプロセスを改善するにはシステムROMとフラッシュアップデートユーティリティの変更が必要で、このリビジョンのシステムROMにアップデートした後、システムROMリビジョンをHPサポートサイトにあるフラッシュコンポーネントにダウングレードできなくなります。新しいフラッシュコンポーネントを以下のリンクのアドバイザーC02838375に記載された古いシステムROMリビジョンで作成することでシステムROMをダウングレードできます。 http://h20000.www2.hp.com/bizsupport/TechSupport/Document.jsp?locale=en_US&objectID=c02838375

ファームウェアの関連性 :

なし

修正された問題点 :

システムROMがシステムエンクロージャーまたは、シャーシ (タイプ3) SMBIOSレコードにROMベースセットアップユーティリティ (RBSU) のサーバー資産タグテキストラインに入力されたテキストを展開しない問題を修正しました。

ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU) の"BIOSシリアルコンソールポーレート"メニューの"57600"および"115200"オプションが選択および使用できない問題を修正しました。

既知の問題点 :

なし

拡張

システムROMアップデートの信頼性を向上させて、フラッシュ部分の予期しない破壊の可能性を減少させるために、システムフラッシュアップデートプロセスを改善しました。注: フラッシュアップグレードプロセスを改善するにはシステムROMとフラッシュアップデートユーティリティの変更が必要で、このリビジョンのシステムROMにアップデートした後、システムROMリビジョンをHPサポートサイトにあるフラッシュコンポーネントにダウングレードできなくなります。新しいフラッシュコンポーネントを以下のリンクのアドバイザリC02838375に記載された古いシステムROMリビジョンで作成することでシステムROMをダウングレードできます。

http://h20000.www2.hp.com/bizsupport/TechSupport/Document.jsp?locale=en_US&objectID=c02838375

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Linux - HP ProLiant DL980 G7 (P66) サーバー

バージョン: 2015.08.16 (推奨)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-p66-2015.08.16-1.1.i386.rpm

重要な注意!**重要な注意 :**

なし

提供名 :

HP ProLiant DL980 G7 システムROM - P66

リリースバージョン :

2015/08/16

最新の推奨またはクリティカルリビジョン :

2015/08/16

以前のリビジョン :

2014/08/15

ファームウェアの関連性 :

なし

改善点/新しい機能 :

なし

修正された問題点 :

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Linux - HP ProLiant ML350 G6 (D22) サーバー
バージョン: 2015.08.16 (推奨)
ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-d22-2015.08.16-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant ML350 G6 システムROM - D22

リリースバージョン：

2015/08/16

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2015/08/16

以前のリビジョン：

2013/07/02

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

修正**重要な注意：**

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Linux - HP ProLiant ML370 G6/DL370 G6 (P63) サーバー
バージョン: 2015.08.16 (推奨)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-p63-2015.08.16-1.1.i386.rpm

重要な注意！**重要な注意：**

なし

提供名：

HP ProLiant ML370 G6/DL370 G6 システムROM - P63

リリースバージョン：

2015/08/16

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2015/08/16

以前のリビジョン：

2013/07/02

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Linux - HP ProLiant SL335s G7 (A24) サーバー

バージョン: 2012.12.08 (C) (**推奨**)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-a24-2012.12.08-3.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

Ver. 2012.12.08 (C)はドキュメントのアップデートのみを含んでいて、機能的にVer. 2012.12.08と同等です。システムROMをバージョン2012.12.08にアップグレードするために以前のリリースのコンポーネントが使われた場合は、リリースCにアップグレードする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant SL335s G7 システムROM - A24

リリース日付：

2012/12/08

最新の推奨またはクリティカルリリース：

2012/12/08

以前のリリース：

2012/09/01

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

メモリーシステムの信頼性を改善するためにメモリーの設定を最適化しました。

オプションの拡張カードの最新の製品名およびROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）の言語の翻訳（英語以外のモードの場合）のアップデートが追加されました。

修正された問題点：

サーバーがリセットされるまたは起動できなくなる可能性のある問題を解決しました。システムのリセットまたは起動できなくなる可能性を最小限に抑えるために、サーバーのシステムROMをこのリビジョンにアップデートする必要があります。

業界標準ツール、オペレーティングシステムおよびHPユーティリティが予想よりも少ないレベル3（L3）キャッシュを報告することがある問題を解決しました。

2012/09/01のシステムROMにアップグレードした場合に、まれにシステムおよびIMLが訂正不可能なリセットを示すことがある問題を解決しました。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

Ver. 2012.12.08（C）はドキュメントのアップデートのみを含んでいて、機能的にVer. 2012.12.08と同等です。システムROMをバージョン2012.12.08にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンCにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

サーバーがリセットされるまたは起動できなくなる可能性のある問題を解決しました。システムのリセットまたは起動できなくなる可能性を最小限に抑えるために、サーバーのシステムROMをこのリビジョンにアップデートする必要があります。

業界標準ツール、オペレーティングシステムおよびHPユーティリティが予想よりも少ないレベル3（L3）キャッシュを報告することがある問題を解決しました。

2012/09/01のシステムROMにアップグレードした場合に、まれにシステムおよびIMLが訂正不可能なリセットを示すことがある問題を解決しました。

既知の問題点：

なし

拡張

メモリスシステムの信頼性を改善するためにメモリの設定を最適化しました。

オプションの拡張カードの最新の製品名およびROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）の言語の翻訳（英語以外のモードの場合）のアップデートが追加されました。

バージョン: 2015.08.16 (推奨)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-p69-2015.08.16-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HP ProLiant SL390s G7 システムROM - P69

リリース日付:

2015年8月16日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2015年8月16日

以前のリビジョン:

2013年7月2日

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの関連性:

なし

修正された問題点:

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Windows - HP ProLiant BL280c G6 (I22) サーバー

バージョン: 2015.08.16 (推奨)

ファイル名: cp028203.exe

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant BL280c G6 システムROM - I22

リリースバージョン：

2015/08/16

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2015/08/16

以前のリビジョン：

2013/07/02

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Windows - HP ProLiant BL2x220c G6 (I26) サーバー
バージョン: 2015.08.16 (推奨)
ファイル名: cp028182.exe

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant BL2x220c G6 システムROM - I26

リリースバージョン：

2015/08/16

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2015/08/16

以前のリビジョン：

2013/07/02

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Windows - HP ProLiant BL2x220c G7 (I29) サーバー
バージョン: 2015.08.16 (推奨)
ファイル名: cp028113.exe

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant BL2x220c G7 システムROM - I29

リリースバージョン：

2015年8月16日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2015年8月16日

以前のリビジョン：

2013年7月2日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防

ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Windows - HP ProLiant BL460c G6/WS460c G6 (I24) サーバー
バージョン: 2015.08.16 (推奨)

ファイル名: cp028176.exe

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant BL460c G6およびWS460c G6システムROM - I24

リリースバージョン：

2015/08/16

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2015/08/16

以前のリビジョン：

2015/01/22

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Windows - HP ProLiant BL460c G7 (I27) サーバー
バージョン: 2015.08.16 (推奨)
ファイル名: cp028124.exe

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant BL460c G7 システムROM - I27

リリースバージョン：

2015年8月16日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2015年8月16日

以前のリビジョン：

2013年7月2日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Windows - HP ProLiant BL465c G7 (A19) サーバー
バージョン: 2014.02.02 (B) (オプション)
ファイル名: cp023998.exe

重要な注意！**重要な注意：**

コンポーネントのパッケージがアップデートされました。製品の機能には影響ありません。

提供名：

HP ProLiant BL465c G7システムROM - A19

リリース日付：

2014/02/02

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2012/12/08

以前のリビジョン：

2012/12/08

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

AMD Opteron 6100または6200プロセッサで実行する場合にシステムが応答しなくなる、または予期しないリセットとなる非常にまれな状態を解決しました。

既知の問題点：

なし

修正**重要な注意：**

コンポーネントのパッケージがアップデートされました。製品の機能には影響ありません。

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

AMD Opteron 6100または6200プロセッサで実行する場合にシステムが応答しなくなる、または予想外のリセットとなる非常にまれな状態を解決しました。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Windows - HP ProLiant BL490c G6 (I21) サーバー
バージョン: 2015.08.16 (推奨)
ファイル名: cp028167.exe

重要な注意！**重要な注意：**

なし

提供名：

HP ProLiant BL490c G6 システムROM - I21

リリースバージョン：

2015/08/16

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2015/08/16

以前のリビジョン：

2013/07/02

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

修正**重要な注意：**

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Windows - HP ProLiant BL490c G7 (I28) サーバー
バージョン: 2015.08.16 (推奨)
ファイル名: cp028135.exe

重要な注意！**重要な注意：**

なし

提供名：

HP ProLiant BL490c G7 システムROM - I28

リリースバージョン：

2015年8月16日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2015年8月16日

以前のリビジョン：

2013年7月2日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

修正**重要な注意：**

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Windows - HP ProLiant BL680c G7/BL620c G7 (I25) サーバー
バージョン: 2015.08.16 (推奨)
ファイル名: cp028109.exe

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant BL680c G7/BL620c G7 システムROM - I25

リリースバージョン：

2015年8月16日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2015年8月16日

以前のリビジョン：

2013年7月1日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Windows - HP ProLiant BL685c G7 (A20) サーバー
バージョン: 2016.03.07 (推奨)
ファイル名: cp029829.exe

重要な注意！**重要な注意：**

なし

提供名：

HP ProLiant BL685c G7システムROM

リリースバージョン：

2016年3月7日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2016年3月7日

以前のリビジョン：

2014年9月3日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

システムROMのリビジョン09/03/2014に含まれているAMDマイクロコードのリビジョンでの問題により、プロセッサが仮想環境で予測不能のシステム動作に遭遇する可能性があるという、AMD Opteron 6300シリーズでの問題に対処しました。システムROMの09/03/2014リビジョンのみがこの問題の影響を受けます。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処したアップデートされたバージョンのAMDマイクロコードを含んでいます。この問題は、HP ProLiantサーバーに固有のものではなく、影響を受けたAMDマイクロコードを実装するプロセッサを使用するすべてのシステムに影響を及ぼします。システムROMのこのリビジョンで対応した問題の潜在的な深刻度のため、影響のあるシステムのシステムROMをアップグレードすることを強く推奨します。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

システムROMのリビジョン09/03/2014に含まれているAMDマイクロコードのリビジョンでの問題により、プロセッサが仮想環境で予測不能のシステム動作に遭遇する可能性があるという、AMD Opteron 6300シリーズでの問題に対処しました。システムROMの09/03/2014リビジョンのみがこの問題の影響を受けます。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処したアップデートされたバージョンのAMDマイクロコードを含んでいます。この問題は、HP ProLiantサーバーに固有のものではなく、影響を受けたAMDマイクロコードを実装するプロセッサを使用するすべてのシステムに影響を及ぼします。システムROMのこのリビジョンで対応した問題の潜在的な深刻度のため、影響のあるシステムのシステムROMをアップグレードすることを強く推奨します。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Windows - HP ProLiant DL320 G6/ML330 G6 (W07) サーバー
バージョン: 2015.08.16 (推奨)
ファイル名: cp028092.exe

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant ML330 G6およびDL320 G6システムROM - W07

リリースバージョン：

2015/08/16

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2015/08/16

以前のリビジョン：

2013/07/02

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Windows - HP ProLiant DL360 G6 (P64) サーバー
バージョン: 2015.08.16 (推奨)
ファイル名: cp028081.exe

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant DL360 G6 システムROM - P64

リリースバージョン：

2015/08/16

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2015/08/16

以前のリビジョン：

2015/01/22

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防

ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Windows - HP ProLiant DL360 G7 (P68) サーバー
バージョン: 2015.08.16 (推奨)
ファイル名: cp028088.exe

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant DL360 G7 システムROM - P68

リリースバージョン：

2015年8月16日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2015年8月16日

以前のリビジョン：

2013年7月2日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Windows - HP ProLiant DL380 G6 (P62) サーバー
バージョン: 2015.08.16 (推奨)
ファイル名: cp028078.exe

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant DL380 G6 システムROM - P62

リリースバージョン：

2015/08/16

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2015/08/16

以前のリビジョン：

2015/01/22

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

修正**重要な注意：**

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Windows - HP ProLiant DL380 G7 (P67) サーバー
バージョン: 2015.08.16 (推奨)
ファイル名: cp028139.exe

重要な注意！**重要な注意：**

なし

提供名：

HP ProLiant DL380 G7 システムROM - P67

リリースバージョン：

2015年8月16日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2015年8月16日

以前のリビジョン：

2013年7月2日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Windows - HP ProLiant DL385 G7 (A18) サーバー
バージョン: 2014.02.02 (B) (オプション)
ファイル名: cp023997.exe

重要な注意！

重要な注意：

コンポーネントのパッケージがアップデートされました。製品の機能には影響ありません。

提供名：

HP ProLiant DL385 G7システムROM - A18

リリース日付：

2014/02/02

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2012/12/08

以前のリビジョン：

2012/12/08

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

AMD Opteron 6100または6200プロセッサで実行する場合にシステムが応答しなくなる、または予期しないリセットとなる非常にまれな状態を解決しました。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

コンポーネントのパッケージがアップデートされました。製品の機能には影響ありません。

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

AMD Opteron 6100または6200プロセッサで実行する場合にシステムが応答しなくなる、または予期しないリセットとなる非常にまれな状態を解決しました。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Windows - HP ProLiant DL580 G7 (P65) サーバー
バージョン: 2015.08.16 (推奨)
ファイル名: cp028084.exe

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant DL580 G7 システムROM - P65

リリースバージョン：

2015年8月16日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2015年8月16日

以前のリビジョン：

2013年10月1日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Windows - HP ProLiant DL585 G7 (A16) サーバー

バージョン: 2016.03.07 (推奨)

ファイル名: cp029825.exe

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant DL585 G7システムROM

リリースバージョン：

2016年3月7日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2016年3月7日

以前のリビジョン：

2014年9月3日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

システムROMのリビジョン09/03/2014に含まれているAMDマイクロコードのリビジョンでの問題により、プロセッサが仮想環境で予測不能のシステム動作に遭遇する可能性があるという、AMD Opteron 6300シリーズでの問題に対処しました。システムROMの09/03/2014リビジョンのみがこの問題の影響を受けます。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処したアップデートされたバージョンのAMDマイクロコードを含んでいます。この問題は、HP ProLiantサーバーに固有のものではなく、影響を受けたAMDマイクロコードを実装するプロセッサを使用するすべてのシステムに影響を及ぼします。システムROMのこのリビジョンで対応した問題の潜在的な深刻度のため、影響のあるシステムのシステムROMをアップグレードすることを強く推奨します。

既知の問題点：

なし

修正**重要な注意：**

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

システムROMのリビジョン09/03/2014に含まれているAMDマイクロコードのリビジョンでの問題により、プロセッサが仮想環境で予測不能のシステム動作に遭遇する可能性があるという、AMD Opteron 6300シリーズでの問題に対処しました。システムROMの09/03/2014リビジョンのみがこの問題の影響を受けます。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処したアップデートされたバージョンのAMDマイクロコードを含んでいます。この問題は、HP ProLiantサーバーに固有のものではなく、影響を受けたAMDマイクロコードを実装するプロセッサを使用するすべてのシステムに影響を及ぼします。システムROMのこのリビジョンで対応した問題の潜在的な深刻度のため、影響のあるシステムのシステムROMをアップグレードすることを強く推奨します。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Windows - HP ProLiant DL785 G5/DL785 G6 (A15) サーバー
バージョン: 2011.05.02 (B) **(クリティカル)**
ファイル名: cp023992.exe

重要な注意！**重要な注意：**

コンポーネントのパッケージがアップデートされました。製品の機能には影響ありません。

システムROMとフラッシュアップデートユーティリティの変更を必要とするフラッシュアップグレードプロセスの改善を行ったため、このリビジョンのシステムROMにアップデートした後、システムROMリビジョンをHPサポートサイトにあるフラッシュコンポーネントにダウングレードできなくなります。新しいフラッシュコンポーネントを以下のリンクのアドバイザリC02838375に記載された古いシステムROMリビジョンで作成することでシステムROMをダウングレードできます。 http://h20000.www2.hp.com/bizsupport/TechSupport/Document.jsp?locale=en_US&objectID=c02838375

提供名：

リリース日付：

2011/05/02

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2011/05/02

以前のリビジョン：

12/04/2009

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

システムROMアップデートの信頼性を向上させて、フラッシュ部分の予期しない破壊の可能性を減少させるために、システムフラッシュアップデートプロセスを改善しました。注: システムROMとフラッシュアップデートユーティリティの変更を必要とするフラッシュアップグレードプロセスの改善を行ったため、このリビジョンのシステムROMにアップデートした後、システムROMリビジョンをHPサポートサイトにあるフラッシュコンポーネントにダウングレードできなくなります。新しいフラッシュコンポーネントを以下のリンクのアドバイザーC02838375に記載された古いシステムROMリビジョンで作成することでシステムROMをダウングレードできます。

http://h20000.www2.hp.com/bizsupport/TechSupport/Document.jsp?locale=en_US&objectID=c02838375

修正された問題点：

システムROMがシステムエンクロージャーまたは、シャーシ（タイプ3）SMBIOSレコードにROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）のサーバー資産タグテキストラインに入力されたテキストを展開しない問題を修正しました。

ROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）の"BIOSシリアルコンソールボーレート"メニューの"57600"および"115200"オプションが選択および使用できない問題を修正しました。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

コンポーネントのパッケージがアップデートされました。製品の機能には影響ありません。

システムROMとフラッシュアップデートユーティリティの変更を必要とするフラッシュアップグレードプロセスの改善を行ったため、このリビジョンのシステムROMにアップデートした後、システムROMリビジョンをHPサポートサイトにあるフラッシュコンポーネントにダウングレードできなくなります。新しいフラッシュコンポーネントを以下のリンクのアドバイザーC02838375に記載された古いシステムROMリビジョンで作成することでシステムROMをダウングレードできます。 http://h20000.www2.hp.com/bizsupport/TechSupport/Document.jsp?locale=en_US&objectID=c02838375

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

システムROMがシステムエンクロージャーまたは、シャーシ（タイプ3）SMBIOSレコードにROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）のサーバー資産タグテキストラインに入力されたテキストを展開しない問題を修正しました。

ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU) の"BIOSシリアルコンソールポーレート"メニューの"57600"および"115200"オプションが選択および使用できない問題を修正しました。

既知の問題点：

なし

拡張

システムROMアップデートの信頼性を向上させて、フラッシュ部分の予期しない破壊の可能性を減少させるために、システムフラッシュアップデートプロセスを改善しました。注：フラッシュアップグレードプロセスを改善するにはシステムROMとフラッシュアップデートユーティリティの変更が必要で、このリビジョンのシステムROMにアップデートした後、システムROMリビジョンをHPサポートサイトにあるフラッシュコンポーネントにダウングレードできなくなります。新しいフラッシュコンポーネントを以下のリンクのアドバイザリC02838375に記載された古いシステムROMリビジョンで作成することでシステムROMをダウングレードできます。

http://h20000.www2.hp.com/bizsupport/TechSupport/Document.jsp?locale=en_US&objectID=c02838375

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Windows - HP ProLiant DL980 G7 (P66) サーバー

バージョン: 2015.08.16 (推奨)

ファイル名: cp028145.exe

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant DL980 G7 システムROM - P66

リリースバージョン：

2015/08/16

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2015/08/16

以前のリビジョン：

2014/08/15

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Windows - HP ProLiant ML350 G6 (D22) サーバー
バージョン: 2015.08.16 (推奨)
ファイル名: cp028200.exe

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant ML350 G6 システムROM - D22

リリースバージョン：

2015/08/16

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2015/08/16

以前のリビジョン：

2013/07/02

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Windows - HP ProLiant ML370 G6/DL370 G6 (P63) サーバー
バージョン: 2015.08.16 (推奨)
ファイル名: cp028193.exe

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant ML370 G6/DL370 G6 システムROM - P63

リリースバージョン：

2015/08/16

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2015/08/16

以前のリビジョン：

2013/07/02

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Windows - HP ProLiant SL335s G7 (A24) サーバー
バージョン: 2012.12.08 (B) (推奨)
ファイル名: cp024000.exe

重要な注意！

重要な注意：

コンポーネントのパッケージがアップデートされました。製品の機能には影響ありません。

提供名：

HP ProLiant SL335s G7システムROM - A24

リリース日付：

2012/12/08

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2012/12/08

以前のリビジョン：

2012/09/01

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

メモリシステムの信頼性を改善するためにメモリの設定を最適化しました。

オプションの拡張カードの最新の製品名およびROMベースセットアップユーティリティ (RBSU) の言語の翻訳 (英語以外のモードの場合) のアップデートが追加されました。

修正された問題点：

サーバーがリセットされるまたは起動できなくなる可能性のある問題を解決しました。システムのリセットまたは

起動できなくなる可能性を最小限に抑えるために、サーバーのシステムROMをこのリビジョンにアップデートする必要があります。

業界標準ツール、オペレーティングシステムおよびHPユーティリティが予想よりも少ないレベル3 (L3) キャッシュを報告することがある問題を解決しました。

2012/09/01のシステムROMにアップグレードした場合に、まれにシステムおよびIMLが訂正不可能なリセットを示すことがある問題を解決しました。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

コンポーネントのパッケージがアップデートされました。製品の機能には影響ありません。

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

サーバーがリセットされるまたは起動できなくなる可能性のある問題を解決しました。システムのリセットまたは起動できなくなる可能性を最小限に抑えるために、サーバーのシステムROMをこのリビジョンにアップデートする必要があります。

業界標準ツール、オペレーティングシステムおよびHPユーティリティが予想よりも少ないレベル3 (L3) キャッシュを報告することがある問題を解決しました。

2012/09/01のシステムROMにアップグレードした場合に、まれにシステムおよびIMLが訂正不可能なリセットを示すことがある問題を解決しました。

既知の問題点：

なし

拡張

メモリシステムの信頼性を改善するためにメモリの設定を最適化しました。

オプションの拡張カードの最新の製品名およびROMベースセットアップユーティリティ (RBSU) の言語の翻訳 (英語以外のモードの場合) のアップデートが追加されました。

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Windows - HP ProLiant SL390s G7 (P69) サーバー
バージョン: 2015.08.16 (推奨)
ファイル名: cp028116.exe

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant SL390s G7 システムROM - P69

リリース日付：

2015年8月16日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2015年8月16日

以前のリビジョン：

2013年7月2日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE Apollo 4200 Gen9/HPE ProLiant XL420 Gen9 (U19) サーバー

バージョン: 2.40_02-17-2017 (オプション)

ファイル名: cp031678.exe

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

リリースバージョン :

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン :

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン :

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能 :

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点 :

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点 :

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意 :

なし

ファームウェアの依存関係 :

なし

修正された問題点 :

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPEデュアルSDカード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムの温度のロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHP RESTful API HPE BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HP ProLiant BL420c Gen8 (I30) サーバー
バージョン: 2014.11.03 (B) (**オプション**)
ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-i30-2014.11.03-2.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

Ver. 2014.11.03 (B)はファームウェアRPMインストールコマンド名の"cpqsetup"から"hpsetup"への変更を含んでいて、機能的にVer. 2014.11.03と同等です。システムROMをバージョン2014.11.03にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンBにアップグレードする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant BL420c Gen8 システムROM - I30

リリースバージョン：

2014/11/03

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2014/09/01

以前のリビジョン：

2014/09/01

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

Integrated Lights-Out (iLO)ファームウェアバージョン2.00以降で構成されたシステムが、HP Virtual Connectを通して正しくプラットフォームを構成できないことがある問題に対処しました。この問題は以前のバージョンのiLOファームウェアでは見られません。

既知の問題点：

なし

修正**重要な注意：**

バージョン2014.11.03 (B)は、“cpqsetup”から“hpsetup”へのファームウェアRPMインストールコマンド名の変更を含んでいて、機能的にバージョン2014.11.03と同じです。 システムROMをバージョン2014.11.03にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンBにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

Integrated Lights-Out (iLO)ファームウェアバージョン2.00以降で構成されたシステムが、HP Virtual Connectを通して正しくプラットフォームを構成できないことがある問題に対処しました。 この問題は以前のバージョンのiLOファームウェアでは見られません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HP ProLiant BL460c/WS460c Gen8 (I31) サーバー
バージョン: 2015.06.01 (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-i31-2015.06.01-1.1.i386.rpm

重要な注意！**重要な注意：**

なし

提供名：

HP ProLiant BL460c Gen8/WS460c Gen8 システムROM - I31

リリースバージョン：

2015/06/01

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013/12/20

以前のリビジョン：

2015/04/01

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

ATI S400x GPUアダプターで構成されたシステムが、熱イベントにより予想外のシャットダウンが発生することがある問題に対処しました。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

ATI S400x GPUアダプターで構成されたシステムが、熱イベントにより予想外のシャットダウンが発生することがある問題に対処しました。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HP ProLiant BL465c Gen8 (A26) サーバー

バージョン: 2016.03.07 (推奨)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-a26-2016.03.07-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant BL465c Gen8 システムROM - A26

リリースバージョン：

2016年3月7日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2016年3月7日

以前のリビジョン：

2014年11月2日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

システムROMのリビジョン09/03/2014と11/02/2014に含まれているAMDマイクロコードのリビジョンでの問題により、プロセッサが仮想環境で予測不能のシステム動作に遭遇する可能性があるという、AMD Opteron 6300シリー

ズでの問題に対処しました。システムROMの09/03/2014と11/02/2014リビジョンのみがこの問題の影響を受けま
す。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処したアップデートされたバージョンのAMDマイクロコード
を含んでいます。この問題は、HP ProLiantサーバーに固有のものではなく、影響を受けたAMDマイクロコードを実
装するプロセッサを使用するすべてのシステムに影響を及ぼします。システムROMのこのリビジョンで対応した
問題の潜在的な深刻度のため、影響のあるシステムのシステムROMをアップグレードすることを強く推奨します。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

システムROMのリビジョン09/03/2014と11/02/2014に含まれているAMDマイクロコードのリビジョンでの問題によ
り、プロセッサが仮想環境で予測不能のシステム動作に遭遇する可能性があるという、AMD Opteron 6300シリー
ズでの問題に対処しました。システムROMの09/03/2014と11/02/2014リビジョンのみがこの問題の影響を受けま
す。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処したアップデートされたバージョンのAMDマイクロコード
を含んでいます。この問題は、HP ProLiantサーバーに固有のものではなく、影響を受けたAMDマイクロコードを実
装するプロセッサを使用するすべてのシステムに影響を及ぼします。システムROMのこのリビジョンで対応した
問題の潜在的な深刻度のため、影響のあるシステムのシステムROMをアップグレードすることを強く推奨します。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HP ProLiant BL660c Gen8 (I32) サーバー

バージョン: 2015.12.01 (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-i32-2015.12.01-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant BL660c Gen8 システムROM - I32

リリースバージョン：

2015年12月1日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013年12月20日

以前のリビジョン：

2014年11月2日

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

特定の32GB LR-DIMMにより構成されたシステムで断続的に起こる、メモリが適切に機能せず、オペレーティングシステムで利用できない問題に対応しました。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

特定の32GB LR-DIMMにより構成されたシステムで断続的に起こる、メモリが適切に機能せず、オペレーティングシステムで利用できない問題に対応しました。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HP ProLiant DL160 Gen8 (J03) サーバー

バージョン: 2014.08.02 (D) **(推奨)**

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-j03-2014.08.02-4.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

システム冷却が最大効率で機能するように、システムROMのアップデートを推奨します。Ver. 2014.08.02 (D)はファームウェアRPMインストールコマンド名の"cpqsetup"から"hpsetup"への変更を含み、機能的にVer. 2014.08.02と同等です。システムROMをバージョン2014.08.02にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンDにアップグレードする必要はありません。さらに詳しい情報はhttp://h20564.www2.hp.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-c04619916のカスタマーアドバイザリを参照してください。

提供名：

HP ProLiant DL160 Gen8 システムROM - J03

リリース日付：

2014/08/02

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2014/08/02

以前のリビジョン：

2014/02/10

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

温度冷却ソリューションを改善しました。システムROMを2014年8月2日以降のバージョンにアップデートしてください。

ROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）にPCIe拡張デバイスの最新の名前のサポートを追加しました。

修正された問題点：

Intel Xeon E5-2600 v2シリーズプロセッサとチャンネルあたり2つまたは3つのDIMM構成のRegistered DIMM (RDIMM)で構成されたシステムが、特定のDIMMMが適切に初期化されないという207 - メモリ初期化エラーメッセージに遭遇する可能性があるまれな問題に対処しました。この問題は、システムリブート後に断続的に見られません。

オプションのビデオカードが搭載されている場合、POST中にサーバーが応答しなくなる可能性のある問題に対処しました。

特定のオプションカードが、非常に多くのプリフェッチ不可能メモリーを要求して正しく機能しない問題に対処しました。この問題は、少数の非HP製のオプションカードに対してだけ影響を与えます。

既知の問題点：

なし

修正**重要な注意：**

このシステムROMアップデートは、最大効率でシステム冷却が動作することを確実にするためにおすすめします。バージョン2014.08.02 (D)は、“cpqsetup”から“hpsetup”へのファームウェアRPMインストールコマンド名の変更を含んでいて、機能的にバージョン2014.08.0と同じです。システムROMをバージョン2014.08.02にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンDにアップグレードする必要はありません。その他の詳細については、http://h20564.www2.hp.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-c04619916でカスタマーアドバイザリを参照してください。

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

Intel Xeon E5-2600 v2シリーズプロセッサとチャンネルあたり2つまたは3つのDIMM構成のRegistered DIMM (RDIMM)で構成されたシステムが、特定のDIMMMが適切に初期化されないという207 - メモリ初期化エラーメッセージに遭遇する可能性があるまれな問題に対処しました。この問題は、システムリブート後に断続的に見られません。

オプションのビデオカードが搭載されている場合、POST中にサーバーが応答しなくなる可能性のある問題に対処しました。

特定のオプションカードが、非常に多くのプリフェッチ不可能メモリを要求して正しく機能しない問題に対処しました。この問題は、少数の非HP製のオプションカードに対してだけ影響を与えます。

既知の問題点：

なし

拡張

熱冷却ソリューションを改善し、2014年8月2日以降の日付のバージョンへシステムROMをアップデートします。

ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU) にPCIe拡張デバイスの最新の名前のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HP ProLiant DL320e Gen8 v2 (P80) サーバー

バージョン: 2015.04.02 (B) (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-p80-2015.04.02-2.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

Ver. 2015.04.02 (B)はファームウェアRPMインストールコマンド名の"cpqsetup"から"hpsetup"への変更を含んでいて、機能的にVer. 2015.04.02と同等です。システムROMをバージョン2015.04.02にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンBにアップグレードする必要はありません。

提供名:

HP ProLiant DL320e Gen8 v2 システムROM - P80

リリースバージョン:

2015/04/02

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2014/03/07

以前のリビジョン:

2014/03/28

ファームウェアの関連性:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

RBSU (ROMベースセットアップユーティリティ) の内蔵SATA構成メニューでSATA AHCIサポートが有効にされるか、RBSU (ROMベースセットアップユーティリティ) の内蔵SATA構成メニューでDynamic HP Smartアレイ B120i RAIDサポートが有効にされ、Dynamic HP SmartアレイB120i RAIDのオペレーティングシステムドライバーがロードされていない場合の過度に騒々しいファンノイズの問題に対処しました。

重圧力の環境でシステムに修正できないマシンチェックが発生する問題に対処しました。この問題はHPに固有のものではありません。これらの問題が起こっているユーザーは、ハードウェアコンポーネントを置き換える前に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨します。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

バージョン2015.04.02 (B)は、“cpqsetup”から“hpsetup”へのファームウェアRPMインストールコマンド名の変更を含んでいて、機能的にバージョン2015.04.02と同じです。システムROMをバージョン2015.04.02にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンBにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

RBSU（ROMベースセットアップユーティリティ）の内蔵SATA構成メニューでSATA AHCIサポートが有効にされるか、RBSU（ROMベースセットアップユーティリティ）の内蔵SATA構成メニューでDynamic HP Smartアレイ B120i RAIDサポートが有効にされ、Dynamic HP SmartアレイB120i RAIDのオペレーティングシステムドライバーがロードされていない場合の過度に騒々しいファンノイズの問題に対処しました。

負荷の重いシステムがUncorrectable Machine Checkを発生する可能性のある問題を解決しました。この問題は、HP製に固有のものではありません。この問題の発生は、ハードウェアコンポーネントを置き換える前に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることをおすすめします。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HP ProLiant DL320e Gen8 (J05) サーバー

バージョン: 2013.11.09 (D) (**オプション**)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-j05-2013.11.09-4.i386.rpm

重要な注意！**重要な注意：**

Ver. 2013.11.09 (D)はファームウェアRPMインストールコマンド名の"cpqsetup"から"hpsetup"への変更を含んでいて、機能的にVer. 2013.11.09と同等です。システムROMをバージョン2013.11.09にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンDにアップグレードする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant DL320e Gen8 システムROM - J05

リリース日付：

2013/11/09

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013/08/24

以前のリビジョン：

2013/08/24

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

ROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）の電源オン遅延オプションに15、30、45および60秒の遅延時間の追加オプションを(遅延なしとランダム遅延の以前のオプションに加えて)追加しました。これらの新しい機能を選択する場合は、システムがIntegrated Lights-Out (iLO) ファームウェアバージョン1.20以降を使用している必要があります。iLOファームウェアバージョン 1.20以降を持たずにシステムが新しいオプションの1つで構成される場合、電源オン遅延オプションは遅延なしオプションが選択されたように機能します。

USBドライブキーまたはハードディスクドライブのような有効なブートデバイスのシステムROMの検出を改善しました。以前、システムROMは[Non-System Disk Error]に結びつく無効なブートレコードを持つ起動可能メディアの起動を試みる可能性がありました。現在、いくつかの場合に、システムROMが無効なブートレコードを検出し、デ

バイスの起動をスキップすることができます。これで、システムROMは、ブートオーダーで次のデバイスの起動を試みることができます。

オプションの拡張カードの最新の製品名およびROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）の言語の翻訳（英語以外のモードの場合）のアップデートが追加されました。

修正された問題点：

なし

既知の問題点：

なし

拡張

重要な注意：

バージョン2013.11.09 (D)は、“cpqsetup”から“hpsetup”へのファームウェアRPMインストールコマンド名の変更を含んでいて、機能的にバージョン2013.11.09と同じです。システムROMをバージョン2013.11.09にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンDにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

ROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）の電源オン遅延オプションに15、30、45および60秒の遅延時間の追加オプションを(遅延なしとランダム遅延の以前のオプションに加えて)追加しました。これらの新しい機能を選択する場合は、システムがIntegrated Lights-Out (iLO) ファームウェアバージョン1.20以降を使用している必要があります。iLOファームウェアバージョン 1.20以降を持たずにシステムが新しいオプションの1つで構成される場合、電源オン遅延オプションは遅延なしオプションが選択されたように機能します。

USBドライブキーまたはハードディスクドライブのような有効なブートデバイスのシステムROMの検出を改善しました。以前、システムROMは[Non-System Disk Error]に結びつく無効なブートレコードを持つ起動可能メディアの起動を試みる可能性がありました。現在、いくつかの場合に、システムROMが無効なブートレコードを検出し、デバイスの起動をスキップすることができます。これで、システムROMは、ブートオーダーで次のデバイスの起動を試みることができます。

オプションの拡張カードの最新の製品名およびROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）の言語の翻訳（英語以外のモードの場合）のアップデートが追加されました。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HP ProLiant DL360e Gen8/DL380e Gen8 (P73) サーバー
バージョン: 2014.08.02 (D) (**オプション**)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-p73-2014.08.02-4.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

Ver. 2014.08.02 (D)はファームウェアRPMインストールコマンド名の“cpqsetup”から“hpsetup”への変更を含んでいて、機能的にVer. 2014.08.02と同等です。システムROMをバージョン2014.08.02にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンDにアップグレードする必要はありません。

提供名：

リリース日付：

2014/08/02

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013/12/20

以前のリビジョン：

2014/02/10

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

ROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）にPCIe拡張デバイスの最新の名前のサポートを追加しました。

修正された問題点：

オプションのビデオカードが搭載されている場合、POST中にサーバーが応答しなくなる可能性のある問題に対処しました。

特定のオプションカードが、非常に多くのプリフェッチ不可能メモリーを要求して正しく機能しない問題に対処しました。この問題は、少数の非HP製のオプションカードに対してだけ影響を与えます。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

バージョン2014.08.02 (D)は、“cpqsetup”から“hpsetup”へのファームウェアRPMインストールコマンド名の変更を含んでいて、機能的にバージョン2014.08.0と同じです。 システムROMをバージョン2014.08.02にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンDにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

オプションのビデオカードが搭載されている場合、POST中にサーバーが応答しなくなる可能性のある問題に対処しました。

特定のオプションカードが、非常に多くのプリフェッチ不可能メモリーを要求して正しく機能しない問題に対処しました。この問題は、少数の非HP製のオプションカードに対してだけ影響を与えます。

既知の問題点：

なし

拡張

ROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）にPCIe拡張デバイスの最新の名前のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HP ProLiant DL360p Gen8/DL360p Gen8 SE (P71) サーバー
バージョン: 2015.07.01 (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-p71-2015.07.01-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HP ProLiant DL360p Gen8/DL360p Gen8 SE システムROM - P71

リリース日付:

2015/07/01

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2013/12/20

以前のリビジョン:

2014/11/01

ファームウェアの関連性:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

デバイス割り込みが正しく処理されないことがあり、割り込みを失うまたは訂正不可能なマシンチェック例外となる問題に対処しました。この問題は、HP製サーバーに固有のものではありません。これらの問題が起こっているユーザーは、ハードウェアコンポーネントを置き換える前に、このリビジョンのシステムROMにアップデートすることをHPはおすすめます。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの関連性:

なし

修正された問題点:

デバイス割り込みが正しく処理されないことがあり、割り込みを失うまたは訂正不可能なマシンチェック例外となる問題に対処しました。この問題は、HP製サーバーに固有のものではありません。これらの問題が起こっているユーザーは、ハードウェアコンポーネントを置き換える前に、このリビジョンのシステムROMにアップデートすることをHPはおすすめます。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HP ProLiant DL380p Gen8 (P70) サーバー
バージョン: 2015.07.01 (オプション)
ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-p70-2015.07.01-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant DL380p Gen8システムROM - P70

リリース日付：

2015/07/01

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013/12/20

以前のリビジョン：

2014/08/02

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

デバイス割り込みが正しく処理されないことがあり、割り込みを失うまたは訂正不可能なマシンチェック例外となる問題に対処しました。この問題は、HP製サーバーに固有のものではありません。これらの問題が起こっているユーザーは、ハードウェアコンポーネントを置き換える前に、このリビジョンのシステムROMにアップデートすることをHPはおすすめします。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

デバイス割り込みが正しく処理されないことがあり、割り込みを失うまたは訂正不可能なマシンチェック例外となる問題に対処しました。この問題は、HP製サーバーに固有のものではありません。これらの問題が起こっているユーザーは、ハードウェアコンポーネントを置き換える前に、このリビジョンのシステムROMにアップデートすることをHPはおすすめします。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HP ProLiant DL385p Gen8 (A28) サーバー
バージョン: 2016.03.07 (推奨)
ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-a28-2016.03.07-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HP ProLiant DL385p Gen8 システムROM - A28

リリースバージョン:

2016年3月7日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2016年3月7日

以前のリビジョン:

2014年9月3日

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのリビジョン09/03/2014に含まれているAMDマイクロコードのリビジョンでの問題により、プロセッサが仮想環境で予測不能のシステム動作に遭遇する可能性があるという、AMD Opteron 6300シリーズでの問題に対処しました。システムROMの09/03/2014リビジョンのみがこの問題の影響を受けます。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処したアップデートされたバージョンのAMDマイクロコードを含んでいます。この問題は、HP ProLiantサーバーに固有のものではなく、影響を受けたAMDマイクロコードを実装するプロセッサを使用するすべてのシステムに影響を及ぼします。システムROMのこのリビジョンで対応した問題の潜在的な深刻度のため、影響のあるシステムのシステムROMをアップグレードすることを強く推奨します。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのレビジョン09/03/2014に含まれているAMDマイクロコードのレビジョンでの問題により、プロセッサが仮想環境で予測不能のシステム動作に遭遇する可能性があるという、AMD Opteron 6300シリーズでの問題に対処しました。システムROMの09/03/2014レビジョンのみがこの問題の影響を受けます。このレビジョンのシステムROMは、この問題に対処したアップデートされたバージョンのAMDマイクロコードを含んでいます。この問題は、HP ProLiantサーバーに固有のものではなく、影響を受けたAMDマイクロコードを実装するプロセッサを使用するすべてのシステムに影響を及ぼします。システムROMのこのレビジョンで対応した問題の潜在的な深刻度のため、影響のあるシステムのシステムROMをアップグレードすることを強く推奨します。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HP ProLiant DL560 Gen8 (P77) サーバー

バージョン: 2014.08.03 (D) (**オプション**)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-p77-2014.08.03-4.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

Ver. 2014.08.03 (D)はファームウェアRPMインストールコマンド名の"cpqsetup"から"hpsetup"への変更を含んでいて、機能的にVer. 2014.08.03と同等です。システムROMをバージョン2014.08.03にアップグレードするために以前のレビジョンのコンポーネントが使われた場合は、レビジョンDにアップグレードする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant DL560 Gen8 システムROM - P77

リリース日付：

2014/08/03

最新の推奨またはクリティカルレビジョン：

2013/12/20

以前のレビジョン：

2014/02/10

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU) にPCIe拡張デバイスの最新の名前のサポートを追加しました。

修正された問題点：

Intel Xeon E5-2600 v2シリーズプロセッサとチャンネルあたり2つまたは3つのDIMM構成のRegistered DIMM (RDIMM)で構成されたシステムが、特定のDIMMが適切に初期化されないという207 - メモリー初期化エラーメッセージに遭遇する可能性があるまれな問題に対処しました。この問題は、システムリブート後に断続的に見られません。

オプションのビデオカードが搭載されている場合、POST中にサーバーが応答なくなる可能性のある問題に対処しました。

特定のオプションカードが、非常に多くのプリフェッチ不可能メモリーを要求して正しく機能しない問題に対処しました。この問題は、少数の非HP製のオプションカードに対してだけ影響を与えます。

サーバーが、Intel Xeon E5-4600シリーズプロセッサで構成されている場合、iLOインテグレートドマネジメントログ(IML)に電源障害として通常記録される予期しないシャットダウンに遭遇することがある、ごくまれな問題に

対処しました。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

バージョン2014.08.03 (D)は、“cpqsetup”から“hpsetup”へのファームウェアRPMインストールコマンド名の変更を含んでいて、機能的にバージョン2014.08.03と同じです。システムROMをバージョン2014.08.03にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンDにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

Intel Xeon E5-2600 v2シリーズプロセッサとチャンネルあたり2つまたは3つのDIMM構成のRegistered DIMM (RDIMM)で構成されたシステムが、特定のDIMMMが適切に初期化されないという207 - メモリ初期化エラーメッセージに遭遇する可能性があるまれな問題に対処しました。この問題は、システムリブート後に断続的に見られません。

オプションのビデオカードが搭載されている場合、POST中にサーバーが応答しなくなる可能性のある問題に対処しました。

特定のオプションカードが、非常に多くのプリフェッチ不可能メモリを要求して正しく機能しない問題に対処しました。この問題は、少数の非HP製のオプションカードに対してだけ影響を与えます。

サーバーが、Intel Xeon E5-4600シリーズプロセッサで構成されている場合、iLOインテグレートドマネジメントログ(IML)に電源障害として通常記録される予期しないシャットダウンに遭遇することがある、ごくまれな問題に対処しました。

既知の問題点：

なし

拡張

ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU) にPCIe拡張デバイスの最新の名前のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HP ProLiant DL580 Gen8 (P79) サーバー

バージョン: 1.96_08-18-2016 (推奨)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-p79-1.96_2016_08_18-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant DL580 Gen8 システムROM - P79

リリースバージョン：

1.96_08_18_2016

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

1.96_08_18_2016

以前のリビジョン：

1.94_02_19_2016

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

温度構成設定がデフォルトの最適冷却となっている時のサーバーの温度冷却ソリューションを改良しています。ここでは組み込まれたHPE SmartアレイP830iコントローラーの部品障害や予期せぬシステムの挙動を引き起こす温度変動の問題について対処しています。

修正された問題点：

高い比率の修正可能なメモリエラーを経験しているシステムが、予期せぬリセットを起こしたり、インテグレートドマネジメントログ(IML)に致命的なエラーを書き込むという問題について対処しています。

既知の問題点：

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正**重要な注意：**

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

修正可能なメモリーエラーを高い頻度で経験したシステムに、予期せぬリセットが起こったり、インテグレートドマネジメントログ(IML)に致命的なエラーが記録されるといった問題を報告しました。

既知の問題点：

なし

拡張

サーバーの熱構成に関する設定が、内蔵された **HPE SmartアレイP830i** コントローラーの温度の変化が部品の欠陥や予期できないシステムの挙動をもたらすという課題が報告されているデフォルトの最適設定の状態にある場合のサーバーの冷却に関するソリューションを改良しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HP ProLiant MicroServer Gen8 (J06) サーバー

バージョン: 2015.11.02 (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-j06-2015.11.02-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant MicroServer Gen8 システムROM - J06

リリースバージョン：

2015年11月2日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013年8月24日

以前のリビジョン：

2015年7月16日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

インテルXeon E3-1220 v2プロセッサのサポートを追加しました。以前のリビジョンのシステムROMはこのプロセッサに対する適切なサーマルソリューションをサポートしていなかったため、このプロセッサには使用しないでください。

修正された問題点：

なし

既知の問題点：

なし

拡張

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

インテルXeon E3-1220 v2プロセッサのサポートを追加しました。以前のリビジョンのシステムROMはこのプロセッサに対する適切なサーマルソリューションをサポートしていなかったため、このプロセッサには使用しないでください。

既知の問題点：

なし

重要な注意：

Ver. 2013.08.16 (C)はコンポーネントパッケージのアップデートを含んでいて、機能的にVer. 2013.08.16と同等です。システムROMをバージョン2013.08.16にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンCにアップグレードする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant ML10システムROM - P88

リリースバージョン：

2013年8月16日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013年7月2日

以前のリビジョン：

2013年7月2日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

BL110i SATA RAIDデバイス用のROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）でIRQ設定を変更することができなかった問題を解決しました。

HP ProLiant ML10が内蔵SDカードスロットをサポートしていないため、ROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）のリムーバブルフラッシュメディア起動シーケンスオプションを削除しました。

ROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）でテキスト（英語以外のモードの場合）をアップデートしました。

既知の問題点：

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用“HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正**重要な注意：**

Ver. 2013.08.16 (C)はコンポーネントパッケージのアップデートを含んでいて、機能的にVer. 2013.08.16と同等です。システムROMをバージョン2013.08.16にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンCにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

BL110i SATA RAIDデバイス用のROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）でIRQ設定を変更することができなかつた問題を解決しました。

HP ProLiant ML10が内蔵SDカードスロットをサポートしていないため、ROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）のリムーバブルフラッシュメディア起動シーケンスオプションを削除しました。

ROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）でテキスト（英語以外のモードの場合）をアップデートしました。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HP ProLiant ML10 v2 (J10)サーバー

バージョン: 2015.02.02 (B) **(推奨)**

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-j10-2015.02.02-2.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

バージョン2015.02.02 (B)は、フラッシュドライバへのアップデートを含み、バージョン2015.02.02を置き換えます。バージョン2015.02.02 (B)に含まれている実際のファームウェアは、バージョン2015.02.02と同じため、バージョン2015.02.02がすでにインストールされている場合は、アップグレードする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant ML10 v2システムROM - J10

リリース日付：

2015/02/02

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

以前のリビジョン：

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

修正された問題点：

なし

既知の問題点：

なし

拡張

重要な注意：

バージョン2015.02.02 (B)は、フラッシュドライバへのアップデートを含み、バージョン2015.02.02を置き換えます。バージョン2015.02.02 (B)に含まれている実際のファームウェアは、バージョン2015.02.02と同じため、バージョン

ョン2015.02.02がすでにインストールされている場合は、アップグレードする必要はありません。

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HP ProLiant ML110 G7/DL120 G7 (J01) サーバー
バージョン: 2013.07.01 (B) **(クリティカル)**
ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-j01-2013.07.01-2.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

Ver. 2013.07.01 (B)はコンポーネントパッケージのアップデートを含んでいて、機能的にVer. 2013.07.01と同等です。システムROMをバージョン2013.07.01にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンBにアップグレードする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant ML110 G7およびDL120 G7システムROM - J01

リリースバージョン：

07/01/2013

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

07/01/2013

以前のリビジョン：

12/04/2012

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

特定の動作環境で発生する内部プロセッサマイクロアーキテクチャイベントのまれで複雑なシーケンスが予期しないページフォルト、一般保護違反またはマシンチェック例外や他の予測できないシステムの動作をサーバーシステムに引き起こすことがあったプロセッサの問題に対処しました。このサーバーでサポートされるすべてのプロセッサにこの問題がありますが、この問題の影響を受ける条件は、サーバーが仮想化環境で動作していて、Intel ハイパースレッディングが有効、Intel VT FlexPriorityおよび拡張ページテーブルを有効にしたハイパーバイザーを持ち、そして32ビットPAEページングモードを利用しているゲストOSがある場合だけです。この問題は、HP ProLiantサーバーに固有のものではなく、上記の条件で動作している影響を受けるプロセッサを利用するすべてのシステムに影響があります。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処したアップデートされたバージョンのIntelのマイクロコードを含んでいます。このリビジョンのシステムROMは、潜在的で深刻な問題に対応しているため、このシステムROMアップグレードは、重要な修正と考えられます。

既知の問題点：

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用“HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意：

Ver. 2013.07.01 (B)はコンポーネントパッケージのアップデートを含んでいて、機能的にVer. 2013.07.01と同等です。システムROMをバージョン2013.07.01にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンBにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

特定の動作環境で発生する内部プロセッサマイクロアーキテクチャーイベントのまれで複雑なシーケンスが予期しないページフォルト、一般保護違反またはマシンチェック例外や他の予測できないシステムの動作をサーバーシステムに引き起こすことがあったプロセッサの問題に対処しました。このサーバーでサポートされるすべてのプロセッサにこの問題がありますが、この問題の影響を受ける条件は、サーバーが仮想化環境で動作していて、Intelハイパースレッディングが有効、Intel VT FlexPriorityおよび拡張ページテーブルを有効にしたハイパーバイザーを持ち、そして32ビットPAEページングモードを利用しているゲストOSがある場合だけです。この問題は、HP ProLiantサーバーに固有のものではなく、上記の条件で動作している影響を受けるプロセッサを利用するすべてのシステムに影響があります。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処したアップデートされたバージョンのIntelのマイクロコードを含んでいます。このリビジョンのシステムROMは、潜在的で深刻な問題に対応しているため、このシステムROMアップグレードは、重要な修正と考えられます。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HP ProLiant ML310e Gen8 v2 (P78) サーバー

バージョン: 2014.03.28 (E) (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-p78-2014.03.28-5.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

Ver. 2014.03.28 (E)はファームウェアRPMインストールコマンド名の"cpqsetup"から"hpsetup"への変更を含んでいて、機能的にVer. 2014.03.28と同等です。システムROMをバージョン2014.03.28にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンEにアップグレードする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant ML310e Gen8 v2 システムROM - P78

リリース日付：

2014/03/28

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2014/03/08

以前のリビジョン：

2013/03/08

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

システムROMの2014/03/08リビジョンを使用するサーバーが、Trusted Platform Module (TPM)オペレーティングシステム認証テストに関する問題を引き起こしていた問題に対処しました。この問題は、通常のオペレーティングシステム環境におけるTPMの機能性に影響を与えません。この問題は、システムROM 2014/03/08 リビジョンのみに存在します。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

バージョン2014.03.28 (E)は、“cpqsetup”から“hpsetup”へのファームウェアRPMインストールコマンド名の変更を含んでいて、機能的にバージョン2014.03.28と同じです。システムROMをバージョン2014.03.28にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンEにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

システムROMの2014/03/08リビジョンを使用するサーバーが、Trusted Platform Module (TPM)オペレーティングシステム認証テストに関する問題を引き起こしていた問題に対処しました。この問題は、通常のオペレーティングシステム環境におけるTPMの機能性に影響を与えません。この問題は、システムROM 2014/03/08 リビジョンのみに存在します。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HP ProLiant ML310e Gen8 (J04) サーバー

バージョン: 2013.11.09 (C) (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-j04-2013.11.09-3.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

Ver. 2013.11.09 (C)はドキュメントのアップデートのみを含んでいて、機能的にVer. 2013.11.09と同等です。システムROMをバージョン2013.11.09にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンCにアップグレードする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant ML310e Gen8 システムROM - J04

リリース日付：

2013/11/09

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013/08/24

以前のリビジョン：

2013/08/24

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

ROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）の電源オン遅延オプションに15、30、45および60秒の遅延時間の追加オプションを(遅延なしとランダム遅延の以前のオプションに加えて)追加しました。これらの新しい機能を選択する場合は、システムがIntegrated Lights-Out (iLO) ファームウェアバージョン1.20以降を使用している必要があります。iLOファームウェアバージョン 1.20以降を持たずにシステムが新しいオプションの1つで構成される場合、電源オン遅延オプションは遅延なしオプションが選択されたように機能します。

USBドライブキーまたはハードディスクドライブのような有効なブートデバイスのシステムROMの検出を改善しました。以前、システムROMは[Non-System Disk Error]に結びつく無効なブートレコードを持つ起動可能メディアの起動を試みる可能性がありました。現在、いくつかの場合に、システムROMが無効なブートレコードを検出し、デバイスの起動をスキップすることができます。これで、システムROMは、ブートオーダーで次のデバイスの起動を試みることができます。

オプションの拡張カードの最新の製品名およびROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）の言語の翻訳（英語以外のモードの場合）のアップデートが追加されました。

修正された問題点：

なし

既知の問題点：

なし

拡張

重要な注意：

Ver. 2013.11.09 (C) はドキュメントのアップデートのみを含んでいて、機能的にVer. 2013.11.09と同等です。システムROMをバージョン2013.11.09にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンCにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

ROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）の電源オン遅延オプションに15、30、45および60秒の遅延時間の追加オプションを(遅延なしとランダム遅延の以前のオプションに加えて)追加しました。これらの新しい機能を選択する場合は、システムがIntegrated Lights-Out (iLO) ファームウェアバージョン1.20以降を使用している必要があります。iLOファームウェアバージョン 1.20以降を持たずにシステムが新しいオプションの1つで構成される場合、電源オン遅延オプションは遅延なしオプションが選択されたように機能します。

USBドライブキーまたはハードディスクドライブのような有効なブートデバイスのシステムROMの検出を改善しました。以前、システムROMは[Non-System Disk Error]に結びつく無効なブートレコードを持つ起動可能メディアの起動を試みる可能性がありました。現在、いくつかの場合に、システムROMが無効なブートレコードを検出し、

デバイスの起動をスキップすることができます。これで、システムROMは、ブートオーダーで次のデバイスの起動を試みることができます。

オプションの拡張カードの最新の製品名およびROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）の言語の翻訳（英語以外のモードの場合）のアップデートが追加されました。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HP ProLiant ML350e Gen8/ML350e Gen8 v2（J02）サーバー
バージョン: 2014.08.02 (D) (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-j02-2014.08.02-4.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

Ver. 2014.08.02 (D)はファームウェアRPMインストールコマンド名の"cpqsetup"から"hpsetup"への変更を含んでいて、機能的にVer. 2014.08.02と同等です。システムROMをバージョン2014.08.02にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンDにアップグレードする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant ML350e Gen8/ML350e Gen8 v2 システムROM - J02

リリース日付：

2014/08/02

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013/12/22

以前のリビジョン：

2014/02/10

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

ROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）にPCIe拡張デバイスの最新の名前のサポートを追加しました。

修正された問題点：

オプションのビデオカードが搭載されている場合、POST中にサーバーが応答しなくなる可能性のある問題に対処しました。

特定のオプションカードが、非常に多くのプリフェッチ不可能メモリーを要求して正しく機能しない問題に対処しました。この問題は、少数の非HP製のオプションカードに対してだけ影響を与えます。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

バージョン2014.08.02 (D)は、“cpqsetup”から“hpsetup”へのファームウェアRPMインストールコマンド名の変更を含んでいて、機能的にバージョン2014.08.0と同じです。システムROMをバージョン2014.08.02にアップグレードす

るために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンDにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

オプションのビデオカードが搭載されている場合、POST中にサーバーが応答しなくなる可能性のある問題に対処しました。

特定のオプションカードが、非常に多くのプリフェッチ不可能メモリを要求して正しく機能しない問題に対処しました。この問題は、少数の非HP製のオプションカードに対してだけ影響を与えます。

既知の問題点：

なし

拡張

ROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）にPCIe拡張デバイスの最新の名前のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HP ProLiant ML350p Gen8 (D72) サーバー

バージョン: 2015.07.01 (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-p72-2015.07.01-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant ML350p Gen8システムROM - P72

リリース日付：

2015/07/01

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013/12/20

以前のリビジョン：

2014/08/02

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

デバイス割り込みが正しく処理されないことがあり、割り込みを失うまたは訂正不可能なマシンチェック例外となる問題に対処しました。この問題は、HP製サーバーに固有のものではありません。これらの問題が起こっているユーザーは、ハードウェアコンポーネントを置き換える前に、このリビジョンのシステムROMにアップデートすることをHPはおすすめします。

既知の問題点：

なし

修正**重要な注意：**

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

デバイス割り込みが正しく処理されないことがあり、割り込みを失うまたは訂正不可能なマシンチェック例外となる問題に対処しました。この問題は、HP製サーバーに固有のものではありません。これらの問題が起こっているユーザーは、ハードウェアコンポーネントを置き換える前に、このリビジョンのシステムROMにアップデートすることをHPはおすすめします。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HP ProLiant SL210t Gen8 (P83) サーバー

バージョン: 2016.01.18 (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-p83-2016.01.18-1.1.i386.rpm

重要な注意！**重要な注意：**

なし

提供名：

HP ProLiant SL210t Gen8 システムROM - P83

リリースバージョン：

2016年1月18日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013年12月20日

以前のリビジョン：

2014年11月1日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

CPU温度センサーの誤ったしきい値がHP System Management Homepage (SMH) で報告された問題に対処しました。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

CPU温度センサーの誤ったしきい値がHP System Management Homepage (SMH) で報告された問題に対処しました。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HP ProLiant SL230s/SL250s/SL270s Gen8/SL270s Gen8 SE (P75) サーバー

バージョン: 2015.07.01 (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-p75-2015.07.01-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant SL230s/250s/270s Gen8/270s Gen8 SE システムROM - P75

リリースバージョン：

2015/07/01

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013/12/20

以前のリビジョン：

2015/05/01

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

デバイス割り込みが正しく処理されないことがあり、割り込みを失うまたは訂正不可能なマシンチェック例外となる問題に対処しました。この問題は、HP製サーバーに固有のものではありません。これらの問題が起こっているユーザーは、ハードウェアコンポーネントを置き換える前に、このリビジョンのシステムROMにアップデートすることをHPはおすすめします。

既知の問題点：

なし

修正**重要な注意：**

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

デバイス割り込みが正しく処理されないことがあり、割り込みを失うまたは訂正不可能なマシンチェック例外となる問題に対処しました。この問題は、HP製サーバーに固有のものではありません。これらの問題が起こっているユーザーは、ハードウェアコンポーネントを置き換える前に、このリビジョンのシステムROMにアップデートすることをHPはおすすめします。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HP ProLiant SL4540 Gen8 (P74) サーバー

バージョン: 2014.11.01 (B) (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-p74-2014.11.01-2.i386.rpm

重要な注意！**重要な注意：**

Ver. 2014.11.01 (B)はファームウェアRPMインストールコマンド名の"cpqsetup"から"hpsetup"への変更を含んでいて、機能的にVer. 2014.11.01と同等です。システムROMをバージョン2014.11.01にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンBにアップグレードする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant SL4540 Gen8 システムROM - P74

リリースバージョン：

2014/11/01

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013/12/20

以前のリビジョン：

2014/08/02

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

サーバーが、Intel Xeon E5-2400シリーズプロセッサで構成されている場合、iLOインテグレートドマネジメン
トログ(IML)に電源障害として通常記録される予期しないシャットダウンに遭遇することがある、ごくまれな問題に
対処しました。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

バージョン2014.11.01 (B)は、“cpqsetup”から“hpsetup”へのファームウェアRPMインストールコマンド名の変更を含
んでいて、機能的にバージョン2014.11.01と同じです。 システムROMをバージョン2014.11.01にアップグレードす
るために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンBにアップグレードする必要はありま
せん。

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

サーバーが、Intel Xeon E5-2400シリーズプロセッサで構成されている場合、iLOインテグレートドマネジメン
トログ(IML)に電源障害として通常記録される予期しないシャットダウンに遭遇することがある、ごくまれな問題に
対処しました。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HP ProLiant SL4545 G7 (A31)サーバー
バージョン: 2013.11.02 (B) (**オプション**)
ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-a31-2013.11.02-2.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

Ver. 2013.11.02 (B)はコンポーネントパッケージのアップデートを含んでいて、機能的にVer. 2013.11.02と同等で
す。システムROMをバージョン2013.11.02にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使わ
れた場合は、リビジョンBにアップグレードする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant SL4545 G7 システムROM - A31

リリースバージョン：

2013年11月2日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2012年12月8日

以前のリビジョン：

2013年6月5日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

ROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）にオプション拡張カードの最新の製品名を追加しました。

修正された問題点：

なし

既知の問題点：

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用“HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

拡張**重要な注意：**

Ver. 2013.11.02 (B)はコンポーネントパッケージのアップデートを含んでいて、機能的にVer. 2013.11.02と同等です。システムROMをバージョン2013.11.02にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンBにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

ROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）にオプション拡張カードの最新の製品名を追加しました。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HP ProLiant XL220a Gen8 v2 (P94)サーバー
バージョン: 2015.01.26 (B) (**オプション**)
ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-p94-2015.01.26-2.i386.rpm

重要な注意！**重要な注意：**

Ver. 2015.01.26 (B)はファームウェアRPMインストールコマンド名の"cpqsetup"から"hpsetup"への変更を含んでいて、機能的にVer. 2015.01.26と同等です。システムROMをバージョン2015.01.26にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンBにアップグレードする必要はありません。

System Programmable Logic DeviceのファームウェアはシステムROMとともにアップグレードする必要があります。下記のファームウェア依存のセクションを参照してください。

提供名：

HP ProLiant XL220a Gen8 v2 システムROM - P94

リリース日付：

2015/01/26

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2014/06/20

以前のリビジョン：

2014/06/20

ファームウェアの関連性：

System Programmable Logic Deviceバージョン0x15以降が必要です。System Programmable Logic Deviceファームウェアは次のリンクでダウンロードできます：

オンラインフラッシュコンポーネント for Linux - System Programmable Logic Device (HP ProLiant XL220a Gen8 v2)バージョン0x15：<https://downloads.hpe.com/pub/softlib2/software1/sc-linux-fw/p1150180434/v103815>

オンラインフラッシュコンポーネント for Win64 - System Programmable Logic Device (HP ProLiant XL220a Gen8 v2)バージョン0x15：<https://downloads.hpe.com/pub/softlib2/software1/sc-windows-fw/p1281588026/v103857>

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

重圧力の環境でシステムに修正できないマシンチェックが発生する問題に対処しました。この問題は以下のエラーとともにIntegrated Management Logに報告されます(Uncorrectable Machine Check Exception: APIC ID 0x00000004, Bank 0x00000003, Status 0xF2000000'00800400, Address 0x00000000'00000000, Misc 0x00000000'00000000)。この問題はHPに固有のものではありません。これらの問題が起こっているユーザーは、ハードウェアコンポーネントを置き換える前に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨します。

訂正不能なマシンチェック例外がサーバーの再起動を繰り返す、または応答を停止させる可能性がある問題を解決しました。この解決には、System Programmable Logic Deviceをバージョン0x15以降にアップグレードする必要があります。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

バージョン2015.01.26 (B)は、“cpqsetup”から“hpsetup”へのファームウェアRPMインストールコマンド名の変更を含んでいて、機能的にバージョン2015.01.26と同じです。システムROMをバージョン2015.01.26にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンBにアップグレードする必要はありません。

System Programmable Logic Deviceのファームウェアは、システムROMに加えてアップデートする必要があります。以下のファームウェアの関連性のセクションを参照してください。

ファームウェアの関連性：

System Programmable Logic Deviceバージョン0x15以降が必要です。System Programmable Logic Deviceファームウェアは、以下のリンクでダウンロード可能です。

オンラインフラッシュコンポーネント for Linux - System Programmable Logic Device (HP ProLiant XL220a Gen8 v2)バージョン0x15：<https://downloads.hpe.com/pub/softlib2/software1/sc-linux-fw/p1150180434/v103815>

オンラインフラッシュコンポーネント for Win64 - System Programmable Logic Device (HP ProLiant XL220a Gen8 v2)バージョン0x15：<https://downloads.hpe.com/pub/softlib2/software1/sc-windows-fw/p1281588026/v103857>

修正された問題点：

負荷の重いシステムがUncorrectable Machine Checkが発生する可能性のある問題を解決しました。この問題は、インテグレートドマネジメントログに次の詳細なエラーを記録します(Uncorrectable Machine Check Exception: APIC ID 0x00000004, Bank 0x00000003, Status 0xF2000000'00800400, Address 0x00000000'00000000, Misc

0x00000000'00000000)。この問題は、HP製に固有のものではありません。この問題の発生は、ハードウェアコンポーネントを置き換える前に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることをおすすめします。

Uncorrectable Machine Check例外がサーバーの再起動を繰り返す、または応答を停止させる可能性がある問題を解決しました。この解決には、System Programmable Logic Deviceをバージョン0x15以降にアップグレードすることが必要です。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant BL460c Gen9/WS460c Gen9 (I36) サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (B) (**オプション**)
ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-i36-2.40_2017_02_17-2.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名：

HPE ProLiant BL460c Gen9/WS460c Gen9 システムROM - I36

リリースバージョン：

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン：

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用“HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意：

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant BL660c Gen9(i386)サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (B) (**オプション**)
ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-i38-2.40_2017_02_17-2.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名：

HPE ProLiant BL660c Gen9 システムROM - I38

リリースバージョン：

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン：

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用“HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正**重要な注意：**

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点 :

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点 :

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL120 Gen9 (P86)サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (B) (**オプション**)
ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-p86-2.40_2017_02_17-2.1.i386.rpm

重要な注意 !

重要な注意 :

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名 :

HPE ProLiant DL120 Gen9 システムROM - P86

リリースバージョン :

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン :

2.20_05-05-2016

以前のリリース :

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能 :

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点 :

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点 :

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用“HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意 :

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevisionがROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点 :

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL160 Gen9/DL180 Gen9 (U20) サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (B) (**オプション**)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-u20-2.40_2017_02_17-2.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名：

HPE ProLiant DL160/DL180 Gen9 システムROM - U20

リリースバージョン：

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン：

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用“HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意：

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL20 Gen9(U22)サーバー

バージョン: 2.10_02-21-2017 (B) (推奨)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-u22-2.10_2017_02_21-2.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

2.10_02-21-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.10_02-21-2017と同等です。ROMシステムが2.10_02-21-2017へアップグレードされている場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.10_02-21-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名:

HPE ProLiant DL20 Gen9 システムROM - U22

リリースバージョン:

2.10_02-21-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.10_02-21-2017

以前のリビジョン:

2.00_01-17-2017

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

Intelの技術アドバイザリーに従って Intel® ダイレクトコネクタインターフェイス(DCI)の問題を解決しました。この問題は、HPE ProLiantサーバーに固有のものではなく、影響を受けたチップセットを使用するすべてのシステムにインパクトを及ぼします。

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用“HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意：

2.10_02-21-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.10_02-21-2017と同等です。ROMシステムが2.10_02-21-2017へアップグレードされている場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.10_02-21-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点：

Intelの技術アドバイザリーに従って Intel® ダイレクトコネクインターフェイス(DCI)の問題を解決しました。この問題は、HPE ProLiantサーバーに固有のものではなく、影響を受けたチップセットを使用するすべてのシステムにインパクトを及ぼします。

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL380 Gen9/DL360 Gen9 (P89)サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (B) (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-p89-2.40_2017_02_17-2.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevisionがROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名：

リリースバージョン :

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン :

2.22_07-18-2016

以前のリビジョン :

2.30_09-13-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能 :

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点 :

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点 :

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用“HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意 :

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL560 Gen9(P85)サーバー

バージョン: 2.40_02-17-2017 (B) (**オプション**)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-p85-2.40_2017_02_17-2.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名：

HPE ProLiant DL560 Gen9 システムROM - P85

リリースバージョン：

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン：

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能：

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用“HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意：

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL580 Gen9 (U17)サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (B) **(オプション)**
ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-u17-2.40_2017_02_17-2.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名:

HPE ProLiant DL580 Gen9 システムROM - U17

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.22_07-21-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログ

のみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用“HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意：

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevisionがROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL60 Gen9/DL80 Gen9 (U15)サーバー

バージョン: 2.40_02-17-2017 (B) (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-u15-2.40_2017_02_17-2.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名：

HPE ProLiant DL60 Gen9/DL80 Gen9 システムROM - U15

リリースバージョン：

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン：

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用“HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意：

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードす

るために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant ML110 Gen9(P99)サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (B) (**オプション**)
ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-p99-2.40_2017_02_17-2.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名:

HPE ProLiant ML110 Gen9 システムROM - P99

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン：

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用“HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正**重要な注意：**

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant ML150 Gen9(P95)サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (B) (**オプション**)
ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-p95-2.40_2017_02_17-2.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名：

HPE ProLiant ML150 Gen9 システムROM - P95

リリースバージョン：

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン：

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用“HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意：

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant ML30 Gen9(U23)サーバー

バージョン: 2.10_02-21-2017 (B) (推奨)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-u23-2.10_2017_02_21-2.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

2.10_02-21-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.10_02-21-2017と同等です。ROMシステムが2.10_02-21-2017へアップグレードされている場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.10_02-21-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名:

HPE ProLiant ML30 Gen9 システムROM - U23

リリースバージョン:

2.10_02-21-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.10_02-21-2017

以前のリビジョン:

2.00_01-17-2017

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

Intelの技術アドバイザリーに従って Intel® ダイレクトコネクタインターフェイス(DCI)の問題を解決しました。この問題は、HPE ProLiantサーバーに固有のものではなく、影響を受けたチップセットを使用するすべてのシステムにインパクトを及ぼします。

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用“HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意：

2.10_02-21-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.10_02-21-2017と同等です。ROMシステムが2.10_02-21-2017へアップグレードされている場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.10_02-21-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点：

Intelの技術アドバイザリーに従って Intel® ダイレクトコネクインターフェイス(DCI)の問題を解決しました。この問題は、HPE ProLiantサーバーに固有のものではなく、影響を受けたチップセットを使用するすべてのシステムにインパクトを及ぼします。

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant ML350 Gen9(P92)サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (B) (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-p92-2.40_2017_02_17-2.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevisionがROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名：

リリースバージョン :

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン :

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン :

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能 :

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点 :

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点 :

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用“HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意 :

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen9 (U14)サーバー

バージョン: 2.40_02-17-2017 (B) (**オプション**)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-u14-2.40_2017_02_17-2.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名：

HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen9 システムROM - U14

リリースバージョン：

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン：

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能：

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MACノードが示す場所は、エンクロージャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用“HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意：

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MACノードが示す場所は、エンクロージャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant XL230a/XL250a Gen9(U13)サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (B) (オプション)
ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-u13-2.40_2017_02_17-2.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名：

HPE ProLiant XL230a/XL250a Gen9 システムROM - U13

リリースバージョン：

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン：

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MACノードが示す場所は、エンクロージャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用“HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意：

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MACノードが示す場所は、エンクロージャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant XL450 Gen9(U21)サーバー

バージョン: 2.40_02-17-2017 (B) (**オプション**)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-u21-2.40_2017_02_17-2.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名：

HPE ProLiant XL450 Gen9 システムROM - U21

リリースバージョン：

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン：

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MACノードが示す場所は、エンクロージャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログ

のみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用“HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意：

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevisionがROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MAC ノードが示す場所は、エンクロージャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant XL730f/XL740f/XL750f Gen9(U18)サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (B) (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-u18-2.40_2017_02_17-2.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名：

HPE ProLiant XL730f/XL740f/XL750f Gen9 システムROM - U18

リリースバージョン：

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン：

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MACノードが示す場所は、エンクロージャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用“HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意：

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevisionがROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MACノードが示す場所は、エンクロージャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi- HP ProLiant DL580 Gen8 (P79) サーバー
バージョン: 1.96_08-18-2016 (**推奨**)
ファイル名: CP030701.zip

重要な注意！**重要な注意：**

なし

提供名：

HP ProLiant DL580 Gen8 システムROM - P79

リリースバージョン：

1.96_08_18_2016

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

1.96_08_18_2016

以前のリリース :

1.94_02_19_2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能 :

温度構成設定がデフォルトの最適冷却となっている時のサーバーの温度冷却ソリューションを改良しています。ここでは組み込まれたHPE SmartアレイP830iコントローラーの部品障害や予期せぬシステムの挙動を引き起こす温度変動の問題について対処しています。

修正された問題点 :

高い比率の修正可能なメモリエラーを経験しているシステムが、予期せぬリセットを起こしたり、インテグレートドマネジメントログ(IML)に致命的なエラーを書き込むという問題について対処しています。

既知の問題点 :

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) をインストールおよび実行する必要があります。

ESXi 5.1、5.5およびESXi 6.0の最小iLOバージョンは1.4です。

2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールおよび実行する必要があります。

ESXi 5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

ESXi 5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

ESXi 6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

修正

重要な注意 :

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点 :

修正可能なメモリエラーを高い頻度で経験したシステムに、予期せぬリセットが起こったり、インテグレートドマネジメントログ(IML)に致命的なエラーが記録されるといった問題を報告しました。

既知の問題点 :

なし

拡張

サーバーの熱構成に関する設定が、内蔵された **HPE SmartアレイP830i** コントローラーの温度の変化が部品の欠陥や予期できないシステムの挙動をもたらすという課題が報告されているデフォルトの最適設定の状態にある場合の

サーバーの冷却に関するソリューションを改良しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE Apollo 4200 Gen9/HPE ProLiant XL420 Gen9 (U19)サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (オプション)
ファイル名: CP031680.zip

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Apollo 4200 Gen9/HPE ProLiant XL420 Gen9システムROM - U19

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. “HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF) をインストールされて稼働している必要があります。

す。

ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. “Compaq ROM Utility Driver” (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の“HPE Agentless Management Service Offline Bundle”からも入手できます。

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムの温度のロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHP RESTful API HPE BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant BL460c Gen9/WS460c Gen9 (I36) サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (オプション)

ファイル名: CP031702.zip

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

リリースバージョン :

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン :

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン :

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能 :

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点 :

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点 :

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. “HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF) をインストールされて稼働している必要があります。

ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. “Compaq ROM Utility Driver” (CRU) をインストールされて稼働している必要があります。

5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の“HPE Agentless Management Service Offline Bundle”からも入手できます。

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムの温度のロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHP RESTful API HPE BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant BL660c Gen9 (I38) サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (オプション)
ファイル名: CP031621.zip

重要な注意！**重要な注意：**

なし

提供名：

HPE ProLiant BL660c Gen9 システムROM - I38

リリースバージョン：

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン：

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. “HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. “Compaq ROM Utility Driver” (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の“HPE Agentless Management Service Offline Bundle”からも入手できます。

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムの温度のロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHP RESTful API HPE BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant DL120 Gen9 (P86)サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (オプション)
ファイル名: CP031699.zip

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HPE ProLiant DL120 Gen9 システムROM - P86

リリースバージョン：

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン：

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. “HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.1、5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. “Compaq ROM Utility Driver” (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

ESXi 5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

ESXi 6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の“HPE Agentless Management Service Offline Bundle”からも入手できます。

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant DL160 Gen9/DL180 Gen9 (U20) サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (オプション)
ファイル名: CP031718.zip

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL160/DL180 Gen9 システムROM - U20

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. “HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. “Compaq ROM Utility Driver” (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の“HPE Agentless Management Service Offline Bundle”からも入手できます。

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムの温度のロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHP RESTful API HPE BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HPE ProLiant DL20 Gen9 システムROM - U22

リリースバージョン：

2.10_02-21-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.10_02-21-2017

以前のリビジョン：

2.00_01-17-2017

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

Intelの技術アドバイザリーに従って Intel® ダイレクトコネクトインターフェイス(DCI) の問題を解決しました。この問題は、HPE ProLiantサーバーに固有のものではなく、影響を受けたチップセットを使用するすべてのシステムにインパクトを及ぼします。

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. “HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.5、ESXi 6.0、ESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. “Compaq ROM Utility Driver” (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、および5.5用のOS固有の“HPE Agentless

Management Service Offline Bundle”からも入手できます。

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

Intelの技術アドバイザリーに従って Intel® ダイレクトコネクต์インターフェイス(DCI)の問題を解決しました。この問題は、HPE ProLiantサーバーに固有のものではなく、影響を受けたチップセットを使用するすべてのシステムにインパクトを及ぼします。

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHP RESTful API HPE BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant DL380 Gen9/DL360 Gen9 (P89)サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (オプション)
ファイル名: CP031674.zip

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HPE ProLiant DL360/DL380 Gen9 システムROM - P89

リリースバージョン：

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.22_07-18-2016

以前のリビジョン：

2.30_09-13-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. “HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.1、5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. “Compaq ROM Utility Driver” (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

ESXi 5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

ESXi 6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の“HPE Agentless Management Service Offline Bundle”からも入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant DL560 Gen9 (P85) サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (オプション)
ファイル名: CP031637.zip

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HPE ProLiant DL560 Gen9 システムROM - P85

リリースバージョン：

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン：

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. “HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. “Compaq ROM Utility Driver” (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の“HPE Agentless Management Service Offline Bundle”からも入手できます。

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant DL580 Gen9 (U17)サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (オプション)
ファイル名: CP031500.zip

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HPE ProLiant DL580 Gen9 システムROM - U17

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.22_07-21-2016

以前のリビジョン：

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. “HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.5、ESXi 6.0、ESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. “Compaq ROM Utility Driver” (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

ESXi 6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、および5.5用のOS固有の“HPE Agentless Management Service Offline Bundle”からも入手できます。

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant DL60 Gen9/DL80 Gen9 (U15)サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (オプション)
ファイル名: CP031684.zip

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL60 Gen9/DL80 Gen9 システムROM - U15

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. “HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.1、5.5およびESXi 6.0の最小iLOバージョンは1.4です。

2. “Compaq ROM Utility Driver” (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

ESXi 5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

ESXi 6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の“HPE Agentless Management Service Offline Bundle”からも入手できます。

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HPE ProLiant ML110 Gen9 システムROM - P99

リリースバージョン：

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン：

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. “HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF) をインストールされて稼働している必要があります。

ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. “Compaq ROM Utility Driver” (CRU) をインストールされて稼働している必要があります。

5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の“HPE Agentless Management Service Offline Bundle”からも入手できます。

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムの温度のロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHP RESTful API HPE BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant ML150 Gen9 (P95) サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (オプション)
ファイル名: CP031665.zip

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HPE ProLiant ML150 Gen9 システムROM - P95

リリースバージョン：

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.20_05-05-2016

以前のリリース :

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能 :

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点 :

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点 :

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. “HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF) をインストールされて稼働している必要があります。

ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. “Compaq ROM Utility Driver” (CRU) をインストールされて稼働している必要があります。

5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の“HPE Agentless Management Service Offline Bundle”からも入手できます。

修正**重要な注意 :**

なし

ファームウェアの依存関係 :

なし

修正された問題点 :

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムの温度のロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHP RESTful API HPE BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant ML30 Gen9 (U23) サーバー
バージョン: 2.10_02-21-2017 (**推奨**)
ファイル名: CP031981.zip

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HPE ProLiant ML30 Gen9 システムROM - U23

リリースバージョン：

2.10_02-21-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.10_02-21-2017

以前のリビジョン：

2.00_01-17-2017

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

Intelの技術アドバイザーに従って Intel® ダイレクトコネクトインターフェイス(DCI) の問題を解決しました。この問題は、HPE ProLiantサーバーに固有のものではなく、影響を受けたチップセットを使用するすべてのシステムにインパクトを及ぼします。

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. “HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.5、ESXi 6.0、ESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. “Compaq ROM Utility Driver” (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、および5.5用のOS固有の“HPE Agentless Management Service Offline Bundle”からも入手できます。

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

Intelの技術アドバイザーに従って Intel® ダイレクトコネクトインターフェイス(DCI) の問題を処理しました。この問題は、HPE ProLiantサーバーに固有のものではなく、影響を受けたチップセットを使用するすべてのシステムにインパクトを及ぼします。

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を処理しました。この問題はシステムがウォームブートを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHP RESTful API HPE BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant ML350 Gen9 (P92) サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (オプション)
ファイル名: CP031615.zip

重要な注意！**重要な注意：**

なし

提供名：

HPE ProLiant ML350 Gen9 システムROM - P92

リリースバージョン：

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン：

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. “HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. “Compaq ROM Utility Driver” (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の“HPE Agentless Management Service Offline Bundle”からも入手できます。

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen9 システムROM - U14

リリースバージョン：

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン：

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MACノードが示す場所は、エンクロージャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. “HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. “Compaq ROM Utility Driver” (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。
6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。
6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の“HPE Agentless Management Service Offline Bundle”からも入手できます。

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MAC ノードが示す場所は、エンクロージャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant XL450 Gen9 (U21) サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (オプション)
ファイル名: CP031670.zip

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HPE ProLiant XL450 Gen9 システムROM - U21

リリースバージョン :

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン :

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン :

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能 :

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点 :

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MACノードが示す場所は、エンクロージャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点 :

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. “HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. “Compaq ROM Utility Driver” (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の“HPE Agentless Management Service Offline Bundle”からも入手できます。

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MACノードが示す場所は、エンクロージャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムの温度のロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHP RESTful API HPE BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP ProLiant BL420c Gen8 (I30) サーバー
バージョン: 2014.11.03 (B) (オプション)
ファイル名: CP026028.zip

重要な注意！**重要な注意：**

Ver. 2014.11.03 (B)はコンポーネントパッケージのアップデートを含んでいて、機能的にVer. 2014.11.03と同等です。システムROMをバージョン2014.11.03にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンBにアップグレードする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant BL420c Gen8 システムROM - I30

リリース日付：

2014/11/03

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2014/09/01

以前のリビジョン：

2014/09/01

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

Integrated Lights-Out (iLO)ファームウェアバージョン2.00以降で構成されたシステムが、HP Virtual Connectを通して正しくプラットフォームを構成できないことがある問題に対処しました。この問題は以前のバージョンのiLOファームウェアでは見られません。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

Ver. 2014.11.03 (B) はコンポーネントパッケージのアップデートを含んでいて、機能的にVer. 2014.11.03と同等です。システムROMをバージョン2014.11.03にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンBにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

Integrated Lights-Out (iLO)ファームウェアバージョン2.00以降で構成されたシステムが、HP Virtual Connectを通して正しくプラットフォームを構成できないことがある問題に対処しました。この問題は以前のバージョンのiLOファームウェアでは見られません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP ProLiant BL460c G7 (I27) サーバー

バージョン: 2015.08.16 (推奨)

ファイル名: CP028127.zip

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant BL460c G7 システムROM - I27

リリースバージョン：

2015年8月16日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2015年8月16日

以前のリビジョン：

2013年7月2日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

修正**重要な注意：**

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP ProLiant BL460c/WS460c Gen8 (I31) サーバー
バージョン: 2015.06.01 (オプション)
ファイル名: CP027282.zip

重要な注意！**重要な注意：**

なし

提供名：

HP ProLiant BL460c Gen8/WS460c Gen8 システムROM - I31

リリースバージョン：

2015/06/01

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013/12/20

以前のリビジョン：

2015/04/01

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

ATI S4000x GPUアダプターで構成されたシステムが、熱イベントにより予想外のシャットダウンが発生することがある問題に対処しました。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

ATI S4000x GPUアダプターで構成されたシステムが、熱イベントにより予想外のシャットダウンが発生することがある問題に対処しました。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP ProLiant BL465c G7 (A19) サーバー

バージョン: 2014.02.02 (C) (オプション)

ファイル名: CP026050.zip

重要な注意！

重要な注意：

Ver. 2014.02.02 (C)はコンポーネントパッケージのアップデートを含んでいて、機能的にVer. 2014.02.02と同等です。システムROMをバージョン2014.02.02にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンCにアップグレードする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant BL465c G7 システムROM - A19

リリース日付：

2014/02/02

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2012/12/08

以前のリビジョン：

2012/12/08

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

AMD Opteron 6100または6200プロセッサで実行する場合にシステムが応答しなくなる、または予想外のリセットとなる非常にまれな状態を解決しました。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

Ver. 2014.02.02 (C) はコンポーネントパッケージのアップデートを含んでいて、機能的にVer. 2014.02.02と同等です。 システムROMをバージョン2014.02.02にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンCにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

AMD Opteron 6100または6200プロセッサで実行する場合にシステムが応答しなくなる、または予想外のリセットとなる非常にまれな状態を解決しました。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP ProLiant BL465c Gen8 (A26) サーバー

バージョン: 2016.03.07 (推奨)

ファイル名: CP029836.zip

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant BL465c Gen8 システムROM - A26

リリースバージョン：

2016年3月7日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2016年3月7日

以前のリビジョン：

2014年11月2日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

システムROMのリビジョン09/03/2014と11/02/2014に含まれているAMDマイクロコードのリビジョンでの問題により、プロセッサが仮想環境で予測不能のシステム動作に遭遇する可能性があるという、AMD Opteron 6300シリーズでの問題に対処しました。システムROMの09/03/2014と11/02/2014リビジョンのみがこの問題の影響を受けません。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処したアップデートされたバージョンのAMDマイクロコードを含んでいます。この問題は、HP ProLiantサーバーに固有のものではなく、影響を受けたAMDマイクロコードを実装するプロセッサを使用するすべてのシステムに影響を及ぼします。システムROMのこのリビジョンで対応した問題の潜在的な深刻度のため、影響のあるシステムのシステムROMをアップグレードすることを強く推奨します。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

システムROMのリビジョン09/03/2014と11/02/2014に含まれているAMDマイクロコードのリビジョンでの問題により、プロセッサが仮想環境で予測不能のシステム動作に遭遇する可能性があるという、AMD Opteron 6300シリーズでの問題に対処しました。システムROMの09/03/2014と11/02/2014リビジョンのみがこの問題の影響を受けません。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処したアップデートされたバージョンのAMDマイクロコードを含んでいます。この問題は、HP ProLiantサーバーに固有のものではなく、影響を受けたAMDマイクロコードを実装するプロセッサを使用するすべてのシステムに影響を及ぼします。システムROMのこのリビジョンで対応した問題の潜在的な深刻度のため、影響のあるシステムのシステムROMをアップグレードすることを強く推奨します。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP ProLiant BL490c G7 (I28) サーバー
バージョン: 2015.08.16 (推奨)
ファイル名: CP028138.zip

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

リリースバージョン :

2015年8月16日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン :

2015年8月16日

以前のリビジョン :

2013年7月2日

ファームウェアの依存関係 :

なし

改善点/新しい機能 :

なし

修正された問題点 :

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点 :

なし

修正

重要な注意 :

なし

ファームウェアの関連性 :

なし

修正された問題点 :

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点 :

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP ProLiant BL660c Gen8 (I32) サーバー
バージョン: 2015.12.01 (オプション)
ファイル名: CP029001.zip

重要な注意 !

重要な注意 :

なし

提供名 :

HP ProLiant BL660c Gen8 システムROM - I32

リリースバージョン :

2015年12月1日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン :

2013年12月20日

以前のリビジョン :

2014年11月2日

ファームウェアの関連性 :

なし

改善点/新しい機能 :

なし

修正された問題点 :

特定の32GB LR-DIMMにより構成されたシステムで断続的に起こる、メモリが適切に機能せず、オペレーティングシステムで利用できない問題に対応しました。

既知の問題点 :

なし

修正**重要な注意 :**

なし

ファームウェアの関連性 :

なし

修正された問題点 :

特定の32GB LR-DIMMにより構成されたシステムで断続的に起こる、メモリが適切に機能せず、オペレーティングシステムで利用できない問題に対応しました。

既知の問題点 :

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP ProLiant BL680c G7/BL620c G7 (I25) サーバー
バージョン: 2015.08.16 (推奨)
ファイル名: CP028112.zip

重要な注意 !**重要な注意 :**

なし

提供名 :

リリースバージョン :

2015年8月16日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン :

2015年8月16日

以前のリビジョン :

2013年7月1日

ファームウェアの依存関係 :

なし

改善点/新しい機能 :

なし

修正された問題点 :

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点 :

なし

修正

重要な注意 :

なし

ファームウェアの関連性 :

なし

修正された問題点 :

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点 :

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP ProLiant BL685c G7 (A20) サーバー
バージョン: 2016.03.07 (推奨)
ファイル名: CP029832.zip

重要な注意 !

重要な注意 :

なし

提供名 :

HP ProLiant BL685c G7システムROM

リリースバージョン :

2016年3月7日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン :

2016年3月7日

以前のリビジョン :

2014年9月3日

ファームウェアの依存関係 :

なし

改善点/新しい機能 :

なし

修正された問題点 :

システムROMのリビジョン09/03/2014に含まれているAMDマイクロコードのリビジョンでの問題により、プロセッサが仮想環境で予測不能のシステム動作に遭遇する可能性があるという、AMD Opteron 6300シリーズでの問題に対処しました。システムROMの09/03/2014リビジョンのみがこの問題の影響を受けます。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処したアップデートされたバージョンのAMDマイクロコードを含んでいます。この問題は、HP ProLiantサーバーに固有のものではなく、影響を受けたAMDマイクロコードを実装するプロセッサを使用するすべてのシステムに影響を及ぼします。システムROMのこのリビジョンで対応した問題の潜在的な深刻度のため、影響のあるシステムのシステムROMをアップグレードすることを強く推奨します。

既知の問題点 :

なし

修正**重要な注意 :**

なし

ファームウェアの依存関係 :

なし

修正された問題点 :

システムROMのリビジョン09/03/2014に含まれているAMDマイクロコードのリビジョンでの問題により、プロセッサが仮想環境で予測不能のシステム動作に遭遇する可能性があるという、AMD Opteron 6300シリーズでの問題に対処しました。システムROMの09/03/2014リビジョンのみがこの問題の影響を受けます。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処したアップデートされたバージョンのAMDマイクロコードを含んでいます。この問題は、HP ProLiantサーバーに固有のものではなく、影響を受けたAMDマイクロコードを実装するプロセッサを使用するすべてのシステムに影響を及ぼします。システムROMのこのリビジョンで対応した問題の潜在的な深刻度のため、影響のあるシステムのシステムROMをアップグレードすることを強く推奨します。

既知の問題点 :

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP ProLiant DL160 Gen8 (J03) サーバー
バージョン: 2014.08.02 (D) (推奨)
ファイル名: CP026581.zip

重要な注意！

重要な注意：

システム冷却が最大効率で機能するように、システムROMのアップデートを推奨します。Ver. 2014.08.02 (D)はカスタマーリリースノートのアップグレードを含み、機能的にVer. 2014.08.02と同等です。システムROMをバージョン2014.08.02にアップグレードするために以前のリリースのコンポーネントが使われた場合は、リリースDにアップグレードする必要はありません。さらに詳しい情報はhttp://h20564.www2.hp.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-c04619916のカスタマーアドバイザリを参照してください。

提供名：

HP ProLiant DL160 Gen8 システムROM - J03

リリース日付：

2014/08/02

最新の推奨またはクリティカルリリース：

2014/08/02

以前のリリース：

2014/02/10

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

温度冷却ソリューションを改善しました。システムROMを2014年8月2日以降のバージョンにアップデートしてください。

ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU) にPCIe拡張デバイスの最新の名前のサポートを追加しました。

修正された問題点：

Intel Xeon E5-2600 v2シリーズプロセッサとチャンネルあたり2つまたは3つのDIMM構成のRegistered DIMM (RDIMM)で構成されたシステムが、特定のDIMMが適切に初期化されないという207 - メモリー初期化エラーメッセージに遭遇する可能性があるまれな問題に対処しました。この問題は、システムリブート後に断続的に見られません。

オプションのビデオカードが搭載されている場合、POST中にサーバーが応答なくなる可能性のある問題に対処しました。

特定のオプションカードが、非常に多くのプリフェッチ不可能メモリーを要求して正しく機能しない問題に対処しました。この問題は、少数の非HP製のオプションカードに対してだけ影響を与えます。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

このシステムROMアップデートは、最大効率でシステム冷却が動作することを確実にするためにおすすめします。Ver. 2014.08.02 (D) はカスタマーリリースノートのアップデートを含んでいて、機能的にVer. 2014.08.02と同等で

す。システムROMをバージョン2014.08.02にアップグレードするために以前のリビジョンが使われた場合は、リビジョンDにアップグレードする必要はありません。その他の詳細については、http://h20564.www2.hp.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-c04619916でカスタマーアドバイザーを参照してください。

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

Intel Xeon E5-2600 v2シリーズプロセッサとチャンネルあたり2つまたは3つのDIMM構成のRegistered DIMM (RDIMM)で構成されたシステムが、特定のDIMMが適切に初期化されないという207 - メモリ初期化エラーメッセージに遭遇する可能性があるまれな問題に対処しました。この問題は、システムリブート後に断続的に見られません。

オプションのビデオカードが搭載されている場合、POST中にサーバーが応答しなくなる可能性のある問題に対処しました。

特定のオプションカードが、非常に多くのプリフェッチ不可能メモリを要求して正しく機能しない問題に対処しました。この問題は、少数の非HP製のオプションカードに対してだけ影響を与えます。

既知の問題点：

なし

拡張

熱冷却ソリューションを改善し、2014年8月2日以降の日付のバージョンへシステムROMをアップデートします。

ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU) にPCIe拡張デバイスの最新の名前のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP ProLiant DL320e Gen8 v2 (P80) サーバー
バージョン: 2015.04.02 (オプション)
ファイル名: CP026844.zip

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant DL320e Gen8 v2 システムROM - P80

リリース日付：

2015/04/02

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2014/03/07

以前のリビジョン：

2014/03/28

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

RBSU（ROMベースセットアップユーティリティ）の内蔵SATA構成メニューでSATA AHCIサポートが有効にされるか、RBSU（ROMベースセットアップユーティリティ）の内蔵SATA構成メニューでDynamic HP Smartアレイ B120i RAIDサポートが有効にされ、Dynamic HP SmartアレイB120i RAIDのオペレーティングシステムドライバーがロードされていない場合の過度に騒々しいファンノイズの問題に対処しました。

負荷の重いシステムがUncorrectable Machine Checkを発生する可能性のある問題を解決しました。この問題は、HP製に固有のものではありません。この問題の発生は、ハードウェアコンポーネントを置き換える前に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることをおすすめします。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

RBSU（ROMベースセットアップユーティリティ）の内蔵SATA構成メニューでSATA AHCIサポートが有効にされるか、RBSU（ROMベースセットアップユーティリティ）の内蔵SATA構成メニューでDynamic HP Smartアレイ B120i RAIDサポートが有効にされ、Dynamic HP SmartアレイB120i RAIDのオペレーティングシステムドライバーがロードされていない場合の過度に騒々しいファンノイズの問題に対処しました。

負荷の重いシステムがUncorrectable Machine Checkを発生する可能性のある問題を解決しました。この問題は、HP製に固有のものではありません。この問題の発生は、ハードウェアコンポーネントを置き換える前に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることをおすすめします。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP ProLiant DL320e Gen8 (J05) サーバー
バージョン: 2013.11.09 (E) (オプション)
ファイル名: CP025985.zip

重要な注意！

重要な注意：

Ver. 2013.11.09 (E)は新しいサーバー製品のサポートを含んでいて、機能的にVer. 2013.11.09と同等です。ファームウェアをバージョン2013.11.09にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンEにアップグレードする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant DL320e Gen8 システムROM - J05

リリース日付：

2013/11/09

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013/08/24

以前のリビジョン：

2013/08/24

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

ROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）の電源オン遅延オプションに15、30、45および60秒の遅延時間の追加オプションを(遅延なしとランダム遅延の以前のオプションに加えて)追加しました。これらの新しい機能を選択する場合は、システムがIntegrated Lights-Out (iLO) ファームウェアバージョン1.20以降を使用している必要があります。iLOファームウェアバージョン 1.20以降を持たずにシステムが新しいオプションの1つで構成される場合、電源オン遅延オプションは遅延なしオプションが選択されたように機能します。

USBドライブキーまたはハードディスクドライブのような有効なブートデバイスのシステムROMの検出を改善しました。以前、システムROMは[Non-System Disk Error]に結びつく無効なブートレコードを持つ起動可能メディアの起動を試みる可能性がありました。現在、いくつかの場合に、システムROMが無効なブートレコードを検出し、デバイスの起動をスキップすることができます。これで、システムROMは、ブートオーダーで次のデバイスの起動を試みることができます。

オプションの拡張カードの最新の製品名およびROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）の言語の翻訳（英語以外のモードの場合）のアップデートが追加されました。

修正された問題点：

なし

既知の問題点：

なし

拡張**重要な注意：**

Ver. 2013.11.09 (E) はコンポーネントパッケージのアップデートを含んでいて、機能的にVer. 2013.11.09と同等です。システムROMをバージョン2013.11.09にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンEにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

ROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）の電源オン遅延オプションに15、30、45および60秒の遅延時間の追加オプションを(遅延なしとランダム遅延の以前のオプションに加えて)追加しました。これらの新しい機能を選択する場合は、システムがIntegrated Lights-Out (iLO) ファームウェアバージョン1.20以降を使用している必要があります。iLOファームウェアバージョン 1.20以降を持たずにシステムが新しいオプションの1つで構成される場合、電源オン遅延オプションは遅延なしオプションが選択されたように機能します。

USBドライブキーまたはハードディスクドライブのような有効なブートデバイスのシステムROMの検出を改善しました。以前、システムROMは[Non-System Disk Error]に結びつく無効なブートレコードを持つ起動可能メディアの起動を試みる可能性がありました。現在、いくつかの場合に、システムROMが無効なブートレコードを検出し、デバイスの起動をスキップすることができます。これで、システムROMは、ブートオーダーで次のデバイスの起動を試みることができます。

オプションの拡張カードの最新の製品名およびROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）の言語の翻訳（英語以外のモードの場合）のアップデートが追加されました。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP ProLiant DL360 G7（P68）サーバー

バージョン: 2015.08.16 (推奨)

ファイル名: CP028091.zip

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant DL360 G7 システムROM - P68

リリースバージョン：

2015年8月16日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2015年8月16日

以前のリビジョン：

2013年7月2日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP ProLiant DL360e Gen8/DL380e Gen8 (P73) サーバー
バージョン: 2014.08.02 (C) (オプション)
ファイル名: CP026002.zip

重要な注意！

重要な注意：

Ver. 2014.08.02 (C)はコンポーネントパッケージのアップデートを含んでいて、機能的にVer. 2014.08.02と同等です。システムROMをバージョン2014.08.02にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンCにアップグレードする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant DL360e/DL380e Gen8 システムROM - P73

リリース日付：

2014/08/02

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013/12/20

以前のリビジョン：

2014/02/10

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU) にPCIe拡張デバイスの最新の名前のサポートを追加しました。

修正された問題点：

オプションのビデオカードが搭載されている場合、POST中にサーバーが応答しなくなる可能性のある問題に対処しました。

特定のオプションカードが、非常に多くのプリフェッチ不可能メモリーを要求して正しく機能しない問題に対処しました。この問題は、少数の非HP製のオプションカードに対してだけ影響を与えます。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

Ver. 2014.08.02 (C) はコンポーネントパッケージのアップデートを含んでいて、機能的にVer. 2014.08.02と同等で

す。システムROMをバージョン2014.08.02にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンCにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

オプションのビデオカードが搭載されている場合、POST中にサーバーが応答しなくなる可能性のある問題に対処しました。

特定のオプションカードが、非常に多くのプリフェッチ不可能メモリを要求して正しく機能しない問題に対処しました。この問題は、少数の非HP製のオプションカードに対してだけ影響を与えます。

既知の問題点：

なし

拡張

ROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）にPCIe拡張デバイスの最新の名前のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP ProLiant DL360p Gen8/DL360p Gen8 SE（P71）サーバー

バージョン: 2015.07.01 (オプション)

ファイル名: CP027728.zip

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant DL360p Gen8/DL360p Gen8 SE システムROM - P71

リリース日付：

2015/07/01

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013/12/20

以前のリビジョン：

2014/11/01

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

デバイス割り込みが正しく処理されないことがあり、割り込みを失うまたは訂正不可能なマシンチェック例外となる問題に対処しました。この問題は、HP製サーバーに固有のものではありません。これらの問題が起こっているユーザーは、ハードウェアコンポーネントを置き換える前に、このリビジョンのシステムROMにアップデートすることをHPはおすすめます。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

デバイス割り込みが正しく処理されないことがあり、割り込みを失うまたは訂正不可能なマシンチェック例外となる問題に対処しました。この問題は、HP製サーバーに固有のものではありません。これらの問題が起こっているユーザーは、ハードウェアコンポーネントを置き換える前に、このリビジョンのシステムROMにアップデートすることをHPはおすすめします。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP ProLiant DL380 G7 (P67) サーバー
バージョン: 2015.08.16 (推奨)
ファイル名: CP028142.zip

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant DL380 G7 システムROM - P67

リリースバージョン：

2015年8月16日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2015年8月16日

以前のリビジョン：

2013年7月2日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防

ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP ProLiant DL380p Gen8 (P70) サーバー
バージョン: 2015.07.01 (オプション)
ファイル名: CP027724.zip

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant DL380p Gen8システムROM - P70

リリース日付：

2015/07/01

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013/12/20

以前のリビジョン：

2014/08/02

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

デバイス割り込みが正しく処理されないことがあり、割り込みを失うまたは訂正不可能なマシンチェック例外となる問題に対処しました。この問題は、HP製サーバーに固有のものではありません。これらの問題が起こっているユーザーは、ハードウェアコンポーネントを置き換える前に、このリビジョンのシステムROMにアップデートすることをHPはおすすめします。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

デバイス割り込みが正しく処理されないことがあり、割り込みを失うまたは訂正不可能なマシンチェック例外となる問題に対処しました。この問題は、HP製サーバーに固有のものではありません。これらの問題が起こっているユーザーは、ハードウェアコンポーネントを置き換える前に、このリビジョンのシステムROMにアップデートすることをHPはおすすめします。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP ProLiant DL385 G7 (A18) サーバー
バージョン: 2014.02.02 (E) (オプション)
ファイル名: CP026045.zip

重要な注意！

重要な注意：

Ver. 2014.02.02 (E)はコンポーネントパッケージのアップデートを含んでいて、機能的にVer. 2014.02.02と同等です。システムROMをバージョン2014.02.02にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンEにアップグレードする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant DL385 G7 システムROM - A18

リリース日付：

2014/02/02

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2012/12/08

以前のリビジョン：

2012/12/08

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

AMD Opteron 6100または6200プロセッサで実行する場合にシステムが応答しなくなる、または予想外のリセットとなる非常にまれな状態を解決しました。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

Ver. 2014.02.02 (E) はコンポーネントパッケージのアップデートを含んでいて、機能的にVer. 2014.02.02と同等です。システムROMをバージョン2014.02.02にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンEにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

AMD Opteron 6100または6200プロセッサで実行する場合にシステムが応答しなくなる、または予想外のリセットとなる非常にまれな状態を解決しました。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP ProLiant DL385p Gen8 (A28) サーバー
バージョン: 2016.03.07 (推奨)
ファイル名: CP029840.zip

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant DL385p Gen8 システムROM - A28

リリースバージョン：

2016年3月7日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2016年3月7日

以前のリビジョン：

2014年9月3日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

システムROMのリビジョン09/03/2014に含まれているAMDマイクロコードのリビジョンでの問題により、プロセッサが仮想環境で予測不能のシステム動作に遭遇する可能性があるという、AMD Opteron 6300シリーズでの問題に対処しました。システムROMの09/03/2014リビジョンのみがこの問題の影響を受けます。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処したアップデートされたバージョンのAMDマイクロコードを含んでいます。この問題は、HP ProLiantサーバーに固有のものではなく、影響を受けたAMDマイクロコードを実装するプロセッサを使用するすべてのシステムに影響を及ぼします。システムROMのこのリビジョンで対応した問題の潜在的な深刻度のため、影響のあるシステムのシステムROMをアップグレードすることを強く推奨します。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

システムROMのリビジョン09/03/2014に含まれているAMDマイクロコードのリビジョンでの問題により、プロセッサが仮想環境で予測不能のシステム動作に遭遇する可能性があるという、AMD Opteron 6300シリーズでの問題に対処しました。システムROMの09/03/2014リビジョンのみがこの問題の影響を受けます。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処したアップデートされたバージョンのAMDマイクロコードを含んでいます。この問題は、HP ProLiantサーバーに固有のものではなく、影響を受けたAMDマイクロコードを実装するプロセッサを使用するすべてのシステムに影響を及ぼします。システムROMのこのリビジョンで対応した問題の潜在的な深刻度のため、影響のあるシステムのシステムROMをアップグレードすることを強く推奨します。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP ProLiant DL560 Gen8 (P77) サーバー

バージョン: 2014.08.03 (C) (オプション)

ファイル名: CP026009.zip

重要な注意！

重要な注意：

Ver. 2014.08.03 (C)はコンポーネントパッケージのアップデートを含んでいて、機能的にVer. 2014.08.03と同等です。システムROMをバージョン2014.08.03にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンCにアップグレードする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant DL560 Gen8 システムROM - P77

リリース日付：

2014/08/03

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013/12/20

以前のリビジョン：

2014/02/10

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

ROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）にPCIe拡張デバイスの最新の名前のサポートを追加しました。

修正された問題点：

Intel Xeon E5-2600 v2シリーズプロセッサとチャンネルあたり2つまたは3つのDIMM構成のRegistered DIMM (RDIMM)で構成されたシステムが、特定のDIMMMが適切に初期化されないという207 - メモリ初期化エラーメッセージに遭遇する可能性があるまれな問題に対処しました。この問題は、システムリブート後に断続的に見られます。

オプションのビデオカードが搭載されている場合、POST中にサーバーが応答なくなる可能性のある問題に対処しました。

特定のオプションカードが、非常に多くのプリフェッチ不可能メモリーを要求して正しく機能しない問題に対処しました。この問題は、少数の非HP製のオプションカードに対してだけ影響を与えます。

サーバーが、Intel Xeon E5-4600シリーズプロセッサで構成されている場合、iLOインテグレートドマネジメントログ(IML)に電源障害として通常記録される予期しないシャットダウンに遭遇することがある、ごくまれな問題に対処しました。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

Ver. 2014.08.03 (C) はコンポーネントパッケージのアップデートを含んでいて、機能的にVer. 2014.08.03と同等です。システムROMをバージョン2014.08.03にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンCにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

Intel Xeon E5-2600 v2シリーズプロセッサとチャンネルあたり2つまたは3つのDIMM構成のRegistered DIMM (RDIMM)で構成されたシステムが、特定のDIMMMが適切に初期化されないという207 - メモリ初期化エラーメッセージに遭遇する可能性があるまれな問題に対処しました。この問題は、システムリブート後に断続的に見られます。

オプションのビデオカードが搭載されている場合、POST中にサーバーが応答なくなる可能性のある問題に対処しました。

特定のオプションカードが、非常に多くのプリフェッチ不可能メモリーを要求して正しく機能しない問題に対処しました。この問題は、少数の非HP製のオプションカードに対してだけ影響を与えます。

サーバーが、Intel Xeon E5-4600シリーズプロセッサで構成されている場合、iLOインテグレートドマネジメントログ(IML)に電源障害として通常記録される予期しないシャットダウンに遭遇することがある、ごくまれな問題に対処しました。

既知の問題点：

なし

拡張

ROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）にPCIe拡張デバイスの最新の名前のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP ProLiant DL580 G7（P65）サーバー
バージョン: 2015.08.16 (推奨)
ファイル名: CP028087.zip

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant DL580 G7 システムROM - P65

リリースバージョン：

2015年8月16日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2015年8月16日

以前のリビジョン：

2013年10月1日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP ProLiant DL585 G7 (A16) サーバー
バージョン: 2016.03.07 (推奨)
ファイル名: CP029828.zip

重要な注意！**重要な注意：**

なし

提供名：

HP ProLiant DL585 G7システムROM

リリースバージョン：

2016年3月7日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2016年3月7日

以前のリビジョン：

2014年9月3日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

システムROMのリビジョン09/03/2014に含まれているAMDマイクロコードのリビジョンでの問題により、プロセッサが仮想環境で予測不能のシステム動作に遭遇する可能性があるという、AMD Opteron 6300シリーズでの問題に対処しました。システムROMの09/03/2014リビジョンのみがこの問題の影響を受けます。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処したアップデートされたバージョンのAMDマイクロコードを含んでいます。この問題は、HP ProLiantサーバーに固有のものではなく、影響を受けたAMDマイクロコードを実装するプロセッサを使用するすべてのシステムに影響を及ぼします。システムROMのこのリビジョンで対応した問題の潜在的な深刻度のため、影響のあるシステムのシステムROMをアップグレードすることを強く推奨します。

既知の問題点：

なし

修正**重要な注意：**

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

システムROMのリビジョン09/03/2014に含まれているAMDマイクロコードのリビジョンでの問題により、プロセッサが仮想環境で予測不能のシステム動作に遭遇する可能性があるという、AMD Opteron 6300シリーズでの問題に対処しました。システムROMの09/03/2014リビジョンのみがこの問題の影響を受けます。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処したアップデートされたバージョンのAMDマイクロコードを含んでいます。この問題は、HP ProLiantサーバーに固有のものではなく、影響を受けたAMDマイクロコードを実装するプロセッサを使用するすべてのシステムに影響を及ぼします。システムROMのこのリビジョンで対応した問題の潜在的な深刻度のため、影響のあるシステムのシステムROMをアップグレードすることを強く推奨します。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP ProLiant DL980 G7 (P66) サーバー
バージョン: 2015.08.16 (推奨)
ファイル名: CP028148.zip

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant DL980 G7 システムROM - P66

リリースバージョン：

2015/08/16

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2015/08/16

以前のリビジョン：

2014/08/15

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

影響を受けるIntelプロセッサを使用するHP ProLiantサーバーは、Blackhat USA 2015セキュリティ会議で公的に発表された具体的な攻撃に脆弱ではありませんが、このBIOSは攻撃を可能にするプロセッサの脆弱性の利用を防ぐ、Intelからのアップデートされたマイクロコードを含みます。このIntelプロセッサの脆弱性は、HP ProLiantサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP ProLiant MicroServer Gen8 (J06) サーバー
バージョン: 2015.11.02 (オプション)
ファイル名: CP028689.zip

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant MicroServer Gen8 システムROM - J06

リリースバージョン：

2015年11月2日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013年8月24日

以前のリビジョン：

2015年7月16日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

インテルXeon E3-1220 v2プロセッサのサポートを追加しました。以前のリビジョンのシステムROMはこのプロセッサに対する適切なサーマルソリューションをサポートしていなかったため、このプロセッサには使用しないでください。

修正された問題点：

なし

既知の問題点：

なし

拡張

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

インテルXeon E3-1220 v2プロセッサのサポートを追加しました。以前のリビジョンのシステムROMはこのプロセッサに対する適切なサーマルソリューションをサポートしていなかったため、このプロセッサには使用しないでください。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP ProLiant ML10 v2 (J10)サーバー

バージョン: 2015.02.02 (B) (**推奨**)

ファイル名: CP026126.zip

重要な注意！

重要な注意：

バージョン2015.02.02 (B)は、フラッシュドライバーへのアップデートを含み、バージョン2015.02.02を置き換えます。バージョン2015.02.02 (B)に含まれている実際のファームウェアは、バージョン2015.02.02と同じため、バージョン2015.02.02がすでにインストールされている場合は、アップグレードする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant ML10 v2システムROM - J10

リリース日付：

2015/02/02

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

以前のリビジョン：

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

修正された問題点：

なし

既知の問題点：

なし

拡張

重要な注意：

バージョン2015.02.02 (B)は、フラッシュドライバーへのアップデートを含み、バージョン2015.02.02を置き換えま
す。バージョン2015.02.02 (B)に含まれている実際のファームウェアは、バージョン2015.02.02と同じため、バージ
ョン2015.02.02がすでにインストールされている場合は、アップグレードする必要はありません。

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP ProLiant ML310e Gen8 v2 (P78) サーバー
バージョン: 2014.03.28 (D) (**オプション**)
ファイル名: CP026010.zip

重要な注意！

重要な注意：

Ver. 2014.03.28 (D)はコンポーネントパッケージのアップデートを含んでいて、機能的にVer. 2014.03.28と同等で
す。システムROMをバージョン2014.03.28にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使わ
れた場合は、リビジョンDにアップグレードする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant ML310e Gen8 v2 システムROM - P78

リリース日付：

2014/03/28

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2014/03/08

以前のリビジョン：

2013/03/08

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

システムROMの2014/03/08ビジョンを使用するサーバーが、Trusted Platform Module (TPM)オペレーティングシス
テム認証テストに関する問題を引き起こしていた問題に対処しました。この問題は、通常のオペレーティングシス
テム環境におけるTPMの機能性に影響を与えません。この問題は、システムROM 2014/03/08リビジョンのみに存在
します。

既知の問題点：

なし

修正**重要な注意：**

Ver. 2014.03.28 (D) はコンポーネントパッケージのアップデートを含んでいて、機能的にVer. 2014.03.28と同等です。システムROMをバージョン2014.03.28にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンDにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

システムROMの2014/03/08リビジョンを使用するサーバーが、Trusted Platform Module (TPM)オペレーティングシステム認証テストに関する問題を引き起こしていた問題に対処しました。この問題は、通常のオペレーティングシステム環境におけるTPMの機能性に影響を与えません。この問題は、システムROM 2014/03/08 リビジョンのみに存在します。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP ProLiant ML310e Gen8 (J04) サーバー
バージョン: 2013.11.09 (D) (オプション)
ファイル名: CP026052.zip

重要な注意！**重要な注意：**

Ver. 2013.11.09 (D)はコンポーネントパッケージのアップデートを含んでいて、機能的にVer. 2013.11.09と同等です。システムROMをバージョン2013.11.09にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンDにアップグレードする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant ML310e Gen8 システムROM - J04

リリース日付：

2013/11/09

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013/08/24

以前のリビジョン：

2013/08/24

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU) の電源オン遅延オプションに15、30、45および60秒の遅延時間の追加オプションを(遅延なしとランダム遅延の以前のオプションに加えて)追加しました。これらの新しい機能を選

択する場合は、システムがIntegrated Lights-Out (iLO) ファームウェアバージョン1.20以降を使用している必要があります。iLOファームウェアバージョン 1.20以降を持たずにシステムが新しいオプションの1つで構成される場合、電源オン遅延オプションは遅延なしオプションが選択されたように機能します。

USBドライブキーまたはハードディスクドライブのような有効なブートデバイスのシステムROMの検出を改善しました。以前、システムROMは[Non-System Disk Error]に結びつく無効なブートレコードを持つ起動可能メディアの起動を試みる可能性がありました。現在、いくつかの場合に、システムROMが無効なブートレコードを検出し、デバイスの起動をスキップすることができます。これで、システムROMは、ブートオーダーで次のデバイスの起動を試みることができます。

オプションの拡張カードの最新の製品名およびROMベースセットアップユーティリティ (RBSU) の言語の翻訳 (英語以外のモードの場合) のアップデートが追加されました。

修正された問題点：

なし

既知の問題点：

なし

拡張

重要な注意：

Ver. 2013.11.09 (D) はコンポーネントパッケージのアップデートを含んでいて、機能的にVer. 2013.11.09と同等です。システムROMをバージョン2013.11.09にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンDにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU) の電源オン遅延オプションに15、30、45および60秒の遅延時間の追加オプションを(遅延なしとランダム遅延の以前のオプションに加えて)追加しました。これらの新しい機能を選択する場合は、システムがIntegrated Lights-Out (iLO) ファームウェアバージョン1.20以降を使用している必要があります。iLOファームウェアバージョン 1.20以降を持たずにシステムが新しいオプションの1つで構成される場合、電源オン遅延オプションは遅延なしオプションが選択されたように機能します。

USBドライブキーまたはハードディスクドライブのような有効なブートデバイスのシステムROMの検出を改善しました。以前、システムROMは[Non-System Disk Error]に結びつく無効なブートレコードを持つ起動可能メディアの起動を試みる可能性がありました。現在、いくつかの場合に、システムROMが無効なブートレコードを検出し、デバイスの起動をスキップすることができます。これで、システムROMは、ブートオーダーで次のデバイスの起動を試みることができます。

オプションの拡張カードの最新の製品名およびROMベースセットアップユーティリティ (RBSU) の言語の翻訳 (英語以外のモードの場合) のアップデートが追加されました。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP ProLiant ML350e Gen8/ML350e Gen8 v2 (J02) サーバ

バージョン: 2014.08.02 (C) (オプション)

ファイル名: CP025983.zip

重要な注意！

重要な注意：

Ver. 2014.08.02 (C)はコンポーネントパッケージのアップデートを含んでいて、機能的にVer. 2014.08.02と同等です。システムROMをバージョン2014.08.02にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンCにアップグレードする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant ML350e Gen8/ML350e Gen8 v2 システムROM - J02

リリース日付：

2014/08/02

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013/12/22

以前のリビジョン：

2014/02/10

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

ROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）にPCIe拡張デバイスの最新の名前のサポートを追加しました。

修正された問題点：

オプションのビデオカードが搭載されている場合、POST中にサーバーが応答なくなる可能性のある問題に対処しました。

特定のオプションカードが、非常に多くのプリフェッチ不可能メモリーを要求して正しく機能しない問題に対処しました。この問題は、少数の非HP製のオプションカードに対してだけ影響を与えます。

既知の問題点：

なし

修正**重要な注意：**

Ver. 2014.08.02 (C) はコンポーネントパッケージのアップデートを含んでいて、機能的にVer. 2014.08.02と同等です。システムROMをバージョン2014.08.02にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンCにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

オプションのビデオカードが搭載されている場合、POST中にサーバーが応答なくなる可能性のある問題に対処しました。

特定のオプションカードが、非常に多くのプリフェッチ不可能メモリーを要求して正しく機能しない問題に対処しました。この問題は、少数の非HP製のオプションカードに対してだけ影響を与えます。

既知の問題点：

なし

拡張

ROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）にPCIe拡張デバイスの最新の名前のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP ProLiant ML350p Gen8 (D72) サーバー

バージョン: 2015.07.01 (オプション)

ファイル名: CP027699.zip

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant ML350p Gen8システムROM - P72

リリース日付：

2015/07/01

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013/12/20

以前のリビジョン：

2014/08/02

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

デバイス割り込みが正しく処理されないことがあり、割り込みを失うまたは訂正不可能なマシンチェック例外となる問題に対処しました。この問題は、HP製サーバーに固有のものではありません。これらの問題が起こっているユーザーは、ハードウェアコンポーネントを置き換える前に、このリビジョンのシステムROMにアップデートすることをHPはお勧めします。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

デバイス割り込みが正しく処理されないことがあり、割り込みを失うまたは訂正不可能なマシンチェック例外となる問題に対処しました。この問題は、HP製サーバーに固有のものではありません。これらの問題が起こっている

ユーザーは、ハードウェアコンポーネントを置き換える前に、このリビジョンのシステムROMにアップデートすることをHPはお勧めします。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP ProLiant SL210t Gen8 (P83) サーバー

バージョン: 2016.01.18 (オプション)

ファイル名: CP029500.zip

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant SL210t Gen8 システムROM - P83

リリースバージョン：

2016年1月18日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013年12月20日

以前のリビジョン：

2014年11月1日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

CPU温度センサーの誤ったしきい値がHP System Management Homepage (SMH) で報告された問題に対処しました。

既知の問題点：

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前にCRUドライバーがロードされている必要があります。

5.0/5.1の最小CRUバージョンは、5.0.3.9です。

5.5の最小CRUバージョンは、5.5.4.1です。

6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

CPU温度センサーの誤ったしきい値がHP System Management Homepage (SMH) で報告された問題に対処しました。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP ProLiant SL230s/SL250s/SL270s Gen8/SL270s Gen8 SE (P75) サーバー

バージョン: 2015.07.01 (オプション)

ファイル名: CP027858.zip

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant SL230s/250s/270s Gen8/270s Gen8 SE システムROM - P75

リリースバージョン：

2015/07/01

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013/12/20

以前のリビジョン：

2015/05/01

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

デバイス割り込みが正しく処理されないことがあり、割り込みを失うまたは訂正不可能なマシンチェック例外となる問題に対処しました。この問題は、HP製サーバーに固有のものではありません。これらの問題が起こっているユーザーは、ハードウェアコンポーネントを置き換える前に、このリビジョンのシステムROMにアップデートすることをHPはおすすめます。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

デバイス割り込みが正しく処理されないことがあり、割り込みを失うまたは訂正不可能なマシンチェック例外となる問題に対処しました。この問題は、HP製サーバーに固有のものではありません。これらの問題が起こっているユーザーは、ハードウェアコンポーネントを置き換える前に、このリビジョンのシステムROMにアップデートすることをHPはおすすめます。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP ProLiant SL4540 Gen8 (P74) サーバー
バージョン: 2014.11.01 (B) **(オプション)**
ファイル名: CP026003.zip

重要な注意！**重要な注意：**

Ver. 2014.11.01 (B)はコンポーネントパッケージのアップデートを含んでいて、機能的にVer. 2014.11.01と同等です。システムROMをバージョン2014.11.01にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンBにアップグレードする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant SL4540 Gen8 システムROM - P74

リリース日付：

2014/11/01

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013/12/20

以前のリビジョン：

2014/08/02

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

サーバーが、Intel Xeon E5-2400シリーズプロセッサで構成されている場合、iLOインテグレートドマネジメントログ(IML)に電源障害として通常記録される予期しないシャットダウンに遭遇することがある、ごくまれな問題に対処しました。

既知の問題点：

なし

修正**重要な注意：**

Ver. 2014.11.01 (B) はコンポーネントパッケージのアップデートを含んでいて、機能的にVer. 2014.11.01と同等です。システムROMをバージョン2014.11.01にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンBにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

サーバーが、Intel Xeon E5-2400シリーズプロセッサで構成されている場合、iLOインテグレートドマネジメントログ(IML)に電源障害として通常記録される予期しないシャットダウンに遭遇することがある、ごくまれな問題に対処しました。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP ProLiant SL4545 G7 (A31)サーバー
バージョン: 2013.11.02 (B) (オプション)
ファイル名: CP024186.scexe

重要な注意！

重要な注意：

バージョン 2013.11.02 (B) にはフラッシュドライバーへのアップデートが含まれ、バージョン2013.11.02をリプレイスします。バージョン2013.11.02 (B)に含まれる実際のファームウェアはバージョン2013.11.02から変更されていないため、すでにバージョン2013.11.02がインストールされている場合は、アップグレードする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant SL4545 G7 システムROM - A31

リリース日付：

2013/11/02

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2012/12/08

以前のリビジョン：

2013/06/05

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU) にオプション拡張カードの最新の製品名を追加しました。

修正された問題点：

なし

既知の問題点：

なし

拡張

重要な注意：

バージョン2013.10.02 (B)は、フラッシュドライバーへのアップデートを含み、バージョン2013.11.02を置き換えま
す。バージョン2013.11.02 (B)に含まれている実際のファームウェアは、バージョン2013.11.02と同じため、バー
ジョン2013.11.02がすでにインストールされている場合は、アップグレードする必要はありません。

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

ROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）にオプション拡張カードの最新の製品名を追加しました。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP ProLiant XL220a Gen8 v2 (P94)サーバー
バージョン: 2015.01.26 (B) (**オプション**)
ファイル名: CP026015.zip

重要な注意！

重要な注意：

Ver. 2015.01.26 (B)はコンポーネントパッケージのアップデートを含んでいて、機能的にVer. 2015.01.26と同等で
す。システムROMをバージョン2015.01.26にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使わ
れた場合は、リビジョンBにアップグレードする必要はありません。

修正

Ver. 2015.01.26 (B) はコンポーネントパッケージのアップデートを含んでいて、機能的にVer. 2015.01.26と同等で
す。システムROMをバージョン2015.01.26にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使
われた場合は、リビジョンBにアップグレードする必要はありません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HPE ProLiant XL230a/XL250a Gen9 (U13) サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (**オプション**)
ファイル名: CP031705.zip

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HPE ProLiant XL230a/XL250a Gen9 システムROM - U13

リリースバージョン：

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.20_05-05-2016

以前のリリース :

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能 :

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点 :

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MACノードが示す場所は、エンクロージャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点 :

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. “HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. “Compaq ROM Utility Driver” (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の“HPE Agentless Management Service Offline Bundle”からも入手できます。

修正**重要な注意 :**

なし

ファームウェアの依存関係 :

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MACノードが示す場所は、エンクロージャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムの温度のロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHP RESTful API HPE BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - HP ProLiant SL230s/SL250s/SL270s Gen8/SL270s Gen8 SE (P75) サーバー

バージョン: 2015.07.01 (B) (オプション)

ファイル名: cp031046.exe

重要な注意！

重要な注意：

Ver. 2015.07.01 (B)は ver. 2015.07.01と同じシステムROMイメージを提供します。新しいver. 2015.07.01 (B) は Microsoft Windows Server 2016を持つオンラインROMフラッシュの実行におけるサポートを追加します。ユーザーはもしシステムが以前にシステム ROM ver. 2015.07.01.によりフラッシュされていなければ、システムROMをver. 2015.07.01 (B)でフラッシュする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant SL230s/250s/270s Gen8/270s Gen8 SE システムROM - P75

リリースバージョン：

2015年7月1日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013年12月20日

以前のリビジョン：

2015年5月1日

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

デバイス割り込みが正しく処理されないことがあり、割り込みを失うまたは訂正不可能なマシンチェック例外となる問題に対処しました。この問題は、HP製サーバーに固有のものではありません。これらの問題が起こっているユーザーは、ハードウェアコンポーネントを置き換える前に、このリビジョンのシステムROMにアップデートすることをHPはおすすめします。

既知の問題点:

なし

修正**重要な注意:**

バージョン2015.07.01 (B)はバージョン 2015.07.01と同じシステムROMを提供します。新しいバージョン 2015.07.01 (B)はMicrosoft Windows Server 2016でOnline ROM Flashを実行するためのサポートを追加します。もしシステムが以前システムROMバージョン 2015.07.01でフラッシュされていれば、ユーザーがシステムROMをバージョン2015.07.01 (B) でフラッシュする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

デバイス割り込みが正しく処理されないことがあり、割り込みを失うまたは訂正不可能なマシンチェック例外となる問題に対処しました。この問題は、HP製サーバーに固有のものではありません。これらの問題が起こっているユーザーは、ハードウェアコンポーネントを置き換える前に、このリビジョンのシステムROMにアップデートすることをHPはおすすめします。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - HP ProLiant BL420c Gen8 (I30) サーバー
バージョン: 2014.11.03 (B) (**オプション**)
ファイル名: cp031068.exe

重要な注意!**重要な注意:**

Ver. 2014.11.03 (B)は ver. 2014.11.03と同じシステムROMイメージを提供します。新しいver. 2014.11.03 (B) は Microsoft Windows Server 2016を持つオンラインROMフラッシュの実行におけるサポートを追加します。ユーザーはもしシステムが以前にシステム ROM ver. 2014.11.03.によりフラッシュされていなければ、システムROMをver. 2014.11.03 (B)でフラッシュする必要はありません。

提供名:

HP ProLiant BL420c Gen8 システムROM - I30

リリースバージョン:

2014年11月3日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2014年9月1日

以前のリビジョン：

2014年9月1日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

Integrated Lights-Out (iLO)ファームウェアバージョン2.00以降で構成されたシステムが、HP Virtual Connectを通して正しくプラットフォームを構成できないことがある問題に対処しました。この問題は以前のバージョンのiLOファームウェアでは見られません。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

バージョン2014.11.03 (B)はバージョン 2014.11.03と同じシステムROMを提供します。新しいバージョン 2014.11.03 (B)はMicrosoft Windows Server 2016でOnline ROM Flashを実行するためのサポートを追加します。もしシステムが以前システムROMバージョン 2014.11.03でフラッシュされていれば、ユーザーがシステムROMをバージョン2014.11.03 (B) でフラッシュする必要はありません。

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

Integrated Lights-Out (iLO)ファームウェアバージョン2.00以降で構成されたシステムが、HP Virtual Connectを通して正しくプラットフォームを構成できないことがある問題に対処しました。この問題は以前のバージョンのiLOファームウェアでは見られません。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - HP ProLiant BL460c/WS460c Gen8 (I31) サーバー
バージョン: 2015.06.01 (B) (**オプション**)
ファイル名: cp031071.exe

重要な注意！

重要な注意：

Ver. 2015.06.01 (B)は ver. 2015.06.01と同じシステムROMイメージを提供します。新しいver. 2015.06.01 (B) は Microsoft Windows Server 2016を持つオンラインROMフラッシュの実行におけるサポートを追加します。ユーザー

はもしシステムが以前にシステム ROM ver. 2015.06.01.によりフラッシュされていなければ、システムROMをver. 2015.06.01 (B)でフラッシュする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant BL460c Gen8/WS460c Gen8 システムROM - I31

リリースバージョン：

2015年6月1日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013年12月20日

以前のリビジョン：

2015年4月1日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

ATI S4000x GPUアダプターで構成されたシステムが、熱イベントにより予想外のシャットダウンが発生することがある問題に対処しました。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

バージョン2015.06.01 (B)はバージョン 2015.06.01と同じシステムROMを提供します。新しいバージョン 2015.06.01 (B)はMicrosoft Windows Server 2016でOnline ROM Flashを実行するためのサポートを追加します。もしシステムが以前システムROMバージョン 2015.06.01でフラッシュされていれば、ユーザーがシステムROMをバージョン2015.06.01 (B) でフラッシュする必要はありません。

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

ATI S4000x GPUアダプターで構成されたシステムが、熱イベントにより予想外のシャットダウンが発生することがある問題に対処しました。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - HP ProLiant BL465c Gen8 (A26) サーバー
バージョン: 2016.03.07 (B) (推奨)
ファイル名: cp031025.exe

重要な注意！

重要な注意：

Ver. 2016.03.07 (B)は ver. 2016.03.07と同じシステムROMイメージを提供します。新しいver. 2016.03.07 (B) は Microsoft Windows Server 2016を持つオンラインROMフラッシュの実行におけるサポートを追加します。ユーザーはもしシステムが以前にシステム ROM ver. 2016.03.07.によりフラッシュされていなければ、システムROMをver. 2016.03.07 (B)でフラッシュする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant BL465c Gen8 システムROM - A26

リリースバージョン：

2016年3月7日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2016年3月7日

以前のリビジョン：

2014年11月2日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

システムROMのリビジョン09/03/2014と11/02/2014に含まれているAMDマイクロコードのリビジョンでの問題により、プロセッサが仮想環境で予測不能のシステム動作に遭遇する可能性があるという、AMD Opteron 6300シリーズでの問題に対処しました。システムROMの09/03/2014と11/02/2014リビジョンのみがこの問題の影響を受けません。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処したアップデートされたバージョンのAMDマイクロコードを含んでいます。この問題は、HP ProLiantサーバーに固有のものではなく、影響を受けたAMDマイクロコードを実装するプロセッサを使用するすべてのシステムに影響を及ぼします。システムROMのこのリビジョンで対応した問題の潜在的な深刻度のため、影響のあるシステムのシステムROMをアップグレードすることを強く推奨します。

既知の問題点：

なし

修正**重要な注意：**

バージョン2016.03.07 (B)はバージョン 2016.03.07と同じシステムROMを提供します。新しいバージョン 2016.03.07 (B)はMicrosoft Windows Server 2016でOnline ROM Flashを実行するためのサポートを追加します。もしシステムが以前システムROMバージョン 2016.03.07でフラッシュされていれば、ユーザーがシステムROMをバージョン2016.03.07 (B) でフラッシュする必要はありません。

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

システムROMのリビジョン09/03/2014と11/02/2014に含まれているAMDマイクロコードのリビジョンでの問題により、プロセッサが仮想環境で予測不能のシステム動作に遭遇する可能性があるという、AMD Opteron 6300シリーズでの問題に対処しました。システムROMの09/03/2014と11/02/2014リビジョンのみがこの問題の影響を受けま

す。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処したアップデートされたバージョンのAMDマイクロコードを含んでいます。この問題は、HP ProLiantサーバーに固有のものではなく、影響を受けたAMDマイクロコードを実装するプロセッサを使用するすべてのシステムに影響を及ぼします。システムROMのこのリビジョンで対応した問題の潜在的な深刻度のため、影響のあるシステムのシステムROMをアップグレードすることを強く推奨します。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - HP ProLiant BL660c Gen8 (I32) サーバー
バージョン: 2015.12.01 (B) (オプション)
ファイル名: cp031073.exe

重要な注意！

重要な注意：

Ver. 2015.12.01 (B)は ver. 2015.12.01と同じシステムROMイメージを提供します。新しいver. 2015.12.01 (B) は Microsoft Windows Server 2016を持つオンラインROMフラッシュの実行におけるサポートを追加します。ユーザーはもしシステムが以前にシステム ROM ver. 2015.12.01.によりフラッシュされていなければ、システムROMをver. 2015.12.01 (B)でフラッシュする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant BL660c Gen8 システムROM - I32

リリースバージョン：

2015年12月1日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013年12月20日

以前のリビジョン：

2014年11月2日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

特定の32GB LR-DIMMにより構成されたシステムで断続的に起こる、メモリが適切に機能せず、オペレーティングシステムで利用できない問題に対応しました。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

バージョン2015.12.01 (B)はバージョン 2015.12.01と同じシステムROMを提供します。新しいバージョン 2015.12.01 (B)はMicrosoft Windows Server 2016でOnline ROM Flashを実行するためのサポートを追加します。もし

システムが以前システムROMバージョン 2015.12.01でフラッシュされていれば、ユーザーがシステムROMをバージョン2015.12.01 (B) でフラッシュする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点 :

特定の32GB LR-DIMMにより構成されたシステムで断続的に起こる、メモリが適切に機能せず、オペレーティングシステムで利用できない問題に対応しました。

既知の問題点 :

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - HP ProLiant DL160 Gen8 (J03) サーバー
バージョン: 2014.08.02 (C) (**推奨**)
ファイル名: cp031023.exe

重要な注意 !

重要な注意 :

Ver. 2014.08.02(C)は、ver. 2014.08.02(B)として、同じシステムROMイメージを提供します。新しいver. 2014.08.02 (C) はMicrosoft Windows Server 2016を持つオンラインROMフラッシュの実行におけるサポートを追加します。ユーザーはもしシステムが以前にシステム ROM ver. 2014.08.02.によりフラッシュされていないならば、システムROMをver. 2014.08.02 (C)でフラッシュする必要はありません。

システム冷却が最大効率で機能するように、システムROMのアップデートを推奨します。Ver. 2014.08.02 (B)はカスタマーリリースノートのアップグレードを含み、機能的にVer. 2014.08.02と同等です。システムROMをバージョン2014.08.02にアップグレードするために以前のレビジョンのコンポーネントが使われた場合は、レビジョンBにアップグレードする必要はありません。さらに詳しい情報はhttp://h20564.www2.hp.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-c04619916のカスタマーアドバイザリを参照してください。

提供名 :

HP ProLiant DL160 Gen8 システムROM - J03

リリースバージョン :

2014年8月2日

最新の推奨またはクリティカルレビジョン :

2014年8月2日

以前のレビジョン :

2014年2月10日

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能 :

温度冷却ソリューションを改善しました。システムROMを2014年8月2日以降のバージョンにアップデートしてください。

ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU) にPCIe拡張デバイスの最新の名前のサポートを追加しました。

修正された問題点 :

Intel Xeon E5-2600 v2シリーズプロセッサとチャンネルあたり2つまたは3つのDIMM構成のRegistered DIMM (RDIMM)で構成されたシステムが、特定のDIMMMが適切に初期化されないという207 - メモリ初期化エラーメッセージに遭遇する可能性があるまれな問題に対処しました。この問題は、システムリブート後に断続的に見られません。

オプションのビデオカードが搭載されている場合、POST中にサーバーが応答しなくなる可能性のある問題に対処しました。

特定のオプションカードが、非常に多くのプリフェッチ不可能メモリーを要求して正しく機能しない問題に対処しました。この問題は、少数の非HP製のオプションカードに対してだけ影響を与えます。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

Ver. 2014.08.02(C) は、ver. 2014.08.02(B)と同じシステムROMイメージを提供します。新しいバージョン 2014.08.02 (C)はMicrosoft Windows Server 2016でOnline ROM Flashを実行するためのサポートを追加します。もしシステムが以前システムROMバージョン 2014.08.02でフラッシュされていれば、ユーザーがシステムROMをバージョン2014.08.02 (C)でフラッシュする必要はありません。

システム冷却が最大効率で機能するように、システムROMのアップデートを推奨します。Ver. 2014.08.02 (B)はカスタマーリリースノートのアップグレードを含み、機能的にVer. 2014.08.02と同等です。システムROMをバージョン2014.08.02にアップグレードするために以前のレビジョンのコンポーネントが使われた場合は、レビジョンBにアップグレードする必要はありません。さらに詳しい情報はhttp://h20564.www2.hp.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-c04619916のカスタマーアドバイザリーを参照してください。

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

Intel Xeon E5-2600 v2シリーズプロセッサとチャンネルあたり2つまたは3つのDIMM構成のRegistered DIMM (RDIMM)で構成されたシステムが、特定のDIMMMが適切に初期化されないという207 - メモリ初期化エラーメッセージに遭遇する可能性があるまれな問題に対処しました。この問題は、システムリブート後に断続的に見られません。

オプションのビデオカードが搭載されている場合、POST中にサーバーが応答しなくなる可能性のある問題に対処しました。

特定のオプションカードが、非常に多くのプリフェッチ不可能メモリーを要求して正しく機能しない問題に対処しました。この問題は、少数の非HP製のオプションカードに対してだけ影響を与えます。

既知の問題点：

なし

拡張

熱冷却ソリューションを改善し、2014年8月2日以降の日付のバージョンヘシステムROMをアップデートします。

ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU) にPCIe拡張デバイスの最新の名前のサポートを追加しました。

重要な注意！

重要な注意：

Ver. 2015.04.02 (B)は ver. 2015.04.02と同じシステムROMイメージを提供します。新しいver. 2015.04.02 (B) は Microsoft Windows Server 2016を持つオンラインROMフラッシュの実行におけるサポートを追加します。ユーザーはもしシステムが以前にシステム ROM ver. 2015.04.02.によりフラッシュされていなければ、システムROMをver. 2015.04.02 (B)でフラッシュする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant DL320e Gen8 v2 システムROM - P80

リリースバージョン：

2015年4月2日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2014年3月7日

以前のリビジョン：

2014年3月28日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

RBSU（ROMベースセットアップユーティリティ）の内蔵SATA構成メニューでSATA AHCIサポートが有効にされるか、RBSU（ROMベースセットアップユーティリティ）の内蔵SATA構成メニューでDynamic HP Smartアレイ B120i RAIDサポートが有効にされ、Dynamic HP SmartアレイB120i RAIDのオペレーティングシステムドライバーがロードされていない場合の過度に騒々しいファンノイズの問題に対処しました。

重圧力の環境でシステムに修正できないマシンチェックが発生する問題に対処しました。この問題はHPに固有のものではありません。これらの問題が起こっているユーザーは、ハードウェアコンポーネントを置き換える前に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨します。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

バージョン2015.04.02 (B)はバージョン 2015.04.02と同じシステムROMを提供します。新しいバージョン 2015.04.02 (B)はMicrosoft Windows Server 2016でOnline ROM Flashを実行するためのサポートを追加します。もしシステムが以前システムROMバージョン 2015.04.02でフラッシュされていれば、ユーザーがシステムROMをバージョン2015.04.02 (B) でフラッシュする必要はありません。

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

RBSU（ROMベースセットアップユーティリティ）の内蔵SATA構成メニューでSATA AHCIサポートが有効にされるか、RBSU（ROMベースセットアップユーティリティ）の内蔵SATA構成メニューでDynamic HP Smartアレイ B120i RAIDサポートが有効にされ、Dynamic HP SmartアレイB120i RAIDのオペレーティングシステムドライバーがロードされていない場合の過度に騒々しいファンノイズの問題に対処しました。

重圧力の環境でシステムに修正できないマシンチェックが発生する問題に対処しました。この問題はHPに固有のものではありません。これらの問題が起こっているユーザーは、ハードウェアコンポーネントを置き換える前に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨します。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - HP ProLiant DL320e Gen8 (J05) サーバー

バージョン: 2013.11.09 (B) (**オプション**)

ファイル名: cp031027.exe

重要な注意！

重要な注意：

Ver. 2013.11.09 (B)は ver. 2013.11.09と同じシステムROMイメージを提供します。新しいver. 2013.11.09 (B) は Microsoft Windows Server 2016を持つオンラインROMフラッシュの実行におけるサポートを追加します。ユーザーはもしシステムが以前にシステム ROM ver. 2013.11.09.によりフラッシュされていなければ、システムROMをver. 2013.11.09 (B)でフラッシュする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant DL320e Gen8 システムROM - J05

リリースバージョン：

2013年11月9日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013年8月24日

以前のリビジョン：

2013年8月24日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

ROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）の電源オン遅延オプションに15、30、45および60秒の遅延時間の追加オプションを(遅延なしとランダム遅延の以前のオプションに加えて)追加しました。これらの新しい機能を選択する場合は、システムがIntegrated Lights-Out (iLO) ファームウェアバージョン1.20以降を使用している必要があります。iLOファームウェアバージョン 1.20以降を持たずにシステムが新しいオプションの1つで構成される場合、電源オン遅延オプションは遅延なしオプションが選択されたように機能します。

USBドライブキーまたはハードディスクドライブのような有効なブートデバイスのシステムROMの検出を改善しました。以前、システムROMは[Non-System Disk Error]に結びつく無効なブートレコードを持つ起動可能メディアの起動を試みる可能性がありました。現在、いくつかの場合に、システムROMが無効なブートレコードを検出し、デバイスの起動をスキップすることができます。これで、システムROMは、ブートオーダーで次のデバイスの起動を試みることができます。

オプションの拡張カードの最新の製品名およびROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）の言語の翻訳（英語以外のモードの場合）のアップデートが追加されました。

修正された問題点：

なし

既知の問題点：

なし

拡張**重要な注意：**

バージョン2013.11.09 (B)はバージョン 2013.11.09と同じシステムROMを提供します。新しいバージョン 2013.11.09 (B)はMicrosoft Windows Server 2016でOnline ROM Flashを実行するためのサポートを追加します。もしシステムが以前システムROMバージョン 2013.11.09でフラッシュされていれば、ユーザーがシステムROMをバージョン2013.11.09 (B) でフラッシュする必要はありません。

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

ROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）の電源オン遅延オプションに15、30、45および60秒の遅延時間の追加オプションを(遅延なしとランダム遅延の以前のオプションに加えて)追加しました。これらの新しい機能を選択する場合は、システムがIntegrated Lights-Out (iLO) ファームウェアバージョン1.20以降を使用している必要があります。iLOファームウェアバージョン 1.20以降を持たずにシステムが新しいオプションの1つで構成される場合、電源オン遅延オプションは遅延なしオプションが選択されたように機能します。

USBドライブキーまたはハードディスクドライブのような有効なブートデバイスのシステムROMの検出を改善しました。以前、システムROMは[Non-System Disk Error]に結びつく無効なブートレコードを持つ起動可能メディアの起動を試みる可能性がありました。現在、いくつかの場合に、システムROMが無効なブートレコードを検出し、デバイスの起動をスキップすることができます。これで、システムROMは、ブートオーダーで次のデバイスの起動を試みることができます。

オプションの拡張カードの最新の製品名およびROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）の言語の翻訳（英語以外のモードの場合）のアップデートが追加されました。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - HP ProLiant DL360e Gen8/DL380e Gen8 (P73) サーバー
バージョン: 2014.08.02 (B) (オプション)
ファイル名: cp031038.exe

重要な注意！**重要な注意：**

Ver. 2014.08.02 (B)は ver. 2014.08.02と同じシステムROMイメージを提供します。新しいver. 2014.08.02 (B)はMicrosoft Windows Server 2016を持つオンラインROMフラッシュの実行におけるサポートを追加します。ユーザーはもしシステムが以前にシステム ROM ver. 2014.08.02.によりフラッシュされていなければ、システムROMをver. 2014.08.02 (B)でフラッシュする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant DL360e/DL380e Gen8 システムROM - P73

リリースバージョン：

2014年8月2日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013年12月20日

以前のリビジョン：

2014年2月10日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

ROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）にPCIe拡張デバイスの最新の名前のサポートを追加しました。

修正された問題点：

オプションのビデオカードが搭載されている場合、POST中にサーバーが応答しなくなる可能性のある問題に対処しました。

特定のオプションカードが、非常に多くのプリフェッチ不可能メモリーを要求して正しく機能しない問題に対処しました。この問題は、少数の非HP製のオプションカードに対してだけ影響を与えます。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

バージョン2014.08.02 (B)はバージョン 2014.08.02と同じシステムROMを提供します。新しいバージョン 2014.08.02 (B)はMicrosoft Windows Server 2016でOnline ROM Flashを実行するためのサポートを追加します。もしシステムが以前システムROMバージョン 2014.08.02でフラッシュされていれば、ユーザーがシステムROMをバージョン2014.08.02 (B) でフラッシュする必要はありません。

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

オプションのビデオカードが搭載されている場合、POST中にサーバーが応答しなくなる可能性のある問題に対処しました。

特定のオプションカードが、非常に多くのプリフェッチ不可能メモリーを要求して正しく機能しない問題に対処しました。この問題は、少数の非HP製のオプションカードに対してだけ影響を与えます。

既知の問題点：

なし

拡張

ROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）にPCIe拡張デバイスの最新の名前のサポートを追加しました。

重要な注意！

重要な注意：

Ver. 2015.07.01 (B)は ver. 2015.07.01と同じシステムROMイメージを提供します。新しいver. 2015.07.01 (B) は Microsoft Windows Server 2016を持つオンラインROMフラッシュの実行におけるサポートを追加します。ユーザーはもしシステムが以前にシステム ROM ver. 2015.07.01.によりフラッシュされていなければ、システムROMをver. 2015.07.01 (B)でフラッシュする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant DL360p Gen8/DL360p Gen8 SE システムROM - P71

リリースバージョン：

2015年7月1日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013年12月20日

以前のリビジョン：

2014年11月1日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

デバイス割り込みが正しく処理されないことがあり、割り込みを失うまたは訂正不可能なマシンチェック例外となる問題に対処しました。この問題は、HP製サーバーに固有のものではありません。これらの問題が起こっているユーザーは、ハードウェアコンポーネントを置き換える前に、このリビジョンのシステムROMにアップデートすることをHPはおすすめします。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

バージョン2015.07.01 (B)はバージョン 2015.07.01と同じシステムROMを提供します。新しいバージョン 2015.07.01 (B)はMicrosoft Windows Server 2016でOnline ROM Flashを実行するためのサポートを追加します。もしシステムが以前システムROMバージョン 2015.07.01でフラッシュされていれば、ユーザーがシステムROMをバージョン2015.07.01 (B) でフラッシュする必要はありません。

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

デバイス割り込みが正しく処理されないことがあり、割り込みを失うまたは訂正不可能なマシンチェック例外となる問題に対処しました。この問題は、HP製サーバーに固有のものではありません。これらの問題が起こっているユーザーは、ハードウェアコンポーネントを置き換える前に、このリビジョンのシステムROMにアップデートすることをHPはおすすめします。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - HP ProLiant DL380p Gen8 (P70) サーバー
バージョン: 2015.07.01 (B) (**オプション**)
ファイル名: cp031042.exe

重要な注意！**重要な注意：**

Ver. 2015.07.01 (B)は ver. 2015.07.01と同じシステムROMイメージを提供します。新しいver. 2015.07.01 (B) は Microsoft Windows Server 2016を持つオンラインROMフラッシュの実行におけるサポートを追加します。ユーザーはもしシステムが以前にシステム ROM ver. 2015.07.01.によりフラッシュされていなければ、システムROMをver. 2015.07.01 (B)でフラッシュする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant DL380p Gen8 システムROM - P70

リリースバージョン：

2015年7月1日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013年12月20日

以前のリビジョン：

2014年8月2日

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

デバイス割り込みが正しく処理されないことがあり、割り込みを失うまたは訂正不可能なマシンチェック例外となる問題に対処しました。この問題は、HP製サーバーに固有のものではありません。これらの問題が起こっているユーザーは、ハードウェアコンポーネントを置き換える前に、このリビジョンのシステムROMにアップデートすることをHPはおすすめします。

既知の問題点：

なし

修正**重要な注意：**

バージョン2015.07.01 (B)はバージョン 2015.07.01と同じシステムROMを提供します。新しいバージョン 2015.07.01 (B)はMicrosoft Windows Server 2016でOnline ROM Flashを実行するためのサポートを追加します。もしシステムが以前システムROMバージョン 2015.07.01でフラッシュされていれば、ユーザーがシステムROMをバージョン2015.07.01 (B) でフラッシュする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点：

デバイス割り込みが正しく処理されないことがあり、割り込みを失うまたは訂正不可能なマシンチェック例外となる問題に対処しました。この問題は、HP製サーバーに固有のものではありません。これらの問題が起こっているユーザーは、ハードウェアコンポーネントを置き換える前に、このリビジョンのシステムROMにアップデートすることをHPはおすすめします。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - HP ProLiant DL385p Gen8 (A28) サーバー
バージョン: 2016.03.07 (B) (推奨)
ファイル名: cp031050.exe

重要な注意！

重要な注意：

Ver. 2016.03.07 (B)は ver. 2016.03.07と同じシステムROMイメージを提供します。新しいver. 2016.03.07 (B) は Microsoft Windows Server 2016を持つオンラインROMフラッシュの実行におけるサポートを追加します。ユーザーはもしシステムが以前にシステム ROM ver. 2016.03.07.によりフラッシュされていなければ、システムROMをver. 2016.03.07 (B)でフラッシュする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant DL385p Gen8 システムROM - A28

リリースバージョン：

2016年3月7日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2016年3月7日

以前のリビジョン：

2014年9月3日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

システムROMのリビジョン09/03/2014に含まれているAMDマイクロコードのリビジョンでの問題により、プロセッサが仮想環境で予測不能のシステム動作に遭遇する可能性があるという、AMD Opteron 6300シリーズでの問題に対処しました。システムROMの09/03/2014リビジョンのみがこの問題の影響を受けます。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処したアップデートされたバージョンのAMDマイクロコードを含んでいます。この問題は、HP ProLiantサーバーに固有のものではなく、影響を受けたAMDマイクロコードを実装するプロセッサを使用するすべてのシステムに影響を及ぼします。システムROMのこのリビジョンで対応した問題の潜在的な深刻度のため、影響のあるシステムのシステムROMをアップグレードすることを強く推奨します。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

バージョン2016.03.07 (B)はバージョン 2016.03.07と同じシステムROMを提供します。新しいバージョン 2016.03.07 (B)はMicrosoft Windows Server 2016でOnline ROM Flashを実行するためのサポートを追加します。もしシステムが以前システムROMバージョン 2016.03.07でフラッシュされていれば、ユーザーがシステムROMをバージョン2016.03.07 (B) でフラッシュする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点：

システムROMのリビジョン09/03/2014に含まれているAMDマイクロコードのリビジョンでの問題により、プロセッサが仮想環境で予測不能のシステム動作に遭遇する可能性があるという、AMD Opteron 6300シリーズでの問題に対処しました。システムROMの09/03/2014リビジョンのみがこの問題の影響を受けます。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処したアップデートされたバージョンのAMDマイクロコードを含んでいます。この問題は、HP ProLiantサーバーに固有のものではなく、影響を受けたAMDマイクロコードを実装するプロセッサを使用するすべてのシステムに影響を及ぼします。システムROMのこのリビジョンで対応した問題の潜在的な深刻度のため、影響のあるシステムのシステムROMをアップグレードすることを強く推奨します。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - HP ProLiant DL560 Gen8 (P77) サーバー
バージョン: 2014.08.03 (B) (**オプション**)
ファイル名: cp031048.exe

重要な注意！

重要な注意：

Ver. 2014.08.03 (B)は ver. 2014.08.03と同じシステムROMイメージを提供します。新しいver. 2014.08.03 (B) は Microsoft Windows Server 2016を持つオンラインROMフラッシュの実行におけるサポートを追加します。ユーザーはもしシステムが以前にシステム ROM ver. 2014.08.03.によりフラッシュされていなければ、システムROMをver. 2014.08.03 (B)でフラッシュする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant DL560 Gen8 システムROM - P77

リリースバージョン：

2014年8月3日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013年12月20日

以前のリビジョン：

2014年2月10日

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能：

ROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）にPCIe拡張デバイスの最新の名前のサポートを追加しました。

修正された問題点：

Intel Xeon E5-2600 v2シリーズプロセッサとチャンネルあたり2つまたは3つのDIMM構成のRegistered DIMM (RDIMM)で構成されたシステムが、特定のDIMMMが適切に初期化されないという207 - メモリー初期化エラーメッセージに遭遇する可能性があるまれな問題に対処しました。この問題は、システムリブート後に断続的に見られません。

オプションのビデオカードが搭載されている場合、POST中にサーバーが応答なくなる可能性のある問題に対処しました。

特定のオプションカードが、非常に多くのプリフェッチ不可能メモリーを要求して正しく機能しない問題に対処しました。この問題は、少数の非HP製のオプションカードに対してだけ影響を与えます。

サーバーが、Intel Xeon E5-4600シリーズプロセッサで構成されている場合、iLOインテグレートドマネジメントログ(IML)に電源障害として通常記録される予期しないシャットダウンに遭遇することがある、ごくまれな問題に対処しました。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

バージョン2014.08.03 (B)はバージョン 2014.08.03と同じシステムROMを提供します。新しいバージョン 2014.08.03 (B)はMicrosoft Windows Server 2016でOnline ROM Flashを実行するためのサポートを追加します。もしシステムが以前システムROMバージョン 2014.08.03でフラッシュされていれば、ユーザーがシステムROMをバージョン2014.08.03 (B) でフラッシュする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点：

Intel Xeon E5-2600 v2シリーズプロセッサとチャンネルあたり2つまたは3つのDIMM構成のRegistered DIMM (RDIMM)で構成されたシステムが、特定のDIMMMが適切に初期化されないという207 - メモリー初期化エラーメッセージに遭遇する可能性があるまれな問題に対処しました。この問題は、システムリブート後に断続的に見られません。

オプションのビデオカードが搭載されている場合、POST中にサーバーが応答なくなる可能性のある問題に対処しました。

特定のオプションカードが、非常に多くのプリフェッチ不可能メモリーを要求して正しく機能しない問題に対処しました。この問題は、少数の非HP製のオプションカードに対してだけ影響を与えます。

サーバーが、Intel Xeon E5-4600シリーズプロセッサで構成されている場合、iLOインテグレートドマネジメントログ(IML)に電源障害として通常記録される予期しないシャットダウンに遭遇することがある、ごくまれな問題に対処しました。

既知の問題点：

なし

拡張

ROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）にPCIe拡張デバイスの最新の名前のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - HP ProLiant DL580 Gen8 (P79) サーバー
バージョン: 1.96_08-18-2016 (B) (推奨)
ファイル名: cp031169.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HP ProLiant DL580 Gen8 システムROM - P79

リリースバージョン:

1.96_08_18_2016

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.96_08_18_2016

以前のリビジョン:

1.94_02_19_2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

温度構成設定がデフォルトの最適冷却となっている時のサーバーの温度冷却ソリューションを改良しています。ここでは組み込まれたHPE SmartアレイP830iコントローラーの部品障害や予期せぬシステムの挙動を引き起こす温度変動の問題について対処しています。

修正された問題点:

高い比率の修正可能なメモリエラーを経験しているシステムが、予期せぬリセットを起こしたり、インテグレートッドマネジメントログ(IML)に致命的なエラーを書き込むという問題について対処しています。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

高い比率の修正可能なメモリエラーを経験しているシステムが、予期せぬリセットを起こしたり、インテグレートッドマネジメントログ(IML)に致命的なエラーを書き込むという問題について対処しています。

既知の問題点：

なし

拡張

温度構成設定がデフォルトの最適冷却となっている時のサーバーの温度冷却ソリューションを改良しています。ここでは組み込まれたHPE SmartアレイP830iコントローラーの部品障害や予期せぬシステムの挙動を引き起こす温度変動の問題について対処しています。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - HP ProLiant MicroServer Gen8 (J06) サーバー
バージョン: 2015.11.02 (B) (**オプション**)
ファイル名: cp031064.exe

重要な注意！**重要な注意：**

Ver. 2015.11.02 (B)は ver. 2015.11.02と同じシステムROMイメージを提供します。新しいver. 2015.11.02 (B) は Microsoft Windows Server 2016を持つオンラインROMフラッシュの実行におけるサポートを追加します。ユーザーはもしシステムが以前にシステム ROM ver. 2015.11.02.によりフラッシュされていなければ、システムROMをver. 2015.11.02 (B)でフラッシュする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant MicroServer Gen8 システムROM - J06

リリースバージョン：

2015年11月2日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013年8月24日

以前のリビジョン：

2015年7月16日

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能：

インテルXeon E3-1220 v2プロセッサのサポートを追加しました。以前のリビジョンのシステムROMはこのプロセッサに対する適切なサーマルソリューションをサポートしていなかったため、このプロセッサには使用しないでください。

修正された問題点：

なし

既知の問題点：

なし

拡張**重要な注意：**

バージョン2015.11.02 (B)はバージョン 2015.11.02と同じシステムROMを提供します。新しいバージョン 2015.11.02 (B)はMicrosoft Windows Server 2016でOnline ROM Flashを実行するためのサポートを追加します。もしシステムが以前システムROMバージョン 2015.11.02でフラッシュされていれば、ユーザーがシステムROMをバージョン2015.11.02 (B) でフラッシュする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能 :

インテルXeon E3-1220 v2プロセッサのサポートを追加しました。以前のリビジョンのシステムROMはこのプロセッサに対する適切なサーマルソリューションをサポートしていなかったため、このプロセッサには使用しないでください。

既知の問題点 :

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - HP ProLiant ML10 (P88)サーバー

バージョン: 2013.08.16 (D) (**オプション**)

ファイル名: cp031061.exe

重要な注意!

重要な注意 :

Ver. 2013.08.16(D)は、ver. 2013.08.16(C)と同じシステムROMイメージを提供します。新しいver. 2013.08.16 (D) はMicrosoft Windows Server 2016を持つオンラインROMフラッシュの実行におけるサポートを追加します。ユーザーはもしシステムが以前にシステム ROM ver. 2013.08.16.によりフラッシュされていなければ、システムROMをver. 2013.08.16 (D)でフラッシュする必要はありません。

部品のパッケージングが更新されました。製品の機能には影響ありません。

提供名 :

HP ProLiant ML10システムROM - P88

リリースバージョン :

2013年8月16日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン :

2013年7月2日

以前のリビジョン :

2013年7月2日

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能 :

なし

修正された問題点 :

BL110i SATA RAIDデバイス用のROMベースセットアップユーティリティ (RBSU) でIRQ設定を変更することができなかった問題を解決しました。

HP ProLiant ML10が内蔵SDカードスロットをサポートしていないため、ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU) のリムーバブルフラッシュメディア起動シーケンスオプションを削除しました。

ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU) でテキスト (英語以外のモードの場合) をアップデートしました。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

Ver. 2013.08.16(D) は、ver. 2013.08.16(C)と同じシステムROMイメージを提供します。新しいバージョン 2013.08.16 (D)はMicrosoft Windows Server 2016でOnline ROM Flashを実行するためのサポートを追加します。もしシステムが以前システムROMバージョン 2013.08.16でフラッシュされていれば、ユーザーがシステムROMをバージョン2013.08.16 (D) でフラッシュする必要はありません。

コンポーネントパッケージングが更新されました。製品の機能性には影響ありません。

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

BL110i SATA RAIDデバイス用のROMベースセットアップユーティリティ (RBSU) でIRQ設定を変更することができなかった問題を解決しました。

HP ProLiant ML10が内蔵SDカードスロットをサポートしていないため、ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU) のリムーバブルフラッシュメディア起動シーケンスオプションを削除しました。

ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU) でテキスト (英語以外のモードの場合) をアップデートしました。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - HP ProLiant ML110 G7/DL120 G7 (J01) サーバー
バージョン: 2013.07.01 (B) **(クリティカル)**
ファイル名: cp024022.exe

重要な注意！

重要な注意：

コンポーネントのパッケージがアップデートされました。製品の機能には影響ありません。

提供名：

HP ProLiant ML110 G7およびDL120 G7システムROM - J01

リリース日付：

2013/07/01

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013/07/01

以前のリビジョン：

2012/12/04

ファームウェアの関連性 :

なし

改善点/新しい機能 :

なし

修正された問題点 :

特定の動作環境で発生する内部プロセッサーマイクロアーキテクチャイベントのまれで複雑なシーケンスが予想しないページフォルト、一般保護違反またはマシンチェック例外や他の予測できないシステムの動作をサーバーシステムに引き起こすことがあったプロセッサの問題に対処しました。このサーバーでサポートされるすべてのプロセッサにこの問題がありますが、この問題の影響を受ける条件は、サーバーが仮想化環境で動作していて、Intel ハイパースレッディングが有効、Intel VT FlexPriorityおよび拡張ページテーブルを有効にしたハイパーバイザーを持ち、そして32ビットPAEページングモードを利用しているゲストOSがある場合だけです。この問題は、HP ProLiantサーバーに固有のものではなく、上記の条件で動作している影響を受けるプロセッサを利用するすべてのシステムに影響があります。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処したアップデートされたバージョンのIntelのマイクロコードを含んでいます。このリビジョンのシステムROMは、潜在的で深刻な問題に対応しているため、このシステムROMアップグレードは、重要な修正と考えられます。

既知の問題点 :

なし

修正

重要な注意 :

コンポーネントのパッケージがアップデートされました。製品の機能には影響ありません。

ファームウェアの関連性 :

なし

修正された問題点 :

特定の動作環境で発生する内部プロセッサーマイクロアーキテクチャイベントのまれで複雑なシーケンスが予想しないページフォルト、一般保護違反またはマシンチェック例外や他の予測できないシステムの動作をサーバーシステムに引き起こすことがあったプロセッサの問題に対処しました。このサーバーでサポートされるすべてのプロセッサにこの問題がありますが、この問題の影響を受ける条件は、サーバーが仮想化環境で動作していて、Intel ハイパースレッディングが有効、Intel VT FlexPriorityおよび拡張ページテーブルを有効にしたハイパーバイザーを持ち、そして32ビットPAEページングモードを利用しているゲストOSがある場合だけです。この問題は、HP ProLiantサーバーに固有のものではなく、上記の条件で動作している影響を受けるプロセッサを利用するすべてのシステムに影響があります。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処したアップデートされたバージョンのIntelのマイクロコードを含んでいます。このリビジョンのシステムROMは、潜在的で深刻な問題に対応しているため、このシステムROMアップグレードは、重要な修正と考えられます。

既知の問題点 :

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - HP ProLiant ML310e Gen8 v2 (P78) サーバー
バージョン: 2014.03.28 (B) (オプション)
ファイル名: cp031055.exe

重要な注意 !

重要な注意 :

Ver. 2014.03.28 (B)は ver. 2014.03.28と同じシステムROMイメージを提供します。新しいver. 2014.03.28 (B) は Microsoft Windows Server 2016を持つオンラインROMフラッシュの実行におけるサポートを追加します。ユーザーはもしシステムが以前にシステム ROM ver. 2014.03.28.によりフラッシュされていなければ、システムROMをver. 2014.03.28 (B)でフラッシュする必要はありません。

提供名 :

HP ProLiant ML310e Gen8 v2 システムROM - P78

リリースバージョン :

2014年3月28日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン :

2014年3月8日

以前のリビジョン :

2013年3月8日

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能 :

なし

修正された問題点 :

システムROMの2014/03/08リビジョンを使用するサーバーが、Trusted Platform Module (TPM)オペレーティングシステム認証テストに関して引き起こしていた問題に対処しました。この問題は、通常のオペレーティングシステム環境におけるTPMの機能性に影響を与えません。この問題は、システムROM 2014/03/08 リビジョンを持つサーバーのみに影響します。

既知の問題点 :

なし

修正

重要な注意 :

バージョン2014.03.28 (B)はバージョン 2014.03.28と同じシステムROMを提供します。新しいバージョン 2014.03.28 (B)はMicrosoft Windows Server 2016でOnline ROM Flashを実行するためのサポートを追加します。もしシステムが以前システムROMバージョン 2014.03.28でフラッシュされていれば、ユーザーがシステムROMをバージョン2014.03.28 (B) でフラッシュする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点 :

システムROMの2014/03/08リビジョンを使用するサーバーが、Trusted Platform Module (TPM)オペレーティングシステム認証テストに関して引き起こしていた問題に対処しました。この問題は、通常のオペレーティングシステム環境におけるTPMの機能性に影響を与えません。この問題は、システムROM 2014/03/08 リビジョンを持つサーバーのみに存在します。

既知の問題点 :

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - HP ProLiant ML310e Gen8 (J04) サーバー
バージョン: 2013.11.09 (B) (オプション)
ファイル名: cp031053.exe

重要な注意!

重要な注意:

Ver. 2013.11.09 (B)は ver. 2013.11.09と同じシステムROMイメージを提供します。新しいver. 2013.11.09 (B) は Microsoft Windows Server 2016を持つオンラインROMフラッシュの実行におけるサポートを追加します。ユーザーはもしシステムが以前にシステム ROM ver. 2013.11.09.によりフラッシュされていないならば、システムROMをver. 2013.11.09 (B)でフラッシュする必要はありません。

提供名:

HP ProLiant ML310e Gen8 システムROM - J04

リリースバージョン:

2013年11月9日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2013年8月24日

以前のリビジョン:

2013年8月24日

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU) の電源オン遅延オプションに15、30、45および60秒の遅延時間の追加オプションを(遅延なしとランダム遅延の以前のオプションに加えて)追加しました。これらの新しい機能を選択する場合は、システムがIntegrated Lights-Out (iLO) ファームウェアバージョン1.20以降を使用している必要があります。iLOファームウェアバージョン 1.20以降を持たずにシステムが新しいオプションの1つで構成される場合、電源オン遅延オプションは遅延なしオプションが選択されたように機能します。

USBドライブキーまたはハードディスクドライブのような有効なブートデバイスのシステムROMの検出を改善しました。以前、システムROMは[Non-System Disk Error]に結びつく無効なブートレコードを持つ起動可能メディアの起動を試みる可能性がありました。現在、いくつかの場合に、システムROMが無効なブートレコードを検出し、デバイスの起動をスキップすることができます。これで、システムROMは、ブートオーダーで次のデバイスの起動を試みることができます。

オプションの拡張カードの最新の製品名およびROMベースセットアップユーティリティ (RBSU) の言語の翻訳 (英語以外のモードの場合) のアップデートが追加されました。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

拡張

重要な注意:

バージョン2013.11.09 (B)はバージョン 2013.11.09と同じシステムROMを提供します。新しいバージョン 2013.11.09 (B)はMicrosoft Windows Server 2016でOnline ROM Flashを実行するためのサポートを追加します。もしシステムが以前システムROMバージョン 2013.11.09でフラッシュされていれば、ユーザーがシステムROMをバージョン2013.11.09 (B) でフラッシュする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能 :

ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU) の電源オン遅延オプションに15、30、45および60秒の遅延時間の追加オプションを(遅延なしとランダム遅延の以前のオプションに加えて)追加しました。これらの新しい機能を選択する場合は、システムがIntegrated Lights-Out (iLO) ファームウェアバージョン1.20以降を使用している必要があります。iLOファームウェアバージョン 1.20以降を持たずにシステムが新しいオプションの1つで構成される場合、電源オン遅延オプションは遅延なしオプションが選択されたように機能します。

USBドライブキーまたはハードディスクドライブのような有効なブートデバイスのシステムROMの検出を改善しました。以前、システムROMは[Non-System Disk Error]に結びつく無効なブートレコードを持つ起動可能メディアの起動を試みる可能性がありました。現在、いくつかの場合に、システムROMが無効なブートレコードを検出し、デバイスの起動をスキップすることができます。これで、システムROMは、ブートオーダーで次のデバイスの起動を試みることができます。

オプションの拡張カードの最新の製品名およびROMベースセットアップユーティリティ (RBSU) の言語の翻訳 (英語以外のモードの場合) のアップデートが追加されました。

既知の問題点 :

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - HP ProLiant ML350e Gen8/ML350e Gen8 v2 (J02) サーバー
バージョン: 2014.08.02 (B) (オプション)
ファイル名: cp031059.exe

重要な注意 !

重要な注意 :

Ver. 2014.08.02 (B)は ver. 2014.08.02と同じシステムROMイメージを提供します。新しいver. 2014.08.02 (B) は Microsoft Windows Server 2016を持つオンラインROMフラッシュの実行におけるサポートを追加します。ユーザーはもしシステムが以前にシステム ROM ver. 2014.08.02.によりフラッシュされていなければ、システムROMをver. 2014.08.02 (B)でフラッシュする必要はありません。

提供名 :

HP ProLiant ML350e Gen8/ML350e Gen8 v2 システムROM - J02

リリースバージョン :

2014年8月2日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン :

2013年12月22日

以前のリビジョン :

2014年2月10日

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能：

ROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）にPCIe拡張デバイスの最新の名前のサポートを追加しました。

修正された問題点：

オプションのビデオカードが搭載されている場合、POST中にサーバーが応答しなくなる可能性のある問題に対処しました。

特定のオプションカードが、非常に多くのプリフェッチ不可能メモリーを要求して正しく機能しない問題に対処しました。この問題は、少数の非HP製のオプションカードに対してだけ影響を与えます。

既知の問題点：

なし

修正**重要な注意：**

バージョン2014.08.02 (B)はバージョン 2014.08.02と同じシステムROMを提供します。新しいバージョン 2014.08.02 (B)はMicrosoft Windows Server 2016でOnline ROM Flashを実行するためのサポートを追加します。もしシステムが以前システムROMバージョン 2014.08.02でフラッシュされていれば、ユーザーがシステムROMをバージョン2014.08.02 (B) でフラッシュする必要はありません。

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

オプションのビデオカードが搭載されている場合、POST中にサーバーが応答しなくなる可能性のある問題に対処しました。

特定のオプションカードが、非常に多くのプリフェッチ不可能メモリーを要求して正しく機能しない問題に対処しました。この問題は、少数の非HP製のオプションカードに対してだけ影響を与えます。

既知の問題点：

なし

拡張

ROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）にPCIe拡張デバイスの最新の名前のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - HP ProLiant ML350p Gen8 (D72) サーバー
バージョン: 2015.07.01 (B) (**オプション**)
ファイル名: cp031044.exe

重要な注意！**重要な注意：**

Ver. 2015.07.01 (B)は ver. 2015.07.01と同じシステムROMイメージを提供します。新しいver. 2015.07.01 (B) は Microsoft Windows Server 2016を持つオンラインROMフラッシュの実行におけるサポートを追加します。ユーザーはもしシステムが以前にシステム ROM ver. 2015.07.01.によりフラッシュされていなければ、システムROMをver. 2015.07.01 (B)でフラッシュする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant ML350p Gen8 システムROM - P72

リリースバージョン :

2015年7月1日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン :

2013年12月20日

以前のリビジョン :

2014年8月2日

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能 :

なし

修正された問題点 :

デバイス割り込みが正しく処理されないことがあり、割り込みを失うまたは訂正不可能なマシンチェック例外となる問題に対処しました。この問題は、HP製サーバーに固有のものではありません。これらの問題が起こっているユーザーは、ハードウェアコンポーネントを置き換える前に、このリビジョンのシステムROMにアップデートすることをHPはおすすめします。

既知の問題点 :

なし

修正**重要な注意 :**

バージョン2015.07.01 (B)はバージョン 2015.07.01と同じシステムROMを提供します。新しいバージョン 2015.07.01 (B)はMicrosoft Windows Server 2016でOnline ROM Flashを実行するためのサポートを追加します。もしシステムが以前システムROMバージョン 2015.07.01でフラッシュされていれば、ユーザーがシステムROMをバージョン2015.07.01 (B) でフラッシュする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点 :

デバイス割り込みが正しく処理されないことがあり、割り込みを失うまたは訂正不可能なマシンチェック例外となる問題に対処しました。この問題は、HP製サーバーに固有のものではありません。これらの問題が起こっているユーザーは、ハードウェアコンポーネントを置き換える前に、このリビジョンのシステムROMにアップデートすることをHPはおすすめします。

既知の問題点 :

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - HP ProLiant SL210t Gen8 (P83) サーバー
バージョン: 2016.01.18 (B) (**オプション**)
ファイル名: cp031075.exe

重要な注意!**重要な注意 :**

Ver. 2016.01.18 (B)は ver. 2016.01.18と同じシステムROMイメージを提供します。新しいver. 2016.01.18 (B) は Microsoft Windows Server 2016を持つオンラインROMフラッシュの実行におけるサポートを追加します。ユーザーはもしシステムが以前にシステム ROM ver. 2016.01.18.によりフラッシュされていなければ、システムROMをver. 2016.01.18 (B)でフラッシュする必要はありません。

提供名：

HP ProLiant SL210t Gen8 システムROM - P83

リリースバージョン：

2016年1月18日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013年12月20日

以前のリビジョン：

2014年11月1日

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

CPU温度センサーの誤ったしきい値がHP System Management Homepage (SMH) で報告された問題に対処しました。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

バージョン2016.01.18 (B)はバージョン 2016.01.18と同じシステムROMを提供します。新しいバージョン 2016.01.18 (B)はMicrosoft Windows Server 2016でOnline ROM Flashを実行するためのサポートを追加します。もしシステムが以前システムROMバージョン2016.01.18でフラッシュされていれば、ユーザーがシステムROMをバージョン2016.01.18 (B) でフラッシュする必要はありません。

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

CPU温度センサーの誤ったしきい値がHP System Management Homepage (SMH) で報告された問題に対処しました。

既知の問題点：

なし

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HP ProLiant SL4540s Gen8システムROM - P74

リリース日付：

2014/11/01

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2013/12/20

以前のリビジョン：

2014/08/02

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

サーバーが、Intel Xeon E5-2400シリーズプロセッサで構成されている場合、iLOインテグレートドマネジメントログ(IML)に電源障害として通常記録される予期しないシャットダウンに遭遇することがある、ごくまれな問題に対処しました。

既知の問題点：

なし

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

サーバーが、Intel Xeon E5-2400シリーズプロセッサで構成されている場合、iLOインテグレートドマネジメントログ(IML)に電源障害として通常記録される予期しないシャットダウンに遭遇することがある、ごくまれな問題に対処しました。

既知の問題点：

なし

重要な注意！

重要な注意：

コンポーネントのパッケージがアップデートされました。製品の機能には影響ありません。

提供名：

HP ProLiant SL4545 G7システムROM - A31

リリース日付：

2013/11/02

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2012/12/08

以前のリビジョン：

2013/06/05

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

ROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）にオプション拡張カードの最新の製品名を追加しました。

修正された問題点：

なし

既知の問題点：

なし

拡張

重要な注意：

コンポーネントのパッケージがアップデートされました。製品の機能には影響ありません。

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

ROMベースセットアップユーティリティ（RBSU）にオプション拡張カードの最新の製品名を追加しました。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - HP ProLiant XL220a Gen8 v2 (P94)サーバー
バージョン: 2015.01.26 (B) (オプション)
ファイル名: cp031078.exe

重要な注意！

重要な注意：

Ver. 2015.01.26 (B)は ver. 2015.01.26と同じシステムROMイメージを提供します。新しいver. 2015.01.26 (B) は Microsoft Windows Server 2016を持つオンラインROMフラッシュの実行におけるサポートを追加します。ユーザーはもしシステムが以前にシステム ROM ver. 2015.01.26.によりフラッシュされていなければ、システムROMをver. 2015.01.26 (B)でフラッシュする必要はありません。

System Programmable Logic DeviceのファームウェアはシステムROMとともにアップグレードする必要があります。下記のファームウェア依存のセクションを参照してください。

提供名 :

HP ProLiant XL220a Gen8 v2 システムROM - P94

リリースバージョン :

2015年1月26日

最新の推奨またはクリティカルリビジョン :

2014年6月20日

以前のリビジョン :

2014年6月20日

ファームウェアの依存関係:

System Programmable Logic Deviceバージョン0x15以降が必要です。System Programmable Logic Deviceファームウェアは次のリンクでダウンロードできます :

オンラインフラッシュコンポーネント for Linux - System Programmable Logic Device (HP ProLiant XL220a Gen8 v2)バージョン0x15 : <https://downloads.hpe.com/pub/softlib2/software1/sc-linux-fw/p1150180434/v103815>

オンラインフラッシュコンポーネント for Win64 - System Programmable Logic Device (HP ProLiant XL220a Gen8 v2)バージョン 0x15 : <https://downloads.hpe.com/pub/softlib2/software1/sc-windows-fw/p1281588026/v103857>

改善点/新しい機能 :

なし

修正された問題点 :

重圧力の環境でシステムに修正できないマシンチェックが発生する問題に対処しました。この問題は以下のエラーとともにIntegrated Management Logに報告されます(Uncorrectable Machine Check Exception:APIC ID 0x00000004, Bank 0x00000003, Status 0xF2000000'00800400, Address 0x00000000'00000000, Misc 0x00000000'00000000)。この問題はHPに固有のものではありません。これらの問題が起こっているユーザーは、ハードウェアコンポーネントを置き換える前に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨します。

訂正不能なマシンチェック例外がサーバーの再起動を繰り返す、または応答を停止させる可能性がある問題を解決しました。この解決には、System Programmable Logic Deviceをバージョン0x15以降にアップグレードすることが必要です。

既知の問題点 :

なし

修正

重要な注意 :

バージョン2015.01.26 (B)はバージョン 2015.01.26と同じシステムROMを提供します。新しいバージョン 2015.01.26 (B)はMicrosoft Windows Server 2016でOnline ROM Flashを実行するためのサポートを追加します。もしシステムが以前システムROMバージョン 2015.01.26でフラッシュされていれば、ユーザーがシステムROMをバージョン2015.01.26 (B) でフラッシュする必要はありません。

System Programmable Logic DeviceのファームウェアはシステムROMとともにアップグレードする必要があります。下記のファームウェア依存のセクションを参照してください。

ファームウェアの依存関係:

System Programmable Logic Deviceバージョン0x15以降が必要です。System Programmable Logic Deviceファームウェアは次のリンクでダウンロードできます：

オンラインフラッシュコンポーネント for Linux - System Programmable Logic Device (HP ProLiant XL220a Gen8 v2)バージョン0x15： <https://downloads.hpe.com/pub/softlib2/software1/sc-linux-fw/p1150180434/v103815>

オンラインフラッシュコンポーネント for Win64 - System Programmable Logic Device (HP ProLiant XL220a Gen8 v2)バージョン 0x15： <https://downloads.hpe.com/pub/softlib2/software1/sc-windows-fw/p1281588026/v103857>

修正された問題点：

重圧力の環境でシステムに修正できないマシンチェックが発生する問題に対処しました。この問題は以下のエラーとともにインテグレートドマネジメントログに報告されます(Uncorrectable Machine Check Exception:APIC ID 0x00000004, Bank 0x00000003, Status 0xF2000000'00800400, Address 0x00000000'00000000, Misc 0x00000000'00000000)。この問題はHPに固有のものではありません。これらの問題が起こっているユーザーは、ハードウェアコンポーネントを置き換える前に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨します。

訂正不能なマシンチェック例外がサーバーの再起動を繰り返す、または応答を停止させる可能性がある問題を解決しました。この解決には、System Programmable Logic Deviceをバージョン0x15以降にアップグレードする必要があります。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant BL460c Gen9/WS460c Gen9 (I36)サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (オプション)
ファイル名: cp031700.exe

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HPE ProLiant BL460c Gen9/WS460c Gen9 システムROM - I36

リリースバージョン：

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン：

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能：

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムの温度のロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHP RESTful API HPE BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant BL660c Gen9 (I38)サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (オプション)
ファイル名: cp031619.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant BL660c Gen9 システムROM - I38

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムの温度のロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHP RESTful API HPE BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant DL160 Gen9/DL180 Gen9 (U20)サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (オプション)

ファイル名: cp031716.exe

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HPE ProLiant DL160/DL180 Gen9 システムROM - U20

リリースバージョン：

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.20_05-05-2016

以前のリリース :

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能 :

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点 :

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点 :

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正**重要な注意 :**

なし

ファームウェアの依存関係 :

なし

修正された問題点 :

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムの温度のロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHP RESTful API HPE BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant DL20 Gen9 (U22)サーバー
バージョン: 2.10_02-21-2017 (推奨)
ファイル名: cp031976.exe

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HPE ProLiant DL20 Gen9 システムROM - U22

リリースバージョン：

2.10_02-21-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.10_02-21-2017

以前のリビジョン：

2.00_01-17-2017

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

Intelの技術アドバイザリーに従って Intel® ダイレクトコネクトインターフェイス(DCI)の問題を解決しました。この問題は、HPE ProLiantサーバーに固有のものではなく、影響を受けたチップセットを使用するすべてのシステムにインパクトを及ぼします。

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

Intelの技術アドバイザリーに従って Intel® ダイレクトコネクトインターフェイス(DCI) の問題を解決しました。この問題は、HPE ProLiantサーバーに固有のものではなく、影響を受けたチップセットを使用するすべてのシステムにインパクトを及ぼします。

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHP RESTful API HPE BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant DL380 Gen9/DL360 Gen9 (P89)サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (オプション)
ファイル名: cp031672.exe

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

リリースバージョン :

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン :

2.22_07-18-2016

以前のリビジョン :

2.30_09-13-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能 :

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点 :

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点 :

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意 :

なし

ファームウェアの依存関係 :

なし

修正された問題点 :

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant DL560 Gen9 (P85)サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (オプション)
ファイル名: cp031635.exe

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HPE ProLiant DL560 Gen9 システムROM - P85

リリースバージョン：

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン：

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HPE ProLiant DL580 Gen9 システムROM - U17

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.22_07-21-2016

以前のリビジョン：

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant DL60 Gen9/DL80 Gen9 (U15)サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (オプション)
ファイル名: cp031682.exe

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HPE ProLiant DL60 Gen9/DL80 Gen9 システムROM - U15

リリースバージョン：

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン：

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant ML110 Gen9 (P99)サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (オプション)
ファイル名: cp031616.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML110 Gen9 システムROM - P99

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムの温度のロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHP RESTful API HPE BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant ML150 Gen9 (P95)サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (オプション)
ファイル名: cp031663.exe

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HPE ProLiant ML150 Gen9 システムROM - P95

リリースバージョン：

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.20_05-05-2016

以前のリリース :

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能 :

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点 :

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点 :

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正**重要な注意 :**

なし

ファームウェアの依存関係 :

なし

修正された問題点 :

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムの温度のロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHP RESTful API HPE BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant ML30 Gen9 (U23)サーバー
バージョン: 2.10_02-21-2017 (推奨)
ファイル名: cp031979.exe

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HPE ProLiant ML30 Gen9 システムROM - U23

リリースバージョン：

2.10_02-21-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.10_02-21-2017

以前のリビジョン：

2.00_01-17-2017

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

Intelの技術アドバイザリーに従って Intel® ダイレクトコネクトインターフェイス(DCI) の問題を解決しました。この問題は、HPE ProLiantサーバーに固有のものではなく、影響を受けたチップセットを使用するすべてのシステムにインパクトを及ぼします。

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

Intelの技術アドバイザリーに従って Intel® ダイレクトコネクタインターフェイス(DCI) の問題を解決しました。この問題は、HPE ProLiantサーバーに固有のものではなく、影響を受けたチップセットを使用するすべてのシステムにインパクトを及ぼします。

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHP RESTful API HPE BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant ML350 Gen9 (P92)サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (オプション)
ファイル名: cp031613.exe

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

リリースバージョン :

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン :

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン :

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能 :

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点 :

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点 :

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意 :

なし

ファームウェアの依存関係 :

なし

修正された問題点 :

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen9 (U14)サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (オプション)
ファイル名: cp031746.exe

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen9 システムROM - U14

リリースバージョン：

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン：

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MACノードが示す場所は、エンクロージャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MACノードが示す場所は、エンクロージャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant XL230a/XL250a Gen9 (U13)サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (オプション)
ファイル名: cp031703.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant XL230a/XL250a Gen9 システムROM - U13

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MACノードが示す場所は、エンクロージャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MACノードが示す場所は、エンクロージャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムの温度のロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHP RESTful API HPE BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant XL450 Gen9 (U21)サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (オプション)
ファイル名: cp031666.exe

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HPE ProLiant XL450 Gen9 システムROM - U21

リリースバージョン：

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.20_05-05-2016

以前のリリース :

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能 :

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点 :

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MACノードが示す場所は、エンクロージャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点 :

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意 :

なし

ファームウェアの依存関係 :

なし

修正された問題点 :

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MAC ノードが示す場所は、エンクローシャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USB ベースの UPS がサーバー USB ポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML) に対するログエラーがオプションの HPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムの温度のロジックを修正しました。

最新の BIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するように HP RESTful API HPE BIOS 属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE Apollo 4200 Gen9/HPE ProLiant XL420 Gen9 (U19) サーバーバージョン: 2.40_02-17-2017 (B) (**オプション**)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-u19-2.40_2017_02_17-2.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名：

HPE Apollo 4200 Gen9/HPE ProLiant XL420 Gen9システムROM - U19

リリースバージョン：

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン：

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新の BIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するように HPE RESTful API HP BIOS 属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用“HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意：

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant EC200a (U26) サーバー/HPE ProLiant Thin Micro TM200 (U26) サーバー

バージョン: 1.20_11-09-2016 (推奨)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-u26-1.20_2016_11_09-1.1.i386.rpm

修正

重要な注意 :

なし

ファームウェアの依存関係 :

なし

修正された問題点 :

EC200aサーバー上にある特定のHynix 8GB DIMMを使用している場合、マシンが例外をチェックする原因となっていた問題の対処しました。以前のROMは、リセットしてインテグレートドマネジメントログにエラーとして示すエラーメッセージを、以下のように記録することがありました。

```
"Uncorrectable Machine Check Exception (Board 0, Processor 1, APIC ID 0x00000000, Bank 0x00000007, Status 0xEC0000C0'00010090, Address 0x00000000'02CD9B40, Misc 0x00000001'4042C200)""Uncorrectable Machine Check Exception (Board 0, Processor 1, APIC ID 0x00000000, Bank 0x00000003, Status 0xF2000000'00300151, Address 0x00000000'00000000, Misc 0x00000000'00000000)"
```

既知の問題点 :

なし

拡張

HPE ProLiant Thin Micro TM200サーバーのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant XL270d (U25) アクセラレータトレイ

バージョン: 2.40_02-17-2017 (B) (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-u25-2.40_2017_02_17-2.1.i386.rpm

重要な注意 !

重要な注意 :

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevisionがROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名 :

HPE ProLiant XL270dアクセラレータトレイシステムROM - U25

リリースバージョン :

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン :

2.20_05-13-2016

以前のリビジョン：

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MACノードが示す場所は、エンクロージャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用“HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意：

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MACノードが示す場所は、エンクロージャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE Synergy 620/680 Gen9 (I40) コンピュートモジュール
バージョン: 2.40_02-17-2017 (B) (**オプション**)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-i40-2.40_2017_02_17-2.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意：

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名：

HPE Synergy 620/680 Gen9 システムROM - I40

リリースバージョン：

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.20_09-08-2016

以前のリビジョン：

2.20_09-08-2016

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用“HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意：

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware - HPE ProLiant EC200a (U26) サーバー/HPE ProLiant Thin Micro TM200 (U26) サーバー

バージョン: 1.20_11-09-2016 (**推奨**)

ファイル名: CP030131.zip

修正

重要な注意 :

なし

ファームウェアの依存関係 :

なし

修正された問題点 :

EC200aサーバー上にある特定のHynix 8GB DIMMを使用している場合、マシンが例外をチェックする原因となっていた問題の対処しました。以前のROMは、リセットしてインテグレートドマネジメントログにエラーとして示すエラーメッセージを、以下のように記録することがありました。

```
"Uncorrectable Machine Check Exception (Board 0, Processor 1, APIC ID 0x00000000, Bank 0x00000007, Status 0xEC0000C0'00010090, Address 0x00000000'02CD9B40, Misc 0x00000001'4042C200)""Uncorrectable Machine Check Exception (Board 0, Processor 1, APIC ID 0x00000000, Bank 0x00000003, Status 0xF2000000'00300151, Address 0x00000000'00000000, Misc 0x00000000'00000000)"
```

既知の問題点 :

なし

拡張

HPE ProLiant Thin Micro TM200サーバーのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware - HPE Synergy 620/680 Gen9 (I40) コンピュートモジュール

バージョン: 2.40_02-17-2017 (**オプション**)

ファイル名: CP031565.zip

重要な注意 !

重要な注意 :

なし

提供名 :

HPE Synergy 620/680 Gen9 システムROM - I40

リリースバージョン :

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン :

2.20_09-08-2016

以前のリリース :

2.20_09-08-2016

ファームウェアの依存関係 :

なし

改善点/新しい機能 :

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点 :

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点 :

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. “HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF) をインストールされて稼働している必要があります。

ESXi 5.5、ESXi 6.0、ESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. “Compaq ROM Utility Driver” (CRU) をインストールされて稼働している必要があります。

5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、および5.5用のOS固有の“HPE Agentless Management Service Offline Bundle”からも入手できます。

修正**重要な注意 :**

なし

ファームウェアの依存関係 :

なし

修正された問題点 :

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムの温度のロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHP RESTful API HPE BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL120 Gen9 (P86)サーバー
バージョン: 2.40_02-17-2017 (オプション)
ファイル名: cp031698.exe

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HPE ProLiant DL120 Gen9 システムROM - P86

リリースバージョン：

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン：

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant EC200a (U26) サーバー/HPE ProLiant Thin Micro TM200 (U26) サーバー

バージョン: 1.20_11-09-2016 (推奨)

ファイル名: cp030132.exe

修正

重要な注意 :

なし

ファームウェアの依存関係 :

なし

修正された問題点 :

EC200aサーバー上にある特定のHynix 8GB DIMMを使用している場合、マシンが例外をチェックする原因となっていた問題の対処しました。以前のROMは、リセットしてインテグレートドマネジメントログにエラーとして示すエラーメッセージを、以下のように記録することがありました。

```
"Uncorrectable Machine Check Exception (Board 0, Processor 1, APIC ID 0x00000000, Bank 0x00000007, Status 0xEC0000C0'00010090, Address 0x00000000'02CD9B40, Misc 0x00000001'4042C200)""Uncorrectable Machine Check Exception (Board 0, Processor 1, APIC ID 0x00000000, Bank 0x00000003, Status 0xF2000000'00300151, Address 0x00000000'00000000, Misc 0x00000000'00000000)"
```

既知の問題点 :

なし

拡張

HPE ProLiant Thin Micro TM200サーバーのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant XL270d (U25) アクセラレータトレイ

バージョン: 2.40_02-17-2017 (オプション)

ファイル名: cp031706.exe

重要な注意 !

重要な注意 :

なし

提供名 :

HPE ProLiant XL270dアクセラレータトレイシステムROM - U25

リリースバージョン :

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン :

2.20_05-13-2016

以前のリビジョン :

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能 :

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MACノードが示す場所は、エンクロージャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MACノードが示す場所は、エンクロージャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムの温度のロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHP RESTful API HPE BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

Linux用オンラインROMフラッシュコンポーネント - HPE Synergy 480 Gen9 (I37) コンピュートモジュール
バージョン: 2.40_02-17-2017 (B) (オプション)
ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-system-i37-2.40_2017_02_17-2.1.i386.rpm

重要な注意！**重要な注意：**

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名：

HPE Synergy 480 Gen9 System ROM - I37

リリースバージョン：

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.20_09-14-2016

以前のリビジョン：

2.20_09-14-2016

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用“HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意：

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

重要な注意：

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名：

HPE Synergy 660 Gen9 System ROM - I39

リリースバージョン：

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.20_09-08-2016

以前のリビジョン：

2.20_09-08-2016

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用“HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正**重要な注意：**

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点 :

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点 :

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

VMware用オンラインROMフラッシュコンポーネント - HPE Synergy 480 Gen9 (I37) コンピュートモジュール
バージョン: 2.40_02-17-2017 (オプション)
ファイル名: CP031625.zip

重要な注意 !

重要な注意 :

なし

提供名 :

HPE Synergy 480 Gen9 System ROM - I37

リリースバージョン :

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン :

2.20_09-14-2016

以前のリビジョン :

2.20_09-14-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアルSD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. “HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.5、ESXi 6.0、ESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. “Compaq ROM Utility Driver” (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、および5.5用のOS固有の“HPE Agentless Management Service Offline Bundle”からも入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムの温度のロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHP RESTful API HPE BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

VMware用オンラインROMフラッシュコンポーネント - HPE Synergy 660 Gen9 (I39) コンピュータモジュール
バージョン: 2.40_02-17-2017 (オプション)
ファイル名: CP031628.zip

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HPE Synergy 660 Gen9 System ROM - I39

リリースバージョン：

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.20_09-08-2016

以前のリビジョン：

2.20_09-08-2016

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. “HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.5、ESXi 6.0、ESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. “Compaq ROM Utility Driver” (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、および5.5用のOS固有の“HPE Agentless Management Service Offline Bundle”からも入手できます。

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムの温度のロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHP RESTful API HPE BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

Windows x64用オンラインROMフラッシュコンポーネント - HPE Synergy 480 Gen9 (I37) コンピュートモジュール
バージョン: 2.40_02-17-2017 (オプション)
ファイル名: cp031623.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Synergy 480 Gen9 System ROM - I37

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_09-14-2016

以前のリビジョン:

2.20_09-14-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムの温度のロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHP RESTful API HPE BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

Windows x64用オンラインROMフラッシュコンポーネント - HPE Synergy 620/680 Gen9 (I40) コンピュータモジュール
バージョン: 2.40_02-17-2017 (オプション)
ファイル名: cp031563.exe

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HPE Synergy 620/680 Gen9 システムROM - I40

リリースバージョン：

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.20_09-08-2016

以前のリビジョン：

2.20_09-08-2016

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正**重要な注意：**

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムの温度のロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHP RESTful API HPE BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

Windows x64用オンラインROMフラッシュコンポーネント - HPE Synergy 660 Gen9 (I39) コンピュートモジュール
バージョン: 2.40_02-17-2017 (オプション)
ファイル名: cp031626.exe

重要な注意！

重要な注意：

なし

提供名：

HPE Synergy 660 Gen9 System ROM - I39

リリースバージョン：

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

2.20_09-08-2016

以前のリビジョン：

2.20_09-08-2016

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意：

なし

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点：

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムの温度のロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHP RESTful API HPE BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

ドライバー - チップセット

[先頭](#)

HP ProLiant PCI-expressパワー マネジメント アップデート for Windows
バージョン: 1.3.0.0 (F) (オプション)
ファイル名: cp029661.exe

拡張

コンポーネントの実行ファイルは、現在SHA-1および SHA-256両方の署名付きでデジタル署名されています。

ドライバー - Lights-Outマネジメント

[先頭](#)

HP ProLiant Integrated Lights-Out マネジメント インターフェイス ドライバー for Windows Server 2012

バージョン: 1.18.0.0 (B) (オプション)

ファイル名: cp029664.exe

拡張

コンポーネントの実行ファイルは、現在SHA-1および SHA-256両方の署名付きでデジタル署名されています。

HP ProLiant内蔵Lights-Out マネジメント インターフェイス ドライバー for Windows Server 2003/2008

バージョン: 1.16.0.0 (G) (オプション)

ファイル名: cp029662.exe

拡張

コンポーネントの実行ファイルは、現在SHA-1および SHA-256両方の署名付きでデジタル署名されています。

HP ProLiant内蔵Lights-Out マネジメント インターフェイス ドライバー for Windows Server 2003/2008 x64 Edition

バージョン: 1.16.0.0 (G) (オプション)

ファイル名: cp029663.exe

拡張

コンポーネントの実行ファイルは、現在SHA-1および SHA-256両方の署名付きでデジタル署名されています。

ドライバー - ネットワーク

[先頭](#)

HP Broadcom 1Gb マルチファンクション ドライバー for Windows Server x64 Edition

バージョン: 7.8.50.0 (E) (オプション)

ファイル名: cp023430.exe

重要な注意!

HPは、これらのドライバー用に *HP Broadcom* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for *Windows Server x64 Editions*、バージョン4.0.1.11以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

これらのドライバーは、ストレージエリアネットワーク (SAN)からの起動時にiSCSIドライバーがインストールされることを妨げる問題に対処します。

これらのドライバーは、複数のデバイスに対する「SpeedDuplex」の高度なプロパティオプションを修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC373F PCI Express マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
- HP NC373T PCI Express マルチファンクションGigabitサーバーアダプター

- HP NC382i内蔵デュアルポート マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
- HP NC382mデュアルポート1GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP NC382T PCI ExpressデュアルポートGigabitサーバーアダプター

HP Broadcom 1Gb マルチファンクションドライバ for Windows Server 2008

バージョン: 7.8.50.0 (D) (オプション)

ファイル名: cp023429.exe

重要な注意!

HPは、これらのドライバー用に *HP Broadcom* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for *Windows Server 2008*、バージョン4.0.1.11以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

これらのドライバーは、ストレージエリアネットワーク (SAN)からの起動時にiSCSIドライバーがインストールされることを妨げる問題に対処します。

これらのドライバーは、複数のデバイスに対する「SpeedDuplex」の高度なプロパティオプションを修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC373F PCI Express マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
- HP NC373T PCI Express マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
- HP NC382i内蔵デュアルポート マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
- HP NC382mデュアルポート1GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP NC382T PCI ExpressデュアルポートGigabitサーバー アダプター

HP Broadcom tg3 Ethernetドライバ for VMware vSphere 5.5

バージョン: 2015.10.01 (オプション)

ファイル名: cp026888.zip

重要な注意!

HPは、このドライバー用に *HP Broadcom NX1* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for *VMware*、バージョン1.8.6で提供されるファームウェアをおすすめします。

このコンポーネントは、HPアプリケーションによって使用されることを意図します。 vmware.com および HPvibsdepot.hp.com Webページに加え、HP特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

修正

TBD

拡張

このドライバーは、HP Ethernet 1Gb デュアルポート 332iアダプター(22E8)をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート 330i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 331FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 331i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 331i-SPIアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 331Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 332iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 332T ネットワークアダプター

HP Broadcom tg3 Ethernetドライバー for VMware vSphere 6.0

バージョン: 2015.10.01 (オプション)

ファイル名: cp026889.zip

重要な注意!

HPは、このドライバー用に*HP Broadcom NX1*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for *VMware*、バージョン1.8.6で提供されるファームウェアをおすすめします。

このコンポーネントは、HPアプリケーションによって使用されることを意図します。vmware.comおよびHP vibsdepot.hp.com Webページに加え、HP特有のCP0xxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

拡張

このドライバーは、HP Ethernet 1Gb デュアルポート 332iアダプター(22E8)をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート 330i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 331FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 331i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 331i-SPIアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 331Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 332iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 332T ネットワークアダプター

HP Intel E1Rドライバー for Windows Server 2008

バージョン: 12.7.29.0 (C) (オプション)

ファイル名: cp019461.exe

修正

このドライバーは、リンクの実際の状態に関係なくすべてのシステム起動時にWindowsのシステムイベントログに"リンクダウン"メッセージが記録される問題に対処しました。

拡張

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 1ポート 364i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 367i アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHP Intel E1Rネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC365T PCI Express 4ポートGigabitサーバー アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361FLB アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361T アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 1ポート 364i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366FLR アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366M アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 367i アダプター

HP Intel E1Rドライバー for Windows Server 2008 x64 Edition

バージョン: 12.7.29.0 (C) (オプション)

ファイル名: cp019462.exe

修正

このドライバーは、リンクの実際の状態に関係なくすべてのシステム起動時にWindowsのシステムイベントログに"リンクダウン"メッセージが記録される問題に対処しました。

拡張

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 1ポート 364i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 367i アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHP Intel E1Rネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC365T PCI Express 4ポートGigabitサーバー アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361FLB アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361T アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 364i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366FLR アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366M アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 367i アダプター

HP Intel ixn/ixtドライバー for Windows Server 2008

バージョン: 3.5.22.0 (D) (オプション)

ファイル名: cp019449.exe

修正

このドライバーは、リンクの実際の状態に関係なくすべてのシステム起動時にWindowsのシステムイベントログに"リンクダウン"メッセージが記録される問題に対処しました。

拡張

このコンポーネントは、HP Ethernet 10Gb 2ポート 562iアダプターをサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは、以下のHP Intel ixnネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター

このコンポーネントは、以下のHP Intel ixtネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb デュアルポート 561T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 562i アダプター

HP Intel ixn/ixtドライバー for Windows Server 2008 x64 Edition

バージョン: 3.5.22.0 (D) (オプション)

ファイル名: cp019450.exe

修正

このドライバーは、リンクの実際の状態に関係なくすべてのシステム起動時にWindowsのシステムイベントログに"リンクダウン"メッセージが記録される問題に対処しました。

拡張

このコンポーネントは、HP Ethernet 10Gb 2ポート 562iアダプターをサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは、以下のHP Intel ixnネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター

このコンポーネントは、以下のHP Intel ixtネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb デュアルポート 561T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 562i アダプター

HP Mellanox CX3ドライバー for Windows Server 2008 R2

バージョン: 4.95.10777.0 (オプション)

ファイル名: cp026814.exe

修正

このドライバーは、VMQ (Virtual Machine Queue)モードで受信バッファサイズの変更後に、Windows Stop Error (BSOD)をもたらす問題を修正します。

このドライバーは、マシンがインストールされた複数のMellanoxデバイスを持つ場合に、RDMA over Converged Ethernet (RoCE)モードのPowerShell設定での問題を修正します。

このドライバーは、オペレーティングシステムにNVGRE (Network Virtualization using Generic Routing Encapsulation)機能の報告による問題を修正します。

拡張

ECN (Explicit Congestion Notification)が、PowerShellを介して構成できるようになりました。

このドライバーは、FCS (Frame Check Sequence)警告を無視して、NICがEthernetパケットを受信することを可能にする新しいモードをサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHP Mellanox CX3ネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10G 2ポート 546FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10G 2ポート 546SFP+ アダプター
- HP InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFP アダプター
- HP InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+FLR-QSFP アダプター
- HP InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+M アダプター
- HP InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート 544+FLR-QSFP アダプター
- HP InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート 544+M アダプター
- HP InfiniBand QDR/EN 10Gb デュアルポート 544FLR-QSFPアダプター
- HP InfiniBand FDR/EN 10/40Gbデュアルポート544QSFPアダプター
- HP InfiniBand FDR/EN 10/40Gb デュアルポート544FLR-QSFPアダプター
- HP InfiniBand FDR/EN 10/40Gbデュアルポート544Mアダプター
- HP InfiniBand QDR/EN 10Gbデュアルポート544Mアダプター
- HP InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2P 544iアダプター

HP Mellanox CX3ドライバー for Windows Server 2012

バージョン: 4.95.10777.0 (オプション)

ファイル名: cp026815.exe

修正

このドライバーは、VMQ (Virtual Machine Queue)モードで受信バッファサイズの変更後に、Windows Stop Error (BSOD)をもたらす問題を修正します。

このドライバーは、マシンがインストールされた複数のMellanoxデバイスを持つ場合に、RDMA over Converged Ethernet (RoCE)モードのPowerShell設定での問題を修正します。

このドライバーは、オペレーティングシステムにNVGRE (Network Virtualization using Generic Routing Encapsulation)機能の報告による問題を修正します。

拡張

ECN (Explicit Congestion Notification)が、PowerShellを介して構成できるようになりました。

このドライバーは、FCS (Frame Check Sequence)警告を無視して、NICがEthernetパケットを受信することを可能にする新しいモードをサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHP Mellanox CX3ネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10G 2ポート 546FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10G 2ポート 546SFP+ アダプター
- HP InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFP アダプター
- HP InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+FLR-QSFP アダプター
- HP InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+M アダプター
- HP InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート 544+FLR-QSFP アダプター
- HP InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート 544+M アダプター
- HP InfiniBand QDR/EN 10Gb デュアルポート 544FLR-QSFPアダプター

- HP InfiniBand FDR/EN 10/40Gbデュアルポート544QSFPアダプター
- HP InfiniBand FDR/EN 10/40Gb デュアルポート544FLR-QSFPアダプター
- HP InfiniBand FDR/EN 10/40Gbデュアルポート544Mアダプター
- HP InfiniBand QDR/EN 10Gbデュアルポート544Mアダプター
- HP InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2P 544iアダプター

HP Mellanox CX3ドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 4.95.10777.0 (オプション)

ファイル名: cp026816.exe

修正

このドライバーは、VMQ (Virtual Machine Queue)モードで受信バッファサイズの変更後に、Windows Stop Error (BSOD)をもたらす問題を修正します。

このドライバーは、マシンがインストールされた複数のMellanoxデバイスを持つ場合に、RDMA over Converged Ethernet (RoCE)モードのPowerShell設定での問題を修正します。

このドライバーは、オペレーティングシステムにNVGRE (Network Virtualization using Generic Routing Encapsulation)機能の報告による問題を修正します。

拡張

ECN (Explicit Congestion Notification)が、PowerShellを介して構成できるようになりました。

このドライバーは、FCS (Frame Check Sequence)警告を無視して、NICがEthernetパケットを受信することを可能にする新しいモードをサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHP Mellanox CX3ネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10G 2ポート 546FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10G 2ポート 546SFP+ アダプター
- HP InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFP アダプター
- HP InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+FLR-QSFP アダプター
- HP InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+M アダプター
- HP InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート 544+FLR-QSFP アダプター
- HP InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート 544+M アダプター
- HP InfiniBand QDR/EN 10Gb デュアルポート 544FLR-QSFPアダプター
- HP InfiniBand FDR/EN 10/40Gbデュアルポート544QSFPアダプター
- HP InfiniBand FDR/EN 10/40Gb デュアルポート544FLR-QSFPアダプター
- HP InfiniBand FDR/EN 10/40Gbデュアルポート544Mアダプター
- HP InfiniBand QDR/EN 10Gbデュアルポート544Mアダプター
- HP InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2P 544iアダプター

HP Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet)ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 Update 1 (x86_64)

バージョン: 3.2 (A) (推奨)

ファイル名: kmod-mlx-ofa_kernel-3.2-OFED.3.2.2.0.0.1.g378ff02.rhel7u1.x86_64.rpm; mlx-ofa_kernel-3.2-OFED.3.2.2.0.0.1.g378ff02.5.rhel7u1.x86_64.rpm

修正

バージョン3.2 (A) での修正

- "infiniband support"グループにOS配布のRPMがすでにインストールされている場合、RoCEユーザースペースのライブラリーであるRPM "mlx-ofa_kernel"でインストールに失敗しました。

- 以前のバージョンのMLNX-ENRoCE ドライバーがすでにインストールされている場合、ドライバーアップグレードが正しく動作しません。これは、Mellanox Ethernet ポートが動作しない原因となります。

バージョン3.2での修正：

- もっとも近い NUMA ノードを、受信側スケーリング用のデフォルトに設定します。
- GROが有効になったときに、プロキシVXLANインターフェイスが正しく処理されないARP要求パケット。

拡張

HPE Mellanox RoCEドライバーv3.2は、以下の変更点および新機能を含みます：

- ローパケットキューペアおよび作業クエリ用のFCS分散
- 受信側の完了時に、L4パケットタイプの表示。
- 作業クエリ用のCVLANインサートをサポート

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル：

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 Update 1 (x86_64) カーネルは、次の通りです。
3.10.0-229.el7 - (x86_64) および将来アップデートされるカーネル。

HP Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 Update 2 (x86_64)
バージョン: 3.2 (A) (推奨)

ファイル名: kmod-mlx-ofa_kernel-3.2-OFED.3.2.2.0.0.1.g378ff02.rhel7u2.x86_64.rpm; mlx-ofa_kernel-3.2-OFED.3.2.2.0.0.1.g378ff02.5.rhel7u2.x86_64.rpm

修正

バージョン3.2 (A) での修正

- "infiniband support"グループにOS配布のRPMがすでにインストールされている場合、RoCEユーザースペースのライブラリーであるRPM "mlx-ofa_kernel"でインストールに失敗しました。
- 以前のバージョンのMLNX-ENRoCE ドライバーがすでにインストールされている場合、ドライバーアップグレードが正しく動作しません。これは、Mellanox Ethernet ポートが動作しない原因となります。

バージョン3.2での修正：

- もっとも近い NUMA ノードを、受信側スケーリング用のデフォルトに設定します。
- GROが有効になったときに、プロキシVXLANインターフェイスが正しく処理されないARP要求パケット。

拡張

HPE Mellanox RoCEドライバーv3.2は、以下の変更点および新機能を含みます：

- ローパケットキューペアおよび作業クエリ用のFCS分散
- 受信側の完了時に、L4パケットタイプの表示。
- 作業クエリ用のCVLANインサートをサポート

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル：

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 Update 2 (x86_64) カーネルは、次の通りです。
3.10.0-327.el7 - (x86_64) および将来アップデートされるカーネル。

HP NCシリーズIntel E1Eドライバー for Windows Server 2008

バージョン: 9.15.17.0 (オプション)

ファイル名: cp017186.exe

修正

このドライバーは、チェックサムオフロードが無効の場合でもチェックサムオフロードの計算が実行される問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHP NCシリーズのIntelネットワーク アダプターをサポートします。

- HP NC110T PCI Expressシングル ポートGigabitサーバー アダプター
- HP NC360mデュアル ポートGigabit Ethernet BL-cアダプター
- HP NC360T PCI Expressデュアル ポートGigabitサーバー アダプター
- HP NC364m 4ポートGigabit Ethernet BL-cアダプター
- HP NC364T PCI Express 4ポートGigabitサーバー アダプター

HP NCシリーズIntel E1Eドライバー for Windows Server 2008 R2

バージョン: 9.15.17.0 (B) (オプション)

ファイル名: cp018229.exe

拡張

このドライバーは、Windows Server 2012をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHP NCシリーズのIntelネットワーク アダプターをサポートします。

- HP NC110T PCI Expressシングル ポートGigabitサーバー アダプター
- HP NC360mデュアル ポートGigabit Ethernet BL-cアダプター
- HP NC360T PCI Expressデュアル ポートGigabitサーバー アダプター
- HP NC364m 4ポートGigabit Ethernet BL-cアダプター
- HP NC364T PCI Express 4ポートGigabitサーバー アダプター

HP NCシリーズIntel E1Eドライバー for Windows Server 2008 x64 Edition

バージョン: 9.15.17.0 (オプション)

ファイル名: cp017187.exe

修正

このドライバーは、チェックサムオフロードが無効の場合でもチェックサムオフロードの計算が実行される問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHP NCシリーズのIntelネットワーク アダプターをサポートします。

- HP NC110T PCI Expressシングル ポートGigabitサーバー アダプター
- HP NC360mデュアル ポートGigabit Ethernet BL-cアダプター
- HP NC360T PCI Expressデュアル ポートGigabitサーバー アダプター
- HP NC364m 4ポートGigabit Ethernet BL-cアダプター
- HP NC364T PCI Express 4ポートGigabitサーバー アダプター

HP NCシリーズIntel E1Qドライバー for Windows Server 2008

バージョン: 12.7.29.0 (B) (オプション)

ファイル名: cp021179.exe

修正

このコンポーネントは、アダプターのインストールが完了した後にそれらを有効にする必要があるときに、インストールされたアダプターが無効な状態のままとなる問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHP NCシリーズのIntel E1Qネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC112T PCI Express Gigabitサーバー アダプター
- HP NC112i 1ポート Ethernet サーバーアダプター
- HP NC362i 内蔵デュアルポート Gigabit サーバーアダプター
- HP NC362i 内蔵デュアルポート BL-c Gigabit サーバーアダプター

HP NCシリーズIntel E1Qドライバー for Windows Server 2008 R2

バージョン: 12.7.27.0 (B) (オプション)

ファイル名: cp021181.exe

修正

このコンポーネントは、アダプターのインストールが完了した後にそれらを有効にする必要があるときに、インストールされたアダプターが無効な状態のままとなる問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHP NCシリーズのIntel E1Qネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC112T PCI Express Gigabitサーバー アダプター
- HP NC112i 1ポート Ethernet サーバーアダプター
- HP NC362i 内蔵デュアルポート Gigabit サーバーアダプター
- HP NC362i 内蔵デュアルポート BL-c Gigabit サーバーアダプター

HP NCシリーズIntel E1Qドライバー for Windows Server 2008 x64 Edition

バージョン: 12.7.29.0 (B) (オプション)

ファイル名: cp021180.exe

修正

このコンポーネントは、アダプターのインストールが完了した後にそれらを有効にする必要があるときに、インストールされたアダプターが無効な状態のままとなる問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHP NCシリーズのIntel E1Qネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC112T PCI Express Gigabitサーバー アダプター
- HP NC112i 1ポート Ethernet サーバーアダプター
- HP NC362i 内蔵デュアルポート Gigabit サーバーアダプター
- HP NC362i 内蔵デュアルポート BL-c Gigabit サーバーアダプター

HP NCシリーズIntel E1Qドライバー for Windows Server 2012

バージョン: 12.7.27.0 (B) (オプション)

ファイル名: cp021182.exe

修正

このコンポーネントは、アダプターのインストールが完了した後にそれらを有効にする必要があるときに、インストールされたアダプターが無効な状態のままとなる問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHP NCシリーズのIntel E1Qネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC112T PCI Express Gigabitサーバー アダプター
- HP NC112i 1ポート Ethernet サーバーアダプター
- HP NC362i 内蔵デュアルポート Gigabit サーバーアダプター
- HP NC362i 内蔵デュアルポート BL-c Gigabit サーバーアダプター

HP QLogic nx_nicドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 11 i586

バージョン: 4.0.596.1-5 (オプション)

ファイル名: hp-nx_nic-docs-1.0.0-4.noarch.rpm; hp-nx_nic-tools-4.0.596.1-4.noarch.rpm; hpqlgc-nx_nic-kmp-default-4.0.596.1_3.0.101_63-5.sles11sp4.i586.rpm; hpqlgc-nx_nic-kmp-default-4.0.596.1_3.0.76_0.11-2.sles11sp3.i586.rpm; hpqlgc-nx_nic-kmp-pae-4.0.596.1_3.0.101_63-5.sles11sp4.i586.rpm; hpqlgc-nx_nic-kmp-pae-4.0.596.1_3.0.76_0.11-2.sles11sp3.i586.rpm; hpqlgc-nx_nic-kmp-xen-4.0.596.1_3.0.101_63-5.sles11sp4.i586.rpm; hpqlgc-nx_nic-kmp-xen-4.0.596.1_3.0.76_0.11-2.sles11sp3.i586.rpm; README

重要な注意！

HPは、これらのドライバー用に*HP QLogic P3オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86*、バージョン5.6.10で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 11 SP4をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC375i 内蔵4ポート マルチファンクション Gigabit サーバーアダプター

HP QLogic nx_nicドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 11 x86_64

バージョン: 4.0.596.1-5 (オプション)

ファイル名: hp-nx_nic-docs-1.0.0-4.noarch.rpm; hp-nx_nic-tools-4.0.596.1-4.noarch.rpm; hpqlgc-nx_nic-kmp-default-4.0.596.1_3.0.101_63-5.sles11sp4.x86_64.rpm; hpqlgc-nx_nic-kmp-default-4.0.596.1_3.0.76_0.11-2.sles11sp3.x86_64.rpm; hpqlgc-nx_nic-kmp-xen-4.0.596.1_3.0.101_63-5.sles11sp4.x86_64.rpm; hpqlgc-nx_nic-kmp-xen-4.0.596.1_3.0.76_0.11-2.sles11sp3.x86_64.rpm; README

重要な注意！

HPは、これらのドライバー用に*HP QLogic P3オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64*、バージョン5.6.10で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 11 SP4をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC375i 内蔵4ポート マルチファンクション Gigabit サーバーアダプター

HP QLogic P3 ドライバーfor VMware vSphere 5.5

バージョン: 2015.10.01 (オプション)

ファイル名: cp026078.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPアプリケーションによって使用されることを意図します。vmware.comおよびHP vibsdepot.hp.com Webページに加え、HP特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

修正

このドライバーは、ドライバがNICのファームウェアをロードするときに発生するページフォールトを修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のQLogic P3ネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC375i 内蔵4ポート マルチファンクション Gigabit サーバーアダプター

HP QLogic P3 ドライバーfor VMware vSphere 6.0

バージョン: 2015.10.01 (オプション)

ファイル名: cp027056.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPアプリケーションによって使用されることを意図します。vmware.comおよびHP vibsdepot.hp.com Webページに加え、HP特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

拡張

最初のリリースです。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のQLogic P3ネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC375i 内蔵4ポート マルチファンクション Gigabit サーバーアダプター

HP QLogic P3P ドライバーfor VMware vSphere 5.5/6.0

バージョン: 2015.02.23 (オプション)

ファイル名: cp024734.zip

修正

このドライバーコンポーネントは、HP Smart Update Manager (HPSUM) を使用してインストールすることができます。

拡張

この製品は、現在VMware vSphere 6.0をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のHP P3Pネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC523SFP 10Gb デュアルポート Flex-10 Ethernet サーバーアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 526FLR-SFP+アダプター
- HP CN1000Q Dual Port Converged Network Adapter

HP QLogic P3P ドライバー for VMware vSphere 6.0

バージョン: 2015.10.01 (オプション)

ファイル名: cp027058.zip

重要な注意!

HPは、このドライバーでの使用に、HP QLogic P3Pオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware、バージョン2.5.5で提供されるファームウェアをおすすめします。

このコンポーネントは、HPアプリケーションによって使用されることを意図します。vmware.comおよびHP vibsdepot.hp.com Webページに加え、HP特有のCP0xxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

拡張

最初のリリースです。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のHP P3Pネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC523SFP 10Gb デュアルポート Flex-10 Ethernet サーバーアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 526FLR-SFP+アダプター
- HP CN1000Q Dual Port Converged Network Adapter

HP QLogic P3P iSCSI ドライバー for Windows Server 2008

バージョン: 2.1.6.10 (オプション)

ファイル名: cp021538.exe

重要な注意!

HPは、このドライバー用に *HP QLogic P3P*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server 2008、バージョン4.0.0.19以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

このドライバーは、Virtual Local Area Network (VLAN)を有効またはを無効にする場合、アダプターのリセットを引き起こすことがある問題を修正します。

このドライバーは、静的IPアドレスを割り当てる際にアダプターのリセットを引き起こすことがある問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHP P3Pネットワークアダプターをサポートします。

- HP CN1000Q Dual Port Converged Network Adapter
 - HP FlexFabric 10Gb 2ポート 526FLR-SFP+アダプター
-

HP QLogic P3P iSCSI ドライバー for Windows Server 2008 x64 Edition

バージョン: 2.1.6.10 (オプション)

ファイル名: cp021539.exe

重要な注意!

HPは、このドライバー用に *HP QLogic P3P* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Editions*、バージョン4.0.0.19以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

このドライバーは、Virtual Local Area Network (VLAN)を有効またはを無効にする場合、アダプターのリセットを引き起こすことがある問題を修正します。

このドライバーは、静的IPアドレスを割り当てる際にアダプターのリセットを引き起こすことがある問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHP P3Pネットワークアダプターをサポートします。

- HP CN1000Q Dual Port Converged Network Adapter
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 526FLR-SFP+アダプター

HP QLogic P3P iSCSI ドライバー for Windows Server 2012およびWindows Server 2012 R2

バージョン: 2.1.6.10 (オプション)

ファイル名: cp021540.exe

重要な注意!

HPは、このドライバー用に *HP QLogic P3P* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Editions*、バージョン4.0.0.19以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

このドライバーは、Virtual Local Area Network (VLAN)を有効またはを無効にする場合、アダプターのリセットを引き起こすことがある問題を修正します。

このドライバーは、静的IPアドレスを割り当てる際にアダプターのリセットを引き起こすことがある問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHP P3Pネットワークアダプターをサポートします。

- HP CN1000Q Dual Port Converged Network Adapter
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 526FLR-SFP+アダプター

HPネットワーク コンフィギュレーション ユーティリティ for Windows Server 2008

バージョン: 10.90.0.0 (B) (オプション)

ファイル名: cp023337.exe

重要な注意!

Gen9のお客様への注意: このユーティリティは、Gen9のProLiantプラットフォームNICをサポートしていません。詳細については、Customer Notice *HP Network Configuration Utility (NCU) - HP NCU Does Not Support Ethernet /*

FlexFabric Adapters designed for HP ProLiant Gen9 Servers:

<http://h20564.www2.hp.com/portal/site/hpsc/public/kb/docDisplay/?docId=c04539182>を参照してください。

修正

このコンポーネントは、多数の仮想ミニポートを持つシステム上で非常に長いインストール時間となる問題に対処します。

HPE Broadcom 1 Gbドライバー for Windows Server 2008

バージョン: 17.4.0.0 (オプション)

ファイル名: cp029526.exe

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に *HPE Broadcom NX1* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for *Windows Server 2008*、バージョン5.0.0.22またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

このドライバーは、ドライバーがコード0000001EでWindows Stop Error (BSOD)を引き起こす問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター(182D)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(3372)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331i-SPIアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター

HPE Broadcom tg3 Ethernetドライバー for Red Hat Enterprise Linux 6 i686

バージョン: 3.137o-5 (オプション)

ファイル名: kmod-tg3-3.137o-1.rhel6u7.i686.rpm; kmod-tg3-3.137o-5.rhel6u8.i686.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に *HPE NX1 Broadcom* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for *Linux x86*、バージョン2.17.5またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨します。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2-port 330iアダプター(182D)
- HP Ethernet 1Gb 4-port 331iアダプター(3372)
- HP Ethernet 1Gb 4-port 331i-SPIアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 331FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 331Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 332iアダプター

- HP Ethernet 1Gb 2-port 332Tアダプター

HPE Broadcom tg3 Ethernetドライバー for Red Hat Enterprise Linux 6 x86_64

バージョン: 3.137o-5 (オプション)

ファイル名: kmod-tg3-3.137o-1.rhel6u7.x86_64.rpm; kmod-tg3-3.137o-5.rhel6u8.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に *HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64、バージョン2.17.5以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2-port 330iアダプター(182D)
- HP Ethernet 1Gb 2-port 330iアダプター(22BD)
- HP Ethernet 1Gb 4-port 331iアダプター(3372)
- HP Ethernet 1Gb 4-port 331iアダプター(22BE)
- HP Ethernet 1Gb 4-port 331i-SPIアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 331FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 331Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 332iアダプター(2133)
- HP Ethernet 1Gb 2-port 332iアダプター(22E8)
- HP Ethernet 1Gb 2-port 332Tアダプター

HPE Broadcom tg3 Ethernetドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 3.137o-1 (オプション)

ファイル名: kmod-tg3-3.137o-1.rhel7u1.x86_64.rpm; kmod-tg3-3.137o-1.rhel7u2.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に *HPE NX1 Broadcom* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64、バージョン2.17.6またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

この製品は、ドライバーシステムログエントリに、「tg3」ではなくモジュール名「pcieport」が表示されている問題に対処しています。

この製品は、フレームがVLANカプセル化されたときに、TCPセグメンテーションオフロード (TSO) とチェックサムオフロードが正しく実行されない問題に対処しています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター(182D)
- HP Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター(22BD)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(3372)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331i-SPIアダプター

- HP Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(2133)
- HP Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HP Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター

HPE Broadcom tg3 Ethernetドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 11 i586

バージョン: 3.137o-1 (オプション)

ファイル名: README; tg3-kmp-default-3.137o_3.0.101_63-1.sles11sp4.i586.rpm; tg3-kmp-default-3.137o_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.i586.rpm; tg3-kmp-pae-3.137o_3.0.101_63-1.sles11sp4.i586.rpm; tg3-kmp-pae-3.137o_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.i586.rpm; tg3-kmp-xen-3.137o_3.0.101_63-1.sles11sp4.i586.rpm; tg3-kmp-xen-3.137o_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.i586.rpm

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に *HPE NX1 Broadcom* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for *Linux x86*、バージョン2.17.6またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

この製品は、ドライバーシステムログエントリーに、「tg3」ではなく モジュール名「pcieport」が表示されている問題に対処しています。

この製品は、フレームがVLANカプセル化されたときに、TCPセグメンテーションオフロード (TSO) とチェックサムオフロードが正しく実行されない問題に対処しています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター(182D)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(3372)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331i-SPIアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター

HPE Broadcom tg3 Ethernetドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 11 x86_64

バージョン: 3.137o-1 (オプション)

ファイル名: README; tg3-kmp-default-3.137o_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.rpm; tg3-kmp-default-3.137o_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.rpm; tg3-kmp-xen-3.137o_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.rpm; tg3-kmp-xen-3.137o_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.rpm

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に *HPE NX1 Broadcom* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for *Linux x86_64*、バージョン2.17.6またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

この製品は、ドライバーシステムログエントリーに、「tg3」ではなく モジュール名「pcieport」が表示されている問題に対処しています。

この製品は、フレームがVLANカプセル化されたときに、TCPセグメンテーションオフロード (TSO) とチェックサムオフロードが正しく実行されない問題に対処しています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター(182D)
- HP Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター(22BD)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(3372)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331i-SPIアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(2133)
- HP Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HP Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター

HPE Broadcom tg3 Ethernetドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 3.137o-1 (オプション)

ファイル名: README; tg3-kmp-default-3.137o_k3.12.28_4-1.sles12sp0.x86_64.rpm; tg3-kmp-default-3.137o_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm; tg3-kmp-xen-3.137o_k3.12.28_4-1.sles12sp0.x86_64.rpm; tg3-kmp-xen-3.137o_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に *HPE NX1 Broadcom* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for *Linux x86_64*、バージョン2.17.6またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

この製品は、ドライバーシステムログエントリーに、「tg3」ではなくモジュール名「pcieport」が表示されている問題に対処しています。

この製品は、フレームがVLANカプセル化されたときに、TCPセグメンテーションオフロード (TSO) とチェックサムオフロードが正しく実行されない問題に対処しています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター(182D)
- HP Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター(22BD)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(3372)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331i-SPIアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(2133)
- HP Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HP Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbE iSCSIドライバー for Red Hat Enterprise Linux 6 x86_64

バージョン: 11.1.183.21-1 (オプション)

ファイル名: kmod-be2iscsi-11.1.145.26-1.rhel6u7.x86_64.rpm; kmod-be2iscsi-11.1.183.21-1.rhel6u8.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に *HPE* ファームウェアフラッシュ for *Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Linux (x64)*、バージョン2016.08.02またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

このドライバーは、サポートされるデバイスで未処理の例外に対処するリカバリ機能を提供します。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbE iSCSIドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 11.1.145.26-1 (オプション)

ファイル名: kmod-be2iscsi-11.1.145.26-1.rhel7u1.x86_64.rpm; kmod-be2iscsi-11.1.145.26-1.rhel7u2.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に *HPEファームウェアフラッシュfor Emulexコンバージドネットワークアダプター - Linux (x64)*、バージョン2016.08.02またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

このドライバーは、サポートされるデバイスで未処理の例外に対処するリカバリ機能を提供します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbE iSCSIドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 11 i586

バージョン: 11.1.145.26-1 (オプション)

ファイル名: be2iscsi-kmp-default-11.1.145.26_3.0.101_63-1.sles11sp4.i386.rpm; be2iscsi-kmp-default-

11.1.145.26_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.i386.rpm; be2iscsi-kmp-pae-11.1.145.26_3.0.101_63-1.sles11sp4.i386.rpm; be2iscsi-kmp-pae-11.1.145.26_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.i386.rpm; be2iscsi-kmp-xen-11.1.145.26_3.0.101_63-1.sles11sp4.i386.rpm; be2iscsi-kmp-xen-11.1.145.26_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.i386.rpm; README

重要な注意！

HPEは、これらのドライバー用に *HPEファームウェアフラッシュfor Emulexコンバージドネットワークアダプター - Linux (x86)*、バージョン2016.08.02またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

このドライバーは、サポートされるデバイスで未処理の例外に対処するリカバリ機能を提供します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター

HPE Emulex 10/20 GbE iSCSIドライバー for VMware vSphere 5.5

バージョン: 2016.10.07 (オプション)

ファイル名: cp029504.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。vmware.comおよびHPE vib depot.hp.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

HPEは、このドライバーでの使用に *HPEファームウェアフラッシュfor Emulexファイバーチャネルホストバスおよびコンバージドネットワークアダプターfor VMware vSphere 5.5*および6.0、バージョン2016.10.01またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

このドライバーは、サポートされるデバイスで未処理の例外に対処するリカバリ機能を提供します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
 - HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター
 - HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
 - HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター
 - HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
 - HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
 - HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
 - HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
 - HP CN1100E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
 - HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
 - HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター
-

HPE Emulex 10/20 GbE iSCSI ドライバー for VMware vSphere 6.0

バージョン: 2016.10.07 (オプション)

ファイル名: cp029505.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。vmware.comおよびHPE vibspot.hp.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

HPEは、このドライバーでの使用に *HPEファームウェアフラッシュfor Emulex*ファイバーチャネルホストバスおよびコンバージドネットワークアダプターfor *VMware vSphere 5.5*および6.0、バージョン2016.10.01またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

このドライバーは、サポートされるデバイスで未処理の例外に対処するリカバリ機能を提供します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC553i 10Gb 2ポート FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 650Mアダプター
- HP CN1100E デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HP StoreFabric CN1200E デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbE iSCSI ドライバー for Windows Server 2008

バージョン: 11.1.185.0 (B) (オプション)

ファイル名: cp032096.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバー用に *HPEファームウェアフラッシュfor Emulex*コンバージドネットワークアダプター - *Windows (x86)*、バージョン2016.10.01以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

このコンポーネントは、現在コンポーネントに含まれるドライバーと一致するHP NC551i Dual Port FlexFabric 10Gb を今後認識しません。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター

HPE Emulex 10/20 GbE iSCSIドライバー for Windows Server 2008 R2

バージョン: 11.1.185.0 (B) (オプション)

ファイル名: cp032098.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバー用に *HPEファームウェアフラッシュfor Emulexコンバージドネットワークアダプター - Windows (x64)*、バージョン2016.10.01以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

このコンポーネントは、現在コンポーネントに含まれるドライバーと一致するHP NC551i Dual Port FlexFabric 10Gb を今後認識しません。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbE iSCSIドライバー for Windows Server 2008 x64 Editions

バージョン: 11.1.185.0 (B) (オプション)

ファイル名: cp032097.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバー用に *HPEファームウェアフラッシュfor Emulexコンバージドネットワークアダプター - Windows (x64)*、バージョン2016.10.01以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

このコンポーネントは、現在コンポーネントに含まれるドライバーと一致するHP NC551i Dual Port FlexFabric 10Gb を今後認識しません。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター

- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター

HPE Emulex 10/20 GbE iSCSIドライバー for Windows Server 2012

バージョン: 11.1.185.0 (B) (オプション)

ファイル名: cp032099.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバー用に *HPEファームウェアフラッシュfor Emulex*コンバージドネットワークアダプター - *Windows (x64)*、バージョン2016.10.01以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

このコンポーネントは、現在コンポーネントに含まれるドライバーと一致するHP NC551i Dual Port FlexFabric 10Gb を今後認識しません。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbE iSCSIドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 11.1.185.0 (B) (オプション)

ファイル名: cp032100.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバー用に *HPEファームウェアフラッシュfor Emulex*コンバージドネットワークアダプター - *Windows (x64)*、バージョン2016.10.01以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

このコンポーネントは、現在コンポーネントに含まれるドライバーと一致するHP NC551i Dual Port FlexFabric 10Gb を今後認識しません。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター

- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbE iSCSIドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 11.1.185.0 (オプション)

ファイル名: cp029151.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバー用に *HPEファームウェアフラッシュfor Emulexコンバージドネットワークアダプター for Windows Server 2016 (x64)*、バージョン2016.10.01以降で提供されるファームウェアを推奨します。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP CN1100E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbEドライバー for Red Hat Enterprise Linux 6 i686

バージョン: 11.1.183.21-1 (オプション)

ファイル名: kmod-be2net-11.1.145.27-1.rhel6u7.i686.rpm; kmod-be2net-11.1.183.21-1.rhel6u8.i686.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に *HPEファームウェアフラッシュfor Emulexコンバージドネットワークアダプター - Linux (x86)*、バージョン2016.08.02またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

このドライバーは、サポートされるデバイスで未処理の例外に対処するリカバリ機能を提供します。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP Flex-10 10Gb 2-port 552Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター

HPE Emulex 10/20 GbEドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 11 i586

バージョン: 11.1.145.27-1 (オプション)

ファイル名: be2net-kmp-default-11.1.145.27_3.0.101_63-1.sles11sp4.i386.rpm; be2net-kmp-default-11.1.145.27_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.i386.rpm; be2net-kmp-pae-11.1.145.27_3.0.101_63-1.sles11sp4.i386.rpm; be2net-kmp-pae-11.1.145.27_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.i386.rpm; be2net-kmp-xen-11.1.145.27_3.0.101_63-1.sles11sp4.i386.rpm; be2net-kmp-xen-11.1.145.27_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.i386.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に *HPEファームウェアフラッシュfor Emulexコンバージドネットワークアダプター - Linux (x86)*、バージョン2016.08.02またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

このドライバーは、サポートされるデバイスで未処理の例外に対処するリカバリ機能を提供します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP Flex-10 10Gb 2-port 552Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター

HPE Emulex 10/20 GbEドライバー for Windows Server 2008

バージョン: 11.1.145.30 (B) (オプション)

ファイル名: cp032093.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバー用に *HPEファームウェアフラッシュfor Emulexコンバージドネットワークアダプター - Windows (x86)*、バージョン2016.10.01以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

このコンポーネントは、現在コンポーネントに含まれるドライバーと一致するHP NC551i Dual Port FlexFabric 10Gb を今後認識しません。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC552SFP 10Gb 2-port Ethernetサーバーアダプター
- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP Flex-10 10Gb 2-port 552Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター

HPE Emulex 10/20 GbE ドライバー for Windows Server 2008 R2

バージョン: 11.1.145.30 (B) (オプション)

ファイル名: cp032105.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバー用に *HPEファームウェアフラッシュfor Emulexコンバージドネットワークアダプター - Windows (x64)*、バージョン2016.10.01以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

このコンポーネントは、現在コンポーネントに含まれるドライバーと一致するHP NC551i Dual Port FlexFabric 10Gb を今後認識しません。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP Flex-10 10Gb 2-port 552Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 557SFP+アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbE ドライバー for Windows Server 2008 x64 Editions

バージョン: 11.1.145.30 (B) (オプション)

ファイル名: cp032094.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバー用に *HPEファームウェアフラッシュfor Emulexコンバージドネットワークアダプター - Windows (x64)*、バージョン2016.10.01以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

このコンポーネントは、現在コンポーネントに含まれるドライバーと一致するHP NC551i Dual Port FlexFabric 10Gb を今後認識しません。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP Flex-10 10Gb 2-port 552Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

- HP Ethernet 10Gb 2-port 557SFP+アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター

HPE Emulex 10/20 GbE ドライバー for Windows Server 2012

バージョン: 11.1.145.30 (B) (オプション)

ファイル名: cp032106.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバー用に *HPEファームウェアフラッシュfor Emulexコンバージドネットワークアダプター - Windows (x64)*、バージョン2016.10.01以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

このコンポーネントは、現在コンポーネントに含まれるドライバーと一致するHP NC551i Dual Port FlexFabric 10Gb を今後認識しません。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC552SFP 10Gb 2-port Ethernetサーバーアダプター
- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP Flex-10 10Gb 2-port 552Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 557SFP+アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbE ドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 10.7.110.16 (オプション)

ファイル名: cp027194.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバーでの使用に *Emulexファイバーチャネルホストバスアダプター用HPEファームウェアオンラインフラッシュ - Windows 2008/2012/2012 R2 x64*、バージョン2016.02.01で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLB AdapterがインストールされたシステムのWindows System Event LogにEvent ID 67が表示される問題に対処しました。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC551i デュアルポート FlexFabric 10Gb ネットワークアダプター
- HP NC552SFP 2ポート 10GbE サーバーアダプター
- HP NC553iデュアルポート FlexFabric 10Gb コンバージド ネットワークアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 552M ネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554FLB コンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554FLR-SFP+ コンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554M コンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 557SFP+ アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 650Mアダプター
- HP CN1100E Dual Port Converged Network Adapter
- HP StoreFabric CN1200E Dual Port Converged Network Adapter
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbE ドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 11.1.196.4 (B) (オプション)

ファイル名: cp032095.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバー用に *HPEファームウェアフラッシュ for Emulexコンバージドネットワークアダプター for Windows Server 2016 (x64)*、バージョン2016.10.01以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

このコンポーネントは、現在コンポーネントに含まれるドライバーと一致するHP NC551i Dual Port FlexFabric 10Gb を今後認識しません。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP CN1100E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
 - HP NC552SFP 10Gb 2-port Ethernetサーバーアダプター
 - HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
 - HP Flex-10 10Gb 2-port 552Mアダプター
 - HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター
 - HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
 - HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター
 - HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
 - HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
 - HP Ethernet 10Gb 2-port 557SFP+アダプター
 - HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
 - HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
 - HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
 - HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター
-

HPE Emulex 10/20GbE iSCSI ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 6 i686

バージョン: 11.1.183.21-1 (オプション)

ファイル名: kmod-be2iscsi-11.1.145.26-1.rhel6u7.i686.rpm; kmod-be2iscsi-11.1.183.21-1.rhel6u8.i686.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に *HPEファームウェアフラッシュfor Emulexコンバージドネットワークアダプター - Linux (x86)*、バージョン2016.08.02またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

このドライバーは、サポートされるデバイスで未処理の例外に対処するリカバリ機能を提供します。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター

HPE Emulex 10/20GbE iSCSI ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 11 x86_64

バージョン: 11.1.145.26-1 (オプション)

ファイル名: be2iscsi-kmp-default-11.1.145.26_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.rpm; be2iscsi-kmp-default-11.1.145.26_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.rpm; be2iscsi-kmp-xen-11.1.145.26_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.rpm; be2iscsi-kmp-xen-11.1.145.26_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に *HPEファームウェアフラッシュfor Emulexコンバージドネットワークアダプター - Linux (x64)*、バージョン2016.08.02またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

このドライバーは、サポートされるデバイスで未処理の例外に対処するリカバリ機能を提供します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
 - HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター
 - HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
 - HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター
 - HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
 - HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
 - HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
 - HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
 - HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
 - HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター
-

HPE Emulex 10/20GbE iSCSI ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 11.1.145.26-1 (オプション)

ファイル名: be2iscsi-kmp-default-11.1.145.26_k3.12.28_4-1.sles12sp0.x86_64.rpm; be2iscsi-kmp-default-11.1.145.26_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm; be2iscsi-kmp-xen-11.1.145.26_k3.12.28_4-1.sles12sp0.x86_64.rpm; be2iscsi-kmp-xen-11.1.145.26_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm; README

重要な注意 !

HPEは、これらのドライバー用に *HPEファームウェアフラッシュ for Emulexコンバージドネットワークアダプター - Linux (x64)*、バージョン2016.08.02またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

このドライバーは、サポートされるデバイスで未処理の例外に対処するリカバリ機能を提供します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20GbE ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 6 x86_64

バージョン: 11.1.183.21-1 (オプション)

ファイル名: kmod-be2net-11.1.145.27-1.rhel6u7.x86_64.rpm; kmod-be2net-11.1.183.21-1.rhel6u8.x86_64.rpm; README

重要な注意 !

HPEは、これらのドライバー用に *HPEファームウェアフラッシュ for Emulexコンバージドネットワークアダプター - Linux (x64)*、バージョン2016.08.02またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

このドライバーは、サポートされるデバイスで未処理の例外に対処するリカバリ機能を提供します。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP Flex-10 10Gb 2-port 552Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 557SFP+アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20GbEドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 11.1.145.27-1 (オプション)

ファイル名: kmod-be2net-11.1.145.27-1.rhel7u1.x86_64.rpm; kmod-be2net-11.1.145.27-1.rhel7u2.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に *HPEファームウェアフラッシュfor Emulexコンバージドネットワークアダプター - Linux (x64)*、バージョン2016.08.02またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

このドライバーは、サポートされるデバイスで未処理の例外に対処するリカバリ機能を提供します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP Flex-10 10Gb 2-port 552Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 557SFP+アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20GbEドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 11 x86_64

バージョン: 11.1.145.27-1 (オプション)

ファイル名: be2net-kmp-default-11.1.145.27_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.rpm; be2net-kmp-default-11.1.145.27_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.rpm; be2net-kmp-xen-11.1.145.27_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.rpm; be2net-kmp-xen-11.1.145.27_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に *HPEファームウェアフラッシュfor Emulexコンバージドネットワークアダプター - Linux (x64)*、バージョン2016.08.02またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

このドライバーは、サポートされるデバイスで未処理の例外に対処するリカバリ機能を提供します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP Flex-10 10Gb 2-port 552Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 557SFP+アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20GbE ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 11.1.145.27-1 (オプション)

ファイル名: be2net-kmp-default-11.1.145.27_k3.12.28_4-1.sles12sp0.x86_64.rpm; be2net-kmp-default-11.1.145.27_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm; be2net-kmp-xen-11.1.145.27_k3.12.28_4-1.sles12sp0.x86_64.rpm; be2net-kmp-xen-11.1.145.27_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に *HPEファームウェアフラッシュfor Emulexコンバージドネットワークアダプター - Linux (x64)*、バージョン2016.08.02またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

このドライバーは、サポートされるデバイスで未処理の例外に対処するリカバリ機能を提供します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP Flex-10 10Gb 2-port 552Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 557SFP+アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10GbE ドライバーfor VMware vSphere 5.5

バージョン: 2016.10.07 (オプション)

ファイル名: cp029507.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。vmware.comおよびHPE vibspot.hp.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

HPEは、このドライバーでの使用に *HPEファームウェアフラッシュfor Emulexファイバーチャネルホストバスおよびコンバージドネットワークアダプターfor VMware vSphere 5.5および6.0*、バージョン2016.10.01またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

このドライバーは、サポートされるデバイスで未処理の例外に対処するリカバリ機能を提供します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC552SFP 10Gb 2-port Ethernetサーバーアダプター
- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP Flex-10 10Gb 2-port 552Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 557SFP+アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP CN1100E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10GbEドライバーfor VMware vSphere 6.0

バージョン: 2016.10.07 (**オプション**)

ファイル名: cp029508.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hp.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

HPEは、このドライバーでの使用に *HPEファームウェアフラッシュfor Emulexファイバーチャネルホストバスおよびコンバージドネットワークアダプターfor VMware vSphere 5.5および6.0*、バージョン2016.10.01またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

このドライバーは、サポートされるデバイスで未処理の例外に対処するリカバリ機能を提供します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします:

- HP NC552SFP 10Gb 2ポート Ethernet サーバーアダプター
- HP NC553i 10Gb 2ポート FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP Flex-10 10Gb 2ポート 552Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-SFP+アダプター

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート557SFP+アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 650Mアダプター
- HP CN1100E デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HP StoreFabric CN1200E デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター

HPE Intel e1000eドライバー for Red Hat Enterprise Linux 6 i686

バージョン: 3.3.4-1 (オプション)

ファイル名: kmod-hp-e1000e-3.2.7.2-12.rhel6u7.i686.rpm; kmod-hp-e1000e-3.3.4-1.rhel6u8.i686.rpm; README

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC112i 1-port Ethernet サーバーアダプター

HPE Intel e1000eドライバー for Red Hat Enterprise Linux 6 x86_64

バージョン: 3.3.4-1 (オプション)

ファイル名: kmod-hp-e1000e-3.2.7.2-12.rhel6u7.x86_64.rpm; kmod-hp-e1000e-3.3.4-1.rhel6u8.x86_64.rpm; README

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC112i 1-port Ethernet サーバーアダプター

HPE Intel e1000eドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 3.2.7.2-12 (オプション)

ファイル名: kmod-hp-e1000e-3.2.7.2-12.rhel7u1.x86_64.rpm; kmod-hp-e1000e-3.2.7.2-12.rhel7u2.x86_64.rpm; README

修正

この製品のRPMヘッダーは、正しいソースRPM URLを表示します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC112i 1ポート Ethernet サーバーアダプター

HPE Intel e1000eドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 11 i586

バージョン: 3.2.7.2-12 (オプション)

ファイル名: hp-e1000e-kmp-default-3.2.7.2_3.0.101_63-12.sles11sp4.i586.rpm; hp-e1000e-kmp-default-3.2.7.2_3.0.76_0.11-12.sles11sp3.i586.rpm; hp-e1000e-kmp-pae-3.2.7.2_3.0.101_63-12.sles11sp4.i586.rpm; hp-e1000e-kmp-pae-

3.2.7.2_3.0.76_0.11-12.sles11sp3.i586.rpm; hp-e1000e-kmp-xen-3.2.7.2_3.0.101_63-12.sles11sp4.i586.rpm; hp-e1000e-kmp-xen-3.2.7.2_3.0.76_0.11-12.sles11sp3.i586.rpm; README

修正

この製品のRPMヘッダーは、正しいソースRPM URLを表示します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC112i 1ポート Ethernet サーバーアダプター

HPE Intel e1000eドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 11 x86_64

バージョン: 3.2.7.2-12 (オプション)

ファイル名: hp-e1000e-kmp-default-3.2.7.2_3.0.101_63-12.sles11sp4.x86_64.rpm; hp-e1000e-kmp-default-3.2.7.2_3.0.76_0.11-12.sles11sp3.x86_64.rpm; hp-e1000e-kmp-xen-3.2.7.2_3.0.101_63-12.sles11sp4.x86_64.rpm; hp-e1000e-kmp-xen-3.2.7.2_3.0.76_0.11-12.sles11sp3.x86_64.rpm; README

修正

この製品のRPMヘッダーは、正しいソースRPM URLを表示します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC112i 1ポート Ethernet サーバーアダプター

HPE Intel e1000eドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 3.2.7.2-12 (オプション)

ファイル名: hp-e1000e-kmp-default-3.2.7.2_k3.12.28_4-12.sles12sp0.x86_64.rpm; hp-e1000e-kmp-default-3.2.7.2_k3.12.49_11-12.sles12sp1.x86_64.rpm; hp-e1000e-kmp-xen-3.2.7.2_k3.12.28_4-12.sles12sp0.x86_64.rpm; hp-e1000e-kmp-xen-3.2.7.2_k3.12.49_11-12.sles12sp1.x86_64.rpm; README

修正

この製品のRPMヘッダーは、正しいソースRPM URLを表示します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC112i 1-port Ethernet サーバーアダプター

HPE Intel E1Rドライバー for Windows Server 2008 R2

バージョン: 12.14.7.0 (オプション)

ファイル名: cp027785.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバーでの使用に*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for *Windows Server x64 Edition*、バージョン5.0.0.7以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

このドライバーは、Virtual Machine Queue (VMQ) 機能が誤って無効にされた問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel E1Rネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC365T PCI Express 4ポートGigabitサーバー アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361FLB アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361T アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 1ポート 364i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366FLR アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366M アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366T アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 367i アダプター

HPE Intel E1Rドライバー for Windows Server 2012

バージョン: 12.14.8.0 (オプション)

ファイル名: cp028837.exe

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に *HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions、バージョン5.0.0.25またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

このドライバーは、アダプター名が含まれているPowerShellコマンドの失敗につながる問題に対処しています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel E1Rネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート361iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361FLBアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート361Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 1ポート 364i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート366FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366M アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート366Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート367iアダプター

HPE Intel E1Rドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 12.14.8.0 (オプション)

ファイル名: cp028838.exe

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に *HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions、バージョン5.0.0.25またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

このドライバーは、アダプター名が含まれているPowerShellコマンドの失敗につながる問題に対処しています。

拡張

この製品は、HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366i コミュニケーションボードをサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel E1Rネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート361iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361FLBアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート361Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 1ポート 364i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366i アダプター
- HPE Ethernet 1 Gb 4ポート366i通信ボード
- HP Ethernet 1Gb 4ポート366FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366M アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート366Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート367iアダプター

HPE Intel E1Rドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 12.15.184.0 (オプション)

ファイル名: cp029676.exe

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に *HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Editions*、バージョン5.0.0.25またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨します。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel E1Rネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2-port 361iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 361FLBアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 361Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 1-port 364i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4-port 366i通信ボード
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366M アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 367iアダプター

HPE Intel i40eドライバー for Red Hat Enterprise Linux 6 i686

バージョン: 1.3.46.2-1 (オプション)

ファイル名: kmod-hp-i40e-1.3.46-13.rhel6u7.x86_64.rpm; kmod-hp-i40e-1.3.46.2-1.rhel6u8.x86_64.rpm; README

重要な注意！

HPEは、これらのドライバーでの使用にHPE Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64、バージョン1.11.11で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8をサポートします。

この製品は、HPE Ethernet 10Gb 2ポート 563iアダプターをサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 563i アダプター

HPE Intel i40eドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 1.3.46-13 (オプション)

ファイル名: kmod-hp-i40e-1.3.46-13.rhel7u1.x86_64.rpm; kmod-hp-i40e-1.3.46-13.rhel7u2.x86_64.rpm; README

重要な注意！

HPEは、これらのドライバーでの使用にHPE Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64、バージョン1.11.11で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品は、HPE Ethernet 10Gb 2ポート 563iアダプターをサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 563i アダプター

HPE Intel i40eドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 11 x86_64

バージョン: 1.3.46-13 (オプション)

ファイル名: hp-i40e-kmp-default-1.3.46_3.0.101_63-13.sles11sp4.x86_64.rpm; hp-i40e-kmp-default-1.3.46_3.0.76_0.11-13.sles11sp3.x86_64.rpm; hp-i40e-kmp-xen-1.3.46_3.0.101_63-13.sles11sp4.x86_64.rpm; hp-i40e-kmp-xen-1.3.46_3.0.76_0.11-13.sles11sp3.x86_64.rpm; README

重要な注意！

HPEは、これらのドライバーでの使用にHPE Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64、バージョン1.11.11で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品は、HPE Ethernet 10Gb 2ポート 563iアダプターをサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 563i アダプター

HPE Intel i40eドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 1.3.46-13 (オプション)

ファイル名: hp-i40e-kmp-default-1.3.46_k3.12.28_4-13.sles12sp0.x86_64.rpm; hp-i40e-kmp-default-1.3.46_k3.12.49_11-13.sles12sp1.x86_64.rpm; hp-i40e-kmp-xen-1.3.46_k3.12.28_4-13.sles12sp0.x86_64.rpm; hp-i40e-kmp-xen-1.3.46_k3.12.49_11-13.sles12sp1.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーでの使用にHPE *Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for *Linux x86_64*、バージョン1.11.11で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品は、HPE Ethernet 10Gb 2ポート 563iアダプターをサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 563i アダプター

HPE Intel i40eドライバーfor VMware vSphere 5.5/6.0

バージョン: 2016.03.29 (オプション)

ファイル名: cp027503.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 vmware.comおよびHPE vibsdepot.hp.com Webページに加え、HPE固有のCP0xxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

HPEは、このドライバー用にHPE *Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for *VMware*、バージョン3.0.8で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

このドライバーは、TXハングのために発生する、purple diagnostic screen (PSOD)に対処します。

このドライバーは、デバイスフロー制御動作がハードウェアフロー制御設定と一致しない問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター

HPE Intel i40eaドライバー for Windows Server 2008 R2

バージョン: 1.2.130.0 (C) (オプション)

ファイル名: cp029054.exe

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に *HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Editions*、バージョン5.0.0.25またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

この製品は、ILOが有効である共有ネットワークポートがマウントされたイメージでブート中に接続を失う問題に対処します。

この製品は、ユーザーが既存の仮想ハードディスクを使用して仮想マシンを作成することを選択した場合に、黄色のアイコンが表示される問題に対処しています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター

HPE Intel i40eaドライバー for Windows Server 2012

バージョン: 1.2.133.0 (B) (オプション)

ファイル名: cp029055.exe

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に *HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Editions*、バージョン5.0.0.25またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

この製品は、ILOが有効である共有ネットワークポートがマウントされたイメージでブート中に接続を失う問題に対処します。

この製品は、ユーザーが既存の仮想ハードディスクを使用して仮想マシンを作成することを選択した場合に、黄色のアイコンが表示される問題に対処しています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター

HPE Intel i40eaドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 1.2.133.0 (C) (オプション)

ファイル名: cp029056.exe

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に *HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Editions*、バージョン5.0.0.25またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

この製品は、ILOが有効である共有ネットワークポートがマウントされたイメージでブート中に接続を失う問題に対処します。

この製品は、ユーザーが既存の仮想ハードディスクを使用して仮想マシンを作成することを選択した場合に、黄色のアイコンが表示される問題に対処しています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター

HPE Intel i40evfドライバー for Red Hat Enterprise Linux 6 x86_64

バージョン: 1.3.33.3-1 (オプション)

ファイル名: kmod-hp-i40evf-1.3.33.2-12.rhel6u7.x86_64.rpm; kmod-hp-i40evf-1.3.33.3-1.rhel6u8.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーでの使用に*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for *Linux x86_64*、バージョン1.11.11で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品のRPMヘッダーは、正しいソースRPM URLを表示します。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のHPEネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562SFP+ アダプター

HPE Intel i40evfドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 1.3.33.2-12 (オプション)

ファイル名: kmod-hp-i40evf-1.3.33.2-12.rhel7u1.x86_64.rpm; kmod-hp-i40evf-1.3.33.2-12.rhel7u2.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーでの使用に*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for *Linux x86_64*、バージョン1.11.11で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品のRPMヘッダーは、正しいソースRPM URLを表示します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のHPEネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+ アダプター

HPE Intel i40evfドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 11 x86_64

バージョン: 1.3.33.2-12 (オプション)

ファイル名: hp-i40evf-kmp-default-1.3.33.2_3.0.101_63-12.sles11sp4.x86_64.rpm; hp-i40evf-kmp-default-1.3.33.2_3.0.76_0.11-12.sles11sp3.x86_64.rpm; hp-i40evf-kmp-xen-1.3.33.2_3.0.101_63-12.sles11sp4.x86_64.rpm; hp-i40evf-kmp-xen-1.3.33.2_3.0.76_0.11-12.sles11sp3.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーでの使用に*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for *Linux x86_64*、バージョン1.11.11で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品のRPMヘッダーは、正しいソースRPM URLを表示します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のHPEネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+ アダプター

HPE Intel i40evfドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 1.3.33.2-12 (オプション)

ファイル名: hp-i40evf-kmp-default-1.3.33.2_k3.12.28_4-12.sles12sp0.x86_64.rpm; hp-i40evf-kmp-default-1.3.33.2_k3.12.49_11-12.sles12sp1.x86_64.rpm; hp-i40evf-kmp-xen-1.3.33.2_k3.12.28_4-12.sles12sp0.x86_64.rpm; hp-i40evf-kmp-xen-1.3.33.2_k3.12.49_11-12.sles12sp1.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーでの使用に*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for *Linux x86_64*、バージョン1.11.11で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品のRPMヘッダーは、正しいソースRPM URLを表示します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のHPEネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター

HPE Intel igbドライバー for Red Hat Enterprise Linux 6 i686

バージョン: 5.3.5.3-1 (B) (オプション)

ファイル名: kmod-hp-igb-5.3.5.3-1.rhel6u7.i686.rpm; kmod-hp-igb-5.3.5.3-1.rhel6u8.i686.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for *Linux x86*、バージョン1.11.11以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品は、オフロードプロパティを無効にできない問題を示します。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のIntelネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2-port 361iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 361FLBアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 361Tアダプター
- HP NC362i Integrated Dual Port Gigabit サーバーアダプター
- HP NC362i Integrated Dual Port BL-c Gigabitサーバーアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 1-port 364i アダプター
- HP NC365T 4-port Ethernet サーバーアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366M アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 367iアダプター

HPE Intel igbドライバー for Red Hat Enterprise Linux 6 x86_64

バージョン: 5.3.5.3-1 (B) (オプション)

ファイル名: kmod-hp-igb-5.3.5.3-1.rhel6u7.x86_64.rpm; kmod-hp-igb-5.3.5.3-1.rhel6u8.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーでの使用にHPE Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64、バージョン1.11.11で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品は、オフロードプロパティを無効にできない問題を示します。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8をサポートします。

この製品は、HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366i コミュニケーションボードをサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のIntelネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2-port 361iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 361FLBアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 361Tアダプター
- HP NC362i Integrated Dual Port Gigabit サーバーアダプター
- HP NC362i Integrated Dual Port BL-c Gigabitサーバーアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 1-port 364i アダプター
- HP NC365T 4-port Ethernet サーバーアダプター

- HP Ethernet 1Gb 4-port 366FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4-port 366i通信ボード
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366M アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 367iアダプター

HPE Intel igbドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 5.3.5.3-1 (オプション)

ファイル名: kmod-hp-igb-5.3.5.3-1.rhel7u1.x86_64.rpm; kmod-hp-igb-5.3.5.3-1.rhel7u2.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーでの使用にHPE Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64、バージョン1.11.11で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品は、オフロードプロパティを無効にできない問題を示します。

拡張

この製品は、HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366i コミュニケーションボードをサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のIntelネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート361iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361FLBアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート361Tアダプター
- HP NC362i 内蔵デュアルポート Gigabit サーバーアダプター
- HP NC362i内蔵デュアルポート BL-c Gigabitサーバーアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 1ポート 364i アダプター
- HP NC365T 4ポート Ethernet サーバーアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート366FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366i アダプター
- HPE Ethernet 1 Gb 4ポート366i通信ボード
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366M アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート366Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート367iアダプター

HPE Intel igbドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 11 i586

バージョン: 5.3.5.3-1 (オプション)

ファイル名: hp-igb-kmp-default-5.3.5.3_3.0.101_63-1.sles11sp4.i586.rpm; hp-igb-kmp-default-5.3.5.3_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.i586.rpm; hp-igb-kmp-pae-5.3.5.3_3.0.101_63-1.sles11sp4.i586.rpm; hp-igb-kmp-pae-5.3.5.3_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.i586.rpm; hp-igb-kmp-xen-5.3.5.3_3.0.101_63-1.sles11sp4.i586.rpm; hp-igb-kmp-xen-5.3.5.3_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.i586.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用にHPE Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86、バージョン1.11.11以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品は、オフロードプロパティを無効にできない問題を示します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のIntelネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート361iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361FLBアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート361Tアダプター
- HP NC362i 内蔵デュアルポート Gigabit サーバーアダプター
- HP NC362i内蔵デュアルポート BL-c Gigabitサーバーアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 1ポート 364i アダプター
- HP NC365T 4ポート Ethernet サーバーアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート366FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366M アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート367iアダプター

HPE Intel igbドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 11 x86_64

バージョン: 5.3.5.3-1 (オプション)

ファイル名: hp-igb-kmp-default-5.3.5.3_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.rpm; hp-igb-kmp-default-5.3.5.3_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.rpm; hp-igb-kmp-xen-5.3.5.3_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.rpm; hp-igb-kmp-xen-5.3.5.3_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーでの使用にHPE Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64、バージョン1.11.11で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品は、オフロードプロパティを無効にできない問題を示します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のIntelネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート361iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361FLBアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート361Tアダプター
- HP NC362i 内蔵デュアルポート Gigabit サーバーアダプター
- HP NC362i内蔵デュアルポート BL-c Gigabitサーバーアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 1ポート 364i アダプター
- HP NC365T 4ポート Ethernet サーバーアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート366FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366M アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート366Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート367iアダプター

HPE Intel igbドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 5.3.5.3-1 (オプション)

ファイル名: hp-igb-kmp-default-5.3.5.3_k3.12.28_4-1.sles12sp0.x86_64.rpm; hp-igb-kmp-default-5.3.5.3_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm; hp-igb-kmp-xen-5.3.5.3_k3.12.28_4-1.sles12sp0.x86_64.rpm; hp-igb-kmp-xen-5.3.5.3_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm; README

重要な注意！

HPEは、これらのドライバーでの使用に*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Linux x86_64*、バージョン1.11.11で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品は、オフロードプロパティを無効にできない問題を示します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のIntelネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2-port 361iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 361FLBアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 361Tアダプター
- HP NC362i Integrated Dual Port Gigabit サーバーアダプター
- HP NC362i Integrated Dual Port BL-c Gigabit サーバーアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 1-port 364i アダプター
- HP NC365T 4-port Ethernet サーバーアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366M アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 367iアダプター

HPE Intel igbドライバーfor VMware vSphere 5.5/6.0

バージョン: 2016.10.07 (オプション)

ファイル名: cp029473.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hp.com Webページから利用可能な同じドライバーと、さらにHPE固有のCP0xxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

HPEは、このドライバーでの使用に、*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for VMware*、バージョン3.1.9以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品では、大量のエラーメッセージが記録される問題を解決しています。

拡張

この製品は、HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366i コミュニケーションボードをサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート361iアダプター

- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361FLBアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート361Tアダプター
- HP NC362i 内蔵デュアルポート Gigabit サーバーアダプター
- HP NC362i内蔵デュアルポート BL-c Gigabitサーバーアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 1ポート 364i アダプター
- HP NC365T 4ポート Ethernet サーバーアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート366FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366i アダプター
- HPE Ethernet 1 Gb 4ポート366i通信ボード
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366M アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート366Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート367iアダプター

HPE Intel ixgbeドライバー for Red Hat Enterprise Linux 6 i686

バージョン: 4.4.6-1 (オプション)

ファイル名: kmod-hp-ixgbe-4.3.13-2.rhel6u7.i686.rpm; kmod-hp-ixgbe-4.4.6-1.rhel6u8.i686.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86、バージョン1.11.11以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品は、最初の仮想機能(VF)が物理機能(PF)のトラフィックのコピーを受信する際の問題に対処しています。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8をサポートします。

現在、この製品は、信頼された仮想機能のためのマルチキャストプロミスキャスモードのサポートを提供します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb デュアルポート 561T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 562i アダプター

HPE Intel ixgbeドライバー for Red Hat Enterprise Linux 6 x86_64

バージョン: 4.4.6-1 (オプション)

ファイル名: kmod-hp-ixgbe-4.3.13-2.rhel6u7.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe-4.4.6-1.rhel6u8.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーでの使用に*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64、バージョン1.11.11で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品は、最初の仮想機能(VF)が物理機能(PF)のトラフィックのコピーを受信する際の問題に対処しています。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8をサポートします。

現在、この製品は、信頼された仮想機能のためのマルチキャストプロミスキャスモードのサポートを提供します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb デュアルポート 561T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 562i アダプター

HPE Intel ixgbeドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 4.3.13-2 (オプション)

ファイル名: kmod-hp-ixgbe-4.3.13-2.rhel7u1.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe-4.3.13-2.rhel7u2.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーでの使用にHPE Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64、バージョン1.11.11で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品は、最初の仮想機能(VF)が物理機能(PF)のトラフィックのコピーを受信する際の問題に対処しています。

拡張

現在、この製品は、信頼された仮想機能のためのマルチキャストプロミスキャスモードのサポートを提供します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb デュアルポート 561T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 562i アダプター

HPE Intel ixgbeドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 11 i586

バージョン: 4.3.13-2 (オプション)

ファイル名: hp-ixgbe-kmp-default-4.3.13_3.0.101_63-2.sles11sp4.i586.rpm; hp-ixgbe-kmp-default-4.3.13_3.0.76_0.11-2.sles11sp3.i586.rpm; hp-ixgbe-kmp-pae-4.3.13_3.0.101_63-2.sles11sp4.i586.rpm; hp-ixgbe-kmp-pae-4.3.13_3.0.76_0.11-2.sles11sp3.i586.rpm; hp-ixgbe-kmp-xen-4.3.13_3.0.101_63-2.sles11sp4.i586.rpm; hp-ixgbe-kmp-xen-4.3.13_3.0.76_0.11-2.sles11sp3.i586.rpm; README

重要な注意！

HPEは、これらのドライバー用にHPE Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Linux x86*、バージョン1.11.11以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品は、最初の仮想機能(VF)が物理機能(PF)のトラフィックのコピーを受信する際の問題に対処しています。

拡張

現在、この製品は、信頼された仮想機能のためのマルチキャストプロミスキャスモードのサポートを提供します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb デュアルポート 561T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 562i アダプター

HPE Intel ixgbeドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 11 x86_64

バージョン: 4.3.13-2 (オプション)

ファイル名: hp-ixgbe-kmp-default-4.3.13_3.0.101_63-2.sles11sp4.x86_64.rpm; hp-ixgbe-kmp-default-4.3.13_3.0.76_0.11-2.sles11sp3.x86_64.rpm; hp-ixgbe-kmp-xen-4.3.13_3.0.101_63-2.sles11sp4.x86_64.rpm; hp-ixgbe-kmp-xen-4.3.13_3.0.76_0.11-2.sles11sp3.x86_64.rpm; README

重要な注意！

HPEは、これらのドライバーでの使用にHPE Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Linux x86_64*、バージョン1.11.11で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品は、最初の仮想機能(VF)が物理機能(PF)のトラフィックのコピーを受信する際の問題に対処しています。

拡張

現在、この製品は、信頼された仮想機能のためのマルチキャストプロミスキャスモードのサポートを提供します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLB アダプター
 - HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
 - HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター
 - HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
 - HP Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
 - HP Ethernet 10Gb デュアルポート 561T アダプター
 - HP Ethernet 10Gb 2ポート 562i アダプター
-

HPE Intel ixgbeドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 4.3.13-2 (オプション)

ファイル名: hp-ixgbe-kmp-default-4.3.13_k3.12.28_4-2.sles12sp0.x86_64.rpm; hp-ixgbe-kmp-default-4.3.13_k3.12.49_11-2.sles12sp1.x86_64.rpm; hp-ixgbe-kmp-xen-4.3.13_k3.12.28_4-2.sles12sp0.x86_64.rpm; hp-ixgbe-kmp-xen-4.3.13_k3.12.49_11-2.sles12sp1.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーでの使用に*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64、バージョン1.11.11で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品は、最初の仮想機能(VF)が物理機能(PF)のトラフィックのコピーを受信する際の問題に対処しています。

拡張

現在、この製品は、信頼された仮想機能のためのマルチキャストプロミスキャスモードのサポートを提供します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2-port 560FLBアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 561T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 562i アダプター

HPE Intel ixgbeドライバーfor VMware vSphere 5.5

バージョン: 2016.10.07 (オプション)

ファイル名: cp029475.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hp.com Webページから利用可能な同じドライバーと、さらにHPE固有のCP0xxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

HPEは、このドライバーでの使用に、*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware、バージョン3.1.9以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品では、大量のエラーメッセージが記録される問題を解決しています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター

- HP Ethernet 10Gb デュアルポート 561T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 562i アダプター

HPE Intel ixgbeドライバーfor VMware vSphere 6.0

バージョン: 2016.10.07 (オプション)

ファイル名: cp029476.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hp.com Webページから利用可能な同じドライバーと、さらにHPE固有のCP0xxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

HPEは、このドライバーでの使用に、*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for VMware*、バージョン3.1.9以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品では、大量のエラーメッセージが記録される問題を解決しています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 562i アダプター

HPE Intel ixgbevfdriver for Red Hat Enterprise Linux 6 i686

バージョン: 3.2.2-1 (オプション)

ファイル名: kmod-hp-ixgbevfd-3.1.2-2.rhel6u7.i686.rpm; kmod-hp-ixgbevfd-3.2.2-1.rhel6u8.i686.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Linux x86*、バージョン1.11.11以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品は、最初の仮想機能(VF)が物理機能(PF)のトラフィックのコピーを受信する際の問題に対処しています。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8をサポートします。

現在、この製品は、信頼された仮想機能のためのマルチキャストプロミスキャストモードのサポートを提供します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLB アダプター

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb デュアルポート 561T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 562i アダプター

HPE Intel ixgbevfドライバ for Red Hat Enterprise Linux 6 x86_64

バージョン: 3.2.2-1 (オプション)

ファイル名: kmod-hp-ixgbevf-3.1.2-2.rhel6u7.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbevf-3.2.2-1.rhel6u8.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバでの使用にHPE Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64、バージョン1.11.11で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品は、最初の仮想機能(VF)が物理機能(PF)のトラフィックのコピーを受信する際の問題に対処しています。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8をサポートします。

現在、この製品は、信頼された仮想機能のためのマルチキャストプロミスキャスモードのサポートを提供します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb デュアルポート 561T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 562i アダプター

HPE Intel ixgbevfドライバ for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 3.1.2-2 (オプション)

ファイル名: kmod-hp-ixgbevf-3.1.2-2.rhel7u1.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbevf-3.1.2-2.rhel7u2.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバでの使用にHPE Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64、バージョン1.11.11で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品は、最初の仮想機能(VF)が物理機能(PF)のトラフィックのコピーを受信する際の問題に対処しています。

拡張

現在、この製品は、信頼された仮想機能のためのマルチキャストプロミスキャスモードのサポートを提供します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb デュアルポート 561T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 562i アダプター

HPE Intel ixgbevfドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 11 i586

バージョン: 3.1.2-2 (オプション)

ファイル名: hp-ixgbevf-kmp-default-3.1.2_3.0.101_63-2.sles11sp4.i586.rpm; hp-ixgbevf-kmp-default-3.1.2_3.0.76_0.11-2.sles11sp3.i586.rpm; hp-ixgbevf-kmp-pae-3.1.2_3.0.101_63-2.sles11sp4.i586.rpm; hp-ixgbevf-kmp-pae-3.1.2_3.0.76_0.11-2.sles11sp3.i586.rpm; hp-ixgbevf-kmp-xen-3.1.2_3.0.101_63-2.sles11sp4.i586.rpm; hp-ixgbevf-kmp-xen-3.1.2_3.0.76_0.11-2.sles11sp3.i586.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86、バージョン1.11.11以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品は、最初の仮想機能(VF)が物理機能(PF)のトラフィックのコピーを受信する際の問題に対処しています。

拡張

現在、この製品は、信頼された仮想機能のためのマルチキャストプロミスキャストモードのサポートを提供します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb デュアルポート 561T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 562i アダプター

HPE Intel ixgbevfドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 11 x86_64

バージョン: 3.1.2-2 (オプション)

ファイル名: hp-ixgbevf-kmp-default-3.1.2_3.0.101_63-2.sles11sp4.x86_64.rpm; hp-ixgbevf-kmp-default-3.1.2_3.0.76_0.11-2.sles11sp3.x86_64.rpm; hp-ixgbevf-kmp-xen-3.1.2_3.0.101_63-2.sles11sp4.x86_64.rpm; hp-ixgbevf-kmp-xen-3.1.2_3.0.76_0.11-2.sles11sp3.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーでの使用に*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64、バージョン1.11.11で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品は、最初の仮想機能(VF)が物理機能(PF)のトラフィックのコピーを受信する際の問題に対処しています。

拡張

現在、この製品は、信頼された仮想機能のためのマルチキャストプロミスキャスモードのサポートを提供します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb デュアルポート 561T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 562i アダプター

HPE Intel ixgbevfドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 3.1.2-2 (オプション)

ファイル名: hp-ixgbevf-kmp-default-3.1.2_k3.12.28_4-2.sles12sp0.x86_64.rpm; hp-ixgbevf-kmp-default-3.1.2_k3.12.49_11-2.sles12sp1.x86_64.rpm; hp-ixgbevf-kmp-xen-3.1.2_k3.12.28_4-2.sles12sp0.x86_64.rpm; hp-ixgbevf-kmp-xen-3.1.2_k3.12.49_11-2.sles12sp1.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーでの使用にHPE Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64、バージョン1.11.11で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品は、最初の仮想機能(VF)が物理機能(PF)のトラフィックのコピーを受信する際の問題に対処しています。

拡張

現在、この製品は、信頼された仮想機能のためのマルチキャストプロミスキャスモードのサポートを提供します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2-port 560FLBアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 561T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 562i アダプター

HPE Intel ixn/ixtドライバー for Windows Server 2008 R2

バージョン: 3.9.58.9101 (C) (オプション)

ファイル名: cp029058.exe

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に *HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Editions*、バージョン5.0.0.25またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

この製品は、インストールに不適切なドライバーを選択するコンポーネントの問題を修正します。

8 NUMA ノード以上を正しくサポートするために、* NumaNodeID キーワードは "dword"(Microsoft ドキュメントごと)と入力するよう変更されました。

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは、以下のHP Intel ixnネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター

このコンポーネントは、以下のHP Intel ixtネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb デュアルポート 561T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 562i アダプター

HPE Intel ixn/ixtドライバー for Windows Server 2012

バージョン: 3.9.58.9101 (C) (オプション)

ファイル名: cp029059.exe

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に *HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Editions*、バージョン5.0.0.25またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

この製品は、インストールに不適切なドライバーを選択するコンポーネントの問題を修正します。

8 NUMA ノード以上を正しくサポートするために、* NumaNodeID キーワードは "dword"(Microsoft ドキュメントごと)と入力するよう変更されました。

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは、以下のHP Intel ixnネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター

このコンポーネントは、以下のHP Intel ixtネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb デュアルポート 561T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 562i アダプター

HPE Intel ixn/ixtドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 3.9.58.9101 (C) (オプション)

ファイル名: cp029060.exe

重要な注意！

HPEは、これらのドライバー用に *HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Editions*、バージョン5.0.0.25またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

この製品は、インストールに不適切なドライバーを選択するコンポーネントの問題を修正します。

8 NUMA ノード以上を正しくサポートするために、* NumaNodeID キーワードは "dword"(Microsoft ドキュメントごと)と入力するよう変更されました。

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは、以下のHP Intel ixnネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター

このコンポーネントは、以下のHP Intel ixtネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb デュアルポート 561T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 562i アダプター

HPE Intel ixn/ixtドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 4.0.217.0 (オプション)

ファイル名: cp029677.exe

重要な注意！

HPEは、これらのドライバー用に *HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Editions*、バージョン5.0.0.25またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨します。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のHP Intel ネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2-port 560FLBアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560M アダプター

このソフトウェアは、以下のHP Intel ネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2-port 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 561T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 562i アダプター

HPE Mellanox CX3ドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 5.25.12665.0 (オプション)

ファイル名: cp029533.exe

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHP Mellanox CX3ネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10G 2-port 546FLR-SFP+アダプター
- HP Ethernet 10G 2-port 546SFP+アダプター
- HP InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2-port 544+QSFP アダプター
- HP InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2-port 544+FLR-QSFP アダプター
- HP InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2-port 544+M アダプター
- HP InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2-port 544+FLR-QSFP アダプター
- HP InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2-port 544+M アダプター
- HP InfiniBand QDR/EN 10Gb Dual Port 544FLR-QSFPアダプター
- HP InfiniBand FDR/EN 10/40Gb Dual Port544QSFPアダプター
- HP InfiniBand FDR/EN 10/40Gb Dual Port 544FLR-QSFPアダプター
- HP InfiniBand FDR/EN 10/40Gb Dual Port 544Mアダプター
- HP InfiniBand QDR/EN 10Gb Dual Port 544Mアダプター
- HP Infiniband QDR/Ethernet 10Gb 2P 544i アダプター

HPE Mellanox CX4LXドライバー for Windows Server 2012

バージョン: 1.35.14894.0 (オプション)

ファイル名: cp027955.exe

拡張

最初のリリースです。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28 アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター

HPE Mellanox CX4LXドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 1.35.14894.0 (オプション)

ファイル名: cp027956.exe

拡張

最初のリリースです。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28 アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター

HPE Mellanox CX4LXドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 1.45.15407.0 (オプション)

ファイル名: cp029534.exe

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 25Gb 2-port 640FLR-SFP28 アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 2-port 640SFP28 アダプター
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1-port 840QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2-port 840QSFP28アダプター

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 6 Update 6 (x86_64)

バージョン: 3.2 (A) (推奨)

ファイル名: kmod-mlnx-ofa_kernel-3.2-OFED.3.2.2.0.0.1.g378ff02.rhel6u6.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-3.2-OFED.3.2.2.0.0.1.g378ff02.5.rhel6u6.x86_64.rpm

修正

バージョン3.2 (A) での修正

- "infiniband support"グループにOS配布のRPMがすでにインストールされている場合、RoCEユーザースペースのライブラリーであるRPM "mlnx-ofa_kernel"でインストールに失敗しました。
- 以前のバージョンのMLNX-ENRoCE ドライバーがすでにインストールされている場合、ドライバーアップグレードが正しく動作しません。これは、Mellanox Ethernet ポートが動作しない原因となります。

バージョン3.2での修正 :

- もっとも近い NUMA ノードを、受信側スケーリング用のデフォルトに設定します。
- GROが有効になったときに、プロキシVLANインターフェイスが正しく処理されないARP要求パケット。

拡張

HPE Mellanox RoCEドライバーv3.2は、以下の変更点および新機能を含みます:

- ローパケットキューペアおよび作業クエリ用のFCS分散
- 受信側の完了時に、L4パケットタイプの表示。
- 作業クエリ用のCVLANインサートをサポート

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル :

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 6U6 (x86_64) カーネルは、次のとおりです。
2.6.32-504.el6 - (x86_64) および将来アップデートされるカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 6 Update 7 (x86_64)

バージョン: 3.2 (A) (推奨)

ファイル名: kmod-mlnx-ofa_kernel-3.2-OFED.3.2.2.0.0.1.g378ff02.rhel6u7.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-3.2-OFED.3.2.2.0.0.1.g378ff02.5.rhel6u7.x86_64.rpm

修正

バージョン3.2 (A) での修正

- "infiniband support"グループにOS配布のRPMがすでにインストールされている場合、RoCEユーザースペースのライブラリーであるRPM "mlnx-ofa_kernel"でインストールに失敗しました。
- 以前のバージョンのMLNX-ENRoCE ドライバーがすでにインストールされている場合、ドライバーアップグレードが正しく動作しません。これは、Mellanox Ethernet ポートが動作しない原因となります。

バージョン3.2での修正：

- もっとも近い NUMA ノードを、受信側スケーリング用のデフォルトに設定します。
- GROが有効になったときに、プロキシVXLANインターフェイスが正しく処理されないARP要求パケット。

拡張

HPE Mellanox RoCEドライバーv3.2は、以下の変更点および新機能を含みます：

- ローパケットキューペアおよび作業クエリ用のFCS分散
- 受信側の完了時に、L4パケットタイプの表示。
- 作業クエリ用のCVLANインサートをサポート

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル：

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 6U6 (x86_64) カーネルは、次のとおりです。
2.6.32-573.el6 - (x86_64) および将来アップデートされるカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ドライバーfor SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP4 AMD64/EM64T)

バージョン: 3.2 (A) (推奨)

ファイル名: mlnx-ofa_kernel-3.2-OFED.3.2.2.0.0.1.g378ff02.5.sles11sp4.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-3.2_3.0.101_63-OFED.3.2.2.0.0.1.g378ff02.sles11sp4.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-xen-3.2_3.0.101_63-OFED.3.2.2.0.0.1.g378ff02.sles11sp4.x86_64.rpm

修正

バージョン3.2 (A) での修正

- "infiniband support"グループにOS配布のRPMがすでにインストールされている場合、RoCEユーザースペースのライブラリーであるRPM "mlnx-ofa_kernel"でインストールに失敗しました。
- 以前のバージョンのMLNX-ENRoCE ドライバーがすでにインストールされている場合、ドライバーアップグレードが正しく動作しません。これは、Mellanox Ethernet ポートが動作しない原因となります。

バージョン3.2での修正：

- もっとも近い NUMA ノードを、受信側スケーリング用のデフォルトに設定します。
- GROが有効になったときに、プロキシVXLANインターフェイスが正しく処理されないARP要求パケット。

拡張

HPE Mellanox RoCEドライバーv3.2は、以下の変更点および新機能を含みます：

- ローパケットキューペアおよび作業クエリ用のFCS分散
- 受信側の完了時に、L4パケットタイプの表示。
- 作業クエリ用のCVLANインサートをサポート

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル：

このバイナリrpmでサポートされるSUSE Linux Enterprise Server SP3 (AMD64/EM64T)のカーネルは、次のとおりです：

3.0.101-63-default - (AMD64/EM64T) および将来のアップデートカーネル。

3.0.101-63-xen - (AMD64/EM64T) および将来のアップデートカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ドライバー for SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP3 (AMD64/EM64T)

バージョン: 3.2 (A) (推奨)

ファイル名: mlnx-ofa_kernel-3.2-OFED.3.2.2.0.0.1.g378ff02.5.sles11sp3.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-3.2_3.0.76_0.11-OFED.3.2.2.0.0.1.g378ff02.sles11sp3.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-xen-3.2_3.0.76_0.11-OFED.3.2.2.0.0.1.g378ff02.sles11sp3.x86_64.rpm

修正

バージョン3.2 (A) での修正

- "infiniband support"グループにOS配布のRPMがすでにインストールされている場合、RoCEユーザースペースのライブラリーであるRPM "mlnx-ofa_kernel"でインストールに失敗しました。
- 以前のバージョンのMLNX-ENRoCE ドライバーがすでにインストールされている場合、ドライバーアップグレードが正しく動作しません。これは、Mellanox Ethernet ポートが動作しない原因となります。

バージョン3.2での修正 :

- もっとも近い NUMA ノードを、受信側スケーリング用のデフォルトに設定します。
- GROが有効になったときに、プロキシVXLANインターフェイスが正しく処理されないARP要求パケット。

拡張

HPE Mellanox RoCEドライバーv3.2は、以下の変更点および新機能を含みます:

- ローパケットキューペアおよび作業クエリ用のFCS分散
- 受信側の完了時に、L4パケットタイプの表示。
- 作業クエリ用のCVLANインサートをサポート

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル :

このバイナリrpmでサポートされるSUSE Linux Enterprise Server SP3 (AMD64/EM64T) カーネルは、次のとおりです。

3.0.76-0.11-default - (AMD64/EM64T) および将来のアップデートカーネル。

3.0.76-0.11-xen - (AMD64/EM64T) および将来のアップデートカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ドライバー for SUSE LINUX Enterprise Server 12 (AMD64/EM64T)

バージョン: 3.2 (A) (推奨)

ファイル名: mlnx-ofa_kernel-3.2-OFED.3.2.2.0.0.1.g378ff02.5.sles12sp0.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-3.2_k3.12.28_4-OFED.3.2.2.0.0.1.g378ff02.sles12sp0.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-xen-3.2_k3.12.28_4-OFED.3.2.2.0.0.1.g378ff02.sles12sp0.x86_64.rpm

修正

バージョン3.2 (A) での修正

- "infiniband support"グループにOS配布のRPMがすでにインストールされている場合、RoCEユーザースペースのライブラリーであるRPM "mlnx-ofa_kernel"でインストールに失敗しました。
- 以前のバージョンのMLNX-ENRoCE ドライバーがすでにインストールされている場合、ドライバーアップグレードが正しく動作しません。これは、Mellanox Ethernet ポートが動作しない原因となります。

バージョン3.2での修正 :

- もっとも近い NUMA ノードを、受信側スケーリング用のデフォルトに設定します。

- GROが有効になったときに、プロキシVXLANインターフェイスが正しく処理されないARP要求パケット。

拡張

HPE Mellanox RoCEドライバーv3.2は、以下の変更点および新機能を含みます:

- ローパケットキューペアおよび作業クエリ用のFCS分散
- 受信側の完了時に、L4パケットタイプの表示。
- 作業クエリ用のCVLANインサートをサポート

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE Linux Enterprise Server 12 (AMD64/EM64T) カーネルは、次のとおりです。

- 3.12.28-4-default - (AMD64/EM64T) および将来のアップデートカーネル。
- 3.12.28-4-xen - (AMD64/EM64T) および将来のアップデートカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet)ドライバー for SUSE LINUX Enterprise Server 12 SP1 (AMD64/EM64T)

バージョン: 3.2 (A) **(推奨)**

ファイル名: mlnx-ofa_kernel-3.2-OFED.3.2.2.0.0.1.g378ff02.5.sles12sp1.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-3.2_k3.12.49_11-OFED.3.2.2.0.0.1.g378ff02.sles12sp1.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-xen-3.2_k3.12.49_11-OFED.3.2.2.0.0.1.g378ff02.sles12sp1.x86_64.rpm

修正

バージョン3.2 (A) での修正

- "infiniband support"グループにOS配布のRPMがすでにインストールされている場合、RoCEユーザースペースのライブラリーであるRPM "mlnx-ofa_kernel"でインストールに失敗しました。
- 以前のバージョンのMLNX-ENRoCE ドライバーがすでにインストールされている場合、ドライバーアップグレードが正しく動作しません。これは、Mellanox Ethernet ポートが動作しない原因となります。

バージョン3.2での修正:

- もっとも近い NUMA ノードを、受信側スケーリング用のデフォルトに設定します。
- GROが有効になったときに、プロキシVXLANインターフェイスが正しく処理されないARP要求パケット。

拡張

HPE Mellanox RoCEドライバーv3.2は、以下の変更点および新機能を含みます:

- ローパケットキューペアおよび作業クエリ用のFCS分散
- 受信側の完了時に、L4パケットタイプの表示。
- 作業クエリ用のCVLANインサートをサポート

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE Linux Enterprise Server 12 SP1 (AMD64/EM64T) カーネルは、次のとおりです。

- 3.12.49-11-default - (AMD64/EM64T) および将来のアップデートカーネル。
- 3.12.49-11-xen - (AMD64/EM64T) および将来のアップデートカーネル。

バージョン: 8.11.9.0 (オプション)

ファイル名: cp029989.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバー用にHPE QLogic FastLinQオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Edition、バージョン5.0.0.24以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品は、Windows Server 2016をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 4x25Gb 1-port 620QSFP28 アダプター

HPE QLogic FastLinQ 25GbEマルチファンクションドライバー for VMware vSphere 6.0

バージョン: 2016.08.15 (オプション)

ファイル名: cp028836.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。vmware.comおよびHPE vibspot.hp.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

HPEは、このドライバーでの使用に、HPE QLogic FastLinQオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware、バージョン4.0.18以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 4x25Gb 1ポート 620QSFP28 アダプター

HPE QLogic iSCSI ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 6 i686

バージョン: 5.04.01.12.00.00-3 (オプション)

ファイル名: hp-qlgc-docs-1.1.1-1.noarch.rpm; hp-qlgc-utils-1.3.0-1.noarch.rpm; kmod-hpqlgc-qla4xxx-5.04.01.12.00.00_k0-3.rhel6u6.i686.rpm; kmod-hpqlgc-qla4xxx-5.04.01.12.00.00_k0-3.rhel6u7.i686.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用にHP QLogic P3Pオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86、バージョン1.9.7で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品に含まれるカーネルモジュール (qla4xxx.ko) にシグネチャーが追加されました。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2-port 526FLR-SFP+アダプター
- HP CN1000Q Dual Port Converged Network Adapter

HPE QLogic iSCSI ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 6 x86_64

バージョン: 5.04.01.12.00.00-3 (オプション)

ファイル名: hp-qlgc-docs-1.1.1-1.noarch.rpm; hp-qlgc-utils-1.3.0-1.noarch.rpm; kmod-hpqlgc-qla4xxx-5.04.01.12.00.00_k0-3.rhel6u6.x86_64.rpm; kmod-hpqlgc-qla4xxx-5.04.01.12.00.00_k0-3.rhel6u7.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に*HP QLogic P3P*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for *Linux x86_64*、バージョン1.9.7で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品に含まれるカーネルモジュール (qla4xxx.ko) にシグネチャーが追加されました。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2-port 526FLR-SFP+アダプター
- HP CN1000Q Dual Port Converged Network Adapter

HPE QLogic iSCSI ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 5.04.01.12.00.00-3 (オプション)

ファイル名: hp-qlgc-docs-1.1.1-1.noarch.rpm; hp-qlgc-utils-1.3.0-1.noarch.rpm; kmod-hpqlgc-qla4xxx-5.04.01.12.00.00_k0-3.rhel7u1.x86_64.rpm; kmod-hpqlgc-qla4xxx-5.04.01.12.00.00_k0-3.rhel7u2.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に*HP QLogic P3P*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for *Linux x86_64*、バージョン1.9.7で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品に含まれるカーネルモジュール (qla4xxx.ko) にシグネチャーが追加されました。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2-port 526FLR-SFP+アダプター
- HP CN1000Q Dual Port Converged Network Adapter

HPE QLogic iSCSI ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 11 i586

バージョン: 5.04.01.12.00.00-5 (オプション)

ファイル名: hp-qlgc-docs-1.1.1-1.noarch.rpm; hp-qlgc-utils-1.3.0-1.noarch.rpm; hpqlgc-qla4xxx-kmp-default-5.04.01.12.00.00_k0_3.0.101_63-5.sles11sp4.i586.rpm; hpqlgc-qla4xxx-kmp-default-5.04.01.12.00.00_k0_3.0.76_0.11-5.sles11sp3.i586.rpm; hpqlgc-qla4xxx-kmp-pae-5.04.01.12.00.00_k0_3.0.101_63-5.sles11sp4.i586.rpm; hpqlgc-qla4xxx-kmp-pae-5.04.01.12.00.00_k0_3.0.76_0.11-5.sles11sp3.i586.rpm; hpqlgc-qla4xxx-kmp-xen-5.04.01.12.00.00_k0_3.0.101_63-5.sles11sp4.i586.rpm; hpqlgc-qla4xxx-kmp-xen-5.04.01.12.00.00_k0_3.0.76_0.11-5.sles11sp3.i586.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用にHP QLogic P3Pオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86、バージョン1.9.7で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品に含まれるカーネルモジュール (qla4xxx.ko) にシグネチャーが追加されました。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2-port 526FLR-SFP+アダプター
- HP CN1000Q Dual Port Converged Network Adapter

HPE QLogic iSCSIドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 11 x86_64

バージョン: 5.04.01.12.00.00-5 (オプション)

ファイル名: hp-qlgc-docs-1.1.1-1.noarch.rpm; hp-qlgc-utils-1.3.0-1.noarch.rpm; hpqlgc-qla4xxx-kmp-default-5.04.01.12.00.00_k0_3.0.101_63-5.sles11sp4.x86_64.rpm; hpqlgc-qla4xxx-kmp-default-5.04.01.12.00.00_k0_3.0.76_0.11-5.sles11sp3.x86_64.rpm; hpqlgc-qla4xxx-kmp-xen-5.04.01.12.00.00_k0_3.0.101_63-5.sles11sp4.x86_64.rpm; hpqlgc-qla4xxx-kmp-xen-5.04.01.12.00.00_k0_3.0.76_0.11-5.sles11sp3.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用にHP QLogic P3Pオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64、バージョン1.9.7で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品に含まれるカーネルモジュール (qla4xxx.ko) にシグネチャーが追加されました。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2-port 526FLR-SFP+アダプター
- HP CN1000Q Dual Port Converged Network Adapter

HPE QLogic iSCSIドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 5.04.01.12.00.00-5 (オプション)

ファイル名: hp-qlgc-docs-1.1.1-1.noarch.rpm; hp-qlgc-utils-1.3.0-1.noarch.rpm; hpqlgc-qla4xxx-kmp-default-5.04.01.12.00.00_k0_k3.12.28_4-5.sles12sp0.x86_64.rpm; hpqlgc-qla4xxx-kmp-default-5.04.01.12.00.00_k0_k3.12.49_11-5.sles12sp1.x86_64.rpm; hpqlgc-qla4xxx-kmp-xen-5.04.01.12.00.00_k0_k3.12.28_4-5.sles12sp0.x86_64.rpm; hpqlgc-qla4xxx-kmp-xen-5.04.01.12.00.00_k0_k3.12.49_11-5.sles12sp1.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用にHP QLogic P3Pオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64、バージョン1.9.7で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品に含まれるカーネルモジュール (qla4xxx.ko) にシグネチャーが追加されました。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2-port 526FLR-SFP+アダプター

- HP CN1000Q Dual Port Converged Network Adapter

HPE QLogic nx_nic ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 6 i686

バージョン: 4.0.596.1-6 (B) (オプション)

ファイル名: hp-nx_nic-docs-1.0.0-4.noarch.rpm; hp-nx_nic-tools-4.0.596.1-4.noarch.rpm; kmod-hpqlgc-nx_nic-4.0.596.1-4.rhel6u6.i686.rpm; kmod-hpqlgc-nx_nic-4.0.596.1-6.rhel6u7.i686.rpm; README

重要な注意!

HPは、これらのドライバー用に *HP QLogic P3* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86、バージョン5.6.10で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

このパッケージはHPE署名されました。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC375i 内蔵4ポート マルチファンクション Gigabit サーバーアダプター

HPE QLogic nx_nic ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 6 x86_64

バージョン: 4.0.596.1-6 (B) (オプション)

ファイル名: hp-nx_nic-docs-1.0.0-4.noarch.rpm; hp-nx_nic-tools-4.0.596.1-4.noarch.rpm; kmod-hpqlgc-nx_nic-4.0.596.1-4.rhel6u6.x86_64.rpm; kmod-hpqlgc-nx_nic-4.0.596.1-6.rhel6u7.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPは、これらのドライバー用に *HP QLogic P3* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64、バージョン5.6.10で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

このパッケージはHPE署名されました。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC375i 内蔵4ポート マルチファンクション Gigabit サーバーアダプター

HPE QLogic nx_nic ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 4.0.596.1-2 (B) (オプション)

ファイル名: hp-nx_nic-docs-1.0.0-4.noarch.rpm; hp-nx_nic-tools-4.0.596.1-4.noarch.rpm; kmod-hpqlgc-nx_nic-4.0.596.1-2.rhel7u1.x86_64.rpm; kmod-hpqlgc-nx_nic-4.0.596.1-2.rhel7u2.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に *HP QLogic P3* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64、バージョン5.6.7で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

このドライバーはRed Hat Enterprise Linux 7 Update 2をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC375i 内蔵4ポート マルチファンクション Gigabit サーバーアダプター

HPE QLogic nx_nic ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 4.0.596.1-2 (オプション)

ファイル名: hp-nx_nic-docs-1.0.0-4.noarch.rpm; hp-nx_nic-tools-4.0.596.1-4.noarch.rpm; hpqlgc-nx_nic-kmp-default-4.0.596.1_k3.12.28_4-4.sles12sp0.x86_64.rpm; hpqlgc-nx_nic-kmp-default-4.0.596.1_k3.12.49_11-2.sles12sp1.x86_64.rpm; hpqlgc-nx_nic-kmp-xen-4.0.596.1_k3.12.28_4-4.sles12sp0.x86_64.rpm; hpqlgc-nx_nic-kmp-xen-4.0.596.1_k3.12.49_11-2.sles12sp1.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に*HP QLogic P3オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64*、バージョン5.6.7で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

このドライバーは、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP1をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC375i 内蔵4ポート マルチファンクション Gigabit サーバーアダプター

HPE QLogic NX2 Linux iSCSI オフロードIOデーモン for SUSE Linux Enterprise Server 11 SP3 i586

バージョン: 2.11.4.0-2 (B) (オプション)

ファイル名: iscsiuiio-2.11.4.0-2.sles11sp3.i586.rpm

拡張

このパッケージはHPE署名されました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC382i内蔵デュアルポート マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
 - HP Flex-10 10Gb 2ポート 530FLB アダプター
 - HP Ethernet 10Gb 2ポート 530FLR-SFP+ アダプター
 - HP Flex-10 10Gb 2ポート 530M アダプター
 - HP Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+ アダプター
 - HP Ethernet 10Gb 2ポート 530Tアダプター
 - HP NC532mデュアルポート10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
 - HP FlexFabric 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
 - HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLBアダプター
 - HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLR-SFP+アダプター
 - HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534Mアダプター
 - HP FlexFabric 20Gb 2ポート 630FLB アダプター
 - HP FlexFabric 20Gb 2ポート 630Mアダプター
 - HP StoreFabric CN1100R Dual Port Converged Network Adapter
-

HPE QLogic NX2 1/10/20 GbEマルチファンクションドライバー for Red Hat Enterprise Linux 6 i686

バージョン: 7.14.07-1 (オプション)

ファイル名: kmod-netxtreme2-7.14.07-1.rhel6u7.i686.rpm; kmod-netxtreme2-7.14.07-1.rhel6u8.i686.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に*HPE QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for *Linux x86*、バージョン2.18.44以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品は、1Gbジャンボフレームで発生する周期的な冗長チェック (RX CRC) エラーを修正します。

この製品は、2つのVLANでタグ付けされたパケットを転送するときに発生するエラーに対処します。

この製品は、IPv4とIPv6の両方でVXLANが有効にされたときに、予期せずオフロードが無効になる問題に対処します。

この製品は、VXLANパケットのRSSが失敗する問題に対処します。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC382i Integrated Dual Port マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530FLR-SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530FLBアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530T ネットワークアダプター
- HP NC532i Dual Port 10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP NC532m Dual Port 10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534Mアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630Mアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Port Converged Network Adapter

HPE QLogic NX2 1/10/20 GbEマルチファンクションドライバー for Red Hat Enterprise Linux 6 x86_64

バージョン: 7.14.07-1 (オプション)

ファイル名: kmod-netxtreme2-7.14.07-1.rhel6u7.x86_64.rpm; kmod-netxtreme2-7.14.07-1.rhel6u8.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に *HPE QLogic NX2* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for *Linux x86_64*、バージョン2.18.44以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8をサポートします。

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Synergy 3820C 10/20Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE Synergy 10Gb 2ポート 2820C コンバージドネットワークアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC382i Integrated Dual Port マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530FLR-SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530FLBアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530T ネットワークアダプター
- HP NC532i Dual Port 10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP NC532m Dual Port 10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4-port 536FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630Mアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Port Converged Network Adapter
- HPE StoreFabric CN1100R-T Dual Port Converged Network Adapter
- HPE Synergy 10Gb 2820C Ethernetアダプター
- HPE Synergy 3820C 10/20Gb Converged Network Adapter

HPE QLogic NX2 1/10/20 GbEマルチファンクションドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64
バージョン: 7.14.07-1 (オプション)

ファイル名: kmod-netxtreme2-7.14.07-1.rhel7u1.x86_64.rpm; kmod-netxtreme2-7.14.07-1.rhel7u2.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に HPE QLogic NX2 オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64、バージョン2.18.44以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Synergy 3820C 10/20Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE Synergy 10Gb 2ポート 2820C コンバージドネットワークアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC382i内蔵デュアルポート マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530FLR-SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530FLBアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530T ネットワークアダプター
- HP NC532iデュアルポート10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP NC532mデュアルポート10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート 536FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 630FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 630Mアダプター
- HP StoreFabric CN1100R デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-T Dual Port Converged Network Adapter
- HPE Synergy 10Gb 2820C Ethernetアダプター
- HPE Synergy 3820C 10/20Gbコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2 1/10/20 GbEマルチファンクションドライバ for SUSE Linux Enterprise Server 11 i586
バージョン: 7.14.07-1 (オプション)

ファイル名: netxtreme2-kmp-default-7.14.07_3.0.101_63-1.sles11sp4.i586.rpm; netxtreme2-kmp-default-7.14.07_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.i586.rpm; netxtreme2-kmp-pae-7.14.07_3.0.101_63-1.sles11sp4.i586.rpm; netxtreme2-kmp-pae-7.14.07_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.i586.rpm; netxtreme2-kmp-xen-7.14.07_3.0.101_63-1.sles11sp4.i586.rpm; netxtreme2-kmp-xen-7.14.07_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.i586.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバ用にHPE QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86、バージョン2.18.44以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品は、1Gbジャンボフレームで発生する周期的な冗長チェック (RX CRC) エラーを修正します。

この製品は、2つのVLANでタグ付けされたパケットを転送するときに発生するエラーに対処します。

この製品は、IPv4とIPv6の両方でVXLANが有効にされたときに、予期せずオフロードが無効になる問題に対処します。

この製品は、VXLANパケットのRSSが失敗する問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC382i内蔵デュアルポート マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530FLR-SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530FLBアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530T ネットワークアダプター
- HP NC532iデュアルポート10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP NC532mデュアルポート10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534Mアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 630FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 630Mアダプター
- HP StoreFabric CN1100R デュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2 1/10/20 GbEマルチファンクションドライバ for SUSE Linux Enterprise Server 11 x86_64
バージョン: 7.14.07-1 (オプション)

ファイル名: netxtreme2-kmp-default-7.14.07_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.rpm; netxtreme2-kmp-default-7.14.07_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.rpm; netxtreme2-kmp-xen-7.14.07_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.rpm; netxtreme2-kmp-xen-7.14.07_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.rpm; README

重要な注意！

HPEは、これらのドライバー用に HPE QLogic NX2 オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64、バージョン2.18.44以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Synergy 3820C 10/20Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE Synergy 10Gb 2ポート 2820C コンバージドネットワークアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC382i内蔵デュアルポート マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530FLR-SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530FLBアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530T ネットワークアダプター
- HP NC532iデュアルポート10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP NC532mデュアルポート10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート 536FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 630FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 630Mアダプター
- HP StoreFabric CN1100R デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-T Dual Port Converged Network Adapter
- HPE Synergy 10Gb 2820C Ethernetアダプター
- HPE Synergy 3820C 10/20Gbコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2 1/10/20 GbEマルチファンクションドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64
バージョン: 7.14.07-1 (**オプション**)

ファイル名: netxtreme2-kmp-default-7.14.07_k3.12.28_4-1.sles12sp0.x86_64.rpm; netxtreme2-kmp-default-7.14.07_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm; netxtreme2-kmp-xen-7.14.07_k3.12.28_4-1.sles12sp0.x86_64.rpm; netxtreme2-kmp-xen-7.14.07_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm; README

重要な注意！

HPEは、これらのドライバー用に HPE QLogic NX2 オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64、バージョン2.18.44以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Synergy 3820C 10/20Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE Synergy 10Gb 2ポート 2820C コンバージドネットワークアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC382i内蔵デュアルポート マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530FLR-SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530FLBアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530T ネットワークアダプター
- HP NC532iデュアルポート10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP NC532mデュアルポート10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート 536FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 630FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 630Mアダプター
- HP StoreFabric CN1100R デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-T Dual Port Converged Network Adapter
- HPE Synergy 10Gb 2820C Ethernetアダプター
- HPE Synergy 3820C 10/20Gbコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2 1/10/20 GbE マルチファンクションドライバー for VMware vSphere 5.5

バージョン: 2016.10.07 (オプション)

ファイル名: cp028027.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hp.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

HPEは、このドライバーでの使用に、*HPE QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for VMware*、バージョン1.12.43以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Synergy 3820C 10/20Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE Synergy 10Gb 2ポート 2820C コンバージドネットワークアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC382i内蔵デュアルポート マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530FLR-SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530FLBアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530T ネットワークアダプター
- HP NC532iデュアルポート10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP NC532mデュアルポート10GbEマルチファンクションBL-cアダプター

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート 536FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 630FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 630Mアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 631Mアダプター
- HP StoreFabric CN1100R デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-T デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE Synergy 10Gb 2ポート 2820C コンバージドネットワークアダプター
- HPE Synergy 3820C 10/20Gbコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2 1/10/20 GbE マルチファンクションドライバードライバー for VMware vSphere 6.0

バージョン: 2016.10.07 (オプション)

ファイル名: cp028028.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hp.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバを含むzipファイルです。

HPEは、このドライバでの使用に、*HPE QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for VMware*、バージョン1.12.43以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Synergy 3820C 10/20Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE Synergy 10Gb 2ポート 2820C コンバージドネットワークアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC382i内蔵デュアルポート マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530FLR-SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530FLBアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530T ネットワークアダプター
- HP NC532iデュアルポート10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP NC532mデュアルポート10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 630FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 630Mアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 631Mアダプター
- HP StoreFabric CN1100R デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-T デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE Synergy 10Gb 2820C Ethernetアダプター

- HPE Synergy 3820C 10/20Gbコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2 10/20GbEマルチファンクションドライバー for Windows Server 2008

バージョン: 7.13.104.0 (オプション)

ファイル名: cp030841.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバー用にHPE QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server 2008、バージョン5.0.0.24以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品は、最大数のVMQsが構成された仮想マシンの電源オンを試みた場合に、システムクラッシュにつながる問題に対処しています。

この製品は、VMQアダプターの構成後にシステムがハングする問題に対処しています。

この製品は、失敗した仮想機能デバイスを回復するために再起動した後に、仮想マシンにシステムクラッシュが発生する問題に対処しています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC532i Dual Port 10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP NC532m Dual Port 10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP Flex-10 10Gb 2-port 530FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530FLR-SFP+アダプター
- HP Flex-10 10Gb 2-port 530Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530T ネットワークアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534Mアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630Mアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Port Converged Network Adapter

HPE QLogic NX2 10/20GbEマルチファンクションドライバー for Windows Server x64 Edition

バージョン: 7.13.104.0 (オプション)

ファイル名: cp030253.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバー用にHPE QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Edition、バージョン5.0.0.24以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品は、Windows Server 2016をサポートします。

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Synergy 3820C 10/20Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE Synergy 10Gb 2ポート 2820C コンバージドネットワークアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Flex-10 10Gb 2-port 530FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530FLR-SFP+アダプター
- HP Flex-10 10Gb 2-port 530Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530T ネットワークアダプター
- HP NC532i Dual Port 10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP NC532m Dual Port 10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4-port 536FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630Mアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Port Converged Network Adapter
- HPE StoreFabric CN1100R-T Dual Port Converged Network Adapter
- HPE Synergy 10Gb 2820C Ethernetアダプター
- HPE Synergy 3820C 10/20Gb Converged Network Adapter

HPE QLogic NX2 Linux iSCSI オフロードIOデーモン for Red Hat Enterprise Linux 6 Update 7 i686

バージョン: 2.11.4.0-2 (B) (オプション)

ファイル名: iscsiui0-2.11.4.0-2.rhel6u7.i686.rpm

拡張

このパッケージはHPE署名されました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC382i内蔵デュアルポート マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
- HP Flex-10 10Gb 2ポート 530FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530FLR-SFP+ アダプター
- HP Flex-10 10Gb 2ポート 530M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530Tアダプター
- HP NC532mデュアルポート10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534Mアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 630FLB アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 630Mアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Port Converged Network Adapter

HPE QLogic NX2 Linux iSCSI オフロードIOデーモン for Red Hat Enterprise Linux 6 Update 7 x86_64

バージョン: 2.11.4.0-2 (C) (オプション)

ファイル名: iscsiui0-2.11.4.0-2.rhel6u7.x86_64.rpm

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 4-port 536FLR-Tアダプター
- HPE Synergy 10Gb 2-port 2820C Converged Network Adapter
- HPE Synergy 3820C 10/20Gb Converged Network Adapter

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC382i Integrated Dual Port マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
- HP Flex-10 10Gb 2-port 530FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530FLR-SFP+アダプター
- HP Flex-10 10Gb 2-port 530Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530T ネットワークアダプター
- HP NC532m Dual Port 10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4-port 536FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630Mアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Port Converged Network Adapter
- HPE StoreFabric CN1100R-T Dual Port Converged Network Adapter
- HPE Synergy 10Gb 2-port 2820C Converged Network Adapter
- HPE Synergy 3820C 10/20Gb Converged Network Adapter

HPE QLogic NX2 Linux iSCSI オフロードIOデーモン for Red Hat Enterprise Linux 7 Update 1 x86_64
バージョン: 2.11.4.0-2 (C) (オプション)
ファイル名: iscsiui0-2.11.4.0-2.rhel7u1.x86_64.rpm

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 4-port 536FLR-Tアダプター
- HPE Synergy 10Gb 2-port 2820C Converged Network Adapter
- HPE Synergy 3820C 10/20Gb Converged Network Adapter

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC382i Integrated Dual Port マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
- HP Flex-10 10Gb 2-port 530FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530FLR-SFP+アダプター
- HP Flex-10 10Gb 2-port 530Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530T ネットワークアダプター
- HP NC532m Dual Port 10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534Mアダプター

- HP FlexFabric 10Gb 2-port 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4-port 536FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630Mアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Port Converged Network Adapter
- HPE StoreFabric CN1100R-T Dual Port Converged Network Adapter
- HPE Synergy 10Gb 2-port 2820C Converged Network Adapter
- HPE Synergy 3820C 10/20Gb Converged Network Adapter

HPE QLogic NX2 Linux iSCSI オフロードIOデーモン for Red Hat Enterprise Linux 7 Update 2 x86_64
バージョン: 2.11.4.0-2 (C) (オプション)
ファイル名: iscsiui0-2.11.4.0-2.rhel7u2.x86_64.rpm

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 4-port 536FLR-Tアダプター
- HPE Synergy 10Gb 2-port 2820C Converged Network Adapter
- HPE Synergy 3820C 10/20Gb Converged Network Adapter

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC382i Integrated Dual Port マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
- HP Flex-10 10Gb 2-port 530FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530FLR-SFP+アダプター
- HP Flex-10 10Gb 2-port 530Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530T ネットワークアダプター
- HP NC532m Dual Port 10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4-port 536FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630Mアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Port Converged Network Adapter
- HPE StoreFabric CN1100R-T Dual Port Converged Network Adapter
- HPE Synergy 10Gb 2-port 2820C Converged Network Adapter
- HPE Synergy 3820C 10/20Gb Converged Network Adapter

HPE QLogic NX2 Linux iSCSI オフロードIOデーモン for SUSE Linux Enterprise Server 11 SP3 x86_64
バージョン: 2.11.4.0-2 (C) (オプション)
ファイル名: iscsiui0-2.11.4.0-2.sles11sp3.x86_64.rpm

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 4-port 536FLR-Tアダプター
- HPE Synergy 10Gb 2-port 2820C Converged Network Adapter
- HPE Synergy 3820C 10/20Gb Converged Network Adapter

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC382i Integrated Dual Port マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
- HP Flex-10 10Gb 2-port 530FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530FLR-SFP+アダプター
- HP Flex-10 10Gb 2-port 530Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530T ネットワークアダプター
- HP NC532m Dual Port 10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4-port 536FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630Mアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Port Converged Network Adapter
- HPE StoreFabric CN1100R-T Dual Port Converged Network Adapter
- HPE Synergy 10Gb 2-port 2820C Converged Network Adapter
- HPE Synergy 3820C 10/20Gb Converged Network Adapter

HPE QLogic NX2 Linux iSCSI オフロードIOデーモン for SUSE Linux Enterprise Server 12 SP1 x86_64

バージョン: 2.11.4.0-2 (C) (オプション)

ファイル名: iscsiui0-2.11.4.0-2.sles12sp1.x86_64.rpm

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 4-port 536FLR-Tアダプター
- HPE Synergy 10Gb 2-port 2820C Converged Network Adapter
- HPE Synergy 3820C 10/20Gb Converged Network Adapter

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC382i Integrated Dual Port マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
 - HP Flex-10 10Gb 2-port 530FLB アダプター
 - HP Ethernet 10Gb 2-port 530FLR-SFP+アダプター
 - HP Flex-10 10Gb 2-port 530Mアダプター
 - HP Ethernet 10Gb 2-port 530SFP+アダプター
 - HP Ethernet 10Gb 2-port 530T ネットワークアダプター
 - HP NC532m Dual Port 10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
 - HP FlexFabric 10Gb 2-port 533FLR-Tアダプター
 - HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLBアダプター
 - HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLR-SFP+アダプター
 - HP FlexFabric 10Gb 2-port 534Mアダプター
 - HP FlexFabric 10Gb 2-port 536FLBアダプター
 - HPE FlexFabric 10Gb 4-port 536FLR-Tアダプター
 - HP FlexFabric 20Gb 2-port 630FLBアダプター
 - HP FlexFabric 20Gb 2-port 630Mアダプター
 - HP StoreFabric CN1100R Dual Port Converged Network Adapter
 - HPE StoreFabric CN1100R-T Dual Port Converged Network Adapter
 - HPE Synergy 10Gb 2-port 2820C Converged Network Adapter
 - HPE Synergy 3820C 10/20Gb Converged Network Adapter
-

HPE QLogic NX2 Linux iSCSI オフロードIOデーモン for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64
バージョン: 2.11.4.0-2 (C) (オプション)
ファイル名: iscsiui0-2.11.4.0-2.sles12sp0.x86_64.rpm

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 4-port 536FLR-Tアダプター
- HPE Synergy 10Gb 2-port 2820C Converged Network Adapter
- HPE Synergy 3820C 10/20Gb Converged Network Adapter

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC382i Integrated Dual Port マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
- HP Flex-10 10Gb 2-port 530FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530FLR-SFP+アダプター
- HP Flex-10 10Gb 2-port 530Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530T ネットワークアダプター
- HP NC532m Dual Port 10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4-port 536FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630Mアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Port Converged Network Adapter
- HPE StoreFabric CN1100R-T Dual Port Converged Network Adapter
- HPE Synergy 10Gb 2-port 2820C Converged Network Adapter
- HPE Synergy 3820C 10/20Gb Converged Network Adapter

HPE QLogic NX2 Linux iSCSIオフロードIOデーモン for SUSE Linux Enterprise Server 11 SP4 i586
バージョン: 2.11.4.0-2 (B) (オプション)
ファイル名: iscsiui0-2.11.4.0-2.sles11sp4.i586.rpm

拡張

このパッケージはHPE署名されました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC382i内蔵デュアルポート マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
- HP Flex-10 10Gb 2ポート 530FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530FLR-SFP+ アダプター
- HP Flex-10 10Gb 2ポート 530M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530Tアダプター
- HP NC532mデュアルポート10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534Mアダプター

- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 630FLB アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 630Mアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Port Converged Network Adapter

HPE QLogic NX2 Linux iSCSIオフロードIOデーモン for SUSE Linux Enterprise Server 11 SP4 x86_64
バージョン: 2.11.4.0-2 (C) (オプション)

ファイル名: iscsiuiio-2.11.4.0-2.sles11sp4.x86_64.rpm

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 4-port 536FLR-Tアダプター
- HPE Synergy 10Gb 2-port 2820C Converged Network Adapter
- HPE Synergy 3820C 10/20Gb Converged Network Adapter

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC382i Integrated Dual Port マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
- HP Flex-10 10Gb 2-port 530FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530FLR-SFP+アダプター
- HP Flex-10 10Gb 2-port 530Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530T ネットワークアダプター
- HP NC532m Dual Port 10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4-port 536FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630Mアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Port Converged Network Adapter
- HPE StoreFabric CN1100R-T Dual Port Converged Network Adapter
- HPE Synergy 10Gb 2-port 2820C Converged Network Adapter
- HPE Synergy 3820C 10/20Gb Converged Network Adapter

HPE QLogic NX2 Linux iSCSIオフロードIOデーモンfor Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8 x86_64
バージョン: 2.11.4.1-1 (B) (オプション)

ファイル名: iscsiuiio-2.11.4.1-1.rhel6u8.x86_64.rpm

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 4-port 536FLR-Tアダプター
- HPE Synergy 10Gb 2-port 2820C Converged Network Adapter
- HPE Synergy 3820C 10/20Gb Converged Network Adapter

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC382i Integrated Dual Port マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
- HP Flex-10 10Gb 2-port 530FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530FLR-SFP+アダプター

- HP Flex-10 10Gb 2-port 530Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530T ネットワークアダプター
- HP NC532m Dual Port 10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4-port 536FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630Mアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Port Converged Network Adapter
- HPE StoreFabric CN1100R-T Dual Port Converged Network Adapter
- HPE Synergy 10Gb 2-port 2820C Converged Network Adapter
- HPE Synergy 3820C 10/20Gb Converged Network Adapter

HPE QLogic P3P マルチファンクション ドライバー for Windows Server 2008

バージョン: 5.3.32.1130 (オプション)

ファイル名: cp028932.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバー用に適用可能な以下のファームウェア製品で提供されるファームウェアをおすすめします。

- *HP QLogic P3P* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server 2008、バージョン4.0.0.19以降
- *HP QLogic P3P* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server 2008、バージョン4.0.0.19(B)以降

修正

この製品は、Virtual Memory Queue (VMQ) がシングルコアで 100% CPU 使用の原因となる問題に対応します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC375i 内蔵4ポート マルチファンクション Gigabit サーバーアダプター
- HP NC523SFP 10Gb デュアルポート Flex-10 サーバーアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 526FLR-SFP+アダプター
- HP CN1000Q デュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic P3P マルチファンクション ドライバー for Windows Server 2008 R2

バージョン: 5.3.32.1130 (オプション)

ファイル名: cp028934.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバー用に適用可能な以下のファームウェア製品で提供されるファームウェアをおすすめします。

- *HP QLogic P3P* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions、バージョン4.0.0.19以降
- *HP QLogic P3P* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions、バージョン4.0.0.19(C)以降

修正

この製品は、Virtual Memory Queue (VMQ) がシングルコアで 100% CPU 使用の原因となる問題に対応します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC375i 内蔵4ポート マルチファンクション Gigabit サーバーアダプター
- HP NC523SFP 10Gb デュアルポート Flex-10 サーバーアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 526FLR-SFP+アダプター
- HP CN1000Q デュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic P3P マルチファンクション ドライバー for Windows Server 2008 x64 Edition
バージョン: 5.3.32.1130 (**オプション**)
ファイル名: cp028933.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバー用に適用可能な以下のファームウェア製品で提供されるファームウェアをおすすめします。

- *HP QLogic P3P*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions、バージョン4.0.0.19以降
- *HP QLogic P3P*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions、バージョン4.0.0.19(C)以降

修正

この製品は、Virtual Memory Queue (VMQ) がシングルコアで 100% CPU 使用の原因となる問題に対応します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC375i 内蔵4ポート マルチファンクション Gigabit サーバーアダプター
- HP NC523SFP 10Gb デュアルポート Flex-10 サーバーアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 526FLR-SFP+アダプター
- HP CN1000Q デュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic P3P マルチファンクション ドライバー for Windows Server 2012
バージョン: 5.3.32.1130 (**オプション**)
ファイル名: cp028935.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバー用に適用可能な以下のファームウェア製品で提供されるファームウェアをおすすめします。

- *HP QLogic P3P*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions、バージョン4.0.0.19以降
- *HP QLogic P3P*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions、バージョン4.0.0.19(C)以降

修正

この製品は、Virtual Memory Queue (VMQ) がシングルコアで 100% CPU 使用の原因となる問題に対応します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC375i 内蔵4ポート マルチファンクション Gigabit サーバーアダプター
- HP NC523SFP 10Gb デュアルポート Flex-10 サーバーアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 526FLR-SFP+アダプター
- HP CN1000Q デュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic P3P マルチファンクション ドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 5.3.32.1130 (オプション)

ファイル名: cp028936.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバー用に適用可能な以下のファームウェア製品で提供されるファームウェアをおすすめします。

- *HP QLogic P3Pオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions*、バージョン4.0.0.19以降
- *HP QLogic P3Pオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions*、バージョン4.0.0.19(C)以降

修正

この製品は、Virtual Memory Queue (VMQ) がシングルコアで 100% CPU 使用の原因となる問題に対応します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC375i 内蔵4ポート マルチファンクション Gigabit サーバーアダプター
- HP NC523SFP 10Gb デュアルポート Flex-10 サーバーアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 526FLR-SFP+アダプター
- HP CN1000Q デュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic P3P iSCSI ドライバー for VMware vSphere 5.5

バージョン: 2016.03.29 (オプション)

ファイル名: cp028004.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 vmware.comおよびHPE vibsdepot.hp.com Webページに加え、HPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

HPEは、このドライバーでの使用に、*HPE QLogic P3Pオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware*、バージョン2.5.5で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

このドライバーは、ミニダンプの収集に見られる"Lost Heartbeat" purple diagnostic screen (PSOD)に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 526FLR-SFP+アダプター
- HP CN1000Q Dual Port Converged Network Adapter

HPE QLogic P3P iSCSI ドライバー for VMware vSphere 6.0

バージョン: 2016.03.29 (オプション)

ファイル名: cp028005.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 vmware.comおよびHPE vibsdepot.hp.com Webページに加え、HPE固有のCP0xxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

HPEは、このドライバーでの使用に、*HPE QLogic P3P*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for VMware*、バージョン2.5.5で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

このドライバーは、ミニダンプの収集に見られる"Lost Heartbeat" purple diagnostic screen (PSOD)に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のHP P3Pネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 526FLR-SFP+アダプター
- HP CN1000Q Dual Port Converged Network Adapter

HPE QLogic qlcnic ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 6 i686

バージョン: 5.3.63-3 (オプション)

ファイル名: hp-qlgc-docs-1.1.1-1.noarch.rpm; hp-qlgc-utils-1.3.0-1.noarch.rpm; kmod-hpqlgc-qlcnic-5.3.63-3.rhel6u6.i686.rpm; kmod-hpqlgc-qlcnic-5.3.63-3.rhel6u7.i686.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に*HP QLogic P3P*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Linux x86*、バージョン1.9.7以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品は、ファームウェアイメージをコピー中に見られるメモリ割り当ての失敗に対処します。

この製品は、大規模なマルチキャストグループを使用するときに見られるネットワーク接続の問題に対処します。

拡張

この製品は、拡張されたミニダンプ機能のサポートを提供します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC523SFP 10Gb デュアルポート Flex-10 Ethernet サーバーアダプター

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 526FLR-SFP+アダプター
- HP CN1000Q デュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic qlcnic ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 6 x86_64

バージョン: 5.3.63-3 (オプション)

ファイル名: hp-qlgc-docs-1.1.1-1.noarch.rpm; hp-qlgc-utils-1.3.0-1.noarch.rpm; kmod-hpqlgc-qlcnic-5.3.63-3.rhel6u6.x86_64.rpm; kmod-hpqlgc-qlcnic-5.3.63-3.rhel6u7.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPIは、これらのドライバー用に HPE QLogic P3P オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64、バージョン1.9.7以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品は、ファームウェアイメージをコピー中に見られるメモリ割り当ての失敗に対処します。

この製品は、大規模なマルチキャストグループを使用するときに見られるネットワーク接続の問題に対処します。

拡張

この製品は、拡張されたミニダンプ機能のサポートを提供します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC523SFP 10Gb デュアルポート Flex-10 Ethernet サーバーアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 526FLR-SFP+アダプター
- HP CN1000Q デュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic qlcnic ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 5.3.63-3 (オプション)

ファイル名: hp-qlgc-docs-1.1.1-1.noarch.rpm; hp-qlgc-utils-1.3.0-1.noarch.rpm; kmod-hpqlgc-qlcnic-5.3.63-3.rhel7u1.x86_64.rpm; kmod-hpqlgc-qlcnic-5.3.63-3.rhel7u2.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPIは、これらのドライバー用に HPE QLogic P3P オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64、バージョン1.9.7以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品は、ファームウェアイメージをコピー中に見られるメモリ割り当ての失敗に対処します。

この製品は、大規模なマルチキャストグループを使用するときに見られるネットワーク接続の問題に対処します。

拡張

この製品は、拡張されたミニダンプ機能のサポートを提供します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC523SFP 10Gb デュアルポート Flex-10 Ethernet サーバーアダプター

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 526FLR-SFP+アダプター
- HP CN1000Q デュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic qlcnic ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 11 i586

バージョン: 5.3.63-3 (オプション)

ファイル名: hp-qlgc-docs-1.1.1-1.noarch.rpm; hp-qlgc-utils-1.3.0-1.noarch.rpm; hpqlgc-qlcnic-kmp-default-5.3.63_3.0.101_63-5.sles11sp4.i586.rpm; hpqlgc-qlcnic-kmp-default-5.3.63_3.0.76_0.11-5.sles11sp3.i586.rpm; hpqlgc-qlcnic-kmp-pae-5.3.63_3.0.101_63-5.sles11sp4.i586.rpm; hpqlgc-qlcnic-kmp-pae-5.3.63_3.0.76_0.11-5.sles11sp3.i586.rpm; hpqlgc-qlcnic-kmp-xen-5.3.63_3.0.101_63-5.sles11sp4.i586.rpm; hpqlgc-qlcnic-kmp-xen-5.3.63_3.0.76_0.11-5.sles11sp3.i586.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に *HP QLogic P3P* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for *Linux x86*、バージョン1.9.7以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品は、ファームウェアイメージをコピー中に見られるメモリ割り当ての失敗に対処します。

この製品は、大規模なマルチキャストグループを使用するときに見られるネットワーク接続の問題に対処します。

拡張

この製品は、拡張されたミニダンプ機能のサポートを提供します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC523SFP 10Gb デュアルポート Flex-10 Ethernet サーバーアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 526FLR-SFP+アダプター
- HP CN1000Q デュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic qlcnic ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 11 x86_64

バージョン: 5.3.63-3 (オプション)

ファイル名: hp-qlgc-docs-1.1.1-1.noarch.rpm; hp-qlgc-utils-1.3.0-1.noarch.rpm; hpqlgc-qlcnic-kmp-default-5.3.63_3.0.101_63-5.sles11sp4.x86_64.rpm; hpqlgc-qlcnic-kmp-default-5.3.63_3.0.76_0.11-5.sles11sp3.x86_64.rpm; hpqlgc-qlcnic-kmp-xen-5.3.63_3.0.101_63-5.sles11sp4.x86_64.rpm; hpqlgc-qlcnic-kmp-xen-5.3.63_3.0.76_0.11-5.sles11sp3.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に *HPE QLogic P3P* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for *Linux x86_64*、バージョン1.9.7以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品は、ファームウェアイメージをコピー中に見られるメモリ割り当ての失敗に対処します。

この製品は、大規模なマルチキャストグループを使用するときに見られるネットワーク接続の問題に対処します。

拡張

この製品は、拡張されたミニダンプ機能のサポートを提供します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC523SFP 10Gb デュアルポート Flex-10 Ethernet サーバーアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 526FLR-SFP+アダプター
- HP CN1000Q デュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic qlcnic ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 5.3.63-3 (オプション)

ファイル名: hp-qlgc-docs-1.1.1-1.noarch.rpm; hp-qlgc-utils-1.3.0-1.noarch.rpm; hpqlgc-qlcnic-kmp-default-5.3.63_k3.12.28_4-5.sles12sp0.x86_64.rpm; hpqlgc-qlcnic-kmp-default-5.3.63_k3.12.49_11-5.sles12sp1.x86_64.rpm; hpqlgc-qlcnic-kmp-xen-5.3.63_k3.12.28_4-5.sles12sp0.x86_64.rpm; hpqlgc-qlcnic-kmp-xen-5.3.63_k3.12.49_11-5.sles12sp1.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPIは、これらのドライバー用に HPE QLogic P3P オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64、バージョン1.9.7以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品は、ファームウェアイメージをコピー中に見られるメモリ割り当ての失敗に対処します。

この製品は、大規模なマルチキャストグループを使用するときに見られるネットワーク接続の問題に対処します。

拡張

この製品は、拡張されたミニダンプ機能のサポートを提供します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC523SFP 10Gb デュアルポート Flex-10 Ethernet サーバーアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 526FLR-SFP+アダプター
- HP CN1000Q デュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPEネットワークコンフィギュレーションユーティリティ for Windows Server 2008 R2

バージョン: 11.50.0.0 (オプション)

ファイル名: cp028184.exe

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート557SFP+アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 650Mアダプター
- HP StoreFabric CN1200E デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター

HPEネットワークコンフィギュレーションユーティリティ for Windows Server 2008 x64 Edition

バージョン: 11.50.0.0 (オプション)

ファイル名: cp028183.exe

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート557SFP+アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 650Mアダプター
- HP StoreFabric CN1200E デュアルポートコンバージドネットワークアダプター

Mellanox InfiniBandおよびEthernetドライバー for SuSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 3.3-1.0.4.0 (推奨)

ファイル名: MLNX_OFED_LINUX-3.3-1.0.4.0-sles12sp0-x86_64.tar.gz

重要な注意!

セキュアブートモード動作を使用する場合、HP Software Delivery Repositoryを介して配布されている署名済み Mellanox OFEDドライバーを使用します。 http://downloads.linux.hp.com/SDR/downloads/MLNX_OFED/

このOFEDバージョンからMLNX_EN (Ethernetドライバー)を使用する際

は、"Performance_Tuning_Guide_for_Mellanox_Network_Adapters.pdf"の指示に従うことを強くお勧めします。パフォーマンスチューニングガイドでは、EthernetモードでのMellanox VPIカードのパフォーマンスを向上するパラメーターを設定するのに役立ちます。"Performance_Tuning_Guide_for_Mellanox_Network_Adapters.pdf" はドライバーに同梱されています。

このリリースでの既知の問題のリストについては、ドライバーのダウンロードにバンドルされる「Mellanox OFEDリリースノート」の第3章を参照してください。

修正

バージョン3.3-1.0.4.0での修正:

- IPoIBのndo_set_mac_addressサポートの結果として、メモリー腐敗がIPoIBインターフェイス間の結合ドライバーにエクスポートされる問題を修正。このメモリー腐敗問題は、ポートがRedHatで機能不全に陥る状態やUbuntuデバイス内でのカーネルパニックなど、予測不可能な行動を引き起こす可能性があります。

バージョン3.3-1.0.0.0での修正:

- IBコア
 - 書き込みシステムコールの不適切な依存によりInfiniBand の潜在的なセキュリティ違反を修正しました。
- RoCE
 - InfiniBand エラーカウンターが /sys/class/infiniband//ports/ / で正しく機能しない問題を修正しました。
- ConnectX-4アダプターカード
- インストール
 - dapl パッケージが MLNX_OFED for Ubuntu PPC64LE 内に欠落している問題を修正しました。
- TX キューカウンター
 - TX キューカウンターフォーマットを変更しました: xq_[tc]*[ring/channel].
- RDMA Sniffer
 - RDMAスニファー機能の問題を修正しました。
- IPoIB
 - IPoIB Connected Mode in ConnectX-3 機能の問題を修正しました。
 - IPoIB モード (接続済み/データグラム)を変更するために、インターフェイスが削除される (ifconfig ibX down または ifdown ibX経由)場合の問題を修正しました。現在、モードは インターフェイスの状態 ("up" または "down")にかかわらず変更できます。
- mlx4_en

- ホストサイドのPriority Flow Controlモード機能問題を防ぐためのCEEネットリンクコマンドを通して DCB PFC サポートを追加しました。
- SR-IOV
 - VF が ethtool ファシリティを使用した場合、dmesgへエラーメッセージが追加される問題を修正しました。
 - 物理リンクがダウンした場合にドロップするPF から 同じポートのVFへのトラフィックがケースした問題を修正しました。

修正についての詳細は、ドライバーのダウンロードに含まれる「リリースノート」ドキュメントを参照してください。

拡張

MLNX OFED v3.3-1.0.0.0は、以下の変更点および新機能を含みます:

For ConnectX-4/ConnectX-4 Lx :

- 以下のConnectX-4/ConnectX-4 Lx の機能/変更のサポートを追加しました :
 - **VF MAC Address Anti-Spoofing** : MAC spoof-check として知られる VF MAC Address Anti-Spoofing はMACアドレスのなりすましからの悪意のあるVFを防止します。
 - **VF オールマルチモード** : オールマルチRXモードを入力するためのVFのサポートを追加しました。VFをターゲットとするトラフィックに加え、同じ物理ポートのその他の機能間で送信される全てのマルチキャストトラフィックを受け取ります。

注 : 優先/信頼済み VFs のみが、オールマルチRX モードを入力できます。
 - **VF Promiscuous モード** : promiscuous RX モードを入力するためのVFのサポートを追加しました。これにより、VFをターゲットとするトラフィックに加え、物理ポートに届く不一致トラフィックおよび全てのマルチキャストトラフィックを受け取ります。不一致トラフィックは、VFまたはPFのMAC アドレスに一致しないトラフィックのDMACです。

注 : 優先/信頼済み VFs のみが、promiscuous RX モードを入力できます。
 - **優先 VF** : 優先/信頼済み VFのサポートを追加しました。これにより、セキュリティ機能が promiscuous およびオールマルチ RXモードを入力するなど、これらのVFを有効にできます。
 - **DCBX** : 標準 DCBX CEE APIのサポートを追加しました。
 - **プライオリティカウンターごと** : プライオリティごとのパフォーマンスカウンターを検出しました。
 - **IB エラーカウンター** : mlx5 ドライバー用のIB sysfs エラーカウンターを検出しました。
 - **Accelerated Receive Flow Steering (aRFS)** : ハードウェアサポートを追加することで、RFS の速度が高まります。RFS は、フローの所有者アプリケーションで使用されるCPUへのフローを付加することでCPU間のロードバランスの in-kernel-logic の責任です。
 - **Packet Pacing for UDP/TCP** : UDP/TCP 接続ごとの速度制限を実行します。

ConnectX-3/ConnectX-3 Pro/ConnectX-4/ConnectX-4 Lx :

- 以下の ConnectX-3/ConnectX-3 Pro/ConnectX-4/ConnectX-4 Lx の機能/変更のサポートを追加しました :
 - **MAD Congestion Control** : sysfs エントリを使用して構成する SA MAD 過密コントロールメカニズムを追加しました。
 - **Physical Memory Allocation** : ポスティング送信および受信リクエストで使用される物理メモリを管理できる Physical Address Memory Region (PA-MR) のサポートを追加しました。
 - **IB ルーター** : 2つまたはそれ以上のサブネット間でトラフィックを送信する機能を追加しました。
 - **PeerDirect Async** : Mellanox PeerDirect Async™ sub-system により、GPUカードなどのピアハードウェアデバイスを提供し、専用のASアクセラレーターにクリティカルパスオフロードCPU内のHCAでコントロールするための機能を提供します。
 - **物理 MR** : クリティカルパス内の仮想アドレスではなく、物理アドレスを使用できます。このように、アドレス変換をする必要がないのでパフォーマンスが向上します。
 - **OFED スクリプト** : mlx_perf スクリプトがパケットをカウントし、同じTraffic Class (TC)へ属するリングの帯域幅を計算する場合、「TC」へのmlx_perf レポート内で表示されるUP名を変更しました。

- **RoCE v1 (Layer 2) 準拠** : MLNX_OFED を実行するノードおよびLayer 2 GIDフォーマットのRoCEを実行するノード間で接続するオプションを追加しました。

新機能の詳細については、ソフトウェアにバンドルされているMLNX_OFEDユーザーマニュアルおよびリリースノートを参照してください。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされているホストチャネルアダプターファームウェアバージョン :

HCA	推奨ファームウェアリビジョン	サポートされる他のファームウェアリビジョン
Connect-IB®	10.14.2036	10.14.1100
ConnectX®-4 Lx	14.14.2036	14.14.1100
ConnectX®-4	12.14.2036	12.14.1100
ConnectX®-3 Pro	2.36.5000	2.35.5100
ConnectX®-3	2.36.5000	2.35.5100
ConnectX®-2	2.9.1000	2.9.1000

net-mlx4_enドライバーコンポーネント for VMware 5.5
バージョン: 2015.05.02 (**推奨**)
ファイル名: cp025935.zip

修正

初期バージョン

net-mstカーネルモジュールドライバーコンポーネント for VMware 5.5
バージョン: 2016.01.19 (**推奨**)
ファイル名: cp029081.zip

修正

Snap6用4.2.0.16の初期バージョン

拡張

MSTバージョン4.2.0.16

net-mstカーネルモジュールドライバーコンポーネント for VMware 6.0
バージョン: 2016.01.19 (**推奨**)
ファイル名: cp029082.zip

修正

Snap6用4.2.0.16の初期バージョン

拡張

MSTバージョン4.2.0.16

net-mlx4_enドライバーコンポーネント for VMware 6.0

バージョン: 2015.10.29 (推奨)

ファイル名: cp028535.zip

修正

3.2.0.7での修正 :

- マネジメントインターフェイスポートタイプフィールド (nmlx-_en_MgmtIFPortType)が誤った値を報告しました。

nmlx5_enドライバーコンポーネント for VMware 6.0

バージョン: 2015.11.04 (推奨)

ファイル名: cp028633.zip

修正

修正 :

- 64以上の CPU コア搭載のマシン上でドライバーをロードすることを妨げる問題を修正しました。

拡張

バージョン変更 :

- VXLAN ハードウェアオフロードは従来型のオフロードが、カプセル化されたトラフィックで実行するのを可能にします。
- Single Root IO Virtualization (SR-IOV) - 物理的なPCIeデバイスがPCIeバスを介してそれ自体を複数回提示することを可能にする技術。
 - 注 : SR-IOVは、現在、ESXi 6.0 のみのサポートです。
- ホストがネットワーク経由で診断情報を、ディスクに保存する、リモートネットダンプサービスに送信するのを有効にします。ネットワーク対応コアダンプコレクションは、ディスク対応コアダンプコレクションに加え、あるいは代わって、構成することができます。
- NetQueue は、10ギガビットイーサネット仮想化環境でパフォーマンスを大幅に改善する VMware ESX のパフォーマンステクノロジーです。
- ネットワーク管理者に、リモートからシステムの電源を入れる、またはスリープモードからシステムをウェイクアップすることを許可します。
- ネットワーク管理者に、新しい RX/TX リングバッファサイズの設定を許可します。

nmstカーネルモジュールドライバーコンポーネント for VMware 5.5

バージョン: 2016.02.22 (推奨)

ファイル名: cp029502.zip

修正

Snap6用4.3.0.25の初期バージョン

拡張

MSTバージョン4.3.0.25

Red Hat Enterprise Linux 6 アップデート8 i686のためのHPE QLogic NX2 Linux iSCSIオフロードIOデーモン

バージョン: 2.11.4.1-1 (オプション)

ファイル名: iscsiui0-2.11.4.1-1.rhel6u8.i686.rpm

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC382i Integrated Dual Port マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
- HP Flex-10 10Gb 2-port 530FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530FLR-SFP+アダプター
- HP Flex-10 10Gb 2-port 530Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530T ネットワークアダプター
- HP NC532m Dual Port 10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534Mアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630Mアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Port Converged Network Adapter

Red Hat Enterprise Linux 6 x86_64用HPE QLogic FastLinQ 25GbE ドライバー

バージョン: 8.10.12.0-1 (**オプション**)

ファイル名: kmod-qlgc-fastlinq-8.10.12.0-1.rhel6u7.x86_64.rpm; kmod-qlgc-fastlinq-8.10.12.0-1.rhel6u8.x86_64.rpm;
README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に HPE QLogic FastLinQ オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64、バージョン1.0.22以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 4x25Gb 1-port 620QSFP28 アダプター

Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64用HPE QLogic FastLinQ 25GbE ドライバー

バージョン: 8.10.12.0-1 (**オプション**)

ファイル名: kmod-qlgc-fastlinq-8.10.12.0-1.rhel7u2.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に HPE QLogic FastLinQ オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64、バージョン1.0.22以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

TBD

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 4x25Gb 1-port 620QSFP28 アダプター

SUSE Linux Enterprise Server 11 x86_64用HPE QLogic FastLinQ 25GbEドライバー

バージョン: 8.10.12.0-1 (オプション)

ファイル名: qlgc-fastlinq-kmp-default-8.10.12.0_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.rpm; qlgc-fastlinq-kmp-xen-8.10.12.0_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に HPE QLogic FastLinQ オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64、バージョン1.0.22以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

TBD

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 4x25Gb 1ポート 620QSFP28 アダプター

SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64用HPE QLogic FastLinQ 25GbEドライバー

バージョン: 8.10.12.0-1 (オプション)

ファイル名: qlgc-fastlinq-kmp-default-8.10.12.0_k3.12.28_4-1.sles12sp0.x86_64.rpm; qlgc-fastlinq-kmp-default-8.10.12.0_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm; qlgc-fastlinq-kmp-xen-8.10.12.0_k3.12.28_4-1.sles12sp0.x86_64.rpm; qlgc-fastlinq-kmp-xen-8.10.12.0_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に HPE QLogic FastLinQ オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64、バージョン1.0.22以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

TBD

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 4x25Gb 1ポート 620QSFP28 アダプター

VMware ESX 5.5 MSTドライバー オフラインバンドル for Mellanoxアダプター

バージョン: 4.3.0.29 (推奨)

ファイル名: MLNX-NET-MST-ESX-5.5.0-4.3.0.29.zip

修正

4.3.0.29の初期バージョン

VMware ESX 5.5 MSTドライバー オフラインバンドル for Mellanoxアダプター

バージョン: 4.3.0.29 (推奨)

ファイル名: MLNX-NMST-ESX-5.5.0-4.3.0.29.zip

修正

Snap6用4.3.0.29の初期バージョン

VMware ESX 6.0 MSTドライバー オフラインバンドル for Mellanoxアダプター

バージョン: 4.3.0.29 (推奨)

ファイル名: MLNX-NMST-ESX-6.0.0-4.3.0.29.zip

修正

VM60 nmst 4.3.0.29の初期バージョン

VMware vSphere 5.5のためのメラノックスConnect-X4 HCA ドライバーコンポーネント

バージョン: 2015.12.17 (推奨)

ファイル名: cp028964.zip

修正

修正 :

- 64以上の CPU コア搭載のマシン上でドライバーをロードすることを妨げる問題を修正しました。

拡張

バージョン変更 :

- VXLAN ハードウェアオフロードは従来型のオフロードが、カプセル化されたトラフィックで実行するのを可能にします。
- Single Root IO Virtualization (SR-IOV) - 物理的なPCIeデバイスがPCIeバスを介してそれ自体を複数回提示することを可能にする技術。
 - 注: SR-IOVは、現在、ESXi 6.0 のみのサポートです。
- ホストがネットワーク経由で診断情報を、ディスクに保存する、リモートネットダンプサービスに送信するのを有効にします。ネットワーク対応コアダンプコレクションは、ディスク対応コアダンプコレクションに加え、あるいは代わって、構成することができます。
- NetQueue は、10ギガビットイーサネット仮想化環境でパフォーマンスを大幅に改善する VMware ESX のパフォーマンステクノロジーです。
- ネットワーク管理者に、リモートからシステムの電源を入れる、またはスリープモードからシステムをウェイクアップすることを許可します。
- ネットワーク管理者に、新しい RX\TX リングバッファサイズの設定を許可します。

Windows Server x64 Editions 向け HPE Broadcom 1Gbドライバー

バージョン: 17.4.0.0 (B) (オプション)

ファイル名: cp030252.exe

重要な注意!

HPは、このドライバーでの使用に*HP Broadcom NX1*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.0.0.1以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品は、Windows Server 2016をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート 330i アダプター(182D)
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 330i アダプター(22BD)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 331FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 331i アダプター(3372)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 331i アダプター(22BE)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 331i-SPIアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 331Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 332iアダプター(2133)
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 332iアダプター(22E8)
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 332T ネットワークアダプター

ドライバー - ストレージ

先頭

Dynamic Smartアレイ B140iコントローラードライバー for Windows 2008 R2 x64 Editions

バージョン: 6.12.0.64 (推奨)

ファイル名: cp028632.exe

修正

Blue Screen of Death (BSOD) はMicrosoft Windows Server 2012 R2をHPE Dynamic SmartアレイB140i RAIDコントローラーやドライバーが要サポートと予期しているカウント値(典型的には128 CPU コアより多い)で構成されるシステムにインストールした後に表示されます。

拡張

不必要なメッセージをフィルターで取り除き、重要なデータのみを保持するために光学デバイスからのデバッグ出力を削減します。

Dynamic SmartアレイP741m B140iコントローラードライバーfor 64ビットMicrosoft Windows Server 2012/2016 Editions

バージョン: 62.12.0.64 (推奨)

ファイル名: cp028631.exe

拡張

不必要なメッセージをフィルターで取り除き、重要なデータのみを保持するために光学デバイスからのデバッグ出力を削減します。

Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

HP Dynamic Smartアレイ B120i/B320i SATA RAIDコントローラードライバー for Windows Server 2008

バージョン: 6.16.0.32 (推奨)

ファイル名: cp029891.exe

修正

ドライバーがサポートしていると予測した以上のCPU数のB140iシステム上にWindows Server 2012 R2をインストールした後のシステムBSODを修正しました。(一般的に、128 CPU (コア) 以上)

HP Dynamic Smartアレイ B120i/B320i SATA RAIDコントローラードライバー for Windows Server 2008 x64 Edition

バージョン: 6.16.0.64 (推奨)

ファイル名: cp029890.exe

修正

ドライバーがサポートしていると予測した以上のCPU数のB140iシステム上にWindows Server 2012 R2をインストールした後のシステムBSODを修正しました。(一般的に、128 CPU (コア) 以上)

HP Dynamic SmartアレイB120i/B320i SATA RAIDコントローラードライバー for 64-bit Microsoft Windows Server 2012/2016 Editions

バージョン: 62.16.0.64 (推奨)

ファイル名: cp029889.exe

修正

- HPE Dynamic Smart Array B320i / B120i RAIDコントローラーで"DF - Hypervisor Code Integrity Readiness Test"を実行しようとしたときにBlue Screen of Death (BSOD)が表示される問題
- B140iにWindows Server 2012 R2をインストールした後で、システムBSODが発生する問題

HP ProLiant Smartアレイ内蔵SATA RAIDコントローラードライバー for Microsoft Windows Server 2012およびMicrosoft Windows Server 2012 R2

バージョン: 6.18.4.64 (A) (オプション)

ファイル名: cp022401.exe

拡張

Microsoft Windows Server 2012 R2のサポートを追加しました。

HP ProLiant Smartアレイ内蔵SATA RAIDコントローラードライバー for Windows 2003/2008 x64 Edition

バージョン: 6.18.0.64 (B) (オプション)

ファイル名: cp020545.exe

重要な注意!

ターゲットコントローラーが正常にこのドライバーのバージョン6.18.0.64(A)にアップデートされた場合、バージョン6.18.0.64 (B) にアップデートする必要はありません。

拡張

Microsoft Windows Small Business Server 2011 StandardおよびEssentialsのサポートを追加しました。

HP ProLiant Smartアレイ内蔵SATA RAIDコントローラードライバー for Windows Server 2003/2008

バージョン: 6.18.0.32 (A) (オプション)

ファイル名: cp018782.exe

重要な注意!

ターゲットコントローラーが正常にバージョン6.18.0.32にアップデートされた場合、バージョン6.18.0.32 (A) にアップデートする必要はありません。

修正

- HP B110iは、サーバーがオフラインの間にドライブを交換した場合、再構築を再開しようとする問題を修正します。

- 再構築時間を向上させるために、ドライブの書き込みキャッシュが再構築時に有効と再構築が完了したときに無効になっていることを確認してください。

ドライバー - ストレージコントローラー

先頭

HP Dynamic Smartアレイ B120i/B320i SATA RAIDコントローラードライバー for SUSE LINUX Enterprise Server 11 (x86)

バージョン: 1.2.14-110 (推奨)

ファイル名: hpvsa-kmp-default-1.2.14-110.sles11sp1.i586.rpm; hpvsa-kmp-default-1.2.14-110.sles11sp2.i586.rpm; hpvsa-kmp-default-1.2.14-110.sles11sp3.i586.rpm; hpvsa-kmp-default-1.2.14-110.sles11sp4.i586.rpm; hpvsa-kmp-pae-1.2.14-110.sles11sp1.i586.rpm; hpvsa-kmp-pae-1.2.14-110.sles11sp2.i586.rpm; hpvsa-kmp-pae-1.2.14-110.sles11sp3.i586.rpm; hpvsa-kmp-pae-1.2.14-110.sles11sp4.i586.rpm; hpvsa-kmp-xen-1.2.14-110.sles11sp1.i586.rpm; hpvsa-kmp-xen-1.2.14-110.sles11sp4.i586.rpm

修正

以下の問題が解決されました :

- 断続的なブルー画面0x133 (DPS_WATCHDOG_VIOLATION) エラーが表示されてシステムの応答が止まります。このエラーは、ライトキャッシュが有効のコントローラーで、特定のIOパターンによって発生するまれなレース状態から起こります。
- システムの再スタートでOSパニックとなり得るドライバーのレース状態を防止するために、ピンが有効のCPUによるPARSEとFLUSHタスクが、同じCPUにピンされます。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル :

このバイナリrpmでサポートされるSUSE Linux Enterprise Server 11 (x86) カーネルは、次の通りです。

2.6.32.12-0.7 - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 1 (x86)および将来のSP1用のerrataカーネル。

3.0.13-0.27.1 - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 2 (x86)および将来のSP2用のerrataカーネル。

3.0.76-0.11.1 - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 3 (x86)および将来のSP3用のerrataカーネル。

3.0.101-63-default - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 4 (x86)および将来のSP4用のerrataカーネル。

HP Dynamic Smartアレイ B120i/B320i SATA RAIDコントローラードライバー for SUSE LINUX Enterprise Server 12 (AMD64/EM64T)

バージョン: 1.2.14 (B) (推奨)

ファイル名: hpvsa-kmp-default-1.2.14-112.sles12sp0.x86_64.rpm

修正

SLES12上のファームウェアフラッシュ問題を修正するSPPブート環境のためのhpsaドライバーをアップデートしました。

HP Dynamic Smartアレイ B120i/B320i SATA RAIDコントローラードライバー for SUSE LINUX Enterprise Server 12 (AMD64/EM64T)

バージョン: 1.2.14-113 (推奨)

ファイル名: hpvsa-kmp-default-1.2.14-113.sles12sp0.x86_64.rpm; hpvsa-kmp-default-1.2.14-113.sles12sp1.x86_64.rpm; hpvsa-kmp-xen-1.2.14-113.sles12sp0.x86_64.rpm; hpvsa-kmp-xen-1.2.14-113.sles12sp1.x86_64.rpm

修正

以下の問題が解決されました :

- 断続的なブルー画面0x133 (DPS_WATCHDOG_VIOLATION) エラーが表示されてシステムの応答が止まります。このエラーは、ライトキャッシュが有効のコントローラーで、特定のIOパターンによって発生するまれ

なレース状態から起こります。

- システムの再起動でOSパニックとなり得るドライバーのレース状態を防止するために、ピンが有効のCPUによるPARSEとFLUSHタスクが、同じCPUにピンされます。

拡張

SUSE Linux Enterprise Server 12 SP1サポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル：

このバイナリrpmでサポートされるSUSE Linux Enterprise Server 12 (AMD64/EM64T) カーネルは、次の通りです。

3.12.28-4 - SUSE LINUX Enterprise Server 12 (AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

3.12.49-11.1- SUSE LINUX Enterprise Server 12 (AMD64/EM64T) SP1さらに将来のerrata。

HP Dynamic Smartアレイ B120i/B320iコントローラードライバー for VMware vSphere 5.5 (ドライバーコンポーネント)

バージョン: 2015.10.02 (A) (**推奨**)

ファイル名: cp030973.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPアプリケーションによって使用されることを意図します。vmware.comおよびHP vibsdepot.hp.com Webページに加え、HP特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

修正

- HP Dynamic SmartアレイB120i/B320iコントローラードライバーfor VMware vSphere 5.5 (ドライバーコンポーネント) バージョン 2015.10.01に関する次の問題点が解決しました。
 - HDD論理ボリューム検出を修正しました

注：もし、コントローラが以前ドライバーコンポーネントバージョン 2015.10.01でアップデートされた場合には、HP Dynamic SmartアレイB120i/B320iコントローラードライバーfor VMware vSphere 5.5 (ドライバーコンポーネント) バージョン2015.10.02(A)についてコントローラードライバーを更新する必要はありません。ドライバーコンポーネントバージョン 2015.10.02(A) はバージョン 5.5.0.100-1と同じドライバーバージョンをドライバーコンポーネントバージョン 2015.10.01としてインストールします。

HP Dynamic Smartアレイ B120i/B320iコントローラードライバー for VMware vSphere 6.0 (ドライバーコンポーネント)

バージョン: 2015.10.02 (A) (**推奨**)

ファイル名: cp030974.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPアプリケーションによって使用されることを意図します。vmware.comおよびHP vibsdepot.hp.com Webページに加え、HP特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

修正

- HP Dynamic SmartアレイB120i/B320iコントローラードライバーfor VMware vSphere 6.0 (ドライバーコンポーネント) バージョン 2015.10.01に関する次の問題点が解決しました。

- HDD論理ボリューム検出を修正しました

注：もし、コントローラが以前ドライバーコンポーネントバージョン 2015.10.01でアップデートされた場合には、HP Dynamic SmartアレイB120i/B320iコントローラードライバーfor VMware vSphere 6.0（ドライバーコンポーネント）バージョン2015.10.02(A)についてコントローラードライバーを更新する必要はありません。ドライバーコンポーネントバージョン 2015.10.02(A) はバージョン 5.5.0.100-1と同じドライバーバージョンをドライバーコンポーネントバージョン 2015.10.01としてインストールします。

HP Dynamic Smartアレイ B140i コントローラードライバー for VMware vSphere 5.5 (ドライバーコンポーネント)
バージョン: 2016.04.18 (推奨)
ファイル名: cp028913.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPアプリケーションによって使用されることを意図します。vmware.comおよびHP vibsdepot.hp.com Webページから利用可能なドライバーに加えHP特有のCPXXXX.xmlファイルを含むzipです。

修正

ドライバのバージョンは、HPSSAの期待する動作と正しいバージョンの表示を可能にするためにHPSSAへ報告する方法を変更します。

拡張

不必要なメッセージをフィルターで取り除き、重要なデータのみを保持するために光学デバイスからのデバッグ出力を削減します。

注：VMware ドライバー コンポーネントのバージョン 2016.04.18 には、HPDSA ドライバーのバージョン 5.5.0.52-1が含まれています

HP Dynamic Smartアレイ B140i コントローラードライバー for VMware vSphere 6.0 (ドライバーコンポーネント)
バージョン: 2016.04.18 (推奨)
ファイル名: cp028914.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPアプリケーションによって使用されることを意図します。vmware.comおよびHP vibsdepot.hp.com Webページから利用可能なドライバーに加えHP特有のCPXXXX.xmlファイルを含むzipです。

修正

ドライバのバージョンは、HPSSAの期待する動作と正しいバージョンの表示を可能にするためにHPSSAへ報告する方法を変更します。

拡張

不必要なメッセージをフィルターで取り除き、重要なデータのみを保持するために光学デバイスからのデバッグ出力を削減します。

注：VMware ドライバー コンポーネントのバージョン 2016.04.18 には、HPDSA ドライバーのバージョン 5.5.0.52-1が含まれています

HP Dynamic Smartアレイ B140i SATA RAIDコントローラードライバー for SUSE LINUX Enterprise Server 12 (AMD64/EM64T)
バージョン: 1.2.10-110 (推奨)

ファイル名: hpdsa-kmp-default-1.2.10-110.sles12sp0.x86_64.rpm; hpdsa-kmp-default-1.2.10-110.sles12sp1.x86_64.rpm;
hpdsa-kmp-xen-1.2.10-110.sles12sp0.x86_64.rpm; hpdsa-kmp-xen-1.2.10-110.sles12sp1.x86_64.rpm

拡張

不要なメッセージをフィルターで取り除き、重要なデータのみを保持するために光学デバイスからのデバッグ出力を削減します。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE Linux Enterprise Server 12 (AMD64/EM64T) カーネルは、次の通りです。

3.12.28-4 - SUSE LINUX Enterprise Server 12 (AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

3.12.49-11.1 - SUSE LINUX Enterprise Server 12 (AMD64/EM64T)SP1さらに将来のerrata。

HP Dynamic Smartアレイコントローラードライバー for VMware vSphere 5.5 (バンドルファイル)

バージョン: 5.5.0.98-1.B **(推奨)**

ファイル名: hpvsa-5.5.0.100-1.zip

修正

ESXiが、B320iコントローラーにインストールすることができなかった問題を修正しました。

HP Dynamic Smartアレイコントローラードライバー for VMware vSphere 5.5 (バンドルファイル)

バージョン: 5.5.0.52-1 **(推奨)**

ファイル名: hpdsa.zip

修正

ドライバのバージョンは、HPSSAの期待する動作と正しいバージョンの表示を可能にするためにHPSSAへ報告する方法を変更します。

拡張

不要なメッセージをフィルターで取り除き、重要なデータのみを保持するために光学デバイスからのデバッグ出力を削減します。

HP Dynamic Smartアレイコントローラードライバー for VMware vSphere 6.0 (バンドルファイル)

バージョン: 6.0.0.98-1.B **(推奨)**

ファイル名: hpvsa-5.5.0.100-1.zip

修正

ESXiが、B320iコントローラーにインストールすることができなかった問題を修正しました。

HP Dynamic Smartアレイコントローラードライバー for VMware vSphere 6.0 (バンドルファイル)

バージョン: 5.5.0.52-1 **(推奨)**

ファイル名: hpdsa.zip

修正

ドライバのバージョンは、HPSSAの期待する動作と正しいバージョンの表示を可能にするためにHPSSAへ報告する方法を変更します。

拡張

不必要なメッセージをフィルターで取り除き、重要なデータのみを保持するために光学デバイスからのデバッグ出力を削減します。

HP H2xx SAS/SATA ホストバスアダプター for Microsoft Windows Server 2008 R2 Edition

バージョン: 2.68.64.0 (オプション)

ファイル名: cp021871.exe

拡張

すべてLSI_sas2 Windowsドライバー全体でバージョン管理のために更新しました。

HP H2xx SAS/SATA ホストバスアダプター for Microsoft Windows Server 2008 x64 Edition

バージョン: 2.68.64.0 (オプション)

ファイル名: cp021868.exe

拡張

すべてLSI_sas2 Windowsドライバー全体でバージョン管理のために更新しました。

HP H2xx SAS/SATA ホストバスアダプター for Microsoft Windows Server 2008 x86 Edition

バージョン: 2.68.64.0 (オプション)

ファイル名: cp021866.exe

拡張

すべてLSI_sas2 Windowsドライバー全体でバージョン管理のために更新しました。

HP H2xx SAS/SATA ホストバスアダプター for Microsoft Windows Server 2012 R2 x64 Edition

バージョン: 2.68.64.1 (オプション)

ファイル名: cp023630.exe

拡張

- ビルドスクリプトにWindows8.1およびWindows Server 2012 R2のサポートを追加しました。
- 新しいWindowsイベントログのビルドサポートを追加しました。
- ビルド中のデフォルトドライバービルドパラメーターファイルの自動選択のサポートを追加しました。

HP H2xx SAS/SATA ホストバスアダプター for Microsoft Windows Server 2012 x64 Edition

バージョン: 2.68.64.0 (オプション)

ファイル名: cp021873.exe

拡張

すべてLSI_sas2 Windowsドライバー全体でバージョン管理のために更新しました。

HP H2xx SAS/SATAホストバスアダプター (AMD64/EM64T) ドライバー for vSphere 5.5
バージョン: 15.10.06.00.01 (**推奨**)
ファイル名: mpt2sas-15.10.06.00.1vmw-1403633.zip

拡張

自動展開で使用を示すためにstateless-readyフラグを追加しました。

HP H2xx SAS/SATAホストバスアダプター (AMD64/EM64T) ドライバー for vSphere 6.0
バージョン: 15.10.06.00.01 (**オプション**)
ファイル名: mpt2sas-15.10.06.00-5.5-2952686.zip

拡張

VMware ESXi 6.0 Update 1のサポートを追加しました。

HP H2xx SAS/SATAホストバスアダプター (AMD64/EM64T) ドライバー for vSphere 5.5 (ドライバーコンポーネント)
バージョン: 2014.09.10 (A) (**推奨**)
ファイル名: cp024508.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPアプリケーションによって使用されることを意図します。vmware.comおよびHP vibspot.hp.com Webページに加え、HP特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

修正

2014.09.10(A)は、ドライバーがバージョン2014.09.10へアップデートされることを妨げるインストール問題を解決しました。この問題が発生した場合、HP Smart Update Managerは、HP Smart Update Managerのコンポーネント詳細ページの利用可能バージョン列にバージョン値を表示せず、ドライバーを更新できませんでした

HP H2xx SAS/SATAホストバスアダプター (AMD64/EM64T) ドライバー for vSphere 6.0 (ドライバーコンポーネント)
バージョン: 2016.03.21 (**オプション**)
ファイル名: cp027495.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPアプリケーションによって使用されることを意図します。vmware.comおよびHP vibspot.hp.com Webページに加え、HP特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

拡張

VMware ESXi 6.0 Update 1のサポートを追加しました。

HP H2xx SAS/SATAホストバスアダプタードライバー for Red Hat Enterprise Linux 6 (AMD64/EM64T)
バージョン: 15.10.04.00-10 (**推奨**)
ファイル名: kmod-mpt2sas-15.10.02.00-8.rhel6u0.x86_64.rpm; kmod-mpt2sas-15.10.02.00-8.rhel6u1.x86_64.rpm; kmod-mpt2sas-15.10.02.00-8.rhel6u2.x86_64.rpm; kmod-mpt2sas-15.10.02.00-8.rhel6u3.x86_64.rpm; kmod-mpt2sas-15.10.02.00-

8.rhel6u4.x86_64.rpm; kmod-mpt2sas-15.10.02.00-8.rhel6u5.x86_64.rpm; kmod-mpt2sas-15.10.04.00-10.rhel6u8.x86_64.rpm; kmod-mpt2sas-15.10.04.00-3.rhel6u6.x86_64.rpm; kmod-mpt2sas-15.10.04.00-6.rhel6u7.x86_64.rpm

拡張

Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8のサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル：

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 (AMD64/EM64T) カーネルは、次のとおりです。

- 2.6.32-131.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 1 (AMD64/EM64T) および将来のUpdate 1用のerrataカーネル。
- 2.6.32-220.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 2 (AMD64/EM64T) および将来のUpdate 2用のerrataカーネル。
- 2.6.32-279.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 3 (AMD64/EM64T) および将来のUpdate 3用のerrataカーネル。
- 2.6.32-358.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 4 (AMD64/EM64T) および将来のUpdate 4用のerrataカーネル。
- 2.6.32-431.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 5 (AMD64/EM64T) および将来のUpdate 5用のerrataカーネル。
- 2.6.32-504.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 6 (AMD64/EM64T) および将来のUpdate 6用のerrataカーネル。
- 2.6.32-573.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 7(AMD64/EM64T) および将来のUpdate 7用のerrataカーネル。
- 2.6.32-642.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8(AMD64/EM64T) および将来のUpdate 8用のerrataカーネル。

HP H2xx SAS/SATAホストバスアダプタードライバー for Red Hat Enterprise Linux 6 (x86)

バージョン: 15.10.04.00-10 (**推奨**)

ファイル名: kmod-mpt2sas-15.10.02.00-7.rhel6u0.i686.rpm; kmod-mpt2sas-15.10.02.00-8.rhel6u1.i686.rpm; kmod-mpt2sas-15.10.02.00-8.rhel6u2.i686.rpm; kmod-mpt2sas-15.10.02.00-8.rhel6u3.i686.rpm; kmod-mpt2sas-15.10.02.00-8.rhel6u4.i686.rpm; kmod-mpt2sas-15.10.02.00-8.rhel6u5.i686.rpm; kmod-mpt2sas-15.10.04.00-10.rhel6u8.i686.rpm; kmod-mpt2sas-15.10.04.00-3.rhel6u6.i686.rpm; kmod-mpt2sas-15.10.04.00-6.rhel6u7.i686.rpm

拡張

Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8のサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル：

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 6 (x86) カーネルは、次の通りです。

- 2.6.32-131.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 1(x86) および将来のUpdate 1用のerrataカーネル。
- 2.6.32-220.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 2(x86) および将来のUpdate 2用のerrataカーネル。
- 2.6.32-279.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 3(x86) および将来のUpdate 3用のerrataカーネル。
- 2.6.32-358.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 4(x86) および将来のUpdate 4用のerrataカーネル。
- 2.6.32-431.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 5(x86) および将来のUpdate 5用のerrataカーネル。
- 2.6.32-504.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 6(x86) および将来のUpdate 6用のerrataカーネル。
- 2.6.32-573.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 7(x86) および将来のUpdate 7用のerrataカーネル。
- 2.6.32-642.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8(x86) および将来のUpdate 8用のerrataカーネル。

HP H2xx SAS/SATAホストバスアダプタードライバー for SUSE LINUX Enterprise Server 11 (AMD64/EM64T)

バージョン: 15.10.04.00-5 (A) (**推奨**)

ファイル名: lsi-mpt2sas-kmp-default-15.10.02.00-6.sles11sp1.x86_64.rpm; lsi-mpt2sas-kmp-default-15.10.02.00-6.sles11sp2.x86_64.rpm; lsi-mpt2sas-kmp-default-15.10.02.00-6.sles11sp3.x86_64.rpm; lsi-mpt2sas-kmp-default-15.10.04.00-5.sles11sp4.x86_64.rpm; lsi-mpt2sas-kmp-xen-15.10.02.00-6.sles11sp1.x86_64.rpm; lsi-mpt2sas-kmp-xen-15.10.02.00-6.sles11sp2.x86_64.rpm; lsi-mpt2sas-kmp-xen-15.10.02.00-6.sles11sp3.x86_64.rpm; lsi-mpt2sas-kmp-xen-15.10.04.00-5.sles11sp4.x86_64.rpm

拡張

HPE デジタル署名を RPM パッケージに追加し、カーネルオブジェクトを含めました。機能変更はドライバーに行われませんでした。

ドライバーバージョン 15.10.04.00-5 がターゲットシステムにインストールされている場合、ドライバーバージョン 15.10.04.00-5(A)へアップデートする必要はありません。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル：

このドライバーディスクでサポートされるSUSE Linux Enterprise 11 (AMD64/EM64T) カーネルは、次の通りです。

- 2.6.32.12-0.7 - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 1 (AMD64/EM64T)さらに将来のerrata。
- 3.0.13-0.27.1- SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 2 (AMD64/EM64T)さらに将来のerrata。
- 3.0.76-0.11.1 - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 3 (AMD64/EM64T)さらに将来のerrata。
- 3.0.101-63-default - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 4 (AMD64/EM64T)さらに将来のerrata。

HP H2xx SAS/SATAホストバスアダプタードライバー for SUSE LINUX Enterprise Server 11 (x86)

バージョン: 15.10.04.00-5 (A) **(推奨)**

ファイル名: lsi-mpt2sas-kmp-default-15.10.02.00-6.sles11sp1.i586.rpm; lsi-mpt2sas-kmp-default-15.10.02.00-6.sles11sp2.i586.rpm; lsi-mpt2sas-kmp-default-15.10.02.00-6.sles11sp3.i686.rpm; lsi-mpt2sas-kmp-default-15.10.04.00-5.sles11sp4.i686.rpm; lsi-mpt2sas-kmp-pae-15.10.02.00-6.sles11sp1.i586.rpm; lsi-mpt2sas-kmp-pae-15.10.02.00-6.sles11sp2.i586.rpm; lsi-mpt2sas-kmp-pae-15.10.02.00-6.sles11sp3.i686.rpm; lsi-mpt2sas-kmp-pae-15.10.04.00-5.sles11sp4.i686.rpm; lsi-mpt2sas-kmp-xen-15.10.02.00-6.sles11sp1.i586.rpm; lsi-mpt2sas-kmp-xen-15.10.02.00-6.sles11sp2.i586.rpm; lsi-mpt2sas-kmp-xen-15.10.02.00-6.sles11sp3.i686.rpm; lsi-mpt2sas-kmp-xen-15.10.04.00-5.sles11sp4.i686.rpm

拡張

HPE デジタル署名を RPM パッケージに追加し、カーネルオブジェクトを含めました。機能変更はドライバーに行われませんでした。

ドライバーバージョン 15.10.04.00-5 がターゲットシステムにインストールされている場合、ドライバーバージョン 15.10.04.00-6(A)へアップデートする必要はありません。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル：

このドライバーディスクでサポートされるSUSE Linux Enterprise 11 (x86) カーネルは、次の通りです。

- 2.6.32.12-0.7 - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 1 (x86)さらに将来の不具合。
- 3.0.13-0.27.1 - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 2 (x86) さらに将来のerrata。
- 3.0.76-0.11.1 - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 3 (x86)さらに将来のerrata。
- 3.0.101-63-default - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 4 (x86)および将来のSP4用のerrataカーネル。

HP H2xx SAS/SATAホストバスアダプタードライバー for SUSE LINUX Enterprise Server 12 (AMD64/EM64T)

バージョン: 15.10.04.00-7 (A) **(推奨)**

ファイル名: lsi-mpt2sas-kmp-default-15.10.04.00-3.sles12sp0.x86_64.rpm; lsi-mpt2sas-kmp-default-15.10.04.00-7.sles12sp1.x86_64.rpm; lsi-mpt2sas-kmp-xen-15.10.04.00-3.sles12sp0.x86_64.rpm; lsi-mpt2sas-kmp-xen-15.10.04.00-7.sles12sp1.x86_64.rpm

拡張

HPE デジタル署名を RPM パッケージに追加し、カーネルオブジェクトを含めました。その他の機能変更はドライバーに行われていません。

ドライバーバージョン 15.10.04.00-7 がターゲットシステムにインストールされている場合、ドライバーバージョン 15.10.04.00-7(A)へアップデートする必要はありません。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル：

このバイナリrpmでサポートされるSUSE Linux Enterprise Server 12 (AMD64/EM64T) カーネルは、次の通りです。

3.12.28-4 - SUSE LINUX Enterprise Server 12 (AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

3.12.49-11.1- SUSE LINUX Enterprise Server 12 (AMD64/EM64T) SP1さらに将来のerrata。

HP H2xx SAS/SATAホストバスアダプタードライバーfor 64-bit Microsoft Windows Server 2016 Edition

バージョン: 2.68.64.2 (オプション)

ファイル名: cp029941.exe

拡張

以下のサポートを追加しました。

- Microsoft Windows Server 2016 - Server Core および Server with a Desktop.

HP ProLiant Smartアレイ コントローラ (AMD64/EM64T) ドライバ for SUSE Linux Enterprise Server 11 (AMD64/EM64T)

バージョン: 4.6.28-24 (A) (推奨)

ファイル名: cciss-kmp-default-4.6.28-24.sles11sp1.x86_64.rpm; cciss-kmp-default-4.6.28-24.sles11sp2.x86_64.rpm; cciss-kmp-default-4.6.28-24.sles11sp3.x86_64.rpm; cciss-kmp-xen-4.6.28-24.sles11sp1.x86_64.rpm; cciss-kmp-xen-4.6.28-24.sles11sp2.x86_64.rpm; cciss-kmp-xen-4.6.28-24.sles11sp3.x86_64.rpm

拡張

RPMは署名されました。 その他の変更はドライバーに行われていません。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル：

このバイナリrpmでサポートされるSUSE Linux Enterprise Server 11 (AMD64/EM64T) カーネルは、次の通りです。

2.6.32.12-0.7 - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 1 (AMD64/EM64T)および将来のSP1用のerrataカーネル。

3.0.13-0.27.1 - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 2 (AMD64/EM64T)および将来のSP2用のerrataカーネル。

3.0.76-0.11.1 - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 3 (AMD64/EM64T)および将来のSP3用のerrataカーネル。

HP ProLiant Smartアレイ コントローラ (x86/AMD32) ドライバ for SUSE Linux Enterprise Server 11 (x86)

バージョン: 4.6.28-24 (A) (推奨)

ファイル名: cciss-kmp-default-4.6.28-24.sles11sp1.i586.rpm; cciss-kmp-default-4.6.28-24.sles11sp2.i586.rpm; cciss-kmp-default-4.6.28-24.sles11sp3.i586.rpm; cciss-kmp-pae-4.6.28-24.sles11sp1.i586.rpm; cciss-kmp-pae-4.6.28-24.sles11sp2.i586.rpm; cciss-kmp-pae-4.6.28-24.sles11sp3.i586.rpm; cciss-kmp-xen-4.6.28-24.sles11sp1.i586.rpm

拡張

RPMは署名されました。 その他の変更はドライバーに行われていません。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル：

このバイナリrpmでサポートされるSUSE Linux Enterprise Server 11 (x86) カーネルは、次の通りです。

2.6.32.12-0.7 - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 1 (x86)および将来のSP1用のerrataカーネル。

- 3.0.13-0.27.1 - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 2 (x86)および将来のSP2用のerrataカーネル。
- 3.0.76-0.11.1 - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 3 (x86)および将来のSP3用のerrataカーネル。

HP ProLiant Smartアレイコントローラー (AMD64/EM64T) ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 (AMD64/EM64T)

バージョン: 3.4.16-145 (**推奨**)

ファイル名: hpsa-kmp-default-3.4.16-145.sles12sp0.x86_64.rpm; hpsa-kmp-default-3.4.16-145.sles12sp1.x86_64.rpm; hpsa-kmp-xen-3.4.16-145.sles12sp0.x86_64.rpm; hpsa-kmp-xen-3.4.16-145.sles12sp1.x86_64.rpm

拡張

コントローラーのロックアップが起こった時は、NMIを生成してロックアップの原因をより良く認識できるようにAHSログにより多くの診断情報を持つようにします。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE Linux Enterprise Server 12 (AMD64/EM64T) カーネルは、次の通りです。

3.12.28-4 - SUSE LINUX Enterprise Server 12 (AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

3.12.49-11.1 - SUSE LINUX Enterprise Server 12 (AMD64/EM64T)さらに将来のerrata。

HP ProLiant SmartアレイSAS/SATAコントローラー ドライバー for Windows Server 2008

バージョン: 6.28.0.32 (**オプション**)

ファイル名: cp020622.exe

拡張

マイナーなパフォーマンスの強化。

HP ProLiant SmartアレイSAS/SATAコントローラー ドライバー for Windows Server 2008 x64 Edition

バージョン: 6.28.0.64 (C) (**オプション**)

ファイル名: cp028066.exe

拡張

HP ProLiant WS460c Gen8グラフィックスサーバーブレードのサポートを追加しました。

HP ProLiant SmartアレイSAS/SATAコントローラー ドライバー for Windows Server 2012 x64 Edition

バージョン: 62.28.0.64 (C) (**推奨**)

ファイル名: cp028045.exe

拡張

HPE ProLiant WS460c Gen9 Graphics Server Bladeのサポートを追加しました。

HP ProLiant内蔵SATAコントローラー ドライバー for Windows Server 2008 x64 Edition

バージョン: 1.1.10273.1 (B) (**オプション**)

ファイル名: cp024595.exe

重要な注意!

ターゲットシステムが以前にバージョン1.1.10273.1にアップデートされている場合、バージョン1.1.10273.1 (B)にアップデートする必要はありません。

拡張

コンポーネントのパッケージがアップデートされました。製品の機能には影響ありません。

HP ProLiant内蔵SATAコントローラー ドライバー for Windows Server 2008 x86 Edition

バージョン: 1.1.10273.1 (B) (**オプション**)

ファイル名: cp024592.exe

重要な注意!

ターゲットシステムが以前にバージョン1.1.10273.1にアップデートされている場合、バージョン1.1.10273.1 (B)にアップデートする必要はありません。

拡張

コンポーネントのパッケージがアップデートされました。製品の機能には影響ありません。

HP ProLiant内蔵SATAコントローラードライバー for Microsoft Windows Server 2008 R2

バージョン: 1.1.10273.1 (D) (**オプション**)

ファイル名: cp024596.exe

重要な注意!

ターゲットシステムが以前にバージョン1.1.10273.1にアップデートされている場合、バージョン1.1.10273.1 (D)にアップデートする必要はありません。

拡張

コンポーネントのパッケージがアップデートされました。製品の機能には影響ありません。

HP SmartアレイB110i SATA RAIDコントローラ ドライバ for SUSE LINUX Enterprise Server 11 (AMD64/EM64T)

バージョン: 1.2.6-17 (A) (**推奨**)

ファイル名: hpahcisr-kmp-default-1.2.6-17.sles11sp1.x86_64.rpm; hpahcisr-kmp-default-1.2.6-17.sles11sp2.x86_64.rpm; hpahcisr-kmp-default-1.2.6-17.sles11sp3.x86_64.rpm

拡張

RPMは署名されました。その他の変更はドライバーに行われていません。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE Linux Enterprise Server 11 (AMD64/EM64T) カーネルは、次の通りです。

2.6.32.12-0.7 - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 1 (AMD64/EM64T)および将来のSP1用のerrataカーネル。

3.0.13-0.27.1 - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 2 (AMD64/EM64T)および将来のSP2用のerrataカーネル。

3.0.76-0.11.1 - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 3 (AMD64/EM64T)および将来のSP3用のerrataカーネル。

HP SmartアレイB110i SATA RAIDコントローラ ドライバ for SUSE LINUX Enterprise Server 11 (x86)

バージョン: 1.2.6-17 (A) (推奨)

ファイル名: hpahcisr-kmp-default-1.2.6-17.sles11sp1.i586.rpm; hpahcisr-kmp-default-1.2.6-17.sles11sp2.i586.rpm; hpahcisr-kmp-default-1.2.6-17.sles11sp3.i586.rpm; hpahcisr-kmp-pae-1.2.6-17.sles11sp1.i586.rpm; hpahcisr-kmp-pae-1.2.6-17.sles11sp2.i586.rpm; hpahcisr-kmp-pae-1.2.6-17.sles11sp3.i586.rpm

拡張

RPMは署名されました。 その他の変更はドライバーに行われていません。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE Linux Enterprise Server 11 (x86) カーネルは、次の通りです。

2.6.32.12-0.7 - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 1 (x86)および将来のSP1用のerrataカーネル。

3.0.13-0.27.1 - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 2 (x86)および将来のSP2用のerrataカーネル。

3.0.76-0.11.1 - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 3 (x86)および将来のSP3用のerrataカーネル。

HP SmartアレイB110i SATA RAIDコントローラ ドライバ for Red Hat Enterprise Linux 6 (AMD64/EM64T)

バージョン: 1.2.6-18 (A) (推奨)

ファイル名: kmod-hpahcisr-1.2.6-18.rhel6u1.x86_64.rpm; kmod-hpahcisr-1.2.6-18.rhel6u2.x86_64.rpm; kmod-hpahcisr-1.2.6-18.rhel6u3.x86_64.rpm; kmod-hpahcisr-1.2.6-18.rhel6u4.x86_64.rpm; kmod-hpahcisr-1.2.6-18.rhel6u5.x86_64.rpm; kmod-hpahcisr-1.2.6-18.rhel6u6.x86_64.rpm

拡張

RPMは署名されました。 その他の変更はドライバーに行われていません。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 6 (AMD64/EM64T) カーネルは、次のとおりです。

2.6.32-131.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 1 (AMD64/EM64T) さらに将来のUpdate 1用のerrataカーネル。

2.6.32-220.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 2 (AMD64/EM64T) さらに将来のUpdate 2用のerrataカーネル。

2.6.32-279.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 3 (AMD64/EM64T) さらに将来のUpdate 3用のerrataカーネル。

2.6.32-358.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 4 (AMD64/EM64T) さらに将来のUpdate 4用のerrataカーネル。

2.6.32-431.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 5 (AMD64/EM64T) さらに将来のUpdate 5用のerrataカーネル。

2.6.32-504.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 6 (AMD64/EM64T) さらに将来のUpdate 6用のerrataカーネル。

HP SmartアレイB110i SATA RAIDコントローラ ドライバ for Red Hat Enterprise Linux 6 (x86)

バージョン: 1.2.6-18 (A) (推奨)

ファイル名: kmod-hpahcisr-1.2.6-18.rhel6u1.i686.rpm; kmod-hpahcisr-1.2.6-18.rhel6u2.i686.rpm; kmod-hpahcisr-1.2.6-18.rhel6u3.i686.rpm; kmod-hpahcisr-1.2.6-18.rhel6u4.i686.rpm; kmod-hpahcisr-1.2.6-18.rhel6u5.i686.rpm; kmod-hpahcisr-1.2.6-18.rhel6u6.i686.rpm

拡張

RPMは署名されました。 その他の変更はドライバーに行われていません。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 6 (x86) カーネルは、次の通りです。

2.6.32-131.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 1 (x86) さらに将来のUpdate 1用のerrataカーネル。

2.6.32-220.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 2 (x86) さらに将来のUpdate 2用のerrataカーネル。

2.6.32-279.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 3 (x86) さらに将来のUpdate 3用のerrataカーネル。

2.6.32-358.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 4 (x86) さらに将来のUpdate 4用のerrataカーネル。

- 2.6.32-431.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 5 (x86) さらに将来のUpdate 5用のerrataカーネル。
- 2.6.32-504.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 6 (x86) さらに将来のUpdate 6用のerrataカーネル。

HPE Dynamic Smartアレイ B120i/B320i SATA RAIDコントローラードライバーfor Red Hat Enterprise Linux 6 (AMD64/EM64T)

バージョン: 1.2.16-111 (推奨)

ファイル名: kmod-hpvsa-1.2.16-111.rhel6u1.x86_64.rpm; kmod-hpvsa-1.2.16-111.rhel6u2.x86_64.rpm; kmod-hpvsa-1.2.16-111.rhel6u3.x86_64.rpm; kmod-hpvsa-1.2.16-111.rhel6u4.x86_64.rpm; kmod-hpvsa-1.2.16-111.rhel6u5.x86_64.rpm; kmod-hpvsa-1.2.16-111.rhel6u6.x86_64.rpm; kmod-hpvsa-1.2.16-111.rhel6u7.x86_64.rpm; kmod-hpvsa-1.2.16-111.rhel6u8.x86_64.rpm; kmod-hpvsa-1.2.16-111.rhel6u9.x86_64.rpm

拡張

- パフォーマンスレベルを改善しました。
- Red Hat Enterprise Linux 6 Update 9のサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このドライバディスクレットでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 6 (AMD64/EM64T) カーネルは、次の通りです。

- 2.6.32-131.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 1 (AMD64/EM64T) および将来のUpdate 1用のerrataカーネル。
- 2.6.32-220.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 2 (AMD64/EM64T) および将来のUpdate 2用のerrataカーネル。
- 2.6.32-279.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 3 (AMD64/EM64T) および将来のUpdate 3用のerrataカーネル。
- 2.6.32-358.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 4 (AMD64/EM64T) および将来のUpdate 4用のerrataカーネル。
- 2.6.32-431.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 5 (AMD64/EM64T) および将来のUpdate 5用のerrataカーネル。
- 2.6.32-504.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 6 (AMD64/EM64T) および将来のUpdate 6用のerrataカーネル。
- 2.6.32-573.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 7(AMD64/EM64T) および将来のUpdate 7用のerrataカーネル。
- 2.6.32-642.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8(AMD64/EM64T) および将来のUpdate 8用のerrataカーネル。

HPE Dynamic SmartアレイB120i/B320i SATA RAIDコントローラードライバーfor Red Hat Enterprise Linux 6 (x86)

バージョン: 1.2.16-111 (推奨)

ファイル名: kmod-hpvsa-1.2.16-111.rhel6u1.i686.rpm; kmod-hpvsa-1.2.16-111.rhel6u2.i686.rpm; kmod-hpvsa-1.2.16-111.rhel6u3.i686.rpm; kmod-hpvsa-1.2.16-111.rhel6u4.i686.rpm; kmod-hpvsa-1.2.16-111.rhel6u5.i686.rpm; kmod-hpvsa-1.2.16-111.rhel6u6.i686.rpm; kmod-hpvsa-1.2.16-111.rhel6u7.i686.rpm; kmod-hpvsa-1.2.16-111.rhel6u8.i686.rpm; kmod-hpvsa-1.2.16-111.rhel6u9.i686.rpm

拡張

- パフォーマンスレベルを改善しました。
- Red Hat Enterprise Linux 6 Update 9のサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 5 (x86) カーネルは、次の通りです。

- 2.6.32-131.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 1(x86) および将来のUpdate 1用のerrataカーネル。
- 2.6.32-220.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 2(x86) および将来のUpdate 2用のerrataカーネル。
- 2.6.32-279.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 3(x86) および将来のUpdate 3用のerrataカーネル。
- 2.6.32-358.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 4(x86) および将来のUpdate 4用のerrataカーネル。
- 2.6.32-431.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 5(x86) および将来のUpdate 5用のerrataカーネル。
- 2.6.32-504.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 6(x86) および将来のUpdate 6用のerrataカーネル。
- 2.6.32-573.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 7(x86) および将来のUpdate 7用のerrataカーネル。
- 2.6.32-642.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8(x86) および将来のUpdate 8用のerrataカーネル。

HPE Dynamic SmartアレイB120i/B320i SATA RAIDコントローラードライバーfor Red Hat Enterprise Linux 7 (AMD64/EM64T)

バージョン: 1.2.16-102 (推奨)

ファイル名: kmod-hpvsa-1.2.16-102.rhel7u0.x86_64.rpm; kmod-hpvsa-1.2.16-102.rhel7u1.x86_64.rpm; kmod-hpvsa-1.2.16-102.rhel7u2.x86_64.rpm; kmod-hpvsa-1.2.16-102.rhel7u3.x86_64.rpm

拡張

パフォーマンスレベルを改善しました。

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 3のサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 (AMD64/EM64T) カーネルは、次のとおりです。

3.10.0-123.el7 - Red Hat Enterprise Linux 7 (AMD64/EM64T) および将来のerrataカーネル。

3.10.0-229.el7 - Red Hat Enterprise Linux 7 Update 1 (AMD64/EM64T) および将来のUpdate 1用のerrataカーネル。

3.10.0-327.el7 - Red Hat Enterprise Linux 7 Update 2 (AMD64/EM64T) および将来のUpdate 2用のerrataカーネル。

3.10.0-514.el7 - Red Hat Enterprise Linux 7 Update 3 (AMD64/EM64T) および将来のUpdate 3用のerrataカーネル。

HPE Dynamic SmartアレイB120i/B320i SATA RAIDコントローラードライバーfor SUSE LINUX Enterprise Server 11 (AMD64/EM64T)

バージョン: 1.2.16-100 (推奨)

ファイル名: hpvsa-kmp-default-1.2.16-100.sles11sp1.x86_64.rpm; hpvsa-kmp-default-1.2.16-100.sles11sp2.x86_64.rpm; hpvsa-kmp-default-1.2.16-100.sles11sp3.x86_64.rpm; hpvsa-kmp-default-1.2.16-100.sles11sp4.x86_64.rpm; hpvsa-kmp-xen-1.2.16-100.sles11sp1.x86_64.rpm; hpvsa-kmp-xen-1.2.16-100.sles11sp2.x86_64.rpm; hpvsa-kmp-xen-1.2.16-100.sles11sp3.x86_64.rpm; hpvsa-kmp-xen-1.2.16-100.sles11sp4.x86_64.rpm

拡張

パフォーマンスレベルを改善しました

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE Linux Enterprise Server 11 (AMD64/EM64T) カーネルは、次の通りです。

2.6.32.12-0.7 - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 1 (AMD64/EM64T)および将来のSP1用のerrataカーネル。

3.0.13-0.27.1 - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 2 (AMD64/EM64T)および将来のSP2用のerrataカーネル。

3.0.76-0.11.1 - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 3 (AMD64/EM64T)および将来のSP3用のerrataカーネル。

3.0.101-63-default - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 4 (AMD64/EM64T)および将来のSP4用のerrataカーネル。

HPE Dynamic SmartアレイB120i/B320i SATA RAIDコントローラードライバーfor SUSE LINUX Enterprise Server 12 (AMD64/EM64T)

バージョン: 1.2.16-102 (推奨)

ファイル名: hpvsa-kmp-default-1.2.16-102.sles12sp0.x86_64.rpm; hpvsa-kmp-default-1.2.16-102.sles12sp1.x86_64.rpm; hpvsa-kmp-default-1.2.16-102.sles12sp2.x86_64.rpm; hpvsa-kmp-xen-1.2.16-102.sles12sp0.x86_64.rpm; hpvsa-kmp-xen-1.2.16-102.sles12sp1.x86_64.rpm

拡張

パフォーマンスレベルを改善しました。

SUSE Linux Enterprise Server 12 SP2のサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル：

このバイナリrpmでサポートされるSUSE Linux Enterprise Server 12 (AMD64/EM64T) カーネルは、次の通りです。

- 3.12.28-4 - SUSE LINUX Enterprise Server 12 (AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。
- 3.12.49-11.1- SUSE LINUX Enterprise Server 12 (AMD64/EM64T) SP1さらに将来のerrata。

HPE Dynamic SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラードライバーfor Red Hat Enterprise Linux 6 (AMD64/EM64T) バージョン: 1.2.10-117 (推奨)

ファイル名: kmod-hpdsa-1.2.10-117.rhel6u5.x86_64.rpm; kmod-hpdsa-1.2.10-117.rhel6u6.x86_64.rpm; kmod-hpdsa-1.2.10-117.rhel6u7.x86_64.rpm; kmod-hpdsa-1.2.10-117.rhel6u8.x86_64.rpm; kmod-hpdsa-1.2.10-117.rhel6u9.x86_64.rpm

修正

- 。以前のドライバーがパニックを起こす問題を解決しました。

拡張

Red Hat Enterprise Linux 6 Update 9のサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル：

このドライバーディスクでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 6 (AMD64/EM64T) カーネルは、次の通りです。

- 2.6.32-431.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 5 (AMD64/EM64T) および将来のUpdate 5用のerrataカーネル。
- 2.6.32-504.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 6 (AMD64/EM64T) および将来のUpdate 6用のerrataカーネル。
- 2.6.32-573.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 7 (AMD64/EM64T) および将来のUpdate 7用のerrataカーネル。
- 2.6.32-642.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8 (AMD64/EM64T) および将来のUpdate 8用のerrataカーネル。

HPE Dynamic SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラードライバーfor Red Hat Enterprise Linux 7 (AMD64/EM64T) バージョン: 1.2.10-115 (推奨)

ファイル名: kmod-hpdsa-1.2.10-115.rhel7u0.x86_64.rpm; kmod-hpdsa-1.2.10-115.rhel7u1.x86_64.rpm; kmod-hpdsa-1.2.10-115.rhel7u2.x86_64.rpm; kmod-hpdsa-1.2.10-115.rhel7u3.x86_64.rpm

修正

- 。以前のドライバーがパニックを起こす問題を解決しました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル：

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 (AMD64/EM64T) カーネルは、次のとおりです。

- 3.10.0-123.el7 - Red Hat Enterprise Linux 7 (AMD64/EM64T) および将来のerrataカーネル。
- 3.10.0-229.el7 - Red Hat Enterprise Linux 7 Update 1 (AMD64/EM64T) および将来のUpdate 1用のerrataカーネル。
- 3.10.0-327.el7 - Red Hat Enterprise Linux 7 Update 2 (AMD64/EM64T) および将来のUpdate 2用のerrataカーネル。
- 3.10.0-514.el7 - Red Hat Enterprise Linux 7 Update 3 (AMD64/EM64T) および将来のUpdate 3用のerrataカーネル。

HPE Dynamic SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラードライバーfor SUSE LINUX Enterprise Server 11 (AMD64/EM64T)

バージョン: 1.2.10-115 (推奨)

ファイル名: hpdsa-kmp-default-1.2.10-115.sles11sp3.x86_64.rpm; hpdsa-kmp-default-1.2.10-115.sles11sp4.x86_64.rpm; hpdsa-kmp-xen-1.2.10-115.sles11sp3.x86_64.rpm; hpdsa-kmp-xen-1.2.10-115.sles11sp4.x86_64.rpm

修正

- 以前のドライバーがパニックを起こす問題を解決しました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE Linux Enterprise Server 11 (AMD64/EM64T) カーネルは、次の通りです。

- 3.0.76-0.11.1 - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 3 (AMD64/EM64T)および将来のSP3用のerrataカーネル。
- 3.0.101-63-default - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 4 (AMD64/EM64T)および将来のSP4用のerrataカーネル。

HPE Dynamic SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラードライバーfor SUSE LINUX Enterprise Server 12 (AMD64/EM64T)

バージョン: 1.2.10-115 (推奨)

ファイル名: hpdsa-kmp-default-1.2.10-115.sles12sp0.x86_64.rpm; hpdsa-kmp-default-1.2.10-115.sles12sp1.x86_64.rpm; hpdsa-kmp-default-1.2.10-115.sles12sp2.x86_64.rpm; hpdsa-kmp-xen-1.2.10-115.sles12sp0.x86_64.rpm; hpdsa-kmp-xen-1.2.10-115.sles12sp1.x86_64.rpm

修正

- 以前のドライバーがパニックを起こす問題を解決しました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE Linux Enterprise Server 12 (AMD64/EM64T) カーネルは、次の通りです。

- 3.12.28-4 - SUSE LINUX Enterprise Server 12 (AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。
- 3.12.49-11.1 - SUSE LINUX Enterprise Server 12 (AMD64/EM64T)SP1とさらに将来のerrata。
- 4.4.21-69-default - SUSE LINUX Enterprise Server 12 (AMD64/EM64T) SP2とさらに将来のerrata

HPE H2xx SAS/SATAホストバスアダプタードライバーfor Red Hat Enterprise Linux 7 (AMD64/EM64T)

バージョン: 15.10.05.00-3 (推奨)

ファイル名: kmod-mpt2sas-15.10.04.00-4.rhel7u0.x86_64.rpm; kmod-mpt2sas-15.10.04.00-4.rhel7u1.x86_64.rpm; kmod-mpt2sas-15.10.04.00-8.rhel7u2.x86_64.rpm; kmod-mpt2sas-15.10.05.00-3.rhel7u3.x86_64.rpm

拡張

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 3のサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 (AMD64/EM64T) カーネルは、次のとおりです。

- 3.10.0-123.el7 - Red Hat Enterprise Linux 7 (AMD64/EM64T) および将来のerrataカーネル。
- 3.10.0-229.el7 - Red Hat Enterprise Linux 7 Update 1 (AMD64/EM64T) および将来のUpdate 1用のerrataカーネル。
- 3.10.0-327.el7 - Red Hat Enterprise Linux 7 Update 2 (AMD64/EM64T) および将来のUpdate 2用のerrataカーネル。
- 3.10.0-514.el7 - Red Hat Enterprise Linux 7 Update 3 (AMD64/EM64T) および将来のUpdate 3用のerrataカーネル。

Editions

バージョン: 100.18.2.64 (推奨)

ファイル名: cp032118.exe

修正

修正された問題点:

- サーバーが6/8TiBドライブでハングする問題
- SasGetDeviceAddressコマンドでドライバーがハングする問題

HPE ProLiant Smartアレイ HPCISSS3コントローラードライバー for Windows Server 2008

バージョン: 6.16.2.32 (オプション)

ファイル名: cp031816.exe

修正

修正された問題点:

- サーバーが6/8TiBドライブでハングする問題
- SasGetDeviceAddressコマンドでドライバーがハングする問題

拡張

コントローラーのVPD Inquiryへのアドサポート

HPE ProLiant Smartアレイコントローラー (AMD64/EM64T) ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 11 (AMD64/EM64T)

バージョン: 3.4.18-105 (推奨)

ファイル名: hpsa-kmp-default-3.4.18-105.sles11sp1.x86_64.rpm; hpsa-kmp-default-3.4.18-105.sles11sp2.x86_64.rpm; hpsa-kmp-default-3.4.18-105.sles11sp3.x86_64.rpm; hpsa-kmp-default-3.4.18-105.sles11sp4.x86_64.rpm; hpsa-kmp-xen-3.4.18-105.sles11sp1.x86_64.rpm; hpsa-kmp-xen-3.4.18-105.sles11sp2.x86_64.rpm; hpsa-kmp-xen-3.4.18-105.sles11sp3.x86_64.rpm; hpsa-kmp-xen-3.4.18-105.sles11sp4.x86_64.rpm

修正

- まれなケースにおいて、OSはオフライン起動します。

拡張

- 複数の性能向上。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーディスクでサポートされるSUSE Linux Enterprise 11 (AMD64/EM64T) カーネルは、次の通りです。

2.6.32.12-0.7 - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 1 (AMD64/EM64T)および将来のSP1用のerrataカーネル。

3.0.13-0.27.1 - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 2 (AMD64/EM64T)および将来のSP2用のerrataカーネル。

3.0.76-0.11.1 - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 3 (AMD64/EM64T)および将来のSP3用のerrataカーネル。

3.0.101-63-default - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 4 (AMD64/EM64T)および将来のSP4用のerrataカーネル。

HPE ProLiant Smartアレイコントローラー (AMD64/EM64T) ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 (AMD64/EM64T)

バージョン: 3.4.18-105 (推奨)

ファイル名: hpsa-kmp-default-3.4.18-105.sles12sp0.x86_64.rpm; hpsa-kmp-default-3.4.18-105.sles12sp1.x86_64.rpm; hpsa-kmp-default-3.4.18-105.sles12sp2.x86_64.rpm; hpsa-kmp-xen-3.4.18-105.sles12sp0.x86_64.rpm; hpsa-kmp-xen-3.4.18-105.sles12sp1.x86_64.rpm

修正

- まれなケースにおいて、OSはオフライン起動します。

拡張

- 複数の性能向上。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE Linux Enterprise Server 12 (AMD64/EM64T) カーネルは、次の通りです。

3.12.28-4 - SUSE LINUX Enterprise Server 12 (AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

3.12.49-11.1 - SUSE LINUX Enterprise Server 12 (AMD64/EM64T)SP1とさらに将来のerrata。

4.4.21-69-default - SUSE LINUX Enterprise Server 12 (AMD64/EM64T) SP2とさらに将来のerrata

HPE ProLiant Smartアレイコントローラー (AMD64/EM64T) for Red Hat Enterprise Linux 6 (AMD64/EM64T)
バージョン: 3.4.18-108 (推奨)

ファイル名: kmod-hpsa-3.4.18-108.rhel6u5.x86_64.rpm; kmod-hpsa-3.4.18-108.rhel6u6.x86_64.rpm; kmod-hpsa-3.4.18-108.rhel6u7.x86_64.rpm; kmod-hpsa-3.4.18-108.rhel6u8.x86_64.rpm; kmod-hpsa-3.4.18-108.rhel6u9.x86_64.rpm

修正

- まれなケースにおいて、OSはオフライン起動します。

拡張

- Red Hat Enterprise Linux 6 Update 9のサポートを追加しました。
- 複数の性能向上。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このドライバーディスクセットでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 6 (AMD64/EM64T) カーネルは、次の通りです。

2.6.32-431.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 5(AMD64/EM64T) および将来のUpdate 5用のerrataカーネル。

2.6.32-504.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 6(AMD64/EM64T) および将来のUpdate 6用のerrataカーネル。

2.6.32-573.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 7(AMD64/EM64T) および将来のUpdate 7用のerrataカーネル。

2.6.32-642.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8(AMD64/EM64T) および将来のUpdate 8用のerrataカーネル。

HPE ProLiant Smartアレイコントローラー (AMD64/EM64T) for Red Hat Enterprise Linux 7 (AMD64/EM64T)
バージョン: 3.4.18-105 (推奨)

ファイル名: kmod-hpsa-3.4.18-105.rhel7u0.x86_64.rpm; kmod-hpsa-3.4.18-105.rhel7u1.x86_64.rpm; kmod-hpsa-3.4.18-105.rhel7u2.x86_64.rpm; kmod-hpsa-3.4.18-105.rhel7u3.x86_64.rpm

修正

- まれなケースにおいて、OSはオフライン起動します。

拡張

- 複数の性能向上。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル :

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 (AMD64/EM64T) カーネルは、次のとおりです。

3.10.0-123.el7 - Red Hat Enterprise Linux 7 (AMD64/EM64T) および将来のerrataカーネル。

3.10.0-229.el7 - Red Hat Enterprise Linux 7 Update 1 (AMD64/EM64T) および将来のUpdate 1用のerrataカーネル。

3.10.0-327.el7 - Red Hat Enterprise Linux 7 Update 2 (AMD64/EM64T) および将来のUpdate 2用のerrataカーネル。

3.10.0-514.el7 - Red Hat Enterprise Linux 7 Update 3 (AMD64/EM64T) および将来のUpdate 3用のerrataカーネル。

HPE ProLiant Smartアレイコントローラー (x86/AMD32) ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 6 (x86)

バージョン: 3.4.18-108 (推奨)

ファイル名: kmod-hpsa-3.4.18-108.rhel6u5.i686.rpm; kmod-hpsa-3.4.18-108.rhel6u6.i686.rpm; kmod-hpsa-3.4.18-108.rhel6u7.i686.rpm; kmod-hpsa-3.4.18-108.rhel6u8.i686.rpm; kmod-hpsa-3.4.18-108.rhel6u9.i686.rpm

修正

- まれなケースにおいて、OSはオフライン起動します。

拡張

- Red Hat Enterprise Linux 6 Update 9のサポートを追加しました。
- 複数の性能向上。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル :

このドライバーディスクでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 6 (x86) カーネルは、次の通りです。

2.6.32-431.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 5(AMD64/EM64T) および将来のUpdate 5用のerrataカーネル。

2.6.32-504.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 6(AMD64/EM64T) および将来のUpdate 6用のerrataカーネル。

2.6.32-573.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 7(AMD64/EM64T) および将来のUpdate 7用のerrataカーネル。

2.6.32-642.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8(AMD64/EM64T) および将来のUpdate 8用のerrataカーネル。

HPE ProLiant Smartアレイコントローラー (x86/AMD32) ドライバー for SUSE LINUX Enterprise Server 11 (x86)

バージョン: 3.4.18-105 (推奨)

ファイル名: hpsa-kmp-default-3.4.18-105.sles11sp1.i586.rpm; hpsa-kmp-default-3.4.18-105.sles11sp2.i586.rpm; hpsa-kmp-default-3.4.18-105.sles11sp3.i586.rpm; hpsa-kmp-default-3.4.18-105.sles11sp4.i586.rpm; hpsa-kmp-pae-3.4.18-105.sles11sp1.i586.rpm; hpsa-kmp-pae-3.4.18-105.sles11sp2.i586.rpm; hpsa-kmp-pae-3.4.18-105.sles11sp3.i586.rpm; hpsa-kmp-pae-3.4.18-105.sles11sp4.i586.rpm; hpsa-kmp-xen-3.4.18-105.sles11sp1.i586.rpm

修正

- まれなケースにおいて、OSはオフライン起動します。

拡張

- 複数の性能向上。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーディスクでサポートされるSUSE Linux Enterprise 11 (x86) カーネルは、次の通りです。
2.6.32.12-0.7 - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 1 (x86)および将来のSP1用のerrataカーネル。
3.0.13-0.27.1 - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 2 (x86)および将来のSP2用のerrataカーネル。
3.0.76-0.11.1 - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 3 (x86)および将来のSP3用のerrataカーネル。
3.0.101-63-default - SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP 4 (x86)および将来のSP4用のerrataカーネル。

HPE ProLiant Smartアレイコントローラードライバーfor VMware vSphere 5.5 (バンドルファイル)

バージョン: 5.5.0.124-1 (推奨)

ファイル名: hpsa-5.5.0.124-4683595.zip

修正

以下はhpsaバージョン5.5.0.124-1における修正です

HPE ProLiantサーバーでは、VMware vSphere 5.5で以前にホットリムーブされたRAID 0ディスクを再挿入して再度アクティブ化すると、ボリュームがオンラインまたは準備完了の状態に戻らないことがあります。HPE Smartアレイ (HPSA) ドライバーは、アンプラグされたボリュームのオフライン状態がドライバーで認識されるのを防ぎ、ボリュームがSmart Storage Administrator (SSA) ユーティリティで物理的に再挿入されて再度アクティブ化されると、ボリュームがVMware vSAN環境でオフラインのままになります。

サポートしているデバイスおよび機能

以下は、バージョン5.5.0.124-1ドライバーでサポートされているコントローラーのリストです：

HP SmartアレイP230iコントローラー
HP SmartアレイP240nrコントローラー
HP SmartアレイP244brコントローラー
HP SmartアレイP246brコントローラー
HP SmartアレイP430コントローラー
HP SmartアレイP431コントローラー
HP SmartアレイP440コントローラー
HP SmartアレイP440arコントローラー
HP SmartアレイP441コントローラー
HP SmartアレイP542Dコントローラー
HP SmartアレイP731mコントローラー
HP SmartアレイP741mコントローラー
HP SmartアレイP812コントローラー
HP SmartアレイP822コントローラー
HP SmartアレイP830コントローラー
HP SmartアレイP830iコントローラー
HP SmartアレイP840コントローラー
HP SmartアレイP840arコントローラー
HP SmartアレイP841コントローラー
HP Smart HBA H240
HP Smart HBA H240ar
HP Smart HBA H240nrコントローラー
HP Smart HBA H241
HP Smart HBA H244br
SmartアレイP212
SmartアレイP220i
SmartアレイP222
SmartアレイP410
SmartアレイP410i
SmartアレイP411
SmartアレイP420
SmartアレイP420i
SmartアレイP421

SmartアレイP700m
SmartアレイP711m
SmartアレイP712m
SmartアレイP721m

HPE ProLiant Smartアレイコントローラードライバーfor VMware vSphere 5.5 (ドライバーコンポーネント)

バージョン: 2016.11.18 (推奨)

ファイル名: cp031417.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hp.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。<http://vibsdepot.hpe.com/>

修正

以下はhpsaバージョン5.5.0.124-1における修正です

HPE ProLiantサーバーでは、VMware vSphere 5.5で以前にホットリムーブされたRAID 0ディスクを再挿入して再度アクティブ化すると、ボリュームがオンラインまたは準備完了の状態に戻らないことがあります。HPE Smartアレイ (HPSA) ドライバーは、アンプラグされたボリュームのオフライン状態がドライバーで認識されるのを防ぎ、ボリュームがSmart Storage Administrator (SSA) ユーティリティで物理的に再挿入されて再度アクティブ化されると、ボリュームがVMware vSAN環境でオフラインのままになります。

サポートしているデバイスおよび機能

以下は、ドライバーコンポーネントのバージョン 2016.10.21 がサポートするコントローラーリストです:

HP Smart アレイ P230i コントローラー
HP Smart アレイ P240nr コントローラー
HP Smart アレイ P244br コントローラー
HP Smart アレイ P246br コントローラー
HP Smart アレイ P430 コントローラー
HP Smart アレイ P431 コントローラー
HP Smart アレイ P440 コントローラー
HP Smart アレイ P440ar コントローラー
HP Smart アレイ P441 コントローラー
HP Smart アレイ P731m コントローラー
HP Smart アレイ P741m コントローラー
HP Smart アレイ P822 コントローラー
HP Smart アレイ P830 コントローラー
HP Smart アレイ P830i コントローラー
HP Smart アレイ P840 コントローラー
HP Smart アレイ P840ar コントローラー
HP Smart アレイ P841 コントローラー
HP Smart HBA H240
HP Smart HBA H240ar
HP Smart HBA H240nr コントローラー
HP Smart HBA H241
HP Smart HBA H244br
Smart アレイ P220i
Smart アレイ P222
Smart アレイ P420
Smart アレイ P420i
Smart アレイ P421

Smart アレイ P700m
Smart アレイ P721m

HPE ProLiant Smartアレイコントローラードライバーfor VMware vSphere 6.0 (バンドルファイル)
バージョン: 6.0.0.124-1 (推奨)
ファイル名: hpsa-6.0.0.124-4683364.zip

修正

以下はhpsaバージョン6.0.0.124-1における修正です

HPE ProLiantサーバーでは、VMware vSphere 6.0で以前にホットリムーブされたRAID 0ディスクを再挿入して再度アクティブ化すると、ボリュームがオンラインまたは準備完了の状態に戻らないことがあります。HPE Smartアレイ (HPSA) ドライバーは、アンプラグされたボリュームのオフライン状態がドライバーで認識されるのを防ぎ、ボリュームがSmart Storage Administrator (SSA) ユーティリティで物理的に再挿入されて再度アクティブ化されると、ボリュームがVMware vSAN環境でオフラインのままになります。

サポートしているデバイスおよび機能

以下は、バージョン6.0.0.124-1ドライバーでサポートされているコントローラーのリストです：

HP SmartアレイP230iコントローラー
HP SmartアレイP240nrコントローラー
HP SmartアレイP244brコントローラー
HP SmartアレイP246brコントローラー
HP SmartアレイP430コントローラー
HP SmartアレイP431コントローラー
HP SmartアレイP440コントローラー
HP SmartアレイP440arコントローラ
HP SmartアレイP441コントローラー
HP Smart アレイP542Dコントローラー
HP SmartアレイP731mコントローラー
HP SmartアレイP741mコントローラー
HP SmartアレイP812コントローラー
HP SmartアレイP822コントローラー
HP SmartアレイP830コントローラー
HP SmartアレイP830iコントローラー
HP SmartアレイP840コントローラー
HP SmartアレイP840arコントローラー
HP SmartアレイP841コントローラー
HP Smart HBA H240
HP Smart HBA H240ar
HP Smart HBA H240nrコントローラー
HP Smart HBA H241
HP Smart HBA H244br
SmartアレイP212
SmartアレイP220i
SmartアレイP222
SmartアレイP410
SmartアレイP410i
SmartアレイP411
SmartアレイP420
SmartアレイP420i
SmartアレイP421
SmartアレイP700m
SmartアレイP711m

SmartアレイP712m
SmartアレイP721m

HPE ProLiant Smartアレイコントローラードライバーfor VMware vSphere 6.0 (ドライバーコンポーネント)
バージョン: 2016.11.18 (推奨)
ファイル名: cp031418.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hp.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。<http://vibsdepot.hpe.com/>

修正

以下はhpsaバージョン6.0.0.124-1における修正です

HPE ProLiantサーバーでは、VMware vSphere 6.0で以前にホットリムーブされたRAID 0ディスクを再挿入して再度アクティブ化すると、ボリュームがオンラインまたは準備完了の状態に戻らないことがあります。HPE Smartアレイ (HPSA) ドライバーは、アンプラグされたボリュームのオフライン状態がドライバーで認識されるのを防ぎ、ボリュームがSmart Storage Administrator (SSA) ユーティリティで物理的に再挿入されて再度アクティブ化されると、ボリュームがVMware vSAN環境でオフラインのままになります。

サポートしているデバイスおよび機能

以下は、ドライバーコンポーネントのバージョン 2016.10.21 がサポートするコントローラーリストです:。

HP Smart アレイ P230i コントローラー
HP Smart アレイ P240nr コントローラー
HP Smart アレイ P244br コントローラー
HP Smart アレイ P246br コントローラー
HP Smart アレイ P430 コントローラー
HP Smart アレイ P431 コントローラー
HP Smart アレイ P440 コントローラー
HP Smart アレイ P440ar コントローラー
HP Smart アレイ P441 コントローラー
HP Smart アレイ P731m コントローラー
HP Smart アレイ P741m コントローラー
HP Smart アレイ P822 コントローラー
HP Smart アレイ P830 コントローラー
HP Smart アレイ P830i コントローラー
HP Smart アレイ P840 コントローラー
HP Smart アレイ P840ar コントローラー
HP Smart アレイ P841 コントローラー
HP Smart HBA H240
HP Smart HBA H240ar
HP Smart HBA H240nr コントローラー
HP Smart HBA H241
HP Smart HBA H244br
Smart アレイ P220i
Smart アレイ P222
Smart アレイ P420
Smart アレイ P420i
Smart アレイ P421
Smart アレイ P700m
Smart アレイ P721m

Windows Server 2008 x64版用HPE ProLiant SmartアレイHPCISS3コントローラードライバー
バージョン: 6.12.0.64 (A) (推奨)
ファイル名: cp030674.exe

拡張

以下のサポートを追加しました。

HPE Smart HBA H240nrコントローラー。
HPE SmartアレイP240nr コントローラー。
HPE SmartアレイP542D コントローラー。

ドライバー - ストレージファイバーチャネルおよびファイバーチャネルオー バーイーサネット

先頭

HP Storage QLogic BR-シリーズ Storportファイバーチャネルホストバスアダプタードライバー for Microsoft Windows Server 2012
バージョン: 3.2.5.0 (推奨)
ファイル名: cp025313.exe

重要な注意！

リリースノート：

[HP StorageWorks Brocade Fibre Channel Host Bus Adapters Release Notes](#) (英語)

ドライバーおよびブートコードを同期するには、アダプタードライバーパッケージをインストールまたはアップデートする前に、アダプターがwww.hp.comにある最新のブート イメージにアップデートされているかを確認してください。



拡張

ドライバーバージョンを3.2.5.0へアップデートしました。このドライバーは、製品説明表示で「QLogic」または「QLogic BR-シリーズ」であると8Gb HBA/メザニンカードを識別します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPアダプターをサポートします。

- HP 81B PCIe 8Gbファイバーチャネルシングルポートホストバスアダプター
- HP 82B PCIe 8Gbファイバーチャネルデュアルポートホストバスアダプター
- Brocade 804 8GbファイバーチャネルHBA for c-Class BladeSystem

HP Storage QLogic BR-シリーズ Storportファイバーチャネルホストバスアダプタードライバー for Microsoft Windows Server 2012 R2
バージョン: 3.2.5.0 (推奨)
ファイル名: cp025052.exe

重要な注意！

リリースノート：

[HP StorageWorks Brocade Fibre Channel Host Bus Adapters Release Notes](#) (英語)

ドライバーおよびブートコードを同期するには、アダプタードライバーパッケージをインストールまたはアップデートする前に、アダプターがwww.hp.comにある最新のブート イメージにアップデートされているかを確認してください。



拡張

ドライバーバージョンを3.2.5.0へアップデートしました。このドライバーは、製品説明表示で「QLogic」または「QLogic BR-シリーズ」であると8Gb HBA/メザニンカードを識別します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPアダプターをサポートします。

- HP 81B PCIe 8Gbファイバーチャネルシングルポートホストバスアダプター
- HP 82B PCIe 8Gbファイバーチャネルデュアルポートホストバスアダプター
- Brocade 804 8GbファイバーチャネルHBA for c-Class BladeSystem

HP Storage x64 QLogic BR-シリーズ Storportファイバーチャネルホストバスアダプタードライバー for Microsoft Windows Server 2008 R2

バージョン: 3.2.5.0 (推奨)

ファイル名: cp025314.exe

重要な注意！

リリースノート：

[HP StorageWorks Brocade Fibre Channel Host Bus Adapters Release Notes](#) (英語)

ドライバーおよびブートコードを同期するには、アダプタードライバーパッケージをインストールまたはアップデートする前に、アダプターがwww.hp.comにある最新のブート イメージにアップデートされているかを確認してください。

拡張

ドライバーバージョンを3.2.5.0へアップデートしました。このドライバーは、製品説明表示で「QLogic」または「QLogic BR-シリーズ」であると8Gb HBA/メザニンカードを識別します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPアダプターをサポートします。

- HP 81B PCIe 8Gbファイバーチャネルシングルポートホストバスアダプター
- HP 82B PCIe 8Gbファイバーチャネルデュアルポートホストバスアダプター
- Brocade 804 8GbファイバーチャネルHBA for c-Class BladeSystem

HP Storageファイバーチャネル オーバー イーサーネット アダプター キット for x64 QLogic Storportドライバー

バージョン: 9.1.13.10 (推奨)

ファイル名: cp025685.exe

重要な注意！

リリース ノート：

[HP StorageWorks QLogic Adapters Release Notes](#) (英語)

修正

- 他のステータスピットなしでSCSIステータスビジーおよびキューがフルの場合、テープリトライ遅延時間の原因である状況を修正しました。

拡張

9.1.13.10 バージョン

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPアダプターをサポートします。

- HP CN1000Q Dual Port Converged Network Adapter
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 526FLR-SFP+アダプター

HP Storageファイバーチャネル オーバー イーサネット アダプター キット for x86 QLogic Storportドライバー
バージョン: 9.1.13.10 (**推奨**)

ファイル名: cp025686.exe

重要な注意！

リリース ノート :

[HP StorageWorks QLogic Adapters Release Notes](#) (英語)

修正

- 他のステータスピットなしでSCSIステータスビジーおよびキューがフルの場合、テープリトライ遅延時間の原因である状況を修正しました。

拡張

ドライバーバージョン9.1.13.10をSmartコンポーネントに含めるようアップデートしました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPアダプターをサポートします。

- HP CN1000Q Dual Port Converged Network Adapter
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 526FLR-SFP+アダプター

HP StorageファイバーチャネルオーバーEthernetアダプターキット for QLogic StorPortドライバー for Windows Server
2012および2012 R2

バージョン: 9.1.13.10 (**推奨**)

ファイル名: cp025684.exe

重要な注意！

リリースノート :

[HP StorageWorks QLogic Adapters Release Notes](#) (英語)

修正

- 他のステータスピットなしでSCSIステータスビジーおよびキューがフルの場合、テープリトライ遅延時間の原因である状況を修正しました。

拡張

ドライバーをバージョン9.1.13.10にアップデートしました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPアダプターをサポートします。

- HP CN1000Q Dual Port Converged Network Adapter
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 526FLR-SFP+アダプター

HPE Emulex CNA, HBAおよびメザニンHBAおよびCNA用Red Hat Enterprise Linux 7 Server FCoE/FCドライバーキット
バージョン: 11.1.183.21 (C) (推奨)

ファイル名: kmod-elx-lpfc-11.1.183.21-1.rhel7u1.x86_64.rpm; kmod-elx-lpfc-11.1.183.21-1.rhel7u2.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:

[HPE StoreFabric Emulexアダプターリリースノート](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

バージョン11.1.183.21のこのドライバーによって追加されるデバイスのサポートは以下のとおりです:

- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

サポートしているデバイスおよび機能

- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP SN1000E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb Dual Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 81E 8Gb Single Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP CN1100E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター
- HP LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- Emulex LPe1205 8Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem
- HP SN1100E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP LPe1605 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-T 10GBASE-Tコンバージドネットワークアダプター

- HP StoreFabric 84E 4-Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3530C 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gb FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

HPE Emulex CNA, HBAおよびメザニンHBAおよびCNA用SUSE Linux Enterprise Server 12 FCoE/FCドライバーキット
バージョン: 11.1.183.21 (推奨)

ファイル名: elx-lpfc-kmp-default-11.1.183.21_3.12.28_4-1.sles12sp0.x86_64.rpm; elx-lpfc-kmp-default-11.1.183.21_3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm; elx-lpfc-kmp-xen-11.1.183.21_3.12.28_4-1.sles12sp0.x86_64.rpm; elx-lpfc-kmp-xen-11.1.183.21_3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric Emulex アダプターリリースノート](#)

拡張

ドライバーをバージョン11.1.183.21にアップデートしました

- 以前にシステムの再起動を必要としたエラーからの自動回復を追加しました
- SmartSAN 2.0のサポートを追加しました
- Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8のサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

- HP NC553i 10Gb 2ポート FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP SN1000E 16Gb デュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb デュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 81E 8Gb シングルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP CN1100E デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554FLBアダプター
- HP LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem c-Class
- Emulex LPe1205 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for c-Class BladeSystem
- HP SN1100E 16Gb デュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP LPe1605 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem c-Class
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 650Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-SFP+アダプター
- HP StoreFabric CN1200E デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-T 10GBASE-T コンバージドネットワークアダプター
- HP StoreFabric 84E 4ポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3530C 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gb FC HBA

HPE Emulex CNA, HBAおよびメザニンHBAおよびCNA用SUSE Linux Enterprise Server 12 FCoE/FCドライバーキット
バージョン: 11.1.183.21 (C) (推奨)

ファイル名: elx-lpfc-kmp-default-11.1.183.21_3.12.28_4-1.sles12sp0.x86_64.rpm; elx-lpfc-kmp-default-

重要な注意！

リリースノート：

[HPE StoreFabric Emulexアダプターリリースノート](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください：

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

バージョン11.1.183.21のこのドライバーによって追加されるデバイスのサポートは以下のとおりです：

- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

サポートしているデバイスおよび機能

- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP SN1000E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb Dual Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 81E 8Gb Single Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP CN1100E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター
- HP LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- Emulex LPe1205 8Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem
- HP SN1100E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP LPe1605 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-T 10GBASE-Tコンバージドネットワークアダプター
- HP StoreFabric 84E 4-Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3530C 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gb FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

HPE Emulex CNA、HBAおよびメザニンHBAおよびCNA用Red Hat Enterprise Linux 6 Server (x86-64) FCoE/FCドライバーキット

バージョン: 11.1.183.21 (C) (推奨)

ファイル名: kmod-elx-lpfc-11.1.183.21-1.rhel6u6.x86_64.rpm; kmod-elx-lpfc-11.1.183.21-1.rhel6u7.x86_64.rpm; kmod-elx-

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric Emulexアダプターリリースノート](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

バージョン11.1.183.21のこのドライバーによって追加されるデバイスのサポートは以下のとおりです:

- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

サポートしているデバイスおよび機能

-
- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP SN1000E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb Dual Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 81E 8Gb Single Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP CN1100E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター
- HP LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- Emulex LPe1205 8Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem
- HP SN1100E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP LPe1605 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-T 10GBASE-Tコンバージドネットワークアダプター
- HP StoreFabric 84E 4-Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3530C 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gb FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

HPE Emulex CNA、HBAおよびメザニンHBAおよびCNA用SUSE Linux Enterprise Server 11 (AMD64/EM64T) FCoE/FCドライバーキット

バージョン: 11.1.183.21 (C) **(推奨)**

ファイル名: elx-lpfc-kmp-default-11.1.183.21_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.rpm; elx-lpfc-kmp-default-

11.1.183.21_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.rpm; elx-lpfc-kmp-trace-11.1.183.21_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.rpm; elx-

lpfc-kmp-trace-11.1.183.21_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.rpm; elx-lpfc-kmp-xen-11.1.183.21_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.rpm; elx-lpfc-kmp-xen-11.1.183.21_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート：

[HPE StoreFabric Emulexアダプターリリースノート](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください：

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

バージョン11.1.183.21のこのドライバーによって追加されるデバイスのサポートは以下のとおりです：

- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

サポートしているデバイスおよび機能

- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP SN1000E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb Dual Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 81E 8Gb Single Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP CN1100E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター
- HP LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- Emulex LPe1205 8Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem
- HP SN1100E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP LPe1605 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-T 10GBASE-Tコンバージドネットワークアダプター
- HP StoreFabric 84E 4-Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3530C 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gb FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

HPE Emulex CNA、HBAおよびメザニンHBAおよびCNA用SUSE Linux Enterprise Server 11 (x86) FCoE/FCドライバーキット

バージョン: 11.1.183.21 (**推奨**)

ファイル名: elx-lpfc-kmp-default-11.1.183.21_3.0.101_63-1.sles11sp4.i586.rpm; elx-lpfc-kmp-default-

11.1.183.21_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.i586.rpm; elx-lpfc-kmp-pae-11.1.183.21_3.0.101_63-1.sles11sp4.i586.rpm; elx-lpfc-kmp-pae-11.1.183.21_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.i586.rpm; elx-lpfc-kmp-trace-11.1.183.21_3.0.101_63-1.sles11sp4.i586.rpm; elx-

lpfc-kmp-trace-11.1.183.21_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.i586.rpm; elx-lpfc-kmp-xen-11.1.183.21_3.0.101_63-1.sles11sp4.i586.rpm; elx-lpfc-kmp-xen-11.1.183.21_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.i586.rpm

重要な注意！

リリースノート：

[HPE StoreFabric Emulex アダプターリリースノート](#)

拡張

ドライバーをバージョン11.1.183.21にアップデートしました

- 以前にシステムの再起動を必要としたエラーからの自動回復を追加しました

サポートしているデバイスおよび機能

- HP NC553i 10Gb 2ポート FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP SN1000E 16Gb デュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb デュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 81E 8Gb シングルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP CN1100E デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554FLBアダプター
- HP LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem c-Class
- Emulex LPe1205 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for c-Class BladeSystem
- HP SN1100E 16Gb デュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP ファイバーチャネル 16Gb LPe1605メザニン
- HP StoreFabric 84E 4ポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE QLogic CNA, HBAおよびメザニンHBAおよびCNA用Red Hat Enterprise Linux 7 Server FCoE/FCドライバーキット
バージョン: 8.07.00.34.07.0-k1 (b) **(推奨)**

ファイル名: kmod-qlgc-qla2xxx-8.07.00.34.07.0_k1-1.rhel7u3.x86_64.rpm; kmod-qlgc-qla2xxx-8.07.00.34.07.0_k1-3.rhel7u1.x86_64.rpm; kmod-qlgc-qla2xxx-8.07.00.34.07.0_k1-3.rhel7u2.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート：

[HPE StoreFabric QLogic アダプターリリースノート](#)

注：QLogicドライバーのベース名は、「qlgc」に変更されています。「hplqgc」ドライバーからのアップデートがサポートされています。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください：

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

修正

このドライバーバージョンでは、以下が解決しました。

- SCSIステータスが上書きされていた問題を修正しました。
- キューログインリクエストに失敗する場合の再ログインのフラグを設定します。
- エコーテストメールボックスコマンドオプションの bit15 を正しく設定します。
- FDMI ベンダーポートステート値を修正しました。
- 統計チェッカーにより報告された警告を修正しました。
- 回復中にレポート削除を処理している競合状態。

拡張

ドライバーバージョン8.07.00.34.07.0-k1

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 3のサポートを追加しました。

プライベートリンク統計カウンターのサポートを追加しました。

以下のデバイスのサポートを追加しました。

- HPE StoreFabric 84Q 4P 8GbファイバーチャネルHBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 1P FC HBA
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のアダプターをサポートします。

- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- QLogic QMH2562 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16Gb PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP QMH2672 16Gb FC HBA for c-Class BladeSystem
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 526FLR-SFP+アダプター
- HP CN1000Q デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8Gb ファイバーチャネル HBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 1P FC HBA
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE QLogic CNA, HBAおよびメザニンHBAおよびCNA用SUSE Linux Enterprise Server 12 FCoE/FCドライバーキット
バージョン: 8.07.00.34.12.0-k1 (b) **(推奨)**

ファイル名: qlgc-qla2xxx-kmp-default-8.07.00.34.12.0_k1_k3.12.28_4-3.sles12sp0.x86_64.rpm; qlgc-qla2xxx-kmp-default-8.07.00.34.12.0_k1_k3.12.49_11-3.sles12sp1.x86_64.rpm; qlgc-qla2xxx-kmp-xen-8.07.00.34.12.0_k1_k3.12.28_4-3.sles12sp0.x86_64.rpm; qlgc-qla2xxx-kmp-xen-8.07.00.34.12.0_k1_k3.12.49_11-3.sles12sp1.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric QLogic アダプターリリースノート](#)

注: QLogicドライバーのベース名は、"qlgc"に変更されています。"hpqlgc" ドライバーからのアップデートがサポートされています。

修正

このドライバーバージョンでは、以下が解決しました。

- SCSIステータスが上書きされていた問題を修正しました。
- キューログインリクエストに失敗する場合の再ログインのフラグを設定します。
- エコーテストメールボックスコマンドオプションの bit15 を正しく設定します。
- FDMI ベンダーポートステート値を修正しました。
- 統計チェッカーにより報告された警告を修正しました。
- 回復中にレポート削除を処理している競合状態。

拡張

バージョン8.07.00.34.12.0-k1にアップデートしました

プライベートリンク統計カウンター向けのサポートを追加しました。

以下のデバイスのサポートを追加しました。

- HPE StoreFabric 84Q 4P 8Gb ファイバーチャネル HBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 1P FC HBA
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPアダプターをサポートします。

- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- QLogic QMH2562 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16Gb PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP QMH2672 16Gb FC HBA for c-Class BladeSystem
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 526FLR-SFP+アダプター
- HP CN1000Q デュアルポートコンバードネットワークアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8Gb ファイバーチャネル HBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 1P FC HBA
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE QLogic CNA, HBAおよびメザニンHBAおよびCNA用SUSE Linux Enterprise Server 12 FCoE/FCドライバーキット
バージョン: 8.07.00.34.12.0-k1 (c) **(推奨)**

ファイル名: qlgc-qla2xxx-kmp-default-8.07.00.34.12.0_k1_k3.12.28_4-3.sles12sp0.x86_64.rpm; qlgc-qla2xxx-kmp-default-8.07.00.34.12.0_k1_k3.12.49_11-3.sles12sp1.x86_64.rpm; qlgc-qla2xxx-kmp-default-8.07.00.34.12.2_k1_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.rpm; qlgc-qla2xxx-kmp-xen-8.07.00.34.12.0_k1_k3.12.28_4-3.sles12sp0.x86_64.rpm; qlgc-qla2xxx-kmp-xen-8.07.00.34.12.0_k1_k3.12.49_11-3.sles12sp1.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric QLogic アダプターリリースノート](#)

注：QLogicドライバーのベース名は、"qlgc"に変更されています。"hpaqlgc" ドライバーからのアップデートがサポートされています。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください：

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

修正

このドライバーバージョンでは、以下が解決しました。

- SCSIステータスが上書きされていた問題を修正しました。
- キューログインリクエストに失敗する場合の再ログインのフラグを設定します。
- エコーテストメールボックスコマンドオプションの bit15 を正しく設定します。
- FDMI ベンダーポートステート値を修正しました。
- 統計チェッカーにより報告された警告を修正しました。
- 回復中にレポート削除を処理している競合状態。

拡張

ドライバーバージョン8.07.00.34.12.0-k1

SUSE Linux Enterprise Server 12 SP2のサポートを追加しました

プライベートリンク統計カウンターのサポートを追加しました。

以下のデバイスのサポートを追加しました。

- HPE StoreFabric 84Q 4P 8GbファイバーチャネルHBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 1P FC HBA
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPアダプターをサポートします。

- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- QLogic QMH2562 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16Gb PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP QMH2672 16Gb FC HBA for c-Class BladeSystem
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 526FLR-SFP+アダプター
- HP CN1000Q デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8Gb ファイバーチャネル HBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 1P FC HBA
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

ファイル名: kmod-qlgc-qla2xxx-8.07.00.34.06.0_k1-1.rhel6u9.x86_64.rpm; kmod-qlgc-qla2xxx-8.07.00.34.06.0_k1-2.rhel6u7.x86_64.rpm; kmod-qlgc-qla2xxx-8.07.00.34.06.0_k1-2.rhel6u8.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート

[HPE StoreFabric QLogic アダプターリリースノート](#)

注: QLogicドライバーのベース名は、「qlgc」に変更されています。「hpqlgc」ドライバーからのアップデートがサポートされています。

拡張

バージョン8.07.00.34.06.0-k1にアップデートしました

RHEL 6u8のサポートを追加しました

プライベートリンク統計カウンター向けのサポートを追加しました。

以下のデバイスのサポートを追加しました。

- HPE StoreFabric 84Q 4P 8Gb ファイバーチャネル HBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 1P FC HBA
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPアダプターをサポートします。

- HP FC1142SR 4Gb PCIeホストバスアダプター
- HP FC1242SR 4Gb PCIe DCホストバスアダプター
- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- QLogic QMH2562 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- QLogic QMH2462 4Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16Gb PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP QMH2672 16Gb FC HBA for c-Class BladeSystem
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 526FLR-SFP+アダプター
- HP CN1000Q デュアルポートコンバートネットワークアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8Gb ファイバーチャネル HBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 1P FC HBA
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Qlogic CNA、HBAおよびメガニンHBA用SUSE Linux Enterprise Server 11 (AMD64/EM64T) FCoE/FCドライバーキット

バージョン: 8.07.00.34.11.3-k (b) **(推奨)**

ファイル名: qlgc-qla2xxx-kmp-default-8.07.00.34.11.3_k_3.0.101_63-3.sles11sp4.x86_64.rpm; qlgc-qla2xxx-kmp-default-8.07.00.34.11.3_k_3.0.76_0.11-3.sles11sp3.x86_64.rpm; qlgc-qla2xxx-kmp-xen-8.07.00.34.11.3_k_3.0.101_63-3.sles11sp4.x86_64.rpm; qlgc-qla2xxx-kmp-xen-8.07.00.34.11.3_k_3.0.76_0.11-3.sles11sp3.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート

[HPE StoreFabric QLogic アダプターリリースノート](#)

注： QLogicドライバーのベース名は、"qlgc"に変更されています。"hpcqlgc" ドライバーからのアップデートがサポートされています。

修正

このドライバーバージョンでは、以下が解決しました。

- SCSIステータスが上書きされていた問題を修正しました。
- キューログインリクエストに失敗する場合の再ログインのフラグを設定します。
- エコーテストメールボックスコマンドオプションの bit15 を正しく設定します。
- FDMI ベンダーポートステート値を修正しました。
- 統計チェッカーにより報告された警告を修正しました。
- 回復中にレポート削除を処理している競合状態。

拡張

ドライバーバージョン 8.07.00.34.11.3-k にアップデートしました

プライベートリンク統計カウンター向けのサポートを追加しました。

以下のデバイスのサポートを追加しました。

- HPE StoreFabric 84Q 4P 8Gb ファイバーチャネル HBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 1P FC HBA
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPアダプターをサポートします。

- HP FC1142SR 4Gb PCIeホストバスアダプター
- HP FC1242SR 4Gb PCIe DCホストバスアダプター
- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- QLogic QMH2562 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- QLogic QMH2462 4Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16Gb PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP QMH2672 16Gb FC HBA for c-Class BladeSystem
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 526FLR-SFP+アダプター
- HP CN1000Q デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8Gb ファイバーチャネル HBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 1P FC HBA
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE QLogic CNA、HBAおよびメザニンHBA用SUSE Linux Enterprise Server 11 (x86) FCoE/FCドライバーキット
バージョン: 8.07.00.34.11.3-k (推奨)

ファイル名: qlgc-qla2xxx-kmp-default-8.07.00.34.11.3_k_3.0.101_63-3.sles11sp4.i586.rpm; qlgc-qla2xxx-kmp-pae-8.07.00.34.11.3_k_3.0.101_63-3.sles11sp4.i586.rpm; qlgc-qla2xxx-kmp-pae-8.07.00.34.11.3_k_3.0.76_0.11-3.sles11sp3.i586.rpm; qlgc-qla2xxx-kmp-xen-8.07.00.34.11.3_k_3.0.101_63-3.sles11sp4.i586.rpm; qlgc-qla2xxx-kmp-xen-8.07.00.34.11.3_k_3.0.76_0.11-3.sles11sp3.i586.rpm

重要な注意!

リリースノート

[HPE StoreFabric QLogic アダプターリリースノート](#)

注: QLogicドライバーのベース名は、「qlgc」に変更されています。「hpqlgc」ドライバーからのアップデートがサポートされています。

修正

このドライバーバージョンでは、以下が解決しました。

- SCSIステータスが上書きされていた問題を修正しました。
- キューログインリクエストに失敗する場合の再ログインのフラグを設定します。
- エコーテストメールボックスコマンドオプションの bit15 を正しく設定します。
- FDMI ベンダーポートステート値を修正しました。
- 統計チェッカーにより報告された警告を修正しました。
- 回復中にレポート削除を処理している競合状態。

拡張

バージョン8.07.00.34.11.3-kにアップデートしました

プライベートリンク統計カウンター向けのサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPアダプターをサポートします。

- HP FC1142SR 4Gb PCIeホストバスアダプター
- HP FC1242SR 4Gb PCIe DCホストバスアダプター
- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- QLogic QMH2562 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- QLogic QMH2462 4Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16Gb PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP QMH2672 16Gb FC HBA for c-Class BladeSystem
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 526FLR-SFP+アダプター
- HP CN1000Q デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

バージョン: 11.1.145.16 (推奨)

ファイル名: cp029980.exe

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric Emulex アダプターリリースノート](#)

拡張

ドライバーバージョン11.1.145.16にアップデートしました

- 以前にシステムの再起動を必要としたエラーから自動回復を追加しました
- SmartSAN 2.0のサポートを追加しました

rawドライバーファイルフォルダーを削除しました。rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを解凍し、その後Emulexインストーラーを解凍することによって取得することができます。次のコマンドを使用します。

```
elxdvrv-fcoe-version.exe /q2 extract=2
```

解凍されたファイルは次に置かれます。

```
C:\Users\Administrator\Documents\Emulex\Drivers\FCoE-version
```

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。例、

```
C:\Users\Administrator\Documents\Emulex\Drivers\FCoE-version\x64\win2008
```

サポートしているデバイスおよび機能

- HP 82E 8Gb デュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 81E 8Gb シングルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb デュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem c-Class
- Emulex LPe1205 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for c-Class BladeSystem
- HP SN1100E 16Gb デュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP ファイバーチャネル 16Gb LPe1605メザニンアダプター
- HP StoreFabric 84E 4ポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storage ファイバーチャネルアダプターキット for x86 QLogic Storportドライバー

バージョン: 9.1.17.25 (推奨)

ファイル名: cp031887.exe

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric QLogic アダプターリリースノート](#)

修正

そのドライバーのアップデートは、BrocadeスイッチFOSアップグレードの間の予期せぬ経路喪失を処理する応急処置です。

拡張

ドライバーバージョン9.1.17.25にアップデートしました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPアダプターをサポートします。

- HP FC1142SR 4Gb PCIeホストバスアダプター
- HP FC1242SR 4Gb PCIe DCホストバスアダプター
- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- QLogic QMH2562 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- QLogic QMH2462 4Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP QMH2672 16Gb FC HBA for c-Class BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキット for QLogic Storportドライバー for Windows Server 2012 R2および2012 R2

バージョン: 9.1.17.25 (推奨)

ファイル名: cp031889.exe

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric QLogic アダプターリリースノート](#)

修正

そのドライバーのアップデートは、BrocadeスイッチFOSアップグレードの間の予期せぬ経路喪失を処理する応急処置です。

拡張

ドライバーバージョン9.1.17.25にアップデートしました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のアダプターをサポートします:

- HP FC1142SR 4Gb PCIeホストバスアダプター
 - HP FC1242SR 4Gb PCIe DCホストバスアダプター
 - HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
 - HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
 - QLogic QMH2562 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
 - QLogic QMH2462 4Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
 - HP QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
 - HP QMH2672 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
 - HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
 - HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
 - HPE StoreFabric SN1100Q 16GB 2ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
 - HPE StoreFabric SN1100Q 16GB 1ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
 - HPE StoreFabric 84Q 4P 8Gb ファイバーチャネル HBA
 - HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター
-

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキット for QLogic Storportドライバー for Windows Server 2016
バージョン: 9.2.2.20 (推奨)
ファイル名: cp029979.exe

重要な注意!

リリースノート：
[HPE StoreFabric QLogic アダプターリリースノート](#)

拡張

初期ドライバーバージョン9.2.2.20

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のアダプターをサポートします:

- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- QLogic QMH2562 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem

- HP QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP QMH2672 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8Gb ファイバーチャネル HBA
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキット for x64 Emulex Storportドライバー
バージョン: 11.1.145.16 (C) (推奨)
ファイル名: cp031671.exe

重要な注意!

リリースノート：
[HPE StoreFabric Emulexアダプターリリースノート](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください：

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

バージョン11.1.145.16のこのドライバーによって追加されるデバイスのサポートは以下のとおりです：

- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを抽出し、その後Emulexインストーラーを抽出することによって取得することができます。 次のコマンドを使用します。

elxdvr-fcoe-version.exe /q2 extract=2

抽出されたファイルは次に置かれます。

C:\Users\Administrator\Documents\Emulex\Drivers\FCoE-version

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 例、

C:\Users\Administrator\Documents\Emulex\Drivers\FCoE-version\x64\win2008

サポートしているデバイスおよび機能

- HP 82E 8Gb Dual Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 81E 8Gb Single Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- Emulex LPe1205 8Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem
- HP SN1100E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP ファイバーチャネル 16Gb LPe1605メザニンアダプター
- HP StoreFabric 84E 4-portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3530C 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gb FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキット for x64 QLogic Storportドライバー
バージョン: 9.1.17.25 (推奨)
ファイル名: cp031888.exe

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric QLogic アダプターリリースノート](#)

修正

そのドライバーのアップデートは、BrocadeスイッチFOSアップグレードの間の予期せぬ経路喪失を処理する応急処置です。

拡張

ドライバーバージョン9.1.17.25にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のアダプターをサポートします:

- HP FC1142SR 4Gb PCIeホストバスアダプター
- HP FC1242SR 4Gb PCIe DCホストバスアダプター
- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- QLogic QMH2562 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem

- QLogic QMH2462 4Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP QMH2672 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100Q 16GB 2ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100Q 16GB 1ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8Gb ファイバーチャネル HBA
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

HPEストレージファイバーチャネルオーバーイーサーネットワークアダプターキット for x64 Emulex Storport ドライバー
バージョン: 11.1.145.16 (推奨)
ファイル名: cp029983.exe

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric Emulex アダプターリリースノート](#)

拡張

ドライバーバージョン11.1.145.16にアップデートしました

- Windows Server 2016のサポートを追加しました。
- 以前にシステムの再起動を必要としたエラーから自動回復を追加しました
- SmartSAN 2.0のサポートを追加しました

rawドライバーファイルフォルダーを削除しました。rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを解凍し、その後Emulexインストーラーを解凍することによって取得することができます。次のコマンドを使用します。

```
elxdvr-fcoe-version.exe /q2 extract=2
```

解凍されたファイルは次に置かれます。

```
C:\Users\Administrator\Documents\Emulex\Drivers\FCoE-version
```

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。例、

```
C:\Users\Administrator\Documents\Emulex\Drivers\FCoE-version\x64\win2008
```

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPアダプターをサポートします。

- HP NC553i 10Gb 2ポート FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP StorageWorks CN1100E デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554Mアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 650Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-SFP+アダプター
- HP StoreFabric CN1200E デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター

HPEストレージファイバーチャネルオーバーイーサーネットワークアダプターキット for x86 Emulex Storport ドライバー

バージョン: 11.1.145.16 (推奨)

ファイル名: cp029982.exe

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric Emulex アダプターリリースノート](#)

拡張

ドライバーバージョン11.1.145.16にアップデートしました

- 以前にシステムの再起動を必要としたエラーから自動回復を追加しました
- SmartSAN 2.0のサポートを追加しました

raw ドライバーファイルフォルダーを削除しました。raw ドライバーファイルは、Smart コンポーネントを解凍し、その後 Emulex インストーラーを解凍することによって取得することができます。次のコマンドを使用します。

```
elxdvr-fcoe-version.exe /q2 extract=2
```

解凍されたファイルは次に置かれます。

```
C:\Users\Administrator\Documents\Emulex\Drivers\FCoE-version
```

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーと OS フォルダーを持ちます。例、

```
C:\Users\Administrator\Documents\Emulex\Drivers\FCoE-version\x64\win2008
```

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下の HP アダプターをサポートします。

- HP NC553i 10Gb 2ポート FlexFabric コンバージドネットワークアダプター
- HP StorageWorks CN1100E デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554FLB アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554FLR-SFP+ アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554M アダプター

ドライバー - ストレージテープ

[先頭](#)

HPE StoreEver テープ ドライバー for Microsoft Windows

バージョン: 4.2.0.0 (推奨)

ファイル名: cp030019.exe

拡張

- 新しい LTO テープ ドライブ ドライバー バージョン 1.0.9.1
 - Microsoft Windows Server 2016 x64 のサポートを追加しました。
- 新しい MSL ライブラリーと 1/8 G2 テープ オートローダー ドライバー バージョン 3.0.0.4
 - Microsoft Windows Server 2016 x64 のサポートを追加しました。
- 新しい ESL G3 テープ ライブラリー ドライバー バージョン 7.5.8.3
 - Microsoft Windows Server 2016 x64 のサポートを追加しました。
- 古いドライバーが必要な場合は、このドライバー インストーラーの旧バージョンを使用してください。
- オペレーティングシステムのサポートとドライバーのバージョンについては以下の表を参照してください。
 - **太字**- 新しいドライバーバージョン
 - * - 未サポート

	Microsoft Windowsクライアントオペレーティングシステム				
ドライバー説明 (HPおよびHPEブランドの製品がサポートされます)	7 x86	7 x64	8 x64	8.1 x64	10 x64
LTOテープドライブ - (LTO-7ドライブはバージョン1.0.9.1を必要とします)	1.0.9.1	1.0.9.1	1.0.9.1	1.0.9.1	1.0.9.1
MSL6480テープライブラリーfor 1/8 G2 テープオートローダー MSL2024テープライブラリー MSL4048テープライブラリー MSL8096テープライブラリー	3.0.0.0	3.0.0.0	3.0.0.0	3.0.0.3	3.0.0.4
DATテープドライブ	1.7.1.0	1.7.1.0	1.7.1.0	1.7.2.0	*
USB大容量ストレージコントローラー - (DAT 72と160のみ)	6.07.2010	6.07.2010	7.00.2012	8.00.2014	*

	Microsoft Windowsサーバーオペレーティングシステム			
ドライバー説明 (HPおよびHPEブランドの製品がサポートされます)	Server 2008 R2 x64	Server 2012 x64	Server 2012 R2 x64	Server 2016 x64
LTOテープドライブ - (LTO-7ドライブはバージョン1.0.9.1を必要とします)	1.0.9.1	1.0.9.1	1.0.9.1	1.0.9.1
MSL6480テープライブラリーfor 1/8 G2 テープオートローダー MSL2024テープライブラリー MSL4048テープライブラリー MSL8096テープライブラリー	3.0.0.0	3.0.0.0	3.0.0.3	3.0.0.4
ESL G3テープライブラリー	7.5.7.1	7.5.8.1	7.5.8.2	7.5.8.3
ESL Eテープライブラリー	1.5.1.0	1.5.1.1	*	*
DATテープドライブ	1.7.1.0	1.7.1.0	1.7.2.0	*
USB大容量ストレージコントローラー - (DAT 72と160のみ)	6.07.2010	7.00.2012	8.00.2014	*

ドライバー - システムマネジメント

[先頭](#)

統合チップセット識別子 for Windows Server 2008

バージョン: 8.2.0.0 (B) (オプション)

ファイル名: cp029650.exe

重要な注意!

このコンポーネントのバージョン8.1.0.0は、Windows Server 2003へのインストールをサポートする最後のバージョンです。

拡張

コンポーネントの実行ファイルは、現在SHA-1およびSHA-256両方の署名付きでデジタル署名されています。

バージョン: 8.2.0.0 (B) (オプション)

ファイル名: cp029652.exe

拡張

コンポーネントの実行ファイルは、現在SHA-1および SHA-256両方の署名付きでデジタル署名されています。

統合チップセット識別子 for Windows Server 2008 x64 Edition

バージョン: 8.2.0.0 (B) (オプション)

ファイル名: cp029651.exe

重要な注意!

このコンポーネントのバージョン8.1.0.0は、Windows Server 2003 x64 Editionへのインストールをサポートする最後のバージョンです。

拡張

コンポーネントの実行ファイルは、現在SHA-1および SHA-256両方の署名付きでデジタル署名されています。

統合チップセット識別子 for Windows Server 2016

バージョン: 10.1.2.77 (オプション)

ファイル名: cp030218.exe

拡張

Windows Server 2016をサポートする最初のリリースです。

HP ProLiant DL580 Gen8サブリメンタルチップセット識別子 for Windows Server 2008からServer 2012 R2

バージョン: 1.1.0.0 (E) (オプション)

ファイル名: cp029654.exe

修正

Windows Server 2008からWindows Server 2012 R2のみをサポートするようにコンポーネントインストーラーをアップデートしました。

拡張

コンポーネントの実行ファイルは、現在SHA-1およびSHA-256両方の署名でデジタル署名されています。

HP ProLiant iLO 2マネジメント コントローラー ドライバー for Windows Server 2008

バージョン: 1.14.0.0 (G) (オプション)

ファイル名: cp029665.exe

拡張

コンポーネントの実行ファイルは、現在SHA-1および SHA-256両方の署名付きでデジタル署名されています。

HP ProLiant iLO 2マネジメント コントローラー ドライバー for Windows Server 2008 x64 Edition

バージョン: 1.14.0.0 (G) (オプション)

ファイル名: cp029666.exe

拡張

コンポーネントの実行ファイルは、現在SHA-1および SHA-256両方の署名付きでデジタル署名されています。

HP ProLiant iLO 2 マネジメントコントローラードライバー for Windows Server 2012

バージョン: 1.15.0.0 (D) (**オプション**)

ファイル名: cp029667.exe

拡張

コンポーネントの実行ファイルは、現在SHA-1および SHA-256両方の署名付きでデジタル署名されています。

HP ProLiant iLO 3/4 Channel Interface ドライバー for Windows X64

バージョン: 3.10.0.0 (J) (**オプション**)

ファイル名: cp028042.exe

重要な注意!

ProLiant Support Packバージョン9.00がリリースされたときに、チャンネルインターフェイスドライバーが独自のコンポーネントに分割されました。以前、ドライバーは、iLO 3 マネジメントコントローラードライバーパッケージのコンポーネントの一部でした。

拡張

HP ProLiant WS460c Gen9上のWindows8.1の下でインストールをサポートするためにアップデートしました。

iLO 3/4チャンネルインターフェイスドライバー for Windows Server 2008 および Windows Server 2012 R2

バージョン: 3.30.0.0 (**オプション**)

ファイル名: cp029394.exe

重要な注意!

ProLiant Support Packバージョン9.00がリリースされたときに、チャンネルインターフェイスドライバーが独自のコンポーネントに分割されました。以前、ドライバーは、iLO 3 マネジメントコントローラードライバーパッケージのコンポーネントの一部でした。

修正

ドライバーを再起動した場合、ドライバーで作成された作業項目が適切に終了していることを確認してください

iLO 3/4チャンネルインターフェイスドライバー for Windows Server 2008 X86

バージョン: 3.30.0.0 (**オプション**)

ファイル名: cp029393.exe

重要な注意!

ProLiant Support Packバージョン9.00がリリースされたときに、チャンネルインターフェイスドライバーが独自のコンポーネントに分割されました。以前、ドライバーは、iLO 3 マネジメントコントローラードライバーパッケージのコンポーネントの一部でした。

修正

ドライバーを再起動した場合、ドライバーで作成された作業項目が適切に終了していることを確認してください

拡張

コンポーネントの実行ファイルは、現在SHA-1およびSHA-256両方の署名でデジタル署名されています。

iLO 3/4チャンネルインターフェースドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 3.30.0.0 (オプション)

ファイル名: cp030671.exe

拡張

Windows Server 2016をサポートする最初のリリースです。

iLO 3/4マネジメントコントローラードライバークパッケージ for Windows Server 2008 X86

バージョン: 3.30.0.0 (オプション)

ファイル名: cp029428.exe

事前要件

このコンポーネントの前に*HP ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver for Windows Server 2008 X86* (バージョン 3.4.0.0以降) をインストールする必要があります。チャンネルインターフェースドライバーは、以前はこのコンポーネントに含まれていましたが、現在は別々にインストールされます。

拡張

ProLiant System Shutdown サービスで提供されたサポートは、ProLiant Monitor サービスへ統合されました。ProLiant System Shutdown サービスは、システムのサービスリスト内で個別項目としては表示されません。

iLO 3/4マネジメントコントローラードライバークパッケージ for Windows Server 2016

バージョン: 3.30.0.0 (オプション)

ファイル名: cp030672.exe

事前要件

このコンポーネントの前に*HP ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver for Windows Server 2016* (バージョン 3.4.0.0以降) をインストールする必要があります。

拡張

Windows Server 2016をサポートする最初のリリースです。

iLO 3/4マネジメントコントローラードライバークパッケージ for Windows Server 2008から2012 R2

バージョン: 3.30.0.0 (オプション)

ファイル名: cp029429.exe

事前要件

このコンポーネントの前に*HP ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver for Windows Server 2008 to Server 2012 R2* (バージョン3.4.0.0以降) をインストールする必要があります。チャンネルインターフェースドライバーは、以前はこのコンポーネントに含まれていましたが、現在は別々にインストールされます。

拡張

ProLiant System Shutdown サービスで提供されたサポートは、ProLiant Monitor サービスへ統合されました。
ProLiant System Shutdown サービスは、システムのサービスリスト内で個別項目としては表示されません。

Windows Server 2012およびServer 2012 R2用統合チップセット識別子s

バージョン: 8.2.0.0 (E) (オプション)

ファイル名: cp029653.exe

修正

Windows Server 2012およびWindows Server 2012 R2だけをサポートするようにコンポーネントインストーラーをアップデートしました。

拡張

コンポーネントの実行ファイルは、現在SHA-1およびSHA-256両方の署名でデジタル署名されています。

Windows用HPE ProLiant Gen9チップセット識別子

バージョン: 10.1.2.77 (オプション)

ファイル名: cp030228.exe

拡張

Windows Server 2016のサポートを追加しました。

ドライバー - USB

[先頭](#)

Intel USB 3.0ドライバー for Windows Server 2008 R2

バージョン: 4.0.0.36 (B) (オプション)

ファイル名: cp029659.exe

拡張

コンポーネントの実行ファイルは、現在SHA-1および SHA-256両方の署名付きでデジタル署名されています。

Renesas Electronics USB 3.0ドライバー for Windows Server 2008 R2

バージョン: 3.0.23.0 (B) (オプション)

ファイル名: cp029660.exe

拡張

コンポーネントの実行ファイルは、現在SHA-1および SHA-256両方の署名付きでデジタル署名されています。

USBホストコントローラー識別子 for Windows Server 2008

バージョン: 1.0.0.0 (B) (オプション)

ファイル名: cp029657.exe

拡張

コンポーネントの実行ファイルは、現在SHA-1および SHA-256両方の署名付きでデジタル署名されています。

USBホストコントローラー識別子 for Windows Server 2008 x64 Edition

バージョン: 1.0.0.0 (B) (オプション)

ファイル名: cp029658.exe

拡張

コンポーネントの実行ファイルは、現在SHA-1および SHA-256両方の署名付きでデジタル署名されています。

ドライバー - ビデオ

先頭

ATI ES1000ビデオ コントローラー ドライバー for Windows Server 2008

バージョン: 6.14.10.6748 (B) (オプション)

ファイル名: cp029668.exe

拡張

コンポーネントの実行ファイルは、現在SHA-1および SHA-256両方の署名付きでデジタル署名されています。

ATI ES1000ビデオ コントローラー ドライバー for Windows Server 2008 x64 Edition

バージョン: 6.14.10.6748 (B) (オプション)

ファイル名: cp029669.exe

拡張

コンポーネントの実行ファイルは、現在SHA-1および SHA-256両方の署名付きでデジタル署名されています。

Matrox G200eHビデオ コントローラー ドライバー for Windows Server 2008 X64

バージョン: 6.12.1.1030 (C) (オプション)

ファイル名: cp029671.exe

拡張

コンポーネントの実行ファイルは、現在SHA-1および SHA-256両方の署名付きでデジタル署名されています。

Matrox G200eHビデオ コントローラー ドライバー for Windows Server 2008 X86

バージョン: 6.12.1.1030 (C) (オプション)

ファイル名: cp029670.exe

拡張

コンポーネントの実行ファイルは、現在SHA-1および SHA-256両方の署名付きでデジタル署名されています。

Matrox G200eHビデオ コントローラー ドライバー for Windows Server 2012および2012 R2

バージョン: 9.15.1.143 (オプション)

ファイル名: cp029672.exe

修正

Windows バグチェックシステムは、現在、UEFIモードが起動した iLOリモートコンソールを通して表示されていますが、モニター接続はされていません。

拡張

Windows Server 2012およびWindows Server 2012 R2だけをサポートするようにコンポーネントインストーラーをアップデートしました。

Matrox G200eHビデオコントローラードライバー for Windows Server 2016

バージョン: 9.15.1.143 (オプション)

ファイル名: cp030431.exe

拡張

Windows Server 2016サポートの初期リリースです。

ファームウェア

[先頭](#)

オンラインフラッシュコンポーネント for Windows x64 - NVMeバックプレーンPIC ファームウェア

バージョン: 8.4 (推奨)

ファイル名: cp029018.exe

事前要件

iLO 4バージョン2.50以降が必要です。

拡張

最初のリリースです。

Linux用オンラインフラッシュコンポーネント - NVMeバックプレーンPICファームウェア

バージョン: 8.4 (推奨)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-nvmebackplane-8.4-1.1.i386.rpm

事前要件

iLO 4バージョン2.50以降が必要です。

拡張

最初のリリースです。

Synergy 10/20 Gb インターコネクトリンクモジュール

バージョン: 1.08 (推奨)

ファイル名: RPMS/i586/hp-firmware-icmlm-1.08-1.1.i586.rpm

拡張

この製品は次のインターコネクトモジュールに関するファームウェアバージョン1.08を含んでいます。

- 10 Gb インターコネクトリンクモジュール
 - 20 Gb インターコネクトリンクモジュール
-

Synergy 10Gb Pass-Thru モジュール

バージョン: 1.08 (推奨)

ファイル名: RPMS/i586/hp-firmware-icmpt-1.08-1.1.i586.rpm

修正

リリースノートを参照してください

Synergy用バーチャルコネクト SE 16Gb FC モジュール

バージョン: 1.03.01 (推奨)

ファイル名: RPMS/i586/hp-firmware-icmvc16gbfc-1.03.01-1.1.i586.rpm

修正

リリースノートを参照してください。

VMware 用オンラインフラッシュコンポーネント - NVMeバックプレーンPICファームウェア

バージョン: 8.4 (推奨)

ファイル名: CP029044.zip

事前要件

iLO 4バージョン2.50以降が必要です。

拡張

最初のリリースです。

ファームウェア - ブレードインフラストラクチャ

[先頭](#)

ファームウェア for HPE Synergy Virtual Connect SE 40 Gb F8 Module

バージョン: 1.0.2.1006 (推奨)

ファイル名: hpe_icm_fv1.pkg; package.json; pininstall.sh

修正

- ESX上のSAN (BFS) でのファブリックアタッチブートの問題に対処しました
- HPE 40Gb QSFP+ 双方向トランシーバー 841716-B21を使用したリンクを修正
- ポート内の同じWWPNを持つモジュールを修正しました。

拡張

- 高可用性アルゴリズムへの機能改善

オンラインHP 6Gb SAS BLスイッチファームウェア Smart Component for Linux (x86/x64)

バージョン: 4.2.2.0 (推奨)

ファイル名: RPMS/i586/hp-firmware-solex6gb-solex-4.2.2.0-1.1.i586.rpm

修正

- ファームウェアは、複数プロセス間で可能性のあるデッドロックによる無応答に対応するため、さらに強力で弾性を強化するように変更しました。デッドロックが発生する場合、スイッチとのSSHセッションを確立できない原因となる場合があります。

拡張

- さらに多くのデバッグ情報を取得するため、ファームウェアに変更を加えました。

オンラインHPE 6 Gb SAS BLスイッチファームウェアSmart Component for Windows (x86/x64)

バージョン: 4.2.2.0 (B) (推奨)

ファイル名: cp030778.exe

修正

- ファームウェアは、複数プロセス間で可能性のあるデッドロックによる無応答に対応するため、さらに強力で弾性を強化するように変更しました。デッドロックが発生する場合、スイッチとの SSH セッションを確立できない原因となる場合があります。

拡張

- さらに多くのデバッグ情報を取得するため、ファームウェアに変更を加えました。
- Microsoft® Windows Server® 2016 OSのサポートを追加しました。

オンラインHPE BladeSystem c-Class Onboard Administratorファームウェアコンポーネント for Linux

バージョン: 4.60 (オプション)

ファイル名: RPMS/x86_64/hp-firmware-oa-4.60-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

このバージョンが提供する文書化された修正や強化された機能がシステムに有用である場合、このファームウェアのバージョンに更新します。

重要な注意

○ ファームウェアアップグレード

- Starting OA 4.50のリリースを開始するにあたって、ファームウェアのイメージの信頼性を強化するために標準化されたコード署名と認証のメカニズムが導入されています。
- ファームウェアのROMイメージを使用している顧客がOAをアップグレードすることに関して
 - ファームウェアバージョンが3.50以前のOAに関して、まずOAを3.50にアップグレードし、それからOA 4.50以降へのアップグレードを続けます。
- Smart コンポーネントを使用している顧客がOAをアップグレードすることに関して
 - HP Smart コンポーネントに依存するOA ファームウェアのアップグレードメカニズム(例: EFM), はこの変更による影響を受けません。SmartコンポーネントはOA 4.50以降へのアップグレードを行う前に、OA 3.50への中間アップグレードを行います。

○ EFM

- OAは4 GB以下のサイズのSPP ISOイメージだけをサポートします。エンクロージャーDVD形式で直接保存されているか、付随したUSBキーか、特定のURL経由で遠隔でマウントされているかのどれかとなります。もしISO イメージが4 GBを越える場合、CLI SHOW FIRMWARE MANAGEMENT コマンドは ISO URL ステータスを“不正な URL.”と表示します。
 - SPP ISOイメージが4 GB以上である場合、OA EFMブレードファームウェアの更新プロセスには不要なコンポーネントを除外したカスタムISOイメージを作成する必要があります。カスタムISOには、少なくともHPE ProLiant BLシリーズのサーバー用ファームウェアコンポーネントだけは含める必要があります。(HP SUMをカスタムISOイメージを作成するために使用する時には、ファームウェアをコンポーネントタイプに、そしてHP ProLiant BL Series をサーバータイプに選択します。) OAEFM機能と互換性のあるカスタムISOイメージの作成について詳しくは、○○○○『HPE BladeSystem Onboard Administratorユーザーガイド』を参照してください。HP SUM に関する詳しい情報はHP Smart Update Managerのオンラインヘルプまたは次で見つけることができます。 <http://www.hp.com/go/hpsum/documentation>.

○ FIPS

- [OA 3.71は、http://csrc.nist.gov/groups/STM/cmvp/documents/140-1/140InProcess.pdf](http://csrc.nist.gov/groups/STM/cmvp/documents/140-1/140InProcess.pdf)(英語)にある140-2 In Process Listで参照されるようにFIPSのアクティブ評価中です。

○ IPv6

- DHCPv6の有効化またはSLAACエンクロージャーIPv6設定の有効化がOnboard Administrator上で無効にされている場合、それらそれぞれの構成に基づいて、これらのアドレスが自動的に期限切れになるまで、エンクロージャー内のiLOのそれぞれのDHCPv6またはSLAACアドレスは保持されます。iLOのマニュアルリセットはすぐにこれらのアドレスを解放します。

事前要件

Onboard Administrator Smartコンポーネントは、32ビット実行可能バイナリを含みます。その結果、OA Smartコンポーネントがインストールされ、実行されるクライアントオペレーティングシステムは、32ビット実行可能ファイルのネイティブサポートを持つか、インストールされた32ビット互換ライブラリを持つ必要があります。

修正

全般

- iLO 4失敗のファームウェアアップデート中に EFM がレポートに成功した場合の問題に対処しました。
- ENCLOSURE_IP_MODE が有効である場合、OAファームウェアアップグレード後にOAがIPアドレスを損失した場合の問題を修正しました。
- 空のベイへEBIPAを変更した後に全てのiLOがリセットされる場合の問題を修正しました。現在は特定のiLOのみがリセットされます。
- IPv6用のEBIPA内で構成されたiLOでOAフェイルオーバーが発生した後にiLOがアクセス不能になる問題を解決しました。これは、管理ネットワークの外部ルーターがRouter Advertisementsを送信するよう構成されている場合に発生します。
- SNMPクライアント内で失敗の原因となるOIDのタイプミスマッチ cpqRackCommonEnclosureManagerLocation を修正しました。定義が、STRING から INTEGERに変更されました。
- マルチポートアダプターの最新サーバーNICポートの情報だけがGUI および CLIで表示される問題を解決しました。現在、全てのサーバー NIC ポートが表示されています。
- 日付および時間設定が「Manual」から「NTP」へ変更された場合の最新サーバーNICポートの情報だけの時間同期の問題を解決しました。
- EFM 構成のサーバー電力のポリシーが「オフになるよう」設定されている場合のEFMディスカバリアップデートの失敗を解決しました。
- **セキュリティ**

以下のセキュリティの脆弱性が修正されました：

- CVE-2016-2108 – 作成された連続データ内のいずれかのフィールド経由のサービス拒否の原因となるOpenSSL内のASN.1実装の脆弱性に対処しました。
- CVE-2015-8605 - UDP ペイロード長が適切でないことが確認されました。無効なIPv4 UDP長フィールドが集まった不正な形式が原因で、DHCPサーバー、クライアント、またはリレイプログラムが異常終了する場合の脆弱性に対処しました。
- CVE-2012-3954 - OAでアウトオブメモリ状態になる可能性があるDHCPv6 デモン内のメモリリークの問題を修正しました。
- CVE-2016-0797 および CVE-2016-0799 - OpenSSL内の特定の機能へ大量の不審なデータをパスすることでセキュリティ攻撃を有効にするOpenSSLの脆弱性に対処しました。
- CVE-2015-8605 - UDP IPv4 パケット内の無効な長さのフィールドを経由したサービス拒否の原因となるIPv4 スタックの脆弱性に対処しました。
- CVE-2015-3196 - 作成されたServerKeyExchange メッセージ経由のリモートサーバーによりサービス拒否の原因となるOpenSSLの脆弱性に対処しました。
- CVE-2015-3195 - PKCS#7 または CMS アプリケーションの復号失敗の発生によりプロセスメモリからの機密情報を取得できるOpenSSLの脆弱性に対処しました。
- CVE-2015-6564 - MONITOR_REQ_PAM_FREE_CTX リクエストを不意に早期に送信するためにsshd uidのコントロールを活用することで、ローカルユーザーが優先権を獲得するというOpenSSHの脆弱性に対処しました。
- CVE-2015-6563 - sshd uidのコントロールと同時にSSHログインアクセスを活用することで、ローカルユーザーがなりすまし攻撃を実行できるというOpenSSHの脆弱性に対処しました。
- CVE-2015-5621 - Denial Of Serviceの原因となり、作成したパケット経由の任意コードを実行できるというNet-SNMPの脆弱性に対処しました。
- CVE-2015-5364 および CVE-2015-5366 - OAのサービス拒否の原因となるUDPフラッドシナリオ内で活用できるUDPスタックの脆弱性に対処しました。

拡張

Onboard Administrator 4.60は、以下の機能強化に対するサポートを提供します：

- **ハードウェアの追加**
 - なし。
- **機能追加および変更**
 - **全般**
 - HPEブランディングガイドラインを調整するために、GUI、CLI、Smart コンポーネント、ヘルプファイル、URL、製品名などのブランド名を変更しました。
 - UEFIモードで起動したGen9サーバーの情報の報告を強化しました。
 - デフォルト以外のVLANがOAで有効になっている場合、SNMPトラップエージェントアドレスの設定をサポートしています。
 - VLAN構成されたノードが管理ネットワークにフラッディングする場合、フラッディング情報を表示するシステムログを強化しました。
 - **Remote Support**
 - HPEリモートサポートURLに接続するように変更しました。
 - **EFM**
 - UEFI起動モードのサーバ用のEFMのエラー処理メカニズムを強化しました。
 - スマートアレイコントローラのための具体的な名称を表示するためにEFMを強化しました。
 - EFMは、EFMレポートでより多くのデバイスを識別するために強化されました。
 - HPSUMのリターンコードに合わせてEFM操作の状況報告を強化しました。

オンラインHPE BladeSystem c-Class Onboard Administratorファームウェアコンポーネント for Windows

バージョン: 4.60 (オプション)

ファイル名: cp028008.exe

重要な注意！

このバージョンが提供する文書化された修正や強化された機能がシステムに有用である場合、このファームウェアのバージョンに更新します。

重要な注意

- **ファームウェアアップグレード**
 - Starting OA 4.50のリリースを開始するにあたって、ファームウェアのイメージの信頼性を強化するために標準化されたコード署名と認証のメカニズムが導入されています。
 - ファームウェアのROMイメージを使用している顧客がOAをアップグレードすることに関して
 - ファームウェアバージョンが3.50以前のOAに関して、まずOAを3.50にアップグレードし、それからOA 4.50以降へのアップグレードを続けます。
 - Smart コンポーネントを使用している顧客がOAをアップグレードすることに関して
 - HP Smart コンポーネントに依存するOA ファームウェアのアップグレードメカニズム(例：EFM)、はこの変更による影響を受けません。SmartコンポーネントはOA 4.50以降へのアップグレードを行う前に、OA 3.50への中間アップグレードを行います。
- **EFM**
 - OAは4 GB以下のサイズのSPP ISOイメージだけをサポートします。エンクロージャーDVD形式で直接保存されているか、付随したUSBキーか、特定のURL経由で遠隔でマウントされているかのどれかとなります。もしISOイメージが4 GBを越える場合、CLI SHOW FIRMWARE MANAGEMENT コマンドは ISO URL ステータスを “不正な URL.” と表示します。
 - SPP ISOイメージが4 GB以上である場合、OA EFMブレードファームウェアの更新プロセスには不要なコンポーネントを除外したカスタムISOイメージを作成する必要があります。カスタムISOには、少なくともHPE ProLiant BLシリーズのサーバ用ファームウェアコンポーネントだけは含める必要があります。(HP SUMをカスタムISOイメージを作成するために使用する時には、ファームウェアをコンポーネントタイプに、そしてHP ProLiant BL Series をサーバタイプに選択します。) OAEFM機能と互換性のあるカスタムISOイメージの作成について詳しくは、○○○○『HPE BladeSystem Onboard Administratorユーザーガイド』を参照してください。HP SUM に関する詳しい情報はHP Smart Update Managerのオンラインヘルプまたは次で見つけることができます。 <http://www.hp.com/go/hpsum/documentation>.

- FIPS
 - [OA 3.71は、http://csrc.nist.gov/groups/STM/cmvp/documents/140-1/140InProcess.pdf](http://csrc.nist.gov/groups/STM/cmvp/documents/140-1/140InProcess.pdf)(英語)にある140-2 In Process Listで参照されるようにFIPSのアクティブ評価中です。
- IPv6
 - DHCPv6の有効化またはSLAACエンクロージャーIPv6設定の有効化がOnboard Administrator上で無効にされている場合、それらそれぞれの構成に基づいて、これらのアドレスが自動的に期限切れになるまで、エンクロージャー内のiLOのそれぞれのDHCPv6またはSLAACアドレスは保持されます。iLOのマニュアルリセットはすぐにこれらのアドレスを解放します。

事前要件

Onboard Administrator Smartコンポーネントは、32ビット実行可能バイナリを含みます。その結果、OA Smartコンポーネントがインストールされ、実行されるクライアントオペレーティングシステムは、32ビット実行可能ファイルのネイティブサポートを持つか、インストールされた32ビット互換ライブラリを持つ必要があります。

修正

全般

- iLO 4失敗のファームウェアアップデート中に EFM がレポートに成功した場合の問題に対処しました。
- ENCLOSURE_IP_MODE が有効である場合、OAファームウェアアップグレード後にOAがIPアドレスを損失した場合の問題を修正しました。
- 空のベイへEBIPAを変更した後に全てのiLOがリセットされる場合の問題を修正しました。現在は特定のiLOのみがリセットされます。
- IPv6用のEBIPA内で構成されたiLOでOAフェイルオーバーが発生した後にiLOがアクセス不能になる問題を解決しました。これは、管理ネットワークの外部ルーターがRouter Advertisementsを送信するよう構成されている場合に発生します。
- SNMPクライアント内で失敗の原因となるOIDのタイプミスマッチ cpqRackCommonEnclosureManagerLocation を修正しました。定義が、STRING から INTEGERに変更されました。
- マルチポートアダプターの最新サーバーNICポートの情報だけがGUI および CLIで表示される問題を解決しました。現在、全てのサーバー NIC ポートが表示されています。
- 日付および時間設定が「Manual」から「NTP」へ変更された場合の最新サーバーNICポートの情報だけの時間同期の問題を解決しました。
- EFM 構成のサーバー電力のポリシーが「オフになるよう」設定されている場合のEFMディスカバリアップデートの失敗を解決しました。

以下のセキュリティの脆弱性が修正されました：

- **セキュリティ**
- CVE-2016-2108 – 作成された連続データ内のいずれかのフィールド経由のサービス拒否の原因となるOpenSSL内のASN.1実装の脆弱性に対処しました。
- CVE-2015-8605 - UDP ペイロード長が適切でないことが確認されました。無効なIPv4 UDP長フィールドが集まった不正な形式が原因で、DHCPサーバー、クライアント、またはリレイプログラムが異常終了する場合の脆弱性に対処しました。
- CVE-2012-3954 - OAでアウトオブメモリ状態になる可能性があるDHCPv6 デモン内のメモリリークの問題を修正しました。
- CVE-2016-0797 および CVE-2016-0799 - OpenSSL内の特定の機能へ大量の不審なデータをパスすることでセキュリティ攻撃を有効にするOpenSSLの脆弱性に対処しました。
- CVE-2015-8605 - UDP IPv4 パケット内の無効な長さのフィールドを経由したサービス拒否の原因となるIPv4 スタックの脆弱性に対処しました。
- CVE-2015-3196 - 作成されたServerKeyExchange メッセージ経由のリモートサーバーによりサービス拒否の原因となるOpenSSLの脆弱性に対処しました。
- CVE-2015-3195 - PKCS#7 または CMS アプリケーションの復号失敗の発生によりプロセスメモリからの機密情報を取得できるOpenSSLの脆弱性に対処しました。

- CVE-2015-6564 - MONITOR_REQ_PAM_FREE_CTX リクエストを不意に早期に送信するためにsshd uidのコントロールを活用することで、ローカルユーザーが優先権を獲得するというOpenSSHの脆弱性に対処しました。
- CVE-2015-6563 - sshd uidのコントロールと同時にSSHログインアクセスを活用することで、ローカルユーザーがなりすまし攻撃を実行できるというOpenSSHの脆弱性に対処しました。
- CVE-2015-5621 - Denial Of Serviceの原因となり、作成したパケット経由の任意コードを実行できるというNet-SNMPの脆弱性に対処しました。
- CVE-2015-5364 および CVE-2015-5366 - OAのサービス拒否の原因となるUDPフラッドシナリオ内で活用できるUDPスタックの脆弱性に対処しました。

拡張

Onboard Administrator 4.60は、以下の機能強化に対するサポートを提供します：

- **ハードウェアの追加**
 - なし。
- **機能追加および変更**
 - **全般**
 - HPEブランディングガイドラインを調整するために、GUI、CLI、Smart コンポーネント、ヘルプファイル、URL、製品名などのブランド名を変更しました。
 - UEFIモードで起動したGen9サーバーの情報の報告を強化しました。
 - デフォルト以外のVLANがOAで有効になっている場合、SNMPトラップエージェントアドレスの設定をサポートしています。
 - VLAN構成されたノードが管理ネットワークにフラッディングする場合、フラッディング情報を表示するシステムログを強化しました。
 - **Remote Support**
 - HPEリモートサポートURLに接続するように変更しました。
 - **EFM**
 - UEFI起動モードのサーバ用のEFMのエラー処理メカニズムを強化しました。
 - スマートアレイコントローラのための具体的な名称を表示するためにEFMを強化しました。
 - EFMは、EFMレポートでより多くのデバイスを識別するために強化されました。
 - HPSUMのリターンコードに合わせてEFM操作の状況報告を強化しました。

HPE BladeSystem c-Class Virtual Connectファームウェア、Ethernet plus 8 Gb 20ポートおよび8/16 Gb 24ポートFC Editionコンポーネント for Linux

バージョン: 4.50 (推奨)

ファイル名: CP028427.md5; CP028427.scexe; RPMS/i386/hp-firmware-vceth-4.50-1.1.i386.rpm

事前要件

前提条件が記載されているHPE Virtual Connect Release Notesの最新版は、以下のURLで入手できます：
<http://www.hpe.com/info/vc/manuals>

修正

解決された問題の最新情報は、以下のURLにあるHPE Virtual Connect Release Notesに記載されています：
<http://www.hpe.com/info/vc/manuals>

拡張

機能改善の最新情報は、以下のURLにあるHPE Virtual Connect Release Notesに記載されています：
<http://www.hpe.com/info/vc/manuals>

サポートしているデバイスおよび機能

HPE Flex-10 10Gb Virtual Connect Ethernetモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect FlexFabric 10Gb/24ポートモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect 8Gb 24ポート ファイバーチャネルモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect 8Gb 20ポート ファイバーチャネルモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect Flex-10/10Dモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect FlexFabric-20/40 F8モジュール for HP BladeSystem c-Class

HPE Virtual Connect 16Gb 24ポート ファイバーチャネルモジュール for c-Class BladeSystem

HPE BladeSystem c-Class Virtual Connectファームウェア、Ethernet plus 8Gb 20ポートおよび8/16 Gb 24ポートFC Editionコンポーネントfor Windows

バージョン: 4.50 (推奨)

ファイル名: cp028428.exe

事前要件

最新のHPE Virtual Connect Release Notesは前提条件を含んでいて、以下のURLにあります。

<http://www.hp.com/go/vc/manuals> <http://www.hpe.com/info/vc/manuals>

修正

解決された問題の最新情報は、以下のURLにあるHPE Virtual Connect Release Notesに記載されています:

<http://www.hpe.com/info/vc/manuals>

拡張

機能改善の最新情報は、以下のURLにあるHPE Virtual Connect Release Notesに記載されています:

<http://www.hpe.com/info/vc/manuals>

サポートしているデバイスおよび機能

HPE Flex-10 10Gb Virtual Connect Ethernetモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect FlexFabric 10Gb/24ポートモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect 8Gb 24ポート ファイバーチャネルモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect 8Gb 20ポート ファイバーチャネルモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect Flex-10/10Dモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect FlexFabric-20/40 F8モジュール for HP BladeSystem c-Class

HPE Virtual Connect 16Gb 24ポート ファイバーチャネルモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Synergyフレームリンクモジュールファームウェア

バージョン: 1.01.00 (推奨)

ファイル名: RPMS/i586/hp-firmware-em-1.01.00-1.1.i586.rpm

事前要件

なし

拡張

最初のリリース

HPE Virtual Connect SE 40Gb F8 Module for Synergyファームウェアインストールパッケージ

バージョン: 1.0.2.1006 (推奨)

ファイル名: RPMS/i586/hp-firmware-icmvc40gbf8-1.0.2.1006-1.1.i586.rpm

修正

- ESX上のSAN (BFS) でのファブリックアタッチブートの問題に対処しました
- HPE 40Gb QSFP+ 双方向トランシーバー 841716-B21を使用したリンクを修正
- ポート内の同じWWPNを持つモジュールを修正しました。

拡張

- 高可用性アルゴリズムへの機能改善

Smartコンポーネント for HPE Synergy 12Gb SAS Connection Module Firmware

バージョン: 1.0.22.0 (推奨)

ファイル名: RPMS/i586/hp-firmware-synergy-12gb-connection-module-1.0.22.0-1.1.i586.rpm

修正

- 2TBを越えるSAS または SATA、SSDドライブが、ファームウェアバージョン1.0.20.0を実行するHPE Synergy 12Gb SAS コネクションモジュールに装着された時HPE Synergy D3940 ストレージモジュールで機能しないという問題を解決しました。

Smartコンポーネントfor HPE Synergy D3940 ストレージモジュールファームウェア

バージョン: 2.07 (オプション)

ファイル名: RPMS/i586/hp-firmware-synergy-d3940-storage-module-2.07-1.1.i586.rpm

拡張

- 最初のリリース。

ファームウェア - Lights-Outマネジメント

先頭

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Windows - HP Integrated Lights-Out 3

バージョン: 1.88 (オプション)

ファイル名: cp029100.exe

重要な注意!

既知の問題点:

- 多くのActive Directoryグループがある場合、認証は断続的に動作することがあります。

事前要件

v1.20より前のiLO 3バージョンを実行しているカスタマーはこのバージョンをアップグレードする前に必ずv1.20へとアップグレードしなければなりません。iLO 3 v1.20は次のロケーションから取得されます:

Linux : <https://downloads.hpe.com/pub/softlib2/software1/sc-linux-fw-ilo/p1255562964/v64722/CP014002.scexe>

Windows:<https://downloads.hpe.com/pub/softlib2/software1/sc-windows-fw-ilo/p901462262/v64721/cp014001.exe>

Win64: <https://downloads.hpe.com/pub/softlib2/software1/sc-windows-fw-ilo/p1728391553/v64720/cp014000.exe>

修正

このバージョンでは以下の問題が解決されます。

- セキュリティ情報 HPSBHF03440 および HPSBHF03441に対処しました。
- 証明書署名要求内で SAN フィールドから iLO 3 省略名を削除しました。
- オープン IPMI ドライバーによるリライトを回避するため、IPMI マスターライトリード完了コードを変更しました。
- 存在する場合、セッション処理を利用するための IPMI クローズセッションリクエストを変更しました。
- IPMI チャンネル権限レベル設定を修正しました。
- 認証されたiLO Webインターフェイスユーザーが、構成された最小パスワードの長さ以下にパスワードを設定した際に、ブラウザーデバッグツールを利用した場合の問題を修正しました。
- "!" 文字が含まれるパスワードを設定するためにCLIを使用することを妨げる問題を修正しました。
- FIPSモードまたはEnforce AES/3DES Encryptionオプションが有効な場合、TLSv1.0を無効にしました。
- Clickjackingの対策として、HTTPヘッダーにX-Frame-Optionsを追加しました。
- 構成変更が成功した場合に、IPMI Set SOL Configurationパラメーターがエラー完了コードを返す問題を修正しました。
- シリアルナンバーおよび製品IDを設定、取得する際の IPMI OEMコマンドを修正しました。
- ブレードサーバーでiLOファームウェアをアップデートした後に、OAの信の断続的な喪失を修正しました。

拡張

iLO 3 v1.88 には、以下の機能強化が含まれています:

- SSH サーバーへの AES-CTR 暗号および HMAC-SHA2-256 のサポートを追加しました。
- iLO 3 がFIPSモードである、またはEnforce AES/3DES Encryption オプションが有効である場合、SSHサーバー内のCBC暗号を無効にしました。
- 現在、証明書署名要求は、署名の SHA256 アルゴリズムを使用しています。
- 現在、Java IRC には、2つの代替が含まれています:Java Web Start コンソールおよび Java アプレットベースコンソール。Java Web Startオプションは、アプレットバージョンを実行することができない新しいブラウザーで動作します。OpenJDKを持つシステム上で、Javaプラグインをサポートするブラウザー(Firefoxなど)ではJavaアプレットベースコンソールを使用する必要があります。

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Windows - HP内蔵Lights-Out 2

バージョン: 2.29 (オプション)

ファイル名: cp027872.exe

修正

- JREバージョン7または8がインストールされていて、TLS1.1/1.2が有効な場合、Java IRCが開始しません。
- CVE-2015-4000およびSSRT102268 (クライアント側SSL/TLS接続)に記載された脆弱性に対処しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE Integrated Lights-Out 4

バージョン: 2.50 (推奨)

ファイル名: CP027911.scexe; RPMS/i386/hp-firmware-ilo4-2.50-1.1.i386.rpm

重要な注意!

ESXi ユーザーへの注意:組み込みSDカードからブートを行う場合には、iLO 4 v2.50をアップデートしたすぐ後でサーバーをリブートすることを強く推奨します。

IPv6ネットワーク通信 (専用ネットワーク接続のみ)

サポートされているネットワークの機能

IPv6静的アドレス割り当て

IPv6 SLAACアドレス割り当て

IPv6静的ルート割り当て

IPv6静的デフォルトゲートウェイ入力

DHCPv6ステートフルアドレス割り当て
DHCPv6ステートレスDNS、ドメイン名、およびNTP設定
Integrated Remote Console (統合リモートコンソール)。
OAシングルサインオン
HP-SIMシングルサインオン
Webサーバー
SSHサーバー
SNTPクライアント
DDNSクライアント
RIBCL over IPv6
SNMP
アラートメール
リモートSyslog
WinDBGサポート
IPv6接続を経由したCPQLOCFGおよびHPLOMIG
スクリプト化可能な仮想メディア
CLI/RIBCL Key Import over IPv6
LDAPおよびKerberos over IPv6を使用した認証
iLO連携
本リリースにおいてIPv6によりサポートされないネットワークの機能
共有ネットワークポート接続経由のIPv6
IPMI
NETBIOS-WINS
Enterprise Secure Key Manager (ESKM) サポート
Embedded Remote Support (ERS)

事前要件

iLOスクリプティングインターフェースのIPv6サポートの追加は、いくつかのiLOユーティリティの新しいバージョンの使用を要求します。

。これらのユーティリティの以前のバージョンを使用している顧客は新しいバージョンにアップグレードしなければなりません。

- HPQLOCFG 1.5.0 (replaced CPQLOCFG)
- Lights-Out XMLスクリプティングサンプル4.90 バンドル
- HPONCFG 4.8.0.0(Windows)
- HPONCFG 4.6.0-0 (Linux)
- LOCFG.PL 4.90 (Lights-Out XMLスクリプティングサンプル バンドル)
- HPLOMIG 4.80 (iILO 4のこのバージョンをインストールする前に、HPLOMIGをアップグレードします。)

修正

このバージョンでは以下の問題が解決されます。

- Dynamic Power Cappingは無効に設定されていても動作します。
- サーバーはRPSバックプレーンに関してホットプラグ電源入力モジュールの挿入と除去を繰り返すとシャットダウンすることがあります。
- LDAPテストを繰り返すと、iLO LDAPのユーザー認証が失敗します。
- ML/DLサーバー上のRESTful API経由で送信された位置検索サービスのデータはiLO Advanced licenseがインストールされていても失敗したと報告されています。
- まれに登録されていないプロバイダーからの認証されていないデータが原因で iLO インターフェースが遅延または失敗します。
- ダイレクトコネクタ登録ページのリンクを次のページを指すように、www.hpe.com/services/hpescからwww.hpe.com/support/hpescに変更しました。
- OneView SPPのアップデートの後に生じたOA のコミュニケーションの問題
- iLO システム情報のネットワークタブにおいて、純粋な Fibre Channel カードのステータスは不明と表示されます。
- BIOSをアップグレードし、ブートし、iLO.をリセットした後、外部のRestプロバイダーは削除されました。
- GET to the SNMP MIBに対するGETコマンドは失敗します。

- まれにHPSUTコマンドを用いたアップデートは失敗します。
- もしDHCPv4は構成されているがIPアドレスが iLOのブートタイムに取得されないならば、iLOはFederationグループに加入したりSSDPの要求に応えることはありません。
- LO federationのPrev/Nextリンクとリストの挙動は一致しません。
- セキュリティの修正/強化：
 - AlertMailのメッセージ本体のエンコーディングを改良しました。
 - CBCモードの暗号はFIPS/AESモードで無効になっています。(WebserverとSSHの両方)
 - RC4はデフォルトの暗号リストから削除されました。
 - 3DESとSHA-1はFIPSモードで無効になっています。

拡張

このバージョンは、以下の機能と改善を追加しました。

- RESTful APIに実装されたガベージコレクションは悪いデータまたはデータの漏れの場合に自動でリカバリすることを可能にします。
- エンクロージャー接続ステータスへのアップデートは(CPQSTSYS cpqSsBoxConnectionStatus)、エンクロージャーが断線されたり接続されたりしてトラップcpqSsConnectionStatusChange を適切な場所で送る時には、只今正確に報告されています。
- このバージョンは通常の日々のアクティビティよりはるかに高い日単位の書き込みカウント制限を実装することにより、内蔵4GB 非揮発性ストレージ (NAND) の寿命に対する保護を追加しました。 これにより、ランナウェイプロセスがうっかりNANDに最終的な失敗を引き起こす過度の書き込みを行わないように保証します。
- デフォルトのSSL証明書署名をSHA-256に変更しました。
- iLO SSL証明書のSubjectAltNameフィールドでのIPアドレスのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi -HPE Integrated Lights-Out 4

バージョン: 2.50 (**推奨**)

ファイル名: CP027910.zip

重要な注意!

ESXi ユーザーへの注意:組み込みSDカードからブートを行う場合には、iLO 4 v2.50をアップデートしたすぐ後でサーバーをリポートすることを強く推奨します。

IPv6ネットワーク通信（専用ネットワーク接続のみ）

サポートされているネットワークの機能

IPv6静的アドレス割り当て

IPv6 SLAACアドレス割り当て

IPv6静的ルート割り当て

IPv6静的デフォルトゲートウェイ入力

DHCPv6ステートフルアドレス割り当て

DHCPv6ステートレスDNS、ドメイン名、およびNTP設定

Integrated Remote Console (統合リモートコンソール)。

OAシングルサインオン

HP-SIMシングルサインオン

Webサーバー

SSHサーバー

SNTPクライアント

DDNSクライアント

RIBCL over IPv6

SNMP

アラートメール

リモートSyslog

WinDBGサポート

IPv6接続を経由したCPQLOCFGおよびHPLMIG

スクリプト化可能な仮想メディア

CLI/RIBCL Key Import over IPv6
LDAPおよびKerberos over IPv6を使用した認証
iLO連携

本リリースにおいてIPv6によりサポートされないネットワークの機能
共有ネットワークポート接続経由のIPv6
IPMI
NETBIOS-WINS
Enterprise Secure Key Manager (ESKM) サポート
Embedded Remote Support (ERS)

事前要件

iLOスクリプティングインターフェースのIPv6サポートの追加は、いくつかのiLOユーティリティの新しいバージョンの使用を要求します。

。これらのユーティリティの以前のバージョンを使用している顧客は新しいバージョンにアップグレードしなければなりません。

- HPQLOCFG 1.5.0 (replaced CPQLOCFG)
- Lights-Out XMLスクリプティングサンプル4.90 バンドル
- HPONCFG 4.8.0.0(Windows)
- HPONCFG 4.6.0-0 (Linux)
- LOCFG.PL 4.90 (Lights-Out XMLスクリプティングサンプル バンドル)
- HPLOMIG 4.80 (iILO 4のこのバージョンをインストールする前に、HPLOMIGをアップグレードします。)

修正

このバージョンでは以下の問題が解決されます。

- Dynamic Power Cappingは無効に設定されていても動作します。
- サーバーはRPSバックプレーンに関してホットプラグ電源入力モジュールの挿入と除去を繰り返すとシャットダウンすることがあります。
- LDAPテストを繰り返すと、iLO LDAPのユーザー認証が失敗します。
- ML/DLサーバー上のRESTful API経由で送信された位置検索サービスのデータはiLO Advanced licenseがインストールされていても失敗したと報告されています。
- まれに登録されていないプロバイダーからの認証されていないデータが原因で iLO インターフェースが遅延または失敗します。
- ダイレクトコネクト登録ページのリンクを次のページを指すように、www.hpe.com/services/hpescからwww.hpe.com/support/hpescに変更しました。
- OneView SPPのアップデートの後に生じたOA のコミュニケーションの問題
- iLO システム情報のネットワークタブにおいて、純粋な Fibre Channel カードのステータスは不明と表示されます。
- BIOSをアップグレードし、ブートし、iLO.をリセットした後、外部のRestプロバイダーは削除されました。
- GET to the SNMP MIBに対するGETコマンドは失敗します。
- まれにHPSUTコマンドを用いたアップデートは失敗します。
- もしDHCPv4は構成されているがIPアドレスが iLOのブートタイムに取得されないならば、iLOはFederationグループに加入したりSSDPの要求に応えることはありません。
- LO federationのPrev/Nextリンクとリストの挙動は一致しません。
- セキュリティの修正/強化：
 - AlertMailのメッセージ本体のエンコーディングを改良しました。
 - CBCモードの暗号はFIPS/AESモードで無効になっています。(WebserverとSSHの両方)
 - RC4はデフォルトの暗号リストから削除されました。
 - 3DESとSHA-1はFIPSモードで無効になっています。

拡張

このバージョンは、以下の機能と改善を追加しました。

- RESTful APIに実装されたガベージコレクションは悪いデータまたはデータの漏れの場合に自動でリカバリすることを可能にします。

- エンクロージャー接続ステータスへのアップデートは(CPQSTSYS cpqSsBoxConnectionStatus)、エンクロージャーが断線されたり接続されたりしてトラップcpqSsConnectionStatusChange を適切な場所でする時には、只今正確に報告されています。
- このバージョンは通常の日々のアクティビティよりはるかに高い日単位の書き込みカウント制限を実装することにより、内蔵4GB 非揮発性ストレージ (NAND) の寿命に対する保護を追加しました。 これにより、ランナウェイプロセスがうっかりNANDに最終的な失敗を引き起こす過度の書き込みを行わないように保証します。
- デフォルトのSSL証明書署名をSHA-256に変更しました。
- iLO SSL証明書のSubjectAltNameフィールドでのIPアドレスのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - HPE Integrated Lights-Out 4

バージョン: 2.50 (推奨)

ファイル名: cp027909.exe

重要な注意!

ESXi ユーザーへの注意:組み込みSDカードからブートを行う場合には、iLO 4 v2.50をアップデートしたすぐ後でサーバーをリポートすることを強く推奨します。

IPv6ネットワーク通信 (専用ネットワーク接続のみ)

サポートされているネットワークの機能

- IPv6静的アドレス割り当て
- IPv6 SLAACアドレス割り当て
- IPv6静的ルート割り当て
- IPv6静的デフォルトゲートウェイ入力
- DHCPv6ステートフルアドレス割り当て
- DHCPv6ステートレスDNS、ドメイン名、およびNTP設定
- Integrated Remote Console (統合リモートコンソール)。
- OAシングルサインオン
- HP-SIMシングルサインオン
- Webサーバー
- SSHサーバー
- SNTPクライアント
- DDNSクライアント
- RIBCL over IPv6
- SNMP
- アラートメール
- リモートSyslog
- WinDBGサポート
- IPv6接続を経由したCPQLOCFGおよびHPLOMIG
- スクリプト化可能な仮想メディア
- CLI/RIBCL Key Import over IPv6
- LDAPおよびKerberos over IPv6を使用した認証
- iLO連携

本リリースにおいてIPv6によりサポートされないネットワークの機能

- 共有ネットワークポート接続経由のIPv6
- IPMI
- NETBIOS-WINS
- Enterprise Secure Key Manager (ESKM) サポート
- Embedded Remote Support (ERS)

事前要件

iLOスクリプティングインターフェースのIPv6サポートの追加は、いくつかのiLOユーティリティの新しいバージョンの使用を要求します。

。これらのユーティリティの以前のバージョンを使用している顧客は新しいバージョンにアップグレードしなければなりません。

- HPQLOCFG 1.5.0 (replaced CPQLOCFG)
- Lights-Out XMLスクリプティングサンプル4.90 バンドル
- HPONCFG 4.8.0.0(Windows)
- HPONCFG 4.6.0-0 (Linux)
- LOCFG.PL 4.90 (Lights-Out XMLスクリプティングサンプル バンドル)
- HPLOMIG 4.80 (iILO 4のこのバージョンをインストールする前に、HPLOMIGをアップグレードします。)

修正

このバージョンでは以下の問題が解決されます。

- Dynamic Power Cappingは無効に設定されていても動作します。
- サーバーはRPSバックプレーンに関してホットプラグ電源入力モジュールの挿入と除去を繰り返すとシャットダウンすることがあります。
- LDAPテストを繰り返すと、iLO LDAPのユーザー認証が失敗します。
- ML/DLサーバー上のRESTful API経由で送信された位置検索サービスのデータはiLO Advanced licenseがインストールされていても失敗したと報告されています。
- まれに登録されていないプロバイダーからの認証されていないデータが原因で iLO インターフェースが遅延または失敗します。
- ダイレクトコネクト登録ページのリンクを次のページを指すように、www.hpe.com/services/hpescからwww.hpe.com/support/hpescに変更しました。
- OneView SPPのアップデートの後に生じたOA のコミュニケーションの問題
- iLO システム情報のネットワークタブにおいて、純粋な Fibre Channel カードのステータスは不明と表示されます。
- BIOSをアップグレードし、ブートし、iLO.をリセットした後、外部のRestプロバイダーは削除されました。
- GET to the SNMP MIBに対するGETコマンドは失敗します。
- まれにHPSUTコマンドを用いたアップデートは失敗します。
- もしDHCPv4は構成されているがIPアドレスが iLOのブートタイムに取得されないならば、iLOはFederationグループに加入したりSSDPの要求に応えることはありません。
- LO federationのPrev/Next!リンクとリストの挙動は一致しません。
- セキュリティの修正/強化：
 - AlertMailのメッセージ本体のエンコーディングを改良しました。
 - CBCモードの暗号はFIPS/AESモードで無効になっています。(WebserverとSSHの両方).
 - RC4はデフォルトの暗号リストから削除されました。
 - 3DESとSHA-1はFIPSモードで無効になっています。

拡張

このバージョンは、以下の機能と改善を追加しました。

- RESTful APIに実装されたガベージコレクションは悪いデータまたはデータの漏れの場合に自動でリカバリすることを可能にします。
- エンクロージャー接続ステータスへのアップデートは(CPQSTSYS cpqSsBoxConnectionStatus)、エンクロージャーが断線されたり接続されたりしてトラップcpqSsBoxConnectionStatusChange を適切な場所でする時には、只今正確に報告されています。
- このバージョンは通常の日々のアクティビティよりはるかに高い日単位の書き込みカウント制限を実装することにより、内蔵4GB 非揮発性ストレージ (NAND) の寿命に対する保護を追加しました。 これにより、ランナウェイプロセスがうっかりNANDに最終的な失敗を引き起こす過度の書き込みを行わないように保証します。
- デフォルトのSSL証明書署名をSHA-256に変更しました。
- iLO SSL証明書のSubjectAltNameフィールドでのIPアドレスのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64- HPE Integrated Lights-Out 4
バージョン: 2.50 (推奨)
ファイル名: cp027912.exe

重要な注意！

ESXi ユーザーへの注意:組み込みSDカードからブートを行う場合には、iLO 4 v2.50をアップデートしたすぐ後でサーバーをリブートすることを強く推奨します。

IPv6ネットワーク通信（専用ネットワーク接続のみ）

サポートされているネットワークの機能

- IPv6静的アドレス割り当て
- IPv6 SLAACアドレス割り当て
- IPv6静的ルート割り当て
- IPv6静的デフォルトゲートウェイ入力
- DHCPv6ステートフルアドレス割り当て
- DHCPv6ステートレスDNS、ドメイン名、およびNTP設定
- Integrated Remote Console (統合リモートコンソール)。
- OAシングルサインオン
- HP-SIMシングルサインオン
- Webサーバー
- SSHサーバー
- SNTPクライアント
- DDNSクライアント
- RIBCL over IPv6
- SNMP
- アラートメール
- リモートSyslog
- WinDBGサポート
- IPv6接続を経由したCPQLOCFGおよびHPLOMIG
- スクリプト化可能な仮想メディア
- CLI/RIBCL Key Import over IPv6
- LDAPおよびKerberos over IPv6を使用した認証
- iLO連携

本リリースにおいてIPv6によりサポートされないネットワークの機能

- 共有ネットワークポート接続経由のIPv6
- IPMI
- NETBIOS-WINS
- Enterprise Secure Key Manager (ESKM) サポート
- Embedded Remote Support (ERS)

事前要件

iLOスクリプティングインターフェースのIPv6サポートの追加は、いくつかのiLOユーティリティの新しいバージョンの使用を要求します。

。これらのユーティリティの以前のバージョンを使用している顧客は新しいバージョンにアップグレードしなければなりません。

- HPQLOCFG 1.5.0 (replaced CPQLOCFG)
- Lights-Out XMLスクリプティングサンプル4.90 バンドル
- HPONCFG 4.8.0.0(Windows)
- HPONCFG 4.6.0-0 (Linux)
- LOCFG.PL 4.90 (Lights-Out XMLスクリプティングサンプル バンドル)
- HPLOMIG 4.80 (iILO 4のこのバージョンをインストールする前に、HPLOMIGをアップグレードします。)

修正

このバージョンでは以下の問題が解決されます。

- Dynamic Power Cappingは無効に設定されていても動作します。
- サーバーはRPSバックプレーンに関してホットプラグ電源入力モジュールの挿入と除去を繰り返すとシャットダウンすることがあります。
- LDAPテストを繰り返すと、iLO LDAPのユーザー認証が失敗します。
- ML/DLサーバー上のRESTful API経由で送信された位置検索サービスのデータはiLO Advanced licenseがインストールされていても失敗したと報告されています。

- まれに登録されていないプロバイダーからの認証されていないデータが原因で iLO インターフェースが遅延または失敗します。
- ダイレクトコネクト登録ページのリンクを次のページを指すように、www.hpe.com/services/hpescから www.hpe.com/support/hpescに変更しました。
- OneView SPPのアップデートの後に生じたOA のコミュニケーションの問題
- iLO システム情報のネットワークタブにおいて、純粋な Fibre Channel カードのステータスは不明と表示されます。
- BIOSをアップグレードし、ブートし、iLO.をリセットした後、外部のRestプロバイダーは削除されました。
- GET to the SNMP MIBに対するGETコマンドは失敗します。
- まれにHPSUTコマンドを用いたアップデートは失敗します。
- もしDHCPv4は構成されているがIPアドレスが iLOのブートタイムに取得されないならば、iLOはFederationグループに加入したりSSDPの要求に応えることはありません。
- LO federationのPrev/Nextリンクとリストの挙動は一致しません。
- セキュリティの修正/強化：
 - AlertMailのメッセージ本体のエンコーディングを改良しました。
 - CBCモードの暗号はFIPS/AESモードで無効になっています。(WebserverとSSHの両方)。
 - RC4はデフォルトの暗号リストから削除されました。
 - 3DESとSHA-1はFIPSモードで無効になっています。

拡張

このバージョンは、以下の機能と改善を追加しました。

- RESTful APIに実装されたガベージコレクションは悪いデータまたはデータの漏れの場合に自動でリカバリすることを可能にします。
- エンクローザー接続ステータスへのアップデートは(CPQSTSYS cpqSsBoxConnectionStatus)、エンクローザーが断線されたり接続されたりしてトラップcpqSsConnectionStatusChange を適切な場所でする時には、只今正確に報告されています。
- このバージョンは通常の日々のアクティビティよりはるかに高い日単位の書き込みカウント制限を実装することにより、内蔵4GB 非揮発性ストレージ (NAND) の寿命に対する保護を追加しました。 これにより、ランナウェイプロセスがうっかりNANDに最終的な失敗を引き起こす過度の書き込みを行わないように保証します。
- デフォルトのSSL証明書署名をSHA-256に変更しました。
- iLO SSL証明書のSubjectAltNameフィールドでのIPアドレスのサポートを追加しました。

Firmware CD Supplemental Update/オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Linux - HP Integrated Lights-Out 2
バージョン: 2.29 (オプション)
ファイル名: CP027871.scexe

修正

- JREバージョン7または8がインストールされていて、TLS1.1/1.2が有効な場合、Java IRCが開始しません。
- CVE-2015-4000およびSSRT102268 (クライアント側SSL/TLS接続)に記載された脆弱性に対処しました。

Firmware CD Supplemental Update/オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Linux - HP Integrated Lights-Out 3
バージョン: 1.88 (オプション)
ファイル名: CP029099.scexe

重要な注意!

既知の問題点：

- 多くのActive Directoryグループがある場合、認証は断続的に動作することがあります。

事前要件

v1.20より前のiLO 3バージョンを実行しているカスタマーはこのバージョンをアップグレードする前に必ずv1.20へとアップグレードしなければなりません。iLO 3 v1.20は次のロケーションから取得されます:

Linux : <https://downloads.hpe.com/pub/softlib2/software1/sc-linux-fw-ilo/p1255562964/v64722/CP014002.scexe>
Windows: <https://downloads.hpe.com/pub/softlib2/software1/sc-windows-fw-ilo/p901462262/v64721/cp014001.exe>
Win64: <https://downloads.hpe.com/pub/softlib2/software1/sc-windows-fw-ilo/p1728391553/v64720/cp014000.exe>

修正

このバージョンでは以下の問題が解決されます。

- セキュリティ情報 HPSBHF03440 および HPSBHF03441に対処しました。
- 証明書署名要求内で SAN フィールドから iLO 3 省略名を削除しました。
- オープン IPMI ドライバーによるリライトを回避するため、IPMI マスターライトリード完了コードを変更しました。
- 存在する場合、セッション処理を利用するための IPMI クローズセッションリクエストを変更しました。
- IPMI チャンネル権限レベル設定を修正しました。
- 認証されたiLO Webインターフェイスユーザーが、構成された最小パスワードの長さ以下にパスワードを設定した際に、ブラウザーデバッグツールを利用した場合の問題を修正しました。
- "\"" 文字が含まれるパスワードを設定するためにCLIを使用することを妨げる問題を修正しました。
- FIPSモードまたはEnforce AES/3DES Encryptionオプションが有効な場合、TLSv1.0を無効にしました。
- Clickjackingの対策として、HTTPヘッダーにX-Frame-Optionsを追加しました。
- 構成変更が成功した場合に、IPMI Set SOL Configurationパラメーターがエラー完了コードを返す問題を修正しました。
- シリアルナンバーおよび製品IDを設定、取得する際の IPMI OEMコマンドを修正しました。
- ブレードサーバーでiLOファームウェアをアップデートした後に、OAの信の断続的な喪失を修正しました。

拡張

iLO 3 v1.88 には、以下の機能強化が含まれています:

- SSH サーバーへの AES-CTR 暗号および HMAC-SHA2-256 のサポートを追加しました。
- iLO 3 がFIPSモードである、またはEnforce AES/3DES Encryption オプションが有効である場合、SSHサーバー内のCBC暗号を無効にしました。
- 現在、証明書署名要求は、署名の SHA256 アルゴリズムを使用しています。
- 現在、Java IRC には、2つの代替が含まれています:Java Web Start コンソールおよび Java アプレットベースコンソール。Java Web Startオプションは、アプレットバージョンを実行することができない新しいブラウザーで動作します。OpenJDKを持つシステム上で、Javaプラグインをサポートするブラウザー(Firefoxなど)ではJavaアプレットベースコンソールを使用する必要があります。

Firmware CDサプリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP Integrated Lights-Out 3

バージョン: 1.88 (オプション)

ファイル名: CP029098.zip

重要な注意!

既知の問題点:

- 多くのActive Directoryグループがある場合、認証は断続的に動作することがあります。

事前要件

v1.20より前のiLO 3バージョンを実行しているカスタマーはこのバージョンをアップグレードする前に必ずv1.20へとアップグレードしなければなりません。iLO 3 v1.20は次のロケーションから取得されます:

Linux : <https://downloads.hpe.com/pub/softlib2/software1/sc-linux-fw-ilo/p1255562964/v64722/CP014002.scexe>
Windows: <https://downloads.hpe.com/pub/softlib2/software1/sc-windows-fw-ilo/p901462262/v64721/cp014001.exe>
Win64: <https://downloads.hpe.com/pub/softlib2/software1/sc-windows-fw-ilo/p1728391553/v64720/cp014000.exe>

修正

このバージョンでは以下の問題が解決されます。

- セキュリティ情報 HPSBHF03440 および HPSBHF03441に対処しました。
- 証明書署名要求内で SAN フィールドから iLO 3 省略名を削除しました。
- オープン IPMI ドライバーによるリライトを回避するため、IPMI マスターライトリード完了コードを変更しました。
- 存在する場合、セッション処理を利用するための IPMI クローズセッションリクエストを変更しました。
- IPMI チャンネル権限レベル設定を修正しました。
- 認証されたiLO Webインターフェイスユーザーが、構成された最小パスワードの長さ以下にパスワードを設定した際に、ブラウザーデバッグツールを利用した場合の問題を修正しました。
- "\"" 文字が含まれるパスワードを設定するためにCLIを使用することを妨げる問題を修正しました。
- FIPSモードまたはEnforce AES/3DES Encryptionオプションが有効な場合、TLSv1.0を無効にしました。
- Clickjackingの対策として、HTTPヘッダーにX-Frame-Optionsを追加しました。
- 構成変更が成功した場合に、IPMI Set SOL Configurationパラメーターがエラー完了コードを返す問題を修正しました。
- シリアルナンバーおよび製品IDを設定、取得する際の IPMI OEMコマンドを修正しました。
- ブレードサーバーでiLOファームウェアをアップデートした後に、OAの信の断続的な喪失を修正しました。

拡張

iLO 3 v1.88 には、以下の機能強化が含まれています:

- SSH サーバーへの AES-CTR 暗号および HMAC-SHA2-256 のサポートを追加しました。
- iLO 3 がFIPSモードである、またはEnforce AES/3DES Encryption オプションが有効である場合、SSHサーバー内のCBC暗号を無効にしました。
- 現在、証明書署名要求は、署名の SHA256 アルゴリズムを使用しています。
- 現在、Java IRC には、2つの代替が含まれています:Java Web Start コンソールおよび Java アプレットベースコンソール。Java Web Startオプションは、アプレットバージョンを実行することができない新しいブラウザーで動作します。OpenJDKを持つシステム上で、Javaプラグインをサポートするブラウザー(Firefoxなど)ではJavaアプレットベースコンソールを使用する必要があります。

ファームウェア - ネットワーク

先頭

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 5.5) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード) ConnectX4デバイス - VMware ESXi 5.5

バージョン: 1.0.0 (B) (推奨)

ファイル名: CP030863.zip

重要な注意!

既知の問題点:

- 現在FDR10はサポートされません
- ビットエラーレートはQDRリンク上で最適ではありません
- 以下のICをベースにしたプラットフォームのリンクを立ち上げるには、以下のファームウェアバージョン要件を遵守してください。
 - Connect-IB® - 10.10.4000
 - Switch-IBTM - 11.200.120 (or MLNX-OS 3.4.3050)
 - ConnectX®-3 - 2.32.5100
 - SwitchX® - 9.2.7300 (or MLNX-OS 3.3.5006)
- 正規EDRケーブルは、現在、EDRネットワーク(EDR デバイス、Switch®-IBおよびConnectX®-4) のみで動作します。

- ConnectX-3/ConnectX-3ProまたはConnect-IB® FDRアダプターへ、またはSwitchX® /SwitchX-2 FDR スイッチへ接続されている場合、QDRがスイッチのInfiniBand Port Speedに対応して有効化されていないと、リンクは(たとえFDRが有効化されていても)、SDRまたはDDR速度で上昇します。**回避策**：サーバーを再起動します。
- 回避策**：FDRで動作しているピアポートに接続している場合、QDR（FDRに加えて）を有効化します。
- PCIe 機能 “Device S/N” が偽値を返しています。
- リンクがGen2の場合、L1ステートに入るか出るかすると、間違ったCRCまたはDLLPの表示の原因となることがあります。
- 構成スペースパワー管理機能 PME_EN を設定できません。
- サブシステムクラスコードは、VPIではなく、IBとしてレポートされます。
- 機能 (PF/VF) TX ポートカウンターはサポートされていません。
- [カスタム低レベルのドライバを開発しているお客様向け] VFインターナルFLRは、PF teardown HCAコマンドでサポートされていません。
- 回避策**：PFドライバーをアンロードする前に、PFドライバーは、以下を実行することにより、すべてのアクティブなVFを無効化しなくてはなりません：
 - disable_hcaコマンドをすべてのfunction_idsで実行します
 - ファームウェアがすべてのVFが割り当てられたページを返すまで待ちます。
- PF ドライバーは、ページイベントキューで動作しなければなりません。
- [カスタム低レベルのドライバを開発しているお客様向け] VNodeInfoおよびVPortGuidInfo仮想化属性MADは、サポートされていません。
- [カスタム低レベルのドライバを開発しているお客様向け] set_hca_capコマンドのlog_max_ra_res_qpの値は、すべての関数において同じでなくてはなりません。
- SR-IOV イーサネットは、1ポートにつき最大18 VF をサポートします。
- Privileged Vport egress信号は、Vport が有効ではない場合、ブロックされません
- VportカウンターはVportを横切るトラフィックのみをカウントする必要があるが、ローカル（内部）ループバックパケットがVportカウンターによりカウントされます。
- バーチャルトラップの Vport ナンバーは、正しく報告されない場合があります
- PF ダイレクトパススルーは、サポートされていません（PF FLR がサポートされていないため）。
- QP.force_loopback が1に等しいためにループバックされるトラフィックは、PFへ進みます。
- ConnectX®4 EDRアダプターカードがQDR InfiniScale® IV ベースのスイッチに接続されている場合、低リンク速度の問題が発生します。リンクはDDRとして立ち上がります。
- EDRリンクは、すべてのケーブル長において前方誤り訂正（FEC: Forward Error Correction）をアクティブにします。
- 最小 200 LFM は、MCX4411A-ACAN アダプターカードを冷却するために必要です。
- mlxfwreset は、ファームウェアイメージをアップグレードした後に、古いMFTバージョンで正しく機能しません。
- 回避策**：最新リリースに MFT をアップグレードするか、ファームウェアをアップグレードした後、再起動/電源再投入します。
- Windows Server 2016インボックスドライバーは、このファームウェアバージョンでは動作できません。
- ファームウェアをフラッシュすると、サーバーのリブートが必要になります。ファームウェアは、最初のフラッシュ後、サーバーを再起動していない限り、二度目のフラッシュはできません
- 回避策**：ファームウェアのフラッシュ後、サーバーを再起動します。
- 制限イベントの SRQ をアーミングする場合、デバイスは、context_index=0 のイベントを発行する場合があります。
- VFの内部FLRは、PF teardown HCAコマンドでサポートされていません。
- 回避策**：PFドライバーをアンロードする前に、PFドライバーは、以下を実行することにより、すべてのアクティブなVFを無効化しなくてはなりません：
 1. disable_hcaコマンドをすべてのfunction_idsで実行します
 2. ファームウェアがすべてのVFが割り当てられたページを返すまで待ちます。
- VNodeInfo およびVPortGuidInfo仮想化属性MADは、サポートされていません。
- set_hca_capコマンドの log_max_ra_res_qp の値は、全ての機能で同一としてください。
- UEFI 起動サイクル中に、winPE がロードされている間、まれにシステムが動かなくなることがあります。（OS WinPE、システム DL160）
- 回避策**：電源再投入でシステムを回復させます。
- LEDは、トラフィックがリンク速度の0.1%以下の場合には点滅しません。

修正

FWバージョン12.16.1038での修正:

- RSOD問題を修正しました。

拡張

ファームウェアバージョン12.16.1038

825110-B21 HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 アダプター

825111-B21 HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28 アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるデバイス

HP部品番号	デバイス名	PSID
825110-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28アダプター	HP_2180110032
825111-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター	HP_2190110032

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 5.5) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード)デバイス - VMware ESXi 5.5

バージョン: 1.0.4 (A) (推奨)

ファイル名: CP030114.zip

重要な注意!

既知の問題点:

- v2.30.8000またはそれ以降のバージョンから2.30.8000以前のバージョンにダウングレードするには、サーバーのリブートが必要です。
回避策: サーバーを再起動します。
- ConnectX-3 Ethernet アダプターカードでは、ファームウェア管理ツールによって返れるGUID値とデバイスファームウェアを通してGUIDを読み込むファブリック/ドライバーユーティリティ (例えば、ibstatを使用) によって返される値の間にミスマッチがあります。ユーティリティがMACアドレスから得られた値を返すとき、Mlxburn/flintはGUIDとして0xffffを返します。すべてのドライバー/ファームウェア/ソフトウェアのために、前者の値が使用されるべきです。
回避策: ファブリック/ドライバーユーティリティによって返されたGUID値を使用してください。(0xffffではなく)
- SBRはConnectX@-3アダプターのために最低50msアサートされる必要があります。
- Pilot1 SL230で、PCIeリンクは時々Gen3の速度に達しません。
- ドライバーの互換性の問題のため、SR-IOVがVPIカードで有効になっている場合、RH6.3インボックスドライバーがカーネルパニックを引き起こします。
- アドバンスステアリングモードで、MCGごとに8以上のQPを持つ場合、サイドバンド管理接続性が失われることがあります。
- システムBIOSでSR-IOVが無効にされたとき、Linuxカーネルv3.8のUbuntu v12.04.3で、Mellanoxを含むいくつかの製造業者のNICが動作しない可能性があるPCI問題が認識されています。
回避策: BIOSのSR-IOVを有効にする。

- MT27518A1 FDIR-BVでは10C/分以上のスピードで温度が上昇するとPCIe Gen2リンクが不安定になります。
- port1 FDRおよびport2 40GでVPIモードで作業する場合、エラーカウンターが正常に機能せず、高速に増加します。
- MFTツールは、ツール動作が停止を強制された場合にロックされたフラッシュセマフォを残すことがありました。ロックされたセマフォは、ファームウェアがフラッシュへアクセスすることを妨げ、ファームウェアがハングアップする原因となります。
回避策： セマフォをMFTコマンドでクリアする：`flint -clear_semaphore`
- MC2210411-SR4モジュールを使用する場合、ケーブル情報MADは正しくないケーブル情報をレポートします。
- LLRが有効なInfiniBand FDRリンクからLLRなしのInfiniBandリンクへ切り替わる場合、ドライバーの再起動が必要です(例：SwitchX@からGD4036)。
- Bloomフィルターは、現在サポートされません。
- ファームウェアv2.11.0000からダウングレードし、MFT3.0.0-3リリースを使用する場合、次のメッセージがmlxconfigツールにより表示されます。
DMFS steering mode with IB in Linux You are trying to override configurable FW by non-configurable FW.If you continue, old FW configurations will be cleared, do you want to continue?(y/n) [n]:y
You are trying to restore default configuration, do you want to continue?(y/n) [n]:y
- MLNX_OFED-2.0.3でInfiniBandを操作する場合、DMFSを有効にしないでください
回避策： MLNX_OFED-2.1-x.x.xまたはそれ以降にアップグレードしてください。
- VPD読み取り専用のフィールドが書き込み可能です。
回避策： それらを保持したい場合は、読み取り専用フィールドに書き込まないでください。
- デバイスを128Byte CQ/EQストライドに設定するとサイドバンド管理が正常に機能せず、コミュニケーション消失につながります。
- CQおよびEQを異なるストライドサイズに構成することはできません。
- ConnectX-3 Pro VFデバイスIDは、ドライバーの制限のためにConnectX-3 VFデバイスIDと同じように示されます。
回避策： デバイスを識別するために物理機能のデバイスIDを使用してください。
- ポートがETHスイッチに接続されているときに、NCSI/IPMIが有効になっている状態でポートプロトコルをETHからIBに変更することは推奨されません。
回避策：
 - スイッチからケーブルを抜きます。
 - ドライバーを再起動します。
 - 適切なツールを使用して、プロトコルを変更します。
- IPv6上でのRDPは、現在機能しません。
回避策： ソフトウェアのデフォルトのRoCEモードをRoCE v2 (RoCEを使用していない場合も)に設定します。
- Sniffer QP では、“push to that rule”と同等の挿入スキームのあるQPを追加した後に正規のルールを削除できません。
- NICは、56GbEポートリンクのNICポートからケーブルが外れてしまっている場合に、リンクダウンをドライバーに通知しません。
- PCI Physical FunctionごとのBoot Entry Vector (BEV)のみがサポートされているので、最初のポートを無効化すると、二番目のポートも消えてしまいます。
- 100GbE 光ケーブルを使用している場合に、56GbE リンクが起動しません。

修正

2.36.5000での修正:

- ソフトウェアが、デバイスのMACアドレスのいずれかに等しいDMACを持つポーズフレームを送信しようとしたときに、パケット送信がスタックする原因となった問題を修正しました。
- QP代替コンテキストを処理する際に、ファームウェアの内部エラーの原因となった問題を修正しました。
- APMが、QPのポートマッピングを変更したときに、内部ファームウェアエラーの原因となった問題を修正しました。
- TLVに非有効な情報を満たしたときに、NVRAMがスタックする原因となった問題を修正しました。
- SR-IOV VPIでのIBトラフィックの不足の原因となった問題を修正しました。
- 重複した“read request from middle”の処理での競合を修正しました。

- セクターの数が1に設定され、セクターがゼロにされたときに、NVCONFIGが失敗する原因となった問題を修正しました。
- メッセージMTUサイズがQP.mtuより大きかったときに、TXトラフィックが停止する原因となった問題を修正しました。
- MLNX_OEMコマンドGET_TEMPが、max_tempフィールドに誤った値を返しました。
- IPv4トラフィックの上のRDPがドロップする原因となったデフォルトのハードウェア構成問題を修正しました。
- NO-DRAM-NICモードで実行するときに、パフォーマンスの低下を引き起こしたパフォーマンスの問題を修正しました。
- VLANのNC-SI の準拠を有効にするために、INI内のHigh Rate Steeringモードを無効にしました。
- 物理機能内でFLR を初期化する場合の失敗インスタンスを修正しました。
- ケーブルが接続されていない場合、ケーブル情報MAD内で誤って戻されたステータスを修正しました。
- UDPの長さの計算を修正しました。CNPパケット内の誤った UDP 長さは、ICRCの計算ミスの原因でした。
- ECN が有効な場合の完了エラーの問題を修正しました。ECNの使用は、完了キュー (CQ)の順序エラーの原因でした。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.36.5000にアップデートされます。

644161-B21
644160-B21
649282-B21
649281-B21
649283-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.36.5000にアップデートされます。

764282-B21
764283-B21
764284-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.36.5000にアップデートされます。

764285-B21
764286-B21

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるデバイス

HP部品番号	デバイス名	PSID
644161-B21	HP InfiniBand FDR/EN 10/40Gbデュアルポート544Mアダプター	HP_0240230019
644160-B21	HP InfiniBand QDR/EN 10Gbデュアルポート544Mアダプター	HP_0250230018
649281-B21	HP InfiniBand FDR/EN 10/40Gb デュアルポート544QSFPアダプター	HP_0280210019
649282-B21	HP InfiniBand FDR/EN 10/40Gb デュアルポート544FLR-QSFPアダプター	HP_0230240019 HP_0230220019
649283-B21	HP InfiniBand QDR/EN 10Gb デュアルポート 544FLR-QSFPアダプター	HP_0230240009 HP_0230220009
764282-B21	HP InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート 544+M アダプター	HP_1350110023
764283-B21	HP InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+M アダプター	HP_1360110017
764284-B21	HP InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFP アダプター	HP_1370110017
764285-B21	HP InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+FLR-QSFP アダプター	HP_1380110017
764286-B21	HP InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート 544+FLR-QSFP アダプター	HP_1390110023

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 6.0) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード) ConnectX4デバイス - VMware ESXi 6.0

バージョン: 1.0.0 (B) (推奨)

ファイル名: CP030864.zip

重要な注意!

既知の問題点:

- 現在FDR10はサポートされません
- ビットエラーレートはQDRリンク上で最適ではありません
- 以下のICをベースにしたプラットフォームのリンクを立ち上げるには、以下のファームウェアバージョン要件を遵守してください。
 - Connect-IB® - 10.10.4000
 - Switch-IBTM - 11.200.120 (or MLNX-OS 3.4.3050)
 - ConnectX®-3 - 2.32.5100
 - SwitchX® - 9.2.7300 (or MLNX-OS 3.3.5006)
- 正規EDRケーブルは、現在、EDRネットワーク(EDR デバイス、Switch®-IBおよびConnectX®-4) のみで動作します。
- ConnectX-3/ConnectX-3ProまたはConnect-IB® FDRアダプターへ、またはSwitchX® /SwitchX-2 FDR スイッチへ接続されている場合、QDRがスイッチのInfiniBand Port Speedに対応して有効化されていないと、リンクは(たとえFDRが有効化されていても)、SDRまたはDDR速度で上昇します。**回避策:** サーバーを再起動します。
回避策: FDRで動作しているピアポートに接続している場合、QDR (FDRに加えて) を有効化します。
- PCIe 機能 "Device S/N" が偽値を返しています。
- リンクがGen2の場合、L1ステートに入るか出ると、間違ったCRCまたはDLLPの表示の原因となることがあります。
- 構成スペースパワー管理機能 PME_EN を設定できません。
- サブシステムクラスコードは、VPIではなく、IBとしてレポートされます。
- 機能 (PF/VF) TX ポートカウンターはサポートされていません。
- [カスタム低レベルのドライバを開発しているお客様向け] VFインターナルFLRは、PF teardown HCAコマンドでサポートされていません。
回避策: PFドライバーをアンロードする前に、PFドライバーは、以下を実行することにより、すべてのアクティブなVFを無効化しなくてはなりません：
 - disable_hcaコマンドをすべてのfunction_idsで実行します
 - ファームウェアがすべてのVFが割り当てられたページを返すまで待ちます。
- PF ドライバーは、ページイベントキューで動作しなければなりません。
- [カスタム低レベルのドライバを開発しているお客様向け] VNodeInfoおよびVPortGuidInfo仮想化属性MAD は、サポートされていません。
- [カスタム低レベルのドライバを開発しているお客様向け] set_hca_capコマンドのlog_max_ra_res_qpの値は、すべての関数において同じでなくてはなりません。
- SR-IOV イーサーネットは、1ポートにつき最大18 VF をサポートします。
- Privileged Vport egress信号は、Vport が有効ではない場合、ブロックされません
- VportカウンターはVportを横切るトラフィックのみをカウントする必要があるが、ローカル (内部) ループバックパケットがVportカウンターによりカウントされます。
- バーチャルトラップの Vport ナンバーは、正しく報告されない場合があります
- PF ダイレクトパススルーは、サポートされていません (PF FLR がサポートされていないため) 。
- QP.force_loopback が1に等しいためにループバックされるトラフィックは、PFへ進みます。
- ConnectX®-4 EDRアダプターカードがQDR InfiniScale® IV ベースのスイッチに接続されている場合、低リンク速度の問題が発生します。リンクはDDRとして立ち上がります。
- EDRリンクは、すべてのケーブル長において前方誤り訂正 (FEC: Forward Error Correction) をアクティブにします。
- 最小 200 LFM は、MCX4411A-ACAN アダプターカードを冷却するために必要です。
- mlxfwreset は、ファームウェアイメージをアップグレードした後に、古いMFTバージョンで正しく機能しません。
回避策: 最新リリースに MFT をアップグレードするか、ファームウェアをアップグレードした後、再起動/電源再投入します。

- Windows Server 2016インボックスドライバーは、このファームウェアバージョンでは動作できません。
- ファームウェアをフラッシュすると、サーバーのリブートが必要になります。ファームウェアは、最初のフラッシュ後、サーバーを再起動していない限り、二度目のフラッシュはできません
回避策：ファームウェアのフラッシュ後、サーバーを再起動します。
- 制限イベントの SRQ をアーミングする場合、デバイスは、context_index=0 のイベントを発行する場合があります。
回避策：電源再投入でシステムを回復させます。
- VFの内部FLRは、PF teardown HCAコマンドでサポートされていません。
回避策：PFドライバーをアンロードする前に、PFドライバーは、以下を実行することにより、すべてのアクティブなVFを無効化しなくてはなりません：
 1. disable_hcaコマンドをすべてのfunction_idsで実行します
 2. ファームウェアがすべてのVFが割り当てられたページを返すまで待ちます。
- VNodeInfo およびVPortGuidInfo仮想化属性MADは、サポートされていません。
- set_hca_capコマンドの log_max_ra_res_qp の値は、全ての機能で同一としてください。
- UEFI 起動サイクル中に、winPE がロードされている間、まれにシステムが動かなくなることがあります。(OS WinPE、システム DL160)
回避策：電源再投入でシステムを回復させます。
- LEDは、トラフィックがリンク速度の0.1%以下の場合には点滅しません。

修正

FWバージョン12.16.1038での修正:

- RSOD問題を修正しました。

拡張

ファームウェアバージョン12.16.1038

825110-B21 HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 アダプター

825111-B21 HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28 アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるデバイス

HP部品番号	デバイス名	PSID
825110-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28アダプター	HP_2180110032
825111-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター	HP_2190110032

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 6.0) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード)デバイス - VMware ESXi 6.0

バージョン: 1.0.4 (A) (推奨)

ファイル名: CP030115.zip

重要な注意!

既知の問題点:

- v2.30.8000またはそれ以降のバージョンから2.30.8000以前のバージョンにダウングレードするには、サーバーのリブートが必要です。

回避策： サーバーを再起動します。

- ConnectX-3 Ethernet アダプターカードでは、ファームウェア管理ツールによって返れるGUID値とデバイスファームウェアを通してGUIDを読み込むファブリック/ドライバーユーティリティ（例えば、ibstatを使用）によって返される値の間にミスマッチがあります。ユーティリティがMACアドレスから得られた値を返すとき、Mlxbum/flintはGUIDとして0xffffを返します。すべてのドライバー/ファームウェア/ソフトウェアのために、前者の値が使用されるべきです。

回避策： ファブリック/ドライバーユーティリティによって返されたGUID値を使用してください。（0xffffではなく）

- SBRはConnectX@-3アダプターのために最低50msアサートされる必要があります。
- Pilot1 SL230で、PCIeリンクは時々Gen3の速度に達しません。
- ドライバーの互換性の問題のため、SR-IOVがVPIカードで有効になっている場合、RH6.3インボックスドライバーがカーネルパニックを引き起こします。
- アドバンスステアリングモードで、MCGごとに8以上のQPを持つ場合、サイドバンド管理接続性が失われることがあります。
- システムBIOSでSR-IOVが無効にされたとき、Linuxカーネルv3.8のUbuntu v12.04.3で、Mellanoxを含むいくつかの製造業者のNICが動作しない可能性があるPCI問題が認識されています。

回避策： BIOSのSR-IOVを有効にする。

- MT27518A1 FDIR-BVでは10C/分以上のスピードで温度が上昇するとPCIe Gen2リンクが不安定になります。
- port1 FDRおよびport2 40GでVPIモードで作業する場合、エラーカウンターが正常に機能せず、高速に増加します。
- MFTツールは、ツール動作が停止を強制された場合にロックされたフラッシュセマフォを残すことがあります。ロックされたセマフォは、ファームウェアがフラッシュヘアクセスすることを妨げ、ファームウェアがハングアップする原因となります。

回避策： セマフォをMFTコマンドでクリアする：`flint -clear_semaphore`

- MC2210411-SR4モジュールを使用する場合、ケーブル情報MADは正しくないケーブル情報をレポートします。
- LLRが有効なInfiniBand FDRリンクからLLRなしのInfiniBandリンクへ切り替わる場合、ドライバーの再起動が必要です(例：SwitchX@からGD4036)。
- Bloomフィルターは、現在サポートされません。
- ファームウェアv2.11.0000からダウングレードし、MFT3.0.0-3リリースを使用する場合、次のメッセージがmlxconfigツールにより表示されます。

DMFS steering mode with IB in Linux You are trying to override configurable FW by non-configurable FW.If you continue, old FW configurations will be cleared, do you want to continue?(y/n) [n] :y
You are trying to restore default configuration, do you want to continue?(y/n) [n] :y

- MLNX_OFED-2.0.3でInfiniBandを操作する場合、DMFSを有効にしないでください

回避策： MLNX_OFED-2.1-x.x.xまたはそれ以降にアップグレードしてください。

- VPD読み取り専用のフィールドが書き込み可能です。

回避策： それらを保持したい場合は、読み取り専用フィールドに書き込まないでください。

- デバイスを128Byte CQ/EQストライドに設定するとサイドバンド管理が正常に機能せず、コミュニケーション消失につながります。
- CQおよびEQを異なるストライドサイズに構成することはできません。
- ConnectX-3 Pro VFデバイスIDは、ドライバーの制限のためにConnectX-3 VFデバイスIDと同じように示されます。

回避策： デバイスを識別するために物理機能のデバイスIDを使用してください。

- ポートがETHスイッチに接続されているときに、NCSI/IPMIが有効になっている状態でポートプロトコルをETHからIBに変更することは推奨されません。

回避策：

- スイッチからケーブルを抜きます。
- ドライバーを再起動します。
- 適切なツールを使用して、プロトコルを変更します。

- IPv6上でのRDPは、現在機能しません。

回避策： ソフトウェアのデフォルトのRoCEモードをRoCE v2 (RoCEを使用していない場合も)に設定します。

- Sniffer QP では、“push to that rule”と同等の挿入スキームのあるQPを追加した後に正規のルールを削除できません。
- NICは、56GbEポートリンクのNICポートからケーブルが外れてしまっている場合に、リンクダウンをドライバーに通知しません。

- PCI Physical FunctionごとのBoot Entry Vector (BEV)のみがサポートされているので、最初のポートを無効化すると、二番目のポートも消えてしまいます。
- 100GbE 光ケーブルを使用している場合に、56GbE リンクが起動しません。

修正

2.36.5000での修正:

- ソフトウェアが、デバイスのMACアドレスのいずれかに等しいDMACを持つポーズフレームを送信しようとしたときに、パケット送信がスタックする原因となった問題を修正しました。
- QP代替コンテキストを処理する際に、ファームウェアの内部エラーの原因となった問題を修正しました。
- APMが、QPのポートマッピングを変更したときに、内部ファームウェアエラーの原因となった問題を修正しました。
- TLVに非有効な情報を満たしたときに、NVRAMがスタックする原因となった問題を修正しました。
- SR-IOV VPIでのIBトラフィックの不足の原因となった問題を修正しました。
- 重複した“read request from middle”の処理での競合を修正しました。
- セクターの数が1に設定され、セクターがゼロにされたときに、NVCONFIGが失敗する原因となった問題を修正しました。
- メッセージMTUサイズがQP.mtuより大きかったときに、TXトラフィックが停止する原因となった問題を修正しました。
- MLNX_OEMコマンドGET_TEMPが、max_tempフィールドに誤った値を返しました。
- IPv4トラフィックの上のRDPがドロップする原因となったデフォルトのハードウェア構成問題を修正しました。
- NO-DRAM-NICモードで実行するときに、パフォーマンスの低下を引き起こしたパフォーマンスの問題を修正しました。
- VLANのNC-SIの準拠を有効にするために、INI内のHigh Rate Steeringモードを無効にしました。
- 物理機能内でFLRを初期化する場合の失敗インスタンスを修正しました。
- ケーブルが接続されていない場合、ケーブル情報MAD内で誤って戻されたステータスを修正しました。
- UDPの長さの計算を修正しました。CNPパケット内の誤ったUDP長さは、ICRCの計算ミスの原因でした。
- ECNが有効な場合の完了エラーの問題を修正しました。ECNの使用は、完了キュー(CQ)の順序エラーの原因でした。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.36.5000にアップデートされます。

644161-B21
644160-B21
649282-B21
649281-B21
649283-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.36.5000にアップデートされます。

764282-B21
764283-B21
764284-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.36.5000にアップデートされます。

764285-B21
764286-B21

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるデバイス

HP部品番号	デバイス名	PSID
--------	-------	------

644161-B21	HP InfiniBand FDR/EN 10/40Gbデュアルポート544Mアダプター	HP_0240230019
644160-B21	HP InfiniBand QDR/EN 10Gbデュアルポート544Mアダプター	HP_0250230018
649281-B21	HP InfiniBand FDR/EN 10/40Gb デュアルポート544QSFPアダプター	HP_0280210019
649282-B21	HP InfiniBand FDR/EN 10/40Gb デュアルポート544FLR-QSFPアダプター	HP_0230240019 HP_0230220019
649283-B21	HP InfiniBand QDR/EN 10Gb デュアルポート 544FLR-QSFPアダプター	HP_0230240009 HP_0230220009
764282-B21	HP InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート 544+M アダプター	HP_1350110023
764283-B21	HP InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+M アダプター	HP_1360110017
764284-B21	HP InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFP アダプター	HP_1370110017
764285-B21	HP InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+FLR-QSFP アダプター	HP_1380110017
764286-B21	HP InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート 544+FLR-QSFP アダプター	HP_1390110023

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (Linux x86_64) for HPE Infiniband FDR 2P 545QSFPアダプター (HP部品番号702211-B21)、 HPE Infiniband FDR 2P 545FLR-QSFP アダプター (HP部品番号702212-B21) および HPE Infiniband FDR 2P 545M アダプター (HP部品番号702213-B21)

バージョン: 1.0.5 (B) (推奨)

ファイル名: hp-firmware-hca-mellanox-infiniband-only-1.0.5-3.1.x86_64.rpm

修正

ファームウェアバージョン10.16.1038で、以下の問題を解決しました。:

- RSODバグを修正しました。

ファームウェアバージョン10.14.1100で、以下の問題を解決しました。

- memopマシンへ渡されるリザーブkeyのQP許可を妨げた問題を修正しました。
- WQEのSLがQPのSLと異なっていた際に10.12.0780が発生したMLX QP SLの不一致の処理を修正しました。
- 誤ったSM SL2VL構成の実装を修正しました。
- いくつかのケースで10.12.0780が不適切な完了を送信したDC再接続フローを修正しました。
- DCパフォーマンスの問題を修正しました。DCI SQからのDCR 10.12.0780 SQを分離しました。
- ibdiagnetを実行するときにファームウェアの 10.12.0780 ハングを引き起こす問題を修正しました。受信された DiagData

MAD には以下の数値が含まれていました。

- Clear_all = 1
- PageNum = 0
- Port_select = 0

ファームウェアをハングアップから防ぐために、ポートの確認をSet()に追加しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが10.14.1100にアップデートされます。

702211-B21 (HP Infiniband FDR 2P 545QSFP アダプター)

702212-B21 (HP Infiniband FDR 2P 545FLR-QSFPアダプター)

次のデバイス対応ファームウェアが10.16.1038にアップデートされます :

702213-B21 (HP Infiniband FDR 2P 545Mアダプター)

ファームウェアバージョン10.14.1100での新機能 :

- パケットの作成を記録します。タイムスタンプサービスは、データが特定の時間以前に存在していた証拠のアサーションをサポートします。

- カスタムポートカウンターは、RDMA 送信/受信の統計およびエラーに関する明確な指示をユーザーに提供します。
- 変更に含まれるのは以下：
 - リンク再トレーニング（スピードなど）に必要なポート構成を変更しました。
 - PAOS ダウン/アップ
 - この変更は有効にするためのトグルへのリンクと新しい構成を生じます。
- Flint ユーティリティでは、ファームウェアイメージの非永続セクションのMD5チェックサムを実行できません。

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (Linux x86_64) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード) ConnectX4デバイス - Linux x86_64プラットフォーム

バージョン: 1.0.0 (B) (**推奨**)

ファイル名: hp-firmware-hca-mellanox-vpi-connectx4-1.0.0-3.1.x86_64.rpm

修正

FWバージョン12.16.1038での修正:

- RSOD問題を修正しました。

拡張

ファームウェアバージョン12.16.1038

825110-B21 HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 アダプター

825111-B21 HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28 アダプター

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (Linux x86_64) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード)デバイス - Linux x86_64プラットフォーム

バージョン: 1.0.4 (A) (**推奨**)

ファイル名: hp-firmware-hca-mellanox-vpi-eth-ib-1.0.4-2.1.x86_64.rpm

修正

2.36.5000での修正:

- ソフトウェアが、デバイスのMACアドレスのいずれかに等しいDMACを持つポーズフレームを送信しようとしたときに、パケット送信がスタックする原因となった問題を修正しました。
- QP代替コンテキストを処理する際に、ファームウェアの内部エラーの原因となった問題を修正しました。
- APMが、QPのポートマッピングを変更したときに、内部ファームウェアエラーの原因となった問題を修正しました。
- TLVに非有効な情報を満たしたときに、NVRAMがスタックする原因となった問題を修正しました。
- SR-IOV VPIでのIBトラフィックの不足の原因となった問題を修正しました。
- 重複した“read request from middle”の処理での競合を修正しました。
- セクターの数が1に設定され、セクターがゼロにされたときに、NVCONFIGが失敗する原因となった問題を修正しました。
- メッセージMTUサイズがQP.mtuより大きかったときに、TXトラフィックが停止する原因となった問題を修正しました。
- MLNX_OEMコマンドGET_TEMPが、max_tempフィールドに誤った値を返しました。
- IPv4トラフィックの上のRDPがドロップする原因となったデフォルトのハードウェア構成問題を修正しました。
- NO-DRAM-NICモードで実行するときに、パフォーマンスの低下を引き起こしたパフォーマンスの問題を修正しました。
- VLANのNC-SIの準拠を有効にするために、INI内のHigh Rate Steeringモードを無効にしました。
- 物理機能内でFLRを初期化する場合の失敗インスタンスを修正しました。

- ケーブルが接続されていない場合、ケーブル情報MAD内で誤って戻されたステータスを修正しました。
- UDPの長さの計算を修正しました。CNPパケット内の誤った UDP 長さは、ICRCの計算ミスの原因でした。
- ECN が有効な場合の完了エラーの問題を修正しました。ECNの使用は、完了キュー (CQ)の順序エラーの原因でした。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.36.5000にアップデートされます。

644161-B21
644160-B21
649282-B21
649281-B21
649283-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.36.5000にアップデートされます。

764282-B21
764283-B21
764284-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.36.5000にアップデートされます。

764285-B21
764286-B21

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (Windows x64) for HPE Mellanox ConnectX4 VPI (EthernetおよびInfinibandモード) ConnectX4デバイス - Windows x86_64プラットフォーム

バージョン: 1.0.0.0 (B) **(推奨)**

ファイル名: cp030162.exe

修正

FWバージョン12.16.1038での修正:

- RSOD問題を修正しました。

拡張

ファームウェアバージョン12.16.1038

825110-B21 HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 アダプター

825111-B21 HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28 アダプター

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (Windows x64) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード)デバイス - Windows x86_64プラットフォーム

バージョン: 1.0.0.4 (B) **(推奨)**

ファイル名: cp030161.exe

修正

2.36.5000での修正:

- ソフトウェアが、デバイスのMACアドレスのいずれかに等しいDMACを持つポーズフレームを送信しようとしたときに、パケット送信がスタックする原因となった問題を修正しました。
- QP代替コンテキストを処理する際に、ファームウェアの内部エラーの原因となった問題を修正しました。
- APMが、QPのポートマッピングを変更したときに、内部ファームウェアエラーの原因となった問題を修正しました。

- TLVに非有効な情報を満たしたときに、NVRAMがスタックする原因となった問題を修正しました。
- SR-IOV VPIでのIBトラフィックの不足の原因となった問題を修正しました。
- 重複した “read request from middle” の処理での競合を修正しました。
- セクターの数が1に設定され、セクターがゼロにされたときに、NVCONFIGが失敗する原因となった問題を修正しました。
- メッセージMTUサイズがQP.mtuより大きかったときに、TXトラフィックが停止する原因となった問題を修正しました。
- MLNX_OEMコマンドGET_TEMPが、max_tempフィールドに誤った値を返しました。
- IPv4トラフィックの上のRDPがドロップする原因となったデフォルトのハードウェア構成問題を修正しました。
- NO-DRAM-NICモードで実行するときに、パフォーマンスの低下を引き起こしたパフォーマンスの問題を修正しました。
- VLANのNC-SI の準拠を有効にするために、INI内のHigh Rate Steeringモードを無効にしました。
- 物理機能内でFLR を初期化する場合の失敗インスタンスを修正しました。
- ケーブルが接続されていない場合、ケーブル情報MAD内で誤って戻されたステータスを修正しました。
- UDPの長さの計算を修正しました。CNPパケット内の誤った UDP 長さは、ICRCの計算ミスの原因でした。
- ECN が有効な場合の完了エラーの問題を修正しました。ECNの使用は、完了キュー (CQ)の順序エラーの原因でした。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.36.5000にアップデートされます。

644161-B21
644160-B21
649282-B21
649281-B21
649283-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.36.5000にアップデートされます。

764282-B21
764283-B21
764284-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.36.5000にアップデートされます。

764285-B21
764286-B21

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 6.0) for HPE Mellanox Ethernetアダプター専用
バージョン: 1.0.4 (B) (**推奨**)
ファイル名: CP030619.zip

重要な注意!

FWバージョン2.36.5000での既知の問題:

- v2.30.8000またはそれ以降のバージョンから2.30.8000以前のバージョンにダウングレードするには、サーバーのリポートが必要です。
回避策: サーバーを再起動します。
- ConnectX-3 Ethernet アダプターカードでは、ファームウェア管理ツールによって返されるGUID値とデバイスファームウェアを通してGUIDを読み込むファブリックドライバーユーティリティ (例えば、ibstatを使用) によって返される値の間にミスマッチがあります。ユーティリティがMACアドレスから得られた値を返すとき、Mlxburn/flintはGUIDとして0xffffを返します。すべてのドライバー/ファームウェア/ソフトウェアのために、前者の値が使用されるべきです。
- SBRはConnectX@-3アダプターのために最低50msアサートされる必要があります。
- Pilot1 SL230で、PCIeリンクは時々Gen3の速度に達しません。
回避策: 製品版SL230をPCIe Gen3オペレーションのためには使用するべきです。

- ドライバーの互換性の問題のため、SR-IOVがVPIカードで有効になっている場合、RH6.3インボックスドライバーがカーネルパニックを引き起こします。
- アドバンスステアリングモードで、MCGごとに8以上のQPを持つ場合、サイドバンド管理接続性が失われることがあります。
- システムBIOSでSR-IOVが無効にされたとき、Linuxカーネルv3.8のUbuntu v12.04.3で、Mellanoxを含むいくつかの製造業者のNICが動作しない可能性があるPCI問題が認識されています。

回避策： BIOSのSR-IOVを有効

- MFTツールは、ツール動作が停止を強制された場合にロックされたフラッシュセマフォを残すことがあります。ロックされたセマフォは、ファームウェアがフラッシュヘアクセスすることを妨げ、ファームウェアがハングアップする原因となります。

回避策： セマフォをMFTコマンドでクリアする：`'flint -clear_semaphore'`

- MC2210411-SR4モジュールを使用する場合、ケーブル情報MADは正しくないケーブル情報をレポートします。
- 10C/分以上のスピードで温度が上昇するとGen2が故障します(MT27518A1-FDIR-BVのみ)。
- MT27518A1-FDIR-BVでは10C/分以上のスピードで温度が上昇するとPCIe Gen2リンクが不安定になります。
- Bloomフィルターは、現在サポートされません。
- ファームウェアv2.11.0000からダウングレードし、MFT3.0.0-3を使用する場合、次のメッセージがmlxconfigツールにより表示されます。

You are trying to override configurable FW by non-configurable FW.If you continue, old FW configurations will be cleared, do you want to continue ? (y/n) [n] : y (y/n)[n] :y

You are trying to restore default configuration, do you want to continue ?(y/n) [n] :y

- MLNX-_OFED-2.0.3でInfiniBandを操作する場合、DMFSを有効にしないでください

回避策： MLNX-_OFED-2.1-x.x.xまたはそれ以降にアップグレードしてください。

- VPD読み取り専用のフィールドが書き込み可能です。

回避策： それらを保持したい場合は、読み取り専用フィールドに書き込まないでください。

- port1 FDRおよびport2 40GでVPIモードで作業する場合、エラーカウンターが正常に機能せず、高速に増加します。
- デバイスを128Byte CQ/EQストライドに設定するとサイドバンド管理が正常に機能せず、コミュニケーション消失につながります。
- CQおよびEQを異なるストライドサイズに構成することはできません。
- ConnectX-3 Pro VFデバイスIDは、ドライバーの制限のためのConnectX-3 VFデバイスIDと同じように示されます。

回避策： デバイスを識別するために物理機能のデバイスIDを使用してください。

- PXE (レガシー)をG9サーバーで稼働中のRSOD。これはPXEブートに失敗し、BIOSがHDDからブートするときのみ起こります。現在BIOSの修正は保留中です。
- ポートがETHスイッチに接続されているときに、NCSI/IPMIが有効になっている状態でポートプロトコルをETHからIBに変更することは推奨されません。

回避策：

1. スイッチからケーブルを抜く
2. ドライバーを再起動する
3. 適切なツールを使用してプロトコルを変更する。

- OCBBのMTUの値は正しく表示されていません。OCBBのMTU値はドライバーで表示されているMTU値と異なる可能性があります。OCBBに表示されている値はカードファームウェアにプログラムされている値で、ドライバーによって挿入されたオーバーヘッドバイトを含んでいます。
- IPv6上でのRDPは、現在機能しません。
- Sniffer QP では、“push to that rule”と同等の挿入スキームのあるQPを追加した後に正規のルールを削除できません。
- PCI Physical FunctionごとのBoot Entry Vector (BEV)のみがサポートされているので、最初のポートを無効化すると、二番目のポートも消えてしまいます。
- NICは、56GbEポートリンクのNICポートからケーブルが外れてしまっている場合に、リンクダウンをドライバーに通知しません。
- 100GbE 光ケーブルを使用している場合に、56GbE リンクが起動しません。

FWバージョン14.14.2204での既知の問題：

- 以下のICをベースにしたプラットフォームのリンクを立ち上げるには、以下のファームウェアバージョン要件を遵守してください。

- ConnectX®-3 - 2.32.5100
- SwitchX® - 9.2.7300 (または MLNX-OS 3.3.5006)
- 10GbE リンクを立ち上げようとした際の、ConnectX-4 または ConnectX-4 Lx アダプターカードおよび ConnectX-2 アダプターカード間の相互運用問題。
- PCIe 機能 "Device S/N" が偽値を返しています。
- リンクがGen2の場合、L1ステートに入るか出るかすると、間違ったCRCまたはDLLPの表示の原因となることがあります。
- 構成スペースパワー管理機能 PME_EN を設定できません。
- サーバーリセット中 (電源再投入以外) 、 non-maskable interrupt (NMI) は、PCIe アクセスによる Option Card Black Box (OCBB) 問題が発生する場合があります。
- PF ダイレクトパススルーはサポートされていません (PF FLR がサポートされていないため)
- 最新のポートオーナーホストがドライバーを再起動した後、いくつかのPort Control Register は、デフォルト値に戻りません。
回避策: ドライバーを再起動またはリセットします。
- 古い MFT バージョン (4.0.0 および 3.8.0) は、最新のGAファームウェアが古い、または既存のファームウェアと比較できないことを示しています。
下記と同様のメッセージが、ファームウェアアップグレードステージに表示されます:
flint -d -i burn
Current FW version on flash:12.1100.6630
New FW version:
12.0012.0572
Note:The new FW version is not newer than the current FW version on flash.
Do you want to continue?(y/n) [n] :y
回避策: ファームウェアをアップグレードするために下記オプションの1つを選択します:
 - 最新 MFT バージョン (4.1.0)へアップグレードします
 - flintのNoteが、"-force" フラグでflintを実行することを示した後に、"y"を入力します
- QP.force_loopback が1に等しいためにループバックされるトラフィックは、PFへ進みます。
- 最小 200 LFM は、MCX4411A-ACAN アダプターカードを冷却するために必要です。
- mlxfwreset は、ファームウェアイメージをアップグレードした後に、古いMFTバージョンで正しく機能しません
回避策: 最新リリースに MFT をアップグレードするか、ファームウェアをアップグレードした後、再起動/電源再投入します。
- Windows Server 2016 Inbox ドライバーは、ファームウェア v14.12.0780で動作しません
回避策: WinOF-2 v1.20 out-of-box ドライバーを使用します。
- ファームウェアをフラッシュするにはサーバーの再起動が必要です。ファームウェアを、最初のフラッシュ後、サーバーを再起動しないと2回目のフラッシュができません
回避策: ファームウェアのフラッシュ後にサーバーを再起動します。
- 制限イベントの SRQ をアーミングする場合、デバイスは、context_index=0 のイベントを発行する場合があります。
- set_hca_capコマンドの log_max_ra_res_qp の値は、全ての機能で同一としてください。
- 機能 (PF/VF) TX ポートカウンターはサポートされていません。
- PF ドライバーは、ページイベントキューで動作しなければなりません。
- SR-IOV イーサーネットは、1ポートにつき最大18 VF をサポートします。
- Privileged Vport egress信号は、Vport が有効でない場合ブロックされません
- VportカウンターはVportを横切るトラフィックのみをカウントする必要があるが、ローカル (内部) ループバックパケットがVportカウンターによりカウントされます。
- バーチャルトラップの Vport ナンバーは、正しく報告されない場合があります
- untagged および prio-tagged パケットを取得する Single FTE(match_value.vlan_tag = 0 および match_value.vid = 0 にFTEを与えることで)は現在サポートされていません。
- SM with VL weight 0 on some VL を構成し、その信号を実行することで、アップロード中にハングするドライバーの原因となります。
- OCBB は、最新の iLO バージョンで表示されません。
- 10GbE ケーブルが、SFF-8472 に準拠していないものがあります。"SFP+ Cable Technology" ビットはクリアとなっています。
- Clause 74 Fire-Code FEC が有効である場合、FC_correctable カウンターおよび FC_uncorrectable カウンターが増加する、エラーが修正されたFCがあります。

- Windows NMI は、OCBBメモリアクセスランザクションの結果として再起動の繰り返しが発生する場合があります。
- end_padding_mode は、PRMで定義されたINIT_2_RTR コマンドではなく、CREATE_QP 内で必要となります
- LR4 ケーブルイベントは、ポートがアップしても送信されます。
- UEFI 起動サイクル中に、winPE がロードされている間、まれにシステムが動かなくなることがあります。
(OS WinPE、システム DL160) **回避策**：電源再投入でシステムを回復させます。

修正

2.36.5000での修正:

- ソフトウェアが、デバイスのMACアドレスのいずれかに等しいDMACを持つポーズフレームを送信しようとしたときに、パケット送信がスタックする原因となった問題を修正しました。
- QP代替コンテキストを処理する際に、ファームウェアの内部エラーの原因となった問題を修正しました。
- APMが、QPのポートマッピングを変更したときに、内部ファームウェアエラーの原因となった問題を修正しました。
- TLVに非有効な情報を満たしたときに、NVRAMがスタックする原因となった問題を修正しました。
- SR-IOV VPIでのIBトラフィックの不足の原因となった問題を修正しました。
- 重複した“read request from middle”の処理での競合を修正しました。
- セクターの数が1に設定され、セクターがゼロにされたときに、NVCONFIGが失敗する原因となった問題を修正しました。
- メッセージMTUサイズがQP.mtuより大きかったときに、TXトラフィックが停止する原因となった問題を修正しました。
- MLNX_OEMコマンドGET_TEMPが、max_tempフィールドに誤った値を返しました。
- IPv4トラフィックの上のRDPがドロップする原因となったデフォルトのハードウェア構成問題を修正しました。
- VLANのNC-SI の準拠を有効にするために、INI内のHigh Rate Steeringモードを無効にしました。
- 物理機能内でFLR を初期化する場合の失敗インスタンスを修正しました。
- ケーブルが接続されていない場合、ケーブル情報MAD内で誤って戻されたステータスを修正しました。
- UDPの長さの計算を修正しました。CNPパケット内の誤った UDP 長さは、ICRCの計算ミスの原因でした。
- ECN が有効な場合の完了エラーの問題を修正しました。ECNの使用は、完了キュー (CQ)の順序エラーの原因でした。

14.14.2204での修正:

- MACアドレスの変更が阻止される問題をドライバーをOBCCとNC-SIのインターフェイスに反映させることで修正しました。
- IOPXサーマルダイオードが不安定な状態にならないようにする保護機能を追加し、ConnectX-4 Lx 25GEカード上のUEFIのIPv6 PXEブートの失敗を防止しました。
- ポート1からケーブルを引き抜いている間に、ポート2リンクのダウンを引き起こす問題を修正しました。
- ビットエラーレートが10G/40Gリンク上で最適ではないことがあります。
- 100G自動ネゴシエーションの間に発生するリンクトレーニングフローの不安定が修正されました。
- RESETにQPを移動し、RTSに戻すときに、コマンドのハングを引き起こすまれな問題を修正しました。
- パケットの喪失シナリオ下のRDMA READ帯域幅が改善されました。
- ibdiagnetツールで必要とされるpnat = 1 in HCA access_regコマンドに対するサポートを追加しました。
- LLDP OCBB応答が修正されました： 戻り値は現在asciiです。
- PXEサイクルの間にまれに生じるNMI問題が修正されました。
- ステアリングハッシュテーブルの静的サイズを、128から最大32Kエントリーまで増加しました。
- 100Gb/sケーブルの使用中に生じるモジュール温度の誤計算を防止しました (OPN:MFA1A00-Cxxx for 100GbE)。
- パイプのバランスをステアリングするUnicast RXステアリングをone hop下げました。
- 50倍以上のポートタイプTLVの非揮発性構成はシステムハングの原因となります。
- RoCE IPv4マルチキャストが有効化されました。これは、IPv4がIPv6アドレスに対してマップされている場合に、MCGコマンドが失敗するのを防止します。

- PFドライバーまたはツール（例えば、ethtool）がPAOS DOWNコマンド（例えば、ifconfig downまたはip link set down）を使用している場合、ループバックトラフィックは、このポート（PF<->VFs / VF<->VF）上のすべての機能をブロックします。マルチホストループバックでは、このトラフィックは、ファームウェアがすべてのPFからPAOS downコマンドを受け取ると、ブロックされます。しかし、ループバックトラフィックは、物理リンクが原因でダウンする場合にはブロックされません（例えば：ケーブルが抜かれていて、スイッチポートがダウンしている場合）
- Clause 91 RS FEC がアクティブな場合の25G および 50G リンク問題を修正しました。
- 次にくるドライバーロードの失敗または送信不能の原因となる、FLRのeSwitchキャッシュ喪失無効化を追加しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.36.5000にアップデートされます。

779799-B21 (HP Ethernet 10G 2ポート 546FLR-SFP+ アダプター)

779793-B21 (HP Ethernet 10G 2ポート 546SFP+ アダプター)

バージョン2.36.5000の新機能および変更：

- Ethertype 一致に基づきキューを受信するためのステアリングパケットを有効にします (詳細はPRM 2.1 参照)。
- 追加のレート値のサポートを追加しました
- エラーの原因となる送信 WQE キャッシュ検索の繰り返し数を計算するカウンター。
- Flint ユーティリティでは、ファームウェアイメージの非永続セクションのMD5チェックサムを実行できます。

次のデバイス用のファームウェアが14.14.2204にアップデートされます。

817749-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28 アダプター)

817753-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター)

バージョン14.14.2204の新機能および変更：

- OCBB更新率が減少しました。

サポートしているデバイスおよび機能

HP部品番号	InfiniBandカードタイプ	PSID
779793-B21	HP Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター	HP_1200111023
779799-B21	HP Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター	HP_2240110004
817749-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28 アダプター	HP_2690110034
817753-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター	HP_2420110034

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Linux x86_64) for HPE Mellanox Ethernetアダプター専用

バージョン: 1.0.4 (B) (推奨)

ファイル名: hp-firmware-nic-mellanox-ethernet-only-1.0.4-3.1.x86_64.rpm

重要な注意！

FWバージョン2.36.5000での既知の問題：

- v2.30.8000またはそれ以降のバージョンから2.30.8000以前のバージョンにダウングレードするには、サーバーのリブートが必要です。
回避策：サーバーを再起動します。
- ConnectX-3 Ethernet アダプターカードでは、ファームウェア管理ツールによって返されるGUID値とデバイスファームウェアを通してGUIDを読み込むファブリック/ドライバーユーティリティ（例えば、ibstatを使用）によって返される値の間にミスマッチがあります。ユーティリティがMACアドレスから得られた値を返

すとき、Mlxburn/flintはGUIDとして0xffffを返します。すべてのドライバー/ファームウェア/ソフトウェアのために、前者の値が使用されるべきです。

- SBRはConnectX@-3アダプターのために最低50msアサートされる必要があります。
- Pilot1 SL230で、PCIeリンクは時々Gen3の速度に達しません。

回避策： 製品版SL230をPCIe Gen3オペレーションのためには使用するべきです。

- ドライバーの互換性の問題のため、SR-IOVがVPIカードで有効になっている場合、RH6.3インボックスドライバーがカーネルパニックを引き起こします。
- アドバンスステアリングモードで、MCGごとに8以上のQPを持つ場合、サイドバンド管理接続性が失われることがあります。
- システムBIOSでSR-IOVが無効にされたとき、Linuxカーネルv3.8のUbuntu v12.04.3で、Mellanoxを含むいくつかの製造業者のNICが動作しない可能性があるPCI問題が認識されています。

回避策： BIOSのSR-IOVを有効

- MFTツールは、ツール動作が停止を強制された場合にロックされたフラッシュセマフォを残すことがあります。ロックされたセマフォは、ファームウェアがフラッシュヘアクセスすることを妨げ、ファームウェアがハングアップする原因となります。

回避策： セマフォをMFTコマンドでクリアする：`'flint -clear_semaphore'`

- MC2210411-SR4モジュールを使用する場合、ケーブル情報MADは正しくないケーブル情報をレポートします。
- 10C/分以上のスピードで温度が上昇するとGen2が故障します(MT27518A1-FDIR-BVのみ)。
- MT27518A1-FDIR-BVでは10C/分以上のスピードで温度が上昇するとPCIe Gen2リンクが不安定になります。
- Bloomフィルターは、現在サポートされません。
- ファームウェアv2.11.0000からダウングレードし、MFT3.0.0-3を使用する場合、次のメッセージがmlxconfigツールにより表示されます。

You are trying to override configurable FW by non-configurable FW.If you continue, old FW configurations will be cleared, do you want to continue ? (y/n) [n] : y (y/n)[n] :y

You are trying to restore default configuration, do you want to continue ?(y/n) [n] :y

- MLNX_OFED-2.0.3でInfiniBandを操作する場合、DMFSを有効にしないでください

回避策： MLNX_OFED-2.1-x.x.xまたはそれ以降にアップグレードしてください。

- VPD読み取り専用のフィールドが書き込み可能です。

回避策： それらを保持したい場合は、読み取り専用フィールドに書き込まないでください。

- port1 FDRおよびport2 40GでVPIモードで作業する場合、エラーカウンターが正常に機能せず、高速に増加します。
- デバイスを128Byte CQ/EQストライドに設定するとサイドバンド管理が正常に機能せず、コミュニケーション消失につながります。
- CQおよびEQを異なるストライドサイズに構成することはできません。
- ConnectX-3 Pro VFデバイスIDは、ドライバーの制限のためのConnectX-3 VFデバイスIDと同じように示されます。

回避策： デバイスを識別するために物理機能のデバイスIDを使用してください。

- PXE (レガシー)をG9サーバーで稼働中のRSOD。これはPXEブートに失敗し、BIOSがHDDからブートするときのみ起こります。現在BIOSの修正は保留中です。
- ポートがETHスイッチに接続されているときに、NCSI/IPMIが有効になっている状態でポートプロトコルをETHからIBに変更することは推奨されません。

回避策：

1. スイッチからケーブルを抜く
2. ドライバーを再起動する
3. 適切なツールを使用してプロトコルを変更する。

- OCBBのMTUの値は正しく表示されていません。OCBBのMTU値はドライバーで表示されているMTU値と異なる可能性があります。OCBBに表示されている値はカードファームウェアにプログラムされている値で、ドライバーによって挿入されたオーバーヘッドバイトを含んでいます。
- IPv6上でのRDPは、現在機能しません。
- Sniffer QP では、“push to that rule”と同等の挿入スキームのあるQPを追加した後に正規のルールを削除できません。
- PCI Physical FunctionごとのBoot Entry Vector (BEV)のみがサポートされているので、最初のポートを無効化すると、二番目のポートも消えてしまいます。
- NICは、56GbEポートリンクのNICポートからケーブルが外れてしまっている場合に、リンクダウンをドライバーに通知しません。
- 100GbE 光ケーブルを使用している場合に、56GbE リンクが起動しません。

FWバージョン14.14.2204での既知の問題：

- 以下のICをベースにしたプラットフォームのリンクを立ち上げるには、以下のファームウェアバージョン要件を遵守してください。
 - ConnectX®-3 - 2.32.5100
 - SwitchX® - 9.2.7300 (または MLNX-OS 3.3.5006)
- 10GbE リンクを立ち上げようとした際の、ConnectX-4 または ConnectX-4 Lx アダプターカードおよび ConnectX-2 アダプターカード間の相互運用問題。
- PCIe 機能 “Device S/N” が偽値を返しています。
- リンクがGen2の場合、L1ステートに入るか出るかすると、間違ったCRCまたはDLLPの表示の原因となることがあります。
- 構成スペースパワー管理機能 PME_EN を設定できません。
- サーバーリセット中（電源再投入以外）、non-maskable interrupt (NMI) は、PCIe アクセスによる Option Card Black Box (OCBB) 問題が発生する場合があります。
- PF ダイレクトパススルーはサポートされていません（PF FLR がサポートされていないため）
- 最新のポートオーナーホストがドライバーを再起動した後、いくつかのPort Control Register は、デフォルト値に戻りません。
回避策： ドライバーを再起動またはリセットします。
- 古い MFT バージョン (4.0.0 および 3.8.0) は、最新のGAファームウェアが古い、または既存のファームウェアと比較できないことを示しています。
下記と同様のメッセージが、ファームウェアアップグレードステージに表示されます：
flint -d -i burn
Current FW version on flash:12.1100.6630
New FW version:
12.0012.0572
Note:The new FW version is not newer than the current FW version on flash.
Do you want to continue?(y/n) [n] :y
回避策： ファームウェアをアップグレードするために下記オプションの1つを選択します：
 - 最新 MFT バージョン (4.1.0)へアップグレードします
 - flintのNoteが、
"-force" フラグでflintを実行することを示した後に、
“y”を入力します
- QP.force_loopback が1に等しいためにループバックされるトラフィックは、PFへ進みます。
- 最小 200 LFM は、MCX4411A-ACAN アダプターカードを冷却するために必要です。
- mlxfwreset は、ファームウェアイメージをアップグレードした後に、古いMFTバージョンで正しく機能しません
回避策： 最新リリースに MFT をアップグレードするか、ファームウェアをアップグレードした後、再起動/電源再投入します。
- Windows Server 2016 Inbox ドライバーは、ファームウェア v14.12.0780で動作しません
回避策： WinOF-2 v1.20 out-of-box ドライバーを使用します。
- ファームウェアをフラッシュするにはサーバーの再起動が必要です。ファームウェアを、最初のフラッシュ後、サーバーを再起動しないと2回目のフラッシュができません
回避策： ファームウェアのフラッシュ後にサーバーを再起動します。
- 制限イベントの SRQ をアーミングする場合、デバイスは、context_index=0 のイベントを発行する場合があります。
- set_hca_capコマンドの log_max_ra_res_qp の値は、全ての機能で同一としてください。
- 機能 (PF/VF) TX ポートカウンターはサポートされていません。
- PF ドライバーは、ページイベントキューで動作しなければなりません。
- SR-IOV イーサーネットは、1ポートにつき最大18 VF をサポートします。
- Privileged Vport egress信号は、Vport が有効でない場合ブロックされません
- VportカウンターはVportを横切るトラフィックのみをカウントする必要があるが、ローカル（内部）ループバックパケットがVportカウンターによりカウントされます。
- バーチャルトラップの Vport ナンバーは、正しく報告されない場合があります
- untagged および prio-tagged パケットを取得する Single FTE(match_value.vlan_tag = 0 および match_value.vid = 0 にFTEを与えることで)は現在サポートされていません。
- SM with VL weight 0 on some VL を構成し、その信号を実行することで、アップロード中にハングするドライバーの原因となります。
- OCBB は、最新の iLO バージョンで表示されません。

- 10GbE ケーブルが、SFF-8472 に準拠していないものがあります。"SFP+ Cable Technology" ビットはクリアとなっています。
- Clause 74 Fire-Code FEC が有効である場合、FC_correctable カウンターおよび FC_uncorrectable カウンターが増加する、エラーが修正されたFCがあります。
- Windows NMI は、OCBBメモリアクセスランザクションの結果として再起動の繰り返しが発生する場合があります。
- end_padding_mode は、PRMで定義されたINIT_2_RTR コマンドではなく、CREATE_QP 内で必要となります。
- LR4 ケーブルイベントは、ポートがアップしても送信されます。
- UEFI 起動サイクル中に、winPE がロードされている間、まれにシステムが動かなくなることがあります。(OS WinPE、システム DL160) **回避策**：電源再投入でシステムを回復させます。

修正

2.36.5000での修正:

- ソフトウェアが、デバイスのMACアドレスのいずれかに等しいDMACを持つポーズフレームを送信しようとしたときに、パケット送信がスタックする原因となった問題を修正しました。
- QP代替コンテキストを処理する際に、ファームウェアの内部エラーの原因となった問題を修正しました。
- APMが、QPのポートマッピングを変更したときに、内部ファームウェアエラーの原因となった問題を修正しました。
- TLVに非有効な情報を満たしたときに、NVRAMがスタックする原因となった問題を修正しました。
- SR-IOV VPIでのIBトラフィックの不足の原因となった問題を修正しました。
- 重複した "read request from middle" の処理での競合を修正しました。
- セクターの数が1に設定され、セクターがゼロにされたときに、NVCONFIGが失敗する原因となった問題を修正しました。
- メッセージMTUサイズがQP.mtuより大きかったときに、TXトラフィックが停止する原因となった問題を修正しました。
- MLNX_OEMコマンドGET_TEMPが、max_tempフィールドに誤った値を返しました。
- IPv4トラフィックの上のRDPがドロップする原因となったデフォルトのハードウェア構成問題を修正しました。
- VLANのNC-SI の準拠を有効にするために、INI内のHigh Rate Steeringモードを無効にしました。
- 物理機能内でFLR を初期化する場合の失敗インスタンスを修正しました。
- ケーブルが接続されていない場合、ケーブル情報MAD内で誤って戻されたステータスを修正しました。
- UDPの長さの計算を修正しました。CNPパケット内の誤った UDP 長さは、ICRCの計算ミスの原因でした。
- ECN が有効な場合の完了エラーの問題を修正しました。ECNの使用は、完了キュー (CQ)の順序エラーの原因でした。

14.14.2204での修正:

- MACアドレスの変更が阻止される問題をドライバーをOBCCとNC-SIのインターフェイスに反映させることで修正しました。
- IOPXサーマルダイオードが不安定な状態にならないようにする保護機能を追加し、ConnectX-4 Lx 25GEカード上のUEFIのIPv6 PXEブートの失敗を防止しました。
- ポート1からケーブルを引き抜いている間に、ポート2リンクのダウンを引き起こす問題を修正しました。
- ビットエラーレートが10G/40Gリンク上で最適ではないことがあります。
- 100G自動ネゴシエーションの間に発生するリンクトレーニングフローの不安定が修正されました。
- RESETにQPを移動し、RTSに戻すときに、コマンドのハングを引き起こすまれな問題を修正しました。
- パケットの喪失シナリオ下のRDMA READ帯域幅が改善されました。
- ibdiagnetツールで必要とされるpnat = 1 in HCA access_regコマンドに対するサポートを追加しました。
- LLDP OCBB応答が修正されました： 戻り値は現在asciiです。
- PXEサイクルの間にまれに生じるNMI問題が修正されました。
- ステアリングハッシュテーブルの静的サイズを、128から最大32Kエントリーまで増加しました。
- 100Gb/sケーブルの使用中に生じるモジュール温度の誤計算を防止しました (OPN:MFA1A00-Cxxx for 100GbE)。
- パイプのバランスをステアリングするUnicast RXステアリングをone hop下げました。

- 50倍以上のポートタイプTLVの非揮発性構成はシステムハングの原因となります。
- RoCE IPv4マルチキャストが有効化されました。これは、IPv4がIPv6アドレスに対してマップされている場合に、MCGコマンドが失敗するのを防止します。
- PFドライバーまたはツール（例えば、ethtool）がPAOS DOWNコマンド（例えば、ifconfig downまたはip link set down）を使用している場合、ループバックトラフィックは、このポート（PF<->VFs / VF<->VF）上のすべての機能をブロックします。マルチホストループバックでは、このトラフィックは、ファームウェアがすべてのPFからPAOS downコマンドを受け取ると、ブロックされます。しかし、ループバックトラフィックは、物理リンクが原因でダウンする場合にはブロックされません（例えば：ケーブルが抜かれていて、スイッチポートがダウンしている場合）
- Clause 91 RS FEC がアクティブな場合の25G および 50G リンク問題を修正しました。
- 次にくるドライバーロードの失敗または送信不能の原因となる、FLRのeSwitchキャッシュ喪失無効化を追加しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.36.5000にアップデートされます。

779799-B21 (HP Ethernet 10G 2ポート 546FLR-SFP+ アダプター)

779793-B21 (HP Ethernet 10G 2ポート 546SFP+ アダプター)

バージョン2.36.5000の新機能および変更：

- Ethertype 一致に基づきキューを受信するためのステアリングパケットを有効にします (詳細はPRM 2.1 参照)。
- 追加のレート値のサポートを追加しました
- エラーの原因となる送信 WQE キャッシュ検索の繰り返し数を計算するカウンター。
- Flint ユーティリティでは、ファームウェアイメージの非永続セクションのMD5チェックサムを実行できます。

次のデバイス用のファームウェアが14.14.2204にアップデートされます。

817749-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28 アダプター)

817753-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター)

バージョン14.14.2204の新機能および変更：

- OCB更新率が減少しました。

サポートしているデバイスおよび機能

HP部品番号	InfiniBandカードタイプ	PSID
779793-B21	HP Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター	HP_1200111023
779799-B21	HP Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター	HP_2240110004
817749-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28 アダプター	HP_2690110034
817753-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター	HP_2420110034

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Windows x64) for HPE Mellanox Ethernetアダプター専用

バージョン: 1.0.0.4 (C) (推奨)

ファイル名: cp030631.exe

重要な注意！

FWバージョン2.36.5000での既知の問題：

- v2.30.8000またはそれ以降のバージョンから2.30.8000以前のバージョンにダウングレードするには、サーバーのリポートが必要です。

回避策：サーバーを再起動します。

- ConnectX-3 Ethernet アダプターカードでは、ファームウェア管理ツールによって返されるGUID値とデバイスファームウェアを通してGUIDを読み込むファブリック/ドライバーユーティリティ（例えば、ibstatを使用）によって返される値の間にミスマッチがあります。ユーティリティがMACアドレスから得られた値を返すとき、Mlxburn/flintはGUIDとして0xffffを返します。すべてのドライバー/ファームウェア/ソフトウェアのために、前者の値が使用されるべきです。
- SBRはConnectX@-3アダプターのために最低50msアサートされる必要があります。
- Pilot1 SL230で、PCIeリンクは時々Gen3の速度に達しません。
回避策： 製品版SL230をPCIe Gen3オペレーションのためには使用するべきです。
- ドライバーの互換性の問題のため、SR-IOVがVPIカードで有効になっている場合、RH6.3インボックスドライバーがカーネルパニックを引き起こします。
- アドバンスドステアリングモードで、MCGごとに8以上のQPを持つ場合、サイドバンド管理接続性が失われることがあります。
- システムBIOSでSR-IOVが無効にされたとき、Linuxカーネルv3.8のUbuntu v12.04.3で、Mellanoxを含むいくつかの製造業者のNICが動作しない可能性があるPCI問題が認識されています。
回避策： BIOSのSR-IOVを有効
- MFTツールは、ツール動作が停止を強制された場合にロックされたフラッシュセマフォを残すことがあります。ロックされたセマフォは、ファームウェアがフラッシュヘアクセスすることを妨げ、ファームウェアがハングアップする原因となります。
回避策： セマフォをMFTコマンドでクリアする：'flint -clear_semaphore'
- MC2210411-SR4モジュールを使用する場合、ケーブル情報MADは正しくないケーブル情報をレポートします。
- 10C/分以上のスピードで温度が上昇するとGen2が故障します(MT27518A1-FDIR-BVのみ)。
- MT27518A1-FDIR-BVでは10C/分以上のスピードで温度が上昇するとPCIe Gen2リンクが不安定になります。
- Bloomフィルターは、現在サポートされません。
- ファームウェアv2.11.0000からダウングレードし、MFT3.0.0-3を使用する場合、次のメッセージがmlxconfigツールにより表示されます。
You are trying to override configurable FW by non-configurable FW.If you continue, old FW configurations will be cleared, do you want to continue ? (y/n) [n] : y (y/n)[n] :y
You are trying to restore default configuration, do you want to continue ?(y/n) [n] :y
- MLNX-_OFED-2.0.3でInfiniBandを操作する場合、DMFSを有効にしないでください
回避策： MLNX-_OFED-2.1-x.x.xまたはそれ以降にアップグレードしてください。
- VPD読み取り専用のフィールドが書き込み可能です。
回避策： それらを保持したい場合は、読み取り専用フィールドに書き込まないでください。
- port1 FDRおよびport2 40GでVPIモードで作業する場合、エラーカウンターが正常に機能せず、高速に増加します。
- デバイスを128Byte CQ/EQストライドに設定するとサイドバンド管理が正常に機能せず、コミュニケーション消失につながります。
- CQおよびEQを異なるストライドサイズに構成することはできません。
- ConnectX-3 Pro VFデバイスIDは、ドライバーの制限のためのConnectX-3 VFデバイスIDと同じように示されます。
回避策： デバイスを識別するために物理機能のデバイスIDを使用してください。
- PXE (レガシー)をG9サーバーで稼働中のRSOD。これはPXEブートに失敗し、BIOSがHDDからブートするときのみ起こります。現在BIOSの修正は保留中です。
- ポートがETHスイッチに接続されているときに、NCSI/IPMIが有効になっている状態でポートプロトコルをETHからIBに変更することは推奨されません。
回避策：
1. スイッチからケーブルを抜く
2. ドライバーを再起動する
3. 適切なツールを使用してプロトコルを変更する。
- OCBBのMTUの値は正しく表示されていません。OCBBのMTU値はドライバーで表示されているMTU値と異なる可能性があります。OCBBに表示されている値はカードファームウェアにプログラムされている値で、ドライバーによって挿入されたオーバーヘッドバイトを含んでいます。
- IPv6上でのRDPは、現在機能しません。
- Sniffer QP では、“push to that rule”と同等の挿入スキームのあるQPを追加した後に正規のルールを削除できません。
- PCI Physical FunctionごとのBoot Entry Vector (BEV)のみがサポートされているので、最初のポートを無効化すると、二番目のポートも消えてしまいます。

- NICは、56GbEポートリンクのNICポートからケーブルが外れてしまっている場合に、リンクダウンをドライバーに通知しません。
- 100GbE 光ケーブルを使用している場合に、56GbE リンクが起動しません。

FWバージョン14.14.2204での既知の問題：

- 以下のICをベースにしたプラットフォームのリンクを立ち上げるには、以下のファームウェアバージョン要件を遵守してください。
 - ConnectX®-3 - 2.32.5100
 - SwitchX® - 9.2.7300 (または MLNX-OS 3.3.5006)
- 10GbE リンクを立ち上げようとした際の、ConnectX-4 または ConnectX-4 Lx アダプターカードおよび ConnectX-2 アダプターカード間の相互運用問題。
- PCIe 機能 "Device S/N" が偽値を返しています。
- リンクがGen2の場合、L1ステートに入るか出るかすると、間違ったCRCまたはDLLPの表示の原因となることがあります。
- 構成スペースパワー管理機能 PME_EN を設定できません。
- サーバーリセット中 (電源再投入以外)、non-maskable interrupt (NMI) は、PCIe アクセスによる Option Card Black Box (OCBB) 問題が発生する場合があります。
- PF ダイレクトパススルーはサポートされていません (PF FLR がサポートされていないため)
- 最新のポートオーナーホストがドライバーを再起動した後、いくつかのPort Control Register は、デフォルト値に戻りません。

回避策： ドライバーを再起動またはリセットします。
- 古い MFT バージョン (4.0.0 および 3.8.0) は、最新のGAファームウェアが古い、または既存のファームウェアと比較できないことを示しています。

下記と同様のメッセージが、ファームウェアアップグレードステージに表示されます：

```
# flint -d -i burn
Current FW version on flash:12.1100.6630
New FW version:
12.0012.0572
Note:The new FW version is not newer than the current FW version on
flash.
Do you want to continue?(y/n) [n] :y
```

回避策： ファームウェアをアップグレードするために下記オプションの1つを選択します：

 - 最新 MFT バージョン (4.1.0)へアップグレードします
 - flintのNoteが、"-force" フラグでflintを実行することを示した後に、"y"を入力します
- QP.force_loopback が1に等しいためにループバックされるトラフィックは、PFへ進みます。
- 最小 200 LFM は、MCX4411A-ACAN アダプターカードを冷却するために必要です。
- mlxfwreset は、ファームウェアイメージをアップグレードした後に、古いMFTバージョンで正しく機能しません

回避策： 最新リリースに MFT をアップグレードするか、ファームウェアをアップグレードした後、再起動/電源再投入します。
- Windows Server 2016 Inbox ドライバーは、ファームウェア v14.12.0780で動作しません

回避策： WinOF-2 v1.20 out-of-box ドライバーを使用します。
- ファームウェアをフラッシュするにはサーバーの再起動が必要です。ファームウェアを、最初のフラッシュ後、サーバーを再起動しないと2回目のフラッシュができません

回避策： ファームウェアのフラッシュ後にサーバーを再起動します。
- 制限イベントの SRQ をアーミングする場合、デバイスは、context_index=0 のイベントを発行する場合があります。
- set_hca_capコマンドの log_max_ra_res_qp の値は、全ての機能で同一としてください。
- 機能 (PF/VF) TX ポートカウンターはサポートされていません。
- PF ドライバーは、ページイベントキューで動作しなければなりません。
- SR-IOV イーサネットは、1ポートにつき最大18 VF をサポートします。
- Privileged Vport egress信号は、Vport が有効でない場合ブロックされません
- VportカウンターはVportを横切るトラフィックのみをカウントする必要があるが、ローカル (内部) ループバックパケットがVportカウンターによりカウントされます。
- バーチャルトラップの Vport ナンバーは、正しく報告されない場合があります

- untagged および prio-tagged パケットを取得する Single FTE(match_value.vlan_tag = 0 および match_value.vid = 0 にFTEを与えることで)は現在サポートされていません。
- SM with VL weight 0 on some VL を構成し、その信号を実行することで、アップロード中にハングするドライバーの原因となります。
- OCBB は、最新の iLO バージョンで表示されません。
- 10GbE ケーブルが、SFF-8472 に準拠していないものがあります。"SFP+ Cable Technology" ビットはクリアとなっています。
- Clause 74 Fire-Code FEC が有効である場合、FC_correctable カウンターおよび FC_uncorrectable カウンターが増加する、エラーが修正されたFCがあります。
- Windows NMI は、OCBBメモリアクセストランザクションの結果として再起動の繰り返しが発生する場合があります。
- end_padding_mode は、PRMで定義されたINIT_2_RTR コマンドではなく、CREATE_QP 内で必要となります
- LR4 ケーブルイベントは、ポートがアップしても送信されます。
- UEFI 起動サイクル中に、winPE がロードされている間、まれにシステムが動かなくなることがあります。(OS WinPE、システム DL160) **回避策**：電源再投入でシステムを回復させます。

修正

2.36.5000での修正:

- ソフトウェアが、デバイスのMACアドレスのいずれかに等しいDMACを持つポーズフレームを送信しようとしたときに、パケット送信がスタックする原因となった問題を修正しました。
- QP代替コンテキストを処理する際に、ファームウェアの内部エラーの原因となった問題を修正しました。
- APMが、QPのポートマッピングを変更したときに、内部ファームウェアエラーの原因となった問題を修正しました。
- TLVに非有効な情報を満たしたときに、NVRAMがスタックする原因となった問題を修正しました。
- SR-IOV VPIでのIBトラフィックの不足の原因となった問題を修正しました。
- 重複した "read request from middle" の処理での競合を修正しました。
- セクターの数が1に設定され、セクターがゼロにされたときに、NVCONFIGが失敗する原因となった問題を修正しました。
- メッセージMTUサイズがQP.mtuより大きかったときに、TXトラフィックが停止する原因となった問題を修正しました。
- MLNX_OEMコマンドGET_TEMPが、max_tempフィールドに誤った値を返しました。
- IPv4トラフィックの上のRDPがドロップする原因となったデフォルトのハードウェア構成問題を修正しました。
- VLANのNC-SI の準拠を有効にするために、INI内のHigh Rate Steeringモードを無効にしました。
- 物理機能内でFLR を初期化する場合の失敗インスタンスを修正しました。
- ケーブルが接続されていない場合、ケーブル情報MAD内で誤って戻されたステータスを修正しました。
- UDPの長さの計算を修正しました。CNPパケット内の誤った UDP 長さは、ICRCの計算ミスの原因でした。
- ECN が有効な場合の完了エラーの問題を修正しました。ECNの使用は、完了キュー (CQ)の順序エラーの原因でした。

14.14.2204での修正:

- MACアドレスの変更が阻止される問題をドライバーをOBCCとNC-SIのインターフェイスに反映させることで修正しました。
- IOPXサーマルダイオードが不安定な状態にならないようにする保護機能を追加し、ConnectX-4 Lx 25GEカード上のUEFIのIPv6 PXEブートの失敗を防止しました。
- ポート1からケーブルを引き抜いている間に、ポート2リンクのダウンを引き起こす問題を修正しました。
- ビットエラーレートが10G/40Gリンク上で最適ではないことがあります。
- 100G自動ネゴシエーションの間に発生するリンクトレーニングフローの不安定が修正されました。
- RESETにQPを移動し、RTSに戻すときに、コマンドのハングを引き起こすまれな問題を修正しました。
- パケットの喪失シナリオ下のRDMA READ帯域幅が改善されました。
- ibdiagnetツールで必要とされるpnat = 1 in HCA access_regコマンドに対するサポートを追加しました。
- LLDP OCBB応答が修正されました： 戻り値は現在asciiです。

- PXEサイクルの間にまれに生じるNMI問題が修正されました。
- ステアリングハッシュテーブルの静的サイズを、128から最大32Kエントリまで増加しました。
- 100Gb/sケーブルの使用中に生じるモジュール温度の誤計算を防止しました (OPN:MFA1A00-Cxxx for 100GbE)。
- パイプのバランスをステアリングするUnicast RXステアリングをone hop下げました。
- 50倍以上のポートタイプTLVの非揮発性構成はシステムハングの原因となります。
- RoCE IPv4マルチキャストが有効化されました。これは、IPv4がIPv6アドレスに対してマップされている場合に、MCGコマンドが失敗するのを防止します。
- PFドライバーまたはツール (例えば、ethtool) がPAOS DOWNコマンド (例えば、ifconfig downまたはip link set down) を使用している場合、ループバックトラフィックは、このポート (PF<->VFs / VF<->VF) 上のすべての機能をブロックします。マルチホストループバックでは、このトラフィックは、ファームウェアがすべてのPFからPAOS downコマンドを受け取ると、ブロックされます。しかし、ループバックトラフィックは、物理リンクが原因でダウンする場合にはブロックされません (例えば: ケーブルが抜かれていて、スイッチポートがダウンしている場合)
- Clause 91 RS FEC がアクティブな場合の25G および 50G リンク問題を修正しました。
- 次にくるドライバーロードの失敗または送信不能の原因となる、FLRのeSwitchキャッシュ喪失無効化を追加しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.36.5000にアップデートされます。

779799-B21 (HP Ethernet 10G 2ポート 546FLR-SFP+ アダプター)

779793-B21 (HP Ethernet 10G 2ポート 546SFP+ アダプター)

バージョン2.36.5000の新機能および変更:

- Ethertype 一致に基づきキューを受信するためのステアリングパケットを有効にします (詳細はPRM 2.1 参照)。
- 追加のレート値のサポートを追加しました
- エラーの原因となる送信 WQE キャッシュ検索の繰り返し数を計算するカウンター。
- Flint ユーティリティでは、ファームウェアイメージの非永続セクションのMD5チェックサムを実行できます。

次のデバイス用のファームウェアが14.14.2204にアップデートされます。

817749-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28 アダプター)

817753-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター)

バージョン14.14.2204の新機能および変更:

- OCBB更新率が減少しました。

サポートしているデバイスおよび機能

HP部品番号	InfiniBandカードタイプ	PSID
779793-B21	HP Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター	HP_1200111023
779799-B21	HP Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター	HP_2240110004
817749-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28 アダプター	HP_2690110034
817753-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター	HP_2420110034

Emulexコンバージドネットワークアダプター用HPEファームウェアフラッシュ - Linux (x64)

バージョン: 2016.10.05 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/hp-firmware-cna-emulex-2016.10.05-1.2.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート :

[HPE StoreFabric Emulex アダプターリリースノート](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください :

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

CNAのファームウェアをアップデートする場合は、このファームウェアコンポーネントの前にHPが提供するNICドライバをインストールする必要があります。ドライバは、HPE.com のウェブサイト<http://www.hpe.com/>で利用できます。

HPE Emulex 10Gbeドライバ for Linux、バージョン 11.1.183.21

追加の要件 :

ファームウェアアップデートキットのインストール前にターゲット環境にlibsysfsまたはsysfsutilsパッケージをインストールしておく必要があります。存在していない場合、libsysfsまたはsysfsutilsパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。

コンポーネントがEmulex HBA/CNAを検出できるようにするために 32-bit netlink library (libnl.so) がインストールされている環境が必要です。

また、フラッシュエンジンを動作させるためにsyslogデーモンが実行されている環境が必要です。

注 : プロトコルをサポートするデバイス上で有効にするためには 次のHPE.com ウェブサイトで使用可能な HPE が供給したEmulex FCoE/iSCSI ドライバをインストールしてください。 <http://www.hpe.com/> FCoEプロトコルは、または、HPE Emulexイネーブルメントキットがインストールされている必要があります。 ドライバおよびイネーブルメントキットは、 HPE.com のウェブサイト<http://www.hpe.com/>で利用できます。

イネーブルメントキットは、OSインストールメディアからlibHBAAPIパッケージをインストールしたターゲット環境を必要とします。

FC/FCoEドライバキットをインストールし、再起動してからイネーブルメントキットをインストールしてください。

修正

この修正は以下を解決しました :

- 650FLBまたは650Mアダプター搭載のProLiant Gen 9 c-クラスサーバーブレードが、Power-On Self Test (POST) を完了しないことがある予想外の動作
- ファームウェアを11.1.183.23にアップグレードした後で、ネットワークポートが接続を失う予想外の動作
- 650FLBネットワークポートが突然同じMACアドレスを割り当てられて、その結果ネットワークパケットが間違ったポートに送信される予想外の動作
- Microsoft Windowsが突然終了する動作

拡張

ファイバーチャネルおよびコンバージドネットワークアダプターをアップデートする別々のコンポーネントがあります。これは、コンバージドネットワークアダプターアップデートコンポーネントです。

CNA(XE100シリーズ)ファームウェアへアップデートしました

含まれるもの :

CNA (BE3) ファームウェア 11.1.183.23

CNA (XE100シリーズ) ファームウェア11.1.183.62

サポートしているデバイスおよび機能

BE3 :

- HP NC552SFP 10Gb 2-port Ethernetサーバーアダプター
- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP CN1100E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HP Flex-10 10Gb 2-port 552Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター

XE100 シリーズ :

- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 557SFP+アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター

Emulexコンバージドネットワークアダプター用HPEファームウェアフラッシュ - Linux (x86)

バージョン: 2016.10.01 (推奨)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-cna-emulex-2016.10.01-1.21.i386.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric Emulex アダプターリリースノート](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

CNAのファームウェアをアップデートする場合は、このファームウェアコンポーネントの前にHPが提供するNICドライバをインストールする必要があります。ドライバは、HPE.comのウェブサイト<http://www.hpe.com/>で利用できます。

HPE Emulex 10Gbeドライバ for Linux、バージョン 11.1.183.21

追加の要件:

ファームウェアアップデートキットのインストール前にターゲット環境にlibsysfsまたはsysfsutilsパッケージをインストールしておく必要があります。存在していない場合、libsysfsまたはsysfsutilsパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。

コンポーネントがEmulex HBA/CNAを検出できるようにするために 32-bit netlink library (libnl.so) がインストールされている環境が必要です。

また、フラッシュエンジンを動作させるためにsyslogデーモンが実行されている環境が必要です。

注: プロトコルをサポートするデバイス上で有効にするためには 次のHPE.com ウェブサイトで使用可能な HPE が供給したEmulex FCoE/iSCSI ドライバをインストールしてください。 <http://www.hpe.com/> FCoEプロトコルは、または、HPE Emulexイネーブルメントキットがインストールされている必要があります。 ドライバおよびイネーブルメントキットは、 HPE.com のウェブサイト<http://www.hpe.com/>で利用できます。

イネーブルメントキットは、OSインストールメディアからlibHBAAPIパッケージをインストールしたターゲット環境を必要とします。

FC/FCoEドライバーキットをインストールし、再起動してからイネーブルメントキットをインストールしてください。

拡張

ファイバーチャネルおよびコンバージドネットワークアダプターをアップデートする別々のコンポーネントがあります。これは、コンバージドネットワークアダプターアップデートコンポーネントです。

CNA (BE3) ファームウェアへアップデートしました

ファームウェア

BE3ファームウェア：

- サポートされるデバイスで未処理の例外に対処するリカバリ機能を提供します。
- セキュアなファームウェアアップデートのサポートを追加しました
- PMCI実装仕様v1.03 (Active Health over MCTP) を追加しました

含まれるもの：

CNA (BE3) ファームウェア 11.1.183.23

サポートしているデバイスおよび機能

BE3：

- HP NC552SFP 10Gb 2-port Ethernetサーバーアダプター
- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP CN1100E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HP Flex-10 10Gb 2-port 552Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター

Emulexコンバージドネットワークアダプター用HPEファームウェアフラッシュ - Windows (x64)

バージョン: 2016.10.05 (推奨)

ファイル名: cp031846.exe

重要な注意！

リリースノート：

[HPE StoreFabric Emulex アダプターリリースノート](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください。

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

HPEで提供しているEmulex NICドライバーは、このファームウェアコンポーネントが開発用のHP SUMで識別される前に、インストールされていなくてはなりません。ドライバーは、HPE.com のウェブサイト <http://www.hpe.com/> で利用できます。

HPE Emulex 10GbE Driver for Windows Server 2008 x64 Editions v11.1.145.30 cp029510.exe
HPE Emulex 10GbE Driver for Windows Server 2008 R2 v11.1.145.30 cp029511.exe

HPE Emulex 10Gbe Driver for Windows Server 2012 v11.1.145.30 cp029512.exe
HPE Emulex 10Gbe Driver for Windows Server 2012 R2 v11.1.145.30 cp029513.exe

HPE Emulex 10/20 GbE ドライバー for Windows Server 2016 v11.1.196.4.x cp029150.exe

注：プロトコルをサポートするデバイス上で有効にするためには 次のHPE.com ウェブサイトで使用可能な HPE が供給したEmulex FCoE/iSCSI ドライバーをインストールしてください。 <http://www.hpe.com/>.

修正

この修正は以下を解決しました：

- 650FLBまたは650Mアダプター搭載のProLiant Gen 9 c-クラスサーバーブレードが、Power-On Self Test (POST) を完了しないことがある予想外の動作
- ファームウェアを11.1.183.23にアップグレードした後で、ネットワークポートが接続を失う予想外の動作
- 650FLBネットワークポートが突然同じMACアドレスを割り当てられて、その結果ネットワークパケットが間違ったポートに送信される予想外の動作
- Microsoft Windowsが突然終了する動作

拡張

ファイバーチャネルおよびコンバージドネットワークアダプターをアップデートする別々のコンポーネントがあります。これは、コンバージドネットワークアダプターアップデートコンポーネントです。

CNA(XE100シリーズ)ファームウェアへアップデートしました

含まれるもの：

CNA (BE3) ファームウェア 11.1.183.23

CNA (XE100シリーズ) ファームウェア11.1.183.62

サポートしているデバイスおよび機能

BE3：

- HP NC552SFP 10Gb 2-port Ethernetサーバーアダプター
- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP CN1100E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HP Flex-10 10Gb 2-port 552Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター

XE100 シリーズ：

- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 557SFP+アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター

Emulexコンバージドネットワークアダプター用HPEファームウェアフラッシュ - Windows (x86)

バージョン: 2016.10.01 (推奨)

ファイル名: cp029999.exe

重要な注意！

リリースノート :

[HPE StoreFabric Emulex アダプターリリースノート](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください。

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

HPEで提供しているEmulex NICドライバーは、このファームウェアコンポーネントが開発用のHP SUMで識別される前に、インストールされていなくてはなりません。ドライバーは、HPE.com のウェブサイト <http://www.hpe.com/> で利用できます。

HPE Emulex 10GbE ドライバー for Windows Server 2008 x86 Editions v11.1.145.30 cp029509.exe

注：プロトコルをサポートするデバイス上で有効にするためには 次のHPE.com ウェブサイトで使用可能な HPE が供給したEmulex FCoE/iSCSI ドライバーをインストールしてください。 <http://www.hpe.com/>.

拡張

ファイバーチャネルおよびコンバージドネットワークアダプターをアップデートする別々のコンポーネントがあります。これは、コンバージドネットワークアダプターアップデートコンポーネントです。

CNA (BE3) ファームウェアへアップデートしました

ファームウェア

BE3ファームウェア :

- サポートされるデバイスで未処理の例外に対処するリカバリ機能を提供します。
- セキュアなファームウェアアップデートのサポートを追加しました
- PMCI実装仕様v1.03 (Active Health over MCTP) を追加しました

含まれるもの :

CNA (BE3) ファームウェア 11.1.183.23

サポートしているデバイスおよび機能

BE3 :

- HP NC552SFP 10Gb 2-port Ethernetサーバーアダプター
- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP CN1100E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HP Flex-10 10Gb 2-port 552Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター

HP QLogic P3オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86

バージョン: 5.6.10 (オプション)

ファイル名: hp-firmware-nic-netxen-5.6.10-1.1.i386.rpm

重要な注意!

HPは、このファームウェアでの使用に、HP QLogic *nx_nic* ドライバー、バージョン4.0.596.1-5をおすすめします。

事前要件

このパッケージは、ファームウェアをアップデートする前に適切なプラットフォーム用のHP QLogic qlcnicドライバー-RPMのインストールを必要とします。

このパッケージバージョンは、4.0.230以降のファームウェアバージョンでアダプターをアップグレードするために使用できます。

このパッケージは、HP Smart Update Manager (HPSUM) バージョン7.0.0.0以降で使用することができます。以前のバージョンのHPSUMは、このパッケージを正しくインストールすることはできません。

拡張

この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 6 Update 7をサポートしています。

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 11 SP4をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のHP QLogic P3ネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC375i 内蔵4ポート マルチファンクション Gigabit サーバーアダプター

HP QLogic P3オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64

バージョン: 5.6.10 (オプション)

ファイル名: hp-firmware-nic-netxen-5.6.10-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

HPは、このファームウェアでの使用が適切となるように、次のドライバーの少なくとも1つをおすすめします:

- HP QLogic nx_nicドライバー for Red Hat Enterprise Linux 6 x86_64、バージョン4.0.596.1-5
- HP QLogic nx_nicドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64、バージョン4.0.596.1-2
- HP QLogic nx_nicドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 11 x86_64、バージョン4.0.596.1-5
- HP QLogic nx_nicドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64、バージョン4.0.596.1-4

事前要件

このパッケージは、ファームウェアをアップデートする前に適切なプラットフォーム用のHP QLogic qlcnicドライバー-RPMのインストールを必要とします。

このパッケージバージョンは、4.0.230以降のファームウェアバージョンでアダプターをアップグレードするために使用できます。

このパッケージは、HP Smart Update Manager (HPSUM) バージョン7.0.0.0以降で使用することができます。以前のバージョンのHPSUMは、このパッケージを正しくインストールすることはできません。

拡張

この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 6 Update 7をサポートしています。

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 11 SP4をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のHP QLogic P3ネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC375i 内蔵4ポート マルチファンクション Gigabit サーバーアダプター
-

HP QLogic P3オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server 2008
バージョン: 4.0.0.21 (オプション)
ファイル名: cp025866.exe

事前要件

このパッケージには、ファームウェアをアップデートする前にHP QLogic P3Pマルチファンクション ドライバー for Windows Server 2008、バージョン5.3.26.605以降がインストールされている必要があります。

拡張

この製品は、アップデートされたヘルプファイルとコンポーネントインストーラーを含みます。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のHP QLogic P3ネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC375i 内蔵4ポート マルチファンクション Gigabit サーバーアダプター

HP QLogic P3オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Edition
バージョン: 4.0.0.21 (オプション)
ファイル名: cp025867.exe

事前要件

このパッケージには、ファームウェアをアップデートする前にご使用のネットワークアダプター用の適切なドライバーバージョンがインストールされている必要があります。このパッケージには、ご使用のプラットフォームに応じて以下の1つが必要です。

- HP QLogic P3Pマルチファンクション ドライバー for Windows Server 2008 x64 Editions、バージョン5.3.26.605以降
- HP QLogic P3Pマルチファンクション ドライバー for Windows Server 2008 R2、バージョン5.3.26.605以降
- HP QLogic P3Pマルチファンクション ドライバー for Windows Server 2012、バージョン5.3.26.605以降
- HP QLogic P3Pマルチファンクション ドライバー for Windows Server 2012 R2、バージョン5.3.26.605以降

拡張

この製品は、アップデートされたヘルプファイルとコンポーネントインストーラーを含みます。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のHP QLogic P3ネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC375i 内蔵4ポート マルチファンクション Gigabit サーバーアダプター

HP QLogic P3Pオンライン ファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64
バージョン: 1.9.7 (オプション)
ファイル名: hp-firmware-nic-qlogic-p3p-nic-1.9.7-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

HPは、このファームウェアでの使用が適切となるように、次のドライバーの少なくとも1つをおすすめします：

- HP QLogic qlcnicドライバー for Red Hat Enterprise Linux 6 x86_64、バージョン5.3.62.1-4
- HP QLogic qlcnicドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64、バージョン5.3.62.1-1
- HP QLogic qlcnicドライバー for Red Hat Enterprise Linux 11 x86_64、バージョン5.3.62.1-4
- HP QLogic qlcnicドライバー for Red Hat Enterprise Linux 12 x86_64、バージョン5.3.62.1-1

事前要件

このパッケージは、*HP Smart Update Manager (HPSUM)* バージョン7.0.0.0以降で使用することができます。以前のバージョンのHPSUMは、このパッケージを正しくインストールすることはできません。

このパッケージは、ファームウェアをアップデートする前に適切なプラットフォーム用の*HP QLogic qlcnic*ドライバー-RPMのインストールを必要とします。

修正

この製品は、ファイバーチャネルpingコマンド(*fcping*)が各々のpingに対して3ms以上かかることになる問題に対処します。

拡張

この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 6 Update 7をサポートしています。

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 11 SP4をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP CN1000Q Dual Port Converged Network Adapter
- HP NC523SFP 10Gb デュアルポート Ethernet サーバーアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 526FLR-SFP+アダプター

HP QLogic P3Pオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86

バージョン: 1.9.7 (オプション)

ファイル名: hp-firmware-nic-qlogic-p3p-1.9.7-1.1.i386.rpm

重要な注意!

HPは、このファームウェアでの使用に、*HP QLogic qlcnic*ドライバー、バージョン5.3.62.1-4をおすすめします。

事前要件

このパッケージは、*HP Smart Update Manager (HPSUM)* バージョン7.0.0.0以降で使用することができます。以前のバージョンのHPSUMは、このパッケージを正しくインストールすることはできません。

このパッケージは、ファームウェアをアップデートする前に適切なプラットフォーム用の*HP QLogic qlcnic*ドライバー-RPMのインストールを必要とします。

修正

この製品は、ファイバーチャネルpingコマンド(*fcping*)が各々のpingに対して3ms以上かかることになる問題に対処します。

拡張

この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 6 Update 7をサポートしています。

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 11 SP4をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP CN1000Q Dual Port Converged Network Adapter
- HP NC523SFP 10Gb デュアルポート Ethernet サーバーアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 526FLR-SFP+アダプター

HP QLogic P3Pオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware

バージョン: 2.5.5 (オプション)

ファイル名: CP026998.txt; CP026998.zip

重要な注意!

HPは、このパッケージで提供されるファームウェアでの使用が適切となるように、次のドライバーの少なくとも1つをおすすめします:

- HP QLogic P3Pドライバー for VMware ESXi 5.0/vSphere 5.1、バージョン2015.02.23
- HP QLogic P3P iSCSIドライバーfor VMware ESXi 5.0/vSphere 5.1、バージョン2015.07.17
- HP QLogic P3Pドライバー for VMware vSphere 5.5/6.0、バージョン2015.02.23
- HP QLogic P3P iSCSIドライバーfor VMware vSphere 5.5/6.0、バージョン2015.07.17
- HP QLogic P3Pドライバー for VMware vSphere 6.0、バージョン2015.10.01
- HP QLogic P3P iSCSIドライバー for VMware vSphere 6.0、バージョン2015.10.01

事前要件

このパッケージは、ファームウェアをアップデートする前にご使用のデバイスのための適切な HP QLogic ドライバー for VMware がインストールされている必要があります。

修正

この製品は、ファイバーチャネルpingコマンド(fcping)が各々のpingに対して3ms以上かかることになる問題に対処します。

拡張

この製品は、現在VMware vSphere 6.0 Update 1をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP CN1000Q Dual Port Converged Network Adapter
- HP NC523SFP 10Gb デュアルポート Ethernet サーバーアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 526FLR-SFP+アダプター

HPE Broadcom NX1オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware

バージョン: 1.14.5 (オプション)

ファイル名: CP028672.zip

重要な注意!

HPEは、このファームウェア用に *HP Broadcom tg3 Ethernet* ドライバー for VMware、バージョン2015.10.01またはそれ以降を推奨します。

事前要件

このパッケージは、ファームウェアをアップデートする前に、ご使用のデバイスのための適切なHPE Broadcomドライバ for VMwareがインストールされている必要があります。

修正

この製品は、アダプターのPXEファームウェアがバージョン17.0.2にアップデートされた後、サーバーが高速ファンの騒音を発する問題に対処します。

HPE Broadcom NX1オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86

バージョン: 2.17.6 (オプション)

ファイル名: hp-firmware-nic-broadcom-2.17.6-1.1.i386.rpm

重要な注意！

HPEは、このファームウェア用に *HPE Broadcom tg3 Ethernet* ドライバ、バージョン3.137oまたはそれ以降を推奨します。

事前要件

このパッケージは、HP Smart Update Manager (HPSUM) バージョン7.0.0.0またはそれ以降で使用することができます。以前のバージョンのHPSUMは、このパッケージを正しくインストールすることはできません。

このパッケージには、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバがインストールされ、ファームウェアを更新する前にすべてのEthernetポートがアップ(*ifup ethX* または *ifconfig ethX up*)している必要があります。

修正

この製品は、アダプターのPXEファームウェアがバージョン17.0.2にアップデートされた後、サーバーにおける高速ファンの騒音問題に対処します。

この製品は、HP Ethernet 1Gb 2ポート 332i アダプターのファームウェアをアップデートしているとき、誤ったファームウェアのバージョンが報告されるという問題に対処します。

この製品は、バージョン2.16.4またはそれ以降のコンポーネントを使用して、アダプターのファームウェアをアップデートした後、古いスマートコンポーネントが誤ったBootcodeバージョンを報告した際の問題に対処します。

この製品は、HP Ethernet 1Gb 4ポート 331i-SPIアダプターのファームウェアのアップデート時、誤ったエラーコード 7 が報告されるという問題に対処します。

HPE Broadcom NX1オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64

バージョン: 2.17.6 (オプション)

ファイル名: hp-firmware-nic-broadcom-2.17.6-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

HPEは、このファームウェア用に *HPE Broadcom tg3 Ethernet* ドライバ、バージョン3.137oまたはそれ以降を推奨します。

事前要件

このパッケージは、HP Smart Update Manager (HPSUM) バージョン7.0.0.0またはそれ以降で使用することができます。以前のバージョンのHPSUMは、このパッケージを正しくインストールすることはできません。

このパッケージには、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバがインストールされ、ファームウェアを更新する前にすべてのEthernetポートがアップ(*ifup ethX* または *ifconfig ethX up*)している必要があります。

修正

この製品は、アダプターのPXEファームウェアがバージョン17.0.2にアップデートされた後、サーバーにおける高速ファンの騒音問題に対処します。

この製品は、HP Ethernet 1Gb 2ポート 332i アダプターのファームウェアをアップデートしているとき、誤ったファームウェアのバージョンが報告されるという問題に対処します。

この製品は、バージョン2.16.4またはそれ以降のコンポーネントを使用して、アダプターのファームウェアをアップデートした後、古いスマートコンポーネントが誤ったBootcodeバージョンを報告した際の問題に対処します。

この製品は、HP Ethernet 1Gb 4ポート 331i-SPIアダプターのファームウェアのアップデート時、誤ったエラーコード7が報告されるという問題に対処します。

HPE Broadcom NX1オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server 2008

バージョン: 5.0.0.22 (**オプション**)

ファイル名: cp028976.exe

重要な注意！

HPEは、このファームウェアでの使用に *HPE Broadcom 1Gb* ドライバー for Windows Server 2008、バージョン17.4.0.0またはそれ以降を推奨します。

事前要件

このパッケージは、ファームウェアをアップデートする前に *HPE Broadcom 1Gb* ドライバー for Windows Server 2008のインストールを必要とします。

修正

この製品は、アダプターのPXEファームウェアがバージョン17.0.2にアップデートされた後、サーバーが高速ファンの騒音を発する問題に対処します。

HPE Broadcom NX1オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Edition

バージョン: 5.0.0.24 (**オプション**)

ファイル名: cp029395.exe

重要な注意！

HPEは、このファームウェアでの使用に、*HPE Broadcom 1Gb* ドライバー for Windows Server x64 Edition、バージョン17.4.0.0をおすすめします。

事前要件

このパッケージは、ファームウェアをアップデートする前に、*HPE Broadcom 1Gb* ドライバー for Windows Server x64 Editionのインストールを必要とします。

拡張

この製品は、Windows Server 2016をサポートします。

HPE Intelオンライン ファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware

バージョン: 3.1.11 (**推奨**)

ファイル名: CP031546.zip

重要な注意！

HPEは、このファームウェアで使用するために、ご使用のデバイスに適用可能な次のドライバーの少なくとも1つをお勧めします：

- HPE Intel igbドライバーfor VMware、バージョン2016.10.07以降
- HPE Intel ixgbeドライバーfor VMware、バージョン2016.10.07以降
- HPE Intel i40eドライバーfor VMware、バージョン2016.03.29以降

事前要件

このパッケージは、ファームウェアをアップデートする前に、ご使用のデバイスのための適切なHPE Broadcomドライバー for VMwareがインストールされている必要があります。

修正

この製品は、'HP Ethernet 10Gb 2-port 560FLBアダプター' で報告されたリンクフラッピングの問題を修正します。

この製品は、次のネットワークアダプターで報告されたセキュリティ問題に対処します。

- HP Ethernet 10Gb 2-port 562SFLR-FP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 562SFP+アダプター

詳しくは、Security Bulletin HPSBHF03695を参照してください。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2-port 361iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 361FLBアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 361Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 1-port 364iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4-port 366i通信ボード
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366Mアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 367iアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560FLBアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560FLR-SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 561Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 562iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562SFLR-FP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562SFP+アダプター

HPE Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86

バージョン: 1.11.13 (推奨)

ファイル名: hp-firmware-nic-intel-1.11.13-1.1.i386.rpm

重要な注意！

HPEは、このファームウェアで使用するために、ご使用のデバイスに適用可能な次のドライバーの少なくとも1つをお勧めします：

- HPE Intel igbドライバー-for Linux、バージョン5.3.5.3以降
- HPE Intel ixgbeドライバー-for Linux、バージョン4.4.6以降

事前要件

このパッケージは、ファームウェアをアップデートする前にネットワークアダプター用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

このパッケージは、HP Smart Update Manager (HPSUM) バージョン7.0.0.0以降で使用することができます。以前のバージョンのHPSUMは、このパッケージを正しくインストールすることはできません。

修正

この製品は、'HP Ethernet 10Gb 2-port 560FLBアダプター' で報告されたリンクフラッピングの問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361FLBアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361T アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 1ポート 364i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366M アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 367i アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb デュアルポート 561T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 562i アダプター

HPE Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64

バージョン: 1.11.13 (推奨)

ファイル名: hp-firmware-nic-intel-1.11.13-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

HPEは、このファームウェアで使用するために、ご使用のデバイスに適用可能な次のドライバーの少なくとも1つをお勧めします：

- HPE Intel igbドライバー-for Linux、バージョン5.3.5.3以降
- HPE Intel ixgbeドライバー-for Linux、バージョン4.4.6以降
- HPE Intel i40eドライバー-for Linux、バージョン1.3.46以降

事前要件

この製品は、ファームウェアをアップデートする前にターゲットデバイス用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

このパッケージは、HP Smart Update Manager (HPSUM) バージョン7.0.0.0以降で使用することができます。以前のバージョンのHPSUMは、このパッケージを正しくインストールすることはできません。

修正

この製品は、'HP Ethernet 10Gb 2-port 560FLBアダプター' で報告されたリンクフラッピングの問題を修正します。

この製品は、次のネットワークアダプターで報告されたセキュリティ問題に対処します。

- HP Ethernet 10Gb 2-port 562SFLR-FP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 563i アダプター

詳しくは、Security Bulletin HPSBHF03695を参照してください。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2-port 361iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 361FLBアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 361Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 1-port 364iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4-port 366i通信ボード
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366Mアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 367iアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560FLBアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560FLR-SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 561Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 562iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562SFLR-FP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 563i アダプター

HPE Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server 2008

バージョン: 5.0.0.27 (B) (推奨)

ファイル名: cp031547.exe

重要な注意！

HPEは、このファームウェアで使用するために、ご使用のデバイスに適用可能な次のドライバーの少なくとも1つをお勧めします：

- *HP Intel E1R* ドライバー for Windows Server 2008、バージョン12.7.29.0(C)以降
- *HP Intel xn/ixt* ドライバー for Windows Server 2008、バージョン3.5.22.0(D)以降

事前要件

このパッケージには、ファームウェアをアップデートする前にご使用のネットワークアダプター用の適切なドライバーバージョンがインストールされている必要があります。

修正

この製品は、'HP Ethernet 10Gb 2-port 560FLBアダプター' で報告されたリンクフラッピングの問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2-port 361iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 361FLBアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 361Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 1-port 364iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366Mアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 367iアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560FLBアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560FLR-SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 561Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 562iアダプター

HPE Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Edition

バージョン: 5.0.0.27 (B) (推奨)

ファイル名: cp031548.exe

重要な注意!

HPEは、このファームウェアを使用するために、ご使用のデバイスに適用可能な次の少なくとも1つをお勧めします:

- *HP Intel E1R*ドライバーfor Windows Server 2008 x64 Edition、バージョン12.7.29.0(C)
- *HPE Intel E1R*ドライバーfor Windows Server 2008 R2、バージョン12.14.8.0
- *HPE Intel E1R*ドライバーfor Windows Server 2012、バージョン12.14.8.0
- *HPE Intel E1R*ドライバーfor Windows Server 2012 R2、バージョン12.14.8.0
- *HPE Intel E1R*ドライバーfor Windows Server 2016、バージョン12.15.187.0
- *HP Intel ixn/ixt* ドライバーfor Windows Server 2008 x64 Editions、バージョン3.5.22.0(D)
- *HPE Intel ixn/ixt* ドライバーfor Windows Server 2008 R2、バージョン3.9.58.9101(C)
- *HPE Intel ixn/ixt* ドライバーfor Windows Server 2012、バージョン3.9.58.9101(C)
- *HPE Intel ixn/ixt* ドライバーfor Windows Server 2012 R2、バージョン3.9.58.9101(C)
- *HPE Intel ixn/ixt* ドライバーfor Windows Server 2016、バージョン4.0.213.0
- *HPE Intel i40ea* ドライバーfor Windows Server 2008 R2、バージョン1.2.130.0 (C)
- *HPE Intel i40ea* ドライバーfor Windows Server 2012、バージョン1.2.133.0 (B)
- *HPE Intel i40ea* ドライバーfor Windows Server 2012 R2、バージョン1.2.133.0(C)
- *HPE Intel i40ea* ドライバーfor Windows Server 2016、バージョン1.5.59.0

事前要件

このパッケージは、ファームウェアをアップデートする前にネットワークアダプター用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

この製品は、'HP Ethernet 10Gb 2-port 560FLBアダプター'で報告されたリンクフラッピングの問題を修正します。

この製品は、次のネットワークアダプターで報告されたセキュリティ問題に対処します。

- HP Ethernet 10Gb 2-port 562SFLR-FP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 562SFP+アダプター

詳しくは、Security Bulletin HPSBHF03695を参照してください。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2-port 361iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 361FLBアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 361Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 1-port 364iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4-port 366i通信ボード
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366Mアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 367iアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560FLBアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560FLR-SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 561Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 562iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562SFLR-FP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562SFP+アダプター

HPE Mellanox Ethernet CX3アダプター専用のオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 5.5)
バージョン: 1.0.4 (A) (推奨)
ファイル名: CP030106.zip

重要な注意!

FWバージョン2.36.5000での既知の問題:

- v2.30.8000またはそれ以降のバージョンから2.30.8000以前のバージョンにダウングレードするには、サーバーのリブートが必要です。
回避策: サーバーを再起動します。
- ConnectX-3 Ethernet アダプターカードでは、ファームウェア管理ツールによって返されるGUID値とデバイスファームウェアを通してGUIDを読み込むファブリック/ドライバーユーティリティ (例えば、ibstatを使用) によって返される値の間にミスマッチがあります。ユーティリティがMACアドレスから得られた値を返すとき、Mixburn/flintはGUIDとして0xffffを返します。すべてのドライバー/ファームウェア/ソフトウェアのために、前者の値が使用されるべきです。
- SBRはConnectX@-3アダプターのために最低50msアサートされる必要があります。
- Pilot1 SL230で、PCIeリンクは時々Gen3の速度に達しません。
回避策: 製品版SL230をPCIe Gen3オペレーションのためには使用するべきです。
- ドライバーの互換性の問題のため、SR-IOVがVPIカードで有効になっている場合、RH6.3インボックスドライバーがカーネルパニックを引き起こします。
- アドバンスドステアリングモードで、MCGごとに8以上のQPを持つ場合、サイドバンド管理接続性が失われることがあります。

- システムBIOSでSR-IOVが無効にされたとき、Linuxカーネルv3.8のUbuntu v12.04.3で、Mellanoxを含むいくつかの製造業者のNICが動作しない可能性があるPCI問題が認識されています。
回避策： BIOSのSR-IOVを有効
- MFTツールは、ツール動作が停止を強制された場合にロックされたフラッシュセマフォを残すことがあります。ロックされたセマフォは、ファームウェアがフラッシュヘアクセスすることを妨げ、ファームウェアがハングアップする原因となります。
回避策： セマフォをMFTコマンドでクリアする： 'flint -clear_semaphore'
- MC2210411-SR4モジュールを使用する場合、ケーブル情報MADは正しくないケーブル情報をレポートします。
- 10C/分以上のスピードで温度が上昇するとGen2が故障します(MT27518A1-FDIR-BVのみ)。
- MT27518A1-FDIR-BVでは10C/分以上のスピードで温度が上昇するとPCIe Gen2リンクが不安定になります。
- Bloomフィルターは、現在サポートされません。
- ファームウェアv2.11.0000からダウングレードし、MFT3.0.0-3を使用する場合、次のメッセージがmlxconfigツールにより表示されます。
You are trying to override configurable FW by non-configurable FW.If you continue, old FW configurations will be cleared, do you want to continue ? (y/n) [n] : y (y/n)[n] :y
You are trying to restore default configuration, do you want to continue ?(y/n) [n] :y
- MLNX-_OFED-2.0.3でInfiniBandを操作する場合、DMFSを有効にしないでください
回避策： MLNX-_OFED-2.1-x.x.xまたはそれ以降にアップグレードしてください。
- VPD読み取り専用のフィールドが書き込み可能です。
回避策： それらを保持したい場合は、読み取り専用フィールドに書き込まないでください。
- port1 FDRおよびport2 40GでVPIモードで作業する場合、エラーカウンターが正常に機能せず、高速に増加します。
- デバイスを128Byte CQ/EQストライドに設定するとサイドバンド管理が正常に機能せず、コミュニケーション消失につながります。
- CQおよびEQを異なるストライドサイズに構成することはできません。
- ConnectX-3 Pro VFデバイスIDは、ドライバーの制限のためのConnectX-3 VFデバイスIDと同じように示されます。
回避策： デバイスを識別するために物理機能のデバイスIDを使用してください。
- PXE (レガシー)をG9サーバーで稼働中のRSOD。これはPXEブートに失敗し、BIOSがHDDからブートするときのみ起こります。現在BIOSの修正は保留中です。
- ポートがETHスイッチに接続されているときに、NCSI/IPMIが有効になっている状態でポートプロトコルをETHからIBに変更することは推奨されません。
回避策：
 1. スイッチからケーブルを抜く
 2. ドライバーを再起動する
 3. 適切なツールを使用してプロトコルを変更する。
- OCBBのMTUの値は正しく表示されていません。OCBBのMTU値はドライバーで表示されているMTU値と異なる可能性があります。OCBBに表示されている値はカードファームウェアにプログラムされている値で、ドライバーによって挿入されたオーバーヘッドバイトを含んでいます。
- IPv6上でのRDPは、現在機能しません。
- Sniffer QP では、“push to that rule”と同等の挿入スキームのあるQPを追加した後に正規のルールを削除できません。
- PCI Physical FunctionごとのBoot Entry Vector (BEV)のみがサポートされているので、最初のポートを無効化すると、二番目のポートも消えてしまいます。
- NICは、56GbEポートリンクのNICポートからケーブルが外れてしまっている場合に、リンクダウンをドライバーに通知しません。
- 100GbE 光ケーブルを使用している場合に、56GbE リンクが起動しません。

修正

2.36.5000での修正:

- ソフトウェアが、デバイスのMACアドレスのいずれかに等しいDMACを持つポーズフレームを送信しようとしたときに、パケット送信がスタックする原因となった問題を修正しました。
- QP代替コンテキストを処理する際に、ファームウェアの内部エラーの原因となった問題を修正しました。

- APMが、QPのポートマッピングを変更したときに、内部ファームウェアエラーの原因となった問題を修正しました。
- TLVに非有効な情報を満たしたときに、NVRAMがスタックする原因となった問題を修正しました。
- SR-IOV VPIでのIBトラフィックの不足の原因となった問題を修正しました。
- 重複した “read request from middle” の処理での競合を修正しました。
- セクターの数が1に設定され、セクターがゼロにされたときに、NVCONFIGが失敗する原因となった問題を修正しました。
- メッセージMTUサイズがQP.mtuより大きかったときに、TXトラフィックが停止する原因となった問題を修正しました。
- MLNX_OEMコマンドGET_TEMPが、max_tempフィールドに誤った値を返しました。
- IPv4トラフィックの上のRDPがドロップする原因となったデフォルトのハードウェア構成問題を修正しました。
- VLANのNC-SI の準拠を有効にするために、INI内のHigh Rate Steeringモードを無効にしました。
- 物理機能内でFLR を初期化する場合の失敗インスタンスを修正しました。
- ケーブルが接続されていない場合、ケーブル情報MAD内で誤って戻されたステータスを修正しました。
- UDPの長さの計算を修正しました。CNPパケット内の誤った UDP 長さは、ICRCの計算ミスの原因でした。
- ECN が有効な場合の完了エラーの問題を修正しました。ECNの使用は、完了キュー (CQ)の順序エラーの原因でした。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.36.5000にアップデートされます。

779799-B21 (HP Ethernet 10G 2-port 546FLR-SFP+ アダプター)

779793-B21 (HP Ethernet 10G 2-port 546SFP+ アダプター)

バージョン2.36.5000の新機能および変更：

- Ethertype 一致に基づきキューを受信するためのステアリングパケットを有効にします (詳細はPRM 2.1 参照)。
- 追加のレート値のサポートを追加しました
- エラーの原因となる送信 WQE キャッシュ検索の繰り返し数を計算するカウンター。
- Flint ユーティリティでは、ファームウェアイメージの非永続セクションのMD5チェックサムを実行できます。

サポートしているデバイスおよび機能

HP部品番号	InfiniBandカードタイプ	PSID
779793-B21	HP Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター	HP_1200111023
779799-B21	HP Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター	HP_2240110004

HPE Mellanox Ethernet CX4アダプター専用のオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 5.5)

バージョン: 1.0.4 (B) (推奨)

ファイル名: CP030618.zip

重要な注意！

FWバージョン14.14.2204での既知の問題：

- 以下のICをベースにしたプラットフォームのリンクを立ち上げるには、以下のファームウェアバージョン要件を遵守してください。
 - ConnectX®-3 - 2.32.5100
 - SwitchX® - 9.2.7300 (または MLNX-OS 3.3.5006)
- 10GbE リンクを立ち上げようとした際の、ConnectX-4 または ConnectX-4 Lx アダプターカードおよび ConnectX-2 アダプターカード間の相互運用問題。

- PCIe 機能 "Device S/N" が偽値を返しています。
- リンクがGen2の場合、L1ステートに入るか出るかすると、間違ったCRCまたはDLLPの表示の原因となることがあります。
- 構成スペースパワー管理機能 PME_EN を設定できません。
- サーバーリセット中（電源再投入以外）、non-maskable interrupt (NMI) は、PCIe アクセスによる Option Card Black Box (OCBB) 問題が発生する場合があります。
- PF ダイレクトパススルーはサポートされていません（PF FLR がサポートされていないため）
- 最新のポートオーナーホストがドライバーを再起動した後、いくつかのPort Control Register は、デフォルト値に戻りません。
回避策： ドライバーを再起動またはリセットします。
- 古い MFT バージョン (4.0.0 および 3.8.0) は、最新のGAファームウェアが古い、または既存のファームウェアと比較できないことを示しています。
下記と同様のメッセージが、ファームウェアアップグレードステージに表示されます：
flint -d -i burn
Current FW version on flash:12.1100.6630
New FW version:
12.0012.0572
Note:The new FW version is not newer than the current FW version on flash.
Do you want to continue ?(y/n) [n] :y
回避策： ファームウェアをアップグレードするために下記オプションの1つを選択します：
 - 最新 MFT バージョン (4.1.0)へアップグレードします
 - flintのNoteが、"-force" フラグでflintを実行することを示した後、"y"を入力します
- QP.force_loopback が1に等しいためにループバックされるトラフィックは、PFへ進みます。
- 最小 200 LFM は、MCX4411A-ACAN アダプターカードを冷却するために必要です。
- mlxfwreset は、ファームウェアイメージをアップグレードした後に、古いMFTバージョンで正しく機能しません
回避策： 最新リリースに MFT をアップグレードするか、ファームウェアをアップグレードした後、再起動/電源再投入します。
- Windows Server 2016 Inbox ドライバーは、ファームウェア v14.12.0780で動作しません
回避策： WinOF-2 v1.20 out-of-box ドライバーを使用します。
- ファームウェアをフラッシュするにはサーバーの再起動が必要です。ファームウェアを、最初のフラッシュ後、サーバーを再起動しないと2回目のフラッシュができません
回避策： ファームウェアのフラッシュ後にサーバーを再起動します。
- 制限イベントの SRQ をアーミングする場合、デバイスは、context_index=0 のイベントを発行する場合があります。
- set_hca_capコマンドの log_max_ra_res_qp の値は、全ての機能で同一としてください。
- 機能 (PF/VF) TX ポートカウンターはサポートされていません。
- PF ドライバーは、ページイベントキューで動作しなければなりません。
- SR-IOV イーサネットは、1ポートにつき最大18 VF をサポートします。
- Privileged Vport egress信号は、Vport が有効でない場合ブロックされません
- VportカウンターはVportを横切るトラフィックのみをカウントする必要があるが、ローカル（内部）ループバックパケットがVportカウンターによりカウントされます。
- バーチャルトラップの Vport ナンバーは、正しく報告されない場合があります
- untagged および prio-tagged パケットを取得する Single FTE(match_value.vlan_tag = 0 および match_value.vid = 0 にFTEを与えることで)は現在サポートされていません。
- SM with VL weight 0 on some VL を構成し、その信号を実行することで、アップロード中にハングするドライバーの原因となります。
- OCBB は、最新の iLO バージョンで表示されません。
- 10GbE ケーブルが、SFF-8472 に準拠していないものがあります。"SFP+ Cable Technology" ビットはクリアとなっています。
- Clause 74 Fire-Code FEC が有効である場合、FC_correctable カウンターおよび FC_uncorrectable カウンターが増加する、エラーが修正されたFCがあります。
- Windows NMI は、OCBBメモリアクセストランザクションの結果として再起動の繰り返しが発生する場合があります。
- end_padding_mode は、PRMで定義されたINIT_2_RTR コマンドではなく、CREATE_QP 内で必要となります
- LR4 ケーブルイベントは、ポートがアップしても送信されます。

- UEFI 起動サイクル中に、winPE がロードされている間、まれにシステムが動かなくなることがあります。(OS WinPE、システム DL160) **回避策**：電源再投入でシステムを回復させます。

修正

14.14.2204での修正:

- MACアドレスの変更が阻止される問題をドライバーをOBCCとNC-SIのインターフェイスに反映させることで修正しました。
- IOPXサーマルダイオードが不安定な状態にならないようにする保護機能を追加し、ConnectX-4 Lx 25GEカード上のUEFIのIPv6 PXEブートの失敗を防止しました。
- ポート1からケーブルを引き抜いている間に、ポート2リンクのダウンを引き起こす問題を修正しました。
- ビットエラーレートが10G/40Gリンク上で最適ではないことがあります。
- 100G自動ネゴシエーションの間に発生するリンクトレーニングフローの不安定が修正されました。
- RESETにQPを移動し、RTSに戻すときに、コマンドのハングを引き起こすまれな問題を修正しました。
- パケットの喪失シナリオ下のRDMA READ帯域幅が改善されました。
- ibdiagnetツールで必要とされるpnat = 1 in HCA access_regコマンドに対するサポートを追加しました。
- LLDP OCBB応答が修正されました：戻り値は現在asciiです。
- PXEサイクルの間にまれに生じるNMI問題が修正されました。
- ステアリングハッシュテーブルの静的サイズを、128から最大32Kエントリーまで増加しました。
- 100Gb/sケーブルの使用中に生じるモジュール温度の誤計算を防止しました (OPN:MFA1A00-Cxxx for 100GbE)。
- パイプのバランスをステアリングするUnicast RXステアリングをone hop下げました。
- 50倍以上のポートタイプTLVの非揮発性構成はシステムハングの原因となります。
- RoCE IPv4マルチキャストが有効化されました。これは、IPv4がIPv6アドレスに対してマップされている場合に、MCGコマンドが失敗するのを防止します。
- PFドライバーまたはツール (例えば、ethtool) がPAOS DOWNコマンド (例えば、ifconfig downまたはip link set down) を使用している場合、ループバックトラフィックは、このポート (PF<->VF / VF<->VF) 上のすべての機能をブロックします。マルチホスト ループバックでは、このトラフィックは、ファームウェアがすべてのPFから PAOS downコマンドを受け取ると、ブロックされます。しかし、ループバックトラフィックは、物理リンクが原因でダウンする場合にはブロックされません (例えば：ケーブルが抜かれていて、スイッチポートがダウンしている場合)
- Clause 91 RS FEC がアクティブな場合の25G および 50G リンク問題を修正しました。
- 次にくるドライバーロードの失敗または送信不能の原因となる、FLRのeSwitchキャッシュ喪失無効化を追加しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが14.14.2204にアップデートされます。

817749-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28 アダプター)

817753-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター)

バージョン14.14.2204の新機能および変更：

- OCBB更新率が減少しました。

サポートしているデバイスおよび機能

HP部品番号	InfiniBandカードタイプ	PSID
817749-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28 アダプター	HP_2690110034
817753-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター	HP_2420110034

ファイル名: hp-firmware-nic-qlogic-bb-1.0.22-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

HPEは、この製品のファームウェアでの使用に、*HPE QLogic FastLinQ 25GbE ドライバー for Linux*、バージョン 8.10.12.0以降をおすすめします。

事前要件

このパッケージには、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、ファームウェアを更新する前にすべてのEthernetポートがアップ(*ifup ethX* または *ifconfig ethX up*)している必要があります。

修正

この製品のファームウェアは、ウォーム/コールドブート後に見られる断続的なPCIe列挙問題に対処しています。

この製品のファームウェアは、SRIOV有効状態でNPARを有効化すると見られるシステムクラッシュに対処しています。

この製品のファームウェアは、PXEブートが複数回試みられた場合に見られる「NIC 初期化エラー」メッセージの問題に対処しています。

この製品のファームウェアは、DHCP IP構成時、NCSIパススルーが機能しない問題に対処しています。

この製品のファームウェアでは、PXEブートがレガシブートモードで失敗する問題に対処しています。

この製品のファームウェアでは、PXEブートがポート上で無効化されている場合に、システムがPXEブートする問題に対処しています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 4x25Gb 1-port 620QSFP28 アダプター

HPE QLogic FastLinQオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware

バージョン: 4.1.3 (オプション)

ファイル名: CP030817.zip

重要な注意！

HPEは、このファームウェアでの使用に、*HPE QLogic FastLinQ 25GbEマルチファンクシヨンドライバー for VMware*、バージョン2016.10.07以降をおすすめします。

事前要件

このパッケージは、ファームウェアをアップデートする前にデバイス用の適切なVMware ドライバーがインストールされている必要があります。

修正

この製品のファームウェアは、ウォーム/コールドブート後に見られる断続的なPCIe列挙問題に対処しています。

この製品のファームウェアは、SRIOV有効状態でNPARを有効化すると見られるシステムクラッシュに対処しています。

この製品のファームウェアは、PXEブートが複数回試みられた場合に見られる「NIC 初期化エラー」メッセージの問題に対処しています。

この製品のファームウェアは、DHCP IP構成時、NCSIパススルーが機能しない問題に対処しています。

この製品のファームウェアでは、PXEブートがレガシブートモードで失敗する問題に対処しています。

この製品のファームウェアでは、PXEブートがポート上で無効化されている場合に、システムがPXEブートする問題に対処しています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 4x25Gb 1-port 620QSFP28 アダプター

HPE QLogic FastLinQオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions
バージョン: 5.0.0.24 (オプション)

ファイル名: cp029397.exe

重要な注意!

HPEは、このパッケージ内のファームウェアでの使用向けに、*HPE QLogic FastLinQ 25GbE* ドライバー for *Windows Server x64 Editions*、バージョン8.11.9.0以降を推奨しています。

事前要件

このパッケージには、ファームウェアをアップデートする前にご使用のネットワークアダプター用の適切なドライバーバージョンがインストールされている必要があります。

修正

この製品のファームウェアは、ウォーム/コールドブート後に見られる断続的なPCIe列挙問題に対処しています。

この製品のファームウェアは、SRIOV有効状態でNPARを有効化すると見られるシステムクラッシュに対処しています。

この製品のファームウェアは、PXEブートが複数回試みられた場合に見られる「NIC 初期化エラー」メッセージの問題に対処しています。

この製品のファームウェアは、DHCP IP構成時、NCSIパススルーが機能しない問題に対処しています。

この製品のファームウェアでは、PXEブートがレガシブートモードで失敗する問題に対処しています。

この製品のファームウェアでは、PXEブートがポート上で無効化されている場合に、システムがPXEブートする問題に対処しています。

拡張

この製品は、Windows Server 2016をサポートします。

HPE QLogic NC382i/NC532xオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86
バージョン: 2.18.1 (オプション)

ファイル名: CP028810.scexe; CP028810.txt; hp-firmware-nic-qlogic-57xx-2.18.1-1.1.i386.rpm

重要な注意!

HPEは、このファームウェアでの使用に、*HPE QLogic NX2 1/10/20 GbE* マルチファンクションドライバー、バージョン7.13.59-1以降をおすすめします。

事前要件

このパッケージは、HP Smart Update Manager (HPSUM) バージョン7.0.0.0またはそれ以降で使用することができます。以前のバージョンのHPSUMは、このパッケージを正しくインストールすることはできません。

このパッケージには、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、ファームウェアを更新する前にすべてのEthernetポートがアップ(*ifup ethX* または *ifconfig ethX up*)している必要があります。

拡張

最初のリリースです。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC382i内蔵デュアルポート マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
- HP NC532i デュアルポート 10GbE マルチファンクション BL-cアダプター (3654)
- HP NC532i デュアルポート 10GbE マルチファンクション BL-cアダプター (7058)
- HP NC532mデュアルポート10GbEマルチファンクションBL-cアダプター

HPE QLogic NC382i/NC532xオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64
バージョン: 2.18.1 (オプション)
ファイル名: CP028811.scexe; CP028811.txt; hp-firmware-nic-qlogic-57xx-2.18.1-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

HPEは、このファームウェアでの使用に、*HPE QLogic NX2 1/10/20 GbE*マルチファンクションドライバー、バージョン7.13.59-1以降をおすすめします。

事前要件

このパッケージは、HP Smart Update Manager (HPSUM) バージョン7.0.0.0またはそれ以降で使用することができます。以前のバージョンのHPSUMは、このパッケージを正しくインストールすることはできません。

このパッケージには、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、ファームウェアを更新する前にすべてのEthernetポートがアップ(*ifup ethX* または *ifconfig ethX up*)している必要があります。

拡張

最初のリリースです。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC382i内蔵デュアルポート マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
- HP NC532i デュアルポート 10GbE マルチファンクション BL-cアダプター (3654)
- HP NC532i デュアルポート 10GbE マルチファンクション BL-cアダプター (7058)
- HP NC532mデュアルポート10GbEマルチファンクションBL-cアダプター

HPE QLogic NC382i/NC532xオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware
バージョン: 1.15.1 (オプション)
ファイル名: CP028840.zip

重要な注意！

HPEは、このパッケージのファームウェアでの使用に、HPE QLogic NX2 1/10/20 GbEマルチファンクションドライバー for VMware、バージョン2016.10.07またはそれ以降をおすすめします。

事前要件

このパッケージは、ファームウェアをアップデートする前にインストールされるご使用のデバイス向けに、適切なHPE QLogic NX2ドライバー for VMwareが必要です。

拡張

最初のリリースです。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC382i内蔵デュアルポート マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
- HP NC532iデュアルポート10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP NC532mデュアルポート10GbEマルチファンクションBL-cアダプター

HPE QLogic NC382i/NC532xオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server 2008
バージョン: 4.1.0.25 (オプション)
ファイル名: cp028812.exe

重要な注意!

HPEは、この製品のファームウェアで使用するために、適用可能な次のドライバーをおすすめします:

- HP Broadcom 1Gbマルチファンクションドライバー for Windows Server 2008、バージョン7.8.50.0(D)以降
- HPE QLogic NX2 10/20GbEマルチファンクションドライバー for Windows Server 2008、バージョン7.13.3.0以降

事前要件

このパッケージは、ファームウェアをアップデートする前にネットワークアダプター用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

拡張

最初のリリースです。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC382i内蔵デュアルポート マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
- HP NC532iデュアルポート10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP NC532mデュアルポート10GbEマルチファンクションBL-cアダプター

HPE QLogic NC382i/NC532xオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions
バージョン: 4.1.0.25 (オプション)
ファイル名: cp028813.exe

重要な注意!

HPEは、この製品のファームウェアで使用するために、適用可能な次のドライバーをおすすめします:

- HP Broadcom 1Gbマルチファンクションドライバー for Windows Server x64 Editions、バージョン7.8.50.0(E)以降
- HPE QLogic NX2 10/20GbEマルチファンクションドライバー for Windows Server x64 Edition、バージョン7.13.3.0以降

事前要件

このパッケージは、ファームウェアをアップデートする前にネットワークアダプター用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

拡張

最初のリリースです。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC382i内蔵デュアルポート マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
- HP NC532iデュアルポート10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP NC532mデュアルポート10GbEマルチファンクションBL-cアダプター

HPE QLogic NX2オンライン ファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware

バージョン: 1.12.43 (オプション)

ファイル名: CP028018.zip

重要な注意！

HPEは、このパッケージのファームウェアでの使用に、HPE QLogic NX2 1/10/20 GbEマルチファンクションドライバー for VMware、バージョン2016.10.07またはそれ以降をおすすめします。

事前要件

このパッケージは、ファームウェアをアップデートする前にインストールされるご使用のデバイス向けに、適切なHPE QLogic NX2ドライバー for VMwareが必要です。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Synergy 10Gb 2820C Ethernetアダプター
- HPE Synergy 3820C 10/20Gbコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86

バージョン: 2.18.44 (オプション)

ファイル名: hp-firmware-nic-qlogic-nx2-2.18.44-1.1.i386.rpm

重要な注意！

HPEは、このパッケージのファームウェアでの使用に、HPE QLogic NX2 1/10/20 GbEマルチファンクションドライバー for Linuxバージョン7.14.07以降をおすすめします。

事前要件

このパッケージは、HP Smart Update Manager (HPSUM) バージョン7.0.0.0またはそれ以降で使用することができます。以前のバージョンのHPSUMは、このパッケージを正しくインストールすることはできません。

このパッケージには、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、ファームウェアを更新する前にすべてのEthernetポートがアップ(*ifup ethX* または *ifconfig ethX up*)している必要があります。

修正

この製品はiSCSIとFCoEの機器構成メニューがNPARを有効にした後に表示されるという問題に対処します。

この製品は、予期していたネットワークデバイスがレガシーBIOSブート順序メニューに表示されないという問題に対処します。

HPE QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64

バージョン: 2.18.44 (オプション)

ファイル名: hp-firmware-nic-qlogic-nx2-2.18.44-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

HPEは、このパッケージのファームウェアでの使用に、*HPE QLogic NX2 1/10/20 GbE*マルチファンクションドライバー *for Linux*バージョン7.14.07以降をおすすめします。

事前要件

このパッケージは、HP Smart Update Manager (HPSUM) バージョン7.0.0.0またはそれ以降で使用することができます。以前のバージョンのHPSUMは、このパッケージを正しくインストールすることはできません。

このパッケージには、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、ファームウェアを更新する前にすべてのEthernetポートがアップ(*ifup ethX* または *ifconfig ethX up*)している必要があります。

修正

この製品はiSCSIとFCoEの機器構成メニューがNPARを有効にした後に表示されるという問題に対処します。

この製品は、予期していたネットワークデバイスがレガシーBIOSブート順序メニューに表示されないという問題に対処します。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Synergy 3820C 10/20Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE Synergy 10Gb 2ポート 2820C コンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server 2008

バージョン: 5.0.0.24 (オプション)

ファイル名: cp028019.exe

重要な注意!

HPEは、このパッケージのファームウェアでの使用向けに、*HPE QLogic NX2 10/20GbE*マルチファンクションドライバー *for Windows Server 2008*、バージョン7.13.104.0以降を推奨しています。

事前要件

このパッケージには、ファームウェアをアップデートする前にご使用のネットワークアダプター用の適切なドライバーバージョンがインストールされている必要があります。

修正

この製品はiSCSIとFCoEの機器構成メニューがNPARを有効にした後に表示されるという問題に対処します。

この製品は、予期していたネットワークデバイスがレガシーBIOSブート順序メニューに表示されないという問題に対処します。

HPE QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Edition
バージョン: 5.0.0.24 (オプション)
ファイル名: cp028020.exe

重要な注意！

HPEは、このパッケージのファームウェアでの使用向けに、*HPE QLogic NX2 10/20GbEマルチファンクションドライバー for Windows Server 2008*、バージョン7.13.104.0以降を推奨しています。

事前要件

このパッケージには、ファームウェアをアップデートする前にご使用のネットワークアダプター用の適切なドライバーバージョンがインストールされている必要があります。

拡張

この製品は、Windows Server 2016をサポートします。

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Synergy 10Gb 2820C Ethernetアダプター
- HPE Synergy 3820C 10/20Gbコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic P3Pオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server 2008
バージョン: 4.0.0.21 (C) (オプション)
ファイル名: cp027813.exe

重要な注意！

HPEは、このファームウェアでの使用に、*HPE QLogic P3Pマルチファンクションドライバー for Windows Server 2008*、バージョン5.3.30.1001をおすすめします。

事前要件

このパッケージは、ファームウェアをアップデートする前にアダプター用のドライバーがインストールされている必要があります。

修正

この製品は、アダプターへのフラッシュアップデートの試みが“incompatible table layout”エラーメッセージとなるまれに見られる問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP CN1000Q Dual Port Converged Network Adapter
- HP NC523SFP 10Gb デュアルポート Ethernet サーバーアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 526FLR-SFP+アダプター

HPE QLogic P3Pオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Edition
バージョン: 4.0.0.21 (C) (オプション)
ファイル名: cp027814.exe

重要な注意!

HPEは、このファームウェアでの使用に、適切なHPE QLogic P3Pマルチファンクションドライバー、バージョン5.3.30.1001をおすすめします。

事前要件

このパッケージは、ファームウェアをアップデートする前にプラットフォーム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

この製品は、アダプターへのフラッシュアップデートの試みが“incompatible table layout”エラーメッセージとなるまれに見られる問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP CN1000Q Dual Port Converged Network Adapter
- HP NC523SFP 10Gb デュアルポート Ethernet サーバーアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 526FLR-SFP+アダプター

ファームウェア - パワーマネジメント

[先頭](#)

オンラインROMフラッシュ for Linux - アドバンスド消費電力上限マイクロコントローラーファームウェア for HPE Gen9サーバー

バージョン: 1.0.9 (F) (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-powerpic-gen9-1.0.9-6.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

Ver. 1.0.9 (F) には新しいサーバー製品のサポートが含まれます。機能的にVer. 1.0.9と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.9にアップグレードするために以前のリリースのコンポーネントが使われた場合は、リリースFにアップグレードする必要はありません。

提供名:

アドバンスドパワーキャッピングマイクロコントローラーファームウェア (HPE Gen9サーバー)

リリースバージョン:

1.0.9

最新の推奨またはクリティカルリリース:

1.0.7

以前のリリース:

1.0.7

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

最小消費電力上限値が特定のシステムで誤って計算されていた問題に対処しました。この修正により、POST中の最小上限値設定の正確さが向上します。

既知の問題点:

なし

事前要件

このフラッシュコンポーネントを使用する前に、"HP ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver"がインストールされて実行されている必要があります。ドライバーが実行されていない場合、次のエラーメッセージが表示されます。

「The software is not supported for installation on this system.

You must install the iLO Channel Interface driver to use this component.」

修正

重要な注意:

Ver. 1.0.9 (F) には新しいサーバー製品のサポートが含まれます。機能的にVer. 1.0.9と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.9にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンFにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

最小消費電力上限値が特定のシステムで誤って計算されていた問題に対処しました。この修正により、POST中の最小上限値設定の正確さが向上します。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュ for Linux - パワーマネジメント Controller

バージョン: 4.1 (E) (推奨)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-powerpic-dl580-4.1-5.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

Ver. 4.1 (E)はファームウェアRPMインストールコマンド名の"cpqsetup"から"hpsetup"への変更を含んでいて、機能的にVer. 4.1と同等です。ファームウェアをバージョン4.1にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンEにアップグレードする必要はありません。

提供名:

Power Management Controller

リリースバージョン :

4.1 (E)

最新の推奨またはクリティカルリビジョン :

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

以前のリビジョン :

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

ファームウェアの関連性 :

なし

改善点/新しい機能 :

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

修正された問題点 :

なし

既知の問題点 :

インストール手順が完了すると、スマートコンポーネントが不必要なリブートを促します。アップデートの効果とハードウェアの安定を得るために、インストール後のリブートは必要ありません。

事前要件

このフラッシュコンポーネントを使用する前に、"HP ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver"がインストールされて実行されている必要があります。ドライバーが実行されていない場合、次のエラーメッセージが表示されます。

「The software is not supported for installation on this system.

You must install the iLO Channel Interface driver to use this component.」

拡張

重要な注意 :

バージョン4.1 (E)は、“cpqsetup”から“hpsetup”へのファームウェアRPMインストールコマンド名の変更を含んでいて、機能的にバージョン4.1と同じです。ファームウェアをバージョン4.1にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンEにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの関連性 :

なし

改善点/新しい機能 :

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

既知の問題点 :

インストール手順が完了すると、スマートコンポーネントが不必要なリブートを促します。アップデートの効果とハードウェアの安定を得るために、インストール後のリブートは必要ありません。

オンラインROMフラッシュ for Linux - パワーマネジメント Controller (HP ProLiant Gen8サーバー)

バージョン: 3.3 (D) (推奨)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-powerpic-gen8-3.3-4.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意：

Ver. 3.3 (D)はファームウェアRPMインストールコマンド名の"cpqsetup"から"hpsetup"への変更を含んでいて、機能的にVer. 3.3と同等です。ファームウェアをバージョン3.3にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンDにアップグレードする必要はありません。

提供名：

Power Management Controller (HP ProLiant Gen8サーバー)

リリースバージョン：

3.3.3

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

3.3.3

以前のリビジョン：

3.2

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

このファームウェアアップデートは、カスタマーアドバイザリーc03885073に記載されている問題に対処します。問題および影響を受けるプラットフォームのリストについては、以下からこのアドバイザリーを参照してください。
http://h20000.www2.hp.com/bizsupport/TechSupport/Document.jsp?locale=en_US&objectID=c03885073

既知の問題点：

なし

修正**重要な注意：**

バージョン3.3 (D)は、“cpqsetup”から“hpsetup”へのファームウェアRPMインストールコマンド名の変更を含んでいて、機能的にバージョン3.3と同じです。ファームウェアをバージョン3.3にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンDにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

このファームウェアアップデートは、カスタマーアドバイザリーc03885073に記載されている問題に対処します。問題および影響を受けるプラットフォームのリストについては、以下からこのアドバイザリーを参照してください。
http://h20000.www2.hp.com/bizsupport/TechSupport/Document.jsp?locale=en_US&objectID=c03885073

既知の問題点：

なし

バージョン: 1.0.9 (E) (オプション)

ファイル名: CP029897.zip

重要な注意!

重要な注意:

Ver. 1.0.9 (E) には新しいサーバー製品のサポートが含まれます。機能的にVer. 1.0.9と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.9にアップグレードするために以前のリリースのコンポーネントが使われた場合は、リリースEにアップグレードする必要はありません。

提供名:

アドバンストパワーキャッピングマイクロコントローラーファームウェア (HPE Gen9サーバー)

リリースバージョン:

1.0.9

最新の推奨またはクリティカルリリース:

1.0.7

以前のリリース:

1.0.7

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

最小消費電力上限値が特定のシステムで誤って計算されていた問題に対処しました。この修正により、POST中の最小上限値設定の正確さが向上します。

既知の問題点:

なし

事前要件

このフラッシュコンポーネントを使用する前に、"HP ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver"がインストールされて実行されている必要があります。ドライバーが実行されていない場合、次のエラーメッセージが表示されます。

「The software is not supported for installation on this system.

You must install the iLO Channel Interface driver to use this component.」

修正

重要な注意:

Ver. 1.0.9 (E) には新しいサーバー製品のサポートが含まれます。機能的にVer. 1.0.9と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.9にアップグレードするために以前のリリースのコンポーネントが使われた場合は、リリースEにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点：

最小消費電力上限値が特定のシステムで誤って計算されていた問題に対処しました。この修正により、POST中の最小上限値設定の正確さが向上します。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ for VMware ESXi - Power Management Controller
バージョン: 4.1 (E) (推奨)
ファイル名: CP026094.zip

重要な注意！**重要な注意：**

Ver. 4.1 (E)はコンポーネントパッケージのアップデートを含んでいて、機能的にVer. 4.1と同等です。ファームウェアをバージョン4.1にアップグレードするために以前のバージョンのコンポーネントが使われた場合は、バージョンEにアップグレードする必要はありません。

提供名：

Power Management Controller

リリースバージョン：

4.1(E)

最新の推奨またはクリティカルバージョン：

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

以前のバージョン：

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

修正された問題点：

なし

既知の問題点：

インストール手順が完了すると、スマートコンポーネントが不必要なリポートを促します。アップデートの効果とハードウェアの安定を得るために、インストール後のリポートは必要ありません。

事前要件

このフラッシュコンポーネントを使用する前に、"HP ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver"がインストールされて実行されている必要があります。ドライバーが実行されていない場合、次のエラーメッセージが表示されます。

「The software is not supported for installation on this system.
You must install the iLO Channel Interface driver to use this component.」

拡張

重要な注意：

Ver. 4.1 (E)はコンポーネントパッケージのアップデートを含んでいて、機能的にVer. 4.1と同等です。ファームウェアをバージョン4.1にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンEにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの関連性：

なし

改善点/新しい機能：

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

既知の問題点：

インストール手順が完了すると、スマートコンポーネントが不必要なリブートを促します。アップデートの効果とハードウェアの安定を得るために、インストール後のリブートは必要ありません。

オンラインROMフラッシュ for VMware ESXi - Power Management Controller (HP ProLiant Gen8サーバー)

バージョン: 3.3 (E) (**推奨**)

ファイル名: CP028426.zip

重要な注意！

重要な注意：

Ver. 3.3(E)は新しいサーバー製品のサポートを含んでいて、機能的にVer. 3.3と同等です。ファームウェアをバージョン3.3にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンEにアップグレードする必要はありません。

提供名：

Power Management Controller (HP ProLiant Gen8サーバー)

リリースバージョン：

3.3(E)

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

3.3

以前のリビジョン：

3.3

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

ファームウェアバージョン 3.3は、カスタマーアドバイザリ c03885073に記載されている問題に対処します。問題および影響を受けるプラットフォームのリストについては、以下からこのアドバイザリを参照してください。

http://h20000.www2.hp.com/bizsupport/TechSupport/Document.jsp?locale=en_US&objectID= c03885073

既知の問題点：

なし

事前要件

このフラッシュコンポーネントを使用する前に、"HP ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver"がインストールされて実行されている必要があります。ドライバーが実行されていない場合、次のエラーメッセージが表示されます。

「The software is not supported for installation on this system.

You must install the iLO Channel Interface driver to use this component.」

修正

重要な注意：

Ver. 3.3(E)は新しいサーバー製品のサポートを含んでいて、機能的にVer. 3.3と同等です。ファームウェアをバージョン3.3にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンEにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの関連性：

なし

修正された問題点：

ファームウェアバージョン 3.3は、カスタマーアドバイザリ c03885073に記載されている問題に対処します。問題および影響を受けるプラットフォームのリストについては、以下からこのアドバイザリを参照してください。

http://h20000.www2.hp.com/bizsupport/TechSupport/Document.jsp?locale=en_US&objectID=c03885073

既知の問題点：

なし

拡張

オンラインROMフラッシュ for Windows x64 - アドバンスド消費電力上限マイクロコントローラーファームウェア for HPE Gen9サーバー

バージョン: 1.0.9 (E) (オプション)

ファイル名: cp029898.exe

重要な注意！

重要な注意：

Ver. 1.0.9 (E) には新しいサーバー製品のサポートが含まれます。機能的にVer. 1.0.9と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.9にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンEにアップグレードする必要はありません。

提供名：

アドバンスドパワーキャッピングマイクロコントローラーファームウェア (HPE Gen9サーバー)

リリースバージョン：

1.0.9

最新の推奨またはクリティカルリビジョン：

1.0.7

以前のリビジョン：

1.0.7

ファームウェアの依存関係：

なし

改善点/新しい機能：

なし

修正された問題点：

最小消費電力上限値が特定のシステムで誤って計算されていた問題に対処しました。この修正により、POST中の最小上限値設定の正確さが向上します。

既知の問題点：

なし

事前要件

このフラッシュコンポーネントを使用する前に、"HP ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver for Windows"がインストールされて実行されている必要があります。ドライバーが実行されていない場合、次のエラーメッセージが表示されます。

「The software is not supported for installation on this system.
You must install the iLO Channel Interface driver to use this component.」

修正**重要な注意：**

Ver. 1.0.9 (E) には新しいサーバー製品のサポートが含まれます。機能的にVer. 1.0.9と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.9にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンCにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係：

なし

修正された問題点：

最小消費電力上限値が特定のシステムで誤って計算されていた問題に対処しました。この修正により、POST中の最小上限値設定の正確さが向上します。

既知の問題点：

なし

オンラインROMフラッシュ for Windows - パワーマネジメント Controller (HP ProLiant DL580 Gen8サーバー)
バージョン: 4.1 (B) (推奨)
ファイル名: cp022555.exe

重要な注意！**重要な注意：**

なし

提供名：

Power Management Controller (HP ProLiant DL580 Gen8サーバー)

リリースバージョン :

4.1 (B)

最新の推奨またはクリティカルリビジョン :

4.1(B)

以前のリビジョン :

4.1

ファームウェアの関連性 :

なし

改善点/新しい機能 :

バージョン 4.1 (B) は、マイナーなドキュメントの更新を含みます。 ver. 4.1 (B) に含まれているPower Management Controllerファームウェアは、ver 4.1に含まれているファームウェアと同一です。 そのため、Power Management Controllerファームウェアが4.1の場合、4.1 (B) にアップグレードする必要はありません。

修正された問題点 :

なし

既知の問題点 :

なし

事前要件

このフラッシュコンポーネントを使用する前に、"HP ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver for Windows"がインストールされて実行されている必要があります。 ドライバーが実行されていない場合、次のエラーメッセージが表示されます。

「The software is not supported for installation on this system.

You must install the iLO Channel Interface driver to use this component.」

拡張

重要な注意 :

なし

ファームウェアの関連性 :

なし

改善点/新しい機能 :

バージョン 4.1 (B) は、マイナーなドキュメントの更新を含みます。 ver. 4.1 (B) に含まれているPower Management Controllerファームウェアは、ver 4.1に含まれているファームウェアと同一です。 そのため、Power Management Controllerファームウェアが4.1の場合、4.1 (B) にアップグレードする必要はありません。

既知の問題点 :

なし

バージョン: 3.3 (推奨)

ファイル名: cp021612.exe

重要な注意!

重要な注意:

サーバーの動的消費電力上限が有効な場合、Power Management Controllerファームウェアのフラッシュアップデート中にサーバーのパフォーマンスが大きな影響を受ける可能性があります。パフォーマンスへの影響を防ぐために、動的消費電力上限をフラッシュアップデート処理の前に無効にすることができます。

提供名:

Power Management Controller (HP ProLiant Gen8サーバー)

リリースバージョン:

3.3

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

3.3

以前のリビジョン:

3.2

ファームウェアの関連性:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このファームウェアアップデートは、カスタマーアドバイザリー-c03885073に記載されている問題に対処します。問題および影響を受けるプラットフォームのリストについては、以下からこのアドバイザリーを参照してください。
http://h20000.www2.hp.com/bizsupport/TechSupport/Document.jsp?locale=en_US&objectID=c03885073.

既知の問題点:

なし

事前要件

このフラッシュコンポーネントを使用する前に、"HP ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver for Windows"がインストールされて実行されている必要があります。ドライバーが実行されていない場合、次のエラーメッセージが表示されます。

「The software is not supported for installation on this system.

You must install the iLO Channel Interface driver to use this component.」

修正

重要な注意:

サーバーの動的消費電力上限が有効な場合、Power Management Controllerファームウェアのフラッシュアップデート中にサーバーのパフォーマンスが大きな影響を受ける可能性があります。パフォーマンスへの影響を防ぐために、動的消費電力上限をフラッシュアップデート処理の前に無効にすることができます。

ファームウェアの関連性:

なし

修正された問題点：

このファームウェアアップデートは、カスタマーアドバイザリーc03885073に記載されている問題に対処します。問題および影響を受けるプラットフォームのリストについては、以下からこのアドバイザリーを参照してください。
http://h20000.www2.hp.com/bizsupport/TechSupport/Document.jsp?locale=en_US&objectID= c03885073.

既知の問題点：

なし

ファームウェア - SASストレージディスク

先頭

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EO0200FBRVV、MO0200FBRWB、EO0400FBRWA、MO0400FBRWC、およびMO0800FBRWDドライブ
バージョン: HPD9 (C) (オプション)
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-792f35abb6-HPD9-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD9を既にインストールしている場合、HPD9(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点：

- Report Support Operation Code(RSOC)コマンド(A3h)をソリッドステートドライブに発行し、レポートオプションフィールドが001に設定されたとき、以前のファームウェアリビジョンでは、ドライブはRSOCコマンドがサポートされないことを00/05/24で示す誤った応答をしました。エラーはシステムログファイルに記録されました。ドライブはCommand Data Parameter (CDP) フォーマットを使用して、非サポートを伝えておく必要がありました。ファームウェアはRSOC業界標準仕様に準拠するようになりました。
- HP H2xx ホストバスアダプター (HBA) に接続されるドライブのフラッシュで、ドライブファームウェアのインストール障害を引き起こす割り込みが発生しなくなりました。

HPD9 (C)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

拡張

改善点/新しい機能：

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPD9 (B)の改善点/新しい機能：

- すべてのSASドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - DH0072FAQRD、
DH0146FAQRE、EH0146FAWJB、およびEH0072FAWJAドライブ
バージョン: HPDK (B) (推奨)
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-ca173adbad-HPDK-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPDKを既にインストールしている場合、HPDK(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- HP ProLiantサーバーが誤ってレポートされたハードディスクドライブ温度超過状態により電源ダウンしました。ハードディスクドライブのファームウェアHPDKは、この問題を解決します。

HPDK (B)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EG0300FBDBR、
EG0450FBDBTおよびEG0600FBDBUドライブ
バージョン: HPDA (C) (クリティカル)
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-f1eafd9715-HPDA-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPDAを既にインストールしている場合、HPDA(C)へ更新する必要はありません。

事前要件

- 最低ファームウェア要件 - HPD7。HPD7より前のバージョンにダウングレードすると、HPDAドライバーファームウェアは機能しなくなります。

修正

ファームウェアの関連性：

- 最低ファームウェア要件 - HPD7。HPD7より前のバージョンにダウングレードすると、HPDAドライバーファームウェアは機能しなくなります。

修正された問題点：

- このファームウェアは、古くなったデータがディスクに書き込まれる可能性がある状態を修正します。これにより以降の要求で予期しないデータが返されます。このデータの問題は、ラボでのファームウェアストレステストで再現されました。

HPDA (C)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

拡張

改善点/新しい機能：

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPDA (B)の改善点/新しい機能：

- すべてのSASドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EG0300FBDSF、EG0450FBDSQ、およびEG0600FBDSRドライブ

バージョン: HPD6 (C) (オプション)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-06ac84a5d4-HPD6-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD6を既にインストールしている場合、HPD6(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、起動中にコントローラーが特定のポート/スロットに接続されたドライブを識別できなくなるにつながる、コントローラーとドライブが正常にリンク信号をネゴシエーションできない可能性を減らします。このファームウェアは、ドライブとコントローラーの間の信号の品質を向上します。
- HP H2xx ホストバスアダプター (HBA) に接続されるドライブのフラッシュで、ドライブファームウェアのインストール障害を引き起こす割り込みが発生しなくなりました。

HPD6 (C)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

拡張

改善点/新しい機能 :

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPD6 (B)の改善点/新しい機能 :

- すべてのSASドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EG0300FBLSE、EG0450FBLSF、EG0600FBLSH、およびEG0900FBLSKドライブ
バージョン: HPD8 (B) (推奨)
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-815e5e101b-HPD8-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD8を既にインストールしている場合、HPD8(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- HP ProLiantサーバーが誤ってレポートされたハードディスクドライブ温度超過状態により電源ダウンしました。ハードディスクドライブのファームウェアHPD8は、この問題を解決します。

HPD8 (B)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EG0300FBVFL、EG0450FBVFM、EG0600FBVFP、およびEG0900FBVFQドライブ

バージョン: HPDE (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-b94f345c05-HPDE-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPDEを既にインストールしている場合、HPDE(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- ドライブセルフテストが指定された時間内に完了しませんでした。
- 完全にキャッシュされたワークロード時に、SMARTが誤った温度値を報告します。

HPDE (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

拡張

改善点/新しい機能：

- 消費電力を低減するサーボの改善を追加しました。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EG0300FCHHR、EG0450FCHHT、EG0600FCHHU、およびEG0900FCHHVドライブ

バージョン: HPD8 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-8a9b54701e-HPD8-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmart アレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPP およびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD8を既にインストールしている場合、HPD8(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- ホストが多数の重複するタスク管理コマンドを送信した場合に、ドライブが応答しなくなる可能性がある潜在的な問題が存在しました。ドライブは回復のために電源再投入を必要とします。

HPD8 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

拡張

改善点/新しい機能：

- ドライブスピンダウン前の書き込み保護の堅牢性を改善しました。
- RAID環境でのマイナーなパフォーマンス向上を実行しました。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EG0300FCVBF, EG0450FCVBH, EG0600FCVBKおよびEG0900FCVBLドライブ

バージョン: HPD9 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-415992e26f-HPD9-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmart アレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPP およびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD9を既にインストールしている場合、HPD9(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- シリアルポート診断デバッグ接続からの予期しない応答のため、ドライブが応答しなくなる可能性があります。

HPD9 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

サプリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EG0300JEHLV、EG0600JEHMA、EG0900JEHMB、およびEG1200JEHMCドライブ
バージョン: HPD3 (B) (推奨)
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-31f91b8622-HPD3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD3を既にインストールしている場合、HPD3(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- ドライブがコントローラーへ06/29/04 (自主リセット)を報告した、ATI (Adjacent Track Interference)緩和時の自主リセット問題。コントローラーはドライブとのリンクを再確立し、コマンドを再送信します。
- ドライブパフォーマンスの劣化をもたらすサーボの計算ミス。

HPD3 (B)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

サプリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EG0300JFCKA、EG0600JEMCV、EG0900JFCKB、およびEG1200JEMDAドライブ
バージョン: HPD4 (B) (推奨)
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-ac3fda26eb-HPD4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmart アレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPP およびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- サニタイズ、フォーマットおよびDST動作が完了するまでの予想時間が重要な製品データページD0hで誤って報告されました。完了時間がいつ動作を終了するかを決定するためにアプリケーションにより使われる場合、動作の完了前に動作が終了することがあります。ファームウェアバージョンHPD4は、正確にこれらの動作の完成までの期待時間を報告します。

HPD4 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

サプリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EG0900FDJYRおよびEG1200FDJYTドライブ

バージョン: HPD4 (C) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-7cfa9118b1-HPD4-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmart アレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPP およびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点：

- バックグラウンドスキャン中にError Correction Code (ECC)が失敗する連続したエラー回復がドライブで起こる、ごくまれな環境でドライブからの"読み込み"または"書き込み"での誤ったデータの可能性を防ぎます。この問題は、厳密なテスト環境で観察されましたが、顧客の運用環境では報告されていません。

HPD4 (B)に対して修正された問題：

- Linux Smartコンポーネントは、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

HPD4 (C)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EG1800JEHMD ドライブバージョン: HPD4 (C) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-8a2c06af48-HPD4-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- ドライブがコントローラーへ06/29/04 (自主リセット)を報告した、ATI (Adjacent Track Interference)緩和時の自主リセット問題。コントローラーはドライブとのリンクを再確立し、コマンドを再送信します。
- ドライブパフォーマンスの劣化をもたらすサーボの計算ミス。

HPD4 (B)に対して修正された問題 :

- Linux Smartコンポーネントは、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

HPD4 (C)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EG1800JEMDB ドライブバージョン: HPD2 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-0a38b25661-HPD2-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmart アレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPP およびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPD2以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。このファームウェアは、また、記録された後、修理されたセクターのステータスが誤って再割り当てされることを防ぐための変更が含まれます。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EH0072FARUAおよびEH0146FARUBドライブ

バージョン: HPD9 (C) (オプション)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-88df5ee1cd-HPD9-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmart アレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPP およびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD9を既にインストールしている場合、HPD9(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、起動中にコントローラーが特定のポート/スロットに接続されたドライブを識別できなくなることにつながる、コントローラーとドライブが正常にリンク信号をネゴシエーションできない可能性を減らします。このファームウェアは、ドライブとコントローラーの間の信号の品質を向上します。
- HP H2xx ホストバスアダプター (HBA) に接続されるドライブのフラッシュで、ドライブファームウェアのインストール障害を引き起こす割り込みが発生しなくなりました。

HPD9 (C)に対して修正された問題点：

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

拡張

改善点/新しい機能：

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPD9 (B)の改善点/新しい機能：

- すべてのSASドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EH0072FARWCおよびEH0146FARWDドライブ

バージョン: HPDD (C) (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-92875cb465-HPDD-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPDDを既にインストールしている場合、HPDD(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- このファームウェアは、古くなったデータがディスクに書き込まれる可能性がある状態を修正します。これにより以降の要求で予期しないデータが返されます。このデータの問題は、ラボでのファームウェアストレステストで再現されました。
- HP H2xx ホストバスアダプター (HBA) に接続されるドライブのフラッシュで、ドライブファームウェアのインストール障害を引き起こす割り込みが発生しなくなりました。

HPDD (C)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

拡張

改善点/新しい機能 :

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPDD (B)の改善点/新しい機能 :

- すべてのSASドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EH0146FBQDCおよびEH0300FBQDDドライブ

バージョン: HPD5 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-1ec3c02013-HPD5-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD5を既にインストールしている場合、HPD5(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- HP ProLiantサーバーが誤ってレポートされたハードディスクドライブ温度超過状態により電源ダウンしました。ハードディスクドライブのファームウェアHPD5は、この問題を解決します。

HPD5 (B)に対して修正された問題点：

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EH0146FCBVBおよびEH0300FCBVC ドライブ

バージョン: HPD8 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-74df2d6c5c-HPD8-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- トラックの狭い範囲にデータを書き込むアプリケーションの信頼性の向上。
- デバイスがモーターの電流の異常な負荷を検知する場合の新しいSMART Trip。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EH0300JDYTH、EH0450JDYTK、およびEH0600JDYTL ドライブ

バージョン: HPD4 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-b9340d29be-HPD4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- ドライブがコントローラーへ06/29/04 (自主リセット)を報告した、ATI (Adjacent Track Interference)緩和時の自主リセット問題。コントローラーはドライブとのリンクを再確立し、コマンドを再送信します。
- ドライブパフォーマンスの劣化をもたらすサーボの計算ミス。

HPD4 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EH0300JEDHC、EH0450JEDHD、およびEH0600JEDHEドライブ
バージョン: HPD4 (推奨)
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-8c4a212ff9-HPD4-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPD4以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。このファームウェアは、また、記録された後、修理されたセクターのステータスが誤って再割り当てされることを防ぐための変更が含まれます。
-

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EH0600JDYTNドライブ
バージョン: HPD5 (B) (推奨)
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-f3faa195ff-HPD5-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD5を既にインストールしている場合、HPD5(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- ドライブがコントローラーへ06/29/04 (自主リセット)を報告した、ATI (Adjacent Track Interference)緩和時の自主リセット問題。コントローラーはドライブとのリンクを再確立し、コマンドを再送信します。
- ドライブパフォーマンスの劣化をもたらすサーボの計算ミス。

HPD5 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB1000FCWDE、
MB2000FCWDF、MB3000FCWDH および MB4000FCWDKドライブ
バージョン: HPDA (推奨)
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-4892d09bcf-HPDA-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPDA以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。

- このファームウェアは、また、記録された後、修理されたセクターのステータスが誤って再割り当てされることを防ぐための変更が含まれます。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB1000FCWPP、
MB2000FCVBV、MB3000FCVCA、およびMB4000FCVCBドライブ

バージョン: HPD2 (C) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-64ffa21017-HPD2-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD2を既にインストールしている場合、HPD2(C)へ更新する必要はありません。

修正

HPD2 (C)に対して修正された問題:

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

拡張

改善点/新しい機能:

- このファームウェアは、実装されていない場合は、特定の用途(例えば、狭い範囲の非常に長期間のシーク)のために増加するドライブ障害率につながる可能性があるピボット軸受グリースウェアレベリングアルゴリズムを変更することにより信頼性を向上します。
- 改善点には、性能の向上が含まれています。

HPD2 (B)の改善点/新しい機能:

- すべてのSASドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB2000FBUCCLおよび
MB3000FBUCNドライブ

バージョン: HPDA (C) (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-e0a45065fd-HPDA-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすること

はサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmart アレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPP およびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPDAを既にインストールしている場合、HPDA(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、メディアの堅牢性のためのバックグラウンドスキャンを改善し、ディスクが最新のキャッシュデータによって更新されないことがあったラボで起こったまれな状態を修正します。

HPDA (C)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

拡張

改善点/新しい機能：

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPDA (B)の改善点/新しい機能：

- すべてのSASドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB2000FCQPFおよびMB3000FBNWVドライブ

バージョン: HPD9 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-52de99d707-HPD9-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmart アレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPP およびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- HP ProLiantサーバーが誤ってレポートされたハードディスクドライブ温度超過状態により電源ダウンしました。ハードディスクドライブのファームウェアHPD9は、この問題を解決します。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB2000FCZGH、
MB3000FCZGK、およびMB4000FCZGLドライブ
バージョン: HPD7 (B) (推奨)
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-a8d1969535-HPD7-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD7を既にインストールしている場合、HPD7(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- このファームウェアは、電源オンの後に見つかるドライブの障害を引き起こす可能性のある問題を修正します。

HPD7 (B)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB2000JFEPAおよび
MB4000JFEPBドライブ
バージョン: HPD2 (推奨)
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-326de7c0f2-HPD2-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点 :

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPD2以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。このファームウェアは、また、記録された後、修復されたセクターのステータスが誤って再割り当てされることを防ぐための変更が含まれます。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB4000JEFNCおよびMB6000JEFNDドライブ

バージョン: HPD5 (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-af802bb412-HPD5-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点 :

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPD5以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。このファームウェアは、また、記録された後、修理されたセクターのステータスが誤って再割り当てされることを防ぐための変更が含まれます。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB4000JEQNLおよびMB6000JEQNNドライブ

バージョン: HPD7 (B) (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-2cfaac41db-HPD7-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD7を既にインストールしている場合、HPD7(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- このファームウェアは、予約コマンドが使用される、書き込みキャッシュされたマルチイニシエーター非整列書き込みが有効な環境での潜在的な不正データ問題を修正します。

HPD7 (B)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB6000FEDAUドライブ
バージョン: HPD4 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-85e544eca4-HPD4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、電源オンの後に見つかるドライブの障害を引き起こす可能性のある問題を修正します。

HPD4 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MM0500FBFVQおよびMM1000FBFVRドライブ

バージョン: HPD9 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-4b3e11848c-HPD9-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPP

およびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

- ファームウェアバージョンHPD9を既にインストールしている場合、HPD9(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- HPD9ファームウェアは、有効にされた書き込みキャッシュを持つラボのストレステスト環境で、ホストがハードリセットを発行した後にデータのディスクへのコミットが失敗することを防ぎます。

HPD9 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MM1000FECVHドライブバージョン: HPD2 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-eb0a0d48e5-HPD2-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD2を既にインストールしている場合、HPD2(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- ドライブセルフテストが指定された時間内に完了しませんでした。
- 完全にキャッシュされたワークロード時に、SMARTが誤った温度値を報告します。

HPD2 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

拡張

改善点/新しい機能：

- 消費電力を低減するサーボの改善を追加しました。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MM1000JEFRBおよびMM2000JEFRC ドライブ

バージョン: HPD4 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-b04257b77b-HPD4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- バージョンHPD4は、ドライブがハードリセットを経験すると、非常にまれな状況下で誤ったデータがドライブに書き込まれる可能性を防ぎます。この問題は、厳密なテスト環境で観察されましたが、顧客の運用環境では報告されていません。

HPD4 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MO0200JDVET、MO0400JDVEU、MO0800JDVEV、EO0200JDVFA、EO0400JDVFB、およびEO0800JDVFC ドライブ

バージョン: HPD2 (B) (オプション)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-8c5d34ba77-HPD2-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD2を既にインストールしている場合、HPD2(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- HPD2より前のファームウェアバージョンを実行しているソリッドステートドライブ(SSD)は、Unmapコマンドをサポートします。アプリケーションクライアントは、重要なデータを含まない特定のLBAを指定するためにUnmapコマンドを利用することができます。必要に応じて、SSDはマップされていないLBAを使うことができます。この機能は、HPD2以降のファームウェアバージョンを実行しているこれらのSSDではサポートされなくなります。

HPD2 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MO0200JEFNV、MO0400JEFPA、MO0800JEFPB、MO1600JEFPC、EO0200JEFPD、EO0400JEFPE、およびEO0800JEPFドライブバージョン: HPD1 (B) (クリティカル)
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-71af849f3b-HPD1-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD1を既にインストールしている場合、HPD1(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- アラインされていない4K読み込みへのアクセスおよびデータ読み込みが顧客データの前にゼロ内容を持つとき、誤ったデータ読み込みが発生することがあります。詳細についてはカスタマーアドバイザリ# [c04650586](#)を参照してください

HPD1 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - VO1920JEUQQドライブ
バージョン: HPD1 (B) (クリティカル)
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-5d9e841607-HPD1-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD1を既にインストールしている場合、HPD1(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- アラインされていない4K読み込みへのアクセスおよびデータ読み込みが顧客データの前にゼロ内容を持つとき、誤ったデータ読み込みが発生することがあります。

HPD1 (B)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - EO0200FBRVV、MO0200FBRWB、EO0400FBRWA、MO0400FBRWC、およびMO0800FBRWDドライブ
バージョン: HPD9 (C) (オプション)
ファイル名: CP022322.md5; CP022322.scexe

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。
- ファームウェアバージョンHPD9を既にインストールしている場合、HPD9(C)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- Report Support Operation Code(RSOC)コマンド(A3h)をソリッドステートドライブに発行し、レポートオプションフィールド が001に設定されたとき、以前のファームウェアリビジョンでは、ドライブはRSOCコマン

ドがサポートされないことを00/05/24で示す誤った応答をしました。エラーはシステムログファイルに記録されました。ドライブはCommand Data Parameter (CDP) フォーマットを使用して、非サポートを伝えておく必要がありました。ファームウェアはRSOC業界標準仕様に準拠するようになりました。

- HP H2xx ホストバスアダプター (HBA) に接続されるドライブのフラッシュで、ドライブファームウェアのインストール障害を引き起こす割り込みが発生しなくなりました。

拡張

改善点/新しい機能：

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - DH0072FAQRD、DH0146FAQRE、EH0146FAWJB、およびEH0072FAWJAドライブ

バージョン: HPDK (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/i386/hp-firmware-ca173adb-ad-HPDK-1.1.i386.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。

修正

修正された問題点：

- HP ProLiantサーバーが誤ってレポートされたハードディスクドライブ温度超過状態により電源ダウンしました。ハードディスクドライブのファームウェアHPDKは、この問題を解決します。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - EG0300FBDBR、EG0450FBDBTおよびEG0600FBDBUドライブ

バージョン: HPDA (C) (クリティカル)

ファイル名: CP022312.md5; CP022312.scexe

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。
- ファームウェアバージョンHPDAを既にインストールしている場合、HPDA(C)へアップデートする必要はありません。

事前要件

- 最低ファームウェア要件 - HPD7。HPD7より前のバージョンにダウングレードすると、HPDAドライバーファームウェアは機能しなくなります。

修正

ファームウェアの関連性：

- 最低ファームウェア要件 - HPD7。HPD7より前のバージョンにダウングレードすると、HPDAドライバーファームウェアは機能しなくなります。

修正された問題点：

- このファームウェアは、古くなったデータがディスクに書き込まれる可能性がある状態を修正します。これにより以降の要求で予期しないデータが返されます。このデータの問題は、ラボでのファームウェアストレステストで再現されました。

拡張

改善点/新しい機能：

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

サプリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - EG0300FBDSP、EG0450FBDSQ、およびEG0600FBDSRドライブ

バージョン: HPD6 (C) (オプション)

ファイル名: CP022313.md5; CP022313.scexe

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。
- ファームウェアバージョンHPD6を既にインストールしている場合、HPD6(C)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、起動中にコントローラーが特定のポート/スロットに接続されたドライブを識別できなくなることに伴う、コントローラーとドライブが正常にリンク信号をネゴシエーションできない可能性を減らします。このファームウェアは、ドライブとコントローラーの間の信号の品質を向上します。
- HP H2xx ホストバスアダプター (HBA) に接続されるドライブのフラッシュで、ドライブファームウェアのインストール障害を引き起こす割り込みが発生しなくなりました。

拡張

改善点/新しい機能：

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

サプリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - EG0300FBLSE、EG0450FBLSF、EG0600FBLSH、およびEG0900FBLSKドライブ

バージョン: HPD8 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/i386/hp-firmware-hdd-815e5e101b-HPD8-1.1.i386.rpm

修正

修正された問題点：

- HP ProLiantサーバーが誤ってレポートされたハードディスクドライブ温度超過状態により電源ダウンしました。ハードディスクドライブのファームウェアHPD8は、この問題を解決します。

サブプリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - EG0300FBVFL, EG0450FBVFM, EG0600FBVFP, およびEG0900FBVFQドライブ

バージョン: HPDE (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/i386/hp-firmware-hdd-b94f345c05-HPDE-1.1.i386.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。

修正

修正された問題点 :

- ドライブセルフテストが指定された時間内に完了しませんでした。
- 完全にキャッシュされたワークロード時に、SMARTが誤った温度値を報告します。

拡張

改善点/新しい機能 :

- 消費電力を低減するサーボの改善を追加しました。

サブプリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - EG0300FCVBF, EG0450FCVBH, EG0600FCVBKおよびEG0900FCVBLドライブ

バージョン: HPD9 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/i386/hp-firmware-415992e26f-HPD9-1.1.i386.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。

修正

修正された問題点 :

- シリアルポート診断デバッグ接続からの予期しない応答のため、ドライブが応答しなくなる可能性があります。

サブプリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - EG0900FDJYRおよびEG1200FDJYTドライブ

バージョン: HPD4 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/i386/hp-firmware-hdd-7cfa9118b1-HPD4-1.1.i386.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。

修正

修正された問題点 :

- バックグラウンドスキャン中にError Correction Code (ECC)が失敗する連続したエラー回復がドライブで起こる、ごくまれな環境でドライブからの"読み込み"または"書き込み"での誤ったデータの可能性を防ぎます。この問題は、厳密なテスト環境で観察されましたが、顧客の運用環境では報告されていません。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - EH0072FARUAおよびEH0146FARUBドライブ

バージョン: HPD9 (C) (オプション)

ファイル名: CP022318.md5; CP022318.scexe

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。
- ファームウェアバージョンHPD9を既にインストールしている場合、HPD9(C)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- このファームウェアは、起動中にコントローラーが特定のポート/スロットに接続されたドライブを識別できなくなることにつながる、コントローラーとドライブが正常にリンク信号をネゴシエーションできない可能性を減らします。このファームウェアは、ドライブとコントローラーの間の信号の品質を向上します。
- HP H2xx ホストバスアダプター (HBA) に接続されるドライブのフラッシュで、ドライブファームウェアのインストール障害を引き起こす割り込みが発生しなくなりました。

拡張

改善点/新しい機能 :

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - EH0072FARWCおよびEH0146FARWDドライブ

バージョン: HPDD (C) (クリティカル)

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。
- ファームウェアバージョンHPDDを既にインストールしている場合、HPDD(C)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、古くなったデータがディスクに書き込まれる可能性がある状態を修正します。これにより以降の要求で予期しないデータが返されます。このデータの問題は、ラボでのファームウェアストレステストで再現されました。
- HP H2xx ホストバスアダプター (HBA) に接続されるドライブのフラッシュで、ドライブファームウェアのインストール障害を引き起こす割り込みが発生しなくなりました。

拡張

改善点/新しい機能：

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

サプリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - EH0146FBQDCおよびEH0300FBQDDドライブ
バージョン: HPD5 (推奨)
ファイル名: rpm/RPMS/i386/hp-firmware-hdd-1ec3c02013-HPD5-1.1.i386.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。

修正

修正された問題点：

- HP ProLiantサーバーが誤ってレポートされたハードディスクドライブ温度超過状態により電源ダウンしました。ハードディスクドライブのファームウェアHPD5は、この問題を解決します。

サプリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - EH0146FCBVBおよびEH0300FCBVCドライブ
バージョン: HPD8 (推奨)
ファイル名: rpm/RPMS/i386/hp-firmware-hdd-74df2d6c5c-HPD8-1.1.i386.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- トラックの狭い範囲にデータを書き込むアプリケーションの信頼性の向上。
- デバイスがモーターの電流の異常な負荷を検知する場合の新しいSMART Trip。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - MB1000FCWDE、MB2000FCWDF、MB3000FCWDH および MB4000FCWDKドライブ

バージョン: HPDA (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/i386/hp-firmware-hdd-4892d09bcf-HPDA-1.1.i386.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPDA以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。
- このファームウェアは、また、記録された後、修理されたセクターのステータスが誤って再割り当てされることを防ぐための変更が含まれます。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - MB1000FCWPP、MB2000FCVBV、MB3000FCVCA、およびMB4000FCVCBドライブ

バージョン: HPD2 (推奨)

ファイル名: CP022638.md5; CP022638.scexe

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。

拡張

改善点/新しい機能：

- このファームウェアは、実装されていない場合は、特定の用途(例えば、狭い範囲の非常に長期間のシーク)のために増加するドライブ障害率につながる可能性があるピボット軸受グリースウェアレベリングアルゴリズムを変更することにより信頼性を向上します。
- 改善点には、パフォーマンスの向上が含まれています。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - MB2000FBUCUおよびMB3000FBUCNドライブ

バージョン: HPDA (B) (クリティカル)

ファイル名: CP022332.md5; CP022332.scexe

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。
- ファームウェアバージョンHPDAを既にインストールしている場合、HPDA(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、メディアの堅牢性のためのバックグラウンドスキャンを改善し、ディスクが最新のキャッシュデータによって更新されないことがあったラボで起こったまれな状態を修正します。

拡張

改善点/新しい機能：

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - MB2000FCQPFおよびMB3000FBNWVドライブ

バージョン: HPD9 (推奨)

ファイル名: CP030827.md5; CP030827.scexe; rpm/RPMS/i386/hp-firmware-52de99d707-HPD9-1.1.i386.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- HP ProLiantサーバーが誤ってレポートされたハードディスクドライブ温度超過状態により電源ダウンしました。ハードディスクドライブのファームウェアHPD9は、この問題を解決します。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - MM0500FBFVQおよびMM1000FBFVRドライブ
バージョン: HPD9 (推奨)
ファイル名: rpm/RPMS/i386/hp-firmware-hdd-4b3e11848c-HPD9-1.1.i386.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。

修正

修正された問題点：

- HPD9ファームウェアは、有効にされた書き込みキャッシュを持つラボのストレステスト環境で、ホストがハードリセットを発行した後にデータのディスクへのコミットが失敗することを防ぎます。

サブメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - DG0146FARVU、DG0300FARVV、DG0146BAMYQ、DG0300BAMYR、EG0146FAWJC、およびEG0300FAWJDドライブ
バージョン: HPDG (C) (クリティカル)
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-fdfb5070cf-HPDG-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPDGを既にインストールしている場合、HPDG(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、古くなったデータがディスクに書き込まれる可能性がある状態を修正します。これにより以降の要求で予期しないデータが返されます。このデータの問題は、ラボでのファームウェアストレステストで再現されました。
- HP H2xx ホストバスアダプター (HBA) に接続されるドライブのフラッシュで、ドライブファームウェアのインストール障害を引き起こす割り込みが発生しなくなりました。

HPDG (C)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

拡張

改善点/新しい機能：

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPDG (B)の改善点/新しい機能：

- すべてのSASドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EF0300FARMU、EF0450FARMV、およびEF0600FARNAドライブ
バージョン: HPD9 (推奨)
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-c7ed905f46-HPD9-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinuxおよびMicrosoft Windows環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、修正部分の誤った再割り当て状態を記録することを防ぐための変更を含みます。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EF0300FATFD、EF0450FATFE
およびEF0600FATFFドライブ
バージョン: HPDB (C) (クリティカル)
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-009c9a2503-HPDB-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

- ファームウェアバージョンHPDBを既にインストールしている場合、HPDB(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、古くなったデータがディスクに書き込まれる可能性がある状態を修正します。これにより以降の要求で予期しないデータが返されます。このデータの問題は、ラボでのファームウェアストレステストで再現されました。
- HP H2xx ホストバスアダプター (HBA) に接続されるドライブのフラッシュで、ドライブファームウェアのインストール障害を引き起こす割り込みが発生しなくなりました。

HPDB (C)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

拡張

改善点/新しい機能：

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPDB (B)の改善点/新しい機能：

- すべてのSASドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。

サブメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EG1200FDNJTおよびEG1200FCVBQドライブ

バージョン: HPD8 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-33aee979c2-HPD8-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD8を既にインストールしている場合、HPD8(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- ドライブセルフテストが指定された時間内に完了しませんでした。
- 完全にキャッシュされたワークロード時に、SMARTが誤った温度値を報告します。

HPD8 (B)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

拡張

改善点/新しい機能 :

- 消費電力を低減するサーボの改善を追加しました。

サプリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB1000FAMYUおよびMB2000FAMYVドライブ

バージョン: HPD7 (C) (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-2db44cb024-HPD7-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD7を既にインストールしている場合、HPD7(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- このファームウェアは、ハードディスクに不正なデータが書き込まれることがある、WRITE SAMEコマンドシーケンス中に起こるまれな状態を防ぎます。WRITE SAMEコマンドは、RAID ARRAYパリティの初期化中に使われることがあります。
- HPD7 (B)は、アップグレードプロセス中にコンポーネントがタイムアウトするオフラインフラッシュの問題を解決しました。
- HP H2xx ホストバスアダプター (HBA) に接続されるドライブのフラッシュで、ドライブファームウェアのインストール障害を引き起こす割り込みが発生しなくなりました。

HPD7 (C)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

拡張

改善点/新しい機能：

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPD7 (B)の改善点/新しい機能：

- すべてのSASドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB1000FBZPLおよびMB2000FBZPNドライブ

バージョン: HPD4 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-b33fedbbdf-HPD4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- HP ProLiantサーバーが誤ってレポートされたハードディスクドライブ温度超過状態により電源ダウンしました。HPD4ファームウェアはこの問題を解決します。

HPD4 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB2000JFDSLおよびMB4000JFDSNドライブ

バージョン: HPD1 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-46fc43ab26-HPD1-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmart アレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPP およびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

拡張

改善点/新しい機能：

- トラックの狭い範囲にデータを書き込むアプリケーションの信頼性の向上。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MM0500FAMYTドライブ
バージョン: HPD6 (C) (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-ff472f94c8-HPD6-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmart アレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPP およびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD6を既にインストールしている場合、HPD6(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点：

- HDDの長期使用後に電源の再投入後、ごくまれにデータを含むディスクの領域にドライブのヘッドが接触して、データの損失や機械的損傷を引き起こすことがあります。ファームウェアバージョンHPD6は、この状態を防ぐことができます。
- このファームウェアは、ハードディスクに不正なデータが書き込まれることがある、WRITE SAMEコマンドシーケンス中に起こるまれな状態を防ぎます。WRITE SAMEコマンドは、RAID ARRAYパリティの初期化中に使われることがあります。
- HP H2xx ホストバスアダプター (HBA) に接続されるドライブのフラッシュで、ドライブファームウェアのインストール障害を引き起こす割り込みが発生しなくなりました。

HPD6 (C)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

拡張

改善点/新しい機能：

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPD6 (B)の改善点/新しい機能：

- すべてのSASドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。

サブプリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MM1000JFJTHドライブ
バージョン: HPD1 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-fa46c607d6-HPD1-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinuxおよびMicrosoft Windows環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点 :

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPD1以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。このファームウェアは、また、記録された後、修理されたセクターのステータスが誤って再割り当てされることを防ぐための変更が含まれます。

サブプリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MO0200FCTRN、
MO0400FCTRP、およびMO0800FCTRQドライブ

バージョン: HPD5 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-37893275d3-HPD5-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点 :

- マッピングされていないロジカルブロックアドレス(LBA)のプロセスの間に、複数回電源のオンオフがあった場合、ドライブがフォーマットエラーで応答する問題が見つかりました。HPD5 ファームウェアは、ドライブがLBAから物理メモリマップに回復できることを確認するため、出力サイクルの間HPD5ファームウェアに付随的保護を追加します。

サブプリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - DG0146FARVU、DG0300FARVV、
DG0146BAMYQ、DG0300BAMYR、EG0146FAWJC、およびEG0300FAWJDドライブ

バージョン: HPDG (C) (クリティカル)

ファイル名: CP022308.md5; CP022308.scexe

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。
- ファームウェアバージョンHPDGを既にインストールしている場合、HPDG(C)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、古くなったデータがディスクに書き込まれる可能性がある状態を修正します。これにより以降の要求で予期しないデータが返されます。このデータの問題は、ラボでのファームウェアストレステストで再現されました。
- HP H2xx ホストバスアダプター (HBA) に接続されるドライブのフラッシュで、ドライブファームウェアのインストール障害を引き起こす割り込みが発生しなくなりました。

拡張

改善点/新しい機能：

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - EF0300FARMU、EF0450FARMV、およびEF0600FARNAドライブ

バージョン: HPD9 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/i386/hp-firmware-hdd-c7ed905f46-HPD9-1.1.i386.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinuxおよびMicrosoft Windows環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、修正部分の誤った再割り当て状態を記録することを防ぐための変更を含みます。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - EF0300FATFD、EF0450FATFEおよびEF0600FATFFドライブ

バージョン: HPDB (C) (クリティカル)

ファイル名: CP022311.md5; CP022311.scexe

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。
- ファームウェアバージョンHPDBを既にインストールしている場合、HPDB(C)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、古くなったデータがディスクに書き込まれる可能性がある状態を修正します。これにより以降の要求で予期しないデータが返されます。このデータの問題は、ラボでのファームウェアストレステストで再現されました。
- HP H2xx ホストバスアダプター (HBA) に接続されるドライブのフラッシュで、ドライブファームウェアのインストール障害を引き起こす割り込みが発生しなくなりました。

拡張

改善点/新しい機能：

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - EG1200FDNJTおよびEG1200FCVBQ
ドライブ

バージョン: HPD8 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/i386/hp-firmware-hdd-33aee979c2-HPD8-1.1.i386.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。

修正

修正された問題点：

- ドライブセルフテストが指定された時間内に完了しませんでした。
- 完全にキャッシュされたワークロード時に、SMARTが誤った温度値を報告します。

拡張

改善点/新しい機能：

- 消費電力を低減するサーボの改善を追加しました。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - MB1000FAMYUおよび
MB2000FAMYVドライブ

バージョン: HPD7 (D) (クリティカル)

ファイル名: CP022325.md5; CP022325.scexe

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。
- ファームウェアバージョンHPD7を既にインストールしている場合、HPD7(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、ハードディスクに不正なデータが書き込まれることがある、WRITE SAMEコマンドシーケンス中に起こるまれな状態を防ぎます。WRITE SAMEコマンドは、RAID ARRAYパリティの初期化中に使われることがあります。
- HPD7 (B)は、アップグレードプロセス中にコンポーネントがタイムアウトするオフラインフラッシュの問題を解決しました。
- HP H2xx ホストバスアダプター (HBA) に接続されるドライブのフラッシュで、ドライブファームウェアのインストール障害を引き起こす割り込みが発生しなくなりました。

拡張

改善点/新しい機能：

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - MM0500FAMYTドライブ

バージョン: HPD6 (C) (クリティカル)

ファイル名: CP022338.md5; CP022338.scexe

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。
- ファームウェアバージョンHPD6を既にインストールしている場合、HPD6(C)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- HDDの長期使用後に電源の再投入後、ごくまれにデータを含むディスクの領域にドライブのヘッドが接触して、データの損失や機械的損傷を引き起こすことがあります。ファームウェアバージョンHPD6は、この状態を防ぐことができます。
- このファームウェアは、ハードディスクに不正なデータが書き込まれることがある、WRITE SAMEコマンドシーケンス中に起こるまれな状態を防ぎます。WRITE SAMEコマンドは、RAID ARRAYパリティの初期化中に使われることがあります。

- HP H2xx ホストバスアダプター (HBA) に接続されるドライブのフラッシュで、ドライブファームウェアのインストール障害を引き起こす割り込みが発生しなくなりました。

拡張

改善点/新しい機能 :

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - MO0200FCTRN、MO0400FCTRP、およびMO0800FCTRQドライブ

バージョン: HPD5 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/i386/hp-firmware-hdd-37893275d3-HPD5-1.1.i386.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点 :

- マッピングされていないロジカルブロックアドレス(LBA)のプロセスの間に、複数回電源のオンオフがあった場合、ドライブがフォーマットエラーで応答する問題が見つかりました。HPD5 ファームウェアは、ドライブがLBAから物理メモリマップに回復できることを確認するため、出力サイクルの間HPD5ファームウェアに付随的保護を追加します。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG0600JETKA、EG0900JETKB、およびEG1200JETKCドライブ

バージョン: HPD4 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-7505dfb5ae-HPD4-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

拡張

改善点/新しい機能 :

- トラックの狭い範囲にデータを書き込むアプリケーションの信頼性の向上。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EH0300JDXBA、

EH0450JDXBB、およびEH0600JDXBCドライブ

バージョン: HPD3 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-1cbab97ff0-HPD3-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

拡張

改善点/新しい機能 :

- トラックの狭い範囲にデータを書き込むアプリケーションの信頼性の向上。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MO0400JFFCF、

MO0800JFFCH、MO1600JFFCK、およびMO3200JFFCLドライブ

バージョン: HPD4 (オプション)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-edf6dcd906-HPD4-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点 :

- このファームウェアには、バッファ読み取りを通してのデバッグデータ回収など低水準メンテナンスの修正がいくつか含まれます。この修正には特殊なテスト環境で観測されたイベントが記載されており、顧客の使用は想定されていません。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO0480JFDGT、

VO0960JFDGU、VO1920JFDGV、およびVO3840JFDHAドライブ

バージョン: HPD4 (オプション)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-8ed8893abd-HPD4-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPP

およびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアには、バッファ読み取りを通してのデバッグデータ回収など低水準メンテナンスの修正がいくつか含まれます。この修正には特殊なテスト環境で観測されたイベントが記載されており、顧客の使用は想定されていません。

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Windows - DG0146FARVU、DG0300FARVV、DG0146BAMYQ、DG0300BAMYR、EG0146FAWJC、およびEG0300FAWJDドライブ

バージョン: HPDG (B) (クリティカル)

ファイル名: cp020424.exe; cp020424.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinuxおよびMicrosoft Windows環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。
- ファームウェアバージョンHPDGを既にインストールしている場合、HPDG(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、古くなったデータがディスクに書き込まれる可能性がある状態を修正します。これにより以降の要求で予期しないデータが返されます。このデータの問題は、ラボでのファームウェアストレステストで再現されました。

拡張

改善点/新しい機能：

- 新しいHP ProLiant Smartアレイ HPCISS3コントローラードライバー(hpciss3.sys)がアップデートされているシステム上で実行されている場合、ファームウェアコンポーネントインストーラーは正常にドライブのファームウェアをインストールすることができるようになりました。

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Windows - DH0072FAQRD、DH0146FAQRE、EH0146FAWJB、およびEH0072FAWJAドライブ

バージョン: HPDK (推奨)

ファイル名: cp028852.exe; cp028852.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。

修正

修正された問題点：

- HP ProLiantサーバーが誤ってレポートされたハードディスクドライブ温度超過状態により電源ダウンしました。ハードディスクドライブのファームウェアHPDKは、この問題を解決します。

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Windows - EF0300FARMU、EF0450FARMV、EF0600FARNAドライブ
バージョン: HPD9 (推奨)

ファイル名: cp030801.exe; cp030801.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinuxおよびMicrosoft Windows環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、修正部分の誤った再割り当て状態を記録することを防ぐための変更を含みます。

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Windows - EG0300FBDSP、EG0450FBDSQ、およびEG0600FBDSRドライブ

バージョン: HPD6 (B) (オプション)

ファイル名: cp020435.exe; cp020435.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinuxおよびMicrosoft Windows環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。
- ファームウェアバージョンHPD6を既にインストールしている場合、HPD6(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、起動中にコントローラーが特定のポート/スロットに接続されたドライブを識別できなくなることにつながる、コントローラーとドライブが正常にリンク信号をネゴシエーションできない可能性を減らします。このファームウェアは、ドライブとコントローラーの間の信号の品質を向上します。

拡張

改善点/新しい機能：

- 新しいHP ProLiant Smartアレイ HPCISS3コントローラードライバー(**hpciss3.sys**)がアップデートされているシステム上で実行されている場合、ファームウェアコンポーネントインストーラーは正常にドライブのファームウェアをインストールすることができるようになりました。

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Windows - EH0072FARUAおよびEH0146FARUBドライブ

バージョン: HPD9 (B) (オプション)

ファイル名: cp020437.exe; cp020437.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinuxおよびMicrosoft Windows環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。
- ファームウェアバージョンHPD9を既にインストールしている場合、HPD9(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、起動中にコントローラーが特定のポート/スロットに接続されたドライブを識別できなくなることにつながる、コントローラーとドライブが正常にリンク信号をネゴシエーションできない可能性を減らします。このファームウェアは、ドライブとコントローラーの間の信号の品質を向上します。

拡張

改善点/新しい機能：

- 新しいHP ProLiant Smartアレイ HPCISS3コントローラードライバー(**hpciss3.sys**)がアップデートされているシステム上で実行されている場合、ファームウェアコンポーネントインストーラーは正常にドライブのファームウェアをインストールすることができるようになりました。

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Windows - MB1000FAMYUおよびMB2000FAMYVドライブ

バージョン: HPD7 (B) (クリティカル)

ファイル名: cp020455.exe; cp020455.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinuxおよびMicrosoft Windows環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。
- ファームウェアバージョンHPD7を既にインストールしている場合、HPD7(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、ハードディスクに不正なデータが書き込まれることがある、WRITE SAMEコマンドシーケンス中に起こるまれな状態を防ぎます。WRITE SAMEコマンドは、RAID ARRAYパリティの初期化中に使われることがあります。

拡張

改善点/新しい機能：

- 新しいHP ProLiant Smartアレイ HPCISS3コントローラードライバー(**hpciss3.sys**)がアップデートされているシステム上で実行されている場合、ファームウェアコンポーネントインストーラーは正常にドライブのファームウェアをインストールすることができるようになりました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - DG0146FARVU、DG0300FARVV、DG0146BAMYQ、DG0300BAMYR、EG0146FAWJCおよびEG0300FAWJDドライブ

バージョン: HPDG (F) (**クリティカル**)

ファイル名: CP029329.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPDGを既にインストールしている場合、HPDG(F)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、古くなったデータがディスクに書き込まれる可能性がある状態を修正します。これにより以降の要求で予期しないデータが返されます。このデータの問題は、ラボでのファームウェアストレステストで再現されました。

HPDG (F)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

拡張

改善点/新しい機能：

- VMware vSphere 5.5のサポートを追加しました。
- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPDG (D)の改善点/新しい機能：

- すべてのSASドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。

HPDG (E)の改善点/新しい機能：

- VMware Firmware Smartコンポーネントパッケージは、*.scexeパッケージからインストール中のセキュリティの強化を提供する実行可能なバイナリを含む、*.zipパッケージに変更されました。VMware Smartコンポーネントの機能は変更されていません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EO0200FBRVV、MO0200FBRWB、EO0400FBRWA、MO0400FBRWC、およびMO0800FBRWDドライブ
バージョン: HPD9 (F) (オプション)
ファイル名: CP029351.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD9を既にインストールしている場合、HPD9(F)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- Report Support Operation Code(RSOC)コマンド(A3h)をソリッドステートドライブに発行し、レポートオプションフィールドが001に設定されたとき、以前のファームウェアリビジョンでは、ドライブはRSOCコマンドがサポートされないことを00/05/24で示す誤った応答をしました。エラーはシステムログファイルに記録されました。ドライブはCommand Data Parameter (CDP) フォーマットを使用して、非サポートを伝えておく必要がありました。ファームウェアはRSOC業界標準仕様に準拠するようになりました。

HPD9 (F)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

拡張

改善点/新しい機能：

- VMware vSphere 5.5のサポートを追加しました。
- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPD9 (D)の改善点/新しい機能：

- すべてのSASドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。

HPD9 (E)の改善点/新しい機能：

- VMware Firmware Smartコンポーネントパッケージは、*.scexeパッケージからインストール中のセキュリティの強化を提供する実行可能なバイナリを含む、*.zipパッケージに変更されました。VMware Smartコンポーネントの機能は変更されていません。
-

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MO0200JEFNV、MO0400JEFPA、MO0800JEFPB、MO1600JEFPC、EO0200JEFPD、EO0400JEFPE、およびEO0800JEFPPドライブ

バージョン: HPD1 (C) (クリティカル)

ファイル名: CP029386.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD1を既にインストールしている場合、HPD1(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点:

- アラインされていない4K読み込みへのアクセスおよびデータ読み込みが顧客データの前にゼロ内容を持つとき、誤ったデータ読み込みが発生することがあります。詳細についてはカスタマーアドバイザリ# [c04650586](#)を参照してください

HPD1 (C)に対して修正された問題:

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

拡張

HPD1 (B)の改善点/新しい機能:

- VMware Firmware Smartコンポーネントパッケージは、*.scexeパッケージからインストール中のセキュリティの強化を提供する実行可能なバイナリを含む、*.zipパッケージに変更されました。VMware Smartコンポーネントの機能は変更されていません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - DH0072FAQRD、DH0146FAQRE、EH0146FAWJB、およびEH0072FAWJAドライブ

バージョン: HPDK (B) (推奨)

ファイル名: CP029330.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPDKを既にインストールしている場合、HPDK(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- HP ProLiantサーバーが誤ってレポートされたハードディスクドライブ温度超過状態により電源ダウンしました。ハードディスクドライブのファームウェアHPDKは、この問題を解決します。

HPDK (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EF0300FARMU、EF0450FARMV、EF0600FARNAドライブ

バージョン: HPD9 (推奨)

ファイル名: CP030803.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinuxおよびMicrosoft Windows環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、修正部分の誤った再割り当て状態を記録することを防ぐための変更を含みます。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EF0300FATFD、EF0450FATFE、EF0600FATFFドライブ

バージョン: HPDB (F) (クリティカル)

ファイル名: CP029332.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPDBを既にインストールしている場合、HPDB(F)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、古くなったデータがディスクに書き込まれる可能性がある状態を修正します。これにより以降の要求で予期しないデータが返されます。このデータの問題は、ラボでのファームウェアストレステストで再現されました。

HPDB (F)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

拡張

改善点/新しい機能：

- VMware vSphere 5.5のサポートを追加しました。
- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPDB (D)の改善点/新しい機能：

- すべてのSASドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。

HPDB (E)の改善点/新しい機能：

- VMware Firmware Smartコンポーネントパッケージは、*.scexeパッケージからインストール中のセキュリティの強化を提供する実行可能なバイナリを含む、*.zipパッケージに変更されました。VMware Smartコンポーネントの機能は変更されていません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG0300FBDBR、EG0450FBDBTおよびEG0600FBDBUドライブ

バージョン: HPDA (G) (クリティカル)

ファイル名: CP029333.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPDAを既にインストールしている場合、HPDA(G)へアップデートする必要はありません。

修正

ファームウェアの関連性：

- 最低ファームウェア要件 - HPD7。HPD7より前のバージョンにダウングレードすると、HPDAドライバーファームウェアは機能しなくなります。

修正された問題点：

- このファームウェアは、古くなったデータがディスクに書き込まれる可能性がある状態を修正します。これにより以降の要求で予期しないデータが返されます。このデータの問題は、ラボでのファームウェアストレステストで再現されました。

HPDA (G)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

拡張

改善点/新しい機能 :

- VMware vSphere 5.5のサポートを追加しました。
- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPDA (E)の改善点/新しい機能 :

- すべてのSASドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。

HPDA (F)の改善点/新しい機能 :

- VMware Firmware Smartコンポーネントパッケージは、*.scexeパッケージからインストール中のセキュリティの強化を提供する実行可能なバイナリを含む、*.zipパッケージに変更されました。VMware Smartコンポーネントの機能は変更されていません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG0300FBDSF, EG0450FBDSQ、およびEG0600FBDSR
ドライブ

バージョン: HPD6 (F) (オプション)

ファイル名: CP029334.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD6を既にインストールしている場合、HPD6(F)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- このファームウェアは、起動中にコントローラーが特定のポート/スロットに接続されたドライブを識別できなくなることにつながる、コントローラーとドライブが正常にリンク信号をネゴシエーションできない可能性を減らします。このファームウェアは、ドライブとコントローラーの間の信号の品質を向上します。

HPD6 (F)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

拡張

改善点/新しい機能：

- VMware vSphere 5.5のサポートを追加しました。
- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPD6 (D)の改善点/新しい機能：

- すべてのSASドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。

HPD6 (E)の改善点/新しい機能：

- VMware Firmware Smartコンポーネントパッケージは、*.scexe/パッケージからインストール中のセキュリティの強化を提供する実行可能なバイナリを含む、*.zipパッケージに変更されました。VMware Smartコンポーネントの機能は変更されていません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG0300FBLSE、EG0450FBLSF、EG0600FBLSH、およびEG0900FBLSKドライブ

バージョン: HPD8 (C) (**推奨**)

ファイル名: CP029335.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD8を既にインストールしている場合、HPD8(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点：

- HP ProLiantサーバーが誤ってレポートされたハードディスクドライブ温度超過状態により電源ダウンしました。ハードディスクドライブのファームウェアHPD8は、この問題を解決します。

HPD8 (C)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

拡張

HPD8 (B)の改善点/新しい機能：

- VMware Firmware Smartコンポーネントパッケージは、*.scexe/パッケージからインストール中のセキュリティの強化を提供する実行可能なバイナリを含む、*.zipパッケージに変更されました。VMware Smartコンポーネントの機能は変更されていません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG0300FBVFL、EG0450FBVFM、EG0600FBVFP、およびEG0900FBVFQドライブ

バージョン: HPDE (B) (推奨)

ファイル名: CP029336.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPDEを既にインストールしている場合、HPDE(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- ドライブセルフテストが指定された時間内に完了しませんでした。
- 完全にキャッシュされたワークロード時に、SMARTが誤った温度値を報告します。

HPDE (B)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

拡張

改善点/新しい機能 :

- 消費電力を低減するサーボの改善を追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG0300FCHHR, EG0450FCHHT, EG0600FCHHU, およびEG0900FCHHVドライブ

バージョン: HPD8 (B) (推奨)

ファイル名: CP029337.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD8を既にインストールしている場合、HPD8(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- ホストが多数の重複するタスク管理コマンドを送信した場合に、ドライブが応答しなくなることがある潜在的な問題が存在しました。ドライブは回復のために電源再投入を必要とします。

HPD8 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

拡張

改善点/新しい機能：

- ドライブスピンダウン前の書き込み保護の堅牢性を改善しました。
- RAID環境でのマイナーなパフォーマンス向上を実行しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG0300FCVBF, EG0450FCVBH, EG0600FCVBKおよびEG0900FCVBLドライブ

バージョン: HPD9 (B) (推奨)

ファイル名: CP029338.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD9を既にインストールしている場合、HPD9(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- シリアルポート診断デバッグ接続からの予期しない応答のため、ドライブが応答しなくなる可能性があります。

HPD9 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG0300JEHLV, EG0600JEHMA, EG0900JEHMB、およびEG1200JEHMCドライブ

バージョン: HPD3 (B) (推奨)

ファイル名: CP029339.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD3を既にインストールしている場合、HPD3(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- ドライブがコントローラーへ06/29/04 (自主リセット)を報告した、ATI (Adjacent Track Interference)緩和時の自主リセット問題。コントローラーはドライブとのリンクを再確立し、コマンドを再送信します。
- ドライブパフォーマンスの劣化をもたらすサーボの計算ミス。

HPD3 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG0300JFCKA、EG0600JEMCV、EG0900JFCKB、およびEG1200JEMDAドライブ

バージョン: HPD4 (B) (推奨)

ファイル名: CP029340.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- サニタイズ、フォーマットおよびDST動作が完了するまでの予想時間が重要な製品データページD0hで誤って報告されました。完了時間がいつ動作を終了するかを決定するためにアプリケーションにより使われる場合、動作の完了前に動作が終了することがあります。ファームウェアバージョンHPD4は、正確にこれらの動作の完成までの期待時間を報告します。

HPD4 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しま

した。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG0900FDJYRおよびEG1200FDJYTドライブ
バージョン: HPD4 (B) (推奨)
ファイル名: CP029341.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- バックグラウンドスキャン中にError Correction Code (ECC)が失敗する連続したエラー回復がドライブで起こる、ごくまれな環境でドライブからの"読み込み"または"書き込み"での誤ったデータの可能性を防ぎます。この問題は、厳密なテスト環境で観察されましたが、顧客の運用環境では報告されていません。

HPD4 (B)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG1200FDNJTおよびEG1200FCVBQドライブ
バージョン: HPD8 (B) (推奨)
ファイル名: CP029342.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD8を既にインストールしている場合、HPD8(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- ドライブセルフテストが指定された時間内に完了しませんでした。
- 完全にキャッシュされたワークロード時に、SMARTが誤った温度値を報告します。

HPD8 (B)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

拡張

改善点/新しい機能 :

- 消費電力を低減するサーボの改善を追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG1800JEHMDドライブ

バージョン: HPD4 (B) (推奨)

ファイル名: CP029343.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- ドライブがコントローラーへ06/29/04 (自主リセット)を報告した、ATI (Adjacent Track Interference)緩和時の自主リセット問題。コントローラーはドライブとのリンクを再確立し、コマンドを再送信します。
- ドライブパフォーマンスの劣化をもたらすサーボの計算ミス。

HPD4 (B)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG1800JEMDBドライブ

バージョン: HPD2 (推奨)

ファイル名: CP030028.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすること

はサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmart アレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPP およびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPD2以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。このファームウェアは、また、記録された後、修理されたセクターのステータスが誤って再割り当てされることを防ぐための変更が含まれます。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EH0072FARUAおよびEH0146FARUBドライブ
バージョン: HPD9 (F) (オプション)
ファイル名: CP029344.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmart アレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPP およびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD9を既にインストールしている場合、HPD9(F)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、起動中にコントローラーが特定のポート/スロットに接続されたドライブを識別できなくなることに伴う、コントローラーとドライブが正常にリンク信号をネゴシエーションできない可能性を減らします。このファームウェアは、ドライブとコントローラーの間の信号の品質を向上します。

HPD9 (F)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

拡張

改善点/新しい機能：

- VMware vSphere 5.5のサポートを追加しました。
- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPD9 (D)の改善点/新しい機能：

- すべてのSASドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。

HPD9 (E)の改善点/新しい機能 :

- VMware Firmware Smartコンポーネントパッケージは、*.scexeパッケージからインストール中のセキュリティの強化を提供する実行可能なバイナリを含む、*.zipパッケージに変更されました。VMware Smartコンポーネントの機能は変更されていません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EH0072FARWCおよびEH0146FARWDドライブ
バージョン: HPDD (F) (クリティカル)
ファイル名: CP029345.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPDDを既にインストールしている場合、HPDD(F)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- このファームウェアは、古くなったデータがディスクに書き込まれる可能性がある状態を修正します。これにより以降の要求で予期しないデータが返されます。このデータの問題は、ラボでのファームウェアストレステストで再現されました。

HPDD (F)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

拡張

改善点/新しい機能 :

- VMware vSphere 5.5のサポートを追加しました。
- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPDD (D)の改善点/新しい機能 :

- すべてのSASドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。

HPDD (E)の改善点/新しい機能 :

- VMware Firmware Smartコンポーネントパッケージは、*.scexeパッケージからインストール中のセキュリティの強化を提供する実行可能なバイナリを含む、*.zipパッケージに変更されました。VMware Smartコンポーネントの機能は変更されていません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EH0146FBQDCおよびEH0300FBQDDドライブ

バージョン: HPD5 (B) (推奨)

ファイル名: CP029346.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD5を既にインストールしている場合、HPD5(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- HP ProLiantサーバーが誤ってレポートされたハードディスクドライブ温度超過状態により電源ダウンしました。ハードディスクドライブのファームウェアHPD5は、この問題を解決します。

HPD5 (B)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EH0146FCBVBおよびEH0300FCBVCドライブ

バージョン: HPD8 (推奨)

ファイル名: CP030798.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点 :

- トラックの狭い範囲にデータを書き込むアプリケーションの信頼性の向上。
- デバイスがモーターの電流の異常な負荷を検知する場合の新しいSMART Trip。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EH0300JDYTH、EH0450JDYTK、およびEH0600JDYTLドライブ

バージョン: HPD4 (B) (推奨)

ファイル名: CP029348.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- ドライブがコントローラーへ06/29/04 (自主リセット)を報告した、ATI (Adjacent Track Interference)緩和時の自主リセット問題。コントローラーはドライブとのリンクを再確立し、コマンドを再送信します。
- ドライブパフォーマンスの劣化をもたらすサーボの計算ミス。

HPD4 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EH0300JEDHC、EH0450JEDHD、およびEH0600JEDHE
ドライブ

バージョン: HPD4 (推奨)

ファイル名: CP029742.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPD4以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。このファームウェアは、また、記録された後、修理されたセクターのステータスが誤って再割り当てされることを防ぐための変更が含まれます。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EH0600JDYTNドライブ

バージョン: HPD5 (B) (推奨)

ファイル名: CP029350.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD5を既にインストールしている場合、HPD5(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- ドライブがコントローラーへ06/29/04 (自主リセット)を報告した、ATI (Adjacent Track Interference)緩和時の自主リセット問題。コントローラーはドライブとのリンクを再確立し、コマンドを再送信します。
- ドライブパフォーマンスの劣化をもたらすサーボの計算ミス。

HPD5 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB1000FAMYUおよびMB2000FAMYVドライブ
バージョン: HPD7 (F) (**クリティカル**)
ファイル名: CP029354.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD7を既にインストールしている場合、HPD7(F)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、ハードディスクに不正なデータが書き込まれることがある、WRITE SAMEコマンドシーケンス中に起こるまれな状態を防ぎます。WRITE SAMEコマンドは、RAID ARRAYパリティの初期化中に使われることがあります。

HPD7 (F)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに

報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

拡張

改善点/新しい機能：

- VMware vSphere 5.5のサポートを追加しました。
- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPD7 (D)の改善点/新しい機能：

- すべてのSASドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。

HPD7 (E)の改善点/新しい機能：

- VMware Firmware Smartコンポーネントパッケージは、*.scexe/パッケージからインストール中のセキュリティの強化を提供する実行可能なバイナリを含む、*.zipパッケージに変更されました。VMware Smartコンポーネントの機能は変更されていません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB1000FBZPLおよびMB2000FBZPNドライブ
バージョン: HPD4 (B) (推奨)
ファイル名: CP029355.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- HP ProLiantサーバーが誤ってレポートされたハードディスクドライブ温度超過状態により電源ダウンしました。HPD4ファームウェアはこの問題を解決します。

HPD4 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB1000FCWDE、MB2000FCWDF、MB3000FCWDH および MB4000FCWDKドライブ
バージョン: HPDA (推奨)
ファイル名: CP030186.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPDA以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。
- このファームウェアは、また、記録された後、修理されたセクターのステータスが誤って再割り当てされることを防ぐための変更が含まれます。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB1000FCWPP、MB2000FCVBV、MB3000FCVCA、およびMB4000FCVCBドライブ

バージョン: HPD2 (D) (推奨)

ファイル名: CP029357.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD2を既にインストールしている場合、HPD2(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

拡張

改善点/新しい機能：

- このファームウェアは、実装されていない場合は、特定の用途(例えば、狭い範囲の非常に長期間のシーク)のために増加するドライブ障害率につながる可能性があるピボット軸受グリースウェアレベリングアルゴリズムを変更することにより信頼性を向上します。
- 改善点には、性能の向上が含まれています。
- VMware vSphere 5.5のサポートを追加しました。

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPD2 (B)の改善点/新しい機能 :

- すべてのSASドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。

HPD2 (C)の改善点/新しい機能 :

- VMware Firmware Smartコンポーネントパッケージは、*.scexeパッケージからインストール中のセキュリティの強化を提供する実行可能なバイナリを含む、*.zipパッケージに変更されました。VMware Smartコンポーネントの機能は変更されていません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB2000FBUCIおよびMB3000FBUCNドライブ
バージョン: HPDA (E) (クリティカル)

ファイル名: CP029362.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPDAを既にインストールしている場合、HPDA(E)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- このファームウェアは、メディアの堅牢性のためのバックグラウンドスキャンを改善し、ディスクが最新のキャッシュデータによって更新されないことがあったラボで起こったまれな状態を修正します。

HPDA (E)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

拡張

改善点/新しい機能 :

- VMware vSphere 5.5のサポートを追加しました。
- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPDA (C)の改善点/新しい機能 :

- すべてのSASドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。

HPDA (D)の改善点/新しい機能 :

- VMware Firmware Smartコンポーネントパッケージは、*.scexe/パッケージからインストール中のセキュリティの強化を提供する実行可能なバイナリを含む、*.zipパッケージに変更されました。VMware Smartコンポーネントの機能は変更されていません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB2000FCQPFおよびMB3000FBNWVドライブ

バージョン: HPD9 (推奨)

ファイル名: CP030829.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- HP ProLiantサーバーが誤ってレポートされたハードディスクドライブ温度超過状態により電源ダウンしました。ハードディスクドライブのファームウェアHPD9は、この問題を解決します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB2000FCZGH、MB3000FCZGK、およびMB4000FCZGLドライブ

バージョン: HPD7 (B) (推奨)

ファイル名: CP029364.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD7を既にインストールしている場合、HPD7(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、電源オンの後に見つかるドライブの障害を引き起こす可能性のある問題を修正します。

HPD7 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB2000JFDSLおよびMB4000JFDSNドライブ
バージョン: HPD1 (推奨)
ファイル名: CP030059.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

拡張

改善点/新しい機能 :

- トラックの狭い範囲にデータを書き込むアプリケーションの信頼性の向上。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB2000JFEPAおよびMB4000JFEPBドライブ
バージョン: HPD2 (推奨)
ファイル名: CP030845.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点 :

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPD2以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。このファームウェアは、また、記録された後、修復されたセクターのステータスが誤って再割り当てされることを防ぐための変更が含まれます。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB4000JEFNCおよびMB6000JEFNDドライブ
バージョン: HPD5 (クリティカル)
ファイル名: CP029714.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPP

およびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPD5以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。このファームウェアは、また、記録された後、修理されたセクターのステータスが誤って再割り当てされることを防ぐための変更が含まれます。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB4000JEQNLおよびMB6000JEQNNドライブ

バージョン: HPD7 (B) (クリティカル)

ファイル名: CP029372.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD7を既にインストールしている場合、HPD7(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、予約コマンドが使用される、書き込みキャッシュされたマルチインシエーター非整列書き込みが有効な環境での潜在的な不正データ問題を修正します。

HPD7 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB6000FEDAUドライブ

バージョン: HPD4 (B) (推奨)

ファイル名: CP029373.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、電源オンの後に見つかるドライブの障害を引き起こす可能性のある問題を修正します。

HPD4 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MM0500FAMYTドライブ

バージョン: HPD6 (F) (クリティカル)

ファイル名: CP029377.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD6を既にインストールしている場合、HPD6(F)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- HDDの長期使用後に電源の再投入後、ごくまれにデータを含むディスクの領域にドライブのヘッドが接触して、データの損失や機械的損傷を引き起こすことがあります。ファームウェアバージョンHPD6は、この状態を防ぐことができます。
- このファームウェアは、ハードディスクに不正なデータが書き込まれることがある、WRITE SAMEコマンドシーケンス中に起こるまれな状態を防ぎます。WRITE SAMEコマンドは、RAID ARRAYパリティの初期化中に使われることがあります。

HPD6 (F)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

拡張

改善点/新しい機能：

- VMware vSphere 5.5のサポートを追加しました。

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPD6 (D)の改善点/新しい機能 :

- すべてのSASドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。

HPD6 (E)の改善点/新しい機能 :

- VMware Firmware Smartコンポーネントパッケージは、*.scexe/パッケージからインストール中のセキュリティの強化を提供する実行可能なバイナリを含む、*.zipパッケージに変更されました。VMware Smartコンポーネントの機能は変更されていません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MM0500FBFVQおよびMM1000FBFVRドライブ
バージョン: HPD9 (B) (推奨)
ファイル名: CP029378.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD9を既にインストールしている場合、HPD9(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- HPD9ファームウェアは、有効にされた書き込みキャッシュを持つラボのストレステスト環境で、ホストがハードリセットを発行した後にデータのディスクへのコミットが失敗することを防ぎます。

HPD9 (B)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MM1000FECVHドライブ
バージョン: HPD2 (B) (推奨)
ファイル名: CP029380.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

- ファームウェアバージョンHPD2を既にインストールしている場合、HPD2(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- ドライブセルフテストが指定された時間内に完了しませんでした。
- 完全にキャッシュされたワークロード時に、SMARTが誤った温度値を報告します。

HPD2 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

拡張

改善点/新しい機能：

- 消費電力を低減するサーボの改善を追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MM1000JEFRBおよびMM2000JEFRCドライブ
バージョン: HPD4 (B) (推奨)
ファイル名: CP029382.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- バージョンHPD4は、ドライブがハードリセットを経験すると、非常にまれな状況下で誤ったデータがドライブに書き込まれる可能性を防ぎます。この問題は、厳密なテスト環境で観察されましたが、顧客の運用環境では報告されていません。

HPD4 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MM1000JFJTHドライブ

バージョン: HPD1 (推奨)

ファイル名: CP030809.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinuxおよびMicrosoft Windows環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点 :

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPD1以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。このファームウェアは、また、記録された後、修理されたセクターのステータスが誤って再割り当てされることを防ぐための変更が含まれます。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MO0200FCTR, MO0400FCTR, およびMO0800FCTRQ
ドライブ

バージョン: HPD5 (推奨)

ファイル名: CP029540.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点 :

- マッピングされていないロジカルブロックアドレス(LBA)のプロセスの間に、複数回電源のオンオフがあった場合、ドライブがフォーマットエラーで応答する問題が見つかりました。HPD5 ファームウェアは、ドライブがLBAから物理メモリマップに回復できることを確認するため、出力サイクルの間HPD5ファームウェアに付随的保護を追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MO0200JDVET, MO0400JDVEU, MO0800JDVEV,
EO0200JDVFA, EO0400JDVFB, およびEO0800JDVFCドライブ

バージョン: HPD2 (B) (オプション)

ファイル名: CP029385.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすること

はサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD2を既にインストールしている場合、HPD2(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- HPD2より前のファームウェアバージョンを実行しているソリッドステートドライブ(SSD)は、Unmapコマンドをサポートします。アプリケーションクライアントは、重要なデータを含まない特定のLBAを指定するためにUnmapコマンドを利用することができます。必要に応じて、SSDはマップされていないLBAを使うことができます。この機能は、HPD2以降のファームウェアバージョンを実行しているこれらのSSDではサポートされなくなります。

HPD2 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - VO1920JEUQQドライブ

バージョン: HPD1 (B) (クリティカル)

ファイル名: CP029391.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD1を既にインストールしている場合、HPD1(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- アラインされていない4K読み込みへのアクセスおよびデータ読み込みが顧客データの前にゼロ内容を持つとき、誤ったデータ読み込みが発生することがあります。(この問題の詳細な情報は、カスタマーアドバイザリ [c04650586](#)から入手できます)

HPD1 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - EO0200FBRVV、MO0200FBRWB、EO0400FBRWA、MO0400FBRWC、およびMO0800FBRWDドライブ
バージョン: HPD9 (D) (オプション)
ファイル名: cp029265.exe; cp029265.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD9を既にインストールしている場合、HPD9(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- Report Support Operation Code(RSOC)コマンド(A3h)をソリッドステートドライブに発行し、レポートオプションフィールド が001に設定されたとき、以前のファームウェアリビジョンでは、ドライブはRSOCコマンドがサポートされないことを00/05/24で示す誤った応答をしました。エラーはシステムログファイルに記録されました。ドライブはCommand Data Parameter (CDP) フォーマットを使用して、非サポートを伝えておく必要がありました。ファームウェアはRSOC業界標準仕様に準拠するようになりました。

HPD9 (C)に対して修正された問題 :

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPD9 (D)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能 :

- 新しいHP ProLiant Smartアレイ HPCISS3コントローラードライバ (**hpciss3.sys**)がアップデートされているシステム上で実行されている場合、ファームウェアコンポーネントインストーラーは正常にドライブのファームウェアをインストールすることができるようになりました。
- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPD9 (B)の改善点/新しい機能 :

- すべてのSASドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
 - コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。
 - Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。
-

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MO0200JEFNV、MO0400JEFPA、MO0800JEFPB、MO1600JEFPC、EO0200JEFPD、EO0400JEFPE、およびEO0800JEFPFドライブ

バージョン: HPD1 (C) (クリティカル)

ファイル名: cp029300.exe; cp029300.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD1を既にインストールしている場合、HPD1(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点:

- アラインされていない4K読み込みへのアクセスおよびデータ読み込みが顧客データの前にゼロ内容を持つとき、誤ったデータ読み込みが発生することがあります。詳細についてはカスタマーアドバイザリ# [c04650586](#)を参照してください

HPD1 (B)に対して修正された問題:

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPD1 (C)に対して修正された問題:

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能:

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - DG0146FARVU、DG0300FARVV、DG0146BAMYQ、DG0300BAMYR、EG0146FAWJC、およびEG0300FAWJDドライブ

バージョン: HPDG (D) (クリティカル)

ファイル名: cp029243.exe; cp029243.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPDGを既にインストールしている場合、HPDG(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、古くなったデータがディスクに書き込まれる可能性がある状態を修正します。これにより以降の要求で予期しないデータが返されます。このデータの問題は、ラボでのファームウェアストレステストで再現されました。

HPDG (C)に対して修正された問題：

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPDG (D)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- 新しいHP ProLiant Smartアレイ HPCISS3コントローラードライバー(**hpciss3.sys**)がアップデートされているシステム上で実行されている場合、ファームウェアコンポーネントインストーラーは正常にドライブのファームウェアをインストールすることができるようになりました。
- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPDG (B)の改善点/新しい機能：

- すべてのSASドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。
- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - DH0072FAQRD、DH0146FAQRE、EH0146FAWJB、およびEH0072FAWJAドライブ

バージョン: HPDK (B) (推奨)

ファイル名: cp029244.exe; cp029244.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

- ファームウェアバージョンHPDKを既にインストールしている場合、HPDK(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- HP ProLiantサーバーが誤ってレポートされたハードディスクドライブ温度超過状態により電源ダウンしました。ハードディスクドライブのファームウェアHPDKは、この問題を解決します。

HPDK (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - EF0300FARMU、EF0450FARMV、EF0600FARNAドライブ

バージョン: HPD9 (**推奨**)

ファイル名: cp030805.exe; cp030805.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinuxおよびMicrosoft Windows環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、修正部分の誤った再割り当て状態を記録することを防ぐための変更を含みます。

拡張

改善点/新しい機能：

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - EF0300FATFD、EF0450FATFEおよびEF0600FATFFドライブ

バージョン: HPDB (D) (**クリティカル**)

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPDBを既にインストールしている場合、HPDB(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、古くなったデータがディスクに書き込まれる可能性がある状態を修正します。これにより以降の要求で予期しないデータが返されます。このデータの問題は、ラボでのファームウェアストレステストで再現されました。

HPDB (C)に対して修正された問題：

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPDB (D)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- 新しいHP ProLiant Smartアレイ HPCISS3コントローラードライバー(**hpciss3.sys**)がアップデートされているシステム上で実行されている場合、ファームウェアコンポーネントインストーラーは正常にドライブのファームウェアをインストールすることができるようになりました。
- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPDB (B)の改善点/新しい機能：

- すべてのSASドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。
- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - EG0300FBDBR、EG0450FBDBTおよびEG0600FBDBUドライブ

バージョン: HPDA (D) (**クリティカル**)

ファイル名: cp029247.exe; cp029247.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPDAを既にインストールしている場合、HPDA(D)へアップデートする必要はありません。

事前要件

- 最低ファームウェア要件 - HPD7。HPD7より前のバージョンにダウングレードすると、HPDAドライバーファームウェアは機能しなくなります。

修正

ファームウェアの関連性 :

- 最低ファームウェア要件 - HPD7。HPD7より前のバージョンにダウングレードすると、HPDAドライバーファームウェアは機能しなくなります。

修正された問題点 :

- このファームウェアは、古くなったデータがディスクに書き込まれる可能性がある状態を修正します。これにより以降の要求で予期しないデータが返されます。このデータの問題は、ラボでのファームウェアストレステストで再現されました。

HPDA (C)に対して修正された問題 :

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPDA (D)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能 :

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPDA (B)の改善点/新しい機能 :

- すべてのSASドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。
- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD6を既にインストールしている場合、HPD6(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、起動中にコントローラーが特定のポート/スロットに接続されたドライブを識別できなくなることにつながる、コントローラーとドライブが正常にリンク信号をネゴシエーションできない可能性を減らします。このファームウェアは、ドライブとコントローラーの間の信号の品質を向上します。

HPD6 (C)に対して修正された問題：

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbyypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPD6 (D)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- 新しいHP ProLiant Smartアレイ HPCISSS3コントローラードライバー(**hpciss3.sys**)がアップデートされているシステム上で実行されている場合、ファームウェアコンポーネントインストーラーは正常にドライブのファームウェアをインストールすることができるようになりました。
- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPD6 (B)の改善点/新しい機能：

- すべてのSASドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。
- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - EG0300FBLSE、EG0450FBLSF、EG0600FBLSH、およびEG0900FBLSKドライブ

バージョン: HPD8 (C) (**推奨**)

ファイル名: cp029249.exe; cp029249.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD8を既にインストールしている場合、HPD8(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点：

- HP ProLiantサーバーが誤ってレポートされたハードディスクドライブ温度超過状態により電源ダウンしました。ハードディスクドライブのファームウェアHPD8は、この問題を解決します。

HPD8 (B)に対して修正された問題：

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPD8 (C)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - EG0300FBVFL、EG0450FBVFM、EG0600FBVFP、およびEG0900FBVFQドライブ

バージョン: HPDE (B) (**推奨**)

ファイル名: cp029250.exe; cp029250.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPDEを既にインストールしている場合、HPDE(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- ドライブセルフテストが指定された時間内に完了しませんでした。
- 完全にキャッシュされたワークロード時に、SMARTが誤った温度値を報告します。
- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPDE (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- 消費電力を低減するサーボの改善を追加しました。
- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - EG0300FCHHR, EG0450FCHHT, EG0600FCHHU, および EG0900FCHHVドライブ

バージョン: HPD8 (C) (推奨)

ファイル名: cp029251.exe; cp029251.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD8を既にインストールしている場合、HPD8(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点：

- ホストが多数の重複するタスク管理コマンドを送信した場合に、ドライブが応答しなくなる可能性がある潜在的問題が存在しました。ドライブは回復のために電源再投入を必要とします。

HPD8 (B)に対して修正された問題：

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPD8 (C)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに

報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- ドライブスピンダウン前の書き込み保護の堅牢性を改善しました。
- RAID環境でのマイナーなパフォーマンス向上を実行しました。
- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - EG0300FCVBF, EG0450FCVBH, EG0600FCVBKおよびEG0900FCVBLドライブ

バージョン: HPD9 (C) (**推奨**)

ファイル名: cp029252.exe; cp029252.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD9を既にインストールしている場合、HPD9(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点：

- シリアルポート診断デバッグ接続からの予期しない応答のため、ドライブが応答しなくなる可能性があります。

HPD9 (B)に対して修正された問題：

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPD9 (C)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - EG0300JEHLV、EG0600JEHMA、EG0900JEHMB、およびEG1200JEHMCドライブ

バージョン: HPD3 (C) (推奨)

ファイル名: cp029253.exe; cp029253.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD3を既にインストールしている場合、HPD3(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- ドライブがコントローラーへ06/29/04 (自主リセット)を報告した、ATI (Adjacent Track Interference)緩和時の自主リセット問題。コントローラーはドライブとのリンクを再確立し、コマンドを再送信します。
- ドライブパフォーマンスの劣化をもたらすサーボの計算ミス。

HPD3 (B)に対して修正された問題 :

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPD3 (C)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能 :

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - EG0300JFCKA、EG0600JEMCV、EG0900JFCKB、およびEG1200JEMDAドライブ

バージョン: HPD4 (C) (推奨)

ファイル名: cp029254.exe; cp029254.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmart アレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPP およびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点：

- サニタイズ、フォーマットおよびDST動作が完了するまでの予想時間が重要な製品データページD0hで誤って報告されました。完了時間がいつ動作を終了するかを決定するためにアプリケーションにより使われる場合、動作の完了前に動作が終了することがあります。ファームウェアバージョンHPD4は、正確にこれらの動作の完成までの期待時間を報告します。

HPD4 (B)に対して修正された問題：

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPD4 (C)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - EG0900FDJYRおよびEG1200FDJYTドライブ
バージョン: HPD4 (C) (推奨)

ファイル名: cp029255.exe; cp029255.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmart アレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPP およびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点：

- バックグラウンドスキャン中にError Correction Code (ECC)が失敗する連続したエラー回復がドライブで起こる、ごくまれな環境でドライブからの"読み込み"または"書き込み"での誤ったデータの可能性を防ぎます。こ

の問題は、厳密なテスト環境で観察されましたが、顧客の運用環境では報告されていません。

HPD4 (B)に対して修正された問題：

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPD4 (C)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - EG1200FDNJTおよびEG1200FCVBQドライブ
バージョン: HPD8 (B) (推奨)
ファイル名: cp029256.exe; cp029256.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD8を既にインストールしている場合、HPD8(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- ドライブセルフテストが指定された時間内に完了しませんでした。
- 完全にキャッシュされたワークロード時に、SMARTが誤った温度値を報告します。
- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPD8 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- 消費電力を低減するサーボの改善を追加しました。
- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - EG1800JEHMDドライブ

バージョン: HPD4 (C) (推奨)

ファイル名: cp029257.exe; cp029257.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点：

- ドライブがコントローラーへ06/29/04 (自主リセット)を報告した、ATI (Adjacent Track Interference)緩和時の自主リセット問題。コントローラーはドライブとのリンクを再確立し、コマンドを再送信します。
- ドライブパフォーマンスの劣化をもたらすサーボの計算ミス。

HPD4 (B)に対して修正された問題点：

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPD4 (C)に対して修正された問題点：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - EG1800JEMDB ドライブ

バージョン: HPD2 (推奨)

ファイル名: cp030030.exe; cp030030.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPD2以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。このファームウェアは、また、記録された後、修理されたセクターのステータスが誤って再割り当てされることを防ぐための変更が含まれます。

拡張

改善点/新しい機能：

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - EH0072FARUAおよびEH0146FARUBドライブ

バージョン: HPD9 (D) (オプション)

ファイル名: cp029258.exe; cp029258.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD9を既にインストールしている場合、HPD9(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、起動中にコントローラーが特定のポート/スロットに接続されたドライブを識別できなくなることにつながる、コントローラーとドライブが正常にリンク信号をネゴシエーションできない可能性を減らします。このファームウェアは、ドライブとコントローラーの間の信号の品質を向上します。

HPD9 (C)に対して修正された問題：

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPD9 (D)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに

報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- 新しいHP ProLiant Smartアレイ HPCISS3コントローラードライバー(**hpciss3.sys**)がアップデートされているシステム上で実行されている場合、ファームウェアコンポーネントインストーラーは正常にドライブのファームウェアをインストールすることができるようになりました。
- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPD9 (B)の改善点/新しい機能：

- すべてのSASドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。
- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - EH0072FARWCおよびEH0146FARWD ドライブ

バージョン: HPDD (D) (**クリティカル**)

ファイル名: cp029259.exe; cp029259.md5

重要な注意!

- **Zero Memory (ZM) モード**で動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPDDを既にインストールしている場合、HPDD(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、古くなったデータがディスクに書き込まれる可能性がある状態を修正します。これにより以降の要求で予期しないデータが返されます。このデータの問題は、ラボでのファームウェアストレステストで再現されました。

HPDD (C)に対して修正された問題：

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPDD (D)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- 新しいHP ProLiant Smartアレイ HPCISSS3コントローラードライバー(**hpciss3.sys**)がアップデートされているシステム上で実行されている場合、ファームウェアコンポーネントインストーラーは正常にドライブのファームウェアをインストールすることができるようになりました。
- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPDD (B)の改善点/新しい機能：

- すべてのSASドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。
- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - EH0146FBQDCおよびEH0300FBQDDドライブ
バージョン: HPD5 (C) (**推奨**)
ファイル名: cp029260.exe; cp029260.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD5を既にインストールしている場合、HPD5(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点：

- HP ProLiantサーバーが誤ってレポートされたハードディスクドライブ温度超過状態により電源ダウンしました。ハードディスクドライブのファームウェアHPD5は、この問題を解決します。

HPD5 (B)に対して修正された問題：

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPD5 (C)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - EH0146FCBVBおよびEH0300FCBVCドライブ

バージョン: HPD8 (B) (推奨)

ファイル名: cp030991.exe; cp030991.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD5を既にインストールしている場合、HPD8(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- トラックの狭い範囲にデータを書き込むアプリケーションの信頼性の向上。
- デバイスがモーターの電流の異常な負荷を検知する場合の新しいSMART Trip。

拡張

HPD8 (B)の改善点/新しい機能 :

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - EH0300JDYTH、EH0450JDYTK、およびEH0600JDYTL
ドライブ

バージョン: HPD4 (C) (推奨)

ファイル名: cp029262.exe; cp029262.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- ドライブがコントローラーへ06/29/04 (自主リセット)を報告した、ATI (Adjacent Track Interference)緩和時の自主リセット問題。コントローラーはドライブとのリンクを再確立し、コマンドを再送信します。
- ドライブパフォーマンスの劣化をもたらすサーボの計算ミス。

HPD4 (B)に対して修正された問題 :

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPD4 (C)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能 :

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - EH0300JEDHC、EH0450JEDHD、およびEH0600JEDHE
ドライブ

バージョン: HPD4 (B) (推奨)

ファイル名: cp030993.exe; cp030993.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD5を既にインストールしている場合、HPD4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPD4以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。このファームウェアは、また、記録された後、修理されたセクターのステータスが誤って再割り当てされることを防ぐための変更が含まれます。

拡張

HPD4 (B)の改善点/新しい機能 :

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - EH0600JDYTNドライブ

バージョン: HPD5 (C) (推奨)

ファイル名: cp029264.exe; cp029264.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD5を既にインストールしている場合、HPD5(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点：

- ドライブがコントローラーへ06/29/04 (自主リセット)を報告した、ATI (Adjacent Track Interference)緩和時の自主リセット問題。コントローラーはドライブとのリンクを再確立し、コマンドを再送信します。
- ドライブパフォーマンスの劣化をもたらすサーボの計算ミス。

HPD5 (B)に対して修正された問題：

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPD5 (C)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB1000FAMYUおよびMB2000FAMYVドライブ

バージョン: HPD7 (D) (**クリティカル**)

ファイル名: cp029268.exe; cp029268.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD7を既にインストールしている場合、HPD7(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、ハードディスクに不正なデータが書き込まれることがある、WRITE SAMEコマンドシーケンス中に起こるまれな状態を防ぎます。WRITE SAMEコマンドは、RAID ARRAYパリティの初期化中に使われることがあります。

HPD7 (C)に対して修正された問題：

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPD7 (D)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- 新しいHP ProLiant Smartアレイ HPCISSS3コントローラードライバー(**hpciss3.sys**)がアップデートされているシステム上で実行されている場合、ファームウェアコンポーネントインストーラーは正常にドライブのファームウェアをインストールすることができるようになりました。
- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPD7 (B)の改善点/新しい機能：

- すべてのSASドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。
- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB1000FBZPLおよびMB2000FBZPN ドライブバージョン: HPD4 (B) (推奨)

ファイル名: cp029269.exe; cp029269.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- HP ProLiantサーバーが誤ってレポートされたハードディスクドライブ温度超過状態により電源ダウンしました。HPD4ファームウェアはこの問題を解決します。

HPD4 (B)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能 :

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB1000FCWDE、MB2000FCWDF、MB3000FCWDH および MB4000FCWDKドライブ

バージョン: HPDA (推奨)

ファイル名: cp030188.exe; cp030188.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点 :

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPDA以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。
- このファームウェアは、また、記録された後、修理されたセクターのステータスが誤って再割り当てされることを防ぐための変更が含まれます。

拡張

改善点/新しい機能 :

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB1000FCWPP、MB2000FCVBV、MB3000FCVCA、およびMB4000FCVCBドライブ

バージョン: HPD2 (D) (推奨)

ファイル名: cp029271.exe; cp029271.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすること

はサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD2を既にインストールしている場合、HPD2(D)へアップデートする必要はありません。

修正

HPD2 (C)に対して修正された問題：

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPD2 (D)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- このファームウェアは、実装されていない場合は、特定の用途(例えば、狭い範囲の非常に長期間のシーク)のために増加するドライブ障害率につながる可能性があるピボット軸受グリースウェアレベリングアルゴリズムを変更することにより信頼性を向上します。
- 改善点には、性能の向上が含まれています。
- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPD2 (B)の改善点/新しい機能：

- すべてのSASドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。
- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB2000FBUCLおよびMB3000FBUCLドライブ
バージョン: HPDA (D) (**クリティカル**)
ファイル名: cp029276.exe; cp029276.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPDAを既にインストールしている場合、HPDA(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、メディアの堅牢性のためのバックグラウンドスキャンを改善し、ディスクが最新のキャッシュデータによって更新されないことがあったラボで起こったまれな状態を修正します。

HPDA (C)に対して修正された問題：

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPDA (D)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPDA (B)の改善点/新しい機能：

- すべてのSASドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。
- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB2000FCQPFおよびMB3000FBNWVドライブ

バージョン: HPD9 (推奨)

ファイル名: cp030831.exe; cp030831.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- HP ProLiantサーバーが誤ってレポートされたハードディスクドライブ温度超過状態により電源ダウンしました。ハードディスクドライブのファームウェアHPD9は、この問題を解決します。

拡張

改善点/新しい機能：

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB2000FCZGH、MB3000FCZGK、およびMB4000FCZGL
ドライブ

バージョン: HPD7 (B) (推奨)

ファイル名: cp029278.exe; cp029278.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD7を既にインストールしている場合、HPD7(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- このファームウェアは、電源オンの後に見つかるドライブの障害を引き起こす可能性のある問題を修正します。

HPD7 (B)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能 :

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB2000JFDSLおよびMB4000JFDSNドライブ

バージョン: HPD1 (推奨)

ファイル名: cp030061.exe; cp030061.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

拡張

改善点/新しい機能：

- トラックの狭い範囲にデータを書き込むアプリケーションの信頼性の向上。
- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB2000JFEPAおよびMB4000JFEPBドライブ

バージョン: HPD2 (推奨)

ファイル名: cp030847.exe; cp030847.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPD2以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。このファームウェアは、また、記録された後、修復されたセクターのステータスが誤って再割り当てされることを防ぐための変更が含まれます。

拡張

改善点/新しい機能：

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB4000JEFNCおよびMB6000JEFNDドライブ

バージョン: HPD5 (B) (クリティカル)

ファイル名: cp030995.exe; cp030995.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD5を既にインストールしている場合、HPD5(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPD5以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。このファームウェアは、また、記録された後、修理されたセクターのステータスが誤って再割り当てされることを防ぐための変更が含まれます。

拡張

HPD5 (B)の改善点/新しい機能：

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB4000JEQNLおよびMB6000JEQNNドライブ

バージョン: HPD7 (C) (**クリティカル**)

ファイル名: cp029286.exe; cp029286.md5

重要な注意!

- **Zero Memory (ZM) モード**で動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD7を既にインストールしている場合、HPD7(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、予約コマンドが使用される、書き込みキャッシュされたマルチイニシエーター非整列書き込みが有効な環境での潜在的な不正データ問題を修正します。

HPD7 (B)に対して修正された問題：

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPD7 (C)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB6000FEDAUドライブ

バージョン: HPD4 (B) (**推奨**)

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、電源オンの後に見つかるドライブの障害を引き起こす可能性のある問題を修正します。

HPD4 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内にある、ドライブのファームウェアのインストールに失敗する場合があります。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MM0500FAMYTドライブ

バージョン: HPD6 (D) (**クリティカル**)

ファイル名: cp029291.exe; cp029291.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD6を既にインストールしている場合、HPD6(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- HDDの長期使用後に電源の再投入後、ごくまれにデータを含むディスクの領域にドライブのヘッドが接触して、データの損失や機械的損傷を引き起こすことがあります。ファームウェアバージョンHPD6は、この状態を防ぐことができます。
- このファームウェアは、ハードディスクに不正なデータが書き込まれることがある、WRITE SAMEコマンドシーケンス中に起こるまれな状態を防ぎます。WRITE SAMEコマンドは、RAID ARRAYパリティの初期化中に使われることがあります。

HPD6 (C)に対して修正された問題：

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPD6 (D)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- 新しいHP ProLiant Smartアレイ HPCISS3コントローラードライバー(**hpciss3.sys**)がアップデートされているシステム上で実行されている場合、ファームウェアコンポーネントインストーラーは正常にドライブのファームウェアをインストールすることができるようになりました。
- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPD6 (B)の改善点/新しい機能：

- すべてのSASドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。
- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MM0500FBFVQおよびMM1000FBFVRドライブ
バージョン: HPD9 (B) (**推奨**)
ファイル名: cp029292.exe; cp029292.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD9を既にインストールしている場合、HPD9(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- HPD9ファームウェアは、有効にされた書き込みキャッシュを持つラボのストレステスト環境で、ホストがハードリセットを発行した後にデータのディスクへのコミットが失敗することを防ぎます。

HPD9 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MM1000FECVHドライブ

バージョン: HPD2 (B) (推奨)

ファイル名: cp029294.exe; cp029294.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD2を既にインストールしている場合、HPD2(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- ドライブセルフテストが指定された時間内に完了しませんでした。
- 完全にキャッシュされたワークロード時に、SMARTが誤った温度値を報告します。
- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPD2 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- 消費電力を低減するサーボの改善を追加しました。
- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MM1000JEFRBおよびMM2000JEFRCドライブ
バージョン: HPD4 (C) (推奨)

ファイル名: cp029296.exe; cp029296.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- バージョンHPD4は、ドライブがハードリセットを経験すると、非常にまれな状況下で誤ったデータがドライブに書き込まれる可能性を防ぎます。この問題は、厳密なテスト環境で観察されましたが、顧客の運用環境では報告されていません。

HPD4 (B)に対して修正された問題 :

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbyypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPD4 (C)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能 :

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MM1000JFJTHドライブ

バージョン: HPD1 (推奨)

ファイル名: cp030811.exe; cp030811.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることは

サポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinuxおよびMicrosoft Windows環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPD1以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。このファームウェアは、また、記録された後、修理されたセクターのステータスが誤って再割り当てされることを防ぐための変更が含まれます。

拡張

改善点/新しい機能：

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MO0200FCTRN、MO0400FCTRQ、およびMO0800FCTRQドライブ

バージョン: HPD5 (C) (**推奨**)

ファイル名: cp030996.exe; cp030996.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD5を既にインストールしている場合、HPD5(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点：

- マッピングされていないロジカルブロックアドレス(LBA)のプロセスの間に、複数回電源のオンオフがあった場合、ドライブがフォーマットエラーで応答する問題が見つかりました。HPD5 ファームウェアは、ドライブがLBAから物理メモリマップに回復できることを確認するため、出力サイクルの間HPD5ファームウェアに付随的保護を追加します。

HPD5 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

HPD5 (C)の改善点/新しい機能 :

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MO0200JDVET、MO0400JDVEU、MO0800JDVEV、EO0200JDVFA、EO0400JDVFB、およびEO0800JDVFCドライブ

バージョン: HPD2 (C) (オプション)

ファイル名: cp029299.exe; cp029299.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD2を既にインストールしている場合、HPD2(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- HPD2より前のファームウェアバージョンを実行しているソリッドステートドライブ(SSD)は、Unmapコマンドをサポートします。アプリケーションクライアントは、重要なデータを含まない特定のLBAを指定するためにUnmapコマンドを利用することができます。必要に応じて、SSDはマップされていないLBAを使うことができます。この機能は、HPD2以降のファームウェアバージョンを実行しているこれらのSSDではサポートされなくなります。

HPD2 (B)に対して修正された問題 :

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPD2 (C)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能 :

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - VO1920JEUQQドライブ

バージョン: HPD1 (C) (クリティカル)

ファイル名: cp029305.exe; cp029305.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD1を既にインストールしている場合、HPD1(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点：

- アラインされていない4K読み込みへのアクセスおよびデータ読み込みが顧客データの前にゼロ内容を持つとき、誤ったデータ読み込みが発生することがあります。(この問題の詳しい情報は、カスタマーアドバイザー [c04650586](#)から入手できます)

HPD1 (B)に対して修正された問題：

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPD1 (C)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - EO0200FBRVV、MO0200FBRWB、EO0400FBRWA、MO0400FBRWC、およびMO0800FBRWDドライブ
バージョン: HPD9 (B) (**推奨**)
ファイル名: cp020440.exe; cp020440.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinuxおよびMicrosoft Windows環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。
- ファームウェアバージョンHPD9を既にインストールしている場合、HPD9(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- Report Support Operation Code(RSOC)コマンド(A3h)をソリッドステートドライブに発行し、レポートオプションフィールドが001に設定されたとき、以前のファームウェアリビジョンでは、ドライブはRSOCコマンドがサポートされないことを00/05/24で示す誤った応答をしました。エラーはシステムログファイルに記録されました。ドライブはCommand Data Parameter (CDP) フォーマットを使用して、非サポートを伝えておく必要がありました。ファームウェアはRSOC業界標準仕様に準拠するようになりました。

拡張

改善点/新しい機能：

- 新しいHP ProLiant Smartアレイ HPCISSS3コントローラードライバー(**hpcisss3.sys**)がアップデートされているシステム上で実行されている場合、ファームウェアコンポーネントインストーラーは正常にドライブのファームウェアをインストールすることができるようになりました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - EF0300FATFD、EF0450FATFEおよびEF0600FATFFドライブ
バージョン: HPDB (B) (**クリティカル**)

ファイル名: cp020433.exe; cp020433.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinuxおよびMicrosoft Windows環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。
- ファームウェアバージョンHPDBを既にインストールしている場合、HPDB(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、古くなったデータがディスクに書き込まれる可能性がある状態を修正します。これにより以降の要求で予期しないデータが返されます。このデータの問題は、ラボでのファームウェアストレステストで再現されました。

拡張

改善点/新しい機能：

- 新しいHP ProLiant Smartアレイ HPCISSS3コントローラードライバー(**hpcisss3.sys**)がアップデートされているシステム上で実行されている場合、ファームウェアコンポーネントインストーラーは正常にドライブのファームウェアをインストールすることができるようになりました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - EG0300FBDBR、EG0450FBDBTおよびEG0600FBDBUドライブ
バージョン: HPDA (B) (**クリティカル**)

ファイル名: cp020307.exe; cp020307.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。
- ファームウェアバージョンHPDAを既にインストールしている場合、HPDA(B)へアップデートする必要はありません。

事前要件

- 最低ファームウェア要件 - HPD7。HPD7より前のバージョンにダウングレードすると、HPDAドライバーファームウェアは機能しなくなります。

修正

ファームウェアの関連性：

- 最低ファームウェア要件 - HPD7。HPD7より前のバージョンにダウングレードすると、HPDAドライバーファームウェアは機能しなくなります。

修正された問題点：

- このファームウェアは、古くなったデータがディスクに書き込まれる可能性がある状態を修正します。これにより以降の要求で予期しないデータが返されます。このデータの問題は、ラボでのファームウェアストレステストで再現されました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - EG0300FBLSE、EG0450FBLSF、EG0600FBLSH、およびEG0900FBLSKドライブ
バージョン: HPD8 (推奨)
ファイル名: cp025755.exe

修正

修正された問題点：

- HP ProLiantサーバーが誤ってレポートされたハードディスクドライブ温度超過状態により電源ダウンしました。ハードディスクドライブのファームウェアHPD8は、この問題を解決します。

拡張

改善点/新しい機能：

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - EG0300FBVFL、EG0450FBVFM、EG0600FBVFP、およびEG0900FBVFQドライブ
バージョン: HPDE (推奨)
ファイル名: cp028191.exe; cp028191.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべて

のOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。

修正

修正された問題点：

- ドライブセルフテストが指定された時間内に完了しませんでした。
- 完全にキャッシュされたワークロード時に、SMARTが誤った温度値を報告します。

拡張

改善点/新しい機能：

- 消費電力を低減するサーボの改善を追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - EG0300FCVBF, EG0450FCVBH, EG0600FCVBKおよびEG0900FCVBLドライブ

バージョン: HPD9 (推奨)

ファイル名: cp028285.exe; cp028285.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。

修正

修正された問題点：

- シリアルポート診断デバッグ接続からの予期しない応答のため、ドライブが応答しなくなる可能性があります。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - EG0900FDJYRおよびEG1200FDJYTドライブ

バージョン: HPD4 (推奨)

ファイル名: cp027736.exe; cp027736.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。

修正

修正された問題点：

- バックグラウンドスキャン中にError Correction Code (ECC)が失敗する連続したエラー回復がドライブで起こる、ごくまれな環境でドライブからの"読み込み"または"書き込み"での誤ったデータの可能性を防ぎます。この問題は、厳密なテスト環境で観察されましたが、顧客の運用環境では報告されていません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - EG1200FDNJTおよびEG1200FCVBQドライブ

バージョン: HPD8 (推奨)

ファイル名: cp028210.exe; cp028210.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。

修正

修正された問題点：

- ドライブセルフテストが指定された時間内に完了しませんでした。
- 完全にキャッシュされたワークロード時に、SMARTが誤った温度値を報告します。

拡張

改善点/新しい機能：

- 消費電力を低減するサーボの改善を追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - EH0072FARWCおよびEH0146FARWDドライブ

バージョン: HPDD (B) (クリティカル)

ファイル名: cp020438.exe; cp020438.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinuxおよびMicrosoft Windows環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。
- ファームウェアバージョンHPDDを既にインストールしている場合、HPDD(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、古くなったデータがディスクに書き込まれる可能性がある状態を修正します。これにより以降の要求で予期しないデータが返されます。このデータの問題は、ラボでのファームウェアストレステストで再現されました。

拡張

改善点/新しい機能：

- 新しいHP ProLiant Smartアレイ HPCISS3コントローラードライバー(**hpciss3.sys**)がアップデートされているシステム上で実行されている場合、ファームウェアコンポーネントインストーラーは正常にドライブのファームウェアをインストールすることができるようになりました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - EH0146FBQDCおよびEH0300FBQDDドライブ

バージョン: HPD5 (**推奨**)

ファイル名: cp027318.exe; cp027318.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。

修正

修正された問題点：

- HP ProLiantサーバーが誤ってレポートされたハードディスクドライブ温度超過状態により電源ダウンしました。ハードディスクドライブのファームウェアHPD5は、この問題を解決します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - EH0146FCBVBおよびEH0300FCBVCドライブ

バージョン: HPD8 (**推奨**)

ファイル名: cp030797.exe; cp030797.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- トラックの狭い範囲にデータを書き込むアプリケーションの信頼性の向上。
- デバイスがモーターの電流の異常な負荷を検知する場合の新しいSMART Trip。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - MB1000FBZPLおよびMB2000FBZPNドライブ

バージョン: HPD4 (**推奨**)

ファイル名: cp028674.exe; cp028674.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。

修正

修正された問題点：

- HP ProLiantサーバーが誤ってレポートされたハードディスクドライブ温度超過状態により電源ダウンしました。HPD4ファームウェアはこの問題を解決します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - MB1000FCWDE、MB2000FCWDF、MB3000FCWDH および MB4000FCWDKドライブ

バージョン: HPDA (推奨)

ファイル名: cp030190.exe; cp030190.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPDA以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。
- このファームウェアは、また、記録された後、修理されたセクターのステータスが誤って再割り当てされることを防ぐための変更が含まれます。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - MB1000FCWPP、MB2000FCVBV、MB3000FCVCA、および MB4000FCVCBドライブ

バージョン: HPD2 (推奨)

ファイル名: cp022639.exe; cp022639.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。

拡張

改善点/新しい機能：

- このファームウェアは、実装されていない場合は、特定の用途(例えば、狭い範囲の非常に長期間のシーク)のために増加するドライブ障害率につながる可能性があるピボット軸受グリースウェアレベリングアルゴリズムを変更することにより信頼性を向上します。
- 改善点には、性能の向上が含まれています。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - MB2000FBUCIおよびMB3000FBUCN ドライブ

バージョン: HPDA (クリティカル)

ファイル名: cp021545.exe; cp021545.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、メディアの堅牢性のためのバックグラウンドスキャンを改善し、ディスクが最新のキャッシュデータによって更新されないことがあったラボで起こったまれな状態を修正します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - MB2000FCQPFおよびMB3000FBNWV ドライブ

バージョン: HPD9 (推奨)

ファイル名: cp030828.exe; cp030828.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- HP ProLiantサーバーが誤ってレポートされたハードディスクドライブ温度超過状態により電源ダウンしました。ハードディスクドライブのファームウェアHPD9は、この問題を解決します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - MM0500FAMYT ドライブ

バージョン: HPD6 (B) (クリティカル)

ファイル名: cp020466.exe; cp020466.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinuxおよびMicrosoft Windows環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。
- ファームウェアバージョンHPD6を既にインストールしている場合、HPD6(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- HDDの長期使用後に電源の再投入後、ごくまれにデータを含むディスクの領域にドライブのヘッドが接触して、データの損失や機械的損傷を引き起こすことがあります。ファームウェアバージョンHPD6は、この状態を防ぐことができます。
- このファームウェアは、ハードディスクに不正なデータが書き込まれることがある、WRITE SAMEコマンドシーケンス中に起こるまれな状態を防ぎます。WRITE SAMEコマンドは、RAID ARRAYパリティの初期化中に使われることがあります。

拡張

改善点/新しい機能：

- 新しいHP ProLiant Smartアレイ HPCISS3コントローラードライバー(**hpciss3.sys**)がアップデートされているシステム上で実行されている場合、ファームウェアコンポーネントインストーラーは正常にドライブのファームウェアをインストールできるようになりました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - MM0500FBFVQおよびMM1000FBFVR ドライブ

バージョン: HPD9 (推奨)

ファイル名: cp028681.exe; cp028681.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。

修正

修正された問題点：

- HPD9ファームウェアは、有効にされた書き込みキャッシュを持つラボのストレステスト環境で、ホストがハードリセットを発行した後にデータのディスクへのコミットが失敗することを防ぎます。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG0600JETKA、EG0900JETKB、およびEG1200JETKC ドライブ

バージョン: HPD4 (推奨)

ファイル名: CP030786.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

拡張

改善点/新しい機能 :

- トラックの狭い範囲にデータを書き込むアプリケーションの信頼性の向上。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EH0300JDXBA、EH0450JDXBB、およびEH0600JDXBCドライブ

バージョン: HPD3 (推奨)

ファイル名: CP029792.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

拡張

改善点/新しい機能 :

- トラックの狭い範囲にデータを書き込むアプリケーションの信頼性の向上。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MO0400JFFCF、MO0800JFFCH、MO1600JFFCK、およびMO3200JFFCLドライブ

バージョン: HPD4 (オプション)

ファイル名: CP029644.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアには、バッファ読み取りを通してのデバッグデータ回収など低水準メンテナンスの修正がいくつか含まれます。この修正には特殊なテスト環境で観測されたイベントが記載されており、顧客の使用は想定されていません。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO0480JFDGT、VO0960JFDGU、VO1920JFDGVおよびVO3840JFDHAドライブ

バージョン: HPD4 (オプション)

ファイル名: CP029645.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアには、バッファ読み取りを通してのデバッグデータ回収など低水準メンテナンスの修正がいくつか含まれます。この修正には特殊なテスト環境で観測されたイベントが記載されており、顧客の使用は想定されていません。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG0600JETKA、EG0900JETKB、およびEG1200JETKCドライブ

バージョン: HPD4 (B) (推奨)

ファイル名: cp030990.exe; cp030990.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD5を既にインストールしている場合、HPD4(B)へアップデートする必要はありません。

拡張

改善点/新しい機能：

- トラックの狭い範囲にデータを書き込むアプリケーションの信頼性の向上。

HPD4 (B)の改善点/新しい機能：

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。
-

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EH0300JDXBA、EH0450JDXBB、およびEH0600JDXBC
ドライブ

バージョン: HPD3 (B) (推奨)

ファイル名: cp030992.exe; cp030992.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD5を既にインストールしている場合、HPD3(B)へアップデートする必要はありません。

拡張

改善点/新しい機能 :

- トラックの狭い範囲にデータを書き込むアプリケーションの信頼性の向上。

HPD3 (B)の改善点/新しい機能 :

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MO0400JFFCF、MO0800JFFCH、MO1600JFFCK、およびMO3200JFFCLドライブ

バージョン: HPD4 (B) (オプション)

ファイル名: cp030997.exe; cp030997.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD5を既にインストールしている場合、HPD4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- このファームウェアには、バッファ読み取りを通してのデバッグデータ回収など低水準メンテナンスの修正がいくつか含まれます。この修正には特殊なテスト環境で観測されたイベントが記載されており、顧客の使用は想定されていません。

拡張

HPD4 (B)の改善点/新しい機能 :

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - VO0480JFDGT、VO0960JFDGU、VO1920JFDGV、およびVO3840JFDHAドライブ

バージョン: HPD4 (B) (オプション)

ファイル名: cp030998.exe; cp030998.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD5を既にインストールしている場合、HPD4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアには、バッファ読み取りを通してのデバッグデータ回収など低水準メンテナンスの修正がいくつか含まれます。この修正には特殊なテスト環境で観測されたイベントが記載されており、顧客の使用は想定されていません。

拡張

HPD4 (B)の改善点/新しい機能:

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

Supplemental Update/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - MB1000FBZPLおよびMB2000FBZPNドライブ
バージョン: HPD4 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/i386/hp-firmware-hdd-b33fedbbdf-HPD4-1.1.i386.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。

修正

修正された問題点:

- HP ProLiantサーバーが誤ってレポートされたハードディスクドライブ温度超過状態により電源ダウンしました。HPD4ファームウェアはこの問題を解決します。

WindowsのオンラインROMフラッシュコンポーネント - MO0200FCTRN、MO0400FCTRP、およびMO0800FCTRQドライブ

バージョン: HPD5 (推奨)

ファイル名: cp029640.exe; cp029640.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点 :

- マッピングされていないロジカルブロックアドレス(LBA)のプロセスの間に、複数回電源のオンオフがあった場合、ドライブがフォーマットエラーで応答する問題が見つかりました。HPD5 ファームウェアは、ドライブがLBAから物理メモリマップに回復できることを確認するため、出力サイクルの間HPD5ファームウェアに付随的保護を追加します。

ファームウェア - SATAストレージディスク

先頭

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for ESXi - MB1000GDUNU, MB2000GDUNV, MB3000GDUPA, およびMB4000GDUPBドライブ

バージョン: HPG4 (推奨)

ファイル名: CP030806.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinuxおよびMicrosoft Windows環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点 :

- トラックの狭い範囲にデータを書き込むアプリケーションの信頼性の向上。

既知の問題点 :

- ファームウェアは、HPG4へのアップグレード後、HPG3へダウングレードすることはできません。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for ESXi - VB0160EAVEQおよびVB0160CBCDEドライブ

バージョン: HPG9 (F) (推奨)

ファイル名: CP029388.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG9を既にインストールしている場合、HPG9(F)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、システムソフトリブート後にドライブが応答しなくなるおよび電源の再投入が必要になる可能性を修正します。これは、システムがソフト再起動後にシステムにドライブが接続されていないように見えます。これは、オペレーティングシステムのインストール時に最も頻繁に観察されていますが、あらゆるシステムソフトリブート後にも発生することがあります。

HPG9 (F)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

拡張

改善点/新しい機能：

- VMware vSphere 5.5のサポートを追加しました。
- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。
- HP Dynamic Smartアレイ B140iコントローラーのサポートを追加しました。

HPG9 (E)の改善点/新しい機能：

- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。
- VMware Firmware Smartコンポーネントパッケージは、*.scexeパッケージからインストール中のセキュリティの強化を提供する実行可能なバイナリを含む、*.zipパッケージに変更されました。VMware Smartコンポーネントの機能は変更されていません。

サブプリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for ESXi - VB0250E AVERドライブ
バージョン: HPG9 (F) (推奨)
ファイル名: CP029389.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

- ファームウェアバージョンHPG9を既にインストールしている場合、HPG9(F)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、システムソフトリブート後にドライブが応答しなくなるおよび電源の再投入が必要になる可能性を修正します。これは、システムがソフト再起動後にシステムにドライブが接続されていないように見えます。これは、オペレーティングシステムのインストール時に最も頻繁に観察されていますが、あらゆるシステムソフトリブート後にも発生することがあります。

HPG9 (F)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

拡張

改善点/新しい機能：

- VMware vSphere 5.5のサポートを追加しました。
- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。
- HP Dynamic Smartアレイ B140iコントローラーのサポートを追加しました。

HPG9 (E)の改善点/新しい機能：

- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。
- VMware Firmware Smartコンポーネントパッケージは、*.scexe/パッケージからインストール中のセキュリティの強化を提供する実行可能なバイナリを含む、*.zipパッケージに変更されました。VMware Smartコンポーネントの機能は変更されていません。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB2000GCVBR、MB3000GCVBT、およびMB4000GCVBUドライブ

バージョン: HPG5 (B) (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-e4f5b5c9a7-HPG5-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG5を既にインストールしている場合、HPG5(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- データが誤ったセクターに書かれる可能性があった、低い5v駆動電圧と特定の順次データストリーミング状態の間のまれではあるが潜在的なデータ整合性エラーを修正します。

HPG5 (B)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

拡張

改善点/新しい機能 :

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。
- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB0500GCEHF、MB1000GCEHH、およびMB2000GCEHKドライブ
バージョン: HPGD (D) (クリティカル)
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-b583d96f94-HPGD-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPGDを既にインストールしている場合、HPGD(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- HDDの長期使用後に電源の再投入後、ごくまれにデータを含むディスクの領域にドライブのヘッドが接触して、データの損失や機械的損傷を引き起こすことがあります。ファームウェアバージョンHPGDは、この状態を防ぐことができます。
- HP H2xx ホストバスアダプター (HBA) に接続されるドライブのフラッシュで、ドライブファームウェアのインストール障害を引き起こす割り込みが発生しなくなりました。
- ドライブモデルMB2000GCEHKが検出されるが、フラッシュに失敗するコンポーネントのインストール問題を解決しました。
- Linux Smartコンポーネントは、SATA HBAコントローラーに接続されたSATAドライブのファームウェアアップデートに失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

HPGD (D)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

拡張

改善点/新しい機能：

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPGD (C)の改善点/新しい機能：

- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB1000ECWCQ、MB2000ECWCR、MB3000ECWCT および MB4000ECWCU ドライブ
バージョン: HPG5 (クリティカル)
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-a92b4196b5-HPG5-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- HPG5ファームウェアは、ディスクドライブが1秒を超える長期間、ホスト非作動にさらされた場合のドライブの信頼性を改善します。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB1000GCEEKドライブ
バージョン: HPG2 (B) (推奨)
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-7aa341f927-HPG2-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

- ファームウェアバージョンHPG2を既にインストールしている場合、HPG2(B)へアップデートする必要はありません。

修正

HPG2 (B)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

拡張

改善点/新しい機能 :

- このファームウェアは、実装されていない場合は、特定の用途(例えば、狭い範囲の非常に長期間のシーク)のために増加するドライブ障害率につながる可能性があるピボット軸受グリースウェアレベリングアルゴリズムを変更することにより信頼性を向上します。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB1000GCWCV、MB2000GCWDA、MB3000GCWDB および MB4000GCWDC ドライブ

バージョン: HPGH (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-a1b08f8a6b-HPGH-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点 :

- HPGH ファームウェアは、ディスクドライブが1秒を超える長期間、ホスト非作動期間になった場合のドライブの信頼性を改善します。その結果、ハードディスクは反応しなくなることがあります。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB1000GDUNU、MB2000GDUNV、MB3000GDUPA、およびMB4000GDUPB ドライブ

バージョン: HPG4 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-3ab4c70e64-HPG4-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることは

サポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinuxおよびMicrosoft Windows環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- トラックの狭い範囲にデータを書き込むアプリケーションの信頼性の向上。

既知の問題点：

- ファームウェアは、HPG4へのアップグレード後、HPG3へダウングレードすることはできません。

サプリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB2000EAZNLドライブ
バージョン: HPG4 (D) (オプション)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-800c4d6b2e-HPG4-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG4を既にインストールしている場合、HPG4(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、一般的なメンテナンスリリースとコードの改善項目を含みます。ハードディスクドライブのファームウェアバージョンHPG4で製造またはアップグレードされたデバイスは、ハードディスクドライブの製造プロセスの変更のために以前のバージョンのファームウェアへダウングレードするべきではありません。
- Linux Smartコンポーネントは、SATA HBAコントローラーに接続されたSATAドライブのファームウェアアップデートに失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

HPG4 (D)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

拡張

改善点/新しい機能 :

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

(C)の改善点/新しい機能 :

- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB2000EBUCFおよびMB3000EBUCHドライブ

バージョン: HPG4 (D) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-74fefb9767-HPG4-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG4を既にインストールしている場合、HPG4(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- システムは電源再投入後、いくつかのドライブを認識しませんでした。これは、リセットによってドライブの初期化プロセスが中断されるためで、ドライブがREPORTコマンドのために割り当てられた以上の時間を掛けてしまいます。
- Linux Smartコンポーネントは、SATA HBAコントローラーに接続されたSATAドライブのファームウェアアップデートに失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

HPG4 (D)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

拡張

改善点/新しい機能 :

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

(C)の改善点/新しい機能 :

- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB2000ECVJF、
MB3000ECVJH、およびMB4000ECVJKドライブ
バージョン: HPG5 (B) (クリティカル)
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-b923956874-HPG5-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG5を既にインストールしている場合、HPG5(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- データが誤ったセクターに書かれる可能性があった、低い5v駆動電圧と特定の順次データストリーミング状態の間のまれではあるが潜在的なデータ整合性エラーを修正します。

HPG5 (B)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

拡張

改善点/新しい機能 :

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。
- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB2000GBUPBおよび
MB3000GBUCKドライブ
バージョン: HPG4 (D) (推奨)
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-166dc88573-HPG4-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPP

およびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

- ファームウェアバージョンHPG4を既にインストールしている場合、HPG4(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- システムは電源再投入後、いくつかのドライブを認識しませんでした。これは、リセットによってドライブの初期化プロセスが中断されるため、ドライブがREPORTコマンドのために割り当てられた以上の時間を掛けてしまいます。
- Linux Smartコンポーネントは、SATA HBAコントローラーに接続されたSATAドライブのファームウェアアップデートに失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

HPG4 (D)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

拡張

改善点/新しい機能：

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPG4 (C)の改善点/新しい機能：

- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB2000GCQXQおよびMB3000GBKACドライブ
バージョン: HPGK (推奨)
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-c9026c29f7-HPGK-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- HPE ProLiantサーバーが誤ってレポートされたハードディスクドライブ温度超過状態によりパワーダウンしました。ハードディスクドライブのファームウェアHPGKは、この問題を解決します。

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG6を既にインストールしている場合、HPG6(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- HDDの長期使用後に電源の再投入後、ごくまれにデータを含むディスクの領域にドライブのヘッドが接触して、データの損失や機械的損傷を引き起こすことがあります。ファームウェアバージョンHPG6は、この状態を防ぐことができます。
- このファームウェアは、"コマンドタイムアウト"およびパフォーマンスの低下や機器故障の状態になるシークエラーを修正します。後者は、コントローラーまたはサブシステムによりドライブ障害の原因になります。
- HP H2xx ホストバスアダプター (HBA) に接続されるドライブのフラッシュで、ドライブファームウェアのインストール障害を引き起こす割り込みが発生しなくなりました。
- Linux Smartコンポーネントは、SATA HBAコントローラーに接続されたSATAドライブのファームウェアアップデートに失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

HPG6 (D)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

拡張

改善点/新しい機能 :

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPG6 (C)の改善点/新しい機能 :

- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。

MB6000GEFNBドライブ

バージョン: HPG4 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-40277d55d3-HPG4-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点 :

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPG4以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。このファームウェアは、また、記録された後、修理されたセクターのステータスが誤って再割り当てされることを防ぐための変更が含まれます。

サプリメントアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB4000GEQNHおよびMB6000GEQNKドライブ

バージョン: HPG7 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-bfc95f0628-HPG7-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG7を既にインストールしている場合、HPG7(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- このファームウェアは、トラックリフレッシュアルゴリズムが正しく動作しないことによって引き起こされることがある回復不能エラーを修正します。

HPG7 (B)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

サプリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB6000GEQUUおよびMB8000GEQUUドライブ

バージョン: HPG7 (C) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-1d7f19120b-HPG7-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG7を既にインストールしている場合、HPG7(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- このファームウェアは、トラックリフレッシュアルゴリズムが正しく動作しないことによって引き起こされることがありえる回復不能エラーを修正します。

HPG7 (C)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

サプリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MK0960GECQKドライブ
バージョン: HPG3 (B) (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-3e34285be7-HPG3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG3を既にインストールしている場合、HPG3(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- ファームウェアは、非整列シーケンシャル書き込み操作に関連するデータ管理ミスの問題を解決します。

HPG3 (B)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MM0500GBKAKおよびMM1000GBKALドライブ

バージョン: HPGE (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-a08f92a4f9-HPGE-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点 :

- アイドルタイムの>250ms 後にホスト問題がリセットされる場合に発生する中レベルアサートを修正しました。ドライブが問題によって影響を受ける場合、パフォーマンスの低下を表示し、動作を停止する可能性があります。影響を受けたホットプラグのドライブの取り外しと挿入が一時的にこの問題を解決します。この問題を解決するためのドライブファームウェアのバージョンHPGEをアップデートしています。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MM1000GEFQVおよびMM2000GEFRAドライブ

バージョン: HPG3 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-ec908c3650-HPG3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG3を既にインストールしている場合、HPG3(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- HDDパワーサイクルの後、Background Media Scan (BGMS)ポインターが2つめのBGMSルーチン呼びだしLBA 0から開始し、2つめのBGMSが完了するまでパフォーマンスに影響を及ぼす問題。
- 開始後またはスタンバイから戻った後にHDDに入力する際、Non Volatile Cacheの問題が起こる可能性。

HPG3 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MM1000GFJTEドライブ
バージョン: HPG1 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-95af9a555e-HPG1-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPG1以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。
- このファームウェアは、また、記録された後、修理されたセクターのステータスが誤って再割り当てされることを防ぐための変更が含まれます。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - VB0160EAVEQおよびVB0160CBCDEドライブ

バージョン: HPG9 (D) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-181eec78ee-HPG9-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG9を既にインストールしている場合、HPG9(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、システムソフトリブート後にドライブが応答しなくなるおよび電源の再投入が必要になる可能性を修正します。これは、システムがソフト再起動後にシステムにドライブが接続されていないように見えます。これは、オペレーティングシステムのインストール時に最も頻繁に観察されていますが、あらゆるシステムソフトリブート後にも発生することがあります。
- HP H2xx ホストバスアダプター（HBA）に接続されるドライブのフラッシュで、ドライブファームウェアのインストール障害を引き起こす割り込みが発生しなくなりました。
- Linux Smartコンポーネントは、SATA HBAコントローラーに接続されたSATAドライブのファームウェアアップデートに失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

HPG9 (D)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

拡張

改善点/新しい機能：

- UEFI（Universal Extensible Firmware Interface）ベースのサーバーのサポートを追加しました。

(C)の改善点/新しい機能：

- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - VB0250EAVERドライブバージョン: HPG9 (D) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-e6bc718d4e-HPG9-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター（HBA）に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD9を既にインストールしている場合、HPD9(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、システムソフトリブート後にドライブが応答しなくなるおよび電源の再投入が必要になる可能性を修正します。これは、システムがソフト再起動後にシステムにドライブが接続されていない

ように見えます。これは、オペレーティングシステムのインストール時に最も頻繁に観察されていますが、あらゆるシステムソフトリブート後にも発生することがあります。

- HP H2xx ホストバスアダプター（HBA）に接続されるドライブのフラッシュで、ドライブファームウェアのインストール障害を引き起こす割り込みが発生しなくなりました。
- Linux Smartコンポーネントは、SATA HBAコントローラーに接続されたSATAドライブのファームウェアアップデートに失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

HPG9 (D)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

拡張

改善点/新しい機能：

- UEFI（Universal Extensible Firmware Interface）ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPG9 (C)の改善点/新しい機能：

- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - VK0240GDJXU、VK0300GDUQV、VK0480GDJXV、VK0600GDUTQ、およびVK0800GDJYAドライブ
バージョン: HPG1 (B) (オプション)
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-ef3ea1e703-HPG1-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター（HBA）に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG1を既にインストールしている場合、HPG1(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このメンテナンスファームウェアは、温度レポート、Sanitize Block Eraseをアップデートして、読み込みパフォーマンス改善を含みます。

HPG1 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しまし

た。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - MB2000GCVBR、MB3000GCVBT、およびMB4000GCVBUドライブ
バージョン: HPG5 (クリティカル)
ファイル名: rpm/RPMS/i386/hp-firmware-e4f5b5c9a7-HPG5-1.1.i386.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。

修正

修正された問題点 :

- データが誤ったセクターに書かれる可能性があった、低い5v駆動電圧と特定の順次データストリーミング状態の間のまれではあるが潜在的なデータ整合性エラーを修正します。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - MB0500GCEHF、MB1000GCEHH、およびMB2000GCEHKドライブ
バージョン: HPGD (E) (クリティカル)
ファイル名: CP022323.md5; CP022323.scexe

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。
- ファームウェアバージョンHPGDを既にインストールしている場合、HPGD(E)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- HDDの長期使用後に電源の再投入後、ごくまれにデータを含むディスクの領域にドライブのヘッドが接触して、データの損失や機械的損傷を引き起こすことがあります。ファームウェアバージョンHPGDは、この状態を防ぐことができます。
- HP H2xx ホストバスアダプター (HBA) に接続されるドライブのフラッシュで、ドライブファームウェアのインストール障害を引き起こす割り込みが発生しなくなりました。

- HPGD (D)は、ドライブモデルMB2000GCEHKが検出されるが、フラッシュに失敗するコンポーネントのインストール問題を解決しました。

拡張

改善点/新しい機能：

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - MB1000ECWCQ、
MB2000ECWCR、MB3000ECWCT および MB4000ECWCUドライブ

バージョン: HPG5 (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/i386/hp-firmware-a92b4196b5-HPG5-1.1.i386.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- HPG5ファームウェアは、ディスクドライブが1秒を超える長期間、ホスト非作動にさらされた場合のドライブの信頼性を改善します。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - MB1000GCWCV、
MB2000GCWDA、MB3000GCWDB および MB4000GCWDCドライブ

バージョン: HPGH (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/i386/hp-firmware-a1b08f8a6b-HPGH-1.1.i386.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- HPGH ファームウェアは、ディスクドライブが1秒を超える長期間、ホスト非作動期間になった場合のドライブの信頼性を改善します。その結果、ハードディスクは反応しなくなることがあります。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - MB2000EAZNLドライブ
バージョン: HPG4 (B) (オプション)

ファイル名: CP022329.md5; CP022329.scexe

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。
- ファームウェアバージョンHPG4を既にインストールしている場合、HPG4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、一般的なメンテナンスリリースとコードの改善項目を含みます。ハードディスクドライブのファームウェアバージョンHPG4で製造またはアップグレードされたデバイスは、ハードディスクドライブの製造プロセスの変更のために以前のバージョンのファームウェアへダウングレードするべきではありません。

拡張

改善点/新しい機能：

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - MB2000EBUCFおよびMB3000EBUCHドライブ
バージョン: HPG4 (B) (推奨)
ファイル名: CP022330.md5; CP022330.scexe

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。
- ファームウェアバージョンHPG4を既にインストールしている場合、HPG4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- システムは電源再投入後、いくつかのドライブを認識しませんでした。これは、リセットによってドライブの初期化プロセスが中断されるためで、ドライブがREPORTコマンドのために割り当てられた以上の時間を掛けてしまいます。

拡張

改善点/新しい機能：

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - MB2000ECVJF、MB3000ECVJH、
およびMB4000ECVJKドライブ

バージョン: HPG5 (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/i386/hp-firmware-b923956874-HPG5-1.1.i386.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。

修正

修正された問題点 :

- データが誤ったセクターに書かれる可能性があった、低い5v駆動電圧と特定の順次データストリーミング状態の間のまれではあるが潜在的なデータ整合性エラーを修正します。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - MB2000GBUPBおよびMB3000GBUCKドライブ

バージョン: HPG4 (B) (推奨)

ファイル名: CP022333.md5; CP022333.scexe

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。
- ファームウェアバージョンHPG4を既にインストールしている場合、HPG4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- システムは電源再投入後、いくつかのドライブを認識しませんでした。これは、リセットによってドライブの初期化プロセスが中断されるため、ドライブがREPORTコマンドのために割り当てられた以上の時間を掛けてしまいます。

拡張

改善点/新しい機能 :

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - MB2000GCQXQおよびMB3000GBKACドライブ

バージョン: HPGK (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/i386/hp-firmware-c9026c29f7-HPGK-1.1.i386.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- HPE ProLiantサーバーが誤ってレポートされたハードディスクドライブ温度超過状態によりパワーダウンしました。ハードディスクドライブのファームウェアHPGKは、この問題を解決します。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - MB3000EBKABドライブ

バージョン: HPG6 (C) (クリティカル)

ファイル名: CP022335.md5; CP022335.scexe

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。
- ファームウェアバージョンHPG6を既にインストールしている場合、HPG6(C)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- HDDの長期使用後に電源の再投入後、ごくまれにデータを含むディスクの領域にドライブのヘッドが接触して、データの損失や機械的損傷を引き起こすことがあります。ファームウェアバージョンHPG6は、この状態を防ぐことができます。
- このファームウェアは、"コマンドタイムアウト"およびパフォーマンスの低下や機器故障の状態になるシークエラーを修正します。後者は、コントローラーまたはサブシステムによりドライブ障害の原因になります。
- HP H2xx ホストバスアダプター (HBA) に接続されるドライブのフラッシュで、ドライブファームウェアのインストール障害を引き起こす割り込みが発生しなくなりました。

拡張

改善点/新しい機能：

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - MM0500GBKAKおよびMM1000GBKALドライブ

バージョン: HPGE (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/i386/hp-firmware-a08f92a4f9-HPGE-1.1.i386.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- アイドルタイムの>250ms 後にホスト問題がリセットされる場合に発生する中レベルアサートを修正しました。ドライブが問題によって影響を受ける場合、パフォーマンスの低下を表示し、動作を停止する可能性があります。影響を受けたホットプラグのドライブの取り外しと挿入が一時的にこの問題を解決します。この問題を解決するためのドライブファームウェアのバージョンHPGEをアップデートしています。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - VB0160EAVEQおよびVB0160CBCDEドライブ

バージョン: HPG9 (C) (推奨)

ファイル名: CP022342.md5; CP022342.scexe

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。
- ファームウェアバージョンHPG9を既にインストールしている場合、HPG9(C)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、システムソフトリブート後にドライブが応答しなくなるおよび電源の再投入が必要になる可能性を修正します。これは、システムがソフト再起動後にシステムにドライブが接続されていないように見えます。これは、オペレーティングシステムのインストール時に最も頻繁に観察されていますが、あらゆるシステムソフトリブート後にも発生することがあります。
- HP H2xx ホストバスアダプター (HBA) に接続されるドライブのフラッシュで、ドライブファームウェアのインストール障害を引き起こす割り込みが発生しなくなりました。

拡張

改善点/新しい機能：

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - VB0250EAVERドライブ

バージョン: HPG9 (C) (推奨)

ファイル名: CP022343.md5; CP022343.scexe

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。
- ファームウェアバージョンHPG9を既にインストールしている場合、HPG9(C)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、システムソフトリブート後にドライブが応答しなくなるおよび電源の再投入が必要になる可能性を修正します。これは、システムがソフト再起動後にシステムにドライブが接続されていないように見えます。これは、オペレーティングシステムのインストール時に最も頻繁に観察されていますが、あらゆるシステムソフトリブート後にも発生することがあります。
- HP H2xx ホストバスアダプター (HBA) に接続されるドライブのフラッシュで、ドライブファームウェアのインストール障害を引き起こす割り込みが発生しなくなりました。

拡張

改善点/新しい機能:

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - VK0240GDJXU、VK0300GDUQV、VK0480GDJXV、VK0600GDUTQ、およびVK0800GDJYAドライブ

バージョン: HPG1 (C) (オプション)

ファイル名: rpm/RPMS/i386/hp-firmware-ef3ea1e703-HPG1-3.i386.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。
- ファームウェアバージョンHPG1を既にインストールしている場合、HPG1(C)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- このメンテナンスファームウェアは、温度レポート、Sanitize Block Eraseをアップデートして、読み込みパフォーマンス改善を含みます。

HPG1(B)で修正された問題:

- Linux Smartコンポーネントは、SATA HBAコントローラーに接続されたSATAドライブのファームウェアアップデートに失敗します。コンポーネントは、ファームウェアアップデートが成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

サブメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for ESXi - MB4000GEFNAおよびMB6000GEFNB
ドライブ

バージョン: HPG4 (推奨)

ファイル名: CP030031.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点 :

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPG4以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。このファームウェアは、また、記録された後、修理されたセクターのステータスが誤って再割り当てされることを防ぐための変更が含まれます。

サブメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for ESXi - MB6000GEXXVドライブ

バージョン: HPG2 (推奨)

ファイル名: CP030838.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点 :

- トラックの狭い範囲にデータを書き込むアプリケーションの信頼性の向上。

サブメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for ESXi - MB8000GFECRドライブ

バージョン: HPG3 (推奨)

ファイル名: CP030842.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPG3以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for ESXi - MO0100EBTJT、MO0200EBTJU、およびMO0400EBTJVドライブ
バージョン: HPG4 (B) (オプション)
ファイル名: CP029383.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG4を既にインストールしている場合、HPG4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- ファームウェアバージョンHPG4は頻繁に発行されるPIOコマンドによる消耗の問題および、それによるドライブが応答しなくなる問題を解決しました。

HPG4 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MK0100GCTYU、MK0200GCTYV、MK0400GCTZA、およびMK0800GCTZBドライブ
バージョン: HPG4 (D) (オプション)
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-b2d9e3a264-HPG4-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG4を既にインストールしている場合、HPG4(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このメンテナンスリリースは、HP Insight Diagnosticsのハードディスクドライブテスト中に見られる障害を修正します。障害は、ドライブが申告した自己診断テスト完了時間内にDevice Extended Self-Testが完了しないためでした。この障害は、ドライブが不良または限界であることを示すものではありません。
- Linux Smartコンポーネントは、SATA HBAコントローラーに接続されたSATAドライブのファームウェアアップデートに失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

HPG4 (D)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

拡張

改善点/新しい機能：

- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。
- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MO0100EBTJT、MO0200EBTJU、およびMO0400EBTJVドライブ
バージョン: HPG4 (C) (オプション)
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-72e5d6942f-HPG4-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG4を既にインストールしている場合、HPG4(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点：

- ファームウェアバージョンHPG4は頻繁に発行されるPIOコマンドによる消耗の問題および、それによるドライブが応答しなくなる問題を解決しました。

HPG4 (C)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

拡張

HPG4 (B)の改善点/新しい機能：

- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。

サプリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - TK0120GECQL、

VK0240GECQN、およびVK0480GECQPドライブ

バージョン: HPG3 (B) (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-5699d4778d-HPG3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG3を既にインストールしている場合、HPG3(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- ファームウェアは、非整列シーケンシャル書き込み操作に関連するデータ管理ミスの問題を解決します。

HPG3 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウ

エアバージョンは変更されません。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - XP0032GDZME ドライブ
バージョン: HPS5 (推奨)
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-62faa20443-HPS5-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点 :

- RAID 1 が選択され、デバイスがRAID 再構築モードになった場合に、M.2 SSD がインストールされたオプションキットでの問題を解決します。

拡張

改善点/新しい機能 :

- HP 特定環境でのデバイス機能のサニタイズを有効化
- タイムアウト処理用の UECC Read-retry アルゴリズムの追加
- ドライブファームウェアアップデートサポートのシングルバイナリの追加

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - XP0032GEFEN ドライブ
バージョン: HPS5 (推奨)
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-f286f98973-HPS5-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点 :

- RAID 1 が選択され、デバイスがRAID 再構築モードになった場合に、M.2 SSD がインストールされたオプションキットでの問題を解決します。

拡張

改善点/新しい機能 :

- HP 特定環境でのデバイス機能のサニタイズを有効化
- タイムアウト処理用の UECC Read-retry アルゴリズムの追加
- ドライブファームウェアアップデートサポートのシングルバイナリの追加

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - XP0064GDZMFドライブ
バージョン: HPS5 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-43bc195082-HPS5-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- RAID 1 が選択され、デバイスがRAID 再構築モードになった場合に、M.2 SSD がインストールされたオプションキットでの問題を解決します。

拡張

改善点/新しい機能：

- HP 特定環境でのデバイス機能のサニタイズを有効化
- タイムアウト処理用の UECC Read-retry アルゴリズムの追加
- ドライブファームウェアアップデートサポートのシングルバイナリの追加

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - XP0064GEFEPドライブ
バージョン: HPS5 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-e151c3ad27-HPS5-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- RAID 1 が選択され、デバイスがRAID 再構築モードになった場合に、M.2 SSD がインストールされたオプションキットでの問題を解決します。

拡張

改善点/新しい機能：

- HP 特定環境でのデバイス機能のサンタイズを有効化
- タイムアウト処理用の UECC Read-retry アルゴリズムの追加
- ドライブファームウェアアップデートサポートのシングルバイナリの追加

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - MK0100GCTYU、MK0200GCTYV、MK0400GCTZA、およびMK0800GCTZBドライブ

バージョン: HPG4 (オプション)

ファイル名: CP022698.md5; CP022698.scexe

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。

修正

修正された問題点：

- このメンテナンスリリースは、HP Insight Diagnosticsのハードディスクドライブテスト中に見られる障害を修正します。障害は、ドライブが申告した自己診断テスト完了時間内にDevice Extended Self-Testが完了しないためでした。この障害は、ドライブが不良または限界であることを示すものではありません。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - MO0100EBTJT、MO0200EBTJU、およびMO0400EBTJVドライブ

バージョン: HPG4 (オプション)

ファイル名: rpm/RPMS/i386/hp-firmware-72e5d6942f-HPG4-1.1.i386.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。

修正

修正された問題点：

- ファームウェアバージョンHPG4は頻繁に発行されるPIOコマンドによる消耗の問題および、それによるドライブが応答しなくなる問題を解決しました。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB2000ECWLP、MB3000ECWLQ、およびMB4000ECWLRドライブ

バージョン: HPG4 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-b508a3352b-HPG4-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- 長時間のトラックドウェルタイムを削減することによってドライブ不使用時間の動作を改善します。実行されない場合は、メディア潤滑油の消耗を増進し、ドライブの故障率を上昇させる可能性があります。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB2000GCWLT、MB3000GCWLU、およびMB4000GCWLVドライブ

バージョン: HPG4 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-2e70ce7412-HPG4-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- 長時間のトラックドウェルタイムを削減することによってドライブ不使用時間の動作を改善します。実行されない場合は、メディア潤滑油の消耗を増進し、ドライブの故障率を上昇させる可能性があります。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000GEXXVドライブ

バージョン: HPG2 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-a629fcea59-HPG2-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- トラックの狭い範囲にデータを書き込むアプリケーションの信頼性の向上。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB8000GFECRドライブ
バージョン: HPG3 (推奨)
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-hdd-6d922fc9a8-HPG3-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPG3以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for ESXi - MB3000EBKABドライブ
バージョン: HPG6 (F) (クリティカル)
ファイル名: CP029367.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG6を既にインストールしている場合、HPG6(F)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- HDDの長期使用後に電源の再投入後、ごくまれにデータを含むディスクの領域にドライブのヘッドが接触して、データの損失や機械的損傷を引き起こすことがあります。ファームウェアバージョンHPG6は、この状態を防ぐことができます。
- このファームウェアは、"コマンドタイムアウト"およびパフォーマンスの低下や機器故障の状態になるシークエラーを修正します。後者は、コントローラーまたはサブシステムによりドライブ障害の原因になります。

HPG6 (F)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに

報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

拡張

改善点/新しい機能：

- VMware vSphere 5.5のサポートを追加しました。
- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。
- HP Dynamic Smartアレイ B140iコントローラーのサポートを追加しました。

HPG6 (E)の改善点/新しい機能：

- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。
- VMware Firmware Smartコンポーネントパッケージは、*.scexe/パッケージからインストール中のセキュリティの強化を提供する実行可能なバイナリを含む、*.zipパッケージに変更されました。VMware Smartコンポーネントの機能は変更されていません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB0500GCEHF、MB1000GCEHH、およびMB2000GCEHKドライブ
バージョン: HPGD (G) (クリティカル)
ファイル名: CP029352.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPGDを既にインストールしている場合、HPGD(G)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- HDDの長期使用後に電源の再投入後、ごくまれにデータを含むディスクの領域にドライブのヘッドが接触して、データの損失や機械的損傷を引き起こすことがあります。ファームウェアバージョンHPGDは、この状態を防ぐことができます。

HPGD (G)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

拡張

改善点/新しい機能：

- VMware vSphere 5.5のサポートを追加しました。
- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。

- HP Dynamic Smartアレイ B140iコントローラーのサポートを追加しました。

HPGD (F)の改善点/新しい機能 :

- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。
- VMware Firmware Smartコンポーネントパッケージは、*.scexeパッケージからインストール中のセキュリティの強化を提供する実行可能なバイナリを含む、*.zipパッケージに変更されました。VMware Smartコンポーネントの機能は変更されていません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB1000ECWCQ、MB2000ECWCR、MB3000ECWCT および MB4000ECWCUドライブ

バージョン: HPG5 (クリティカル)

ファイル名: CP031115.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点 :

- HPG5ファームウェアは、ディスクドライブが1秒を超える長期間、ホスト非作動にさらされた場合のドライブの信頼性を改善します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB1000GCEEKドライブ

バージョン: HPG2 (B) (推奨)

ファイル名: CP029358.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG2を既にインストールしている場合、HPG2(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに

報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

拡張

改善点/新しい機能：

- このファームウェアは、実装されていない場合は、特定の用途(例えば、狭い範囲の非常に長期間のシーク)のために増加するドライブ障害率につながる可能性があるピボット軸受グリースウェアレベリングアルゴリズムを変更することにより信頼性を向上します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB1000GCWCV、MB2000GCWDA、MB3000GCWDB および MB4000GCWDCドライブ

バージョン: HPGH (クリティカル)

ファイル名: CP029171.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- HPGH ファームウェアは、ディスクドライブが1秒を超える長期間、ホスト非作動期間になった場合のドライブの信頼性を改善します。その結果、ハードディスクは反応しなくなることがあります。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB2000EAZNLドライブ

バージョン: HPG4 (F) (オプション)

ファイル名: CP029359.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG4を既にインストールしている場合、HPG4(F)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、一般的なメンテナンスリリースとコードの改善項目を含みます。ハードディスクドライブのファームウェアバージョンHPG4で製造またはアップグレードされたデバイスは、ハードディスク

ドライブの製造プロセスの変更のために以前のバージョンのファームウェアへダウングレードするべきではありません。

HPG4 (F)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

拡張

改善点/新しい機能：

- VMware vSphere 5.5のサポートを追加しました。
- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。
- HP Dynamic Smartアレイ B140iコントローラーのサポートを追加しました。

HPG4 (E)の改善点/新しい機能：

- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。
- VMware Firmware Smartコンポーネントパッケージは、*.scexe/パッケージからインストール中のセキュリティの強化を提供する実行可能なバイナリを含む、*.zipパッケージに変更されました。VMware Smartコンポーネントの機能は変更されていません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB2000EBUCFおよびMB3000EBUCHドライブ

バージョン: HPG4 (F) (推奨)

ファイル名: CP029360.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG4を既にインストールしている場合、HPG4(F)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- システムは電源再投入後、いくつかのドライブを認識しませんでした。これは、リセットによってドライブの初期化プロセスが中断されるため、ドライブがREPORTコマンドのために割り当てられた以上の時間を掛けてしまいます。

HPG4 (F)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに

報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

拡張

改善点/新しい機能：

- VMware vSphere 5.5のサポートを追加しました。
- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。
- HP Dynamic Smartアレイ B140iコントローラーのサポートを追加しました。

HPG4 (E)の改善点/新しい機能：

- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。
- VMware Firmware Smartコンポーネントパッケージは、*.scexe/パッケージからインストール中のセキュリティの強化を提供する実行可能なバイナリを含む、*.zipパッケージに変更されました。VMware Smartコンポーネントの機能は変更されていません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB2000ECVJF、MB3000ECVJH、およびMB4000ECVJK
ドライブ

バージョン: HPG5 (C) (クリティカル)

ファイル名: CP029361.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG5を既にインストールしている場合、HPG5(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点：

- データが誤ったセクターに書かれる可能性があった、低い5v駆動電圧と特定の順次データストリーミング状態の間のまれではあるが潜在的なデータ整合性エラーを修正します。

HPG5 (C)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

拡張

HPG5 (B)の改善点/新しい機能：

- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。

- VMware Firmware Smartコンポーネントパッケージは、*.scexeパッケージからインストール中のセキュリティの強化を提供する実行可能なバイナリを含む、*.zipパッケージに変更されました。VMware Smartコンポーネントの機能は変更されていません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB2000ECWLP, MB3000ECWLQおよびMB4000ECWLR
ドライブ

バージョン: HPG4 (推奨)

ファイル名: CP030519.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点 :

- 長時間のトラックドウェルタイムを削減することによってドライブ不使用時間の動作を改善します。実行されない場合は、メディア潤滑油の消耗を増進し、ドライブの故障率を上昇させる可能性があります。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB2000GBUPBおよびMB3000GBUCKドライブ

バージョン: HPG4 (F) (推奨)

ファイル名: CP029365.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG4を既にインストールしている場合、HPG4(F)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- システムは電源再投入後、いくつかのドライブを認識しませんでした。これは、リセットによってドライブの初期化プロセスが中断されるためで、ドライブがREPORTコマンドのために割り当てられた以上の時間を掛けてしまいます。

HPG4 (F)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに

報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

拡張

改善点/新しい機能：

- VMware vSphere 5.5のサポートを追加しました。
- UEFI (Universal Extensible Firmware Interface) ベースのサーバーのサポートを追加しました。
- HP Dynamic Smartアレイ B140iコントローラーのサポートを追加しました。

HPG4 (E)の改善点/新しい機能：

- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。
- VMware Firmware Smartコンポーネントパッケージは、*.scexe/パッケージからインストール中のセキュリティの強化を提供する実行可能なバイナリを含む、*.zipパッケージに変更されました。 VMware Smartコンポーネントの機能は変更されていません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB2000GCQXQおよびMB3000GBKACドライブ

バージョン: HPGK (推奨)

ファイル名: CP030682.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- HPE ProLiantサーバーが誤ってレポートされたハードディスクドライブ温度超過状態によりパワーダウンしました。ハードディスクドライブのファームウェアHPGKは、この問題を解決します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB2000GCVBR、MB3000GCVBT、およびMB4000GCVBUドライブ

バージョン: HPG5 (C) (クリティカル)

ファイル名: CP029366.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG5を既にインストールしている場合、HPG5(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点：

- データが誤ったセクターに書かれる可能性があった、低い5v駆動電圧と特定の順次データストリーミング状態の間のまれではあるが潜在的なデータ整合性エラーを修正します。

HPG5 (C)に対して修正された問題点：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

拡張

HPG5 (B)の改善点/新しい機能：

- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。
- VMware Firmware Smartコンポーネントパッケージは、*.scexe/パッケージからインストール中のセキュリティの強化を提供する実行可能なバイナリを含む、*.zipパッケージに変更されました。VMware Smartコンポーネントの機能は変更されていません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB2000GCWLT, MB3000GCWLUおよびMB4000GCWLVドライブ

バージョン: HPG4 (推奨)

ファイル名: CP030522.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- 長時間のトラックドウェルタイムを削減することによってドライブ不使用時間の動作を改善します。実行されない場合は、メディア潤滑油の消耗を増進し、ドライブの故障率を上昇させる可能性があります。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB4000GEQNHおよびMB6000GEQNKドライブ

バージョン: HPG7 (B) (推奨)

ファイル名: CP029370.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすること

はサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG7を既にインストールしている場合、HPG7(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、トラックリフレッシュアルゴリズムが正しく動作しないことによって引き起こされることがありえる回復不能エラーを修正します。

HPG7 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB6000GEQUTおよびMB8000GEQUUドライブ
バージョン: HPG7 (B) (推奨)

ファイル名: CP029374.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG7を既にインストールしている場合、HPG7(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、トラックリフレッシュアルゴリズムが正しく動作しないことによって引き起こされることがありえる回復不能エラーを修正します。

HPG7 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MK0100GCTYU、MK0200GCTYV、MK0400GCTZA、およびMK0800GCTZBドライブ

バージョン: HPG4 (D) (オプション)

ファイル名: CP029375.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG4を既にインストールしている場合、HPG4(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- このメンテナンスリリースは、HP Insight Diagnosticsのハードディスクドライブテスト中に見られる障害を修正します。障害は、ドライブが申告した自己診断テスト完了時間内にDevice Extended Self-Testが完了しないためでした。この障害は、ドライブが不良または限界であることを示すものではありません。

HPG4 (D)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

拡張

改善点/新しい機能 :

- HP Dynamic Smartアレイ B140iコントローラーのサポートを追加しました。

HPG4 (C)の改善点/新しい機能 :

- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。
- VMware Firmware Smartコンポーネントパッケージは、*.scexeパッケージからインストール中のセキュリティの強化を提供する実行可能なバイナリを含む、*.zipパッケージに変更されました。VMware Smartコンポーネントの機能は変更されていません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MK0960GECQKドライブ

バージョン: HPG3 (B) (クリティカル)

ファイル名: CP029376.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPP

およびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

- ファームウェアバージョンHPG3を既にインストールしている場合、HPG3(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- ファームウェアは、非整列シーケンシャル書き込み操作に関連するデータ管理ミスの問題を解決します。

HPG3 (B)に対して修正された問題点：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MM0500GBKAKおよびMM1000GBKALドライブ
バージョン: HPGE (推奨)
ファイル名: CP030581.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- アイドルタイムの>250ms 後にホスト問題がリセットされる場合に発生する中レベルアサートを修正しました。ドライブが問題によって影響を受ける場合、パフォーマンスの低下を表示し、動作を停止する可能性があります。影響を受けたホットプラグのドライブの取り外しと挿入が一時的にこの問題を解決します。この問題を解決するためのドライブファームウェアのバージョンHPGEをアップデートしています。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MM1000GEFQVおよびMM2000GEFRAドライブ
バージョン: HPG3 (B) (推奨)
ファイル名: CP029381.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG3を既にインストールしている場合、HPG3(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- HDDパワーサイクルの後、Background Media Scan (BGMS)ポインターが2つめのBGMSルーチンを呼びだしLBA 0から開始し、2つめのBGMSが完了するまでパフォーマンスに影響を及ぼす問題。
- 開始後またはスタンバイから戻った後にHDDに入力する際、Non Volatile Cacheの問題が起こる可能性。

HPG3 (B)に対して修正された問題点：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MM1000GFJTEドライブ

バージョン: HPG1 (推奨)

ファイル名: CP030832.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPG1以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。
- このファームウェアは、また、記録された後、修理されたセクターのステータスが誤って再割り当てされることを防ぐための変更が含まれます。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - TK0120GECQL、VK0240GECQN、およびVK0480GECQPドライブ

バージョン: HPG3 (B) (クリティカル)

ファイル名: CP029387.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG3を既にインストールしている場合、HPG3(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- ファームウェアは、非整列シーケンシャル書き込み操作に関連するデータ管理ミスの問題を解決します。

HPG3 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - VK0240GDJXU、VK0300GDUQV、VK0480GDJXV、VK0600GDUTQ、およびVK0800GDJYAドライブ
バージョン: HPG1 (C) (オプション)
ファイル名: CP029390.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG1を既にインストールしている場合、HPG1(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このメンテナンスファームウェアは、温度レポート、Sanitize Block Eraseをアップデートして、読み込みパフォーマンス改善を含みます。

HPG1 (C)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - XP0032GDZMEドライブ
バージョン: HPS5 (推奨)
ファイル名: CP030369.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmart アレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPP およびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- RAID 1 が選択され、デバイスがRAID 再構築モードになった場合に、M.2 SSD がインストールされたオプションキットでの問題を解決します。

拡張

改善点/新しい機能：

- HP 特定環境でのデバイス機能のサニタイズを有効化
- タイムアウト処理用の UECC Read-retry アルゴリズムの追加
- ドライブファームウェアアップデートサポートのシングルバイナリの追加

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - XP0032GEFENドライブ

バージョン: HPS5 (推奨)

ファイル名: CP030372.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmart アレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPP およびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- RAID 1 が選択され、デバイスがRAID 再構築モードになった場合に、M.2 SSD がインストールされたオプションキットでの問題を解決します。

拡張

改善点/新しい機能：

- HP 特定環境でのデバイス機能のサニタイズを有効化
- タイムアウト処理用の UECC Read-retry アルゴリズムの追加
- ドライブファームウェアアップデートサポートのシングルバイナリの追加

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - XP0064GDZMFドライブ

バージョン: HPS5 (推奨)

ファイル名: CP030375.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすること

はサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmart アレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPP およびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- RAID 1 が選択され、デバイスがRAID 再構築モードになった場合に、M.2 SSD がインストールされたオプションキットでの問題を解決します。

拡張

改善点/新しい機能：

- HP 特定環境でのデバイス機能のサニタイズを有効化
- タイムアウト処理用の UECC Read-retry アルゴリズムの追加
- ドライブファームウェアアップデートサポートのシングルバイナリの追加

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - XP0064GEFEPドライブ

バージョン: HPS5 (推奨)

ファイル名: CP030378.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmart アレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPP およびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- RAID 1 が選択され、デバイスがRAID 再構築モードになった場合に、M.2 SSD がインストールされたオプションキットでの問題を解決します。

拡張

改善点/新しい機能：

- HP 特定環境でのデバイス機能のサニタイズを有効化
- タイムアウト処理用の UECC Read-retry アルゴリズムの追加
- ドライブファームウェアアップデートサポートのシングルバイナリの追加

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB0500GCEHF、MB1000GCEHH、およびMB2000GCEHKドライブ

バージョン: HPGD (D) (クリティカル)

ファイル名: cp029266.exe; cp029266.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPGDを既にインストールしている場合、HPGD(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- HDDの長期使用後に電源の再投入後、ごくまれにデータを含むディスクの領域にドライブのヘッドが接触して、データの損失や機械的損傷を引き起こすことがあります。ファームウェアバージョンHPGDは、この状態を防ぐことができます。

HPGD (C)に対して修正された問題：

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPGD (D)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- 新しいHP ProLiant Smartアレイ HPCISSS3コントローラードライバー(**hpciss3.sys**)がアップデートされているシステム上で実行されている場合、ファームウェアコンポーネントインストーラーは正常にドライブのファームウェアをインストールすることができるようになりました。
- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。
- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB1000ECWCQ、MB2000ECWCR、MB3000ECWCT および MB4000ECWCUドライブ

バージョン: HPG5 (クリティカル)

ファイル名: cp031117.exe; cp031117.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmart アレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPP およびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- HPG5ファームウェアは、ディスクドライブが1秒を超える長期間、ホスト非作動にさらされた場合のドライブの信頼性を改善します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB1000GCEEKドライブ

バージョン: HPG2 (C) (推奨)

ファイル名: cp029272.exe; cp029272.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmart アレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPP およびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG2を既にインストールしている場合、HPG2(C)へ更新する必要はありません。

修正

HPG2 (B)に対して修正された問題点：

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPG2 (C)に対して修正された問題点：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- このファームウェアは、実装されていない場合は、特定の用途(例えば、狭い範囲の非常に長期間のシーク)のために増加するドライブ障害率につながる可能性があるピボット軸受グリースウェアレベリングアルゴリズムを変更することにより信頼性を向上します。
- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB1000GCWCV、MB2000GCWDA、MB3000GCWDB および MB4000GCWDCドライブ

バージョン: HPGH (B) (クリティカル)

ファイル名: cp030994.exe; cp030994.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD5を既にインストールしている場合、HPGH(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- HPGH ファームウェアは、ディスクドライブが1秒を超える長期間、ホスト非作動期間になった場合のドライブの信頼性を改善します。その結果、ハードディスクは反応しなくなることがあります。

拡張

HPGH (B)の改善点/新しい機能：

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB1000GDUNU, MB2000GDUNV, MB3000GDUPA, およびMB4000GDUPB ドライブ

バージョン: HPG4 (推奨)

ファイル名: cp030808.exe; cp030808.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinuxおよびMicrosoft Windows環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- トラックの狭い範囲にデータを書き込むアプリケーションの信頼性の向上。

既知の問題点：

- ファームウェアは、HPG4へのアップグレード後、HPG3へダウングレードすることはできません。

拡張

改善点/新しい機能：

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB2000EAZNLドライブ

バージョン: HPG4 (D) (オプション)

ファイル名: cp029273.exe; cp029273.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG4を既にインストールしている場合、HPG4(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、一般的なメンテナンスリリースとコードの改善項目を含みます。ハードディスクドライブのファームウェアバージョンHPG4で製造またはアップグレードされたデバイスは、ハードディスクドライブの製造プロセスの変更のために以前のバージョンのファームウェアへダウングレードするべきではありません。

HPG4 (C)に対して修正された問題：

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPG4 (D)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- 改善は、ドライブの信頼性、性能を向上し、突発的な衝撃状況に対応する処理のために行われました。
- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。
- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB2000EBUCFおよびMB3000EBUCHドライブ

バージョン: HPG4 (D) (推奨)

ファイル名: cp029274.exe; cp029274.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすること

はサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG4を既にインストールしている場合、HPG4(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- システムは電源再投入後、いくつかのドライブを認識しませんでした。これは、リセットによってドライブの初期化プロセスが中断されるため、ドライブがREPORTコマンドのために割り当てられた以上の時間を掛けてしまいます。

HPG4 (C)に対して修正された問題：

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPG4 (D)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- 改善は、ドライブの信頼性、性能を向上し、突発的な衝撃状況に対応する処理のために行われました。
- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。
- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB2000ECVJF、MB3000ECVJH、およびMB4000ECVJK
ドライブ

バージョン: HPG5 (C) (クリティカル)

ファイル名: cp029275.exe; cp029275.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG5を既にインストールしている場合、HPG5(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点：

- データが誤ったセクターに書かれる可能性があった、低い5v駆動電圧と特定の順次データストリーミング状態の間のまれではあるが潜在的なデータ整合性エラーを修正します。

HPG5 (B)に対して修正された問題：

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPG5 (C)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- 改善は、ドライブの信頼性、性能を向上し、突発的な衝撃状況に対応する処理のために行われました。
- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。
- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB2000GBUPBおよびMB3000GBUCKドライブ
バージョン: HPG4 (D) (推奨)
ファイル名: cp029279.exe; cp029279.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG4を既にインストールしている場合、HPG4(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- システムは電源再投入後、いくつかのドライブを認識しませんでした。これは、リセットによってドライブの初期化プロセスが中断されるためで、ドライブがREPORTコマンドのために割り当てられた以上の時間を掛けてしまいます。

HPG4 (C)に対して修正された問題：

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPG4 (D)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能 :

- 改善は、ドライブの信頼性、性能を向上し、突発的な衝撃状況に対応する処理のために行われました。
- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。
- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB2000GCQXQおよびMB3000GBKACドライブ
バージョン: HPGK (推奨)

ファイル名: cp030684.exe; cp030684.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点 :

- HPE ProLiantサーバーが誤ってレポートされたハードディスクドライブ温度超過状態によりパワーダウンしました。ハードディスクドライブのファームウェアHPGKは、この問題を解決します。

拡張

改善点/新しい機能 :

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB2000GCVBR、MB3000GCVBT、および
MB4000GCVBUドライブ

バージョン: HPG5 (C) (クリティカル)

ファイル名: cp029280.exe; cp029280.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすること

はサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG5を既にインストールしている場合、HPG5(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点：

- データが誤ったセクターに書かれる可能性があった、低い5v駆動電圧と特定の順次データストリーミング状態の間のまれではあるが潜在的なデータ整合性エラーを修正します。

HPG5 (B)に対して修正された問題：

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPG5 (C)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- 改善は、ドライブの信頼性、性能を向上し、突発的な衝撃状況に対応する処理のために行われました。
- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。
- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB3000EBKABドライブ

バージョン: HPG6 (D) (クリティカル)

ファイル名: cp029281.exe; cp029281.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG6を既にインストールしている場合、HPG6(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- HDDの長期使用後に電源の再投入後、ごくまれにデータを含むディスクの領域にドライブのヘッドが接触して、データの損失や機械的損傷を引き起こすことがあります。ファームウェアバージョンHPG6は、この状態を防ぐことができます。
- このファームウェアは、"コマンドタイムアウト"およびパフォーマンスの低下や機器故障の状態になるシークエラーを修正します。後者は、コントローラーまたはサブシステムによりドライブ障害の原因になります。

HPG6 (C)に対して修正された問題：

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPG6 (D)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- 新しいHP ProLiant Smartアレイ HPCISS3コントローラードライバ (**hpciss3.sys**)がアップデートされているシステム上で実行されている場合、ファームウェアコンポーネントインストーラーは正常にドライブのファームウェアをインストールすることができるようになりました。

(B)の改善点/新しい機能：

- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。
- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB4000GEFNAおよびMB6000GEFNBドライブ
バージョン: HPG4 (推奨)

ファイル名: cp030033.exe; cp030033.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPG4以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。このファームウェアは、また、記録された後、修理されたセクターのステータスが誤って再割り当てされることを防ぐための変更が含まれます。

拡張

改善点/新しい機能：

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB4000GEQNHおよびMB6000GEQNKドライブ

バージョン: HPG7 (C) (推奨)

ファイル名: cp029284.exe; cp029284.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG7を既にインストールしている場合、HPG7(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、トラックリフレッシュアルゴリズムが正しく動作しないことによって引き起こされることがありえる回復不能エラーを修正します。

HPG7 (B)に対して修正された問題：

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPG7 (C)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB6000GEQUTおよびMB8000GEQUUドライブ

バージョン: HPG7 (C) (推奨)

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG7を既にインストールしている場合、HPG7(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、トラックリフレッシュアルゴリズムが正しく動作しないことによって引き起こされることがありえる回復不能エラーを修正します。

HPG7 (B)に対して修正された問題：

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPG7 (C)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MK0100GCTYU、MK0200GCTYV、MK0400GCTZA、およびMK0800GCTZBドライブ

バージョン: HPG4 (D) (オプション)

ファイル名: cp029289.exe; cp029289.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG4を既にインストールしている場合、HPG4(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このメンテナンスリリースは、HP Insight Diagnosticsのハードディスクドライブテスト中に見られる障害を修正します。障害は、ドライブが申告した自己診断テスト完了時間内にDevice Extended Self-Testが完了しないためでした。この障害は、ドライブが不良または限界であることを示すものではありません。

HPG4 (C)に対して修正された問題：

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPG4 (D)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- 改善は、ドライブの信頼性、性能を向上し、突発的な衝撃状況に対応する処理のために行われました。
- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。
- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MK0960GECQKドライブ

バージョン: HPG3 (C) (クリティカル)

ファイル名: cp029290.exe; cp029290.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG3を既にインストールしている場合、HPG3(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点：

- ファームウェアは、非整列シーケンシャル書き込み操作に関連するデータ管理ミスの問題を解決します。

HPG3 (B)に対して修正された問題：

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPG3 (C)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MM0500GBKAKおよびMM1000GBKALドライブ
バージョン: HPGE (推奨)
ファイル名: cp030583.exe; cp030583.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- アイドルタイムの>250ms 後にホスト問題がリセットされる場合に発生する中レベルアサートを修正しました。ドライブが問題によって影響を受ける場合、パフォーマンスの低下を表示し、動作を停止する可能性があります。影響を受けたホットプラグのドライブの取り外しと挿入が一時的にこの問題を解決します。この問題を解決するためのドライブファームウェアのバージョンHPGEをアップデートしています。

拡張

改善点/新しい機能：

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MM1000GEFQVおよびMM2000GEFRAドライブ
バージョン: HPG3 (B) (推奨)
ファイル名: cp029295.exe; cp029295.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmart アレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPP およびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG3を既にインストールしている場合、HPG3(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- HDDパワーサイクルの後、Background Media Scan (BGMS)ポインターが2つめのBGMSルーチンを呼びだし LBA 0から開始し、2つめのBGMSが完了するまでパフォーマンスに影響を及ぼす問題。
- 開始後またはスタンバイから戻った後にHDDに入力する際、Non Volatile Cacheの問題が起こる可能性。
- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPG3 (B)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MM1000GFJTEドライブ

バージョン: HPG1 (**推奨**)

ファイル名: cp030834.exe; cp030834.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmart アレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPP およびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPG1以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。
- このファームウェアは、また、記録された後、修理されたセクターのステータスが誤って再割り当てされることを防ぐための変更が含まれます。

拡張

改善点/新しい機能：

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MO0100EBTJT、MO0200EBTJU、およびMO0400EBTJV
ドライブ

バージョン: HPG4 (C) (オプション)

ファイル名: cp029297.exe; cp029297.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG4を既にインストールしている場合、HPG4(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点：

- ファームウェアバージョンHPG4は頻繁に発行されるPIOコマンドによる消耗の問題および、それによるドライブが応答しなくなる問題を解決しました。

HPG4 (B)に対して修正された問題点：

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPG4 (C)に対して修正された問題点：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - TK0120GECQL、VK0240GECQN、およびVK0480GECQP
ドライブ

バージョン: HPG3 (C) (クリティカル)

ファイル名: cp029301.exe; cp029301.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG3を既にインストールしている場合、HPG3(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点：

- ファームウェアは、非整列シーケンシャル書き込み操作に関連するデータ管理ミスの問題を解決します。

HPG3 (B)に対して修正された問題：

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPG3 (C)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - VB0160EAVEQおよびVB0160CBCDEドライブバージョン: HPG9 (D) (推奨)
ファイル名: cp029302.exe; cp029302.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG9を既にインストールしている場合、HPG9(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、システムソフトリブート後にドライブが応答しなくなるおよび電源の再投入が必要になる可能性を修正します。これは、システムがソフト再起動後にシステムにドライブが接続されていないように見えます。これは、オペレーティングシステムのインストール時に最も頻繁に観察されていますが、あらゆるシステムソフトリブート後にも発生することがあります。

HPG9 (C)に対して修正された問題 :

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPG9 (D)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能 :

- 新しいHP ProLiant Smartアレイ HPCISS33コントローラードライバー(**hpciss3.sys**)がアップデートされているシステム上で実行されている場合、ファームウェアコンポーネントインストーラーは正常にドライブのファームウェアをインストールすることができるようになりました。

(B)の改善点/新しい機能 :

- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。
- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - VB0250EAVERドライブ

バージョン: HPG9 (D) (推奨)

ファイル名: cp029303.exe; cp029303.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG9を既にインストールしている場合、HPG9(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- このファームウェアは、システムソフトリブート後にドライブが応答しなくなるおよび電源の再投入が必要になる可能性を修正します。これは、システムがソフト再起動後にシステムにドライブが接続されていない

ように見えます。これは、オペレーティングシステムのインストール時に最も頻繁に観察されていますが、あらゆるシステムソフトリブート後にも発生することがあります。

HPG9 (C)に対して修正された問題：

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPG9 (D)に対して修正された問題：

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能：

- 新しいHP ProLiant Smartアレイ HPCISSS3コントローラードライバー(**hpciss3.sys**)がアップデートされているシステム上で実行されている場合、ファームウェアコンポーネントインストーラーは正常にドライブのファームウェアをインストールすることができるようになりました。

(B)の改善点/新しい機能：

- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。
- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - VK0240GDJXU、VK0300GDUQV、VK0480GDJXV、VK0600GDUTQ、およびVK0800GDJYAドライブ

バージョン: HPG1 (C) (オプション)

ファイル名: cp029304.exe; cp029304.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPG1を既にインストールしている場合、HPG1(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このメンテナンスファームウェアは、温度レポート、Sanitize Block Eraseをアップデートして、読み込みパフォーマンス改善を含みます。

HPG1 (B)に対して修正された問題：

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPG1 (C)に対して修正された問題 :

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能 :

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - XP0032GDZMEドライブ

バージョン: HPS5 (推奨)

ファイル名: cp030371.exe; cp030371.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点 :

- RAID 1 が選択され、デバイスがRAID 再構築モードになった場合に、M.2 SSD がインストールされたオプションキットでの問題を解決します。

拡張

改善点/新しい機能 :

- HP 特定環境でのデバイス機能のサニタイズを有効化
- タイムアウト処理用の UECC Read-retry アルゴリズムの追加
- ドライブファームウェアアップデートサポートのシングルバイナリの追加
- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - XP0032GEFENドライブ

バージョン: HPS5 (推奨)

ファイル名: cp030374.exe; cp030374.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- RAID 1 が選択され、デバイスがRAID 再構築モードになった場合に、M.2 SSD がインストールされたオプションキットでの問題を解決します。

拡張

改善点/新しい機能：

- HP 特定環境でのデバイス機能のサニタイズを有効化
- タイムアウト処理用の UECC Read-retry アルゴリズムの追加
- ドライブファームウェアアップデートサポートのシングルバイナリの追加
- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - XP0064GDZMFドライブ
バージョン: HPS5 (B) (推奨)
ファイル名: cp030999.exe; cp030999.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD5を既にインストールしている場合、HPS5(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- RAID 1 が選択され、デバイスがRAID 再構築モードになった場合に、M.2 SSD がインストールされたオプションキットでの問題を解決します。

拡張

改善点/新しい機能：

- HP 特定環境でのデバイス機能のサニタイズを有効化
- タイムアウト処理用の UECC Read-retry アルゴリズムの追加
- ドライブファームウェアアップデートサポートのシングルバイナリの追加

HPS5 (B)の改善点/新しい機能：

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - XP0064GEFEPドライブ
バージョン: HPS5 (B) (推奨)
ファイル名: cp031000.exe; cp031000.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD5を既にインストールしている場合、HPS5(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点 :

- RAID 1 が選択され、デバイスがRAID 再構築モードになった場合に、M.2 SSD がインストールされたオプションキットでの問題を解決します。

拡張

改善点/新しい機能 :

- HP 特定環境でのデバイス機能のサニタイズを有効化
- タイムアウト処理用の UECC Read-retry アルゴリズムの追加
- ドライブファームウェアアップデートサポートのシングルバイナリの追加

HPS5 (B)の改善点/新しい機能 :

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - MB0500GCEHF、MB1000GCEHH、およびMB2000GCEHKドライブ
バージョン: HPGD (B) (クリティカル)
ファイル名: cp020453.exe; cp020453.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinuxおよびMicrosoft Windows環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。
- ファームウェアバージョンHPGDを既にインストールしている場合、HPGD(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- HDDの長期使用後に電源の再投入後、ごくまれにデータを含むディスクの領域にドライブのヘッドが接触して、データの損失や機械的損傷を引き起こすことがあります。ファームウェアバージョンHPGDは、この状態を防ぐことができます。

拡張

改善点/新しい機能：

- 新しいHP ProLiant Smartアレイ HPCISS3コントローラードライバー(**hpciss3.sys**)がアップデートされているシステム上で実行されている場合、ファームウェアコンポーネントインストーラーは正常にドライブのファームウェアをインストールすることができるようになりました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - MB1000ECWCQ、MB2000ECWCR、MB3000ECWCT および MB4000ECWCU ドライブ

バージョン: HPG5 (クリティカル)

ファイル名: cp031119.exe; cp031119.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- HPG5ファームウェアは、ディスクドライブが1秒を超える長期間、ホスト非作動にさらされた場合のドライブの信頼性を改善します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - MB1000GCWCV、MB2000GCWDA、MB3000GCWDB および MB4000GCWDC ドライブ

バージョン: HPGH (クリティカル)

ファイル名: cp029175.exe; cp029175.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- HPGH ファームウェアは、ディスクドライブが1秒を超える長期間、ホスト非作動期間になった場合のドライブの信頼性を改善します。その結果、ハードディスクは反応しなくなることがあります。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - MB2000EAZNLドライブ

バージョン: HPG4 (オプション)

ファイル名: cp020390.exe; cp020390.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、一般的なメンテナンスリリースとコードの改善項目を含みます。ハードディスクドライブのファームウェアバージョンHPG4で製造またはアップグレードされたデバイスは、ハードディスクドライブの製造プロセスの変更のために以前のバージョンのファームウェアへダウングレードするべきではありません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - MB2000EBUCFおよびMB3000EBUCHドライブ

バージョン: HPG4 (推奨)

ファイル名: cp020667.exe; cp020667.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。

修正

修正された問題点：

- システムは電源再投入後、いくつかのドライブを認識しませんでした。これは、リセットによってドライブの初期化プロセスが中断されるため、ドライブがREPORTコマンドのために割り当てられた以上の時間を掛けてしまいます。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - MB2000ECVJF、MB3000ECVJH、およびMB4000ECVJKドライブ

バージョン: HPG5 (クリティカル)

ファイル名: cp025326.exe; cp025326.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。

修正

修正された問題点：

- データが誤ったセクターに書かれる可能性があった、低い5v駆動電圧と特定の順次データストリーミング状態の間のまれではあるが潜在的なデータ整合性エラーを修正します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - MB2000GBUPBおよびMB3000GBUCKドライブ

バージョン: HPG4 (推奨)

ファイル名: cp020664.exe; cp020664.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。

修正

修正された問題点：

- システムは電源再投入後、いくつかのドライブを認識しませんでした。これは、リセットによってドライブの初期化プロセスが中断されるためで、ドライブがREPORTコマンドのために割り当てられた以上の時間を掛けてしまいます。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - MB2000GCQXQおよびMB3000GBKACドライブ

バージョン: HPGK (推奨)

ファイル名: cp030680.exe; cp030680.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- HPE ProLiantサーバーが誤ってレポートされたハードディスクドライブ温度超過状態によりパワーダウンしました。ハードディスクドライブのファームウェアHPGKは、この問題を解決します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - MB2000GCVBR、MB3000GCVBT、およびMB4000GCVBUドラ

イブ

バージョン: HPG5 (クリティカル)

ファイル名: cp025321.exe; cp025321.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。

修正

修正された問題点:

- データが誤ったセクターに書かれる可能性があった、低い5v駆動電圧と特定の順次データストリーミング状態の間のまれではあるが潜在的なデータ整合性エラーを修正します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - MB3000EBKABドライブ

バージョン: HPG6 (B) (クリティカル)

ファイル名: cp020461.exe; cp020461.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinuxおよびMicrosoft Windows環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。
- ファームウェアバージョンHPG6を既にインストールしている場合、HPG6(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- HDDの長期使用後に電源の再投入後、ごくまれにデータを含むディスクの領域にドライブのヘッドが接触して、データの損失や機械的損傷を引き起こすことがあります。ファームウェアバージョンHPG6は、この状態を防ぐことができます。
- このファームウェアは、"コマンドタイムアウト"およびパフォーマンスの低下や機器故障の状態になるシークエラーを修正します。後者は、コントローラーまたはサブシステムによりドライブ障害の原因になります。

拡張

改善点/新しい機能:

- 新しいHP ProLiant Smartアレイ HPCISS3コントローラードライバー(**hpciss3.sys**)がアップデートされているシステム上で実行されている場合、ファームウェアコンポーネントインストーラーは正常にドライブのファームウェアをインストールすることができるようになりました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - MK0100GCTYU、MK0200GCTYV、MK0400GCTZA、およびMK0800GCTZB ドライブ

バージョン: HPG4 (オプション)

ファイル名: cp022699.exe; cp022699.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。

修正

修正された問題点：

- このメンテナンスリリースは、HP Insight Diagnosticsのハードディスクドライブテスト中に見られる障害を修正します。障害は、ドライブが申告した自己診断テスト完了時間内にDevice Extended Self-Testが完了しないためでした。この障害は、ドライブが不良または限界であることを示すものではありません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - MM0500GBKAKおよびMM1000GBKALドライブ

バージョン: HPGE (推奨)

ファイル名: cp030584.exe; cp030584.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- アイドルタイムの>250ms 後にホスト問題がリセットされる場合に発生する中レベルアサートを修正しました。ドライブが問題によって影響を受ける場合、パフォーマンスの低下を表示し、動作を停止する可能性があります。影響を受けたホットプラグのドライブの取り外しと挿入が一時的にこの問題を解決します。この問題を解決するためのドライブファームウェアのバージョンHPGEをアップデートしています。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - MO0100EBTJT、MO0200EBTJU、およびMO0400EBTJVドライブ

バージョン: HPG4 (オプション)

ファイル名: cp024525.exe; cp024525.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。

修正

修正された問題点：

- ファームウェアバージョンHPG4は頻繁に発行されるPIOコマンドによる消耗の問題および、それによるドライブが応答しなくなる問題を解決しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - VB0160EAVEQおよびVB0160CBCDEドライブ

バージョン: HPG9 (B) (推奨)

ファイル名: cp020477.exe; cp020477.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinuxおよびMicrosoft Windows環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。
- ファームウェアバージョンHPG9を既にインストールしている場合、HPG9(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、システムソフトリブート後にドライブが応答しなくなるおよび電源の再投入が必要になる可能性を修正します。これは、システムがソフト再起動後にシステムにドライブが接続されていないように見えます。これは、オペレーティングシステムのインストール時に最も頻繁に観察されていますが、あらゆるシステムソフトリブート後にも発生することがあります。

拡張

改善点/新しい機能：

- 新しいHP ProLiant Smartアレイ HPCISS3コントローラードライバー(**hpciss3.sys**)がアップデートされているシステム上で実行されている場合、ファームウェアコンポーネントインストーラーは正常にドライブのファームウェアをインストールすることができるようになりました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - VB0250EAVERドライブ

バージョン: HPG9 (B) (推奨)

ファイル名: cp020478.exe; cp020478.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプターに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinuxおよびMicrosoft Windows環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。

- ファームウェアバージョンHPG9を既にインストールしている場合、HPG9(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、システムソフトリブート後にドライブが応答しなくなるおよび電源の再投入が必要になる可能性を修正します。これは、システムがソフト再起動後にシステムにドライブが接続されていないように見えます。これは、オペレーティングシステムのインストール時に最も頻繁に観察されていますが、あらゆるシステムソフトリブート後にも発生することがあります。

拡張

改善点/新しい機能：

- 新しいHP ProLiant Smartアレイ HPCISS3コントローラードライバー(**hpciss3.sys**)がアップデートされているシステム上で実行されている場合、ファームウェアコンポーネントインストーラーは正常にドライブのファームウェアをインストールすることができるようになりました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - VK0240GDJXU、VK0300GDUQV、VK0480GDJXV、VK0600GDUTQ、およびVK0800GDJYAドライブ

バージョン: HPG1 (B) (オプション)

ファイル名: cp026952.exe; cp026952.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。
- ファームウェアバージョンHPG1を既にインストールしている場合、HPG1(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- このメンテナンスファームウェアは、温度レポート、Sanitize Block Eraseをアップデートして、読み込みパフォーマンス改善を含みます。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB2000ECWLP、MB3000ECWLQ、およびMB4000ECWLRドライブ

バージョン: HPG4 (推奨)

ファイル名: cp030518.exe; cp030518.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPP

およびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- 長時間のトラックドウェルタイムを削減することによってドライブ不使用時間の動作を改善します。実行されない場合は、メディア潤滑油の消耗を増進し、ドライブの故障率を上昇させる可能性があります。

拡張

改善点/新しい機能：

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB2000GCWLT、MB3000GCWLU、およびMB4000GCWLVドライブ
バージョン: HPG4 (推奨)
ファイル名: cp030521.exe; cp030521.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- 長時間のトラックドウェルタイムを削減することによってドライブ不使用時間の動作を改善します。実行されない場合は、メディア潤滑油の消耗を増進し、ドライブの故障率を上昇させる可能性があります。

拡張

改善点/新しい機能：

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB6000GEXXVドライブ
バージョン: HPG2 (推奨)
ファイル名: cp030840.exe; cp030840.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- トラックの狭い範囲にデータを書き込むアプリケーションの信頼性の向上。

拡張

改善点/新しい機能：

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB8000GFECRドライブ

バージョン: HPG3 (推奨)

ファイル名: cp030844.exe; cp030844.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター (HBA) に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点：

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPG3以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。

拡張

改善点/新しい機能：

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

ファームウェア - ストレージコントローラー

[先頭](#)

HP D6000 6Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64)

バージョン: 2.98 (クリティカル)

ファイル名: cp029908.exe; cp029908.md5

重要な注意!

重要： ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

重要： 電源入/切シーケンスには、構成の完全性を維持することが重要です。詳細は、"HP D6000 ディスクエンクロージャーユーザーガイド"の文書を参照してください。

警告！ このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注意：すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\Verbose.logに記録され、フラッシュの概要は、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\cpqsetup.logに記録されます。

事前要件

重要：ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告！ このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注意：すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\Verbose.logに記録され、フラッシュの概要は、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\cpqsetup.logに記録されます。

修正

以下の問題がこのファームウェアのバージョンで修正されます：

12GB SAS HDDがエンクロージャー内に搭載されている場合、ディスクディスクバリアをサポートするために、SASエキスパンダーの設定を変更しました。

サポートしているデバイスおよび機能

HP D6000 ディスクエンクロージャーは、以下のデバイスの後部で接続できます：

- HP H222ホストバスアダプター
- HP H221ホストバスアダプター
- HP H241 Smart ホストバスアダプター
- HP SmartアレイP731mコントローラー
- HP SmartアレイP741mコントローラー
- HP SmartアレイP721mコントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP SmartアレイP431コントローラー
- HP SmartアレイP822コントローラー
- HP SmartアレイP841コントローラー
- HP SmartアレイP421コントローラー

HP D6000 6Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネント for Windows (x86)

バージョン: 2.98 (**クリティカル**)

ファイル名: cp029005.exe; cp029005.md5

重要な注意！

重要：ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

重要：電源入/切シーケンスには、構成の完全性を維持することが重要です。詳細は、"HP D6000 ディスクエンクロージャーユーザーガイド"の文書を参照してください。

警告！ このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注意：すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\Verbose.logに記録され、フラッシュの概要は、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\cpqsetup.logに記録されます。

事前要件

重要：ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告！このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注意：すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\Verbose.logに記録され、フラッシュの概要は、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\cpqsetup.logに記録されます。

修正

以下の問題がこのファームウェアのバージョンで修正されます：

12GB SAS HDDがエンクロージャー内に搭載されている場合、ディスクディスカバリーをサポートするために、SAS エキスパンダーの設定を変更しました。

サポートしているデバイスおよび機能

HP D6000 ディスクエンクロージャーは、以下のデバイスの後部で接続できます：

- HP H222ホストバスアダプター
- HP H221ホストバスアダプター
- HP H241 Smart ホストバスアダプター
- HP SmartアレイP731mコントローラー
- HP SmartアレイP741mコントローラー
- HP SmartアレイP721mコントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP SmartアレイP431コントローラー
- HP SmartアレイP822コントローラー
- HP SmartアレイP841コントローラー
- HP SmartアレイP421コントローラー

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - HP Gen8サーバー バックプレーンエキスパンダーファームウェア for HP SmartアレイコントローラーおよびHP HBAコントローラー

バージョン: 3.30 (B) **(推奨)**

ファイル名: CP025507.md5; CP025507.scexe; deb/hp-firmware-smartarray-6bb114f7f5_3.30-2_amd64.deb;

RPMS/x86_64/hp-firmware-smartarray-6bb114f7f5-3.30-2.x86_64.rpm

重要な注意!

- ファームウェアバージョン3.30を既にインストールしている場合、3.30(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点：

- 無効にされたPHYの無効なコネクタタイプ/物理リンクをレポートしたSASコネクタエレメントの問題を修正しました。
- PHYが無効にされている場合、レートが適切に設定されないため、論理リンクレートを修正しました。

拡張

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - HPE Apollo 45xx Gen9/バック

ブレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン: 1.50 (オプション)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-smartarray-7bdfcd246b-1.50-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- バージョン1.03以前からのファームウェアアップグレードを有効にするために、サーバーの電源コードを1度抜いて、再度挿してください。

拡張

- HPE Apollo 4520 Gen9のサポートを追加します

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - Smartアレイ H240ar、H240、H240nr、H241、H244br、P240nr、P244br、P246br、P440ar、P440、P441、P542D、P741m、P840、P840arおよびP841

バージョン: 5.04 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-smartarray-ea3138d8e8-5.04-1.1.x86_64.rpm

修正

- SmartアレイGen9ファームウェアバージョン4.52を使用している場合、Linuxでダンプを使用するカーネルコアダンプが完了しないことがあります。
- 断続的なメモリエラーによって、コントローラーの応答が止まることがあります。(POST Lockup 0x13)
- RAID6ボリュームのサーフェース・スキャン中にパリティエラーが見つかった場合、システムが応答を停止することがあります。(POST Lockup 0x13)
- ルックアップコードを表示せずにIOを起動している時に、コントローラーが応答を停止することが稀にあります。
- システムがWindows OSおよびHPE Gen9 Smart ArrayまたはSmart HBAアダプターを使用する場合や、継続したリポートテストを行う場合は、Non-Maskable Interrupt (NMI) が起こる可能性があります。
- HPE Gen9 Smart ArrayまたはHBA-modeのSmart HBAアダプターを使ったデュアルパスコンフィギュレーション内の特定の6TiBおよび8TiB SASドライブを使用した場合、System Ioが停止することがあります。また、OSがクラッシュする可能性もあります。
- Microsoft Storage Spaces Direct (S2D)を使用する場合、SATAドライブの物理スロットの場所が正しく返されないことがあります。
- Microsoft Storage Spaces Direct (S2D)を使用する場合、クラスター内のSATAドライブに付帯する複数のディレクトリが同じワールドワイドポートネーム (WWN)を表示することがあります。
- エクスパンダーコンフィギュレーションとHBA-modeのHPE Gen9 Smart ArrayまたはSmart HBAアダプターを接続する際に、誤ったドライブに対して、ドライブLEDが点灯または点滅することがあります。
- 4GBキャッシュモジュールを使用するコントローラーは、予期しないパワーイベントが起こると、データの保持に失敗することがあります。(POSTメッセージ1793 - ライトバックキャッシュ内のデータが失われました)

拡張

- BIOSモードでのコントローラー起動順序の設定を有効化できるサポートを追加しました。
- HBAモードで起動した場合およびエクスパンダーコンフィギュレーションに接続した場合に、デバッグ能力が強化されます。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - SmartアレイP212、P410、P410i、P411、P711m、P712m、およびP812

バージョン: 6.64 (B) (推奨)

ファイル名: hp-firmware-smartarray-14ef73e580-6.64-2.x86_64.rpm

重要な注意!

- ファームウェアバージョン6.64を既にインストールしている場合、6.64(B)へアップデートする必要はありません。

修正

- SATAドライブが接続された、ファームウェアバージョン5.70から6.62のHP ProLiant G6/G7 (Px1x) Smartアレイコントローラー上で実行しているSMARTCTL (smartmontools)は、システムが応答しなくなるまたはリブートすることがあります。リブートが起こった場合、lockup 0x15でリブート1719 POSTエラーメッセージが表示されます。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - SmartアレイP220i、P222、P420i、P420、P421、P721m、およびP822

バージョン: 8.00 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-smartarray-46a4d957a7-8.00-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Red Hat Enterprise Linux 7.1オペレーティングシステムを実行するシステムを起動すると、HP Smartアレイコントローラーが認識されないことがあります。この問題は、sgドライバーをシステムブート時にロードしないOSでの変更起因します。この問題を回避するには、sgドライバーをロードする"**modprobe sg**"コマンドを手動で発行します。sgドライバーがロードされた後、/dev/sg* デバイスが存在する必要があり、sgドライバーがSCSIデバイスにアクセスするために使用することができます。

修正

- SATAドライブのドライブ温度は、ドライブのホット挿入後、報告されない場合があります。
- リブート後、POSTでシステムがハングする可能性があります。
- 接続されたドライブがスピンドウンされた場合は、システムファンが100%に到達する可能性があります。
- SATA SSDが摩耗しているものとして不正にマークされておりました。

拡張

- コマンドキューの深度を増やすことにより、SATAドライブの性能が向上しました。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HP Gen8サーバー バックプレーンエキスパンダーファームウェア for HP SmartアレイコントローラーおよびHP HBAコントローラー

バージョン: 3.30 (推奨)

ファイル名: CP022118.md5; CP022118.scexe

重要な注意!

- サポートされるLinux、VMware ESXiおよびMicrosoft Windows環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインバックプレーンエキスパンダーファームウェアのアップデート。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフラインアップデートが必要です。

修正

修正された問題点:

- 無効にされたPHYの無効なコネクタタイプ/物理リンクをレポートしたSASコネクタエレメントの問題を修正しました。
- PHYが無効にされている場合、レートが適切に設定されないため、論理リンクレートを修正しました。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - SmartアレイP212、P410、P410i、

P411、P711m、P712m、およびP812

バージョン: 6.64 (B) (推奨)

ファイル名: hp-firmware-smartarray-14ef73e580-6.64-2.i386.rpm

修正

- SATAドライブが接続された、ファームウェアバージョン5.70から6.62のHP ProLiant G6/G7 (Px1x) Smartアレイコントローラー上で実行しているSMARTCTL (smartmontools)は、システムが応答しなくなるまたはリブートすることがあります。リブートが起こった場合、lockup 0x15でリブート1719 POSTエラーメッセージが表示されます。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - SmartアレイP220i、P222、P420i、P420、P421、P721m、およびP822

バージョン: 8.00 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/i386/hp-firmware-smartarray-46a4d957a7-8.00-1.1.i386.rpm

重要な注意!

- Red Hat Enterprise Linux 7.1オペレーティングシステムを実行するシステムを起動すると、HP Smartアレイコントローラーが認識されないことがあります。この問題は、sgドライバーをシステムブート時にロードしないOSでの変更起因します。この問題を回避するには、sgドライバーをロードする"**modprobe sg**"コマンドを手動で発行します。sgドライバーがロードされた後、/dev/sg* デバイスが存在する必要があり、sgドライバーがSCSIデバイスにアクセスするために使用することができます。

修正

- SATAドライブのドライブ温度は、ドライブのホット挿入後、報告されない場合があります。
- リブート後、POSTでシステムがハングする可能性があります。
- 接続されたドライブがスピンドウンされた場合は、システムファンが100%に到達する可能性があります。
- SATA SSDが摩耗しているものとして不正にマークされておりました。

拡張

- コマンドキューの深度を増やすことにより、SATAドライブの性能が向上しました。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - SmartアレイP700m

バージョン: 7.24 (推奨)

ファイル名: CP017696.md5; CP017696.scexe

重要な注意!

VMware ESX/ESXiを実行している場合、Firmware Maintenance CD上のHP Smart Update Managerを使用したオンラインアップデートのみサポートされます。

修正

ファームウェアの関連性:

- 内蔵HDDのHDDヘッド退避のための時間が十分になるようシャットダウンシーケンスを変更するために、このHP Smartアレイファームウェアのリビジョンにアップデートすることに加え、HP DL360G5システムROMをリビジョンP58 2008/3/9以降にアップデートする必要があります。
- デュアルドメイン機能を有効にするためにHP MSA 60および/またはMSA 70のファームウェアバージョンを2.16以降にアップデートする必要があります。

修正された問題点:

- サーバーのシステムイベントログがイベントID 129警告でいっぱいになって、Smartアレイコントローラーが応答しなくなる問題を解決しました。

サプリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - HPE 12 Gb/s SASエキスパンダーファームウェア for HPE SmartアレイコントローラーおよびHPE HBAコントローラー
バージョン: 2.10 (オプション)
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-smartarray-2de15b6882-2.10-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

- ファームウェアがバージョン1.31またはそれ以前からアップグレードされた場合には、電源再投入/コールドリブートが必要です。

拡張

- HP 12G SASエキスパンダーカードからHPE 12G SASエキスパンダーカードにコントローラー情報をリプログラムしました。

サプリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - HPE 512 MBフラッシュバック式ライトキャッシュ for BシリーズSmartアレイ
バージョン: 0.50 (C) (オプション)
ファイル名: hp-firmware-smartarray-c85df48e20-0.50-3.x86_64.rpm

修正

バージョン0.50(C)で修正された問題：

- HP Smart Update Managerとの統合の強化

サプリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - HPE Express Bay Enablement Switch Card
バージョン: 1.73 (C) (オプション)
ファイル名: hp-firmware-smartarray-94189dca85-1.73-3.1.x86_64.rpm

重要な注意！

- アップデートを有効にするには、インストール後に電源再投入/コールドリブートが必要です。

事前要件

- HPE Express Bay Enablement Switch CardファームウェアSmartコンポーネントの前回リリースでは、iLO 3/4チャンネルインターフェイスドライバーへの依存が記録されました。このドライバーは、以下のLinux OSに含まれるようになりました。

Red Hat Enterprise Linux 7 Server

Red Hat Enterprise Linux 6 Server (x86-64)

SUSE Linux Enterprise Server 12

- HP ProLiant iLOファームウェアバージョン2.20以降が必要。HP ProLiant iLOファームウェアがv2.20以前の場合、次のエラーメッセージを受信します。

依存性の確認に失敗しました。

現在のバージョン：iLOx x.xx

必要な最小バージョン：iLO4 2.20

必要なハードウェアがシステムに存在しないかソフトウェア/ファームウェアがこのシステムに適用しないため、ソフトウェアはこのシステムにインストールされません。

修正

バージョン1.73(C)で修正された問題：

- NVIDIA Tesla M2090 GPU で構成されたシステム上でのコンポーネントのインストール中、修正不能 PCIe エラーが発生する可能性があります。

バージョン1.73(B)で修正された問題：

- コンポーネントインストーラーはHP ProLiant DL580 Gen9 Serverで構成されたときはHPE Express Bay Enablement Switch Cardを検出せず、ファームウェアアップデートを実行しませんでした。

バージョン1.73で修正された問題：

- サーバハードウェアインベントリがデバイスマネジャーに表示されたとき、NVMeドライブはリストに含まれません。

ファームウェアバージョン1.73は、NVMeがサポートするすべてのドライブが認識され、サーバハードウェアのインベントリリストに表示されることを可能にします。

サブメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - SmartアレイP230i、P430、P431、P731m、P830i および P830

バージョン: 4.04 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-smartarray-112204add8-4.04-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

- Red Hat Enterprise Linux 7.1オペレーティングシステムを実行するシステムを起動すると、HP Smartアレイコントローラーが認識されないことがあります。この問題は、sgドライバーをシステムブート時にロードしないOSでの変更起因します。この問題を回避するには、sgドライバーをロードする"**modprobe sg**"コマンドを手動で発行します。sgドライバーがロードされた後、`/dev/sg*` デバイスが存在する必要があり、sgドライバーがSCSIデバイスにアクセスするために使用することができます。

修正

- リブート後、POSTでシステムがハングする可能性があります。
- 接続されたドライブがスピンドウンされた場合は、システムファンが100%に到達する可能性があります。
- SATA SSDが摩耗しているものとして不正にマークされておりました。

拡張

- コマンドキューの深度を増やすことにより、SATAドライブの性能が向上しました。

サブメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE 512 MBフラッシュバック式ライトキャッシュ for BシリーズSmartアレイ

バージョン: 0.50 (C) (オプション)

ファイル名: hp-firmware-smartarray-c85df48e20-0.50-3.i386.rpm

修正

バージョン0.50(C)で修正された問題：

- HP Smart Update Managerとの統合の強化

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - SmartアレイP230i、P430、P431、P731m、P830i および P830

バージョン: 4.04 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/i386/hp-firmware-smartarray-112204add8-4.04-1.1.i386.rpm

重要な注意!

- Red Hat Enterprise Linux 7.1オペレーティングシステムを実行するシステムを起動すると、HP Smartアレイコントローラーが認識されないことがあります。この問題は、sgドライバーをシステムブート時にロードしないOSでの変更起因します。この問題を回避するには、sgドライバーをロードする"**modprobe sg**"コマンドを手動で発行します。sgドライバーがロードされた後、/dev/sg* デバイスが存在する必要があり、sgドライバーがSCSIデバイスにアクセスするために使用することができます。

修正

- リブート後、POSTでシステムがハングする可能性があります。
- 接続されたドライブがスピンドウンされた場合は、システムファンが100%に到達する可能性があります。
- SATA SSDが摩耗しているものとして不正にマークされていました。

拡張

- コマンドキューの深度を増やすことにより、SATAドライブの性能が向上しました。

オフラインファームウェアサブリメンタルアップデート - HP SASエキスパンダー カード

バージョン: 2.10 (C) (推奨)

ファイル名: CP022989.md5; CP022989.scexe

事前要件

HP SASエキスパンダー カードのファームウェアを2.10にアップデートする場合、HP Smartアレイコントローラーはファームウェアバージョン3.66以降が必要です。

修正

ファームウェアの関連性:

HP SASエキスパンダー カードのファームウェアを2.10にアップデートする場合、HP Smartアレイコントローラーはファームウェアバージョン3.66以降が必要です。

修正された問題点:

- まれに、起動シーケンス中にHP SASエキスパンダーが応答なくなります。HP SASエキスパンダーが応答しない時、接続されたSmartアレイ P410またはP410iコントローラーは接続されたドライブを検出することができませんでした。

バージョン2.10(C)で修正された問題:

- コンポーネントがオンライン環境で実行できるようにするオフラインチェックプロトコルがコンポーネントインストーラーに含まれていなかった問題を修正しました。

拡張

改善点/新しい機能:

- 不明なデバイスが存在する場合、Smartコンポーネントがハードウェア検出中にハングアップする問題を解決しました。
-

オンラインROMフラッシュ コンポーネント for Windows - SmartアレイP700m

バージョン: 7.24 (B) (推奨)

ファイル名: cp019156.exe; cp019156.md5

重要な注意!

ファームウェアバージョン7.24を既にインストールしている場合、7.24(B)へアップデートする必要はありません。

修正

ファームウェアの関連性 :

- 内蔵HDDのHDDヘッド退避のための時間が十分になるようシャットダウン シーケンスを変更するために、このHP Smartアレイファームウェアのリビジョンにアップデートすることに加え、HP DL360G5システムROMをリビジョンP58 2008/3/9以降にアップデートする必要があります。
- デュアル ドメイン機能を有効にするためにHP MSA 60および/またはMSA 70のファームウェアバージョンを2.16以降にアップデートする必要があります。

修正された問題点 :

- サーバーのシステムイベントログがイベントID 129警告でいっぱいになって、Smartアレイコントローラーが応答しなくなる問題を解決しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - HP Apollo 2000システム

バージョン: 1.00 (推奨)

ファイル名: hp-firmware-smartarray-3bf7ece88e-1.00-1.1.x86_64.rpm

拡張

- 1.00は最初のファームウェアリリースです

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - HPE Smartアレイ B320i RAIDコントローラー

バージョン: 15.10.10.00 (推奨)

ファイル名: hp-firmware-cf8a9ebb5d-15.10.10.00-1.1.x86_64.rpm

修正

バージョン15.10.10.00で修正された問題 :

- HPE Dynamic Smart アレイB320i RAIDコントローラーで構成されたHPE ProLiant BL420c Gen8サーバーが、起動に失敗してPower-On Self-Test (POST)の間にシステムが止まりました。いくつかのインスタンスで、"1783 Driver Array Controller Failure"というメッセージが表示されました。詳細については、HPEカスタマーアドバイザリ[c05317927](#) (英語)を参照してください。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE Smartアレイ B320i RAIDコントローラー

バージョン: 15.10.10.00 (推奨)

ファイル名: hp-firmware-cf8a9ebb5d-15.10.10.00-1.1.i386.rpm

修正

バージョン15.10.10.00で修正された問題 :

- HPE Dynamic Smart アレイB320i RAIDコントローラーで構成されたHPE ProLiant BL420c Gen8サーバーが、起動に失敗してPower-On Self-Test (POST)の間にシステムが止まりました。いくつかのインスタンスで、"1783 Driver Array Controller Failure"というメッセージが表示されました。詳細については、HPEカスタマーアドバイザリ[c05317927](#) (英語)を参照してください。
-

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPEホストバスアダプター H220、H221、H222、H210i、およびH220i

バージョン: 15.10.10.00 (推奨)

ファイル名: hp-firmware-43d7eff89e-15.10.10.00-1.1.i386.rpm

重要な注意!

このドライバーコンポーネントは、H221コントローラー搭載のGen9サーバーのみをサポートし、コントローラーはGen9サーバーでのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしません。

修正

バージョン15.10.10.00で修正された問題:

- HPE Dynamic Smart アレイB320i RAIDコントローラーで構成されたHPE ProLiant BL420c Gen8サーバーが、起動に失敗してPower-On Self-Test (POST)の間にシステムが止まりました。いくつかのインスタンスで、"1783 Driver Array Controller Failure"というメッセージが表示されました。詳細については、HPEカスタマーアドバイザリ[c05317927](https://support.hpe.com/hpesc/pdf/display?display_id=65317927) (英語)を参照してください。

拡張

- Gen9サーバーのサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーコンポーネントは、H221コントローラー搭載のGen9サーバーのみをサポートし、コントローラーはGen9サーバーでのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP Apollo 2000システム

バージョン: 1.00 (推奨)

ファイル名: CP026926.zip

拡張

- 1.00は最初のファームウェアリリースです

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HP Gen8サーバー バックプレーンエキスパンダーファームウェア for HP SmartアレイコントローラーおよびHP HBAコントローラー

バージョン: 3.30 (D) (推奨)

ファイル名: CP026535.zip

修正

バージョン3.30で修正された問題:

- 無効にされたPHYの無効なコネクタタイプ/物理リンクをレポートしたSASコネクタエレメントの問題を修正しました。
- PHYが無効にされている場合、レートが適切に設定されないため、論理リンクレートを修正しました。

バージョン3.30(B)で修正された問題:

- HP Smart Update Manager (HP SUM)のいずれかのバージョンを使用してHP H22xホストバスアダプターを通したHP ExpanderのためのVMware Smart Componentのインストールが失敗する問題を修正しました。リターンコード(4202967293)は、HP SUMログ(hpsum_detail_log.txt)で表示されました。

拡張

3.30 (C)の改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.0のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HPE 12 Gb/s SASエキスパンダーファームウェア for HPE SmartアレイコントローラーおよびHPE HBAコントローラー

バージョン: 2.10 (オプション)

ファイル名: CP028858.zip

重要な注意!

- ファームウェアがバージョン1.31またはそれ以前からアップグレードされた場合には、電源再投入/コールドリブートが必要です。

拡張

- HP 12G SASエキスパンダーカードからHPE 12G SASエキスパンダーカードにコントローラー情報をリブランドしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HPE Apollo 4200 Gen9バックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン: 1.26 (オプション)

ファイル名: CP029971.zip

重要な注意!

- ファームウェアがバージョン1.03またはそれ以前からアップグレードされた場合には、電源再投入/コールドリブートが必要です。

修正

- 複数の、連続したリブート後のまれな状況では、ラージフォームファクターのドライブを28台搭載したシステムが応答なくなることがあります。ファームウェア v1.26 でこの問題が解決します。

拡張

- 新しい6 SFF HDDバックプレーンのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HPE Apollo 45xx Gen9バックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン: 1.50 (オプション)

ファイル名: CP029636.zip

重要な注意!

- バージョン1.03以前からのファームウェアアップグレードを有効にするために、サーバーの電源コードを1度抜いて、再度挿してください。

拡張

- HPE Apollo 4520 Gen9のサポートを追加します

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HPE Express Bay Enablement Switchカード

バージョン: 1.73 (B) (オプション)

ファイル名: CP029127.zip

重要な注意!

- アップデートを有効にするには、インストール後に電源再投入/コールドリブートが必要です。

事前要件

- HP ProLiant iLOファームウェアバージョンは、v2.20以降である必要があります。HP ProLiant iLOファームウェアがv2.20より古い場合、以下のエラーメッセージを受け取ります。

Check dependency failed.

Current version: iLOx x.xx

Minimum version required: iLO4 2.20

The software will not be installed on this system because the required hardware is not present in the system or the software/firmware doesn't apply to this system

修正

バージョン1.73(B)で修正された問題：

- NVIDIA Tesla M2090 GPU で構成されたシステム上でのコンポーネントのインストール中、修正不能 PCIe エラーが発生する可能性があります。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HPEデュアル 8GB MicroSD USB

バージョン: 1.3.2.19 (推奨)

ファイル名: CP027112.zip

拡張

- これは最初のファームウェアリリースです

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - Smartアレイ H240ar, H240, H240nr, H241, H244br, P240nr, P244br, P246br, P440ar, P440, P441, P542D, P741m, P840, P840arおよびP841

バージョン: 5.04 (推奨)

ファイル名: CP032042.zip

修正

- SmartアレイGen9ファームウェアバージョン4.52を使用している場合、Linuxでダンプを使用するカーネルコアダンプが完了しないことがあります。
- 断続的なメモリエラーによって、コントローラーの応答が止まることがあります。(POST Lockup 0x13)
- RAID6ボリュームのサーフェース・スキャン中にパリティエラーが見つかった場合、システムが応答を停止することがあります。(POST Lockup 0x13)
- ルックアップコードを表示せずにIOを起動している時に、コントローラーが応答を停止することが稀にあります。
- システムがWindows OSおよびHPE Gen9 Smart ArrayまたはSmart HBAアダプターを使用する場合や、継続したリブートテストを行う場合は、Non-Maskable Interrupt (NMI) が起こる可能性があります。
- HPE Gen9 Smart ArrayまたはHBA-modeのSmart HBAアダプターを使ったデュアルパスコンフィギュレーション内の特定の6TiBおよび8TiB SASドライブを使用した場合、System Ioが停止することがあります。また、OSがクラッシュする可能性もあります。
- Microsoft Storage Spaces Direct (S2D)を使用する場合、SATAドライブの物理スロットの場所が正しく返されないことがあります。
- Microsoft Storage Spaces Direct (S2D)を使用する場合、クラスター内のSATAドライブに付帯する複数のディレクトクが同じワールドワイドポートネーム (WWN)を表示することがあります。
- エクспанダーコンフィギュレーションとHBA-modeのHPE Gen9 Smart ArrayまたはSmart HBAアダプターを接続する際に、誤ったドライブに対して、ドライブLEDが点灯または点滅することがあります。
- 4GBキャッシュモジュールを使用するコントローラは、予期しないパワーイベントが起こると、データの保持に失敗することがあります。(POSTメッセージ1793 - ライトバックキャッシュ内のデータが失われました)

拡張

- BIOSモードでのコントローラー起動順序の設定を有効化できるサポートを追加しました。
- HBAモードで起動した場合およびエクスパンダーコンフィギュレーションに接続した場合に、デバッグ能力が強化されます。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - SmartアレイP212、P410、P410i、P411、P711m、P712m、およびP812

バージョン: 6.64 (B) (推奨)

ファイル名: CP027482.zip

修正

- SATAドライブが接続された、ファームウェアバージョン5.70から6.62のHP ProLiant G6/G7 (Px1x) Smartアレイコントローラー上で実行しているSMARTCTL (smartmontools)は、システムが応答しなくなるまたはリブートすることがあります。リブートが起こった場合、lockup 0x15でリブート1719 POSTエラーメッセージが表示されます。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - SmartアレイP220i、P222、P420i、P420、P421、P721m、およびP822

バージョン: 8.00 (推奨)

ファイル名: CP030723.zip

修正

- SATAドライブのドライブ温度は、ドライブのホット挿入後、報告されない場合があります。
- リブート後、POSTでシステムがハングする可能性があります。
- 接続されたドライブがスピンドウンされた場合は、システムファンが100%に到達する可能性があります。
- SATA SSDが摩耗しているものとして不正にマークされておりました。

拡張

- コマンドキューの深度を増やすことにより、SATAドライブの性能が向上しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - SmartアレイP230i、P430、P431、P731m、P830i およびP830

バージョン: 4.04 (推奨)

ファイル名: CP030952.zip

修正

- リブート後、POSTでシステムがハングする可能性があります。
- 接続されたドライブがスピンドウンされた場合は、システムファンが100%に到達する可能性があります。
- SATA SSDが摩耗しているものとして不正にマークされておりました。

拡張

- コマンドキューの深度を増やすことにより、SATAドライブの性能が向上しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - HP Apollo 4200 Gen9/バックプレーンエクスパンダーファームウェア

バージョン: 1.26 (オプション)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-smartarray-f18fdefd0b-1.26-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

- ファームウェアがバージョン1.03またはそれ以前からアップグレードされた場合には、電源再投入/コールドリポートが必要です。

修正

- 複数の、連続したリポート後のまれな状況では、ラージフォームファクターのドライブを28台搭載したシステムが応答しなくなることがあります。ファームウェア v1.26 でこの問題が解決します。

拡張

- 新しい6 SFF HDDバックプレーンのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - HPE 12Gb/s SASエキスパンダーファームウェア for HPE SmartアレイコントローラーおよびHPE HBAコントローラー

バージョン: 2.10 (オプション)

ファイル名: cp028860.exe; cp028860.md5

重要な注意！

- ファームウェアがバージョン1.31またはそれ以前からアップグレードされた場合には、電源再投入/コールドリポートが必要です。

拡張

- コントローラー情報がHP 12G SASエキスパンダーカードからHPE 12G SASエキスパンダーカードにリブランドされました。
- Microsoft® Windows Server® 2016 OSのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - HPE Apollo 4200 Gen9バックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン: 1.26 (オプション)

ファイル名: cp029973.exe; cp029973.md5

重要な注意！

- ファームウェアがバージョン1.03またはそれ以前からアップグレードされた場合には、電源再投入/コールドリポートが必要です。

修正

- 複数の、連続したリポート後のまれな状況では、ラージフォームファクターのドライブを28台搭載したシステムが応答しなくなることがあります。ファームウェア v1.26 でこの問題が解決します。

拡張

- Microsoft® Windows Server® 2016 OSのサポートを追加しました。
- 新しい6 SFF HDDバックプレーンのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - HPE Apollo 45xx Gen9バックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン: 1.50 (B) (オプション)

ファイル名: cp030738.exe; cp030738.md5

重要な注意！

- バージョン1.03以前からのファームウェアアップグレードを有効にするために、サーバーの電源コードを1度抜いて、再度挿してください。

拡張

- HPE Apollo 4520 Gen9のサポートを追加します。
- Microsoft® Windows Server® 2016 OSのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - HPE Express Bay Enablement Switch Card

バージョン: 1.73 (C) (オプション)

ファイル名: cp030763.exe; cp030763.md5

重要な注意！

- アップデートを有効にするには、インストール後に電源再投入/コールドリブートが必要です。

事前要件

- このフラッシュコンポーネントを使用する前に、"HP ProLiant iLO 3/4 Channel Interfaceドライバー"がインストールされて実行されている必要があります。ドライバーが実行されていない場合、次のエラーメッセージが表示されます。

"Setup is unable to load a setup DLL"

- HP ProLiant iLOファームウェアバージョンは、v2.20以降である必要があります。HP ProLiant iLOファームウェアがv2.20より古い場合、以下のエラーメッセージを受け取ります。

Check dependency failed.

Current version: iLOx x.xx

Minimum version required: iLO4 2.20

The software will not be installed on this system because the required hardware is not present in the system or the software/firmware doesn't apply to this system.

修正

バージョン1.73(C)で修正された問題：

- NVIDIA Tesla M2090 GPU で構成されたシステム上でのコンポーネントのインストール中、修正不能 PCIe エラーが発生する可能性があります。

バージョン1.73で修正された問題：

- サーバードウェアインベントリがデバイスマネージャーに表示されたとき、NVMeドライブはリストに含まれません。

ファームウェアバージョン1.73は、NVMeがサポートするすべてのドライブが認識され、サーバーハードウェアのインベントリリストに表示されることを可能にします。

- コンポーネントインストーラーはHP ProLiant DL580 Gen9 サーバーで構成されたときはHPE Express Bay Enablement Switch Cardを検出せず、ファームウェアアップデートを実行しませんでした。

拡張

- Microsoft® Windows Server® 2016 OSのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - HPE Smartアレイ B320i RAIDコントローラー

バージョン: 15.10.10.00 (推奨)

ファイル名: cp031282.exe; cp031282.md5

修正

バージョン15.10.10.00で修正された問題：

- HPE Dynamic Smart アレイB320i RAIDコントローラーで構成されたHPE ProLiant BL420c Gen8サーバーが、起動に失敗してPower-On Self-Test (POST)の間にシステムが止まりました。いくつかのインスタンスで、"1783 Driver Array Controller Failure"というメッセージが表示されました。詳細については、HPEカスタマーアドバイザリ[c05317927](#) (英語)を参照してください。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - Smartアレイ H240ar, H240, H240nr, H241, H244br, P240nr, P244br, P246br, P440ar, P440, P441, P542D, P741m, P840, P840arおよびP841

バージョン: 5.04 (推奨)

ファイル名: cp032041.exe; cp032041.md5

修正

- SmartアレイGen9ファームウェアバージョン4.52を使用している場合、Linuxでダンプを使用するカーネルコアダンプが完了しないことがあります。
- 断続的なメモリエラーによって、コントローラーの応答が止まる場合があります。(POST Lockup 0x13)
- RAID6ボリュームのサーフェース・スキャン中にパリティエラーが見つかった場合、システムが応答を停止することがあります。(POST Lockup 0x13)
- ルックアップコードを表示せずにIOを起動している時に、コントローラーが応答を停止することが稀にあります。
- システムがWindows OSおよびHPE Gen9 Smart ArrayまたはSmart HBAアダプターを使用する場合や、継続したリポートテストを行う場合は、Non-Maskable Interrupt (NMI) が起こる可能性があります。
- HPE Gen9 Smart ArrayまたはHBA-modeのSmart HBAアダプターを使ったデュアルパスコンフィギュレーション内の特定の6TiBおよび8TiB SASドライブを使用した場合、System Ioが停止することがあります。また、OSがクラッシュする可能性もあります。
- Microsoft Storage Spaces Direct (S2D)を使用する場合、SATAドライブの物理スロットの場所が正しく返されないことがあります。
- Microsoft Storage Spaces Direct (S2D)を使用する場合、クラスター内のSATAドライブに付帯する複数のディレクトリが同じワールドワイドポートネーム (WWN)を表示することがあります。
- エクスパンダーコンフィギュレーションとHBA-modeのHPE Gen9 Smart ArrayまたはSmart HBAアダプターを接続する際に、誤ったドライブに対して、ドライブLEDが点灯または点滅することがあります。
- 4GBキャッシュモジュールを使用するコントローラは、予期しないパワーイベントが起こると、データの保持に失敗することがあります。(POSTメッセージ1793 - ライトバックキャッシュ内のデータが失われました)

拡張

- BIOSモードでのコントローラー起動順序の設定を有効化できるサポートを追加しました。
- HBAモードで起動した場合およびエクスパンダーコンフィギュレーションに接続した場合に、デバッグ能力が強化されます。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - SmartアレイP212, P410, P410i, P411, P711m, P712m、およびP812

バージョン: 6.64 (B) (推奨)

ファイル名: cp027485.exe; cp027485.md5

修正

- SATAドライブが接続された、ファームウェアバージョン5.70から6.62のHP ProLiant G6/G7 (Px1x) Smartアレイコントローラー上で実行しているSMARTCTL (smartmontools)は、システムが応答しなくなるまたはリブートすることがあります。リブートが起こった場合、lockup 0x15でリブート1719 POSTエラーメッセージが表示されます。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - SmartアレイP220i、P222、P420i、P420、P421、P721m、およびP822

バージョン: 8.00 (推奨)

ファイル名: cp030726.exe; cp030726.md5

修正

- SATAドライブのドライブ温度は、ドライブのホット挿入後、報告されない場合があります。
- リブート後、POSTでシステムがハングする可能性があります。
- 接続されたドライブがスピンドウンされた場合は、システムファンが100%に到達する可能性があります。
- SATA SSDが摩耗しているものとして不正にマークされていきました。

拡張

- コマンドキューの深度を増やすことにより、SATAドライブの性能が向上しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - SmartアレイP230i、P430、P431、P731m、P830i およびP830

バージョン: 4.04 (推奨)

ファイル名: cp030949.exe; cp030949.md5

修正

- リブート後、POSTでシステムがハングする可能性があります。
- 接続されたドライブがスピンドウンされた場合は、システムファンが100%に到達する可能性があります。
- SATA SSDが摩耗しているものとして不正にマークされていきました。

拡張

- コマンドキューの深度を増やすことにより、SATAドライブの性能が向上しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - HP Gen8サーバー バックプレーンエキスパンダーファームウェア for HP SmartアレイコントローラーおよびHP HBAコントローラー

バージョン: 3.30 (B) (オプション)

ファイル名: cp026992.exe; cp026992.md5

重要な注意!

- ファームウェアバージョン3.30を既にインストールしている場合、3.30(B)へアップデートする必要はありません。

修正

バージョン3.30で修正された問題:

- 無効にされたPHYの無効なコネクタタイプ/物理リンクをレポートしたSASコネクタエレメントの問題を修正しました。
- PHYが無効にされている場合、レートが適切に設定されないため、論理リンクレートを修正しました。

バージョン3.30(B)で修正された問題:

- Microsoft Windows Server 2012 R2でファームウェアをインストールしようとする場合、ファームウェアインストールはAPPCRASH例外エラーになり失敗します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - HPE 512 MBフラッシュバック式ライトキャッシュ for BシリーズSmartアレイ

バージョン: 0.50 (D) (オプション)

ファイル名: cp027853.exe; cp027853.md5

修正

バージョン0.50(D)で修正された問題:

- HP Smart Update Managerとの統合の強化

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - HPE 512 MBフラッシュバック式ライトキャッシュ for BシリーズSmartアレイ

バージョン: 0.50 (オプション)

ファイル名: cp030760.exe; cp030760.md5

拡張

- Microsoft® Windows Server® 2016 OSのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - HPE Smartアレイ B320i RAIDコントローラー

バージョン: 15.10.10.00 (推奨)

ファイル名: cp031280.exe; cp031280.md5

修正

バージョン15.10.10.00で修正された問題:

- HPE Dynamic Smart アレイB320i RAIDコントローラーで構成されたHPE ProLiant BL420c Gen8サーバーが、起動に失敗してPower-On Self-Test (POST)の間にシステムが止まりました。いくつかのインスタンスで、"1783 Driver Array Controller Failure"というメッセージが表示されました。詳細については、HPEカスタマーアドバイザリ[c05317927](https://support.hpe.com/hpsc/swupdate/public/doc?c05317927) (英語)を参照してください。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - SmartアレイP212、P410、P410i、P411、P711m、P712m、およびP812

バージョン: 6.64 (B) (推奨)

ファイル名: cp027484.exe; cp027484.md5

修正

- SATAドライブが接続された、ファームウェアバージョン5.70から6.62のHP ProLiant G6/G7 (Px1x) Smartアレイコントローラー上で実行しているSMARTCTL (smartmontools)は、システムが応答しなくなるまたはリブートすることがあります。リブートが起こった場合、lockup 0x15でリブート1719 POSTエラーメッセージが表示されます。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - SmartアレイP220i、P222、P420i、P420、P421、P721m、およびP822

バージョン: 8.00 (推奨)

ファイル名: cp030725.exe; cp030725.md5

修正

- SATAドライブのドライブ温度は、ドライブのホット挿入後、報告されない場合があります。
- リブート後、POSTでシステムがハングする可能性があります。
- 接続されたドライブがスピンドウンされた場合は、システムファンが100%に到達する可能性があります。
- SATA SSDが摩耗しているものとして不正にマークされておりました。

拡張

- コマンドキューの深度を増やすことにより、SATAドライブの性能が向上しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows - SmartアレイP230i、P430、P431、P731m、P830i および P830
バージョン: 4.04 (**推奨**)

ファイル名: cp030951.exe; cp030951.md5

修正

- リブート後、POSTでシステムがハングする可能性があります。
- 接続されたドライブがスピンドウンされた場合は、システムファンが100%に到達する可能性があります。
- SATA SSDが摩耗しているものとして不正にマークされておりました。

拡張

- コマンドキューの深度を増やすことにより、SATAドライブの性能が向上しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - HPE Apollo 2000 System - SASエキスパンダー
バージョン: 1.00 (B) (**推奨**)

ファイル名: cp030764.exe; cp030764.md5

拡張

- 1.00は最初のファームウェアリリースです
- 1.00 (B):Microsoft® Windows Server® 2016 OSのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - HPE Gen8サーバーバックプレーンエキスパンダーファームウェアfor HPE SmartアレイコントローラーおよびHPE HBAコントローラー

バージョン: 3.30 (B) (**オプション**)

ファイル名: cp030775.exe; cp030775.md5

修正

修正された問題 (v3.30) :

- 無効にされたPHYの無効なコネクタタイプ/物理リンクをレポートしたSASコネクタエレメントの問題を修正しました。
- PHYが無効にされている場合、レートが適切に設定されないため、論理リンクレートを修正しました。

拡張

バージョン3.30(B)での機能拡張

- Microsoft® Windows Server® 2016 OSのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - HPEホストバスアダプターH220、H221、H222、H210i、およびH220i

バージョン: 15.10.10.00 (**推奨**)

ファイル名: cp031288.exe; cp031288.md5

重要な注意！

このドライバーコンポーネントは、H221コントローラー搭載のGen9サーバーのみをサポートし、コントローラーはGen9サーバーでのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしません。

修正

バージョン15.10.10.00で修正された問題：

- HPE Dynamic Smart アレイB320i RAIDコントローラーで構成されたHPE ProLiant BL420c Gen8サーバーが、起動に失敗してPower-On Self-Test (POST)の間にシステムが止まりました。いくつかのインスタンスで、"1783 Driver Array Controller Failure"というメッセージが表示されました。詳細については、HPEカスタマーアドバイザリ[c05317927](https://support.hpe.com/hpsc/swupdate/document.do?itemId=000121783) (英語)を参照してください。

拡張

- Gen9サーバーのサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーコンポーネントは、H221コントローラー搭載のGen9サーバーのみをサポートし、コントローラーはGen9サーバーでのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしません。

HP D2600/D2700 6Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64)

バージョン: 0150 (B) (**推奨**)

ファイル名: RPMS/x86_64/hp-firmware-d2600-d2700-0150-2.1.x86_64.rpm

重要な注意！

現在デバイスが150ファームウェアを実行している場合、150(B)へファームウェアをアップグレードする必要はありません

重要：ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告！このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注：ディスクエンクロージャーがカスケードされたとき、1つのエンクロージャーのI/OモジュールAは、その後のエンクロージャーのI/OモジュールAに接続されます。ファームウェアのアップデート中、カスケードされたディスクエンクロージャー内のI/OモジュールAは、自動的にアップデートされます。

デュアルドメイン構成で、ターゲットディスクエンクロージャーとカスケードディスクエンクロージャーのI/Oモジュールは、ファームウェアインストール処理の間、自動的にアップデートされます。

すべてのファームウェアフラッシュの進捗メッセージは、`/var/cpq/Component.log`に記録されます。

事前要件

重要：ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告！このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注：ディスクエンクロージャーがカスケードされたとき、1つのエンクロージャーのI/OモジュールAは、その後のエンクロージャーのI/OモジュールAに接続されます。ファームウェアのアップデート中、カスケードされたディス

クエンクロージャー内のI/OモジュールAは、自動的にアップデートされます。

デュアルドメイン構成で、ターゲットディスクエンクロージャーとカスケードディスクエンクロージャーのI/Oモジュールは、ファームウェアインストール処理の間、自動的にアップデートされます。

すべてのファームウェアフラッシュの進捗メッセージは、`/var/cpq/Component.log`に記録されます。

修正

このバージョンでは、次の修正が追加されています。

誤ったアルゴリズムによるFAULT_SENSEDビットに関するアクションを削除しました。

サポートしているデバイスおよび機能

D2600 / D2700エンクロージャーは、どのHPストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます。

- HP H222 ホストバスアダプター
- HP H221 ホストバスアダプター
- HP H241 Smartホストバスアダプター
- HP SmartアレイP812コントローラー
- HP SmartアレイP822コントローラー
- HP SmartアレイP841コントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP SmartアレイP431コントローラー
- HP SmartアレイP421コントローラー
- HP SmartアレイP411コントローラー
- HP SmartアレイP212コントローラー
- HP SmartアレイP222コントローラー

HP D2600/D2700 6Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネント for Linux (x86)

バージョン: 0150 (B) **(推奨)**

ファイル名: `RPMS/i386/hp-firmware-d2600-d2700-0150-2.1.i386.rpm`

重要な注意!

現在デバイスが150ファームウェアを実行している場合、150(B)へファームウェアをアップグレードする必要はありません

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注: ディスクエンクロージャーがカスケードされたとき、1つのエンクロージャーのI/OモジュールAは、その後のエンクロージャーのI/OモジュールAに接続されます。ファームウェアのアップデート中、カスケードされたディスクエンクロージャー内のI/OモジュールAは、自動的にアップデートされます。

デュアルドメイン構成で、ターゲットディスクエンクロージャーとカスケードディスクエンクロージャーのI/Oモジュールは、ファームウェアインストール処理の間、自動的にアップデートされます。

すべてのファームウェアフラッシュの進捗メッセージは、`/var/cpq/Component.log`に記録されます。

事前要件

重要： ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告！ このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注： ディスクエンクロージャーがカスケードされたとき、1つのエンクロージャーのI/OモジュールAは、その後のエンクロージャーのI/OモジュールAに接続されます。ファームウェアのアップデート中、カスケードされたディスクエンクロージャー内のI/OモジュールAは、自動的にアップデートされます。

デュアルドメイン構成で、ターゲットディスクエンクロージャーとカスケードディスクエンクロージャーのI/Oモジュールは、ファームウェアインストール処理の間、自動的にアップデートされます。

すべてのファームウェアフラッシュの進捗メッセージは、`/var/cpq/Component.log`に記録されます。

修正

このバージョンでは、次の修正が追加されています。

誤ったアルゴリズムによるFAULT_SENSEDビットに関するアクションを削除しました。

サポートしているデバイスおよび機能

D2600 / D2700エンクロージャーは、どのHPストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます。

- HP H222 ホストバスアダプター
- HP H221 ホストバスアダプター
- HP H241 Smartホストバスアダプター
- HP SmartアレイP812コントローラー
- HP SmartアレイP822コントローラー
- HP SmartアレイP841コントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP SmartアレイP431コントローラー
- HP SmartアレイP421コントローラー
- HP SmartアレイP411コントローラー
- HP SmartアレイP212コントローラー
- HP SmartアレイP222コントローラー

HP D2600/D2700 6Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64)

バージョン: 0150 (B) (**推奨**)

ファイル名: cp028806.exe

重要な注意！

現在デバイスが150ファームウェアを実行している場合、150(B)へファームウェアをアップグレードする必要はありません

重要： ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告！ このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注： ディスクエンクロージャーがカスケードされたとき、1つのエンクロージャーのI/OモジュールAは、その後のエンクロージャーのI/OモジュールAに接続されます。ファームウェアのアップデート中、カスケードされたディスクエンクロージャー内のI/OモジュールAは、自動的にアップデートされます。

デュアルドメイン構成で、ターゲットディスクエンクロージャーとカスケードディスクエンクロージャーのI/Oモジュールは、ファームウェアインストール処理の間、自動的にアップデートされます。

すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\D2000.logに記録され、フラッシュの要約は、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\cpqsetup.logに記録されます。

事前要件

重要：ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告！ このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注： ディスクエンクロージャーがカスケードされたとき、1つのエンクロージャーのI/OモジュールAは、その後のエンクロージャーのI/OモジュールAに接続されます。ファームウェアのアップデート中、カスケードされたディスクエンクロージャー内のI/OモジュールAは、自動的にアップデートされます。

デュアルドメイン構成で、ターゲットディスクエンクロージャーとカスケードディスクエンクロージャーのI/Oモジュールは、ファームウェアインストール処理の間、自動的にアップデートされます。

すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\D2000.logに記録され、フラッシュの要約は、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\cpqsetup.logに記録されます。

修正

このバージョンでは、次の修正が追加されています。

誤ったアルゴリズムによるFAULT_SENSEDビットに関するアクションを削除しました。

サポートしているデバイスおよび機能

D2600 / D2700エンクロージャーは、どのHPストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できません。

- HP H222 ホストバスアダプター
- HP H221 ホストバスアダプター
- HP H241 Smartホストバスアダプター
- HP SmartアレイP812コントローラー
- HP SmartアレイP822コントローラー
- HP SmartアレイP841コントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP SmartアレイP431コントローラー
- HP SmartアレイP421コントローラー
- HP SmartアレイP411コントローラー
- HP SmartアレイP212コントローラー
- HP SmartアレイP222コントローラー

HP D2600/D2700 6Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネント for Windows (x86)

バージョン: 0150 (B) (**推奨**)

ファイル名: cp028805.exe

重要な注意！

現在デバイスが150ファームウェアを実行している場合、150(B)へファームウェアをアップグレードする必要はありません

重要：ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告！このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注：ディスクエンクロージャーがカスケードされたとき、1つのエンクロージャーのI/OモジュールAは、その後のエンクロージャーのI/OモジュールAに接続されます。ファームウェアのアップデート中、カスケードされたディスクエンクロージャー内のI/OモジュールAは、自動的にアップデートされます。

デュアルドメイン構成で、ターゲットディスクエンクロージャーとカスケードディスクエンクロージャーのI/Oモジュールは、ファームウェアインストール処理の間、自動的にアップデートされます。

すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\D2000.logに記録され、フラッシュの要約は、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\cpqsetup.logに記録されます。

事前要件

重要：ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告！このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注：ディスクエンクロージャーがカスケードされたとき、1つのエンクロージャーのI/OモジュールAは、その後のエンクロージャーのI/OモジュールAに接続されます。ファームウェアのアップデート中、カスケードされたディスクエンクロージャー内のI/OモジュールAは、自動的にアップデートされます。

デュアルドメイン構成で、ターゲットディスクエンクロージャーとカスケードディスクエンクロージャーのI/Oモジュールは、ファームウェアインストール処理の間、自動的にアップデートされます。

すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\D2000.logに記録され、フラッシュの要約は、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\cpqsetup.logに記録されます。

修正

このバージョンでは、次の修正が追加されています。

誤ったアルゴリズムによるFAULT_SENSEDビットに関するアクションを削除しました。

サポートしているデバイスおよび機能

D2600 / D2700エンクロージャーは、どのHPストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます。

- HP H222 ホストバスアダプター
- HP H221 ホストバスアダプター
- HP H241 Smartホストバスアダプター
- HP SmartアレイP812コントローラー
- HP SmartアレイP822コントローラー
- HP SmartアレイP841コントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP SmartアレイP431コントローラー
- HP SmartアレイP421コントローラー
- HP SmartアレイP411コントローラー
- HP SmartアレイP212コントローラー
- HP SmartアレイP222コントローラー

HP D3600/D3700 12Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64)

バージョン: 3.61 (クリティカル)

ファイル名: RPMS/x86_64/hp-firmware-d3600-d3700-3.61-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要: ファームウェアのアップグレードは、システム全体のI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

事前要件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システム全体のI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

修正

- バグ:158597- パワーサイクリング後の状態により使用不可能なドライブがあります
- バグ180187 - シャーロック内の誤検出: PcfgファイルJBOD ID とJBODよりレポートされたIDがマッチしません - しかしログにミスマッチはありません

サポートしているデバイスおよび機能

D3600 / D3700エンクロージャーは、どのHPストレージコントローラーにも接続できます。

- HP SmartアレイP822コントローラー
- HP SmartアレイP421コントローラー
- HP SmartアレイP431コントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP H221ホストバスアダプター
- HP H222ホストバスアダプター

HP D3600/D3700 12Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネント for Linux (x86)

バージョン: 3.61 (クリティカル)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-d3600-d3700-3.61-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要: ファームウェアのアップグレードは、システム全体のI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

事前要件

重要： ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告！ このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注： すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

修正

- バグ:158597- パワーサイクリング後の状態により使用不可能なドライブがあります
- バグ180187 - シャーロック内の誤検出：PcfgファイルJBOD ID とJBODよりレポートされたIDがマッチしません - しかしログにミスマッチはありません

サポートしているデバイスおよび機能

D3600 / D3700エンクロージャーは、どのHPストレージコントローラーにも接続できます。

- HP SmartアレイP822コントローラー
- HP SmartアレイP421コントローラー
- HP SmartアレイP431コントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP H221ホストバスアダプター
- HP H222ホストバスアダプター

HP D3600/D3700 12Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネント for VMware (esxi)

バージョン: 3.61 (**クリティカル**)

ファイル名: CP032023.md5; CP032023.zip

重要な注意！

重要： ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告！ このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注： すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

事前要件

重要： ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告！ このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注： すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

修正

- バグ:158597- パワーサイクリング後の状態により使用不可能なドライブがあります
- バグ180187 - シャーロック内の誤検出：PcfgファイルJBOD ID とJBODよりレポートされたIDがマッチしません - しかしログにミスマッチはありません

サポートしているデバイスおよび機能

D3600 / D3700エンクロージャーは、どのHPストレージコントローラーにも接続できます。

- HP SmartアレイP822コントローラー
- HP SmartアレイP421コントローラー
- HP SmartアレイP431コントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP SmartアレイP721mコントローラー
- HP SmartアレイP731mコントローラー
- HP H221ホストバスアダプター
- HP H222ホストバスアダプター

HP D3600/D3700 12Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64)

バージョン: 3.61 (**クリティカル**)

ファイル名: cp032026.exe

重要な注意！

重要： 特定のサードパーティ製HDDがインストールされている場合、D3000 JBODの潜在的な問題のため、D3000上で現在FWバージョン2.02を実行している顧客はすべてのD3x00ストレージエンクロージャーのファームウェアをv1.72に置き換える必要があります。FW v1.72は、JBODで以前のバージョンのFWを現在実行しているすべてのD3x00ストレージエンクロージャーについてもおすすめします。

詳細については、[カスタマーアドバイザリ](#)を参照してください。

重要： ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告！ このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注： すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\cpqsetup.logに記録されます。

事前要件

重要： ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告！ このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注： すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\cpqsetup.logに記録されます。

修正

- バグ:158597- パワーサイクリング後の状態により使用不可能なドライブがあります
- バグ180187 - シャーロック内の誤検出：PcfgファイルJBOD ID とJBODよりレポートされたIDがマッチしません - しかしログにミスマッチはありません

サポートしているデバイスおよび機能

D3600 / D3700エンクロージャーは、どのHPストレージコントローラーにも接続できます。

- HP SmartアレイP822コントローラー
- HP SmartアレイP421コントローラー
- HP SmartアレイP431コントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP SmartアレイP721mコントローラー
- HP SmartアレイP731mコントローラー
- HP H221ホストバスアダプター
- HP H222ホストバスアダプター

HP D3600/D3700 12Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネント for Windows (x86)

バージョン: 3.61 (**クリティカル**)

ファイル名: cp032022.exe

重要な注意!

重要: 特定のサードパーティ製HDDがインストールされている場合、D3000 JBODの潜在的な問題のため、D3000上で現在FWバージョン2.02を実行している顧客はすべてのD3x00ストレージエンクロージャーのファームウェアをv1.72に置き換える必要があります。FW v1.72は、JBODで以前のバージョンのFWを現在実行しているすべてのD3x00ストレージエンクロージャーについてもおすすめします。

詳細については、[カスタマーアドバイザリ](#)を参照してください。

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\cpqsetup.logに記録されます。

事前要件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\cpqsetup.logに記録されます。

修正

- バグ:158597- パワーサイクリング後の状態により使用不可能なドライブがあります
- バグ180187 - シャーロック内の誤検出: PcfgファイルJBOD ID とJBODよりレポートされたIDがマッチしません - しかしログにミスマッチはありません

サポートしているデバイスおよび機能

D3600 / D3700エンクロージャーは、どのHPストレージコントローラーにも接続できます。

- HP SmartアレイP822コントローラー

- HP SmartアレイP421コントローラー
- HP SmartアレイP431コントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP SmartアレイP721mコントローラー
- HP SmartアレイP731mコントローラー
- HP H221ホストバスアダプター
- HP H222ホストバスアダプター

HP D6000 6Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64)
バージョン: 2.98 (**クリティカル**)
ファイル名: RPMS/x86_64/hp-firmware-smartarray-d6000-2.98-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

重要: 電源入/切シーケンスには、構成の完全性を維持することが重要です。詳細は、"HP D6000 ディスクエンクロージャーユーザーガイド"の文書を参照してください。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注意: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/Verbose.log に記録され、フラッシュの概要は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

事前要件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注意: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/Verbose.logに記録され、フラッシュの概要は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

修正

以下の問題がこのファームウェアのバージョンで修正されます:

12GB SAS HDDがエンクロージャー内に搭載されている場合、ディスクディスクバリアをサポートするために、SASエキスパンダーの設定を変更しました。

サポートしているデバイスおよび機能

HP D6000 ディスクエンクロージャーは、以下のデバイスの後部で接続できます:

- HP H222ホストバスアダプター
- HP H221ホストバスアダプター
- HP H241 Smart ホストバスアダプター
- HP SmartアレイP731mコントローラー
- HP SmartアレイP741mコントローラー
- HP SmartアレイP721mコントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP SmartアレイP431コントローラー
- HP SmartアレイP822コントローラー
- HP SmartアレイP841コントローラー

- HP SmartアレイP421コントローラー

HP D6000 6Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネント for Linux (x86)

バージョン: 2.98 (クリティカル)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-smartarray-d6000-2.98-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

重要: 電源入/切シーケンスには、構成の完全性を維持することが重要です。詳細は、"HP D6000 ディスクエンクロージャーユーザーガイド"の文書を参照してください。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注意: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/Verbose.log に記録され、フラッシュの概要は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

事前要件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注意: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/Verbose.logに記録され、フラッシュの概要は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

修正

以下の問題がこのファームウェアのバージョンで修正されます:

12GB SAS HDDがエンクロージャー内に搭載されている場合、ディスクディスカバリーをサポートするために、SASエキスパンダーの設定を変更しました。

サポートしているデバイスおよび機能

HP D6000 ディスクエンクロージャーは、以下のデバイスの後部で接続できます:

- HP H222ホストバスアダプター
- HP H221ホストバスアダプター
- HP H241 Smart ホストバスアダプター
- HP SmartアレイP731mコントローラー
- HP SmartアレイP741mコントローラー
- HP SmartアレイP721mコントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP SmartアレイP431コントローラー
- HP SmartアレイP822コントローラー
- HP SmartアレイP841コントローラー
- HP SmartアレイP421コントローラー

HP D6000 6Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネント for VMware (esxi)

バージョン: 2.98 (クリティカル)

ファイル名: CP029051.md5; CP029051.zip

重要な注意！

重要：ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

重要：電源入/切シーケンスには、構成の完全性を維持することが重要です。詳細は、"HP D6000 ディスクエンクロージャーユーザーガイド"の文書を参照してください。

警告！このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注：すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/Verbose.logに記録され、フラッシュの概要は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

事前要件

重要：ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告！このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注意：すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/Verbose.logに記録され、フラッシュの概要は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

修正

以下の問題がこのファームウェアのバージョンで修正されます：

12GB SAS HDDがエンクロージャー内に搭載されている場合、ディスクディスクバリアをサポートするために、SAS エキスパンダーの設定を変更しました。

サポートしているデバイスおよび機能

HP D6000 ディスクエンクロージャーは、以下のデバイスの後部で接続できます：

- HP H222ホストバスアダプター
- HP H221ホストバスアダプター
- HP H241 Smart ホストバスアダプター
- HP SmartアレイP731mコントローラー
- HP SmartアレイP741mコントローラー
- HP SmartアレイP721mコントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP SmartアレイP431コントローラー
- HP SmartアレイP822コントローラー
- HP SmartアレイP841コントローラー
- HP SmartアレイP421コントローラー

Windows用オンラインROMフラッシュコンポーネント - HPEホストバスアダプターH220、H221、H222、H210i、およびH220i

バージョン: 15.10.10.00 (推奨)

ファイル名: cp031287.exe; cp031287.md5

修正

バージョン15.10.10.00で修正された問題：

- HPE Dynamic Smart アレイB320i RAIDコントローラーで構成されたHPE ProLiant BL420c Gen8サーバーが、起動に失敗してPower-On Self-Test (POST)の間にシステムが止まりました。いくつかのインスタンスで、"1783 Driver Array Controller Failure"というメッセージが表示されました。詳細については、HPEカスタマーアドバイザーリ [c05317927](https://support.hpe.com/hpsc/swd/document.aspx?id=hp-a00001783) (英語)を参照してください。

ファームウェア - ストレージファイバーチャネル

[先頭](#)

Emulexファイバーチャネルホストバスおよびコンバージドネットワークアダプター for VMware vSphere 5.5および6.0用

HPEファームウェアフラッシュ

バージョン: 2016.10.05 (推奨)

ファイル名: CP031843.md5; CP031843.zip

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric Emulex アダプターリリースノート](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

修正

この修正は以下を解決しました:

- 650FLBまたは650Mアダプター搭載のProLiant Gen 9 c-クラスサーバーブレードが、Power-On Self Test (POST) を完了しないことがある予想外の動作
- ファームウェアを11.1.183.23にアップグレードした後で、ネットワークポートが接続を失う予想外の動作
- 650FLBネットワークポートが突然同じMACアドレスを割り当てられて、その結果ネットワークパケットが間違ったポートに送信される予想外の動作
- Microsoft Windowsが突然終了する動作
- この修正は、16Gb HBAが3PARアレイのターゲットポートに直接接続されていると、ログインできない問題を解決します。

拡張

CNA(XE100シリーズ)ファームウェアへアップデートしました

含まれるもの:

CNA (BE3) ファームウェア 11.1.183.23

CNA (XE100シリーズ) ファームウェア11.1.183.62

16 Gb HBA/メザニンユニバーサルブート 11.1.183.58

8 Gbスタンドアップ/メザニンファームウェア2.03x6

8 Gbスタンドアップユニバーサルブートイメージ5.21x11 (2.20a7 BIOS、4.20a15 UEFI)

8 Gb メザニンユニバーサルブートイメージ6.21x1 (3.30a14 BIOS、4.20a15 UEFI)

サポートしているデバイスおよび機能

8Gb FC:

- HP 81E 8Gb Single Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb Dual Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

- Emulex LPe1205 8Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem
- HP LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- HP StoreFabric 84E 4-portファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FC:

- HP SN1000E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP ファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニン
- HP SN1100E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gb FC HBA
- HPE Synergy 3530C 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター

BE3 :

- HP NC552SFP 10Gb 2-port Ethernetサーバーアダプター
- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP CN1100E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HP Flex-10 10Gb 2-port 552Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター

XE100 シリーズ :

- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 557SFP+アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター

Emulexファイバーチャネルホストバスアダプター用HPEファームウェアフラッシュ - Linux (x64)

バージョン: 2016.10.04 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/hp-firmware-fc-emulex-2016.10.04-1.5.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric Emulex アダプターリリースノート](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください。

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

展開のためにHP SUMによってこのファームウェアコンポーネントが識別される前に、HPEが提供するEmulexドライバおよびインストーラメントキットをインストールする必要があります。ドライバおよびインストーラメントキットは、HPE.comのウェブサイト<http://www.hpe.com/>で利用できます。

Linux FCドライバキット for HPE Branded Emulex FC HBAおよびメザニンカード, バージョン11.1.183.21, for RedHat 6, RedHat 7, Novell SUSE 11およびSUSE12

HPEファイバーチャネルEnablementキット for Linux, HP-CNA-FC-Emulex_Enablement-Kit, バージョン11.1.183.22-

イネーブルメントキットは、OSインストールメディアからlibHBAAPIパッケージをインストールされたターゲット環境を必要とします。

FCドライバーキットをインストールし、再起動してからイネーブルメントキットをインストールしてください。

追加の要件：

環境には

を実行するためのフラッシュエンジン対応のsyslogデーモンが動作していません。環境には、32-bit netlink library (libnl.so)がインストールされていて、Emulex HBAを検出することができなくてはなりません。

修正

この修正は、16Gb HBAが3PARアレイのターゲットポートに直接接続されていると、ログインできない問題を解決します。

拡張

ファイバーチャネルおよびコンバージドネットワークアダプターをアップデートする別々のコンポーネントがあります。これは、ファイバーチャネルアップデートコンポーネントです。

16Gb HBA/メザニンユニバーサルブートをアップデートしました

含まれるもの：

16 Gb HBA/メザニンユニバーサルブート 11.1.183.58

8 Gbスタンドアップ/メザニンファームウェア2.03X6

8 Gbスタンドアップユニバーサルブートイメージ5.21x11 (2.20a7 BIOS、4.20a15 UEFI)

8 Gb メザニンユニバーサルブートイメージ6.21x1 (3.30a14 BIOS、4.20a15 UEFI)

サポートしているデバイスおよび機能

- HP SN1000E 16Gb デュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb デュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 81E 8Gb シングルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem c-Class
- Emulex LPe1205 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for c-Class BladeSystem
- HP SN1100E 16Gb デュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP ファイバーチャネル 16Gb LPe1605メザニン
- HP StoreFabric 84E 4ポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3530C 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gb FC HBA

Emulexファイバーチャネルホストバスアダプター用HPEファームウェアフラッシュ - Linux (x86)

バージョン: 2016.10.04 (**推奨**)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-fc-emulex-2016.10.04-1.3.i386.rpm

重要な注意!

リリースノート：

[HPE StoreFabric Emulex アダプターリリースノート](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください。

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

展開のためにHP SUMによってこのファームウェアコンポーネントが識別される前に、HPEが提供するEmulexドライバーおよびイネーブルメントキットをインストールする必要があります。ドライバーおよびイネーブルメントキットは、HPE.comのウェブサイト<http://www.hpe.com/>で利用できます。

Linux FCドライバーキット for HPE Branded Emulex FC HBAおよびメザニンカード, バージョン11.1.183.21, for RedHat 6, RedHat 7, Novell SUSE 11およびSUSE12

HPEファイバーチャネルEnablementキット for Linux, HP-CNA-FC-Emulex_Enablement-Kit, バージョン11.1.183.22-1

イネーブルメントキットは、OSインストールメディアからlibHBAAPIパッケージをインストールされたターゲット環境を必要とします。

FCドライバーキットをインストールし、再起動してからイネーブルメントキットをインストールしてください。

追加の要件：

環境には

を実行するためのフラッシュエンジン対応のsyslogデーモンが動作していません。環境には、32-bit netlink library (libnl.so)がインストールされていて、Emulex HBAを検出することができなくてはなりません。

修正

この修正は、16Gb HBAが3PARアレイのターゲットポートに直接接続されていると、ログインできない問題を解決します。

拡張

ファイバーチャネルおよびコンバージドネットワークアダプターをアップデートする別々のコンポーネントがあります。これは、ファイバーチャネルアップデートコンポーネントです。

16 Gb HBA/メザニンユニバーサルブートをアップデートしました

含まれるもの：

16 Gb HBA/メザニンユニバーサルブート 11.1.183.58

8 Gbスタンドアップ/メザニンファームウェア2.03X6

8 Gbスタンドアップユニバーサルブートイメージ5.21x11 (2.20a7 BIOS、4.20a15 UEFI)

8 Gb メザニンユニバーサルブートイメージ6.21x1 (3.30a14 BIOS、4.20a15 UEFI)

サポートしているデバイスおよび機能

- HP SN1000E 16Gb デュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb デュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 81E 8Gb シングルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem c-Class
- Emulex LPe1205 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for c-Class BladeSystem
- HP SN1100E 16Gb デュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP ファイバーチャネル 16Gb LPe1605メザニン
- HP StoreFabric 84E 4ポートファイバーチャネルホストバスアダプター

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric Emulex アダプターリリースノート](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください。

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

展開のためにHP SUMによってこのファームウェアコンポーネントが識別される前に、HPEが提供するEmulexドライバーをインストールする必要があります。ドライバーは、HPE.com のウェブサイト<http://www.hpe.com/>で利用できます。

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキット for x86 Emulex Storportドライバー v11.1.145.16 cp029980.exe

修正

この修正は、16Gb HBAが3PARアレイのターゲットポートに直接接続されていると、ログインできない問題を解決します。

拡張

ファイバーチャネルおよびコンバージドネットワークアダプターをアップデートする別々のコンポーネントがあります。これは、ファイバーチャネルアップデートコンポーネントです。

16 Gb HBA/メザンユニバーサルブートをアップデートしました

含まれるもの:

16 Gb HBA/メザンユニバーサルブート 11.1.183.58

8 Gbスタンドアップ/メザンファームウェア2.03X6

8 Gbスタンドアップユニバーサルブートイメージ5.21x11 (2.20a7 BIOS、4.20a15 UEFI)

8 Gb メザンユニバーサルブートイメージ6.21x1 (3.30a14 BIOS、4.20a15 UEFI)

サポートしているデバイスおよび機能

- HP SN1000E 16Gb デュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb デュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 81E 8Gb シングルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem c-Class
- Emulex LPe1205 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for c-Class BladeSystem
- HP SN1100E 16Gb デュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP ファイバーチャネル 16Gb LPe1605メザン
- HP StoreFabric 84E 4ポートファイバーチャネルホストバスアダプター

バージョン: 2016.10.04 (推奨)

ファイル名: cp031813.exe

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric Emulex アダプターリリースノート](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください。

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

展開のためにHP SUMによってこのファームウェアコンポーネントが識別される前に、HPEが提供するEmulexドライバーをインストールする必要があります。ドライバーは、HPE.com のウェブサイト<http://www.hpe.com/>で利用できます。

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキット for x64 Emulex Storportドライバー v11.1.145.16 cp029981.exe

修正

この修正は、16Gb HBAが3PARアレイのターゲットポートに直接接続されていると、ログインできない問題を解決します。

拡張

ファイバーチャネルおよびコンバージドネットワークアダプターをアップデートする別々のコンポーネントがあります。これは、ファイバーチャネルアップデートコンポーネントです。

16 Gb HBA/メザンユニバーサルブートをアップデートしました

含まれるもの:

16 Gb HBA/メザンユニバーサルブート 11.1.183.58

8 Gbスタンドアップ/メザンファームウェア2.03X6

8 Gbスタンドアップユニバーサルブートイメージ5.21x11 (2.20a7 BIOS、4.20a15 UEFI)

8 Gb メザンユニバーサルブートイメージ6.21x1 (3.30a14 BIOS、4.20a15 UEFI)

サポートしているデバイスおよび機能

- HP SN1000E 16Gb デュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb デュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 81E 8Gb シングルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem c-Class
- Emulex LPe1205 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for c-Class BladeSystem
- HP SN1100E 16Gb デュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP ファイバーチャネル 16Gb LPe1605メザン
- HP StoreFabric 84E 4ポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3530C 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gb FC HBA

バージョン: 2015.02.01 (B) (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/hp-firmware-fc-brocade-2015.02.01-2.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HP StorageWorks Brocade Fibre Channel Host Bus Adapters Release Notes](#) (英語)

事前要件

展開のためにHP SUMによりこのファームウェアコンポーネントが識別される前に、HPが供給するイネーブルメントキットをインストールする必要があります。 ソフトウェアはwww.hp.com/go/fchbaから入手可能です。 製品を選択してからイネーブルメントキットを探すために"Software and Drivers"ページを選択します。 イネーブルメントキットは、www.hp.com/jp/spp_dlから入手できるHP Service Pack for ProLiant (SPP) version 2015.03.0上でも利用可能です。

- HPファイバーチャネルEnablementキット for Linux, HP-FC-Brocade-Enablement-Kit-5.0.0.0-3.x86_64.rpm

拡張

このコンポーネントは、バージョン2015.02.01と同じペイロードを含みます。しかし、rpmに含まれる実行可能ファイルは、すべてのHP Linuxファームウェアコンポーネント全体で、共通性のために名前が変更されました。

アップデートされたブートBIOSバージョン 3.2.5.0を含みます。このバージョンは、以下のオペレーティングシステムでサポートされます。

- Red Hat Enterprise Linux 6 Update 5 および 6
- Red Hat Enterprise Linux 7
- SUSE Linux Enterprise Server 12

サポートしているデバイスおよび機能

このファームウェアは、以下のHPアダプターをサポートします。

- HP 81B PCIe 8Gbファイバーチャネルシングルポートホストバスアダプター
- HP 82B PCIe 8Gbファイバーチャネルデュアルポートホストバスアダプター
- Brocade 804 8GbファイバーチャネルHBA for c-Class BladeSystem

QLogic BR-シリーズ ファイバーチャネルホストバスアダプター用HPファームウェアフラッシュ - vSphere 5.5および6.0

バージョン: 2015.02.01 (b) (推奨)

ファイル名: CP025934.md5; CP025934.zip

重要な注意!

リリースノート:

[HP StorageWorks Brocade Fibre Channel Host Bus Adapters Release Notes](#) (英語)

拡張

このコンポーネントは、バージョン2015.02.01と同じペイロードを含みます。しかし、結果として生じる実行可能なフォーマットは、.scexeから.zipに変更されました。

ブートBIOSバージョン 3.2.5.0を含みます。

サポートしているデバイスおよび機能

このファームウェアは、以下のHPアダプターをサポートします。

- HP 81B PCIe 8Gbファイバーチャネルシングルポートホストバスアダプター
- HP 82B PCIe 8Gbファイバーチャネルデュアルポートホストバスアダプター

- Brocade 804 8GbファイバーチャネルHBA for c-Class BladeSystem

QLogic BR-シリーズ ファイバーチャネルホストバスアダプター用HPファームウェアオンラインフラッシュ - Windows 2008 R2/2012/2012 R2 (x64)
バージョン: 2015.02.01 (推奨)
ファイル名: cp025186.exe

重要な注意!

リリースノート:

[HP StorageWorks Brocade Fibre Channel Host Bus Adapters Release Notes](#) (英語)

事前要件

展開のためにHP SUMによりこのファームウェアコンポーネントが識別される前に、HPが供給するQLogic BR-シリーズドライバーをインストールする必要があります。ソフトウェアは www.hp.com/go/fchba から入手可能です。製品を選択してから必要なドライバーを探すために"Software and Drivers"ページを選択します。HP Brocadeドライバーは、www.hp.com/jp/spp_dl から入手できるHP Service Pack for ProLiant (SPP) バージョン2015.03.0上でも利用可能です。

- HP Storage x64 QLogic BR-シリーズ Storportファイバーチャネルホストバスアダプタードライバー for Microsoft Windows Server 2008 R2、バージョン3.2.5.0、cp025314.exe
- HP Storage x64 QLogic BR-シリーズ Storportファイバーチャネルホストバスアダプタードライバー for Microsoft Windows Server 2012 R2、バージョン3.2.5.0、cp025313.exe
- HP Storage x64 QLogic BR-シリーズ Storportファイバーチャネルホストバスアダプタードライバー for Microsoft Windows Server 2012 R2、バージョン3.2.5.0、cp025052.exe

拡張

ブートBIOSはHPのQLogic BR-シリーズ 3.2.5.0ドライバーと同期するようにバージョン3.2.5.0にアップデートされました。

サポートしているデバイスおよび機能

このファームウェアは、以下のHPアダプターをサポートします。

- HP 81B PCIe 8Gbファイバーチャネルシングルポートホストバスアダプター
- HP 82B PCIe 8Gbファイバーチャネルデュアルポートホストバスアダプター
- Brocade 804 8GbファイバーチャネルHBA for c-Class BladeSystem

QLogicファイバーチャネルホストバスアダプター for VMware vSphere 5.5およびVMware vSphere 6.0用HPEファームウェアフラッシュ
バージョン: 2016.10.01 (推奨)
ファイル名: CP029695.md5; CP029695.zip

重要な注意!

[HPE StoreFabric QLogic アダプターリリースノート](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

以下のデバイスのサポートを追加しました。

- HPE StoreFabric 84Q 4P 8Gb ファイバーチャネル HBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 1P FC HBA
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

8 Gbおよび16 Gb製品のためのファームウェア/BIOS/UEFIパッケージをアップデートしました。

- 8 Gb HBA/メザニン
 - パッケージ3.75.07
 - ファームウェア 8.02.00
 - UEFI 6.45
 - BIOS 3.31
- 16 Gb HBA/メザニン
 - パッケージ6.01.14
 - ファームウェア 8.02.51
 - UEFI 6.39
 - BIOS 3.31
- 16 Gb SN1100Q
 - パッケージ1.70.17
 - ファームウェア 8.03.05
 - UEFI 6.19
 - BIOS 3.37

サポートしているデバイスおよび機能

このファームウェアは、以下のHPEアダプターをサポートします。

- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- QLogic QMH2562 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP QMH2672 16Gb FC HBA for c-Class BladeSystem
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8Gb ファイバーチャネル HBA
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

QLogicファイバーチャネルホストバスアダプター用HPEファームウェアフラッシュ - Linux (x86)

バージョン: 2016.10.01 (**推奨**)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-fc-qlogic-2016.10.01-1.22.i386.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric QLogic アダプターリリースノート](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください。

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

展開のためにHP SUMによりこのファームウェアコンポーネントが識別される前に、HPEが供給するQLogicドライバーおよびインネーブルメントキットをインストールする必要があります。そのソフトウェアはService Pack for ProLiant 2016.10.0で使用可能です。<http://www.hpe.com/servers/spp/download>で入手できます:

- SUSE Linux Enterprise Server 11 (AMD64/EM64T) FCoE/FCドライバーキットfor HPE QLogic CNA、HBAおよびメザニンHBA、バージョン8.07.00.34.11.3-k
- HPEファイバーチャネルインネーブルメントキット for Linux - QLogic、バージョン6.0.0.0-2

拡張

8 Gbおよび16 Gb製品のためのファームウェア/BIOS/UEFIパッケージをアップデートしました。

- 8 Gb HBA/メザニン
 - パッケージ3.75.07
 - ファームウェア 8.02.00
 - UEFI 6.45
 - BIOS 3.31
- 16 Gb HBA/メザニン
 - パッケージ6.01.14
 - ファームウェア 8.02.51
 - UEFI 6.39
 - BIOS 3.31

サポートしているデバイスおよび機能

このファームウェアは、以下のHPアダプターをサポートします。

- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- QLogic QMH2562 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP QMH2672 16Gb FC HBA for c-Class BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

QLogicファイバーチャネルホストバスアダプター用HPEファームウェアフラッシュ - Linux (x86_64)

バージョン: 2016.10.01 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/hp-firmware-fc-qlogic-2016.10.01-1.8.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric QLogic アダプターリリースノート](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください。

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

展開のためにHP SUMによりこのファームウェアコンポーネントが識別される前に、HPEが供給するQLogicドライバーおよびインネーブルメントキットをインストールする必要があります。www.hpe.com/servers/spp/downloadから入手可能な、HPE Support Pack for ProLiant 2016.10.0に含まれる適切なソフトウェアを使用します。

- Red Hat Enterprise Linux 6 Server (x86-64) FCoE/FCドライバーキットfor HPE Qlogic CNA、HBAおよびメザニンHBA、バージョン8.07.00.34.06.0-k4
- Red Hat Enterprise Linux 7 Server FCoE/FCドライバーキットfor HPE QLogic CNA、HBAおよびメザニンHBAおよびCNA、バージョン8.07.00.34.07.0-k4
- SUSE Linux Enterprise Server 11 (AMD64/EM64T) FCoE/FCドライバーキットfor HPE Qlogic CNA、HBAおよびメザニンHBA、バージョン8.07.00.34.11.3-k
- SUSE Linux Enterprise Server 12 FCoE/FCドライバーキットfor HPE QLogic CNA、HBAおよびメザニンHBAおよびCNAバージョン 8.07.00.34.12.0-k1
- HPEファイバーチャネルイネーブルメントキット for Linux - QLogic、バージョン6.0.0.0-2

拡張

以下のデバイスのサポートを追加しました。

- HPE StoreFabric 84Q 4P 8Gb ファイバーチャネル HBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 1P FC HBA
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

8 Gbおよび16 Gb製品のためのファームウェア/BIOS/UEFIパッケージをアップデートしました。

- 8 Gb HBA/メザニン
 - パッケージ3.75.07
 - ファームウェア 8.02.00
 - UEFI 6.45
 - BIOS 3.31
- 16 Gb HBA/メザニン
 - パッケージ6.01.14
 - ファームウェア 8.02.51
 - UEFI 6.39
 - BIOS 3.31
- 16 Gb SN1100Q
 - パッケージ01.70.17
 - ファームウェア 8.03.05
 - UEFI 6.19
 - BIOS 3.37

サポートしているデバイスおよび機能

このファームウェアは、以下のHPアダプターをサポートします。

- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- QLogic QMH2562 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP QMH2672 16Gb FC HBA for c-Class BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8Gb ファイバーチャネル HBA
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

ファイル名: cp030690.exe

重要な注意！

リリースノート:

[HPE StoreFabric QLogic アダプターリリースノート](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください。

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

展開のためにHP SUMによりこのファームウェアコンポーネントが識別される前に、HPEが供給するQLogicドライバーをインストールする必要があります。次のリンク:<http://www.hpe.com/servers/spp/download>から入手可能な、HPE Service Pack for ProLiant 2016.10.0に含まれる適切なドライバーを使用してください。

- HPE Storageファイバーチャネルアダプターキット for QLogic Storportドライバー for Windows Server 2016 v9.2.2.20、cp029979.exe

拡張

以下のデバイスのサポートを追加しました。

- HPE StoreFabric 84Q 4P 8Gb ファイバーチャネル HBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 1P FC HBA
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

8 Gbおよび16 Gb製品のためのファームウェア/BIOS/UEFIパッケージをアップデートしました。

- 8 Gb HBA/メザニン
 - パッケージ3.75.07
 - ファームウェア 8.02.00
 - UEFI 6.45
 - BIOS 3.31
- 16 Gb HBA/メザニン
 - パッケージ6.01.14
 - ファームウェア 8.02.51
 - UEFI 6.39
 - BIOS 3.31
- 16 Gb SN1100Q
 - パッケージ01.70.17
 - ファームウェア 8.03.05
 - UEFI 6.19
 - BIOS 3.37

サポートしているデバイスおよび機能

このファームウェアは、以下のアダプターをサポートします。

- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- QLogic QMH2562 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP QMH2672 16Gb FC HBA for c-Class BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8Gb ファイバーチャネル HBA
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

QLogicファイバーチャネルホストバスアダプター用HPEファームウェアオンラインフラッシュ - Windows 2008 (x86)
バージョン: 2016.10.01 (推奨)
ファイル名: cp028117.exe

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric QLogic アダプターリリースノート](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください。

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

展開のためにHP SUMによりこのファームウェアコンポーネントが識別される前に、HPEが供給するQLogicドライバーをインストールする必要があります。次のリンク:<http://www.hpe.com/servers/spp/download>から入手可能な、HPE Service Pack for ProLiant 2016.10.0に含まれる適切なドライバーを使用してください。

- HPE Storage Fibre Channelアダプターキットfor the x86 QLogic Storport Driver v9.1.17.22、 cp028132.exe
- HPE Storageファイバーチャネルオーバーイーサーネットアダプターキット for x86 QLogic Storportドライバー - v9.1.13.10、 cp025686.exe

拡張

8 Gbおよび16 Gb製品のためのファームウェア/BIOS/UEFIパッケージをアップデートしました。

- 8 Gb HBA/メザニン
 - パッケージ3.75.07
 - ファームウェア 8.02.00
 - UEFI 6.45
 - BIOS 3.31
- 16 Gb HBA/メザニン
 - パッケージ6.01.14
 - ファームウェア 8.02.51
 - UEFI 6.39
 - BIOS 3.31

サポートしているデバイスおよび機能

このファームウェアは、以下のHPアダプターをサポートします。

- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- QLogic QMH2562 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP QMH2672 16Gb FC HBA for c-Class BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

QLogicファイバーチャネルホストバスアダプター用HPEファームウェアオンラインフラッシュ - Windows
2008/2012 (x64)
バージョン: 2016.10.01 (推奨)
ファイル名: cp029691.exe

重要な注意!

リリースノート：
[HPE StoreFabric QLogic アダプターリリースノート](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください。

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

展開のためにHP SUMによりこのファームウェアコンポーネントが識別される前に、HPEが供給するQLogicドライバーをインストールする必要があります。次のリンク:<http://www.hpe.com/servers/spp/download>から入手可能な、HPE Service Pack for ProLiant 2016.10.0に含まれる適切なドライバーを使用してください。

- HPE Storage Fibre Channelアダプターキットfor the x64 QLogic Storport Driver v9.1.17.22, cp028133.exe
- Windows Server 2012および2012 R2用HPE Storage Fibre Channelアダプターキット for QLogic Storportドライバー v9.1.17.22、cp028134.exe
- HPE Storageファイバーチャネルオーバーイーサーネットアダプターキット for x64 QLogic Storportドライバー v9.1.13.10, cp025685.exe
- Windows Server 2012および2012 R2用HPE Storageファイバーチャネルオーバーイーサーネットアダプターキットfor QLogic StorPortドライバー v9.1.13.10、cp025684.exe

拡張

以下のデバイスのサポートを追加しました。

- HPE StoreFabric 84Q 4P 8Gb ファイバーチャネル HBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 1P FC HBA
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

8 Gbおよび16 Gb製品のためのファームウェア/BIOS/UEFIパッケージをアップデートしました。

- 8 Gb HBA/メザニン
 - パッケージ3.75.07
 - ファームウェア 8.02.00
 - UEFI 6.45
 - BIOS 3.31
- 16 Gb HBA/メザニン
 - パッケージ6.01.14
 - ファームウェア 8.02.51
 - UEFI 6.39
 - BIOS 3.31
- 16 Gb SN1100Q
 - パッケージ01.70.17
 - ファームウェア 8.03.05
 - UEFI 6.19
 - BIOS 3.37

サポートしているデバイスおよび機能

このファームウェアは、以下のアダプターをサポートします。

- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- QLogic QMH2562 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP QMH2672 16Gb FC HBA for c-Class BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8Gb ファイバーチャネル HBA
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

ファームウェア - ストレージテープ

[先頭](#)

HPE StoreEverテープファームウェア for Microsoft Windows

バージョン: 4.1.0.0 (オプション)

ファイル名: cp030021.exe

修正

以下にリストされるファームウェアリビジョンで、次の問題を解決しました。

StoreEver LTO-6 Ultrium 6250 SAS テープドライブ

ドライブファームウェアバージョン 35BD

上位 353D

- 書き込み失敗 (0x5093) イベントのクラスの発生を軽減しました。
- **READ POSITION** コマンド後、テープドライブがホストへ誤ったLAST LOGICAL OBJECT POSITIONを報告するまれなケースを修正しました。
- Inquiry Page CCh の報告される製品IDを修正しました。

StoreEver LTO-6 Ultrium 6650 SAS テープドライブ

ドライブファームウェアバージョン O5DD

上位 O53D

- 書き込み失敗 (0x5093) イベントのクラスの発生を軽減しました。
- **READ POSITION** コマンド後、テープドライブがホストへ誤ったLAST LOGICAL OBJECT POSITIONを報告するまれなケースを修正しました。
- Inquiry Page CCh の報告される製品IDを修正しました。

StoreEver LTO-5 Ultrium 3000 SAS テープドライブ

ドライブファームウェアバージョン Z6ED

上位 Z64D

- 以前のコードのリリースで導入された追加の書き込み位置チェックによるオフトラックイベントの後のドライブリセット (アサート) の可能性。

StoreEver LTO-5 Ultrium 3280 SAS テープドライブ

ドライブファームウェアバージョン X6ED

上位 X64D

- 以前のコードのリリースで導入された追加の書き込み位置チェックによるオフトラックイベントの後のドライブレセット（アサート）の可能性。

拡張

以下の機能強化は、次のファームウェアリビジョンおよびデバイスに対してのみ適用されます。

StoreEver LTO-6 Ultrium 6250 SAS テープドライブ

ドライブファームウェアバージョン 35BD

上位 353D

- カートリッジメモリ（CM）がテープ上に有効なEODがないことを示す場合、EOD障害に対するスペースが新しいエラーコード0x50b4で報告されました。
- 追加のロードタイプおよび書き込み失敗を報告するテープアラートが改善されました。
- 内蔵ドライブロギングを強化することによりサポート性を改善しました。
- **VERIFY**コマンドを強化することでサポート性を改善しました。
 - VTE=1の場合、プライマリポートのイミディエイトモードのサポートを追加しました。
 - Verify by Filemarks (VBF)ビットを追加しました。
- TapeAlert は、以前、検出しなかったCM問題を現在は報告しています。

StoreEver LTO-6 Ultrium 6650 SAS テープドライブ

ドライブファームウェアバージョン O5DD

上位 O53D

- カートリッジメモリ（CM）がテープ上に有効なEODがないことを示す場合、EOD障害に対するスペースが新しいエラーコード0x50b4で報告されました。
- 追加のロードタイプおよび書き込み失敗を報告するテープアラートが改善されました。
- 内蔵ドライブロギングを強化することによりサポート性を改善しました。
- **VERIFY**コマンドを強化することでサポート性を改善しました。
 - VTE=1の場合、プライマリポートのイミディエイトモードのサポートを追加しました。
 - Verify by Filemarks (VBF)ビットを追加しました。
- TapeAlert は、以前、検出しなかったCM問題を現在は報告しています。

StoreEver LTO-5 Ultrium 3000 SAS テープドライブ

ドライブファームウェアバージョン Z6ED

上位 Z64D

- スペース障害後のクリーニングリクエストを追加しました。
- CMにテープの無効なEODが示されている場合、EOD障害に対するスペースが新しいエラーコード0x50b4で報告されました。
- Last Logical Object Position をサポートするため、**READ POSITION** コマンドへ機能を追加しました。
- 内蔵ドライブロギングを強化することによりサポート性を改善しました。
- **VERIFY**コマンドを強化することでサポート性を改善しました。
 - Verify to End (VTE)、Verify Logical Block Protection Method (VLBPM)、およびVerify by Filemarks (VBF) ビットを追加しました。
 - VTE=1の場合、プライマリポートのイミディエイトモードのサポートを追加しました。
- 追加のロードタイプおよび書き込み失敗を報告するテープアラートが改善されました。

StoreEver LTO-5 Ultrium 3280 SAS テープドライブ

ドライブファームウェアバージョン X6ED

上位 X64D

- スペース障害後のクリーニングリクエストを追加しました。
- CMにテープの無効なEODが示されている場合、EOD障害に対するスペースが新しいエラーコード0x50b4で報告されました。
- Last Logical Object Position をサポートするため、**READ POSITION** コマンドへ機能を追加しました。

- 内蔵ドライブロギングを強化することによりサポート性を改善しました。
- **VERIFY**コマンドを強化することでサポート性を改善しました。
 - Verify to End (VTE)、Verify Logical Block Protection Method (VLBPM)、およびVerify by Filemarks (VBF) ビットを追加しました。
 - VTE=1の場合、プライマリポートのイミディエイトモードのサポートを追加しました。
- 追加のロードタイプおよび書き込み失敗を報告するテープアラートが改善されました。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージに含まれているサポートされるテープドライブおよびファームウェアリビジョン

テープドライブ	ファームウェアリビジョン
HP DAT 72 USB	ZUD4
HP DAT160 USB	WU8B
HP DAT160 SAS	WSB8
HP DAT320 USB	VUA8
HP DAT320 SAS	VSA6
HP Ultrium 232 SCSI	P61D
HP Ultrium 448 SCSI	S65D
HP Ultrium 448 SAS	T65D
HP Ultrium 460 SCSI	F63D
HP Ultrium 920 SCSI	D26D
HP Ultrium 920 SAS	C26D
HP Ultrium 920 SAS	Q51D
HP Ultrium 960 SCSI	G66D
HP Ultrium 1760 SAS	U64D
HP Ultrium 1760 SCSI	W62D
HP Ultrium 1840 SAS	A63D
HP Ultrium 1840 SCSI	B63D
HP Ultrium 3000 SAS	Z6ED
HP Ultrium 3280 SAS	X6ED
HP Ultrium 6250 SAS	35BD
HP Ultrium 6650 SAS	O5DD

ファームウェア - スイッチ

[先頭](#)

Synergy 10/20 Gb インターコネクトリンクモジュールファームウェア

バージョン: 1.08 (**推奨**)

ファイル名: icmlm_package.xml; icmlm_r108.pkg; InstallNote.sh

拡張

この製品には、以下のファームウェアバージョンが含まれています：

- 10 Gb インターコネクトリンクモジュールバージョン 1.08
- 20 Gb インターコネクトリンクモジュールバージョン 1.08

Synergy 10Gb Pass-Thru モジュール

バージョン: 1.08 (**推奨**)

ファイル名: icmpt_package.xml; icmpt_r108.pkg; InstallNote.sh

修正

リリースノート参照

Synergy用バーチャルコネクト SE 16Gb FC モジュール

バージョン: 1.03.01 (推奨)

ファイル名: Carbon_v7_4_0_CBN2a_Release_Notes.docx; icmvc16gbfc_compatible.xml; pinstall.sh; vcfc2.img

修正

ERRATA_README.txtファイルを参照してください。

拡張

ERRATA_READMEファイルを参照してください。

ソフトウェア - Lights-Outマネジメント

[先頭](#)

ヘッドレスサーバーレジストリアップデート for Windows Server 2008からServer 2012 R2

バージョン: 1.0.0.0 (I) (オプション)

ファイル名: cp029425.exe

拡張

- コンポーネントの実行ファイルは、現在SHA-1およびSHA-256両方の署名でデジタル署名されています。
- Windows Server 2008からWindows Server 2012 R2のみをサポートするようにコンポーネントインストーラーをアップデートしました。

ヘッドレスサーバーレジストリアップデート for Windows Server 2016

バージョン: 1.5.0.0 (オプション)

ファイル名: cp030623.exe

拡張

Windows Server 2016をサポートする最初のリリースです。

HP Lights-Outオンライン設定ユーティリティ for Linux (AMD64/EM64T)

バージョン: 4.6.0-0 (オプション)

ファイル名: hponcfg-4.6.0-0.x86_64.rpm

事前要件

このユーティリティは、以下の最小ファームウェアリビジョンを必要とします。

- Integrated Lights-Out 2ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 3ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 4ファームウェアバージョン1.00以降

マネジメントインターフェイスドライバーおよびマネジメントエージェントはサーバーに必ずインストールされていなければなりません。

修正

LOCK_CONFIGURATIONが有効な場合、HPONCFGは -w オプションで適切なエラーメッセージを表示します。

HP Lights-Outオンライン設定ユーティリティ for Linux (x86/AMD32)

バージョン: 4.6.0 (オプション)

ファイル名: hponcfg-4.6.0-0.i386.rpm

事前要件

このユーティリティは、以下の最小ファームウェアリビジョンを必要とします。

- Integrated Lights-Out 2ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 3ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 4ファームウェアバージョン1.00以降

マネジメントインターフェイスドライバーおよびマネジメントエージェントはサーバーに必ずインストールされていなければなりません。

修正

LOCK_CONFIGURATIONが有効な場合、HPONCFGは -w オプションで適切なエラーメッセージを表示します。

HP Lights-Outオンライン設定ユーティリティ for Windows Server 2008

バージョン: 4.8.0.0 (推奨)

ファイル名: cp028861.exe

事前要件

このユーティリティは、以下の最小ファームウェアリビジョンを必要とします。

- Integrated Lights-Out 2ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 3ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 4ファームウェアバージョン1.00以降

マネジメントインターフェイスドライバーはサーバーに必ずインストールされていなければなりません。

HPONCFG GUIを起動するために、Microsoft .Net Framework 2.0以降が必要です。

修正

- 複数回、同じキーに値を代用にする場合に、オプション 's' と共に使用されるときHPONCFGコマンドラインインターフェイスは、エラーメッセージを表示します。
- HPONCFGは、ファイル拡張子 ".bin" のみでiLOファームウェアアップデートを許可します。
- HPONCFG GUIは、VLAN IDに誤った値が設定された場合、有効な範囲を表示します。
- HPONCFG GUIにあるKerberosレールに長さの検証を追加しました。
- HPONCFG GUIでは、ブレードサーバーに適用されないネットワーク設定がグレー表示されます。

PFAサーバーレジストリアップデート for Windows Server 2008 R2 から Server 2012 R2

バージョン: 1.0.0.0 (G) (オプション)

ファイル名: cp029408.exe

拡張

Windows Server 2012 R2からWindows Server 2008 R2のみをサポートするようにコンポーネントインストーラーをアップデートしました。

PFAサーバーレジストリアップデート for Windows Server 2016

バージョン: 1.5.0.0 (オプション)

ファイル名: cp030624.exe

拡張

Windows Server 2016をサポートする最初のリリースです。

Windows 2008/2012/2016 x64エディション用HP Lights-Outオンライン構成ユーティリティ

バージョン: 4.8.0.0 (推奨)

ファイル名: cp028862.exe

事前要件

このユーティリティは、以下の最小ファームウェアリビジョンを必要とします。

- Integrated Lights-Out 2ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 3ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 4ファームウェアバージョン1.00以降

マネジメントインターフェイスドライバーはサーバーに必ずインストールされていなければなりません。

HPONCFG GUIを起動するために、Microsoft .Net Framework 2.0以降が必要です。

修正

- 複数回、同じキーに値を代用にする場合に、オプション 's'と共に使用されるときHPONCFGコマンドラインインターフェイスは、エラーメッセージを表示します。
- HPONCFGは、ファイル拡張子 ".bin"のみでiLOファームウェアアップデートを許可します。
- HPONCFG GUIは、VLAN IDに誤った値が設定された場合、有効な範囲を表示します。
- HPONCFG GUIにあるKerberosレールムに長さの検証を追加しました。
- HPONCFG GUIでは、ブレードサーバーに適用されないネットワーク設定がグレー表示されます。

ソフトウェア - ネットワーク

[先頭](#)

HPE Intel esx-provider for VMware

バージョン: 2016.10.07 (オプション)

ファイル名: cp029084.zip

修正

この製品では、大量のエラーメッセージが記録される問題を解決しています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361FLB アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361T アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366FLR アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366M アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター

HPE ProLiant Converged Network Utility for Linux x86

バージョン: 5.2.3-1 (オプション)

ファイル名: hp-cnu-5.2.3-1.i386.rpm

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8をサポートします。

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Flex-10 10Gb 2ポート 530Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530T ネットワークアダプター

この製品は現在、IPv4 Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP)を完全にサポートしています。

この製品は現在、OneView 検出メカニズムを提供しています。

この製品は現在、スタティック IPv6 構成をサポートします。

この製品は現在、iSCSI Boot Firmware Table (iBFT)をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Flex-10 10Gb 2-port 530Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530T ネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534Mアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630Mアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Port Converged Network Adapter

HPE ProLiant Converged Network Utility for Linux x86_64

バージョン: 5.2.3-1 (オプション)

ファイル名: hp-cnu-5.2.3-1.x86_64.rpm

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8をサポートします。

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Flex-10 10Gb 2ポート 530Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530T ネットワークアダプター
- HP Flex-10 10Gb 2ポート 530Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート530SFP+アダプター

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530T ネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート 536FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート557SFP+アダプター
- HPE Ethernet 4x25Gb 1ポート 620QSFP28 アダプター
- HPE Synergy 10Gb 2ポート 2820C Ethernet アダプター
- HPE Synergy 3820C 10/20Gbコンバージドネットワークアダプター

この製品は現在、以下のネットワークアダプターについて、 Fibre-Channel over Ethernet N-port ID Virtualization (FCoE NPIV) 構成を提供しています。

- HP Flex-10 10Gb 2ポート 530Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート 536FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 630FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 630Mアダプター
- HP StoreFabric CN1100R デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター
- HPE Synergy 10Gb 2ポート 2820C コンバージドネットワークアダプター
- HPE Synergy 3820C 10/20Gbコンバージドネットワークアダプター

この製品は現在、 IPv4 Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP)を完全にサポートしています。

この製品は現在、 スタティック IPv6 構成をサポートします。

この製品は現在、 iSCSI Boot Firmware Table (iBFT)をサポートしています。

この製品は現在、 OneView 検出メカニズムを提供しています。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Flex-10 10Gb 2-port 530Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530T ネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4-port 536FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 557SFP+アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 4-port 620SFP28アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630Mアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Port Converged Network Adapter
- HPE StoreFabric CN1100R-T Dual Port Converged Network Adapter

- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター
- HPE Synergy 10Gb 2820C Ethernetアダプター
- HPE Synergy 3820C 10/20Gb Converged Network Adapter

HPE ProLiant Converged Network Utility for Windows Server 2008

バージョン: 5.2.3.1 (オプション)

ファイル名: cp028014.exe

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Flex-10 10Gb 2ポート 530Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530T ネットワークアダプター

この製品は現在、IPv4 Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP)を完全にサポートしています。

この製品は現在、OneView 検出メカニズムを提供しています。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Flex-10 10Gb 2ポート 530Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530T ネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534Mアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 630FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 630Mアダプター
- HP StoreFabric CN1100R デュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE ProLiant Converged Network Utility for Windows Server x64 Edition

バージョン: 5.2.3.1 (オプション)

ファイル名: cp030269.exe

拡張

この製品は、Windows Server 2016をサポートします。

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Flex-10 10Gb 2ポート 530Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530T ネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート 536FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート557SFP+アダプター
- HPE Ethernet 4x25Gb 1ポート 620QSFP28 アダプター
- HPE Synergy 10Gb 2ポート 2820C Ethernet アダプター
- HPE Synergy 3820C 10/20Gbコンバージドネットワークアダプター

この製品は現在、以下のネットワークアダプターについて、Fibre-Channel over Ethernet N-port ID Virtualization (FCoE NPIV) 構成を提供しています。

- HP Flex-10 10Gb 2ポート 530Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート 536FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 630FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 630Mアダプター
- HP StoreFabric CN1100R デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター
- HPE Synergy 10Gb 2ポート 2820C コンバージドネットワークアダプター
- HPE Synergy 3820C 10/20Gbコンバージドネットワークアダプター

この製品は現在、IPv4 Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP)を完全にサポートしています。

この製品は現在、OneView 検出メカニズムを提供しています。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Flex-10 10Gb 2-port 530Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530T ネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4-port 536FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 557SFP+アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 4-port 620SFP28アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630Mアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Port Converged Network Adapter
- HPE StoreFabric CN1100R-T Dual Port Converged Network Adapter
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター
- HPE Synergy 10Gb 2820C Ethernetアダプター
- HPE Synergy 3820C 10/20Gb Converged Network Adapter

HPE ProLiantネットワークアダプター for Linux i586用Broadcom Active Health Systemエージェント

バージョン: 1.0.20-1 (オプション)

ファイル名: hp-tg3sd-1.0.20-1.i586.rpm; hp-tg3sd-1.0.20-1.i586.txt

修正

この製品は、tg3sdデーモンがprnインストール後に開始されなければならない問題に対処しています。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のBroadcomネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター(18D2)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(3372)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(2133)
- HP Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター

HPE ProLiantネットワークアダプター for Linux i586用Intel Active Health Systemエージェント

バージョン: 1.1.80.0-1 (**オプション**)

ファイル名: hp-ocsbbd-1.1.80.0-1.i586.rpm; hp-ocsbbd-1.1.80.0-1.i586.txt

修正

この製品は、ocsbbdデーモンがRPMインストール後に開始されなければならない場合の問題に対処しています。

この製品は、Active Health System (AHS) ダッシュボード上のNICファームウェアバージョンおよびシリアル番号の表示に不一致がある問題に対処しています。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のIntel ネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361FLB アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361T アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 364i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366FLR アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366M アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 367i アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb デュアルポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb デュアルポート 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb デュアルポート 561T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 562i アダプター

HPE ProLiantネットワークアダプター for Linux x86_64用Broadcom Active Health Systemエージェント

バージョン: 1.0.20-1 (**オプション**)

ファイル名: hp-tg3sd-1.0.20-1.x86_64.rpm; hp-tg3sd-1.0.20-1.x86_64.txt

修正

この製品は、tg3sdデーモンがrpmインストール後に開始されなければならない問題に対処しています。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のBroadcomネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター(182D)
- HP Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター(22BD)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(3372)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(2133)
- HP Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HP Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター

HPE ProLiantネットワークアダプター for Linux x86_64用Intel Active Health Systemエージェント
バージョン: 1.1.80.0-1 (オプション)

ファイル名: hp-ocsbbd-1.1.80.0-1.x86_64.rpm; hp-ocsbbd-1.1.80.0-1.x86_64.txt

修正

この製品は、ocsbbdデーモンがRPMインストール後に開始されなければならない場合の問題に対処しています。

この製品は、Active Health System (AHS) ダッシュボード上のNICファームウェアバージョンおよびシリアル番号の表示に不一致がある問題に対処しています。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のIntel ネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361FLB アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361T アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 364i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366FLR アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366M アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 367i アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb デュアルポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb デュアルポート 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb デュアルポート 561T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 562i アダプター

ソフトウェア - ストレージコントローラー

先頭

HP ProLiant SmartアレイSAS/SATAイベント通知サービス for 64ビットWindows Server Editions

バージョン: 6.46.0.64 (A) (オプション)

ファイル名: cp030137.exe

拡張

Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

HP ProLiant SmartアレイSAS/SATAイベント通知サービス for Windows Server 2008 (x86) 32ビット

バージョン: 6.36.0.32 (オプション)

ファイル名: cp021155.exe

修正

“最後のロックアップコード”が正しい16進フォーマットで報告されていなかった問題を修正しました。

拡張

- 新しいPHY無効イベントのサポートを追加しました。
- 新しいPHYしきい値超過イベントのサポートを追加しました。

ソフトウェア - ストレージファイバーチャネル

先頭

VMware vSphere 5.5/6.0用のQLogic BR-シリーズ ファイバーチャネルドライバーコンポーネント。

バージョン: 2016.06.01 (推奨)

ファイル名: cp028780.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPアプリケーションによって使用されることを意図します。vmware.comおよびHP vibspot.hp.com Webページに加え、HP特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

ドライバーおよびブートコードを同期するには、アダプタードライバーパッケージをインストールまたはアップデートする前に、アダプターがwww.hp.comにある最新のブートイメージにアップデートされているかを確認してください。

修正

このドライバーバージョンでは、VMware vSphere 6.0 で見られるシステム不安定の問題を修正しています。

拡張

ドライバーバージョンを3.2.6.0へアップデートしました。

このドライバーは、製品説明表示で「QLogic」または「QLogic BR-シリーズ」であると8Gb HBA カードを識別します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

- HP 81B PCIe 8Gbファイバーチャネルシングルポートホストバスアダプター
- HP 82B PCIe 8Gbファイバーチャネルデュアルポートホストバスアダプター

VMware vSphere 5.5用のEmulexファイバーチャネルドライバーコンポーネント。

バージョン: 2016.10.02 (B) (推奨)

ファイル名: cp031675.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPアプリケーションによって使用されることを意図します。vmware.comおよびHP vibspot.hp.com Webページに加え、HP特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

修正

このドライバーバージョン11.1.183.43は、ホストでT10 DIFが有効の場合にI/O処理が反応しなくなる、予想外の動作を解決します。

拡張

このドライバーバージョン11.1.183.43は以下のデバイスのサポートを追加します：

- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA

サポートしているデバイスおよび機能

- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP SN1000E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb Dual Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 81E 8Gb Single Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP CN1100E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター
- HP LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- Emulex LPe1205 8Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem
- HP SN1100E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP ファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニン
- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-T 10GBASE-Tコンバージドネットワークアダプター
- HP StoreFabric 84E 4-portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3530C 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gb FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA

VMware vSphere 5.5用のQLogicファイバーチャネルドライバーコンポーネント
バージョン: 2016.12.01 (**推奨**)
ファイル名: cp031259.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hp.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください：

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

修正

Read Diagnostic Parameter (RDP) のやり取りの後、HBA内にある少量のリソースが使用不能のままになる原因となる、Hewlett Packard Enterprise QLogic 16Gb Fibre Channel HBAファームウェアの不測の動作を修正しました。時間の経過とともに、この問題によってシステムが反応しなくなることがあります。

拡張

VMware vSphere 5.5のドライバーコンポーネントをバージョン1.1.77.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

- HP FC1142SR 4Gb PCIeホストバスアダプター
- HP FC1242SR 4Gb PCIe DCホストバスアダプター
- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- QLogic QMH2562 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- QLogic QMH2462 4Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP QMH2672 16Gb FC HBA for c-Class BladeSystem
- HP CN1000Q デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 526FLR-SFP+アダプター
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8GbファイバーチャネルHBA

VMware vSphere 6.0用のEmulexファイバーチャネルドライバーコンポーネント。

バージョン: 2016.10.02 (B) (**推奨**)

ファイル名: cp031676.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPアプリケーションによって使用されることを意図します。vmware.comおよびHP vibspot.hp.com Webページに加え、HP特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

修正

このドライバーバージョン11.1.183.43は、ホストでT10 DIFが有効の場合にI/O処理が反応しなくなる、予想外の動作を解決します。

拡張

このドライバーバージョン11.1.183.43は以下のデバイスのサポートを追加します：

- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

サポートしているデバイスおよび機能

- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP SN1000E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター

- HP SN1000E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb Dual Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 81E 8Gb Single Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP CN1100E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター
- HP LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- Emulex LPe1205 8Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem
- HP SN1100E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP ファイバーチャネル16Gb LPe1605メザン
- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-T 10GBASE-Tコンバージドネットワークアダプター
- HP StoreFabric 84E 4-portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3530C 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gb FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

VMware vSphere 6.0用のQLogicファイバーチャネルドライバーコンポーネント

バージョン: 2016.10.01 (推奨)

ファイル名: cp028144.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hp.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

修正

このドライバーバージョンでは、以下が解決しました。

- 複数のPSODが修正されました
- システムが、scsi パススルーの実行中、予期せぬ終了をする問題を修正しました
- 一部のポート状態が ユーザースペースのアプリケーションに正しく表示されない問題を修正しました

拡張

VMware vSphere 6.0のドライバーコンポーネントをドライバーバージョン2.1.50.0にアップデートしました。

以下のデバイスのサポートを追加しました。

- HPE StoreFabric SN1100Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8Gb ファイバーチャネル HBA
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- QLogic QMH2562 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP QMH2672 16Gb FC HBA for c-Class BladeSystem
- HP CN1000Q デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 526FLR-SFP+アダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8Gb ファイバーチャネル HBA

ソフトウェア - ストレージファイバーチャネル HBA

[先頭](#)

Fibreutils for HPE Storageファイバーチャネルホストバスアダプター for Linux (x86)

バージョン: 3.3-1 (オプション)

ファイル名: fibreutils-3.3-1.i386.rpm

事前要件

- 以下のパッケージをインストールする必要があります : glibc libgcc libstdc++ bash perl

拡張

一般的なアップデート。

Fibreutils for HPE Storageファイバーチャネルホストバスアダプター for Linux (x86_64)

バージョン: 3.3-1 (B) (オプション)

ファイル名: fibreutils-3.3-1.x86_64.rpm

事前要件

- 以下のパッケージをインストールする必要があります : glibc libgcc libstdc++ bash perl

拡張

一般的なアップデート。

Fibreutils for HPE Storageファイバーチャネルホストバスアダプター for Linux (x86_64)

バージョン: 3.3-3 (オプション)

ファイル名: fibreutils-3.3-3.x86_64.rpm

事前要件

- 以下のパッケージをインストールする必要があります : glibc libgcc libstdc++ bash perl

拡張

一般的なアップデート。

HPファイバーチャネルEnablementキット for Linux - QLogic BRシリーズ

バージョン: 5.0.0.0 (D) (推奨)

ファイル名: HP-FC-Brocade-Enablement-Kit-5.0.0.0-3.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:

[HP StorageWorks Brocade Fibre Channel Host Bus Adapters Release Notes](#) (英語)

拡張

Red Hat Enterprise Linux 7オペレーティングシステムのサポートを追加しました

サポートしているデバイスおよび機能

- HP 81B PCIe 8Gbファイバーチャネルシングルポートホストバスアダプター
- HP 82B PCIe 8Gbファイバーチャネルデュアルポートホストバスアダプター
- Brocade 804 8GbファイバーチャネルHBA for c-Class BladeSystem

HPE Emulex Smart SAN イネーブルメントキット (Linux)

バージョン: 1.0.0.0-2 (オプション)

ファイル名: hpe-emulex-smartsan-enablement-kit-1.0.0.0-2.noarch.rpm

重要な注意！

3PAR Smart SANユーザーガイドを取得するには、以下のリンクからStorage Information Libraryを参照してください:

[Storage Information Library](#)

(<http://www.hpe.com/info/storage/docs/>)

デフォルトでは、**HP 3PAR Storage** が選択されます

製品およびソリューション

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

Smart SAN 機能を有効にする場合、この有効化キットのコンポーネントの前に HPE で指定されたファイバーチャネル ドライバーをインストールしなければなりません。 www.hpe.com/servers/spp/download から入手可能な、HP Service Pack for ProLiant 2016.04.0に含まれる適切なドライバーを使用してください。

ただし、Smart SAN が有効なドライバーが実行時にインストールされていない場合、ドライバーをインストールした後、将来の使用のためにコンポーネントのイネーブルメントキットファイルを取得します。

拡張

HPE StoreFabric 84E 4ポートファイバーチャネルホストバスアダプターのサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

- HP 82E 8Gb デュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 81E 8Gb シングルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb デュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb デュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP ファイバーチャネル 16Gb LPe1605メザニンアダプター
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric 84E 4ポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Emulex Smart SAN イネーブルメントキット (Windows 64 ビットオペレーティングシステム)

バージョン: 1.0.0.1 (c) (オプション)

ファイル名: cp030472.exe

重要な注意!

オペレーティングシステムに受信トレイファイバーチャネルドライバーのみインストールされている場合、Smart SANイネーブルメントキットは実行されません。ボックス (OOB) ファイバーチャネルドライバー以外では、Smart SAN 機能を利用する必要があります。OOB ドライバーがインストールされている場合、イネーブルメントキットでは、将来の使用のためにSmart SAN 機能が事前に有効/無効になります。OOBドライバーが有効なSmart SANがインストールされ(前提条件参照)、再起動後に有効になります。

3PAR Smart SANユーザーガイドを取得するには、以下のリンクからStorage Information Libraryを参照してください:

[Storage Information Library](#)

(<http://www.hpe.com/info/storage/docs/>)

デフォルトでは、**HP 3PAR Storage** が選択されます

製品およびソリューション

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

Smart SAN 機能を有効にする場合、この有効化キットのコンポーネントの前に HPE で指定されたファイバーチャネルドライバーをインストールしなければなりません。www.hpe.com/servers/spp/downloadから入手可能な、HP Service Pack for ProLiant 2016.04.0に含まれる適切なドライバーを使用してください。

ただし、Smart SAN が有効なドライバーが実行時にインストールされていない場合、ドライバーをインストールした後、将来の使用のためにコンポーネントのイネーブルメントキットファイルを取得します。

拡張

HPE StoreFabric 84E 4ポートファイバーチャネルホストバスアダプターのサポートを追加しました。

Microsoft Windows Server 2016オペレーティングシステムのサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

- HP 82E 8Gb デュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

- HP 81E 8Gb シングルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb デュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb デュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP ファイバーチャネル 16Gb LPe1605メザニニアダプター
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric 84E 4ポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE QLogic Smart SAN イネーブルメントキット (Windows) 64 ビットオペレーティングシステム
バージョン: 1.0.0.1 (b) (オプション)
ファイル名: cp030243.exe

重要な注意！

オペレーティングシステムに受信トレイファイバーチャネルドライバーのみインストールされている場合、Smart SANイネーブルメントキットは実行されません。ボックス(OOB)ファイバーチャネルドライバー以外では、Smart SAN機能を利用する必要があります。OOBドライバーがインストールされている場合、イネーブルメントキットでは、将来の使用のためにSmart SAN機能が事前に有効/無効になります。OOBドライバーが有効なSmart SANがインストールされ(前提条件参照)、再起動後に有効になります。

3PAR Smart SANユーザーガイドを取得するには、以下のリンクからStorage Information Libraryを参照してください：

[Storage Information Library](#)

(<http://www.hpe.com/info/storage/docs/>)

デフォルトでは、**HP 3PAR Storage** が選択されます

製品およびソリューション

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください：

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

Smart SAN 機能を有効にする場合、この有効化キットのコンポーネントの前に HPE で指定されたファイバーチャネルドライバーをインストールしなければなりません。www.hpe.com/servers/spp/downloadから入手可能な、HP Service Pack for ProLiant 2016.04.0に含まれる適切なドライバーを使用してください。

ただし、Smart SAN が有効なドライバーが実行時にインストールされていない場合、ドライバーをインストールした後、将来の使用のためにコンポーネントのイネーブルメントキットファイルを取得します。

拡張

Microsoft Windows Server 2016オペレーティングシステムのサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP QMH2672 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 2ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 1ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE QLogic Smart SAN イネーブルメントキット (Linux)

バージョン: 3.3-1 (**オプション**)

ファイル名: hpe-qlogic-smartsan-enablement-kit-3.3-1.noarch.rpm

重要な注意!

3PAR Smart SANユーザーガイドを取得するには、以下のリンクからStorage Information Libraryを参照してください:

[Storage Information Library](#)

(<http://www.hpe.com/info/storage/docs/>)

デフォルトでは、**HP 3PAR Storage** が選択されます

製品およびソリューション

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

Smart SAN 機能を有効にする場合、この有効化キットのコンポーネントの前に HPE で指定されたファイバーチャネル ドライバーをインストールしなければなりません。 www.hpe.com/servers/spp/download から入手可能な、HP Service Pack for ProLiant 2016.04.0に含まれる適切なドライバーを使用してください。

ただし、Smart SAN が有効なドライバーが実行時にインストールされていない場合、ドライバーをインストールした後、将来の使用のためにコンポーネントのイネーブルメントキットファイルを取得します。

拡張

これは、QLogic SmartSAN実行可能ファイルを使用する構成可能なコンポーネントの最初のリリースです。

サポートしているデバイスおよび機能

- HP 81E 8Gb シングルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP QMH2672 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 2ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 1ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

HPEファイバーチャネルイネーブルメントキット for Red Hat Enterprise Linux 6 Server - Emulex

バージョン: 11.1.183.22 (**推奨**)

ファイル名: HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-11.1.183.22-1.rhel6.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric Emulex アダプターリリースノート](#)

事前要件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます)

拡張

バージョン11.1.183.22のこのキットによって追加されるデバイスのサポートは以下のとおりです：

- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

サポートしているデバイスおよび機能

- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP SN1000E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb Dual Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 81E 8Gb Single Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP CN1100E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター
- HP LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- Emulex LPe1205 8Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem
- HP SN1100E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP LPe1605 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-T 10GBASE-Tコンバージドネットワークアダプター
- HP StoreFabric 84E 4-Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3530C 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gb FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

HPEファイバーチャネルイネーブルメントキット for Red Hat Enterprise Linux 7 Server - Emulex

バージョン: 11.1.183.22 (推奨)

ファイル名: HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-11.1.183.22-1.rhel7.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート：

[HPE StoreFabric Emulex アダプターリリースノート](#)

事前要件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアか

ら取得することができます)

拡張

バージョン11.1.183.22のこのキットによって追加されるデバイスのサポートは以下のとおりです：

- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

サポートしているデバイスおよび機能

- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP SN1000E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb Dual Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 81E 8Gb Single Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP CN1100E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター
- HP LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- Emulex LPe1205 8Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem
- HP SN1100E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP LPe1605 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-T 10GBASE-Tコンバージドネットワークアダプター
- HP StoreFabric 84E 4-Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3530C 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gb FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

HPEファイバーチャネルイネーブルメントキット for SUSE Linux Enterprise Server 11 (AMD64/EM64T) - Emulex
バージョン: 11.1.183.22 (C) (**推奨**)

ファイル名: HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-11.1.183.22-1.sles11sp3.x86_64.rpm; HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-11.1.183.22-1.sles11sp4.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート：

[HPE StoreFabric アダプターリリースノート](#)

事前要件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます)

拡張

バージョン11.1.183.22のこのキットによって追加されるデバイスのサポートは以下のとおりです：

- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

サポートしているデバイスおよび機能

- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP SN1000E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb Dual Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 81E 8Gb Single Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP CN1100E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター
- HP LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- Emulex LPe1205 8Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem
- HP SN1100E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP LPe1605 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-T 10GBASE-Tコンバージドネットワークアダプター
- HP StoreFabric 84E 4-Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3530C 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gb FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

HPEファイバーチャネルイネーブルメントキット for SUSE Linux Enterprise Server 11 (x86)- Emulex

バージョン: 11.1.183.22 (**推奨**)

ファイル名: HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-11.1.183.22-1.sles11sp3.i386.rpm; HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-11.1.183.22-1.sles11sp4.i386.rpm

重要な注意！

リリースノート：

[HPE StoreFabric Emulex アダプターリリースノート](#)

事前要件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます)

拡張

バージョン11.1.183.22にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

- HP NC553i 10Gb 2ポート FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP SN1000E 16Gb デュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb デュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 81E 8Gb シングルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP CN1100E デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554FLBアダプター
- HP LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem c-Class
- Emulex LPe1205 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for c-Class BladeSystem
- HP SN1100E 16Gb デュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP LPe1605 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem c-Class
- HP StoreFabric 84E 4ポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPEファイバーチャネルイネーブルメントキット for SUSE Linux Enterprise Server 12 - Emulex

バージョン: 11.1.183.22 (推奨)

ファイル名: HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-11.1.183.22-1.sles12sp0.x86_64.rpm; HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-11.1.183.22-1.sles12sp1.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric Emulex アダプターリリースノート](#)

事前要件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます)

拡張

バージョン11.1.183.22にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

- HP NC553i 10Gb 2ポート FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP SN1000E 16Gb デュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb デュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 81E 8Gb シングルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP CN1100E デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554FLBアダプター
- HP LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem c-Class
- Emulex LPe1205 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for c-Class BladeSystem
- HP SN1100E 16Gb デュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP LPe1605 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem c-Class

- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 650Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-SFP+アダプター
- HP StoreFabric CN1200E デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-T 10GBASE-T コンバージドネットワークアダプター
- HP StoreFabric 84E 4ポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3530C 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gb FC HBA

HPEファイバーチャネルイネーブルメントキット for SUSE Linux Enterprise Server 12 - Emulex
バージョン: 11.1.183.38 (推奨)

ファイル名: HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-11.1.183.38-1.sles12sp2.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric Emulexアダプターリリースノート](#)

事前要件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます)

拡張

SUSE Linux Enterprise Server 12の最初のサポート

以下のデバイスへの最初のサポート:

- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

サポートしているデバイスおよび機能

- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP SN1000E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb Dual Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 81E 8Gb Single Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP CN1100E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター
- HP LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- Emulex LPe1205 8Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem
- HP SN1100E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP LPe1605 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-T 10GBASE-Tコンバージドネットワークアダプター
- HP StoreFabric 84E 4-Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3530C 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gb FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

HPEファイバーチャネルイネーブルメントキット for SUSE Linux Enterprise Server 12 - Emulex

バージョン: 11.1.183.22 (C) (推奨)

ファイル名: HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-11.1.183.22-1.sles12sp0.x86_64.rpm; HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-11.1.183.22-1.sles12sp1.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric Emulex アダプターリリースノート](#)

事前要件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます)

拡張

バージョン11.1.183.22のこのキットによって追加されるデバイスのサポートは以下のとおりです:

- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

サポートしているデバイスおよび機能

- HP NC553i 10Gb 2-port FlexFabricコンバージドネットワークアダプター
- HP SN1000E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb Dual Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 81E 8Gb Single Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP CN1100E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 554FLBアダプター
- HP LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- Emulex LPe1205 8Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem
- HP SN1100E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP LPe1605 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター

- HPE StoreFabric CN1200E-T 10GBASE-Tコンバージドネットワークアダプター
- HP StoreFabric 84E 4-Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3530C 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gb FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

HPEファイバーチャネルEnablementキット for Linux - QLogic

バージョン: 6.0.0.0-2 (推奨)

ファイル名: HP-CNA-FC-hpqlgc-Enablement-Kit-6.0.0.0-2.noarch.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric QLogic アダプターリリースノート](#)

拡張

バージョン6.0.0.0-2にキットをアップデートしました

以下のデバイスのサポートを追加しました。

- HPE StoreFabric SN1100Q 16GB 2ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100Q 16GB 1ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8Gb ファイバーチャネル HBA
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

イネーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

- HP FC1142SR 4Gb PCIeホストバスアダプター
- HP FC1242SR 4Gb PCIe DCホストバスアダプター
- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- QLogic QMH2562 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- QLogic QMH2462 4Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16Gb PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP QMH2672 16Gb FC HBA for c-Class BladeSystem
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 526FLR-SFP+アダプター
- HP CN1000Q デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8Gb ファイバーチャネル HBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 1P FC HBA

ソフトウェア - システムマネジメント

先頭

エージェントレス管理サービス for Nanoサーバー

バージョン: 10.60.0.0 (オプション)

ファイル名: cp030649.exe

修正

N/A

拡張

これはWindows Server® 2016 Nano Server インストールオプションをサポートする最初のリリースです。

インテグレートドマネジメントログビューアー for Windows Server x64 Editions

バージョン: 7.8.0.0 (オプション)

ファイル名: cp029435.exe

重要な注意!

バージョン7.0.0.0以降、このアプリケーションは、iLO2、iLO3、またはiLO4マネジメントコントローラーをサポートするHP ProLiantシステムにのみインストールします。仮想マシンへのインストールはサポートされなくなりました。

バージョン6.5.0.0以降、このアプリケーションは、Windowsユーザーアカウント制御により、管理者権限が必要です。

このアプリケーションの6.2.0.0は、Windows Server 2003 x64 Editionでインストールをサポートする最後のバージョンです。

バージョン6.0.0.0から、HP ProLiantリモートモニターサービスおよびHP ProLiantリモートIMLサービスの依存性を削除しました。このアプリケーションは、リモートシステム上でのインテグレートドマネジメントログへのアクセスを提供しなくなりました。

バージョン5.22.0.0以降から、このアプリケーションを32ビットと64ビットに分割したリリースが利用可能になりました。バージョン5.21.0.0以前にダウングレードする場合は、以前の32ビットバージョンをインストールする前に、Windowsのプログラムの追加と削除を使用して64ビットリリースをアンインストールしてください。

拡張

Windows Server 2016のサポートを追加しました。

インテグレートドマネジメントログビューアー for Windows Server x86 Editions

バージョン: 7.7.0.0 (オプション)

ファイル名: cp028661.exe

重要な注意!

バージョン7.0.0.0以降、このアプリケーションは、iLO2、iLO3、またはiLO4マネジメントコントローラーをサポートするHP ProLiantシステムにのみインストールします。仮想マシンへのインストールはサポートされなくなりました。

バージョン6.5.0.0以降、このアプリケーションは、Windowsユーザーアカウント制御により、管理者権限が必要です。

このアプリケーションの6.2.0.0は、Windows Server 2003でインストールをサポートする最後のバージョンです。

バージョン6.0.0.0から、HP ProLiantリモートモニターサービスおよびHP ProLiantリモートIMLサービスの依存性を削除しました。このアプリケーションは、リモートシステム上でのインテグレートドマネジメントログへのアクセスを提供しなくなりました。

バージョン5.22.0.0以降から、このアプリケーション64ビットリリースが利用可能になりました。32ビットリリースのバージョン5.22.0.0以降は、64ビットのWindowsにはインストールされません。

5.3.0.0から、インストールがMicrosoftインストーラー（MSI）ベースとなりました。バージョン5.2.0.0以前にダウングレードする場合は、以前のバージョンをインストールする前に、Windowsのプログラムの追加と削除を使用してアンインストールしてください。

拡張

- 電力サブシステムクラスに新しいイベントを追加します。
- コンポーネントの実行ファイルは、現在SHA-1およびSHA-256両方の署名付きでデジタル署名されています。

マニフェストファイルを使用するシステムファイルの生成

バージョン: 7.2.1.0 (**オプション**)

ファイル名: mapping.xml

修正

今回のリリースで解決した問題については、 [HP SUM Release Notes](#)(英語)を参照してください。

マニフェストファイルを使用するシステムファイルの生成

バージョン: 7.4.0.0 (**オプション**)

ファイル名: mapping.xml

修正

今回のリリースで解決した問題については、 [HP SUM Release Notes](#)(英語)を参照してください。

マニフェストファイルを使用するシステムファイルの生成

バージョン: 7.3.9.9 (**オプション**)

ファイル名: mapping.xml

修正

今回のリリースで解決した問題については、 [HP SUM Release Notes](#)(英語)を参照してください。

マニフェストファイルを使用するシステムファイルの生成

バージョン: 7.5.0.0 (**オプション**)

ファイル名: mapping.xml

修正

今回のリリースで解決した問題については、 [HP SUM Release Notes](#)(英語)を参照してください。

マニフェストファイルを使用するシステムファイルの生成

バージョン: 7.5.9.9 (**オプション**)

ファイル名: mapping.xml

修正

今回のリリースで解決した問題については、 [HP SUM Release Notes](#)(英語)を参照してください。

HP ProLiant DL980 System Providers for Windows Server x64 Edition

バージョン: 9.3.0.2 (B) (**推奨**)

ファイル名: cp024577.exe

拡張

コンポーネントのパッケージがアップデートされました。製品の機能には影響ありません

HPE Insight Management WBEM Provider for Windows Server x64 Edition

バージョン: 10.61.0.0 (オプション)

ファイル名: cp031735.exe

重要な注意!

バージョン10.61.0.0がGen8およびそれより新しいサーバーをサポートする最新のHPE Insight Management WBEM Providerリリースです。

事前要件

HPE Insight Management WBEM ProviderはHPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface とManagement Controller Drivers (バージョン3.4.0.0以降) for Windows X64がこのコンポーネントに予めインストールされていることを要求します。

また、シングル サーバーWebベースユーザーインターフェイスのためにSystem Management Homepage (SMH) コンポーネント (バージョン7.2.2.9以降) が必要です。

修正

なし

拡張

- SHA-256のデジタル署名をWBEM プロバイダー MSI ファイルに、それに含まれているすべネオバイナリーファイルと同様に適用しました。
- Windowsのリモートレジストリサービスを使用不可にしてシステムへのインストレーションの進行を許可しました。

HPE Insight Management WBEM Providers for Windows Server

バージョン: 10.60.0.0 (オプション)

ファイル名: cp030090.exe

重要な注意!

バージョン10.60.0.0が最新のHPE Insight Management WBEM Providerリリースです。HPE Insight Management WBEM Provider 10.60.0.0がGen10 Snap1 SPPで使用可能となりますが、Gen 8とGen 9サーバーのみをサポートします。

事前要件

HPE Insight Management WBEM ProviderはHPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface とManagement Controller Drivers (バージョン3.4.0.0以降) for Windows X64がこのコンポーネントに予めインストールされていることを要求します。

また、シングル サーバーWebベースユーザーインターフェイスのためにSystem Management Homepage (SMH) コンポーネント (バージョン7.2.2.9以降) が必要です。

修正

- Insight Management WBEMがHyper-Vのroot\interopの名前スペースを上書きするという問題を解決しました。
- HP Ultrium/LTOポーリング問題による50%のパフォーマンスバックアップ遅延。
- HPE Insight Management WBEM Providerがバージョン10.Xにアップグレードされると、テープバックアップが無作為に(サーバーまたはコントローラーバックアップソフトウェアに関係なく)失敗します。
- プロバイダーが原因で、スペアドライブが毎分ごとにスピニングアップする。

拡張

新しくProLiant サーバーおよびオプションのサポートが追加されました。

HPE Insight Management エージェント for Windows Server

バージョン: 10.60.0.0 (オプション)

ファイル名: cp030266.exe

重要な注意!

データソースとしてのSNMPの存在する特徴の変化

SMHの現存機能である“SMH->SNMP & Agents Settings->Threshold Text mode”は 'UI Mode' すなわち無効にセットされている時にJava ランタイム (JRE) に依存します。そしてこのモードにおいては、最新のJavaバージョン(v7.x onwards) はエージェントのパフォーマンスに影響するSMH上の webapp'リンクをロードするために非常に長い時間を要することが観察されています。従ってこの特徴は 'UI mode' を無効にして閾値の設定を 'テキストモード' でHP Insight Management Agents v10.50.0.0 以降のリリースから表示するように変更されています。

事前要件

SNMP サービス

修正

以下の項目が修正されました。

サーバー/基本エージェント:

- VCAが、高度な消費電力上限の間違ったインストールされたバージョンを示します
- SMHで表示された誤ったメモリランク情報
- 仮想マシンタイプのクラスターリソースがオフラインである場合、劣化するイベントをエージェントが報告
- 現在ハイフンはSNMPコミュニティ名で許可されています
- "NVRAM スペース" フィールドが、SMH iLO Self テスト結果内にありません。
- 誤ったNIC カード名が、SMHのPCI デバイス内に表示されています。
- RNV DIMM テクノロジーは、SMH内で正しく表示されていません。
- PCIデバイス内の 誤ったMellanox アダプター名
- CSRF 脆弱性が、SMH 設定タブ内で修正されています
- しきい値の設定機能があるSMHのリンクでは、 UIモードのロード/更新に時間がかかります。このモードではJavaランタイム (JRE) を使用します。最新のJavaリリース (7.xまたはそれ以降) では遅延の原因となります。従って、UIモードは無効になり、しきい値の設定は、テキストモードのみで表示されます。
- ストレージシステム電源不具合トラップのEvent Notifier Not Sending Email アラート
- Agents Control パネル Appletのブランド名を変更した 'HPE' を表示します
- SMH上でコアOSインストールに関して間違ったOS名が表示されています
- cpqHeResMem2ModuleTechnologyが間違った値を示しています
- cpqHeFltTolPwrSupplyStatusが間違った値を示しています。

拡張

サーバー/基本エージェント :

- NICデバイス データベースをアップデートします

HPE Insightマネジメントエージェント for Windows Server x64 Edition

バージョン: 10.60.0.0 (オプション)

ファイル名: cp030048.exe

事前要件

SNMPサービス。

修正

以下の項目が修正されました。

サーバー/基本エージェント :

- VCAが、高度な消費電力上限の間違ったインストールされたバージョンを示します
- SMHで表示された誤ったメモリランク情報
- 仮想マシンタイプのクラスターリソースがオフラインである場合、劣化するイベントをエージェントが報告
- 現在ハイフンはSNMPコミュニティ名で許可されています
- "NVRAM スペース" フィールドが、SMH iLO Self テスト結果内にありません。
- 誤ったNIC カード名が、SMHのPCI デバイス内に表示されています。
- RNVDIMM テクノロジーは、SMH内で正しく表示されていません。
- PCIデバイス内の 誤ったMellanox アダプター名
- CSRF 脆弱性が、SMH 設定タブ内で修正されました。
- しきい値の設定機能があるSMHのリンクでは、UIモードのロード/更新に時間がかかります。このモードではJavaランタイム (JRE) を使用します。最新のJavaリリース (7.xまたはそれ以降) では遅延の原因となります。従って、UIモードは無効になり、しきい値の設定は、テキストモードのみで表示されます。
- ストレージシステム電源不具合トラップのEvent Notifier Not Sending Email アラート
- Agents Control パネル Appletのブランド名を変更した 'HPE' を表示します
- SMH上でWS2k16 Storage Serverに関して間違ったOS名が表示されています
- SMH上でコアOSインストールに関して間違ったOS名が表示されています。
- cpqHeResMem2ModuleTechnologyが間違った値を示しています
- cpqHeFltTolPwrSupplyStatusが間違った値を示しています。

拡張

- [WS2016 OSのサポート]

サーバー/基本エージェント :

- NICデバイス データベースをアップデートします

ネットワークエージェント :

以下のネットワークアダプターのサポートを追加しました。

- HPE Ethernet 25Gb 4ポート 620QSFP28 アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28 アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート 536FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLBアダプター
- HPE Synergy 10Gb 2ポート 2820C コンバージドネットワークアダプター
- HPE Synergy 3520C 10/20Gbコンバージドネットワークアダプター

- HPE Synergy 3820C 10/20Gbコンバインドネットワークアダプター

HPE ProLiant Agentless Management Service for Red Hat Enterprise Linux 6 (AMD64/EM64T)

バージョン: 2.6.0 (オプション)

ファイル名: hp-ams-2.6.0-2378.57.rhel6.x86_64.rpm

事前要件

- hp-amsは、HP ProLiant Gen8サーバー上でだけサポートされています。
- hp-amsは、SNMPサポートを提供しているiLO 4サービスに情報を提供します。
- HP iLO 4上でSNMPパススルーを無効にして、SNMPがHP iLO 4上で構成されている必要があります。HP iLO 4は、これらの設定を変更した後にリセットする必要がある場合があります。
- 要件：
 - 最低限必要なHP iLO 4ファームウェアバージョン = 1.05
 - 最低限必要なOSバージョン = Red Hat Enterprise Linux 5.6、Red Hat Enterprise Linux 6.0、SuSE Linux Enterprise Server 10 SP4、SuSE Linux Enterprise Server 11 SP1

修正

以下を修正しました。

- ネットワーク再起動時のsegfault違反。
- hp-ams hpHelper/amsHelperプロセスが過剰なCPUを消費する。
- 間違ったMIB要素サイズを使用することによって引き起こされるSegfaults。
- hp-amsのためのファイルパーミッション

拡張

- ディスク温度の改善およびSMARTモニタリング

HPE ProLiant Agentless Management Service for Red Hat Enterprise Linux 6 (x86)

バージョン: 2.6.0 (オプション)

ファイル名: hp-ams-2.6.0-2378.54.rhel6.i686.rpm

事前要件

- hp-amsは、HP ProLiant Gen8サーバー上でだけサポートされています。
- hp-amsは、SNMPサポートを提供しているiLO 4サービスに情報を提供します。
- HP iLO 4上でSNMPパススルーを無効にして、SNMPがHP iLO 4上で構成されている必要があります。HP iLO 4は、これらの設定を変更した後にリセットする必要がある場合があります。
- 要件：
 - 最低限必要なHP iLO 4ファームウェアバージョン = 1.05
 - 最低限必要なOSバージョン = Red Hat Enterprise Linux 5.6、Red Hat Enterprise Linux 6.0、SuSE Linux Enterprise Server 10 SP4、SuSE Linux Enterprise Server 11 SP1

修正

以下を修正しました。

- ネットワーク再起動時のsegfault違反。
- hp-ams hpHelper/amsHelperプロセスが過剰なCPUを消費する。
- 間違ったMIB要素サイズを使用することによって引き起こされるSegfaults。
- hp-amsのためのファイルパーミッション

拡張

- ディスク温度の改善およびSMARTモニタリング

HPE ProLiant Agentless Management Service for Red Hat Enterprise Linux 7 Server
バージョン: 2.6.0 (オプション)
ファイル名: hp-ams-2.6.0-2378.57.rhel7.x86_64.rpm

修正

以下を修正しました。

- ネットワーク再起動時のsegfault違反。
- hp-ams hpHelper/amsHelperプロセスが過剰なCPUを消費する。
- 間違ったMIB要素サイズを使用することによって引き起こされるSegfaults。
- hp-amsのためのファイルパーミッション

拡張

- ディスク温度の改善およびSMARTモニタリング

HPE ProLiant Agentless Management Service for SUSE LINUX Enterprise Server 11 (AMD64/EM64T)
バージョン: 2.6.0 (オプション)
ファイル名: hp-ams-2.6.0-2378.58.sles11.x86_64.rpm

事前要件

- hp-amsは、HP ProLiant Gen8サーバー上でだけサポートされています。
- hp-amsは、SNMPサポートを提供しているiLO 4サービスに情報を提供します。
- HP iLO 4上でSNMPパススルーを無効にして、SNMPがHP iLO 4上で構成されている必要があります。HP iLO 4は、これらの設定を変更した後にリセットする必要がある場合があります。
- 要件：
 - 最低限必要なHP iLO 4ファームウェアバージョン = 1.05
 - 最低限必要なOSバージョン = Red Hat Enterprise Linux 5.6、Red Hat Enterprise Linux 6.0、SuSE Linux Enterprise Server 10 SP4、SuSE Linux Enterprise Server 11 SP1

修正

以下を修正しました。

- ネットワーク再起動時のsegfault違反。
- hp-ams hpHelper/amsHelperプロセスが過剰なCPUを消費する。
- 間違ったMIB要素サイズを使用することによって引き起こされるSegfaults。
- hp-amsのためのファイルパーミッション

拡張

- ディスク温度の改善およびSMARTモニタリング

HPE ProLiant Agentless Management Service for SUSE LINUX Enterprise Server 11 (x86)
バージョン: 2.6.0 (オプション)
ファイル名: hp-ams-2.6.0-2378.57.sles11.i586.rpm

事前要件

- hp-amsは、HP ProLiant Gen8サーバー上でだけサポートされています。
- hp-amsは、SNMPサポートを提供しているiLO 4サービスに情報を提供します。

- HP iLO 4上でSNMPパススルーを無効にして、SNMPがHP iLO 4上で構成されている必要があります。 HP iLO 4は、これらの設定を変更した後にリセットする必要がある場合があります。
- 要件：
 - 最低限必要なHP iLO 4ファームウェアバージョン = 1.05
 - 最低限必要なOSバージョン = Red Hat Enterprise Linux 5.6、Red Hat Enterprise Linux 6.0、 SuSE Linux Enterprise Server 10 SP4、 SuSE Linux Enterprise Server 11 SP1

修正

以下を修正しました。

- ネットワーク再起動時のsegfault違反。
- hp-ams hpHelper/amsHelperプロセスが過剰なCPUを消費する。
- 間違ったMIB要素サイズを使用することによって引き起こされるSegfaults。
- hp-amsのためのファイルパーミッション

拡張

- ディスク温度の改善およびSMARTモニタリング

HPE ProLiant Agentless Management Service for SUSE LINUX Enterprise Server 12
バージョン: 2.5.0 (オプション)
ファイル名: hp-ams-2.5.0-1969.32.sles12.x86_64.rpm

事前要件

- hp-amsは、HP ProLiant Gen8およびGen9サーバーでサポートされています。
- hp-amsは、SNMPサポートを提供しているHP iLO 4サービスに情報を提供します。
- HP iLO 4上でSNMPパススルーを無効にして、SNMPがHP iLO 4上で構成されている必要があります。 HP iLO 4は、これらの設定を変更した後にリセットする必要がある場合があります。
- 要件：
 - 最低限必要なHP iLO 4ファームウェアバージョン = 1.05
 - 最低限必要なOSバージョン = Red Hat Enterprise Linux 5.6、Red Hat Enterprise Linux 6.0、 SuSE Linux Enterprise Server 10 SP4、 SuSE Linux Enterprise Server 11 SP1

修正

修正された問題点：

- 現在、AMSがSATAコントローラーに取り付けられているSATAエンクロージャー内のSATAドライブの正しいナンバリングに影響しています。
- 現在、AMSがSATAドライブおよびSATAコントローラーの正しい列挙に影響しています。
- 現在、SATAコントローラーへ接続されている SATAドライブが削除または挿入されたときに、AMSはトラップを生成します。
- 現在、AMS は適切なcpqFcaMibConditionへアップデートします。
- 現在、AMS はNVMeドライブのトラップを生成します。
- 現在、AMSは、cpqNic トラップ内でcpqSiServerSystemId の適切な値を送信します。
- PCI デバイスのホットプラグインの場合、segfault は発生しません。

拡張

新しいHPE ProLiant Gen9サーバーのサポートを追加しました。

HPE ProLiant Agentless Management Service for SUSE LINUX Enterprise Server 12
バージョン: 2.6.0 (オプション)

ファイル名: hp-ams-2.6.0-2378.60.sles12.x86_64.rpm

修正

以下を修正しました。

- ネットワーク再起動時のsegfault違反。
- hp-ams hpHelper/amsHelperプロセスが過剰なCPUを消費する。
- 間違ったMIB要素サイズを使用することによって引き起こされるSegfaults。
- hp-amsのためのファイルパーミッション

拡張

- ディスク温度の改善およびSMARTモニタリング

HPE ProLiant Agentless Management Service for Windows X64

バージョン: 10.60.0.0 (オプション)

ファイル名: cp030039.exe

事前要件

このコンポーネントの前にHPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver for Windows X64 (バージョン3.4.0.0以降) をインストールする必要があります。

修正

1. HyperVバーチャルスイッチのIPアドレスが、iLO とWindowsチームの情報間で一致していないという問題を解決しました。

拡張

1. Windows Server 2016のサポートを追加しました。
2. HPE Synergy サーバーのサポートを追加しました。
3. 以下の NVMe (Non-volatile Memory PCI Express) ドライブトラップを追加しました :
cpqSePCleDiskTemperatureFailed (1015), cpqSePCleDiskTemperatureOk(1016), cpqSePCleDiskConditionChange (1017), cpqSePCleDiskWearStatusChange (1018), cpqSePciDeviceAddedOrPoweredOn(1019), cpqSePciDeviceRemovedOrPoweredOff (1020)
4. 以下のPCIロケーションのための新しいOID (SNMP オブジェクト ID)を追加しました :
cpqNicIfLogMapPciLocation, cpqNicIfPhysAdapterPciLocationm, cpqIdeControllerPciLocation, cpqSasHbaPciLocation, cpqFcaHostCntlrPciLocation
5. Added support for generic test trap 11003AMSコントロールパネルアプレットから生じる一般的なトラップ11003に「関するサポートを追加しました。

HPE ProLiant Agentless Management Service for Windows X86

バージョン: 10.60.0.0 (オプション)

ファイル名: cp030038.exe

事前要件

このコンポーネントの前にHP ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver for Windows X86 (バージョン3.4.0.0以降) をインストールする必要があります。

修正

1. HyperVバーチャルスイッチのIPアドレスが、iLO とWindowsチームの情報間で一致していないという問題を解決しました。

拡張

1. 以下の NVMe (Non-volatile Memory PCI Express) ドライブトラップを追加しました：
cpqSePCleDiskTemperatureFailed (1015), cpqSePCleDiskTemperatureOk(1016), cpqSePCleDiskConditionChange (1017), cpqSePCleDiskWearStatusChange (1018), cpqSePciDeviceAddedOrPoweredOn(1019), cpqSePciDeviceRemovedOrPoweredOff (1020)
2. 以下のPCIロケーションのための新しいOID (SNMP オブジェクト ID)を追加しました：
cpqNicIfLogMapPciLocation, cpqNicIfPhysAdapterPciLocationm, cpqIdeControllerPciLocation, cpqSasHbaPciLocation, cpqFcaHostCntlrPciLocation
3. Added support for generic test trap 11003AMSコントロールパネルアプレットから生じる一般的なトラップ11003に「関するサポートを追加しました。

HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA) CLI for Linux

バージョン: 2.65-7.0 (オプション)

ファイル名: ssacli-2.65-7.0.i386.compsig; ssacli-2.65-7.0.i386.rpm; ssacli-2.65-7.0.i386.txt

重要な注意!

HPE SSACLIは従来と同様に、さらに追加の機能、能力、およびサポートされたデバイスを持ち、ご使用のストレージを構成して管理することができます。既存のACUCLIスクリプトは、互換性を維持するために適切なバイナリまたは実行可能ファイルを呼び出すような最小限の変更のみを加える必要があります。

修正

SSAはローカルモードにおける暗号化マスターキーに誤って64文字を表示します。長さは32文字に変更されました。

HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA) CLI for Linux 64ビット

バージョン: 2.60-19.0 (オプション)

ファイル名: ssacli-2.60-19.0.x86_64.rpm; ssacli-2.60-19.0.x86_64.txt

重要な注意!

HPE SSACLIは従来と同様に、さらに追加の機能、能力、およびサポートされたデバイスを持ち、ご使用のストレージを構成して管理することができます。既存のACUCLIスクリプトは、互換性を維持するために適切なバイナリまたは実行可能ファイルを呼び出すような最小限の変更のみを加える必要があります。

拡張

以下をサポートします。

SmartアレイH240nr

SmartアレイP240nr

SmartアレイP542D

サポートしているコントローラー用にサニタイズ消去を追加しました

複数のデバイス上の消去有効と消去停止の機能を追加しました。

HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA) CLI for Windows

バージョン: 2.50.5.0 (オプション)

ファイル名: cp028650.exe

重要な注意！

HPE SSACLIは従来と同様に、さらに追加の機能、能力、およびサポートされたデバイスを持ち、ご使用のストレージを構成して管理することができます。既存のACUCLIスクリプトは、互換性を維持するために適切なバイナリまたは実行可能ファイルを呼び出すような最小限の変更のみを加える必要があります。

拡張

以下をサポートします。

SmartアレイH240nr

SmartアレイP240nr

SmartアレイP542D

Smart Array Px4x コントローラーのサニタイズ消去を追加しました

複数のデバイス上の消去有効と消去停止の機能を追加しました。

create/move/add/remove/およびheal コマンドで、物理ドライブを指定する場合のデュアルパスのサポートを追加しました。例:

```
ctrl slot=1 create type=ld drives=[1e:1:1,1e:4:1],[1e:1:2,1e:4:2]
```

スクリプト記述は、現在フォームのドライブ入力を承認しています:

```
Drive= 1E:1:1 [2E:2:1],...
```

プレイバックで、スクリプト記述は最初のパス1E:1:1を見つけようとしています。これが存在しない場合、第2パス 2E:2:1 が実行されます。

システム内の異なるコントローラーに、ターゲットの物理ドライブと同じパスがない場合、この変更はデュアルドメインシステムをサポートします。

HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA) CLI for Windows 64ビット

バージョン: 2.65.7.0 (オプション)

ファイル名: cp031009.exe

重要な注意！

HPE SSACLIは従来と同様に、さらに追加の機能、能力、およびサポートされたデバイスを持ち、ご使用のストレージを構成して管理することができます。既存のACUCLIスクリプトは、互換性を維持するために適切なバイナリまたは実行可能ファイルを呼び出すような最小限の変更のみを加える必要があります。

修正

SSAはローカルモードにおける暗号化マスターキーに誤って64文字を表示します。長さは32文字に変更されました。

HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA) for Linux

バージョン: 2.65-7.0 (オプション)

ファイル名: ssa-2.65-7.0.i386.compsig; ssa-2.65-7.0.i386.rpm; ssa-2.65-7.0.i386.txt

重要な注意！

HPE SSAは既存のHPアレイコンフィギュレーションユーティリティ、またはACUのデザインをアップデートして、それらがオンラインになるのに応じて、様々なSmart Storageイニシアチブのために新機能と機能性を提供しま

す。 HPE Smart Array Advanced Pack 1.0および2.0の機能は、適切なファームウェア(の使用)によりHPE SSAのベースライン機能の一部となりました。

HPE SSAは従来と同様に、さらに追加の機能、能力、およびサポートされたデバイスを持ち、ご使用のストレージを構成して管理することができます。 既存のACUスクリプトは、互換性を維持するために適切なバイナリまたは実行可能ファイルを呼び出すような最小限の変更のみを加える必要があります。

事前要件

HPE Smart Storage Administrator for Linuxは、サーバーにHPE System Management Homepageソフトウェアがインストールされている必要があります。 サーバーにHPE System Management Homepageソフトウェアがインストールされていない場合、HPE Smart Storage Administrator for Linuxをインストールする前に、HPE.comからダウンロードしてインストールしてください。

重要なアップデート: HPE SSA (GUI) for Linuxは、HPE System Management Homepageを必要とせず、実行することができます。 HPE SSAはLinux用にローカルアプリケーションモードをサポートします。 HPE System Management Homepageはサポートされていますが、HPE SSA GUIの実行には必要ありません。

起動するには、コマンドプロンプトで以下を入力してください。

```
ssa -local
```

コマンドは新しいFirefoxブラウザーウィンドウでHP SSAを開始します。 ブラウザーウィンドウを閉じると、HP SSAは自動的に終了します。 これは、ループバックインタ-フェイスだけに有効であって、外部のネットワーク接続には当てはまりません。

修正

SSAはローカルモードにおける暗号化マスターキーに誤って64文字を表示します。 長さは32文字に変更されました。

HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA) for Linux 64ビット

バージョン: 2.60-18.0 (オプション)

ファイル名: ssa-2.60-18.0.x86_64.rpm; ssa-2.60-18.0.x86_64.txt

重要な注意!

HPE SSAは既存のHPアレイコンフィギュレーションユーティリティ、またはACUのデザインをアップデートして、それらがオンラインになるのに応じて、様々なSmart Storageイニシアチブのために新機能と機能性を提供します。 HPE Smart Array Advanced Pack 1.0および2.0の機能は、適切なファームウェア(の使用)によりHPE SSAのベースライン機能の一部となりました。

HPE SSAは従来と同様に、さらに追加の機能、能力、およびサポートされたデバイスを持ち、ご使用のストレージを構成して管理することができます。 既存のACUスクリプトは、互換性を維持するために適切なバイナリまたは実行可能ファイルを呼び出すような最小限の変更のみを加える必要があります。

事前要件

HPE Smart Storage Administrator for Linuxは、サーバーにHPE System Management Homepageソフトウェアがインストールされている必要があります。 サーバーにHPE System Management Homepageソフトウェアがインストールされていない場合、HPE Smart Storage Administrator for Linuxをインストールする前に、HPE.comからダウンロードしてインストールしてください。

重要なアップデート: HPE SSA (GUI) for Linuxは、HPE System Management Homepageを必要とせず、実行することができます。 HPE SSAはLinux用にローカルアプリケーションモードをサポートします。 HPE System

Management Homepageはサポートされていますが、HPE SSA GUIの実行には必要ありません。

起動するには、コマンドプロンプトで以下を入力してください。

```
ssa -local
```

コマンドは新しいFirefoxブラウザーウィンドウでHP SSAを開始します。ブラウザーウィンドウを閉じると、HP SSAは自動的に終了します。これは、ループバックインタフェースだけに有効であって、外部のネットワーク接続には当てはまりません。

拡張

以下をサポートします。

SmartアレイH240nr

SmartアレイP240nr

SmartアレイP542D

サポートしているコントローラー用にサニタイズ消去を追加しました

複数のデバイス上の消去有効と消去停止の機能を追加しました。

HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA) for Linux 64ビット

バージョン: 2.65-7.0 (**オプション**)

ファイル名: ssa-2.65-7.0.x86_64.compsig; ssa-2.65-7.0.x86_64.rpm; ssa-2.65-7.0.x86_64.txt

重要な注意!

HPE SSAは既存のHPアレイコンフィギュレーションユーティリティ、またはACUのデザインをアップデートして、それらがオンラインになるのに応じて、様々なSmart Storageイニシアチブのために新機能と機能性を提供します。 HPE Smart Array Advanced Pack 1.0および2.0の機能は、適切なファームウェア(の使用)によりHPE SSAのベースライン機能の一部となりました。

HPE SSAは従来と同様に、さらに追加の機能、能力、およびサポートされたデバイスを持ち、ご使用のストレージを構成して管理することができます。 既存のACUスクリプトは、互換性を維持するために適切なバイナリまたは実行可能ファイルを呼び出すような最小限の変更のみを加える必要があります。

事前要件

HPE Smart Storage Administrator for Linuxは、サーバーにHPE System Management Homepageソフトウェアがインストールされている必要があります。 サーバーにHPE System Management Homepageソフトウェアがインストールされていない場合、HPE Smart Storage Administrator for Linuxをインストールする前に、HPE.comからダウンロードしてインストールしてください。

重要なアップデート: HPE SSA (GUI) for Linuxは、HPE System Management Homepageを必要とせず、実行することができます。 HPE SSAはLinux用にローカルアプリケーションモードをサポートします。 HPE System Management Homepageはサポートされていますが、HPE SSA GUIの実行には必要ありません。

起動するには、コマンドプロンプトで以下を入力してください。

```
ssa -local
```

コマンドは新しいFirefoxブラウザーウィンドウでHP SSAを開始します。ブラウザーウィンドウを閉じると、HP SSAは自動的に終了します。これは、ループバックインタフェースだけに有効であって、外部のネットワーク接続には当てはまりません。

修正

SSAはローカルモードにおける暗号化マスターキーに誤って64文字を表示します。長さは32文字に変更されました。

HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA) for Windows

バージョン: 2.50.5.0 (オプション)

ファイル名: cp028648.exe

重要な注意!

HPE SSAは既存のHPアレイコンフィギュレーションユーティリティ、またはACUのデザインをアップデートして、それらがオンラインになるのに応じて、様々なSmart Storageイニシアチブのために新機能と機能性を提供します。HPE Smart Array Advanced Pack 1.0および2.0の機能は、適切なファームウェア(の使用)によりHPE SSAのベースライン機能の一部となりました。

HPE SSAは従来と同様に、さらに追加の機能、能力、およびサポートされたデバイスを持ち、ご使用のストレージを構成して管理することができます。既存のACUスクリプトは、互換性を維持するために適切なバイナリまたは実行可能ファイルを呼び出すような最小限の変更のみを加える必要があります。

拡張

以下をサポートします。

SmartアレイH240nr

SmartアレイP240nr

SmartアレイP542D

サポートしているコントローラー用にサニタイズ消去を追加しました

複数のデバイス上の消去有効と消去停止の機能を追加しました。

HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA) for Windows 64ビット

バージョン: 2.65.7.0 (オプション)

ファイル名: cp031007.exe

重要な注意!

HPE SSAは既存のHPアレイコンフィギュレーションユーティリティ、またはACUのデザインをアップデートして、それらがオンラインになるのに応じて、様々なSmart Storageイニシアチブのために新機能と機能性を提供します。HPE Smart Array Advanced Pack 1.0および2.0の機能は、適切なファームウェア(の使用)によりHPE SSAのベースライン機能の一部となりました。

HPE SSAは従来と同様に、さらに追加の機能、能力、およびサポートされたデバイスを持ち、ご使用のストレージを構成して管理することができます。既存のACUスクリプトは、互換性を維持するために適切なバイナリまたは実行可能ファイルを呼び出すような最小限の変更のみを加える必要があります。

修正

SSAはローカルモードにおける暗号化マスターキーに誤って64文字を表示します。長さは32文字に変更されました。

HPE Smart Storage Administrator Diagnostic Utility (HPE SSADU) CLI for Linux

バージョン: 2.65-7.0 (オプション)

ファイル名: ssaduccli-2.65-7.0.i386.compsig; ssaduccli-2.65-7.0.i386.rpm; ssaduccli-2.65-7.0.i386.txt

重要な注意!

HPE Smart Storage Administratorの診断機能のこのスタンドアロンバージョンは、CLIからのみ利用できます。診断レポートのGUIバージョンは、HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA)を使用してください。

修正

SSAはローカルモードにおける暗号化マスターキーに誤って64文字を表示します。長さは32文字に変更されました。

HPE Smart Storage Administrator Diagnostic Utility (HPE SSADU) CLI for Linux 64ビット

バージョン: 2.60-18.0 (オプション)

ファイル名: ssaduccli-2.60-18.0.x86_64.rpm; ssaduccli-2.60-18.0.x86_64.txt

重要な注意!

HPE Smart Storage Administratorの診断機能のこのスタンドアロンバージョンは、CLIからのみ利用できます。診断レポートのGUIバージョンは、HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA)を使用してください。

拡張

以下をサポートします。

SmartアレイH240nr

SmartアレイP240nr

SmartアレイP542D

サポートしているコントローラー用にサニタイズ消去を追加しました

複数のデバイス上の消去有効と消去停止の機能を追加しました。

HPE Smart Storage Administrator Diagnostic Utility (HPE SSADU) CLI for Linux 64ビット

バージョン: 2.65-7.0 (オプション)

ファイル名: ssaduccli-2.65-7.0.x86_64.compsig; ssaduccli-2.65-7.0.x86_64.rpm; ssaduccli-2.65-7.0.x86_64.txt

重要な注意!

HPE Smart Storage Administratorの診断機能のこのスタンドアロンバージョンは、CLIからのみ利用できます。診断レポートのGUIバージョンは、HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA)を使用してください。

修正

SSAはローカルモードにおける暗号化マスターキーに誤って64文字を表示します。長さは32文字に変更されました。

HPE Smart Storage Administrator Diagnostic Utility (HPE SSADU) CLI for Windows

バージョン: 2.50.5.0 (オプション)

ファイル名: cp028652.exe

重要な注意!

HPE Smart Storage Administratorの診断機能のこのスタンドアロンバージョンは、CLIからのみ利用できます。診断レポートのGUIバージョンは、HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA)を使用してください。

拡張

以下をサポートします。

SmartアレイH240nr

SmartアレイP240nr

SmartアレイP542D

Smart Array Px4x コントローラーのサニタイズ消去を追加しました

複数のデバイス上の消去有効と消去停止の機能を追加しました。

create/move/add/remove/およびheal コマンドで、物理ドライブを指定する場合のデュアルパスのサポートを追加しました。例:

```
ctrl slot=1 create type=ld drives=[1e:1:1,1e:4:1],[1e:1:2,1e:4:2]
```

スクリプト記述は、現在フォームのドライブ入力を承認しています:

```
Drive= 1E:1:1 [2E:2:1],...
```

プレイバックで、スクリプト記述は最初のパス1E:1:1 を見つけようとしています。これが存在しない場合、第2パス 2E:2:1 が実行されます。

システム内の異なるコントローラーに、ターゲットの物理ドライブと同じパスがない場合、この変更はデュアルドメインシステムをサポートします。

HPE Smart Storage Administrator Diagnostic Utility (HPE SSADU) CLI for Windows 64ビット

バージョン: 2.65.7.0 (オプション)

ファイル名: cp031011.exe

重要な注意!

HPE Smart Storage Administratorの診断機能のこのスタンドアロンバージョンは、CLIからのみ利用できます。診断レポートのGUIバージョンは、HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA)を使用してください。

修正

SSAはローカルモードにおける暗号化マスターキーに誤って64文字を表示します。長さは32文字に変更されました。

HPE SNMPエージェント for Red Hat Enterprise Linux 6 (AMD64/EM64T)

バージョン: 10.6.0 (オプション)

ファイル名: hp-snmp-agents-10.60-2936.35.rhel6.x86_64.rpm

事前要件

hp-healthおよびhp-snmp-agentsは、x86_64環境では32ビット アプリケーションとして起動します。Linuxカーネル32ビット互換が有効にされていて（通常Linuxではデフォルト）、32ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-snmp-agentsに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

```
rpm -qp --requires hp-snmp-agents-<version>.rpm
```

修正

以下を修正しました。

- ネットワークボンディングの変更がトラップを生成しています。
- cpqSeTotalMemMBが正しい値を表示しています

拡張

- Cpqnicdの安定性が改善されました。

HPE SNMPエージェント for Red Hat Enterprise Linux 6 (x86)
バージョン: 10.6.0 (オプション)
ファイル名: hp-snmp-agents-10.60-2936.31.rhel6.i686.rpm

事前要件

hp-snmp-agentsに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

```
rpm -qp --requires hp-snmp-agents-<version>.rpm
```

修正

以下を修正しました。

- ネットワークボンディングの変更がトラップを生成しています。
- cpqSeTotalMemMBが正しい値を表示しています

拡張

- Cpqnicdの安定性が改善されました。

HPE SNMPエージェント for Red Hat Enterprise Linux 7 Server
バージョン: 10.6.0 (オプション)
ファイル名: hp-snmp-agents-10.60-2936.31.rhel7.x86_64.rpm

修正

以下を修正しました。

- ネットワークボンディングの変更がトラップを生成しています。
- cpqSeTotalMemMBが正しい値を表示しています

拡張

- Cpqnicdの安定性が改善されました。

HPE SNMPエージェント for SUSE LINUX Enterprise Server 11 (AMD64/EM64T)
バージョン: 10.6.0 (オプション)
ファイル名: hp-snmp-agents-10.60-2936.32.sles11.x86_64.rpm

事前要件

hp-healthおよびhp-snmp-agentsは、x86_64環境では32ビット アプリケーションとして起動します。 Linuxカーネル32ビット互換が有効にされていて（通常Linuxではデフォルト）、32ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-snmp-agentsに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

```
rpm -qp --requires hp-snmp-agents-<version>.rpm
```

修正

以下を修正しました。

- ネットワークボンディングの変更がトラップを生成しています。
- cpqSeTotalMemMBが正しい値を表示しています

拡張

- Cpqnicdの安定性が改善されました。

HPE SNMPエージェント for SUSE LINUX Enterprise Server 11 (x86)

バージョン: 10.6.0 (オプション)

ファイル名: hp-snmp-agents-10.60-2936.33.sles11.i586.rpm

事前要件

hp-snmp-agentsに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

```
rpm -qp --requires hp-snmp-agents-<version>.rpm
```

修正

以下を修正しました。

- ネットワークボンディングの変更がトラップを生成しています。
- cpqSeTotalMemMBが正しい値を表示しています

拡張

- Cpqnicdの安定性が改善されました。

HPE SNMPエージェント for SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 10.5.0 (オプション)

ファイル名: hp-snmp-agents-10.50-2926.40.sles12.x86_64.rpm

事前要件

hp-healthおよびHP SNMPエージェント (hp-snmp-agents) は、x86_64環境では32ビット アプリケーションとして起動します。Linuxカーネル32ビット互換が有効にされていて (通常Linuxではデフォルト)、32ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

HP SNMPエージェント (hp-snmp-agents) に関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

```
rpm -qp --requires hp-snmp-agents-.rpm
```

修正

- SMH はシステムセクションに完全版 'システムROM' バージョンを表示します。
- cmahostdはパフォーマンスのプログラムを修正するためにnfsとautofs のマウントポイントを操作します。

拡張

新しいHPE ProLiant Gen9サーバーのサポートを追加しました。

以下のストレージコントローラーのサポートを追加しました。

- HPE SmartアレイP240nrコントローラー
- HPE Smart HBA H240nrコントローラー。
- HPE SmartアレイP542Dコントローラー

以下のネットワークアダプターのサポートを追加しました。

- HPE Synergy 3520C 10/20 Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLBアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート 536FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 25Gb 4ポート 620SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 563i アダプター

HPE SNMPエージェント for SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 10.6.0 (オプション)

ファイル名: hp-snmpp-agents-10.60-2936.33.sles12.x86_64.rpm

修正

以下を修正しました。

- ネットワークボンディングの変更がトラップを生成しています。
- cpqSeTotalMemMBが正しい値を表示しています

拡張

- Cpqnicdの安定性が改善されました。

HPE System Management Homepage for Linux (AMD64/EM64T)

バージョン: 7.6.0-11 (推奨)

ファイル名: hpsmh-7.6.0-11.x86_64.rpm

重要な注意!

Version 7.6.0 がSMHの最新のリリースとなります。SMH 7.6.0はGen10 Snap1 SPPで使用可能ですが、それはGen 8およびGen 9サーバーのみサポートします。将来の全てのパッチリリースはSMH webページ上でのみ行われます。HPE SMH [リリースノート](#)を参照してください。

事前要件

SMHソフトウェアをインストールする前に、RPMが必要なバージョンのLinuxライブラリの依存関係が存在するかどうかを確認します。依存関係が見つからない場合、欠落した依存関係のリストが提供されます。ユーザーはRPMをインストールする前に、すべての必要な依存関係を手動でインストールして、前提条件を満たす必要があります。

修正

- 不適切なフォーマットによるシングル サインオンリクエストおよび認証の不正な処理
- HPEリブランディング変更

拡張

- 次のコンポーネントをアップデートしました。

- PHPをバージョン5.5.38へ
 - Curlをバージョン7.49.1へ
 - OpenSSLバージョン1.0.2h
 - Libxml2をバージョンlibxml2-2.9.4へ
- SSL暗号スイートがデフォルトとしてTLSv1.2 に設定されます
 - セキュリティ機能の改善 [Security Bulletin の詳細を確認してください(ID: HPSBMU03653)]

HPE System Management Homepage for Linux (x86)

バージョン: 7.6.0-11 (**推奨**)

ファイル名: hpsmh-7.6.0-11.i386.rpm

重要な注意!

Version 7.6.0 がSMHの最新のリリースとなります。SMH 7.6.0はGen10 Snap1 SPPで使用可能ですが、それはGen 8およびGen 9サーバーのみサポートします。将来の全てのパッチリリースはSMH webページ上でのみ行われます。HPE SMH [リリースノート](#)を参照してください。

事前要件

SMHソフトウェアをインストールする前に、RPMが必要なバージョンのLinuxライブラリの依存関係が存在するかどうかを確認します。依存関係が見つからない場合、欠落した依存関係のリストが提供されます。ユーザーはRPMをインストールする前に、すべての必要な依存関係を手動でインストールして、前提条件を満たす必要があります。

修正

- 不適切なフォーマットによるシングル サインオンリクエストおよび認証の不正な処理
- HPEリブランディング変更

拡張

- 次のコンポーネントをアップデートしました。
 - PHPをバージョン5.5.38へ
 - Curlをバージョン7.49.1へ
 - OpenSSLバージョン1.0.2h
 - Libxml2をバージョンlibxml2-2.9.4へ
- SSL暗号スイートがデフォルトとしてTLSv1.2 に設定されます
- セキュリティ機能の改善 [Security Bulletin の詳細を確認してください(ID: HPSBMU03653)]

HPE System Management Homepage for Windows x64

バージョン: 7.6.0.11 (**推奨**)

ファイル名: cp029674.exe

重要な注意!

Version 7.6.0 がSMHの最新のリリースとなります。SMH 7.6.0はGen10 Snap1 SPPで使用可能ですが、それはGen 8およびGen 9サーバーのみサポートします。将来の全てのパッチリリースはSMH webページ上でのみ行われます。

HPE SMH [リリースノート](#)を参照してください。

修正

- 不適切なフォーマットによるシングル サインオンリクエストおよび認証の不正な処理
- HPEリブランディング変更

拡張

- 次のコンポーネントをアップデートしました。
 - PHPをバージョン5.5.38へ
 - Curlをバージョン7.49.1へ
 - OpenSSLバージョン1.0.2h
 - Libxml2をバージョンlibxml2-2.9.4へ
- SSL暗号スイートがデフォルトとしてTLSv1.2 に設定されます
- セキュリティ機能の改善 [Security Bulletin の詳細を確認してください(ID: HPSBMU03653)]

HPE System Management Homepage for Windows x86
バージョン: 7.6.0.11 (**推奨**)
ファイル名: cp029673.exe

重要な注意!

Version 7.6.0 がSMHの最新のリリースとなります。SMH 7.6.0はGen10 Snap1 SPPで使用可能ですが、それはGen 8およびGen 9サーバーのみサポートします。将来の全てのパッチリリースはSMH webページ上でのみ行われます。HPE SMH [リリースノート](#)を参照してください。

修正

- 不適切なフォーマットによるシングル サインオンリクエストおよび認証の不正な処理
- HPEリブランディング変更

拡張

- 次のコンポーネントをアップデートしました。
 - PHPをバージョン5.5.38へ
 - Curlをバージョン7.49.1へ
 - OpenSSLバージョン1.0.2h
 - Libxml2をバージョンlibxml2-2.9.4へ
- SSL暗号スイートがデフォルトとしてTLSv1.2 に設定されます
- セキュリティ機能の改善 [Security Bulletin の詳細を確認してください(ID: HPSBMU03653)]

HPE System Management Homepageテンプレート for Linux
バージョン: 10.5.0 (**オプション**)
ファイル名: hp-smh-templates-10.5.0-1462.26.noarch.rpm

重要な注意!

HPシステムヘルスアプリケーションおよびInsightマネジメントエージェント (hpsasm) バージョン8.0.0は、別々のrpmパッケージに分割されました。

- HPシステムヘルスアプリケーションおよびコマンドラインユーティリティ (hp-health) バージョン8.1.0
- HP SNMPエージェント (hp-snmp-agents) バージョン8.1.0
- HP System Management Homepageテンプレート (hp-smh-templates) バージョン8.1.0

これらの3つのパッケージは、hpsasm v8.0.0と同等の機能を持っており、モジュール形式でのインストールを選択することも可能です。

事前要件

hp-smh-templatesに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

```
rpm -qp --requires hp-smh-templates-<version>.rpm
```

拡張

新しいHPE ProLiant Gen9サーバーのサポートを追加しました。

HPE System Management Homepageテンプレート for Linux

バージョン: 10.6.0 (オプション)

ファイル名: hp-smh-templates-10.6.0-1479.39.noarch.rpm

重要な注意!

HPシステムヘルスアプリケーションおよびInsightマネジメントエージェント (hpsasm) バージョン8.0.0は、別々のrpmパッケージに分割されました。

- HPシステムヘルスアプリケーションおよびコマンドラインユーティリティ (hp-health) バージョン8.1.0
- HP SNMPエージェント (hp-snmp-agents) バージョン8.1.0
- HP System Management Homepageテンプレート (hp-smh-templates) バージョン8.1.0

これらの3つのパッケージは、hpsasm v8.0.0と同等の機能を持っており、モジュール形式でのインストールを選択することも可能です。

事前要件

hp-smh-templatesに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

```
rpm -qp --requires hp-smh-templates-<version>.rpm
```

修正

- SLES11 SP4インストール用の依存性を修正しました。

HPEシステムヘルスアプリケーションおよびコマンドラインユーティリティ for Red Hat Enterprise Linux 6 (AMD64/EM64T)

バージョン: 10.6.0 (オプション)

ファイル名: hp-health-10.60-1833.33.rhel6.x86_64.rpm

事前要件

hp-healthおよびhp-snmp-agentsは、x86_64環境では32ビットアプリケーションとして起動します。Linuxカーネル32ビット互換が有効にされていて（通常Linuxではデフォルト）、32ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-healthに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

```
rpm -qp -requires hp-health-< version >.rpm
```

修正

- hp-healthサービスのためのファイルパーミッションを修正しました。

拡張

- hp-healthがLinuxカーネルバージョン4.Xで動作するように修正しました

HPEシステムヘルスアプリケーションおよびコマンドラインユーティリティ for Red Hat Enterprise Linux 6 (x86)
バージョン: 10.6.0 (オプション)

ファイル名: hp-health-10.60-1833.31.rhel6.i686.rpm

事前要件

hp-healthに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

```
rpm -qp -requires hp-health-< version >.rpm
```

修正

- hp-healthサービスのためのファイルパーミッションを修正しました。

拡張

- hp-healthがLinuxカーネルバージョン4.Xで動作するように修正しました

HPEシステムヘルスアプリケーションおよびコマンドラインユーティリティ for Red Hat Enterprise Linux 7 Server
バージョン: 10.6.0 (オプション)

ファイル名: hp-health-10.60-1833.32.rhel7.x86_64.rpm

修正

- hp-healthサービスのためのファイルパーミッションを修正しました。

拡張

- hp-healthがLinuxカーネルバージョン4.Xで動作するように修正しました

HPEシステムヘルスアプリケーションおよびコマンドラインユーティリティ for SUSE LINUX Enterprise Server
11 (AMD64/EM64T)

バージョン: 10.6.0 (オプション)

ファイル名: hp-health-10.60-1833.36.sles11.x86_64.rpm

事前要件

hp-healthおよびhp-snmp-agentsは、x86_64環境では32ビット アプリケーションとして起動します。 Linuxカーネル32ビット互換が有効にされていて（通常Linuxではデフォルト）、32ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-healthに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

```
rpm -qp -requires hp-health-< version >.rpm
```

修正

- hp-healthサービスのためのファイルパーミッションを修正しました。

拡張

- hp-healthがLinuxカーネルバージョン4.Xで動作するように修正しました

HPEシステムヘルスアプリケーションおよびコマンドラインユーティリティ for SUSE LINUX Enterprise Server 11 (x86)

バージョン: 10.6.0 (オプション)

ファイル名: hp-health-10.60-1833.34.sles11.i586.rpm

事前要件

hp-healthに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

```
rpm -qp -requires hp-health-< version >.rpm
```

修正

- hp-healthサービスのためのファイルパーミッションを修正しました。

拡張

- hp-healthがLinuxカーネルバージョン4.Xで動作するように修正しました

HPEシステムヘルスアプリケーションおよびコマンドラインユーティリティ for SUSE LINUX Enterprise Server 12
バージョン: 10.6.0 (オプション)

ファイル名: hp-health-10.60-1833.31.sles12.x86_64.rpm

修正

- hp-healthサービスのためのファイルパーミッションを修正しました。

拡張

- hp-healthがLinuxカーネルバージョン4.Xで動作するように修正しました

HPEシステムヘルスアプリケーションおよびコマンドラインユーティリティ for SUSE LINUX Enterprise Server 12
バージョン: 10.5.0 (オプション)

ファイル名: hp-health-10.50-1826.37.sles12.x86_64.rpm

事前要件

hp-healthおよびHP SNMPエージェント (hp-snmp-agents) は、x86_64環境では32ビット アプリケーションとして起動します。Linuxカーネル32ビット互換が有効にされていて (通常Linuxではデフォルト)、32ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-healthに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

```
rpm -qp -requires hp-health-< version >.rpm
```

修正

- iLOリセットは、hp-health サービスでの稼働に影響を及ぼしません。

- hp-healthがhpsasmxld (iLO2)上でCPUを100%消費する問題を修正しました。
- asrとhp-health serviceの実行順序を修正した後、hp-asrdは適切に実行されます。
- hp-healthとiLO targetの接続性の問題が修正されました。
- hpsasmcliコマンド 'show server' は組み込みNICを表示するようになりました。

拡張

新しいHPE ProLiant Gen9サーバーのサポートを追加しました。

Insight Diagnosticsオンライン版 for Linux (x86 32ビット)

バージョン: 10.60.2109 (**推奨**)

ファイル名: hpdiags-10.60.2109-2176.linux.i586.rpm

事前要件

HP Insight Diagnostics オンライン版 for Linuxには、以下のコンポーネントが必要です。

- HP System Management Homepage バージョン7.0.0-12以降

HP Insight Diagnostics オンライン版 for Linuxの機能を最大限に利用するために、以下のコンポーネントを推奨します。

- HP System Health Application、バージョン9.0.0以降

修正

- 翻訳の修正。
- LUNが124以上のシステムのSurveyの保存に失敗する問題を修正しました。
- Insight Diagnosticをアンインストールした際に、crontabエントリにそのスケジュールが削除されない問題を修正しました。

拡張

P542D ストレージコントローラーのサポートを追加しました。

NVIDIA Tesla K40 XL 12Gb モジュールのサポートを追加しました。

Wellsburg 6-Port SATA Controllerのサポート

新しいGen9システムのサポート。

詳しくは、[Service Pack for ProLiant リリースノート](#)を参照してください。

サポートされているサーバーの情報については、[ProLiant Service Pack for ProLiant Server Support Guide](#)を参照してください。

Insight Diagnosticsオンライン版 for Linux (x86-64)

バージョン: 10.60.2109 (**推奨**)

ファイル名: hpdiags-10.60.2109-2176.linux.x86_64.rpm

事前要件

HP Insight Diagnostics オンライン版 for Linuxには、以下のコンポーネントが必要です。

- HP System Management Homepage バージョン7.0.0-12以降

HP Insight Diagnostics オンライン版 for Linuxの機能を最大限に利用するために、以下のコンポーネントを推奨します。

- HP System Health Application、バージョン9.0.0以降

修正

- 翻訳の修正。
- LUNが124以上のシステムのSurveyの保存に失敗する問題を修正しました。
- Insight Diagnosticをアンインストールした際に、crontabエントリにそのスケジュールが削除されない問題を修正しました。

拡張

P542D ストレージコントローラーのサポートを追加しました。
NVIDIA Tesla K40 XL 12Gb モジュールのサポートを追加しました。
Wellsburg 6-Port SATA Controllerのサポート
新しいGen9システムのサポート。

詳しくは、[Service Pack for ProLiant リリースノート](#)を参照してください。

サポートされているサーバーの情報については、[ProLiant Service Pack for ProLiant Server Support Guide](#)を参照してください。

Insight Diagnosticsオンライン版 for Windows

バージョン: 10.60.2116.0 (**推奨**)

ファイル名: cp028680.exe

重要な注意！

既知の制限事項：

HP Insight Diagnosticsオンライン版 for Windowsでは、Survey機能は、直接あるいはエンクロージャー経由で特定のSmartアレイコントローラー（HP Modular Smart Arrayなど）に接続されている論理ドライブのプロパティの表示をサポートしなくなりました。影響のあるコントローラー：

- Smartアレイ6iコントローラー
- Smartアレイ641コントローラー
- Smartアレイ642コントローラー
- Smartアレイ6402コントローラー
- Smartアレイ6404コントローラー

これらのコントローラーは、論理ドライブのプロパティを入手するために使用されるコマンドをサポートしません。現在、コントローラーにこのようなサポートとHP Insight Diagnosticsの将来のバージョンにレガシーサポートを追加する予定はありません。

回避策として、Surveyで論理ドライブのプロパティを表示するために、HP Insight Diagnosticsオンライン版 for Windowsの**8.5以前**のバージョンを使用することです。hp.comから入手可能なHP アレイ コンフィギュレーションユーティリティは、これらのコントローラーに接続されている論理ドライブについての情報を表示することができます。

事前要件

HP Insight Diagnostics オンライン版 for Linuxには、以下のコンポーネントが必要です。

- HP System Management Homepage バージョン7.0.0-12以降

HP Insight Diagnostics オンライン版 for Linuxの機能を最大限に利用するために、以下のコンポーネントを推奨します。

- HP ProLiant Agentless Management Serviceバージョン9.0.0.0以降
- HP ProLiant Integrated Lights-Outマネジメントインターフェイスドライババージョン1.15.0.0以降

修正

- 翻訳の修正。
- LUNが124以上のシステムのSurveyの保存に失敗する問題を修正しました。

拡張

P542D ストレージコントローラーのサポートを追加しました。
NVIDIA Tesla K40 XL 12Gb モジュールのサポートを追加しました。
Wellsburg 6-Port SATA Controllerのサポート
新しいGen9システムのサポート。

詳しくは、[Service Pack for ProLiant リリースノート](#)を参照してください。

サポートされているサーバーの情報については、[ProLiant Service Pack for ProLiant Server Support Guide](#)を参照してください。

Insight Diagnosticsオンライン版 for Windows x64 Editions

バージョン: 10.60.2116.0 (推奨)

ファイル名: cp028679.exe

重要な注意！

既知の制限事項：

HP Insight Diagnosticsオンライン版 for Windowsでは、Survey機能は、直接あるいはエンクロージャー経由で特定のSmartアレイコントローラー（HP Modular Smart Arrayなど）に接続されている論理ドライブのプロパティの表示をサポートしなくなりました。 影響のあるコントローラー：

- Smartアレイ6iコントローラー
- Smartアレイ641コントローラー
- Smartアレイ642コントローラー
- Smartアレイ6402コントローラー
- Smartアレイ6404コントローラー

これらのコントローラーは、論理ドライブのプロパティを入手するために使用されるコマンドをサポートしません。 現在、コントローラーにこのようなサポートとHP Insight Diagnosticsの将来のバージョンにレガシーサポートを追加する予定はありません。

回避策として、Surveyで論理ドライブのプロパティを表示するために、HP Insight Diagnosticsオンライン版 for Windowsの **8.5以前**のバージョンを使用することです。 hp.comから入手可能なHP アレイ コンフィギュレーションユーティリティは、これらのコントローラーに接続されている論理ドライブについての情報を表示することができます。

事前要件

HP Insight Diagnostics オンライン版 for Linuxには、以下のコンポーネントが必要です。

- HP System Management Homepage バージョン7.0.0-12以降

HP Insight Diagnostics オンライン版 for Linuxの機能を最大限に利用するために、以下のコンポーネントを推奨します。

- HP ProLiant Agentless Management Serviceバージョン9.0.0.0以降
- HP ProLiant Integrated Lights-Outマネジメントインターフェイスドライババージョン1.15.0.0以降

修正

- 翻訳の修正。
- LUNが124以上のシステムのSurveyの保存に失敗する問題を修正しました。

拡張

P542D ストレージコントローラーのサポートを追加しました。
NVIDIA Tesla K40 XL 12Gb モジュールのサポートを追加しました。
Wellsburg 6-Port SATA Controllerのサポート
新しいGen9システムのサポート。

詳しくは、[Service Pack for ProLiant リリースノート](#)を参照してください。

サポートされているサーバーの情報については、[ProLiant Service Pack for ProLiant Server Support Guide](#)を参照してください。

NVMe Drive Eject NMI Fix for Windows Server 2012 R2 および Server 2016

バージョン: 1.0.5.0 (オプション)

ファイル名: cp029427.exe

拡張

- Windows Server 2016のサポートを追加しました。
- コンポーネントの実行ファイルは、現在SHA-1およびSHA-256両方の署名でデジタル署名されています。

Windows Server 2008 R2用のIntel C220およびC610 Series Platform Controller Hub NMIの修正

バージョン: 1.1.0.0 (B) (オプション)

ファイル名: cp029656.exe

拡張

コンポーネントの実行ファイルは、現在SHA-1および SHA-256両方の署名付きでデジタル署名されています。
